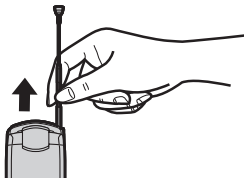
取扱説明書

FOMA® P901iTV ’06.8

デジタルテレビを使ってみよう!

初めてデジタルテレビを見るための設定方法と、簡単なデジタルテレビの見かたを紹介します。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。
●他の機能を使用しているときは、デジタルテレビを見ることができません。

アンテナを伸ばします

デジタルテレビを利用するときは、
TVアンテナを十分伸ばしてください。

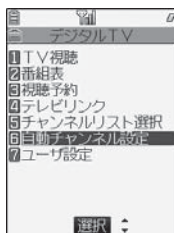
●受信が不安定なときは、TVアンテナを伸ばすと
受信感度が良くなる場合があります。

チャンネルを設定してテレビを見ます

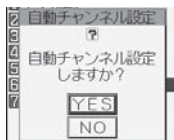
初めてデジタルテレビを利用する場合は、最初に放送局を検索してチャンネルリストを登録します。
次回からはすぐにデジタルテレビを見ることができます。

1

[メニュー]を押して、
アイコン画面で[✉]（[デジタルTV]）を押します。

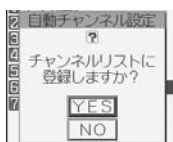
2

「[6]自動チャンネル設定」を選択して[◎]を押します。

●受信できる放送局は地域によって異なります。
旅行先や出張先で自動チャンネル設定を行うと、その地域の
放送局を視聴できます。

3

「YES」を選択して[◎]を押すと、
放送局の検索を開始します。

3TU001513AAA

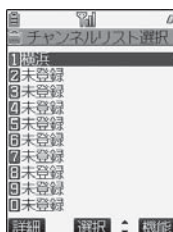
チャンネルを設定してテレビを見ます（つづき）

4

検索が終了したら、
「YES」を選択して◎を押します。

5

チャンネルリスト名を入力して◎を押します。

●自動チャンネル設定を行った地域名をチャンネルリスト名として登録しておくと、あとで選択するときに分かりやすくなります。

6

チャンネルリストを選択して◎を押します。

チャンネルの一覧が表示されますので、
見たいチャンネルを選択して◎を押します。

7

デジタルテレビが起動します。

チャンネル切替：◎または[∨][∧]を押します。
音量調節：◎または[▲][▼]を押します。

8 デジタルテレビを終了する場合は、
(PWR HLD)を押して「YES」を選択して◎を押します。

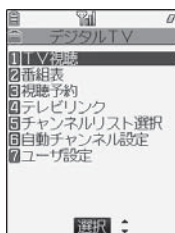
デジタルテレビを見たいときは

すでにチャンネルを設定している場合は、すぐにデジタルテレビを見ることができます。

1

(メニュー)を押して、
アイコン画面で(✉)(デジタルTV)を押します。

●側面の(TV/録画)を1秒以上押してもデジタルテレビを起動できます。

2

「1 TV視聴」を選択して(◎)を押します。

3

デジタルテレビが起動します。

チャンネル切替：(○)または(▽)(△)を押します。
音量調節：(○)または(▲)(▼)を押します。

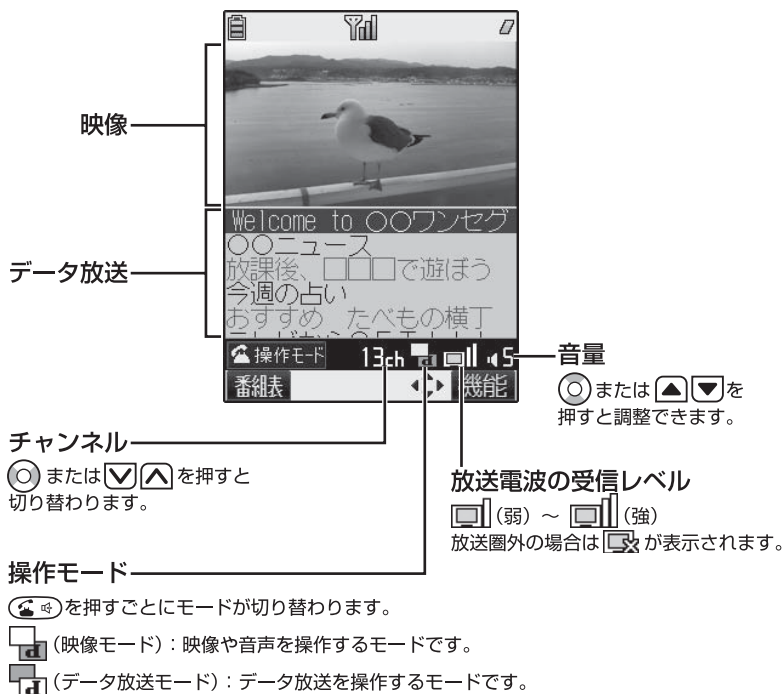
4 デジタルテレビを終了する場合は、
(PWR HLD ☎)を押して「YES」を選択して(◎)を押します。

視聴画面について

操作モード

を押すごとにモードが切り替わります。

（映像モード）：映像や音声を操作するモードです。

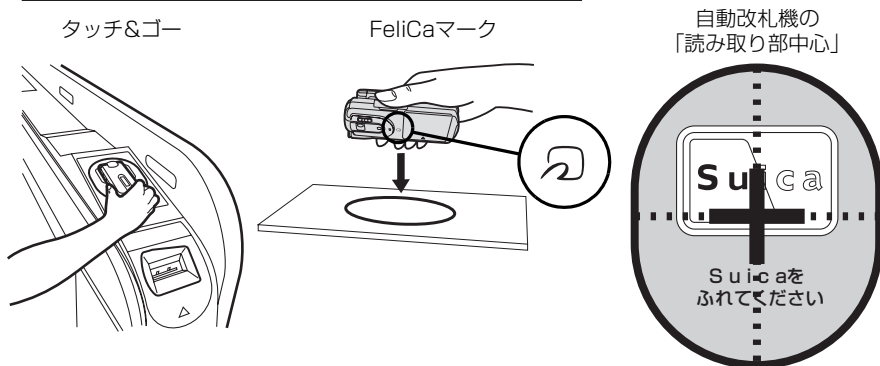
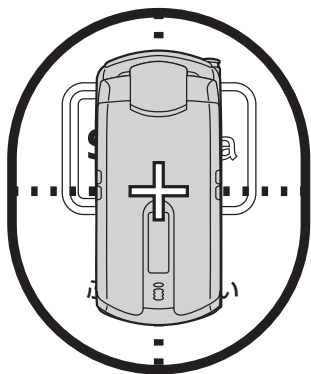
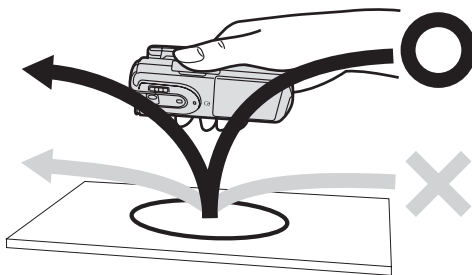
（データ放送モード）：データ放送を操作するモードです。

●受信できる放送局は地域によって異なります。旅行先や出張先で自動チャンネル設定を行うと、その地域の放送局を視聴できます。
●場所を移動すると、山やビルの影響で受信できる放送電波や放送局が異なる場合があります。移動して映りが悪くなった場合、自動チャンネル設定を行うと違った放送電波により映りがよくなったり、異なった放送局にて視聴できる場合があります。

アナログテレビについて
●アナログテレビもデジタルテレビと同様にチャンネル設定をして見ることができます。
●アナログテレビを利用するときは、アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01を接続してください。受信感度が良くなる場合があります。

詳しくは取扱説明書をご覧ください。

FOMA P901iTV モバイルSuicaご利用にあたってのご案内

モバイルSuicaご利用にはモバイルSuica対応ｉアプリのダウンロードおよびご本人名義の「ビューカード」（JR東日本のクレジットカード）による会員登録が必要です。

自動改札機は「タッチ&ゴー」でご利用ください

その際、携帯電話機の「 」と自動改札機の「読み取り部中心」が重なるように上方からしっかりとタッチしてください

改札機の読み取り部中心に合わせて、
上方からしっかりタッチしてください。

表面を滑らせるようにタッチすると、
改札機を通過できない場合があります。

- ・「モバイルＳｕｉｃａ」「Ｓｕｉｃａ」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- ・FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- ・ はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社
3TU001552AAA

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「FOMA P901iTV」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA P901iTVは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- ●FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- ●公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- ●FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- ●FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ●お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- ●このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

- ●この「FOMA P901iTV 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA P901iTV」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- ●本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについてはP.354参照。
- ●本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ●本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 操作の方法は、スクロール選択（P.35参照）で説明しています。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。

本書の引きかたについて

本書では次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探せます。

索引から

機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙のインデックスを利用して探します。

詳しくは次ページで説明しています。

目次から ▶▶P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

特徴から ▶▶P.8

特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

機能一覧から ▶▶P.446

機能一覧表を利用して探します。

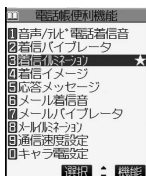
クイックマニュアルから ▶▶P.508

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

「電話帳便利機能」を検索する方法を例にして説明します。

索引から

►►P.502

機能名称やサービス名称などを下記の例のように探します。

P.109
「電話帳便利機能」
の説明ページへ

かんたん検索から

►►P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能を下記の例のように探します。

メロディやイルミネーションを変えたい

P.109
「電話帳便利機能」
の説明ページへ

表紙インデックスから

►►表紙

下記の例のように「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能を探します。

P.109
「電話帳便利機能」
の説明ページへ

注:上記のページはサンプルです。

かんたん検索

知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

テレビを使いこなしたい

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

●よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。（P.508参照）

目次

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

FOMA P901iTVの特徴

FOMA（Freedom Of Mobile multimedia Access）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つと認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードはiモード端末のディスプレイを利用して、iモードサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

◆iモーション／iモーションメール

▶▶P.225、P.233

サイトやインターネットから映像や音楽を取得して楽しめます。
また、内蔵カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取得したiモーションをiモードメールに添付して送れます。

◆着うた®／着モーション

▶▶P.112、P.123

保存したiモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定できます。

- 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

◆iショット ▶▶P.232

内蔵カメラで撮影した静止画をiモードメールに添付して送れます。

◆テレビ電話 ▶▶P.80

離れている相手と顔を見ながら会話できます。アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることもできます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

◆FOMAカード ▶▶P.41

お客様の情報が書き込まれた「FOMAカード」に、電話帳やSMS（ショートメッセージ）などのデータを保存しておくことができます。また、FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

◆おサイフケータイ iモードFeliCa対応

▶▶P.312

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。
その他にも飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。

◆デコメール ▶▶P.233

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
また、テンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を保存し、簡単にデコメールを作成できます。

◆あんしん設定 ▶▶P.139

暗証番号やパスワードを利用してプライバシーを保護したり、紛失時に離れた場所からロックをかけて不正使用を防止するロック／セキュリティ機能などのあんしん設定をご利用いただけます。

◆ネットワーク ▶▶P.384

- 留守番電話サービス（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- キャッチホン（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- 転送でんわサービス（無料）
  ・お申し込みが必要となります。
- デュアルネットワークサービス（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- マルチナンバー（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- SMS（ショートメッセージ）（無料）
  ・お申し込みは不要です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

◆大容量ｉアプリ／ｉアプリDX

▶▶P.300

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、より豊かな表現でゲームを楽しんだり、自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。
さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみかたが広がります。

◆マルチアクセス／マルチタスク

▶▶P.366、P.367

FOMA端末は、音声電話とｉモード（またはパケット通信によるデータ通信）を同時に使うことができる「マルチアクセス」に対応しています。マルチアクセスとは別にSMS（ショートメッセージ）も同時に使用できます。
また、複数のメニュー機能を同時に使用できる「マルチタスク」にも対応しています。

◆キャラ電 ▶▶P.85、P.349

テレビ電話中に、自分の映像の代わりに内蔵キャラクタやダウンロードしたキャラクタを表示させることができます。ボタン操作によりキャラクタに表情や動きを付けられます。

◆SD連携／miniSDリーダーライター

▶▶P.354

外部機器で作成した動画や音楽データをminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます。（一部条件下では再生できない場合があります。）
また、FOMA端末をパソコンなどのminiSDリーダーライターとして使用できます。

◆デジタルテレビ／アナログテレビ

▶▶P.316

FOMA端末で、ワンセグ（移動体向けの地上デジタルテレビ放送サービス）と家庭用テレビで視聴可能な地上アナログ放送（VHF／UHF）をご覧いただけます。

◆ビデオ／TVイメージ

▶▶P.325、P.326、P.330、P.347

視聴中のワンセグ（移動体向けの地上デジタルテレビ放送サービス）の番組をビデオまたは静止画として録画できます。
録画した番組はFOMA端末内に保存されるので、見たいときにいつでも再生、表示できます。

◆カメラ機能 ▶▶P.156

2つのカメラ（インカメラ・アウトカメラ）を使って、静止画や動画を撮影できます。
アウトカメラでは、カメラ有効画素数201万画素・最大記録画素数192万画素の高画質画像を撮影できます。

◆バーコードリーダー／テキストリーダー

▶▶P.178、P.183

バーコード・QRコードから電話番号やメールアドレスなどの情報や、画像・メロディを読み取って利用できます。
また、電話番号やメールアドレスなどの、英数字の情報を印刷物から読み取ることもできます。

◆赤外線通信／赤外線リモコン

▶▶P.307、P.360

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやり取りを行えます。また、赤外線リモコンに対応したテレビなどにも利用できます。

FOMA P901iTVを使いこなす！

◆デジタルテレビ・アナログテレビを見る ▶▶P.319、P.326

ワンセグ（移動体向けの地上デジタルテレビ放送サービス）と家庭用テレビで視聴可能な地上アナログ放送（VHF／UHF）をご覧いただけます。
ワンセグ（移動体向けの地上デジタルテレビ放送サービス）では、視聴したい番組を予約したり、データ放送を利用できます。

◆ビデオ／TVイメージ ▶▶P.325、P.326、P.330、P.347

視聴中のワンセグ（移動体向けの地上デジタルテレビ放送サービス）の番組をビデオまたは静止画として録画できます。
録画した番組はFOMA端末内に保存されるので、見たいときにいつでも再生、表示できます。

◆ビューアスタイルで横大画面 ▶▶P.28

横大画面のビューアスタイルでテレビやビデオを見ることができます。
また、サイドボタンを利用してデジタルカメラ感覚で静止画や動画を撮影できます。

◆静止画を使いこなす ▶▶P.337

カメラで撮影した静止画などにフレームや文字を合成したりできます。また、人物の静止画の表情を変化させたり（チャーミーフェイス）、顔の部分を自動で認識し、マジックスタンプをふさわしい位置に貼り付けたりできます。

◆動画を使いこなす ▶▶P.344

カメラで撮影した動画などから静止画を切り出したり、音声部分のみを編集（アフレコ編集）したり、再生中に表示される文字情報を編集（テロップ編集）できます。

◆キラリメール ▶▶P.253

メールを受信したときなどに、感情を表す絵文字に応じて着信／充電ランプが光り、相手の気持ちをお知らせします。メールをプレビュー表示したとき、送受信メールを表示したときにも着信／充電ランプが光ります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

◆通話しながら静止画が送れる「えチャット」 ▶▶P.247

音声電話中にカメラで静止画を撮影し、相手に送れます。言葉だけでは伝えられない美しい風景やかわいいペットの仕草などを電話を切ることなく相手に送れます。

◆チャットメール ▶▶P.284

ｉモードメールで、複数の相手と会話を楽しむようにチャットメールのやりとりができます。
メールのやりとりが1つの画面で確認できるので便利です。

◆データをバックアップする ▶▶P.356

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをminiSDメモリーカードに保存できます。

◆Gガイド番組表リモコン ▶▶P.307

テレビ番組表とAVリモコン機能に加え、デジタルテレビを起動できる機能が1つになった便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。
テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になった番組があったら番組情報をお気に入り登録ができて、携帯電話の視聴予約機能に番組の開始日時を登録して番組開始時にデジタルテレビを起動できます。さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります。）

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

なお、以下の「エリア変更」操作により、地上デジタル放送の視聴エリアを変更して、該当地域の番組表を表示させることができます。
「メニュー」から「エリア変更」を選択します。「現在地から探す」、「地域一覧から探す」及び「過去履歴から探す」のいずれかの方法によりエリアを選択します。

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて〈共通〉

危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　P06　FOMA ACアダプタ　01　FOMA海外兼用ACアダプタ　01
FOMA DCアダプタ　01　FOMA乾電池アダプタ　01　卓上ホルダ　P12　車内ホルダ　01
●その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問合せください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水ぬれ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

警告

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、ただちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。
そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、テレビの視聴、ｉモード、ｉアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取扱いについて

警告

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用や画面の注視は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

⚠ 注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所		素材	表面処理
コマンドナビゲーションボタン、メールボタン、メニューボタン、ｉモードボタン、クリアボタン		ABS	銅メッキ、ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
ディスプレイ側ケース		マグネシウム合金	焼き付け塗装
ｉマーク		アルミニウム	UVコーティング
アンテナの金属部分	先端	ジュラルミン	ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
	中・下段	銅合金	
充電端子		銅合金	ニッケルメッキ下地に金メッキ仕上げ

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やminiSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

禁止

アンテナが破損したまま使用しないでください。

肌に触れるとけがなどの原因になります。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

指示

テレビを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

指示

電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ　01を使用してください。
ACアダプタ：AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ：AC100～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所においてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて（つづき）

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁 止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

指 示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

注意

指 示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指 示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指 示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指 示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指 示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上のお願い

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

■電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

故障の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。

■直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
湿気、ほこり、振動の多い場所
一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

■充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■極端な高温・低温は避けてください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

カメラについてのお願い

■お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

・「FOMA」「mova」「キラリメール」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「ｉモーションメール」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「ｉメロディ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「Vライブ」「おサイフケータイ」「クイックキャスト」「セキュリティスキャン」「ｉアプリサーチ」「ｉショット」「ｉエリア」「ｉアニメ」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」「ドコモテレビ電話ソフト」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「おサイフケータイ」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
・フリーダイヤルサービス名称及びフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
・「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の商標です。
・「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
・使いかたナビ®は株式会社カナックの登録商標です。
・ν Maicoviconは松下電器産業株式会社の登録商標です。
・AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
・JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
・Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
・miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
・NetFrontおよび NetFront は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標です。
・IrFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
・LCフォント、LCFONT、エルシーフォントおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。
・T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
T9 テキストインプットは日本において特許を取得（特許第3532780号、特許第3492981号）または申請しております。
T9 テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。

・QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
・Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Macromedia、Flash、Flash Lite、Macromedia Flash、Macromedia Flash Liteは、Macromedia, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

・「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
・はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
・「Gガイドモバイル」およびそのロゴ、「Gガイド」およびそのロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における登録商標です。
・McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
・Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
・その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

・この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。（ただし、電卓・カレンダー・絵記号・マークなど一部LCフォントでないものもあります。）
・本製品はMacromedia, Inc.が開発したMacromedia® Flash Lite™テクノロジーを搭載しています。

・本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
本製品はデータ放送BMLブラウザとして、株式会社ACCESSのNetFront DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
本製品は放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。

NetFront、Media:/メディアコロンは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
・本製品のOBEX機能は株式会社ACCESSのIrFront®を搭載しています。
・IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。

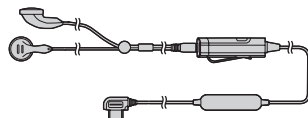
・本製品のチャーミーフェイスはReallusion, Inc.のテクノロジーを搭載しています。

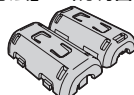
・FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
・本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
●MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
●MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
・本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
●AVC規格に準拠する動画（以下、AVCビデオ）を記録する場合
●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
●ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
・下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569 5,710,784 5,778,338
・本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
・Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
・Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Editionの略です。
・Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
・Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
・Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

本体付属品および主なオプション品について

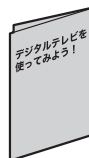
<本体付属品>

●FOMA P901iTV本体
（保証書、リアカバー　P09含む）

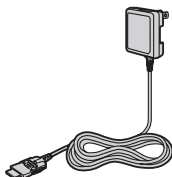
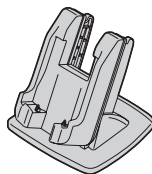
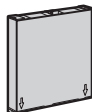
●アンテナ内蔵ステレオ
イヤホンセット　P01
（保証書、取扱説明書付き）

●FOMA P901iTV用CD-ROM

●ノイズフィルタ
（「ご使用方法」の説明書付き）

（試供品）

●取扱説明書（本書）
クイックマニュアル添付（P.508参照）

●別紙　デジタルテレビを使ってみよう！

●本書で「平型スイッチ付イヤホンマイク」と記載されている箇所では、「アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01」が同様に使用できます。ただし、「アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01」と記載されている箇所では「平型スイッチ付イヤホンマイク」は使用できません。

<主なオプション品>

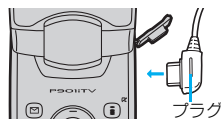
●FOMA ACアダプタ　01
（保証書、取扱説明書付き）

●卓上ホルダ　P12（取扱説明書付き）

●電池パック　P06（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.470

ご使用前の確認

各部の名称と機能

●電話機能用のアンテナは本体に内蔵されています。

■平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の取り付けかた

平型スイッチ付きイヤホンマイクを抜き差しするときは、プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、カバーとプラグを一緒に持たないようにご注意ください。

❶着信／充電ランプ

・電話の着信時／通話中／メールの受信時に点滅（P.130、P.131参照）
・充電中に赤色に点灯
・カメラ撮影時に点灯（点滅）
・miniSDメモリーカードにアクセス中に緑色に点滅

❷受話口

・相手の声をここから聞く

❸ディスプレイ（表示部）

（P.30参照）

❹メールボタン

・メールメニューを表示（P.235参照）
・画面左下に表示されている操作を行う（P.32参照）

＜1秒以上押すと＞

・ｉモード問い合わせを行う（P.255参照）

❺メニューボタン

・メインメニューを表示（P.35参照）

＜1秒以上押すと＞

・ICカードロックをかける（P.313参照）

❻開始ボタン

・電話をかける／受ける（P.54、P.64参照）

❼テレビ電話ボタン

・テレビ電話をかける／受ける（P.80、P.83参照）

＜1秒以上押すと＞

・カメラを起動（P.160、P.161、P.167参照）

❽送話口

・自分の声をここから相手に送る

❾インカメラ

・自分を撮影（P.157参照）
・テレビ電話時に自分の顔を映す

❿コマンドナビゲーションボタン

・機能操作やメニュー操作を行う（P.33参照）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

⑪ ｉモードボタン
・ｉモードメニューを表示（P.193参照）
・画面右下に表示されている操作を行う（P.32参照）
<1秒以上押すと>
・ｉアプリのソフト一覧画面を表示（P.302参照）

⑫ クリアボタン
・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す

⑬ 電源／終了ボタン
・通話を終了する
・各機能を終了する
・電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）（P.48参照）

⑭ダイヤルボタン
・電話番号や文字を入力
●＃（1秒以上）
マナーモードに設定（P.119参照）
●＊（1秒以上）
公共モード（ドライブモード）に設定（P.71参照）
●5（1秒以上）
バックライトの点灯／消灯を切り替える（P.127参照）

⑮ マルチボタン
・マルチタスクメニューを表示（P.368参照）
<1秒以上押すと>
・複数の機能が起動中に機能を切り替える（P.368参照）

⑯プライベートウィンドウ
（P.34参照）

⑰スピーカ
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く（P.63参照）

⑱赤外線ポート
・赤外線通信や赤外線リモコンに使用（P.307、P.360参照）

⑲ サイドTVボタン
・テレビを録画（P.325参照）
・横画面で画面右上に表示されている操作を行う（P.33参照）
<1秒以上押すと>
・テレビを起動（P.328参照）

⑳ サイド▼ボタン
・伝言メモなどを利用（P.76、P.77参照）
・不在着信・新着メールを確認（P.132参照）
・音量を下げる（P.69、P.320、P.326、P.341、P.347参照）
・横画面で画面中央上に表示されている操作を行う（P.33参照）

㉑ サイド▲ボタン
・カメラ起動中にカメラモードを切り替える（P.173参照）
・ホームURLに設定したインターネットホームページを表示（P.201参照）
・音量を上げる（P.69、P.320、P.326、P.341、P.347参照）
・横画面で画面中央上に表示されている操作を行う（P.33参照）

㉒ サイド∧∨ボタン
・チャンネルを選局（P.320、P.326参照）
・横画面で画面左上に表示されている操作を行う（P.33参照）

㉓イヤホンマイク端子
（P.381参照）

㉔外部接続端子
・ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA USB接続ケーブル（別売）などを接続

㉕リアカバー
（P.44参照）

㉖カメラモードランプ
・アウトカメラで撮影するときに赤色に点灯（P.157参照）

㉗フォトライト
・暗い所などでの撮影に使用（P.172参照）

㉘TVアンテナ
・テレビ放送を受信（P.317参照）
※電話機能用のアンテナではありません。

㉙ストラップ取り付け穴

㉚アウトカメラ
・人や風景を撮影（P.157参照）
・テレビ電話時に人や風景を映す

㉛充電端子

㉜FeliCaマーク
・ICカードを搭載
●このマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。（P.312参照）

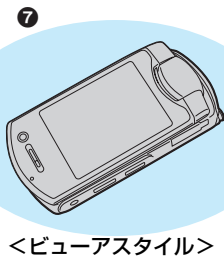
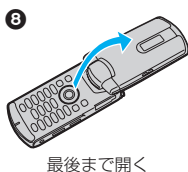
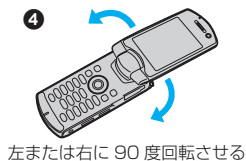
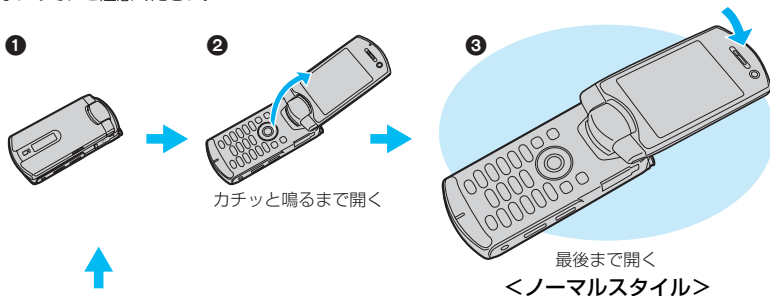
㉝miniSDメモリーカード差し込み口
・miniSDメモリーカードをここに差し込む（P.354参照）

㉞接写レバー
・アウトカメラを接写モードに切り替える（P.172参照）

スタイルについて

P901iTVには3つのスタイルがあります。

スタイルの切り替えかた

●ディスプレイ部を回転させる場合、360度以上は回転しません。
●ビューアスタイルまたは❾の状態からのディスプレイの回転方向は、前回の回転状態により、左または右の一方向にしか回転しないので、ご注意ください。

お知らせ

- この取扱説明書の本文中で特に説明がない場合は、開いた状態（❷または❸）での操作となります。
- ディスプレイを見ながら操作を行うときは❷の状態をおすすめします。
- ビューアスタイルは、テレビ・ビデオ・カメラで使用するスタイルです。他の機能では使用できません。
- テレビ・ビデオ・カメラ以外の機能を使用中にビューアスタイルに切り替えると機能が中断されますので、スタイルを切り替えないでください。
- テレビ・ビデオ・カメラ以外の機能を使用中にビューアスタイルに切り替えるとディスプレイは待受画面の表示になりますが、「省電力」を「ON」に設定していても省電力モードにはなりません。

スタイル連動設定

お買い上げ時	OFF

待受画面でFOMA端末のスタイルを切り替えたときに、スタイルに連動して自動的にデジタルテレビやアナログテレビ・カメラを起動できます。

1 ▶**その他▶スタイル連動設定**

デジタルTV . . . スイッチスタイルやビューアスタイルに切り替えると、デジタルテレビが起動します。
アナログTV . . . スイッチスタイルやビューアスタイルに切り替えると、アナログテレビが起動します。
カメラ . . . . ビューアスタイルに切り替えると、カメラが起動します。
OFF . . . . スタイルを切り替えてもデジタルテレビやアナログテレビ・カメラは起動しません。

ディスプレイの見かた

＜横画面表示＞

＜プライベートウィンドウ＞

❶	
	電池残量（目安）（P.47参照）
❷	
	オールロック中（P.143参照）
	PIMロック中（P.146参照）
	ダイヤル発信制限中（P.147参照）
	シークレットモード、シークレット専用モード中（P.148参照）
	ICカードロック中（P.313参照）
	ダイヤル発信制限中・PIMロック中
	ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
	ICカードロック中・オールロック中
	ICカードロック中・PIMロック中
	ICカードロック中・ダイヤル発信制限中
	ICカードロック中・シークレットモード、シークレット専用モード中
	ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・PIMロック中
	ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
❸	
（白色）	未読ｉモードメール・SMSあり（P.251、P.294参照）
（黒色）	FOMA端末内のｉモードメール・SMSが一杯（P.251、P.294参照）
	FOMAカード内のSMSが一杯
（白色）	未読メールがあり、FOMAカード内のSMSが一杯
（黒色）	FOMA端末内・FOMAカード内の両方が一杯

❹	
（白色）	未読メッセージRあり（P.215参照）
（黒色）	FOMA端末内のメッセージRが一杯（P.216参照）
❺	
（白色）	未読メッセージFあり（P.215参照）
（黒色）	FOMA端末内のメッセージFが一杯（P.216参照）
❻	
（白色）	ｉモードセンターにｉモードメールあり（P.255参照）
（黒色）	ｉモードセンターのｉモードメールが一杯（P.232参照）
（白色）	ｉモードセンターにメッセージRあり（P.216参照）
（黒色）	ｉモードセンターのメッセージRが一杯（P.216参照）
（白色）	ｉモードセンターにメッセージFあり（P.216参照）
（黒色）	ｉモードセンターのメッセージFが一杯（P.216参照）
	メール選択受信設定を「ON」に設定中にｉモードセンターにｉモードメールあり（P.254参照）
❼	
	電波の受信レベル（目安）（強）（弱）
圏外	FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
Self	セルフモード中（P.145参照）
❽	
	ｉモード中（P.193、P.194参照）
	ｉモード通信中（P.193、P.194参照）
	パケット通信中（通信状態によって表示は異なります。）（P.411、P.426参照）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

❾	
	SSL通信中（P.193参照）
❿	
	通信モードでFOMA USB接続ケーブル（別売）接続中（P.398参照）
	miniSDモードでFOMA USB接続ケーブル（別売）接続中（P.359参照）
	ハンズフリー対応機器で通話・通信中
	ハンズフリー対応機器接続中（P.63参照）
	miniSDモードでハンズフリー対応機器接続中
⓫	
	赤外線通信中（P.360参照）
	赤外線リモコン実行中（P.307参照）
⓬	
	miniSDメモリーカードを装着中（P.355参照）
	装着しているminiSDメモリーカードが使用不可（P.355参照）
	miniSDメモリーカードを装着し、miniSDモードでFOMA USB接続ケーブル（別売）接続中（P.359参照）（プライベートウィンドウには表示されません）
⓭	
	音声電話中
	テレビ電話中（64K）
	テレビ電話中（32K）
	64Kデータ通信中
⓮	
	マルチタスク中（P.368参照）
	複数の機能が動作中（P.368参照）
⓯	
	バイブレータ設定中（P.115参照）

⓰	
	着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中（P.69、P.118参照）
⓱	
	マナーモード中（P.119参照）
	遠隔監視設定を「ON」に設定中（P.92参照）
⓲	
	公共モード（ドライブモード）中（P.71参照）
⓳	
	USBモード設定を「miniSDモード」に設定中（P.359参照）
⓴	
	アラーム設定中（P.369参照）
㉑	
～	伝言メモの録音件数（P.75参照）
㉒	
～ ・	留守番電話サービスの伝言メッセージあり（P.384参照）
㉓	
	バックライトを「OFF」に設定中（P.127参照）
㉔	
	サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中（P.147参照）
㉕	
	ICカードタイマーロック設定中（P.313参照）

■ディスプレイの表示について
- ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 本書ではカラー画面を白黒で記載しているため、実際の画面とは色調が異なります。

＜表示アイコン説明＞

アイコンの説明を表示する

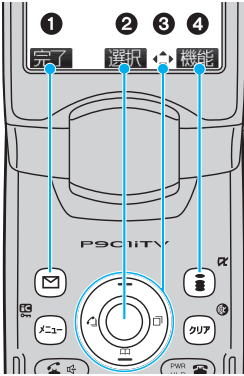
画面の上部に表示されるマーク（など）をアイコンといいます。アイコンの意味は画面上で確認できます。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶表示アイコン説明
▶でアイコンを選択

選択したアイコンの説明が表示されます。

ナビゲーション表示について

縦画面時のボタン操作

縦画面でディスプレイに表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

■主な表示例とボタン割り当て

❶	ボタンで行う操作を表示します。	完了
❷	ボタンで行う操作を表示します。	選択 確定
❸	スクロールや項目の選択が可能な方向を表示しています。	
❹	ボタンで行う操作を表示します。	機能

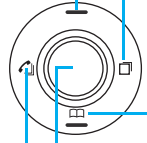
■コマンドナビゲーションボタンの操作

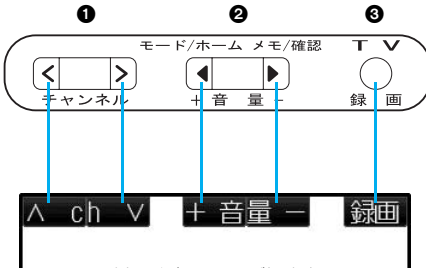
上◎
・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動させます。（押し続けると連続スクロールになります。）
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・待受画面で押すと電話帳機能の選択画面（電話帳メニュー）を表示します。
・1秒以上押して受話音量を上げます。（P.69参照）
・入力した文字をカタカナ、漢字に変換します。（P.439参照）

左／着信履歴◎
・カーソルを左方向へ移動させます。
・待受画面で押すと着信履歴を表示します。（P.67参照）
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。（機能によっては、押し続けると連続スクロールになります。）
・サイト表示中に前のページに戻ります。

決定ボタン◉
・操作を決定します。

右／リダイヤル◎
・カーソルを右方向へ移動させます。
・待受画面で押すとリダイヤルを表示します。（P.56参照）
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。（機能によっては、押し続けると連続スクロールになります。）
・サイト表示中に次のページを表示します。

下
・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。（押し続けると連続スクロールになります。）
・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
・待受画面で押すと電話帳検索画面を表示します。（P.102参照）
・1秒以上押して受話音量を下げます。（P.69参照）
・入力した文字を漢字、カタカナに変換します。（P.439参照）

ビューアスタイル（横画面）時のボタン操作

ビューアスタイルで横画面表示中にディスプレイに表示されている内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

例：デジタルテレビ視聴時

例：カメラ撮影時

■主な表示例とボタン割り当て

❶	∧∨で行う操作	取消
❷	▲▼で行う操作 ●「◀ ▶」は矢印の方向にスクロールや項目の選択が可能なことを示します。	◀ ▶
❸	TVで行う操作	選択

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウには、時計やアイコンなどさまざまな情報が以下の例のように表示されます。

時計

PRIVATE

スケジュールアラーム

着信中

DIALING

発信中

TALKING

音声通話中

ACTIVATING TV

テレビ視聴中

■不在着信があったときは

FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「着信がありました」と表示されます。

▲を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前が表示されます。

複数の不在着信があった場合、▲を押すたびに3件までの不在着信履歴が表示されます。

- 不在着信があったあとに、通常の着信を30件以上受けた場合は、不在着信履歴は表示されません。
- ツールグループ（P.367参照）の機能が動作中は、不在着信履歴は表示されません。
- 不在着信履歴を表示すると「着信がありました」の表示は消えます。

■新着メールがあったときは

FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「新着メールあり」と表示されます。

▲を押すと受信したメールの受信日時、送信元、題名が表示されます。電話帳に登録している相手からメールを受信した場合、送信元の名前が表示されます。

SMSを受信した場合、題名には「SMS」と表示されます。

複数のメールを同時に受信した場合、▲を押すたびに3件までのメールが表示されます。

- 「プライベートウィンドウ」の「表示優先設定」の「文字・情報表示」の「メール表示」を「ON」にしておく必要があります。
- セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
- 受信したメールの受信日時、送信元、題名を表示すると「新着メールあり」の表示は消えます。
- 音声電話中やテレビ電話中にメールを受信したときは、プライベートウィンドウに情報は表示されません。

時計を大きく表示する

時計を表示しているときに▲を押して、時計表示のサイズを切り替えることができます。

時計+アイコン表示

拡大時計

お知らせ

- FOMA端末を閉じた状態で▲▼∧∨TVを押すと、バックライトが点灯します。暗い場所でも時刻を確認できます。
- 省電力モードになると、プライベートウィンドウの表示が消えます。▲▼∧∨TVを押すと、再びプライベートウィンドウが表示されます。
- FOMA端末を閉じた状態で▼を押すと、不在着信や新着メールの有無を音と光でお知らせします。（P.132参照）
- スケジュールアラームで表示される画面はスケジュールのアイコンによって異なります。（P.371参照）

メニューの選択方法について

FOMA端末では[メニュー]を押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした9つの大項目アイコンで構成され、4つのグループ（メール・ｉモード・設定・ツール）に分かれています。（P.367参照）大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。選択を繰り返して設定、確認を行います。

■メニュー番号選択

機能によっては、[メニュー]＋メニュー番号を押すと表示されます。

- FOMA端末は、メールグループ、ｉモードグループ、設定グループ、ツールグループの各グループから1つずつ（最大3つ）と、グループに属さない音声電話などの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。（P.367参照）

スクロール選択

ここでは「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

ステップ

メニュー機能の大項目アイコンを選択します

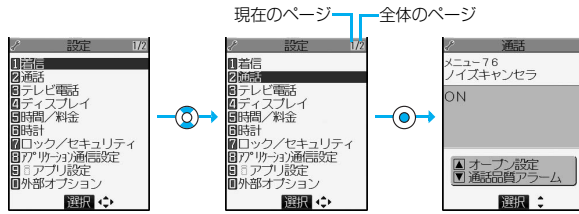
メインメニューから[設定]を選択します。

＜メインメニュー＞

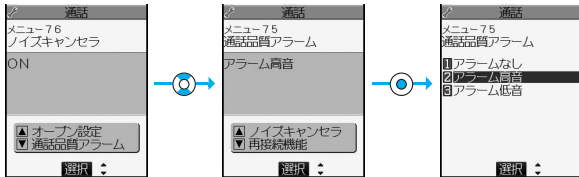
- 色が変わって表示されているアイコンが、現在選択されている大項目アイコンです。
- [下]を押すと下のアイコン、[上]を押すと上のアイコン、[左]を押すと左のアイコン、[右]を押すと右のアイコンに移ります。
- 選択しているアイコンの説明ガイダンスが表示されます。（「メニュー画面設定」で説明ガイダンスを表示しないように設定できます。）
- [方向キー]を押し続けると連続移動します。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

次ページにつづく

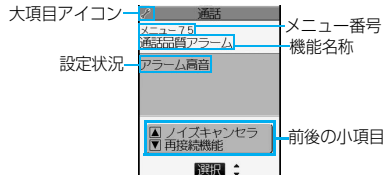
ステップ
2 メニュー機能の中項目を選択します

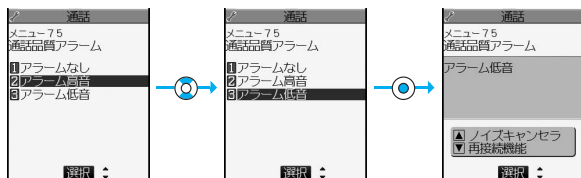
「設定」から「通話」を選択します。

- 反転表示している項目が現在選択されている項目です。
- ◎を押すと下の項目、◎を押すと上の項目を選択します。
- ◎を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。
- ◎または▲▼を押すとページ単位でスクロールします。

ステップ
3 目的の小項目（機能）を選択します

「通話」から「通話品質アラーム」を選択します。

- ◎を押すと下の項目、◎を押すと上の項目を選択します。
- ◎を押し続けると連続スクロールします。

■小項目の選択画面で各機能の設定状況を確認するには

「メニュー画面設定」の「メニュー表示」を「詳細表示」に設定しているときは、機能の設定状況やメニュー番号を確認できます。

4 機能の設定や確認をします

選択した各機能の設定や確認を行います。
機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。
操作の例では「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。

- 反転表示している項目が現在選択されている項目です。
- ◯を押すと下の項目、◯を押すと上の項目を選択します。
- ◯を押し続けると連続スクロールします。

メニュー番号選択

ここでは「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてメニュー番号選択を説明します。

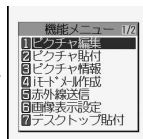
1 メニュー番号で機能を呼び出します

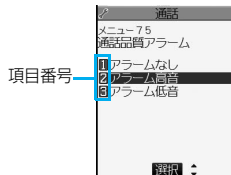
待受画面で(メニュー)(7)(5)を押します。

お知らせ

- メニュー番号については「機能一覧表」を参照してください。(P.446参照)

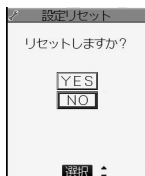
■機能メニュー画面について

- 画面の右下に「機能」が表示されているときにを押すと、機能メニューが表示されます。機能メニューを表示させたときの画面によって、機能メニューの内容は異なります。また、選択できない機能はグレー表示になります。
- それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目が表示されます。
- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。機能メニュー画面の一番上、下の項目からを押すと前、次のページを表示します。またはを押すとページ単位でスクロールします。

■すばやく項目を選択するために<ダイレクト選択>

表示されている項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押しても選択できます。

■メニュー操作が終わったとき／途中でやめるときは

- メニュー操作が終わったとき
  各機能の設定が終わると小項目の選択画面になります。（ただし機能によっては待受画面に戻るものもあります。）各機能の設定が終わったらを押します。メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。（マルチタスク中を除く。）
- メニュー操作を途中でやめるとき
  設定を途中でやめるときはを押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、設定の項目によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示されることがあります。
  また、を押して操作を1つ前の状態に戻せます。

■「YES／NO」または「ON／OFF」を選択する画面のときは

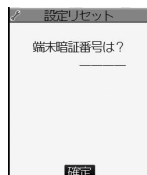
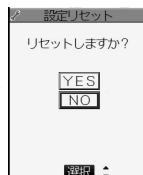
- 「YES／NO」の選択画面のとき
  1.を押して「YES」または「NO」を選択する
  2.を押す

設定リセットの場合

- 「ON／OFF」の選択画面のとき
  1.を押して「ON」または「OFF」を選択する
  2.を押す

ボタン確認音の場合

■暗証番号の入力画面が表示されたときは

機能項目によっては、機能の設定画面が表示される前に「端末暗証番号」の入力画面が表示されることがあります。機能の設定や確認をするには端末暗証番号の入力が必要になります。

1.端末暗証番号を入力し、を押す
端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。

設定リセットの場合

お知らせ

- 選択できない機能はグレー表示になります。

操作の記載例

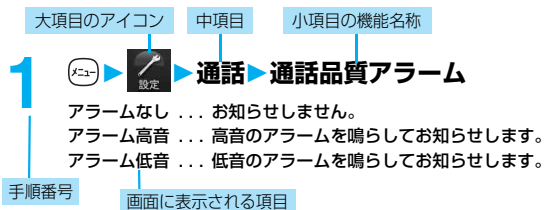
この取扱説明書では、コマンドナビゲーションボタンの操作（上下左右の選択と機能項目を選択したあとの◉）を一部省略して記載しています。

手順の記載例

大項目のアイコン　中項目　小項目の機能名称

1

アラームなし . . . お知らせしません。
アラーム高音 . . . 高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 . . . 低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

手順番号　画面に表示される項目

機能メニューの記載例

機能メニュー	内容
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

ショートカットメニューを表示する

デジタルテレビやアナログテレビ、使いかたナビなどを簡単な操作で起動できます。

1 **メニューを3回押す**

ショートカットメニューが表示されます。

- メニューを2回押すとプライベートメニューが表示されます。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

<ショートカットメニュー>

2 **アイコンを選択▶◉**

<使いかたナビ>

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたナビ」から実行できるものもあります。

1 (メニュー)▶(ツール)▶使いかたナビ

基本の操作 . . . . . 基本的な機能を表示します。手順4へ進みます。
おすすめ機能 . . . おすすめの機能を表示します。手順4へ進みます。
機能検索. . . . . . . 機能を検索します。
検索履歴. . . . . . . 過去の検索履歴を30件まで表示します。手順4へ進みます。

- ショートカットメニューで(使いかたナビ)を選択しても使いかたナビを起動できます。
- 各項目を選択し、(✉)(ヘルプ)を押すと詳しい操作方法が表示されます。

2 手順1で「機能検索」を選択した場合は、検索方法を選択▶(●)

キーワード検索. . . . .キーワードを入力して検索します。
索引検索. . . . . .機能を50音順で検索します。(✉)、(i)を押すと前後の行を表示します。手順4へ進みます。
機能一覧検索 . . . . . .機能の一覧から検索します。手順4へ進みます。

- 各項目を選択し、(✉)(ヘルプ)を押すと詳しい操作方法が表示されます。
  「キーワード検索」を選択し、(✉)(ヘルプ)を押した場合は、「キーワード検索のヘルプ」または「文字入力のしかた」を選択します。

3 キーワードを入力▶(●)

検索結果が50件まで表示されます。

- 全角24文字まで、半角48文字まで入力できます。

4 機能を選択▶(●)

この機能を使う. . . 機能を実行します。各機能の操作を行います。
操作のしかた . . . . 操作方法を表示します。
機能の説明 . . . . . . 機能の説明を表示します。
関連機能. . . . . 関連する機能を10件まで表示します。手順4を繰り返します。

- 機能によっては(●)を数回押して選択します。
- 操作により実行できない項目があります。手順1で「基本の操作」を選択した場合は、「関連機能」は表示されません。
- 機能を選択中に(✉)(説明)を押しても機能の説明が表示されます。

検索履歴表示中の機能メニュー

1 検索履歴表示中▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

お知らせ

- 「バイリンガル」を「English」に設定している場合は操作できません。

FOMAカードを使う

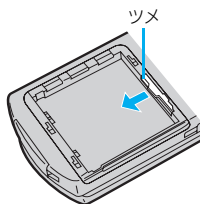
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、ｉモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。
FOMAカードの詳しい取扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

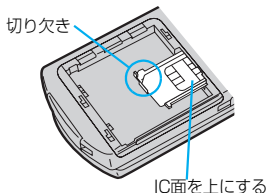
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

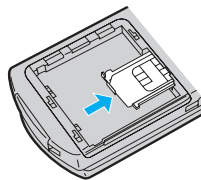
FOMAカードは、電池パックを外してからセットします。（P.44参照）

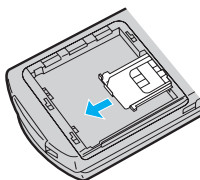
■取り付けかた

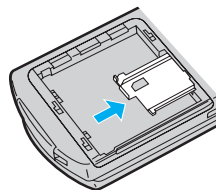
1 ツメの部分を引いてトレイを引き出す

- トレイを「カチッ」と音がするまでまっすぐ引き出します。

2 IC面を上にしてFOMAカードをトレイに載せる

- FOMAカードとトレイの切り欠き部分を合わせてください。

3 トレイを奥に押し込む

- 固定されるまで確実に押し込んでください。

■取り外しかた

1 取り付けかたの手順1に従ってトレイを引き出し、FOMAカードを取り外す

■トレイが外れたときは

トレイをガイドレールに合わせてまっすぐ押し込んでください。

お知らせ

- FOMAカードの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- 電池パックを付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを付けることができません。無理に付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。また、トレイを無理に付けようとするとトレイやガイドレールが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。

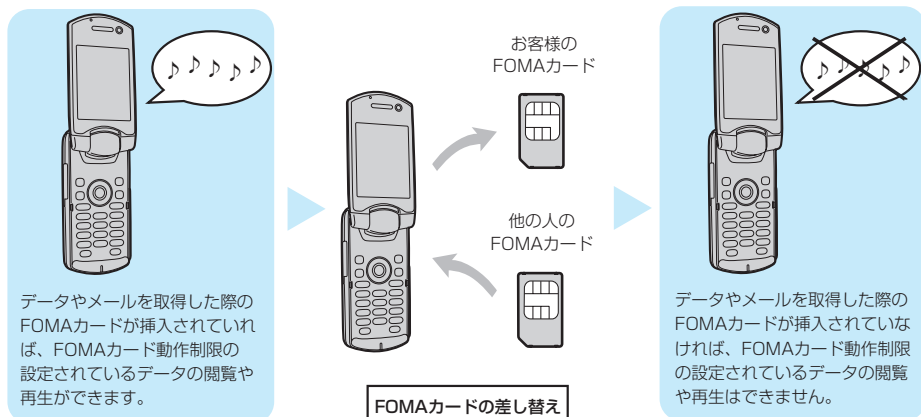
FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。(P.141参照)

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。
FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。
・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。
●データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能により保護されて、取得したデータやファイルは閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などがFOMA端末で実行できなくなります。

このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

●FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「 」が表示されます。
・サイトやインターネットホームページからダウンロードまたは取得したメロディ／画像／ｉモーション／ｉアプリ／キャラ電
・ダウンロード辞書
・メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電／ダウンロード辞書が含まれている画面メモ
・受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像／キャラ電ピクチャ／キャラ電ムービー）
・送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電ピクチャ／キャラ電ムービー）ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除きます。
・ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
・デコメール本文中に挿入されている画像
※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電は、サイトから再びインストール（バージョンアップ）すると本機能の対象になります。

●FOMAカード動作制限機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
  ＜例：ダウンロードした「メロディ A」を着信音に設定したとき＞
  FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、お買い上げ時に設定されていた着信音で鳴ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、「メロディ A」の着信音に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、ダウンロード時に挿入されていたFOMAカードが挿入されていないと、ｉモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択しても起動できません。
- 下記の機能は設定内容がFOMAカードに登録されます。
  ・バイリンガル　・PIN1コード、PIN2コード　・PIN1コード入力設定
  ・SMS有効期間設定　・SMS center設定　・ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード（緑色）」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.98
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	P.221
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	－
サービスダイヤル「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内・受付（DoCoMo インフォメーションセンター）」の利用	利用不可	利用可	P.391

■WORLD WINGについて

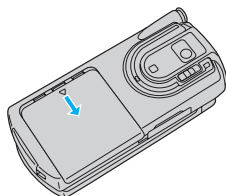
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。
万一、FOMAカード（緑色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

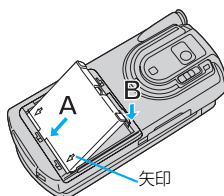
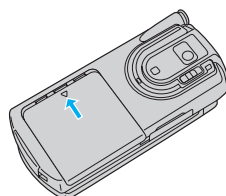
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申し込み手続きが必要となります。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

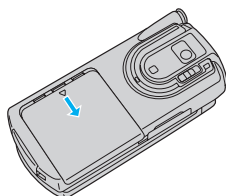
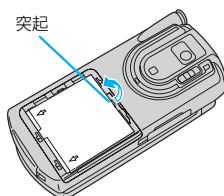
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末専用の電池パック　P06をご利用ください。

■取り付けかた

1 「▷」部分を押しながら、ロックが外れるまで（2mm以上）矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2 矢印面を上にしてAの方向に差し込み、Bの方向に押す

●電池パックのツメを本体の溝に確実に合わせます。

3 リアカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

■取り外しかた

1 「▷」部分を押しながら、ロックが外れるまで（2mm以上）矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる

お知らせ

●電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
●電池パックを付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを付けることができません。無理に付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
●無理に付けようとするとFOMA端末の充電端子が壊れることがあります。
●詳しくは電池パック　P06の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末を充電する

FOMA端末専用の電池パック　P06をご利用ください。
- 電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。

電池の寿命は？
- 電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回の使用時間が購入初期に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池の使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。
  （電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、短時間の充電／放電を繰り返したり、高温になる環境で充電を行ったり、長時間充電状態を継続したりすると電池の寿命が短くなることがあります。）

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について
- 詳しくはFOMA ACアダプタ　01（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ　01（別売）、FOMA DCアダプタ　01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ　01はAC100Vのみに対応しています。
- ACアダプタ、またはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に付けた状態でないと充電できません。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、アナログテレビの視聴やテレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。
- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池の使用時間の目安（電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。）

連続待受時間	静止時：約460時間	移動時：約350時間
連続通話時間	音声電話時：約140分	テレビ電話時：約100分
テレビ視聴時間	デジタルテレビ：約3時間	アナログテレビ：約1時間

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、テレビの視聴、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラを使用すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

電池の充電時間の目安

ACアダプタ	約130分	DCアダプタ	約130分

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 ACアダプタ（別売）を卓上ホルダ（別売）に接続する

2 ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込む

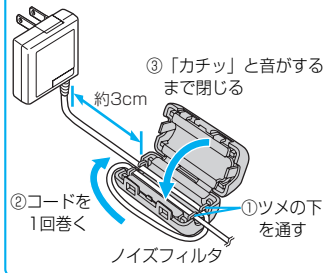
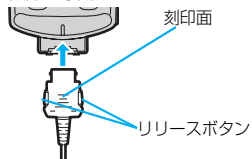
3 FOMA端末を卓上ホルダにのせる

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

- 充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。ただし、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は鳴りません。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかりのせてください。また、市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

4 充電が完了したらFOMA端末を卓上ホルダから取り外す

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

充電しながらアナログテレビを見るときは、ACアダプタのコードにノイズフィルタを取り付けてください。

■ACアダプタのみで充電する
刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。取り外す場合は必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

※ACアダプタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめ水平に行ってください。

■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	ディスプレイ「（電池アイコン）」表示
充電中	赤く点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯

※FOMA端末の電源を切っているときは、「（電池アイコン）」は表示されません。
　電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

■DCアダプタ（別売）
DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはFOMA DCアダプタ　01の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- DCアダプタで充電中、万が一、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

＜電池残量＞

電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

・十分残っているとき. . . . . (白色)
・少なくなっているとき . . . . (白色)
・ほとんど残っていないとき. . . . . (赤色)

●電池の残量がほとんど残っていないときは、充電することをおすすめします。

画面と音で確認する

メニュー 7 1

電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 ▶ ▶**その他**▶**電池残量**

●絵表示は約３秒後に消えます。
●「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」に設定中、または「ボタン確認音」が「OFF」に設定されているときは音は鳴りません。

少なくなっているとき　ほとんど残っていないとき

ピッピッピッ

※電池残量がほとんどありません。
充電してください。

■電池が切れるときは

右のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには▲、▼、∧、∨、TV以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

●通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。
●「マナーモード」、「スーパーサイレント」に設定中、または「オリジナルマナー」で「低電圧アラーム」が「OFF」に設定されているときは、スピーカからの音は鳴りません。

＜電池切れ画面＞

<電源ON／OFF>

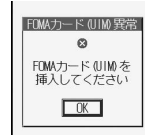
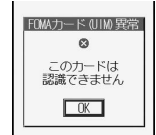
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を1秒以上押す

ウェイクアップ画面（P.123参照）が表示されたあと、待受画面が表示されます。
- 電話帳の登録件数やメールの保存件数などが多い場合、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 日付時刻が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。時計設定が「自動」に設定されている場合、自動的に時刻が補正されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。

<待受画面>

- FOMAカードを付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は警告画面が表示されます。

FOMAカード未装着時・破損時

FOMAカード故障時

■「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは
電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。
PIN1コードについてはP.141参照。

■一定時間何も操作しなかったときは
電源を入れた状態で一定時間何も操作をしなかった場合、ディスプレイとプライベートウィンドウの表示が消え、FOMA端末を開いているときはコマンドナビゲーションボタンが約5秒間隔で点滅します。何か操作をすると画面が表示されます。
- 「画面表示設定」の「省電力」を「OFF」に設定すると、無操作で一定時間経過しても、表示が消えないように設定できます。

電源を切る

1 を2秒以上押す

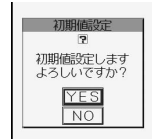
終了画面が表示され、電源が切れます。
- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

お知らせ
- 電源を入れたときに「Starting system Wait a minute」と表示された場合は、しばらく待ってから操作してください。
- 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が切れることがあります。できるだけ が表示されている状態で使用することをおすすめします。

初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、ボタン確認音が設定されていない場合は、電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。

1 電源を入れる▶YES

- P.142「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合は、電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードについてはP.141参照。

2 日付時刻を設定する

自動または手動で時刻を設定するかを選択します。（P.50参照）

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。（P.140参照）
1.「0000」を入力▶◉
2. 新しい端末暗証番号（4～8桁）を入力▶◉▶YES

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。（P.117参照）
1. ON・OFF

お知らせ

- 未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期値設定の画面が表示されます。
- 「端末初期化」を行ったあとも初期値設定の画面が表示されます。
- 設定中に電話がかかってきたり、PWR/HLDまたはクリアを押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期値設定の画面は表示されません。

＜時計設定＞

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時	自動

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。

1 メニュー▶▶時計▶時計設定

自動 . . . . 日付・時刻を自動で補正します。設定が終了します。
「圏外」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付・時刻が設定されていない場合は手動時計設定の画面が表示されます。手順2で日付・時刻を設定してください。
ただし、初期値設定での時計設定時は、手動時計設定の画面は表示されません。
手動 . . . . 日付・時刻を手動で設定します。

2 年、月、日、時刻を入力▶◉

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。
- 年は西暦で入力します。
- 時刻は24時間で入力します。
- 日付・時刻に1桁の数字を入力する場合は、「01」～「09」のようにはじめに「0」を付けて2桁で入力します。

■時刻の補正機能について
電源を入れたときなどに、ドコモネットワークから取得した時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を補正する機能です。日付・時刻が設定されていない場合は、時刻情報を受信したときに時刻が設定されます。日付・時刻が設定されている場合は、「時計設定」を「自動」に設定したときに時刻が補正され、以後は、午前3時（待受画面表示中）に時刻が補正されます。時刻をずらして設定したい場合、手動で設定してください。再度「自動」に設定する場合は、一度電源を入れなおしてから「自動」に設定してください。
- 他の機能が動作中、ソフトウェア更新後の電源ON時、FOMAカードが挿入されていないとき、待受画面に設定したアニメーション、Flash画像などの再生中は、時刻を補正できません。また、電波状況やFOMA端末の電源を入れるタイミング、ｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。
- FOMA端末が時刻情報を取得していない場合は、時計設定を「自動」に設定したり、午前3時になっても補正されません。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

お知らせ

- 通話中にも設定できます。
- 誤った数値（例えば13月）を入力して◉を押すと無効になります。正しい値を入力しなおしてください。
- 時計設定を行わないと次の機能は利用できません。
  - ・通話中の現在時刻表示（P.54、P.80参照）
  - ・カレンダー（P.122参照）
  - ・スケジュール（P.370参照）
  - ・ソフトウェア更新（P.491参照）
  - ・スキャン機能のパターンデータ更新（P.495参照）
  - ・アラーム（P.368参照）
  - ・ToDo（P.374参照）
  - ・ｉアプリの自動起動（P.308参照）
  - ・視聴予約（P.322参照）
- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されますが、約2週間以上電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度時計設定を行ってください。また、お買い上げ後初めてお使いになるときは、FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 本機能で設定できるのは、2005年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

<発信者番号通知>

相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機がFOMA端末や携帯電話サービスの端末などのデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときだけ利用できます。

- 発信者番号通知には、以下の3つの設定方法があります。
  - ・1回の通話のたびに設定する
  - ・「186／184」を付ける
  - ・あらかじめネットワークに設定する

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

1回の通話のたびに発信者番号を通知するかどうかを設定します。

1 電話番号を入力
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (i)(機能)▶発番号設定▶通知しない・通知する

- 「発番号設定」を解除する場合は、「発番号設定消去」を選択します。音声電話またはテレビ電話の場合は「発信者番号通知設定」の設定に従います。

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

■発信者番号を通知する場合（「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定しているときに有効）
186＋相手先の電話番号＋(発信キー)

■発信者番号を通知しない場合（「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定しているときに有効）
184＋相手先の電話番号＋(発信キー)

お知らせ

- リダイヤル・発信履歴には「186／184」が先頭に付加されて記憶されます。

あらかじめネットワークに設定する

(メニュー)(1)(7)

サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

1 (メニュー)▶(サービス)▶発信者番号通知▶以下の操作を行う

項目	内容
発信者番号通知設定	発信者番号を通知するかしないかをネットワークに設定します。 **▶通知する・通知しない▶ネットワーク暗証番号を入力▶(●)** ● ネットワーク暗証番号についてはP.140参照。
発信者番号通知設定確認	「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。 ● 確認が終われば(●)を押します。

お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、「発番号設定」または「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定するか、相手の電話番号の前に「186」をつけて再度電話をかけ直してください。

＜自局番号表示＞

自分の電話番号を確認する

現在取り付けているFOMAカードのご契約電話番号（自局番号）を表示します。

1 メニュー▶ユーザデータ▶**自局番号表示**

メールアドレスが登録されている場合は、Ｏを押して1番目のメールアドレスを表示できます。

- 個人データの登録／表示についてはP.376参照。

＜自局番号表示画面＞

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

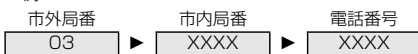
電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

<例>

市外局番		市内局番		電話番号
03	▶	XXXX	▶	XXXX

- 携帯電話にかけるとき

090−XXXX−XXXX 080−XXXX−XXXX	相手の電話番号（11桁）

- PHSにかけるとき

070−XXXX−XXXX	相手の電話番号（11桁）

- 27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。
- 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、（登録）を押します。P.100手順2へ進みます。

2 または▶相手が出たら話す

- 発信中は、画面の右上に「」が点滅し、通話中は点灯します。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス（P.390参照）が聞こえたときは、P.51「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。
- 通話中にFOMA端末を閉じたり、ビューアスタイルに切り替えると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。（P.67参照）
- 日付時刻が設定されているときは、通話中画面に現在時刻が表示されます。

3 お話が終わったらで通話を終了する

お知らせ

- ｉモード中またはメールの送受信中でも「マルチアクセス」で音声電話をかけることができます。
- 64Kデータ通信中、テレビ電話中には音声電話はかけられません。
- 通話中に通話中以外の画面を表示させた場合、を数回押すと通話中画面に戻ります。
- を押してから相手の電話番号を入力しても電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときはを押して表示を消してからおかけ直しください。

■発信中の表示

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.105参照）で先に表示される名前が表示されます。
- PIMロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

■電話番号を押し間違えたときは

を押すたびに、右端から1文字ずつ数字が消えます。を1秒以上押すと数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- を押してカーソルを移動させ、を押すとカーソルの位置の数字が消えます。を1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから右にある数字がすべて消えます。

■えチャット

音声電話中の相手に、その場で撮影した静止画や保存されている静止画を送信できます。（P.247参照）

電話番号入力中の機能メニュー

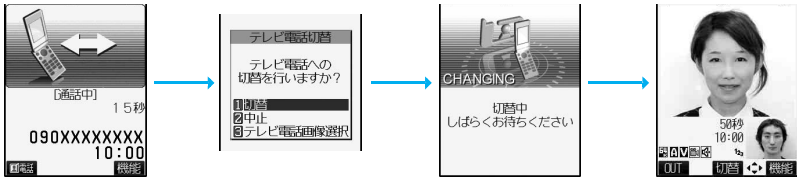
1 電話番号入力中▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。(P.51参照)
プレフィックス	プレフィックスを付加します。(P.62参照)
国際電話発信	国際電話をかけます。(P.60参照)
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.392参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.100参照)
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。
通信速度設定	テレビ電話の通信速度を設定します。(P.82参照)
テレビ電話画像選択	テレビ電話の画像を選択します。(P.91参照)

音声電話からテレビ電話へ切り替える

発信者が音声通話中にテレビ電話に切り替えることができます。
相手側が切り替え可能な端末の場合、「V電話」が表示され、音声電話からテレビ電話への切り替えができます。(音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。)

1 音声電話中▶✉(V電話)▶切替

- 相手に送信する画像を選択する場合は、「テレビ電話画像選択」を選択します。P.91手順2へ進みます。
- 「中止」を選択した場合、切り替えを中止し、音声電話に戻ります。
- 切り替え中は「切替中」の画面が表示され、切り替え中である旨の音声ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- iモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。パケット通信中の場合、通信を終了するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンをご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話からテレビ電話に切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。
- 相手がテレビ電話切替機能通知を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。テレビ電話切替機能通知についてはP.91参照。
- ハンズフリー設定中に音声電話からテレビ電話に切り替えてもハンズフリーは解除されません。「切替中」の表示中はハンズフリーをON／OFFできません。
- 切り替え中は通話品質アラーム、再接続機能のアラームは鳴りません。
- テレビ電話から音声電話への切り替えについてはP.83参照。

<リダイヤル>

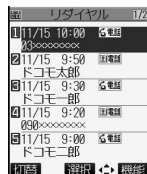
前にかけた相手にかけ直す

かけた相手の電話番号、発信日時を「リダイヤル」と「発信履歴」に記憶します。「リダイヤル」には、音声電話とテレビ電話の発信を合わせて30件記憶し、同じ番号にかけると古いデータは削除されます。
「発信履歴」には、音声電話とテレビ電話の発信を30件、64Kデータ通信とパケット通信の発信を30件記憶し、同じ番号にかけた古いデータも残ります。

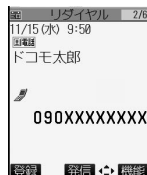
- リダイヤル・発信履歴のアイコンについてはP.68参照。
- 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。ただし、電源を切ってもリダイヤル・発信履歴は削除されません。

リダイヤルを利用する

1 待受画面▶◎

- テレビ電話中は、リダイヤルを表示できません。
- 最新のデータが一番上に表示されます。
- (発信キー)を押すと、選択している相手に音声電話をかけることができます。また、(カメラキー)を押すとテレビ電話発信します。
- (メールキー)(切替)を押すと送信アドレス一覧画面が表示されます。

<リダイヤル一覧画面>

2 リダイヤルを選択▶◎

- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.105参照）で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
- (発信キー)または◎を押すと、表示している電話番号に音声電話をかけることができます。また、(カメラキー)を押すとテレビ電話発信します。
- 電話帳に登録する場合は、(メールキー)(登録)を押します。P.100手順2へ進みます。

<リダイヤル詳細画面>

お知らせ

- 待受画面で(発信キー)((カメラキー))を押して◎を押すと最新のリダイヤルの電話番号に音声電話（テレビ電話）をかけることができます。
- マルチナンバーの付加番号で発信した場合は、リダイヤル詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名と番号が表示されます。

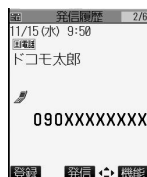
発信履歴を利用する

1 (メニュー)▶(ユーザデータ)▶発信履歴

- 最新のデータが一番上に表示されます。
- (発信キー)を押すと、選択している相手に音声電話をかけることができます。また、(カメラキー)を押すとテレビ電話発信します。
- (メールキー)(切替)を押すと送信アドレス一覧画面が表示されます。

<発信履歴一覧画面>

2 発信履歴を選択▶◎

- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.105参照）で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
- (発信キー)または◎を押すと、表示している電話番号に音声電話をかけることができます。また、(カメラキー)を押すとテレビ電話発信します。
- 電話帳に登録する場合は、(メールキー)(登録)を押します。P.100手順2へ進みます。

<発信履歴詳細画面>

お知らせ

- 64Kデータ通信の発信履歴は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用した場合のみ記憶されます。
- マルチナンバーの付加番号で発信した場合は、発信履歴詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名と番号が表示されます。

リダイヤル・発信履歴表示中の機能メニュー

1 リダイヤル・発信履歴表示中▶(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。（P.51参照）
プレフィックス	プレフィックスを付加します。（P.62参照）
国際電話発信	国際電話をかけます。（P.60参照）
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。（P.392参照）
電話帳登録	電話帳に登録します。（P.100参照）
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.292手順3へ進みます。
送信アドレス一覧	送信アドレス一覧画面を表示します。（P.276参照）
1件削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいリダイヤル、発信履歴にチェック**▶(完了)▶YES ●を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶▶YES
通信速度設定	テレビ電話の通信速度を設定します。（P.82参照）
テレビ電話画像選択	テレビ電話の画像を選択します。（P.91参照）

お知らせ

<1件削除><選択削除><全削除>

- 「全削除」を行うと、リダイヤル・発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残ります。発信履歴を削除するときは、発信履歴表示中の機能メニューから削除してください。

＜ポーズダイヤル＞

プッシュ信号を手早く送り出す

お買い上げ時	未登録

FOMA端末からプッシュ信号を送って、ポケットベル※へのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤルを登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ（p）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 メニュー▶設定▶**その他▶ポーズダイヤル▶**✉（編集）

●すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。

＜ポーズダイヤル画面＞

2 **ダイヤルデータを入力▶**◉

●ポーズ（p）は＊を1秒以上押して入力します。
●入力できる文字は、0〜9、＃、＊およびポーズ（p）のみです。
●128桁まで入力できます。
●ポーズダイヤルの先頭にポーズ（p）を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤル画面の機能メニュー

1 **ポーズダイヤル画面▶**ｉ（機能）**▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
編集	P.58「ポーズダイヤルを登録する」手順2へ進みます。
ポーズダイヤル送信	P.58「ポーズダイヤルを送信する」手順2へ進みます。
削除	▶YES

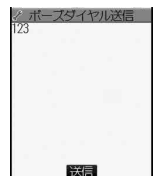
ポーズダイヤルを送信する

1 メニュー▶設定▶**その他▶ポーズダイヤル▶**◉

2 **電話番号を入力▶**発信**または**◉

相手に音声電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ（p）までが表示されます。

3 **相手が応じたことを確認▶**発信**または**◉

最初のポーズ（p）までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ（p）までのダイヤルデータが表示されます。
発信または◉を押すごとに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。
最後の番号を送り終えると通話画面になります。
●ダイヤルデータをまとめて送出するときは、◉を1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

- 通話中にポーズダイヤル画面の機能メニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

＜WORLD CALL＞

国際電話の利用について

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています。（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます。）

- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話等の移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話等から国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

■海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法のあとに［カメラ］を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

電話番号を入力して国際電話をかける

1 **009130→010→国番号→市外局番→相手先電話番号の順に入力 ▶［発信］または［●］**

- 市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- ［カメラ］を押すと国際テレビ電話発信します。

「＋」を利用して国際電話をかける

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに［0］を1秒以上押すと「＋」が入力できます。「＋」を利用すれば、009130−010などの国際アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げ時は「国際ダイヤル設定」の「自動付加設定」が「自動付加」に設定されているため、国際アクセス番号が自動的に入力されます。

1 **［0］（1秒以上）▶国番号→市外局番→相手先電話番号の順に入力 ▶［発信］または［●］**

- 市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
- ［カメラ］を押すと国際テレビ電話発信します。

2 **発信**

- 「元の番号で発信」を選択した場合は、国際アクセス番号を付加せずに発信します。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

次ページにつづく

お知らせ

●「＋」のあとに81（日本の国番号）を入力した場合は国際アクセス番号を付加しません。

国際電話発信

電話番号の先頭で0を1秒以上押して入力した「＋」を「国際電話設定」の国際アクセス番号に置き換えて発信します。

1 電話番号を入力
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 （機能）▶国際電話発信▶または

● を押すと国際テレビ電話発信します。

■電話番号の先頭が「＋」以外のときは
手順2で国名称の選択画面が表示されます。国名を選択すると、国際アクセス番号と国番号を付加します。
●電話番号が「0」で始まる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。

<国際ダイヤル設定>

国際電話の設定をする

自動付加設定

お買い上げ時	自動付加

電話番号の先頭で0を1秒以上押して入力した「＋」を自動的に「国際電話設定」の国際アクセス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。

1 ▶設定▶その他▶国際ダイヤル設定▶自動付加設定▶自動付加・付加なし

●「付加なし」を選択した場合は、設定が終了します。

2 国名称（国名）を選択▶

●国番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、P.61「国番号設定」手順2へ進みます。

国際電話設定

お買い上げ時	WORLD CALL（009130010）

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を変更します。

1 ▶設定▶その他▶国際ダイヤル設定▶国際電話設定▶（編集）

2 登録名（国際アクセス名）を入力▶▶国際アクセス番号を入力▶

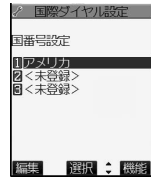
●国際アクセス名は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。
●国際アクセス番号は10桁まで入力できます。

国番号設定

お買い上げ時	アメリカ（1）

国番号を3件まで登録できます。

1 メニュー▶設定▶**その他▶国際ダイヤル設定▶国番号設定▶<未登録>を選択▶✉（編集）**

●登録済みの国名を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **国名称（国名）を入力▶◉▶国番号を入力▶◉**

●国名は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。
●国番号は5桁まで入力できます。ただし、#、⁎、＋は使用できません。

国番号設定表示中の機能メニュー

1 **国番号設定表示中▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
編集	P.61「国番号設定」手順2へ進みます。 ●✉（編集）を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>
●「自動付加設定」で設定されている国番号は削除できません。

<プレフィックス設定>
電話番号の先頭に付加する番号を登録する

お買い上げ時	WORLD CALL（009130010）

国際アクセス番号や「184」「186」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。7件まで登録できます。

1 メニュー▶設定▶**その他▶プレフィックス設定▶<未登録>を選択▶✉（編集）**

●登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。

2 **登録名（プレフィックス名）を入力▶◉▶プレフィックス番号を入力▶◉**

●プレフィックス名は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。
●プレフィックス番号は10桁まで入力できます。入力に使用できるボタンは、0〜9、#、⁎のみです。

プレフィックス設定表示中の機能メニュー

1 プレフィックス設定表示中▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
編集	P.61「電話番号の先頭に付加する番号を登録する」手順2へ進みます。 ●(✉)(編集)を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶(●)▶YES

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 電話番号を入力
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (i)(機能)▶プレフィックス▶プレフィックスを選択▶(●)▶(通話)または(●)

● (カメラ)を押すとテレビ電話発信します。

<サブアドレス設定>

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

電話番号の「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

●サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 (メニュー)▶(設定)▶その他▶サブアドレス設定▶ON・OFF

お知らせ

●「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「＊」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「＊」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

<再接続機能> (メニュー)(7)(7)

再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時	アラームなし

電波の状態が悪くなって通話が途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶通話▶再接続機能▶アラームを選択▶(●)

お知らせ

●ご利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。
●電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

<ノイズキャンセラ>

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

音声電話中の騒音を抑え、自分の声と受話口から聞こえる相手の声を明瞭にして通話できます。

1 ▶ ▶ **通話** ▶ **ノイズキャンセラ** ▶ **ON・OFF**

お知らせ

- テレビ電話中は常にノイズキャンセラが有効となります。

<ハンズフリー>

ハンズフリーに切り替える

通話中の相手の音声など、通常は受話口から聞こえる音声がスピーカから流れます。

1 **通話中** ▶ [ハンズフリーキー]

ハンズフリー設定中は、「[ハンズフリーアイコン]」が表示されます。

- もう一度[ハンズフリーキー]を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。ハンズフリーをOFFにするか、通話を終了するとマナーモードに戻ります。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカから流れます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

お知らせ

- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカから流れません。
- ハンズフリーを「ON」に設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。
- 通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。ハンズフリーをOFFにして通話してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

<車載ハンズフリー>

ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
車載ハンズフリーキット 01（別売）を利用する場合は、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01（別売）が必要です。
※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

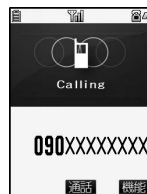
次ページにつづく

お知らせ

- USB接続で使用する場合には、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときやビューアスタイルに切り替えたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じたりビューアスタイルに切り替えても通話状態は変わりません。

電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅する

- マナーモード、スーパーサイレントに設定すると、着信音は鳴りません。（P.119、P.120参照）
- 着信中はプライベートウィンドウに情報が表示されます。
- 国際電話がかかってきたときは、電話番号の右上に「」が表示されます。

2 または で電話に出る

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているとき、またはビューアスタイルのときに、、、を押して応答すると、通話中保留になります。「クローズ動作設定」を「ミュート」または「終話」に設定していた場合は相手には無音となり、「保留」に設定していた場合は保留音が流れます。FOMA端末を開くと、通話を開始できます。
- 「オープン設定」を「着信継続」、「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定している場合、FOMA端末を閉じているとき、またはビューアスタイルにしているときに電話がかかってきたときはFOMA端末を開くと着信音を止める（クイックサイレント）ことができます。
- 通話中にFOMA端末を閉じたり、ビューアスタイルに切り替えると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。（P.67参照）

■エニーキーアンサー
かかってきた音声電話に出るときは、以外に～、、、※、（コマンドナビゲーションボタンの上下左右）、、、、のいずれかのボタンを押してもすぐに通話状態になります。
※「切替」が表示されているときは通話を開始できません。
- 「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定しておくと、ボタンを押して着信音だけを止めることができます。

3 お話が終わったらで通話を終了する

お知らせ

- お話し中に「ププ…ププ…」という音<通話中着信音>が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
  留守番電話サービス . . . . 留守番電話サービスセンターへ転送できます。（P.386参照）
  キャッチホン . . . . 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。（P.386参照）
  転送でんわサービス . . . . 登録した転送先へ転送できます。（P.388参照）
- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」で、電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたときの、呼出動作が開始するまでの時間を設定できます。
- 「登録外着信拒否」で電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。

■着信中の表示

相手の電話番号が通知されたとき

電話帳に相手の名前、電話番号および画像が登録されている場合は、相手の名前、電話番号、アイコンまたは画像が表示されます。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.105参照）で先に表示される名前が表示されます。
- PIMロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
- 転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。（転送元によっては表示されないことがあります。）
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。（転送されてきた電話の場合は、✉（切替）を押して転送元の表示と切り替えることができます。）

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。（P.152参照）

音声電話着信中の機能メニュー

1 音声電話着信中▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
着信拒否	電話を受けないで着信をそのまま切ります。 ●「オープン設定」の「電話」を「着信応答」に設定し、閉じた状態やビューアスタイルで着信した場合は、「着信拒否」はできません。
転送でんわ	転送先に転送します。（P.388参照）
留守番電話	留守番電話サービスセンターに接続します。（P.386参照）

テレビ電話に切り替わったときの画像を選ぶ

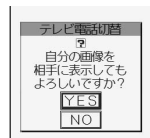
音声電話中に相手がテレビ電話に切り替えると自分のカメラ画像を送信するかどうかの確認画面が表示され、送信する画像を選択します。

- 切り替え操作は、発信した側からのみ行えます。

1 音声電話中にテレビ電話切替の画面が表示される

YES. . . . . . . 自分のカメラ画像を相手に送信します。
NO. . . . . 内蔵の代替画像を相手に送信します。

- 切り替え中は、切り替え中である旨のメッセージが表示され、音声ガイダンスが流れます。

電話のかけかた／受けかた
電話を受ける

<着信アンサー設定> [メニュー][5][8]

着信時のボタン動作を設定する

お買い上げ時	エニーキーアンサー

電話がかかってきたとき、[●]、[通話]、[カメラ]（テレビ電話の場合）以外のボタンで通話を開始したり（エニーキーアンサー）、着信音を止める（クイックサイレント）ように設定できます。

1 [メニュー]▶[設定]▶**着信**▶**着信アンサー設定**▶**ボタン動作を選択**▶[●]

エニーキーアンサー
以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	[●]、[通話]、[0]～[9]、[＊]、[クリア]、[メール]※、[マルチ]、[▲]、[∧]、[∨]、[TV]

●テレビ電話がかかってきた場合、[●]、[通話]、[カメラ]で通話を開始できます。

クイックサイレント
以下のボタン操作で着信音、バイブレータを止められます。「オープン設定」を「着信継続」に設定している場合は、FOMA端末を開いても着信音、バイブレータを止められます。着信音、バイブレータを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話・テレビ電話	[0]～[9]、[＊]、[クリア]、[メール]※、[マルチ]、[▲]、[∧]、[∨]、[TV]

●上記のボタン操作で着信音、バイブレータを止めたあとに、[●]、[通話]、[カメラ]（テレビ電話の場合）を押すと通話を開始できます。

OFF
以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	[●]、[通話]
テレビ電話	[●]、[通話]、[カメラ]

※「切替」が表示されているときは、通話を開始したり、着信音やバイブレータを止めたりできません。

お知らせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、「マナーモード」を設定したときには、「エニーキーアンサー」として機能します。
- エニーキーアンサー／クイックサイレント設定時でも、[5]を1秒以上押すと、バックライトON/OFF切替となり、エニーキーアンサー／クイックサイレントは働きません。
- サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じている状態では[▲]、[∧]、[∨]、[TV]を押しても、エニーキーアンサー／クイックサイレントは働きません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。（P.381参照）テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。
- 「オープン設定」を「着信応答」に設定している場合は、「着信アンサー設定」に関わらず、FOMA端末を開いて音声電話、テレビ電話を受けることができます。

<オープン設定>

着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

お買い上げ時	着信継続

FOMA端末を閉じた状態やビューアスタイルで着信中に、FOMA端末を開いたりノーマルスタイルやスイッチスタイルにしたときの動作を設定します。

1 [メニュー]▶[設定]▶**着信**▶**オープン設定**▶**着信の種類を選択**▶[●]▶**着信継続・着信応答**

お知らせ

- 「着信応答」に設定してテレビ電話を受けた場合、相手には「画像選択」の「代替画像選択」で設定した画像が送信されます。
- 「着信応答」に設定して閉じた状態やビューアスタイルで着信した場合、応答保留（P.70参照）、着信拒否（P.65、P.84参照）、着信中の留守番電話サービス（P.386参照）、着信中の転送でんわサービス（P.388参照）は利用できません。
- 「着信応答」に設定していても、「呼出時間表示設定」で設定した無音時間内の着信や、キャッチホンをご契約され、通話中に着信があった場合は「着信継続」の動作となります。

<クローズ動作設定> メニュー 1 8

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

お買い上げ時	終話

通話中にFOMA端末を閉じたときや、ビューアスタイルにしたときの動作を設定します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **着信** ▶ **クローズ動作設定**

ミュート. . . . 音声をミュート（消音）します。保留音は流れません。設定が終了します。
保留 . . . . 相手に「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れます。
終話 . . . . 通話を終了します。通話中に PWR HLD を押す操作と同じです。設定が終了します。

2 **鳴動する・鳴動しない**

鳴動する. . . . . 保留音をスピーカから流します。
鳴動しない . . . . 保留音をスピーカから流しません。

お知らせ

- 本機能は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは無効になります。音声電話中にFOMA端末を閉じたり、ビューアスタイルにしても通話状態は変化しません。テレビ電話中にFOMA端末を閉じた場合は代替画像が送信され、ビューアスタイルにした場合は通話状態は変化しません。
- テレビ電話中にFOMA端末を閉じたり、ビューアスタイルにしたときは、「ミュート」に設定していると、相手には代替画像が送信されます。
  「保留」に設定していると、「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が送信されます。
- 「ミュート」「保留」に設定していると、FOMA端末を閉じたときに、プライベートウィンドウに「保留中です」と表示されます。
- 「終話」に設定していても、FOMA端末を閉じたりビューアスタイルにしたときに、マルチタスク中のｉモードグループの機能やツールグループの機能は終了しません。

<着信履歴> メニュー 2 4

着信履歴を利用する

かかってきた相手の電話番号、着信日時を「着信履歴」に記憶します。「着信履歴」には、音声電話とテレビ電話の着信を合わせて30件、64Kデータ通信とパケット通信を合わせて30件記憶します。

- **通話中に音声電話／テレビ電話を相手が切り替えた場合、最初に着信した電話が「着信履歴」に記憶されます。**
- **30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。ただし、電源を切っても着信履歴は削除されません。**

1 メニュー ▶ ユーザデータ ▶ **着信履歴** ▶ **全着信・不在着信**

- 未確認の不在着信がある場合は、未確認件数が表示されます。
- 待受画面で ◎ を押しても右の画面が表示されます。
- 最新のデータが一番上に表示されます。
- ☎ を押すと、選択している相手に音声電話をかけることができます。また、カメラ を押すとテレビ電話発信します。
- ✉（切替）を押すと受信アドレス一覧画面が表示されます。

<着信履歴一覧画面>

次ページにつづく

2 着信履歴を選択▶◉

＜着信履歴詳細画面＞

- 相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。
  また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.105参照）で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
  パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先（APN）が表示されます。
  相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 不在着信の場合は、着信日付・時刻の右に呼出時間が表示されます。
- またはを押すと、表示している電話番号に音声電話をかけることができます。
  また、を押すとテレビ電話発信します。
- 電話帳に登録する場合は、（登録）を押します。P.100手順2へ進みます。

お知らせ

- 「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定している場合、無音時間内の不在着信は着信履歴には表示されません。
- 待受画面で（）を押してを押すと最新の着信履歴の電話番号に音声電話（テレビ電話）をかけることができます。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、着信履歴詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名と番号が表示されます。
- 64Kデータ通信、パケット通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールやSMSを作成したりできません。
- ダイヤルインをご利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

■リダイヤル・発信履歴・着信履歴のアイコン

アイコン	説明
電話／不在※	音声電話の発着信／不在着信
電話／不在※	テレビ電話の発着信／不在着信
伝言	伝言メモに用件を録音
遠隔	遠隔監視の着信
電話／不在※	国際電話の発着信／不在着信
電話／不在※	国際テレビ電話の発着信／不在着信

アイコン	説明
	64Kデータ通信の発信
64K／不在※	64Kデータ通信の着信／不在着信
	パケット通信の発信
パケット／不在※	パケット通信の着信／不在着信
接続ｶﾝ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信・パケット通信の着信

※ 未確認の不在着信の場合は、薄い紫色で表示されます。

着信履歴表示中の機能メニュー

1 着信履歴表示中▶（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。（P.51参照）
プレフィックス	プレフィックスを付加します。（P.62参照）
国際電話発信	国際電話をかけます。（P.60参照）
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。（P.392参照）
呼出時間表示	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、無音時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。 ●着信履歴詳細画面・不在着信履歴の機能メニューからは操作できません。
電話帳登録	電話帳に登録します。（P.100参照）
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
ｉモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.292手順3へ進みます。

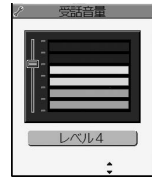
機能メニュー	内容
受信アドレス一覧	受信アドレス一覧画面を表示します。(P.277参照)
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい着信履歴にチェック▶(完了)▶YES ●を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(機能)を押して「全選択/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶▶YES
通信速度設定	テレビ電話の通信速度を設定します。(P.82参照)
テレビ電話画像選択	テレビ電話の画像を選択します。(P.91参照)

<受話音量>
相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	レベル4

1 待受画面▶(1秒以上)▶で受話音量を調節

レベル1(最小)〜レベル6(最大)の6段階で調節します。音量を上げるときはまたはを、音量を下げるときはまたはを押します。

- 着信中は調節できません。通話中または待受中に調節してください。
- 音声電話中はを1秒以上またはテレビ電話中はまたはを押しても受話音量調節画面を表示できます。
- 受話音量調節画面の表示後、2秒以内にまたはを押して受話音量を調節してください。

<受話音量調節画面>

お知らせ

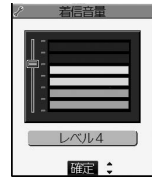
- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話時の音量も調節されます。

<着信音量>
メニュー 5 0
着信音の音量を調節する

お買い上げ時	レベル4

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 メニュー▶設定▶着信▶着信音量▶着信の種類を選択▶▶で音量を調節▶

- 着信音量を「消去」に設定中は、以下のアイコンが表示されます。
  - :音声電話またはテレビ電話の着信音量を「消去」
  - :メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
  - :音声電話、テレビ電話・メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音量を「消去」
- 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1〜6の順で約3秒ごとに音量が上がります。

お知らせ

- 着信中は着信音量を調節できません。
- メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音量を「消去」以外に設定していても、P.118「メール/メッセージ鳴動」を「OFF」に設定している場合は「」が表示され、着信音は鳴りません。

＜応答保留＞

すぐに電話に出られないとき保留にする

1　着信中▶[PWR HLD]

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。
- マナーモード中や「着信音量」の「電話」が「消去」に設定されているときは確認音は鳴りません。
- 相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2　電話に出られるようになったら[通話]、[カメラ]または[●]で保留を解除する

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、[0]～[9]、[*]、[クリア]、[メール]、[○]、[▲]、[∧]、[∨]、[TV]または[▼]、[#]、[i]を押しても音声電話の保留を解除できます。
- テレビ電話を保留していた場合、[カメラ]を押して保留を解除すると、相手にカメラ画像が送信されます。[通話]または[●]を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中に[PWR HLD]を押すと、通話が切れます。
- 「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態やビューアスタイルで着信した場合は、「応答保留」はできません。

＜通話中保留＞

通話中に保留にする

1　通話中▶[クリア]

- 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を閉じたりビューアスタイルに切り替えても保留できます。

2　電話に出られるようになったら[通話]または[クリア]で保留を解除する

- 音声電話を保留していた場合、[●]を押しても保留を解除できます。
- テレビ電話を保留していた場合、[カメラ]を押しても保留を解除できます。[カメラ]を押して保留を解除すると、相手にカメラ画像が送信されます。[通話]または[クリア]を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を閉じるかビューアスタイルに切り替えて保留にしていた場合、FOMA端末を開くか、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると電話に出ることができます。平型スイッチ付イヤホンマイクを接続してテレビ電話に出る場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ

- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

＜保留音設定＞
保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音：応答保留音1　通話中保留音：主よ人の望みの喜びよ

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 メニュー▶設定▶**通話▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音**

応答保留音1……………「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。応答保留音にのみ設定できます。
応答保留音2……………「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。応答保留音にのみ設定できます。
主よ人の望みの喜びよ……メロディが流れます。通話中保留音にのみ設定できます。
おしゃべり1……………「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。録音されていないときは表示されません。
おしゃべり2……………「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。録音されていないときは表示されません。

お知らせ
- ✉（デモ）を押すと保留音が再生されます。クリアを押すとデモ再生が終了します。

＜公共モード（ドライブモード）＞
公共モード（ドライブモード）を利用する

お買い上げ時	解除

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 **待受画面▶✱（1秒以上）**

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 公共モードを解除するには、同様の操作を行います。公共モードが解除され、「🚗」が消えます。

お知らせ
- 「伝言メモ」をONに設定していても公共モードのガイダンスが優先され、「伝言メモ」は無効となりますのでご注意ください。
- 公共モードの設定／解除ができるのは、待受中のみです。「圏外」表示が出ているときも、設定／解除はできます。
- 公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。ただし、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけた場合、公共モードは解除されます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。
- 公共モードとマナーモードを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。
- 公共モード中に遠隔操作でロックをかけると、公共モードガイダンスは流れずに、遠隔ロックが設定された旨のメッセージが流れ、電話が切れます。（P.145参照）
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。（公共モードガイダンスは流れません。）

次ページにつづく

■公共モード（ドライブモード）に設定すると

・電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
ただし、電源が入っていないときや画面に「圏外」表示が出ているときは、公共モードガイダンスは流れずに「圏外」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。
・メールやメッセージを受信しても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも点滅しません。また、バイブレータを設定していても振動しません。
・64Kデータ通信の着信音、アラーム音、充電確認音、ｉアプリ実行中のメロディも鳴りません。

■公共モード（ドライブモード）に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モードガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続されます。※2
転送でんわサービス	相手に公共モードガイダンスを流し、転送先に転送します。※1 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
キャッチホン	相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。

※1 呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、公共モードガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「不在着信あり」のアイコン、「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。
※2 2006年7月現在、留守番電話サービスセンターに接続されず、切断されます。

<公共モード（電源OFF）>

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 「＊25251」を入力▶

公共モード（電源OFF）が設定されます。（待受画面上の変化はありません。）
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モード（電源OFF）を解除するには、「＊25250」に発信します。
- 公共モード（電源OFF）の設定状況を確認するには、「＊25259」に発信します。

■公共モード（電源OFF）に設定すると

「＊25250」に発信して公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

■公共モード（電源OFF）に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続されます。※2
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流し、転送先に転送します。※1 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モード（電源OFF）ガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示し、切断します。

※1 呼出時間を0秒に設定したときは、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
※2 2006年7月現在、留守番電話サービスセンターに接続されず、切断されます。

かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）や新着メールがあったとき、伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージが録音されているときは、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択してその機能へ移ります。
各アイコンについてはP.134参照。

1 待受画面▶◉

アイコンの説明が表示されます。
●(PWR HLD)または(クリア)を押すと元の状態に戻ります。

お知らせアイコン

2 ◉を押す

●アイコンが複数あるときは◎でアイコンを選択し、◉を押します。

■FOMA端末を閉じているときは
プライベートウィンドウに表示されます。
(▲)を押すと不在着信履歴が表示されます。（P.34参照）

お知らせ

- 「お知らせアイコン」から確認画面を表示する操作の途中で電話をかけることはできません。このとき「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しているときは、アラーム通知もされません。
  PWR HLDまたはクリアを押して待受画面に戻してから操作を行ってください。
- 「新着メールあり」のアイコンがないときでも、iモードセンターにはFOMA端末で受信されていない新着メールがある場合があります。また、「留守番電話あり」のアイコンがないときでも、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがある場合があります。
- 「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するにはクリアを1秒以上押してください。
- 「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているときに無音時間内の不在着信があった場合は、「不在着信あり」のアイコンは表示されません。

<伝言メモ>

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスをご契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音できます。
1件につき約20秒間で、音声電話とテレビ電話合わせて5件まで録音できます。

伝言メモを設定する

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答メッセージ：標準（ON設定時）　呼出時間：8秒（ON設定時）

1 メニュー▶ツール▶**伝言メモ**▶**ON・OFF**

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

2 **応答メッセージを選択**▶◉

標準 . . . .「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに20秒以内でお名前とご用件をお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」と流れ、「ピーッ」という音が鳴ります。
プライベート . . . .「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音のあとにメッセージを入れてね。テレビ電話のときも声しか入らないの。ごめんね。」と流れ、「ピーッ」という音が鳴ります。
英語 . . . .「I can't take your call now. Please leave the message. When you call by video phone, you can leave a voice message.」と流れ、「ピーッ」という音が鳴ります。
おしゃべり1 . . . . .「おしゃべり機能」で録音したメッセージや音が流れます。録音されていないときは表示されません。
おしゃべり2 . . . . .「おしゃべり機能」で録音したメッセージや音が流れます。録音されていないときは表示されません。

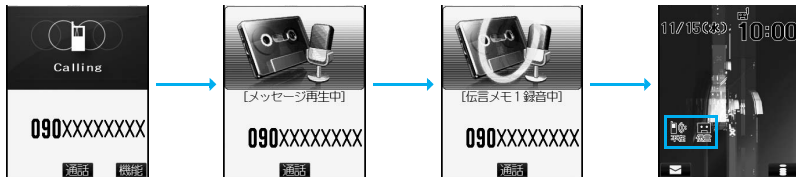
- ✉（デモ）を押すと応答メッセージが再生されます。クリアを押すとデモ再生が終了します。

3 **呼出時間（秒）を入力**

- 「000」～「120」の3桁を入力します。
- 設定されている呼出時間を変更しない場合は、呼出時間を入力せずに◉を押します。
- 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

■伝言メモ設定中の表示
〜 ：録音件数

■伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってきたときは

呼出時間経過後、相手には応答メッセージが流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示されます。
その後、録音が始まります。テレビ電話の場合は相手に「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
録音が終了すると、デスクトップに「不在着信あり」と「伝言メモあり」のアイコンが表示されます。（P.134参照）

■応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音中に電話に出るときは

またはを押します。
テレビ電話の場合、で自分のカメラ画像、またはで代替画像が送信されます。

お知らせ

- 「圏外」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード（ドライブモード）と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「伝言メモの設定」の順になります。
- 応答メッセージを「おしゃべり1」「おしゃべり2」に設定しているときに、「おしゃべり1」「おしゃべり2」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- 「おしゃべり1」「おしゃべり2」を設定した場合、再生終了後に「ピーッ」という音は鳴りません。
- 「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、すでに伝言メモが5件録音されているときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 「指定留守番電話」に設定している電話番号から電話がかかってきたときは、伝言メモの呼出時間の設定に関わらず、着信音を約1秒鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン（P.73、P.133参照）と「着信履歴」でお知らせします。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください
- すでに伝言メモが5件録音されているときは、伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを消去してください。
- 伝言メモの応答メッセージ再生中、録音中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。
- マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定しているときは、P.121の「伝言メモ」の設定に従って動作します。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

電話番号ごとに応答メッセージを設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号ごとに応答メッセージを設定します。

1 **電話帳詳細画面▶（機能）▶電話帳便利機能▶応答メッセージ**

P.74手順2の操作を行います。
「応答メッセージ」に「★」マークが付きます。
- 電話番号の応答メッセージを解除するには、同様の操作を行います。

次ページにつづく

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「電話帳便利機能」の「応答メッセージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 設定した電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）で電話帳のどの電話番号が設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

グループごとに応答メッセージを設定する

メニュー 2 6

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとに応答メッセージを設定します。電話番号ごとに応答メッセージが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 メニュー ▶ 電話帳 ▶ **グループ設定** ▶ **グループを選択** ▶ i（機能）▶ **グループ便利機能** ▶ **応答メッセージ**

P.74手順2の操作を行います。
「応答メッセージ」に「★」マークが付きます。
- グループの応答メッセージを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。
- 「グループ便利機能」の「応答メッセージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されている応答メッセージが優先されます。
- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になります。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

<クイック伝言メモ>

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音できます。

1 **着信中** ▶ # **または** ▼

マナーモードも設定されます。
相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音が開始されます。
- 前回「伝言メモ」を「ON」に設定したときに選択した応答メッセージが再生されます。未設定の場合は「標準」の応答メッセージが再生されます。
- すでに伝言メモが5件録音されているときは、伝言メモは動作しません。
- 「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じているときに▼を押しても伝言メモは動作しません。ビューアスタイルのときは、「閉じた時無効」に設定していても伝言メモが動作します。

お知らせ

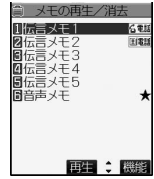
- 本機能は着信のたびに用件を録音します。ただし、この操作は1回の着信のみ有効で、「伝言メモ」を「ON」に設定することはできません。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。マナーモードを解除するときは#を1秒以上押します。

伝言メモ・音声メモを再生／消去する

1 メニュー▶ツール▶メモの再生／消去▶伝言メモまたは音声メモを選択▶◉

＜メモ一覧画面＞

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

- メモ一覧画面では録音されている項目に「電話」（音声電話）または「電話」（テレビ電話）が表示されます。
  音声メモが録音されている場合は「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生が終わると「ピピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。
- 相手が電話番号を通知してきたときは、再生中に相手の電話番号と伝言メモ番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
- 録音時に「時計設定」が設定されていたときは、再生中に録音された日付・時刻が表示されます。
- 伝言メモの再生中、画面に相手の電話番号が表示されているときは発信キーを押して相手の電話番号に音声電話をかけることができます。また、カメラキーを押すとテレビ電話発信します。

■▼を使って再生するには
待受画面で▼を押すと、一番新しい伝言メモが再生されます。伝言メモが録音されていない場合は、音声メモが再生されます。

■次のメモを再生するには
再生中に▼を押すごとに、次に新しい伝言メモ→…→一番古い伝言メモ→音声メモの順に再生されます。

■再生を途中で止めるには
◉、PWR/HLDまたはクリアを押します。

メモ一覧画面の機能メニュー

1 メモ一覧画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
再生	再生します。
1件消去	▶YES ●再生中に✉（消去）を押しても、1件消去できます。
伝言メモ全消去	伝言メモをすべて消去します。 ▶YES
全消去	伝言メモ、音声メモをすべて消去します。 ▶YES

お知らせ

- 通話中は伝言メモ、音声メモを再生／消去できません。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

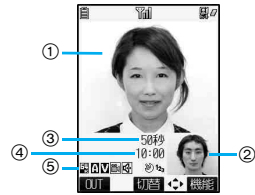
ドコモのテレビ電話対応端末どうしでなら、お互いの映像を見ながら通話できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- 3GPP（3rd Generation Partnership Project）：
  第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- 3G-324M：
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話の通信速度について
64K：通信速度64kbpsで通信をします。
32K：通信速度32kbpsで通信をします。

■テレビ電話中の画面について
①…相手のカメラ画像　②…自分のカメラ画像　③…通話時間　④…現在時刻
⑤…状態表示

：64K通信中
：32K通信中
：音声送信／受信中
（グレー）：音声送信／受信失敗※1
：映像送信／受信中
（グレー）：映像送信／受信失敗※2
：カメラ画像送信中
：代替画像送信中
：キャラ電通話中
：ハンズフリーON
：ナイトモード
：キャラ電全体アクションモード
：キャラ電パーツアクションモード
：DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。
※2 映像の送信に失敗すると、自分のカメラ画像が相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、相手のカメラ画像が表示されません。
音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

お知らせ

- 設定により、代替画像に設定した画像を送信し、音声だけで通話できます。（P.87参照）
  その場合でも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- 音声電話中、パケット通信によるデータの送受信中は、テレビ電話をかけることはできません。

テレビ電話をかける

1 相手の電話番号を入力する

2 ▶相手が出たら話す

- テレビ電話発信中は、画面の右上に「」または「」が点滅し、通話中は点灯します。
- またはを押すと音声電話をかけます。
- 通話中にを押すと、ハンズフリーに切り替えることができます。（P.63参照）
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。（P.381参照）
- 通話中にFOMA端末を閉じたり、ビューアスタイルに切り替えると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。（P.67参照）
- テレビ電話中にを押すと、相手には代替画像が表示されます。もう1度を押すと、自分のカメラ画像に戻ります。
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。ただし、キャラ電通話中はDTMF送信モードに切り替えてください。（P.89参照）

テレビ電話接続
Video-phone Connecting
4秒
10:00

50秒
10:00
OUT 切替 機能

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

3 お話が終わったらで通話を終了する

切断中の画面のあとに通話時間が表示されます。

■テレビ電話がかからなかったときは

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。）

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	話し中やパケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知の場合（Vライブやビジュアルネット等への発信時）
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合
音声電話でおかけ直しください	留守番電話サービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合表示されます。※
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されることがあります。

※2006年7月現在、相手が留守番電話サービスを設定している場合も表示されることがあります。

■自動再発信について

テレビ電話がつながらなかった場合は、自動的に32Kや音声電話に切り替えて再発信します。

	音声自動再発信「ON」	音声自動再発信「OFF」
64Kで発信してつながらなかった場合	32Kで再発信します。	32Kで再発信します。
32Kで発信してつながらなかった場合	音声電話で再発信します。	再発信しません。

- 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHS等の機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリア等の通信環境であった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。
  ※32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。
- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、音声自動再発信を「ON」にしているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけなおします。ただし、ISDN同期64KやPIAFSの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話等（2006年7月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。
- テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。

お知らせ

- FOMA端末から110番・119番・118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話中はメールやメッセージR/Fを受信できません。メール、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管され、テレビ電話終了後に「ｉモード問い合わせ」で受信できます。ただし、SMSは、テレビ電話中でも受信できます。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。（P.59参照）

電話番号入力中の機能メニュー

1 **電話番号入力中▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。(P.51参照)
プレフィックス	プレフィックスを付加します。(P.62参照)
国際電話発信	国際電話をかけます。(P.60参照)
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.392参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.100参照)
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。
通信速度設定	テレビ電話をかけるときの通信速度を通話ごとに設定します。 ▶64K・32K
テレビ電話画像選択	テレビ電話の画像を選択します。(P.91参照)

お知らせ

<通信速度設定>
- 通信速度設定の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」の順になります。
- 設定が変更されるのは1回の通話（発信）のみです。リダイヤル・発信履歴にも通信速度は記憶されません。
- 通信速度を設定したあとに音声電話をかけると、設定は無効になります。

電話番号ごとに通信速度を設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号ごとに通信速度を設定します。

1 **電話帳詳細画面▶ⓘ(機能)▶電話帳便利機能▶通信速度設定▶64K・32K**

「通信速度設定」に「★」マークが付きます。
- 電話番号の通信速度設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 設定した電話帳の電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）で電話帳のどの電話番号が設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

グループごとに通信速度を設定する

メニュー 2 6

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとに通信速度を設定します。
電話番号ごとに通信速度が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 **メニュー▶電話帳▶グループ設定▶グループを選択▶ⓘ(機能)▶グループ便利機能▶通信速度設定▶64K・32K**

「通信速度設定」に「★」マークが付きます。
- グループの通信速度設定を解除するには、同様の操作を行います。

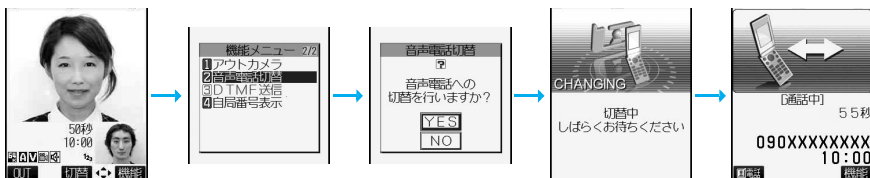
お知らせ

- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。
- 複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されている通信速度が優先されます。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

テレビ電話から音声電話へ切り替える

発信者がテレビ電話中に音声電話に切り替えることができます。
相手側が切り替え可能な端末の場合、機能メニューの「音声電話切替」を選択してテレビ電話から音声電話への切り替えができます。（音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。）

1 **テレビ電話中▶(機能)▶音声電話切替▶YES**

- 確認画面で「NO」を選択すると、切り替えを中止し、テレビ電話に戻ります。
- 切り替え中は「切替中」の画面が表示され、切り替え中である旨の音声ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは繰り返し行えます。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によってはテレビ電話から音声電話に切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。
- 相手がテレビ電話切替機能通知を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。テレビ電話切替機能通知についてはP.91参照。
- ハンズフリー設定中にテレビ電話から音声電話に切り替えてもハンズフリーは解除されません。「切替中」の表示中はハンズフリーをON／OFFできません。
- 切り替え中は通話品質アラーム、再接続機能のアラームは鳴りません。
- 音声電話からテレビ電話への切り替えについてはP.55参照。

テレビ電話を受ける

テレビ電話に応答するとディスプレイには相手の画像と自分の画像が表示されます。自分のカメラ画像を相手に表示しないでテレビ電話を受けることもできます。（代替画像応答）

1 **テレビ電話がかかってくると「テレビ電話着信中」と表示され、着信音が鳴り、着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅する**

- マナーモード、スーパーサイレントに設定すると、着信音は鳴りません。（P.119、P.120参照）
- 着信中はプライベートウィンドウに情報が表示されます。
- 国際テレビ電話がかかってきたときは、電話番号の右上に「」が表示されます。

次ページにつづく

2 でテレビ電話に出る

自分のカメラ画像が相手に送信されます。またはを押してテレビ電話に出ると、相手には代替画像が送信されます。
- 「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定しておくと、ボタンを押して着信音だけを止めることができます。
- 「エニーキーアンサー」は無効になります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押してテレビ電話に出た場合や、オート着信でテレビ電話に出た場合は、相手には代替画像が送信されます。（P.381参照）
- 通話中にを押すと、ハンズフリーに切り替えることができます。（P.63参照）
- 通話中にを押すと、相手に送信する画像を自分のカメラ画像と代替画像とで切り替えることができます。
- 通話中にFOMA端末を閉じたり、ビューアスタイルに切り替えると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。（P.67参照）

テレビ電話接続
Video-phone Connecting
4秒
10:00

50秒
10:00
OUT 切替 機能

3 お話が終わったらで通話を終了する

切断中の画面のあとに通話時間が表示されます。

お知らせ

- 通話中、相手の設定により相手の映像が送信されてこないときは、代替画像が表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機（P.80参照）に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。（相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。）
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
- テレビ電話中はメールやメッセージR/Fを受信できません。メール、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管され、テレビ電話終了後に「ｉモード問い合わせ」で受信できます。ただし、SMSは、テレビ電話中でも受信できます。

テレビ電話着信中の機能メニュー

1 テレビ電話着信中▶（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
着信拒否	電話を受けないで着信をそのまま切ります。 ●「オープン設定」の「テレビ電話」を「着信応答」に設定し、閉じた状態やビューアスタイルで着信した場合は、「着信拒否」はできません。
転送でんわ	転送先に転送します。（P.388参照）

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

テレビ電話をかけてきた相手が音声電話に切り替えると、切り替え中である旨のメッセージが表示され音声ガイダンスが流れて切り替わります。
- あらかじめテレビ電話切替機能通知を開始に設定しておく必要があります。
- 着信側から切り替えることはできません。

キャラ電を利用する

自分のカメラ画像のかわりにキャラ電を相手に送信します。

●キャラ電についてはP.349参照。

通話ごとに設定する

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶(機能)▶キャラ電発信

相手の電話番号を入力し、(カメラ)を押してテレビ電話をかけます。

●キャラ電操作のボタン割当についてはP.350参照。

お知らせ

- ●相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。
- ●設定が変更されるのは1回の通話（発信）のみです。「発信時自画像送信」や「画像選択」の設定は変更されません。また、リダイヤル・発信履歴にも記憶されません。
- ●「キャラ電発信」の操作をしたあとに音声電話をかけると、設定は無効になります。

電話番号ごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号ごとに、キャラ電をテレビ電話中の代替画像に設定します。

1 電話帳詳細画面▶(機能)▶電話帳便利機能▶キャラ電設定▶キャラ電を選択▶◉

「キャラ電設定」に「★」マークが付きます。

●電話番号のキャラ電設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ●シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- ●設定した電話帳の電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- ●「電話帳便利機能」（P.109参照）で電話帳のどの電話番号が設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

グループごとに設定する

(メニュー)(2)(6)

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとに、キャラ電をテレビ電話中の代替画像に設定します。電話番号ごとにキャラ電が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 (メニュー)▶(電話帳)▶グループ設定▶グループを選択▶(機能)▶グループ便利機能▶キャラ電設定▶キャラ電を選択▶◉

「キャラ電設定」に「★」マークが付きます。

●グループのキャラ電設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ●「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。
- ●複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されているキャラ電が優先されます。
- ●「電話帳便利機能」（P.109参照）でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

代替画像設定

お買い上げ時	ブンブン（Dimo）

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶(i)(機能)▶代替画像設定

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶(i)(機能)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

項目	内容
キャラ電切替	▶キャラ電を選択▶(●)
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●(＊)を押してもアクション一覧を表示できます。 ●アクションを選択して(●)を押すと、アクションを実行できます。 ●(✉)(詳細）を押すとアクションの詳細を確認できます。
アクション切替 テレビ電話起動時：全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード（）またはパーツアクションモード（）に切り替えます。 ●(✉)を押しても切り替えることができます。
内蔵代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

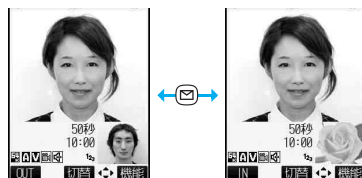
テレビ電話に関する便利な機能

カメラを切り替える

テレビ電話起動時	インカメラ

相手に送信するカメラ画像をインカメラの画像からアウトカメラの画像に切り替えます。

1 テレビ電話中▶(✉)(OUT)

●もう1度(✉)(IN）を押すと元に戻ります。
●(i)(機能）を押して機能メニューから「アウトカメラ」または「インカメラ」を選択してもカメラが切り替わります。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●カメラの切り替え時に静止画が表示されますが、相手には送信されません。

接写する

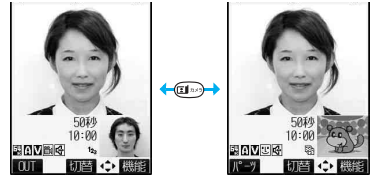
相手に送信するカメラ画像を接写で撮影します。（P.172参照）

代替画像を送信する

相手に送信する画像を、自分のカメラ画像から代替画像に設定した静止画またはキャラ電に切り替えます。

1 テレビ電話中▶ カメラ

© BVIG

相手には代替画像が送信されます。
静止画による代替画像送信中は「 」、代替画像にキャラ電を設定している場合（キャラ電通話中）は「 」が表示されます。
- もう1度 カメラ を押すと、代替画像から自分のカメラ画像に切り替わります。
- 代替画像に「キャラ電」を設定しておくと、相手にはキャラ電が送信されます。キャラ電通話中はボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。キャラ電によっては、音声にあわせて口などが自動で動くものもあります。（P.350参照）

■送信する代替画像について
代替画像は以下の4つの機能で設定できます。
・「電話帳便利機能」で設定したキャラ電（電話番号ごとの設定）
・「グループ便利機能」で設定したキャラ電（グループごとの設定）
・電話帳に登録したキャラ電
・「画像選択」の「代替画像選択」で設定した静止画またはキャラ電
この他に、通話ごとにもキャラ電を設定できます。（P.85参照）
相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。
テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「電話番号ごとの設定」、「グループごとの設定」、「電話帳に登録したキャラ電」は無効になりますのでご注意ください。

■代替画像でテレビ電話に出るには
テレビ電話着信中に または を押してテレビ電話に出ます。
- 自分のカメラ画像に切り替えるには カメラ を押します。

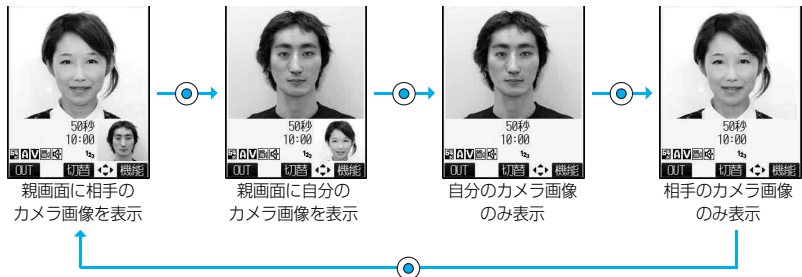
お知らせ
- 代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。

画像の表示位置を切り替える

相手の画像と自分の画像の表示位置を切り替えます。

1 テレビ電話中▶

- を押すと以下のように表示が切り替わります。

親画面に相手のカメラ画像を表示 → 親画面に自分のカメラ画像を表示 → 自分のカメラ画像のみ表示 → 相手のカメラ画像のみ表示

ズームする

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ画像のズームを調節します。テレビ電話中のインカメラの最大倍率は約2.0倍、アウトカメラの最大倍率は約2.7倍です。

1 テレビ電話中▶でズーム倍率を調節

(広角)、(望遠)を押すごとにズーム倍率が変わります。

(広角)、(望遠)を押し続けると、ズーム倍率が連続的に変化します。

広角(Wide)の場合

望遠(Tele)の場合

お知らせ

- テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。
- テレビ電話中にカメラを切り替えた場合(P.86参照)は、インカメラ、アウトカメラのそれぞれのズーム倍率は保持されます。
- 相手に送信する画像を代替画像に切り替えたあと、カメラ画像に戻してもズーム倍率は保持されます。

テレビ電話中の機能メニュー

1 テレビ電話中▶(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
テレビ電話設定(画像品質設定)	画質を設定します。(P.89参照)
テレビ電話設定(明るさ調節) お買い上げ時 0	相手に送るカメラ画像の明るさを−2(暗い)〜+2(明るい)で調節します。 **▶明るさ調節▶明るさを選択▶**
テレビ電話設定(ホワイトバランス) お買い上げ時 オート	相手に送るカメラ画像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 **▶ホワイトバランス** **晴天........屋外晴天下で通話するとき** **曇天........曇天や日陰で通話するとき** **オート......ホワイトバランスを自動で調整します。** **電球........電球照明下で通話するとき**
テレビ電話設定(色調切替) テレビ電話起動時 通常	相手に送るカメラ画像の色調を切り替えます。 **▶色調切替▶色調を選択▶**
テレビ電話設定(ナイトモード) テレビ電話起動時 OFF	露光を長くして、暗いところでも相手に送る画像が鮮明になるように設定します。 **▶ナイトモード▶ON・OFF**
キャラ電設定	キャラ電通話の設定をします。(P.86参照)
照明設定 お買い上げ時 常時点灯	ディスプレイの照明を常時点灯させるか、操作後約15秒間点灯させるかを設定します。 **▶常時点灯・15秒点灯**

機能メニュー	内容
液晶AI	ディスプレイのバックライトの明るさを自動的に調整し、その明るさに合わせて画像の画質補正をするかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●ここでの設定は通話を終了するまで有効です。テレビ電話起動時の設定は「液晶AI」（P.128参照）の設定に従います。
フォトライト テレビ電話起動時 OFF	アウトカメラの画像を相手に送信しているときにフォトライトを点灯します。 ▶ON・OFF
通話中時間表示	テレビ電話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。（P.378参照）
画面サイズ設定	親画面の画像の表示方法を設定します。（P.94参照）
アウトカメラ・インカメラ	カメラを切り替えます。（P.86参照）
音声電話切替	通話中のテレビ電話を音声電話に切り替えます。（P.83参照）
DTMF送信・DTMF解除	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF（プッシュ信号）を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ設定できます。 ●現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ●キャラ電通話中以外は操作できません。 ●DTMF送信モード中は、全体アクションモード・パーツアクションモードでのキャラ電操作はできません。 ●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
自局番号表示	自分の電話番号を表示します。

＜画像品質設定＞
テレビ電話の画質を設定する

お買い上げ時	標準

ディスプレイに表示される相手の画像と相手に送信する自分の画像の画質を設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶**テレビ電話**▶**画像品質設定**▶**画像品質を選択**▶(●)

●テレビ電話中は(i)（機能）を押して「テレビ電話設定」を選択し、「画像品質設定」を選択します。その場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●「動き優先」は画像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になるときがあります。

＜発信時自画像送信＞
テレビ電話をかけたときに自動的にカメラをON／OFFする

お買い上げ時	ON

1 (メニュー)▶(設定)▶**テレビ電話**▶**発信時自画像送信**▶**ON・OFF**

●「OFF」を選択した場合は、代替画像が送信されます。

＜画像選択＞

テレビ電話の表示を変更する

お買い上げ時	応答保留選択：内蔵　通話保留選択：内蔵　代替画像選択：キャラ電（ブンブン（Dimo）） 伝言メモ選択：内蔵　伝言メモ準備選択：内蔵　音声メモ選択：内蔵

カメラ画像の代わりに相手に送信する画像を設定します。

1 (メニュー)▶ 設定 ▶**テレビ電話**▶**画像選択**

応答保留選択 ......応答保留中の画像を設定します。
通話保留選択 ......通話保留中の画像を設定します。
代替画像選択 ......カメラOFF時の代替画像（静止画またはキャラ電）を設定します。
伝言メモ選択 ......伝言メモ録画中の画像を設定します。
伝言メモ準備選択...伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定します。
音声メモ選択 ......音声メモ録音中の画像を設定します。

2 **画像を選択**▶◉

内蔵 .... FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作 .... 状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。
キャラ電....「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信します。（P.86参照）
（手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示されます。）
●(✉)（デモ）を押すとデモ再生され、静止画またはキャラ電を確認できます。

＜画像選択画面＞

お知らせ

●代替画像、通話保留、応答保留、伝言メモ、音声メモに設定した静止画は自分のFOMA端末と相手の電話機の双方に表示されます。ただし、応答保留時の保留音、伝言メモの応答メッセージは相手側にのみ送信されます。
●「自作」で選択した静止画を削除しても、相手にはその静止画が表示されます。変更する場合は「設定内容変更」や「ピクチャ貼付」で設定してください。

画像選択画面の機能メニュー

1 **画像選択画面**▶(i)（機能）▶**以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
設定内容変更	「自作」に設定した静止画またはキャラ電を変更します。 「自作」を選択していた場合 ▶**フォルダを選択**▶◉▶**静止画を選択**▶◉ ●(✉)（デモ）を押すとデモ再生され、静止画を確認できます。 「キャラ電」を選択していた場合 ▶**キャラ電を選択**▶◉ ●(✉)（デモ）を押すとデモ再生され、キャラ電を確認できます。

お知らせ

＜設定内容変更＞
●「内蔵」を選択中は操作できません。
●設定可能な静止画についてはP.334参照。

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 **電話番号を入力**
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **(機能)▶テレビ電話画像選択▶自画像・キャラ電**

- 「自画像」を選択した場合は、設定が終了します。
- 通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。設定が終了します。

3 **キャラ電を選択▶◉**

お知らせ

- 相手に送信する画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「発信時自画像送信」の順になります。
- 設定が変更されるのは1回の通話（発信）のみです。「発信時自画像送信」や「画像選択」の設定は変更されません。また、リダイヤル・発信履歴にも設定は記憶されません。
- 「テレビ電話画像選択」を設定したあとに音声電話をかけると、設定は無効になります。

＜音声自動再発信＞

テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

お買い上げ時	OFF

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 **(メニュー)▶(設定)▶テレビ電話▶音声自動再発信▶ON・OFF**

お知らせ

- 音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。
- テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。
- テレビ電話をかけた相手が「使われていない電話番号」、「話し中」、「電波の届かないところにいる」、「電源を切っている」または「公共モード（ドライブモード）」に設定中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。
- 音声自動再発信を行った場合、発信履歴に記憶されるのは最後の1件のみです。

＜テレビ電話切替機能通知＞

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。ご契約時は「開始」に設定されています。テレビ電話切替機能通知を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中はテレビ電話切替機能通知の操作はできません。

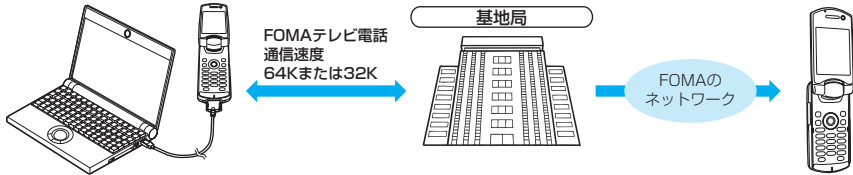
1 **(メニュー)▶(設定)▶テレビ電話▶テレビ電話切替機能通知▶以下の操作を行う**

項目	内容
切替機能通知開始	▶YES▶OK
切替機能通知停止	▶YES▶OK
切替機能通知設定確認	テレビ電話切替機能の設定を確認します。 ●確認が終われば◉を押します。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは、本機能を利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください。
  （パソコンでのご利用環境等詳細についてはサポートホームページでご確認ください。）

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

<遠隔監視設定>

外出先から室内の様子などを確認する

3G-324Mに準拠したテレビ電話機能を持つ電話機により、FOMA端末を監視カメラとして遠隔監視ができます。「遠隔監視設定」を「ON」に設定中に、「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、自動的に遠隔監視を受けます。
（FOMA端末は開いた状態で設置してください。）

1 メニュー▶設定▶**テレビ電話▶遠隔監視設定▶端末暗証番号を入力▶◉▶以下の操作を行う**

項目	内容
対局番号登録 お買い上げ時: 未登録 対局番号登録 1 〈未登録〉 2 〈未登録〉 3 〈未登録〉 4 〈未登録〉 5 〈未登録〉 選択 機能 <対局番号一覧画面>	遠隔監視を受ける電話番号をあらかじめ登録します。5件まで登録できます。 ▶<未登録>▶電話番号を入力▶◉ ●変更する場合は、登録済みの対局番号を選択します。 ●数字、＃、＊、＋で26桁まで入力できます。入力した電話番号が相手の発信者番号と一致しないときは、遠隔監視を受けることはできません。

項目	内容
応答時間設定 お買い上げ時 5秒（ON設定時）	テレビ電話がかかってから遠隔監視を開始するまでの時間を設定します。 ▶**応答時間（秒）を入力** ●「003」〜「120」の3桁を入力します。 ●設定されている応答時間を変更しない場合は、応答時間を入力せずに◉を押します。 ●遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
設定 お買い上げ時 OFF	対局番号に登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合に、遠隔監視を開始するかどうかを設定します。 **ON. . .「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたら、応答時間経過後、遠隔監視として自動応答します。（対局番号が未登録の場合は設定できません。）** **OFF. . .「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきても、通常のテレビ電話の着信動作をします。** ●「ON」に設定中は「 」が表示されます。 ●マナーモード中は「ON」に設定できません。マナーモード中は遠隔監視が無効になる旨のメッセージが表示されます。

対局番号一覧画面の機能メニュー

1 対局番号一覧画面▶(i)（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
宛先参照入力	電話帳、発信履歴、着信履歴から電話番号を呼び出して入力します。（P.236参照）
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>
●対局番号をすべて削除した場合、「遠隔監視設定」は「OFF」になります。

遠隔監視を受ける

1 登録した電話番号からテレビ電話がかかってくる

●遠隔監視専用の着信音が鳴ります。（着信音は変更できません。）
着信音量は「着信音量」の「テレビ電話」で設定したレベルで鳴りますが、「ステップ」または「レベル1」以下に設定している場合は「レベル2」で鳴ります。
●遠隔監視の着信時には、着信イルミネーションの設定によらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
●遠隔監視の着信時は「オープン設定」は無効になります。
●遠隔監視設定中でも、自動応答する前に(カメラ)を押すとテレビ電話が始まり、自分のカメラ画像を相手に送信します。(通話)または◉を押すと、代替画像を相手に送信してテレビ電話を開始します。
●遠隔監視の着信時に(PWR/HLD)を押すと通信が切断され、遠隔監視は行われません。
●遠隔監視を行う（発信）場合は、発信者番号を通知してテレビ電話をかけてください。
●発信者番号が通知されない場合は、遠隔監視着信にならず、テレビ電話着信となります。

2 遠隔監視設定で設定した応答時間経過後、自動的に応答し遠隔監視が始まる

「発信時自画像送信」の設定に関係なくカメラ設定が「ON」になり、自分のカメラ画像と音声を送信します。（代替画像に切り替えることはできません。）
●ディスプレイに相手の画像が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。
●音声のみの遠隔監視はできません。
●遠隔監視中は、(PWR/HLD)を押して遠隔監視を終了する操作以外はできません。

次ページにつづく

3 遠隔監視を終了する

テレビ電話発信側、または受信側のどちらかが![PWR HLD]を押すと、遠隔監視を終了します。

お知らせ

- マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は、遠隔監視は受けられません。ただし、オールロック中は遠隔監視を受けます。
- 遠隔監視設定を「ON」に設定しているときに対局番号からのテレビ電話着信があった場合は、「呼出時間表示設定」、「オート着信」、「伝言メモ」が設定中でも、その呼出時間に関わらず、遠隔監視設定の呼出時間後に遠隔監視を開始します。
- 遠隔監視設定を「ON」に設定しているときに対局番号からのテレビ電話着信があった場合は、遠隔監視の着信履歴が残ります。遠隔監視が実行されなかった場合、テレビ電話の不在着信として着信履歴に残ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中に遠隔監視の着信があった場合、「イヤホン切替」を「イヤホン」に設定していてもイヤホンとスピーカの両方から着信音が鳴ります。また、自動応答する前に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すとテレビ電話が始まり、代替画像を相手に送信します。
- FOMA端末を設置する場合、開いた状態で設置してください。FOMA端末を閉じているときやビューアスタイルにしているときに遠隔監視の着信があった場合、着信は拒否され、遠隔監視を受けることはできません。
- 遠隔監視中にFOMA端末を閉じたりビューアスタイルに切り替えると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは「クローズ動作設定」は無効になり、FOMA端末を閉じると相手には代替画像が送信され、ビューアスタイルに切り替えた場合は自分のカメラ画像の送信を続けます。
- 遠隔監視中にカメラを切り替えることはできません。
- 遠隔監視の着信に対しては応答保留できません。
- 遠隔監視中はプライベートウィンドウに「REMOTE MONITORING」と表示されます。
- 転送でんわサービスと遠隔監視を同時に設定する場合、遠隔監視を優先させるには、遠隔監視の応答時間を転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 転送でんわサービスを利用して遠隔監視を行う場合は、発信元の電話番号を対局番号に登録し、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定してください。

- **お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。**

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

＜テレビ電話画面設定＞

テレビ電話中の画面を設定する

1 ![メニュー]▶▶テレビ電話▶テレビ電話画面設定▶以下の操作を行う

項目	内容
親画面表示 お買い上げ時 親画面対局表示	親画面の表示を設定します。 **親画面対局表示 . . . 親画面に相手の画像、子画面に自分の画像を表示します。** **親画面自局表示 . . . 親画面に自分の画像、子画面に相手の画像を表示します。** **対局表示のみ . . . . . 相手の画像のみ表示します。** **自局表示のみ . . . . . 自分の画像のみ表示します。**
画面サイズ設定 お買い上げ時 拡大	親画面の画像の表示方法を設定します。 **拡大. . . 画面サイズ（234×192ドット）に合わせて表示します。** **等倍. . . 本来のサイズ（等倍）で表示します。** ●テレビ電話中は![i]（機能）を押して「画面サイズ設定」を選択します。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末（本体）の電話帳と、FOMAカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。上手に使い分けてご利用ください。

項目		FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
登録できる件数		電話帳全体で最大700件※	電話帳全体で最大50件
登録内容	名前（フリガナ）の登録	1つの電話帳に1件のみ登録可能	1つの電話帳に1件のみ登録可能
	電話番号の登録	電話帳1件に4番号まで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能な電話番号は700番号までです。）	電話帳1件に1番号まで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能な電話番号は50番号までです。）
	メールアドレスの登録	電話帳1件に3アドレスまで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能なアドレスは700アドレスまでです。）	電話帳1件に1アドレスまで登録可能（ただし、電話帳全体で登録可能なアドレスは50アドレスまでです。）
	アイコンの設定	登録した電話番号ごと、メールアドレスごとに1つずつ設定可能	設定不可
	住所（郵便番号）	1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	誕生日	1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	メモ	1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	静止画	最大100件、1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	キャラ電	最大100件、1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	グループ分け	00～19の20グループに分類可能	00～10の11グループに分類可能
	メモリ番号	000～699のメモリ番号を設定可能	なし
電話帳検索		フリガナ、名前、電話番号、アドレス（メールアドレス）、メモリ番号、グループ、行、の7通り	フリガナ、名前、電話番号、アドレス（メールアドレス）、グループ、行、の6通り
ツータッチダイヤル		使用可能（メモリ番号000～009に登録した場合）	使用不可
電話帳便利機能	音声／テレビ電話着信音	登録した電話番号、またはグループごとに設定可能	設定不可
	着信バイブレータ		
	着信イルミネーション		
	着信イメージ		
	応答メッセージ		
	メール着信音	登録した電話番号、メールアドレス、またはグループごとに設定可能	
	メールバイブレータ		
	メールイルミネーション		
	通信速度設定	登録した電話番号、またはグループごとに設定可能	
	キャラ電設定		
電話帳指定設定	指定発信制限	登録した電話番号ごとに設定可能	設定不可
	指定着信拒否		
	指定着信許可		
	指定転送でんわ		
	指定留守番電話		
シークレットコードの設定		登録した電話番号ごと、メールアドレスごとに設定可能	設定不可
シークレットモード、シークレット専用モードでの登録		登録可能	登録不可

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

※各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。

電話帳を登録する

FOMA端末（本体）またはFOMAカードの電話帳に登録します。

1 メニュー▶電話帳▶電話帳登録▶本体・FOMAカード（UIM）

名前の入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。
- 待受画面で◎を押しても電話帳機能の選択画面が表示されます。
- 電話帳の一覧画面で✉（新規）を押しても登録先の選択画面が表示されます。
- FOMAカードについてはP.41参照。

2 以下の操作を行う

FOMA端末（本体）の場合

FOMAカードの場合

項目	登録できる電話帳	内容
名 （名前）	FOMA端末（本体） FOMAカード	相手の名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。 名前入力後は続けてフリガナを入力します。 ▶名前を入力▶◎ ●FOMA端末（本体）の場合、全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。絵文字も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角10文字まで、半角英数のみなら21文字まで入力できます。（半角カタカナは入力できません。）
ｶﾅ （フリガナ）	FOMA端末（本体） FOMAカード	フリガナを半角のカタカナ、英字、数字で入力します。 ▶フリガナを入力▶◎ ●FOMA端末（本体）の場合、半角32文字まで入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角12文字まで、半角英数のみなら25文字まで入力できます。（半角カタカナは入力できません。） ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、名前に入力した文字や入力方法によっては、フリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「ゎ（小文字）」、「ヮ（小文字）」を入力すると、フリガナには「ﾜ（半角大文字）」（FOMA端末（本体）の場合）、「ワ（大文字）」（FOMAカードの場合）として表示されます。
GR （グループ）	FOMA端末（本体） FOMAカード	FOMA端末（本体）には「グループ00」～「グループ19」の20のグループ、FOMAカードには「グループ00」～「グループ10」の11のグループがあります。 ▶グループを選択▶◎ ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合は、自動的に「グループ00」に登録されます。

次ページにつづく

項目	登録できる電話帳	内容
(電話番号)	FOMA端末(本体) FOMAカード	FOMA端末(本体)には電話帳1件に4番号まで登録できます。それぞれの電話番号に「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1番号まで登録できます。 ▶**電話番号を入力**▶◉ FOMAカードの場合、電話番号の設定が終了します。 ●電話番号は市外局番から入力します。 ●FOMA端末(本体)の場合、最大で26桁まで入力できます。 ●「FOMAカード(青色)」には20桁まで入力できます。 「FOMAカード(緑色)」には26桁まで入力できます。 ●(✱)を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ(p)を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ(p)を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ(p)は登録されません。 ●「✱」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「#」を使用した番号も登録できます。 ▶**アイコンを選択**▶◉ ●FOMA端末(本体)に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「<追加登録>」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「<追加登録>」を選択します。
(メールアドレス)	FOMA端末(本体) FOMAカード	FOMA端末(本体)には電話帳1件に3アドレスまで登録できます。それぞれのメールアドレスに「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1アドレスまで登録できます。 ▶**メールアドレスを入力**▶◉ FOMAカードの場合、メールアドレスの設定が終了します。 ●メールアドレスは半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。 ●メールアドレスはドメイン(@マークより後ろの部分)まで正しく登録してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 ●FOMA端末(本体)にはシークレットコードも設定できます。(P.108参照) ▶**アイコンを選択**▶◉ ●FOMA端末(本体)にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「<追加登録>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「<追加登録>」を選択します。
(住所)	FOMA端末(本体)	▶**郵便番号を入力**▶◉▶**住所を入力**▶◉ ●郵便番号は7桁まで、住所は全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。 ●郵便番号に「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。 ●住所には絵文字も入力できます。
(誕生日)	FOMA端末(本体)	▶**誕生日を入力**▶◉ ●誕生日は1800年1月1日から2099年12月31日まで入力できます。
(メモ)	FOMA端末(本体)	▶**メモを入力**▶◉ ●メモは全角100文字まで、半角200文字まで入力できます。 ●絵文字も入力できます。

項目	登録できる電話帳	内容
(静止画)	FOMA端末(本体)	登録した静止画は、電話帳の相手から着信があったときに表示されます。 ▶静止画選択▶フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶◉ ●登録済みの静止画を解除する場合は、「静止画解除」を選択します。静止画の設定が終了します。 ●登録できる静止画は、画像サイズがVGA(640×480)以下で最大100Kバイトまでの JPEG画像、GIF画像です。 ●128×96ドットより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ●176×144ドットより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。
(キャラ電)	FOMA端末(本体)	登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。 ▶キャラ電選択▶キャラ電を選択▶◉ ●登録済みのキャラ電を解除する場合は、「キャラ電解除」を選択します。キャラ電の設定が終了します。 ●128×96ドットより大きいキャラ電を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。
NO (メモリ番号)	FOMA端末(本体)	▶メモリ番号を入力▶◉ ●「000」～「699」の3桁を入力します。 ●「メモリ番号」には、あらかじめ「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。 「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。

3 ✉(完了)を押す

●名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

■FOMA端末(本体)の電話帳に登録できないときは

●入力したメモリ番号がすでに電話帳に登録されていたときには、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、入力したデータが上書き登録されます。「NO」を選択すると、元のメモリ番号のデータはそのままで、電話帳の登録/編集画面に戻ります。別のメモリ番号を入力してください。

●「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで、シークレットデータとして登録した電話帳のメモリ番号と重複したときは登録できません。別のメモリ番号を入力してください。

■編集中の電話帳について

電池が切れたときは

電話帳の編集中に電池切れアラームが鳴ったときは、「電池充電してください」という画面(P.47参照)が表示されます。このとき、編集中の電話帳は自動的に保存されますので、充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、以下の方法で中断した電話帳編集の続きを行ってください。

1. (メニュー)▶(電話帳)▶電話帳登録▶本体・FOMAカード(UIM)
   ●編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。
2. 再編集
   ●新しく他の電話帳を登録するときは「新規」を選択します。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。
3. 電話帳編集の続きを行う
   ●編集中データとして登録されているのは一番新しい1件のみです。
   ●編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

電話帳の編集中に電話がかかってきたり、メールを受信したときでも、マルチタスク機能が働くため編集中の電話帳のデータはそのままで応対できます。

(マルチ)を1秒以上押してメニューを切り替え、電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

次ページにつづく

■お願い■
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末（本体）やFOMAカードの電話帳に登録します。

操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
リダイヤル表示中・発信履歴表示中・着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中・受信アドレス一覧表示中	電話番号・メールアドレス
サイト表示中・画面メモ表示中	電話番号・メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中・メールの本文表示中	電話番号・メールアドレス
バーコードリーダーやテキストリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号・メールアドレス
下線のついた電話番号やメールアドレスのテロップが設定されているｉモーションの再生終了時	電話番号・メールアドレス
静止画一覧表示中・静止画再生中	静止画

1 登録したい項目を表示／選択▶(機能)▶電話帳登録

- 受信メールの送信元や同報先、送信メールの宛先を電話帳に登録する場合は、「アドレス登録」を選択します。送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、送信元・同報先・宛先を選択する画面が表示されます。で登録したいメールアドレスや電話番号を選択し、を押します。
- テキストリーダーの読み取り結果を電話帳に登録する場合は、「電話番号登録」または「メールアドレス登録」を選択します。
- 静止画を電話帳に登録する場合は、「電話帳ピクチャ登録」を選択します。
- バーコードリーダーのコード読取結果画面で「電話帳登録」と表示されている場合、「電話帳登録」を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。
- 登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。

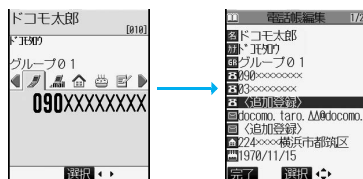
2 本体・FOMAカード（UIM）

新規登録. . . . 新たに電話帳に登録します。P.97手順2へ進みます。
追加登録. . . . すでにある電話帳に追加登録します。FOMAカードの電話帳に登録するときは「上書き登録」と表示されます。

3 検索方法を選択▶▶電話帳を検索

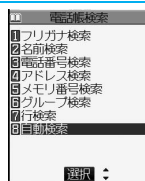
4 登録する電話帳を選択▶▶

電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。
- 電話帳の他の項目を修正する場合は、P.97手順3参照。
- FOMA端末（本体）の電話帳に登録する場合、メモリ番号を変更すると、登録前の電話帳を元の内容のまま残し、登録後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

5 ✉（完了）▶YES

●FOMAカードの電話帳に登録する場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

■「自動検索」について

ｉモードサイトのページなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレスなど）に名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの情報が付加されているときは、手順3の電話帳検索画面に「自動検索」が表示されます。
「自動検索」を選択すると同じ名前、フリガナの電話帳を検索できます。

お知らせ

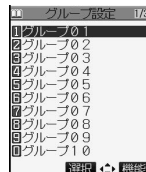
- リダイヤル、発信履歴の発信者番号通知の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186／184」を付けて登録してください。
- 電話帳に登録できる文字数を超えた文字は削除されます。また、登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- 電話番号やメールアドレス以外の反転表示された情報を使って電話帳登録できる場合もあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

＜グループ設定＞

グループ名を変更する

電話帳を、「会社」や「友達」のようにおつき合いごとにグループ分けしたり、「野球」や「陶芸」のように趣味で分けたりと、お客様のアイデア次第で用途別に分けられた数冊の電話帳として活用できます。

1 メニュー▶電話帳▶グループ設定▶グループを選択▶◉

●FOMAカードのグループには「▯」が表示されます。
●「グループ00」のグループ名は変更できません。

＜グループ設定画面＞

2 グループ名を入力▶◉

●全角10文字まで、半角21文字まで登録できます。ただし、FOMAカードのグループ名に全角／半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角／半角問わず最大10文字まで登録されます。

グループ設定画面の機能メニュー

1 グループ設定画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
グループ名編集	P.101手順2へ進みます。

機能メニュー	内容
グループ便利機能	次のような機能をグループごとに指定します。 ・音声／テレビ電話着信音（P.114参照） ・着信バイブレータ（P.116参照） ・着信イルミネーション（P.131参照） ・着信イメージ（P.125参照） ・応答メッセージ（P.76参照） ・メール着信音（P.114参照） ・メールバイブレータ（P.116参照） ・メールイルミネーション（P.131参照） ・通信速度設定（P.82参照） ・キャラ電設定（P.85参照）
グループ名初期化	グループ名をお買い上げ時のグループ名に戻します。 ▶YES

お知らせ

- グループ名を変更していないときや、グループ名を削除（初期化）したときは、FOMA端末（本体）の電話帳の場合、「グループ01」～「グループ19」の表示になります。FOMAカードの電話帳の場合、「グループ01」～「グループ10」の表示になります。
- グループ名を初期化しても、グループに設定された「グループ便利機能」は解除されません。

＜電話帳検索＞

電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳は7つの検索方法で呼び出せます。

1 メニュー▶電話帳▶**電話帳検索▶以下の操作を行う**

- 待受画面で◎を押しても電話帳検索画面が表示されます。

＜電話帳検索画面＞

項目	内容
フリガナ検索	相手のフリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 ▶**フリガナの一部を入力**▶◎
名前検索	相手の名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 ▶**名前の一部を入力**▶◎
電話番号検索	相手の電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。 ▶**電話番号の一部を入力**▶◎ ●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、◎を押しても電話帳一覧画面が表示されます。
アドレス検索	相手のメールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。 ▶**メールアドレスの一部を入力**▶◎
メモリ番号検索	電話帳に登録したときのメモリ番号で検索します。 (FOMAカードの電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号検索は利用できません。) ▶**メモリ番号を入力** ●「000」～「699」の3桁を入力します。 ●待受画面で（）を押して◎を押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に音声電話（テレビ電話）をかけることができます。

項目	内容
グループ検索	指定したグループに登録されている電話帳をすべて呼び出します。 ▶**グループを選択**▶◉ ●グループの一覧画面で(機能)を押すと、「グループ設定」の機能メニューが表示されます。
行検索	フリガナの行ごとに電話帳を呼び出します。 ▶**検索したい行のボタンを押す** 1 ....ア行　6 ....ハ行 2 ....カ行　7 ....マ行 3 ....サ行　8 ....ヤ行 4 ....タ行　9 ....ラ行 5 ....ナ行　0 ....ワ、ヲ、ン ＊ ....その他（英数記号など）

2 電話帳を選択▶◉▶または◉

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面でを押して電話番号を選択します。
●を押すとテレビ電話発信します。

お知らせ

●電話帳検索画面では、前回操作したときに選択した検索方法が、あらかじめ選択されています。
●検索する電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳とFOMAカードの電話帳の両方が一覧表示されます。
●FOMAカードの電話帳には、一覧画面に「」が表示されます。
●「グループ検索」以外の検索方法で何も入力せずにを押すと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。

次ページにつづく

■電話帳の詳細を確認するには

1. 詳細を確認する電話帳を表示▶◎

＜電話帳詳細画面＞
電話番号

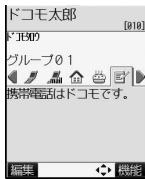
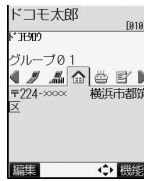
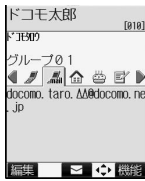
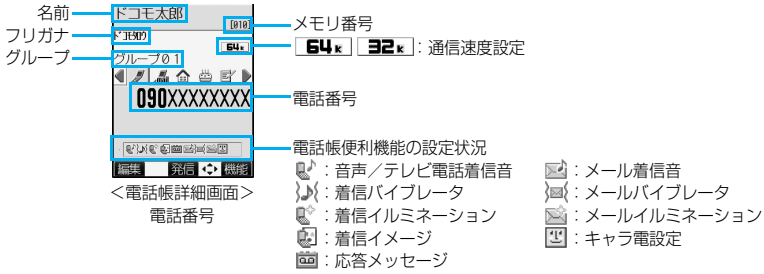
- ：音声／テレビ電話着信音
- ：着信バイブレータ
- ：着信イルミネーション
- ：着信イメージ
- ：応答メッセージ
- ：メール着信音
- ：メールバイブレータ
- ：メールイルミネーション
- ：キャラ電設定

メールアドレス

住所

誕生日

メモ

静止画

キャラ電

お知らせ

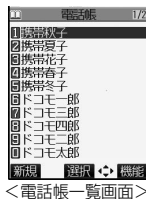
- 電話番号やメールアドレスが複数登録されている場合でも、◎を押して各項目を表示できます。
- メールアドレスを表示中に◉を押すと、宛先欄にメールアドレスが入力されたｉモードメールを作成します。P.235手順3へ進みます。
- キャラ電を表示中に◉を押すと、キャラ電プレーヤーでキャラ電を表示します。
- 通信速度設定のアイコン、電話帳便利機能の設定状況のアイコンは、電話帳便利機能が設定されていない場合は表示されません。
- FOMAカードに登録された電話帳の場合、メモリ番号は表示されず、「 FOMAカード（UIM）」と表示されます。

■一覧画面から電話をかけるには
一覧画面で(📞)を押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。また、(カメラ)を押すとテレビ電話発信します。
複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。

＜電話帳一覧画面＞

■検索順について
電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索します。

フリガナの頭文字がスペースのもの
↓
50音（ア、イ、ウ、エ、オ、・・・ン）
↓
英字（A、a、B、b、・・・Z、z）
↓
数字（0～9）
↓
記号
↓
フリガナが登録されていないもの

※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索します。

＜電話帳修正＞

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面▶(✉)(編集)

2 修正したい項目を選択▶(●)▶内容を修正

- 修正方法は電話帳の登録と同じです。
  電話帳の修正方法についてはP.97手順2参照。
- FOMA端末（本体）の電話帳を修正した場合、メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

3 (✉)(完了)▶YES

- FOMAカードの電話帳を修正した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

＜電話帳削除＞

電話帳を削除する

電話帳詳細画面から削除する

1 電話帳詳細画面▶(i)(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

項目	内容
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除・キャラ電削除	各項目を削除します。 ▶YES ●詳細画面で(◯)を押して削除する項目を表示します。表示した電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。

次ページにつづく

項目	内容
1件削除	▶YES

電話帳一覧画面から削除する

1 **電話帳一覧画面▶(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う**

項目	内容
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい電話帳にチェック▶(完了)▶YES ●を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。 ●シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を選択した場合は、「全削除」と同様の操作を行います。
全削除	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶▶YES▶YES

お知らせ

●複数の電話番号・メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号・メールアドレスを削除した場合、削除した項目以降の電話番号・メールアドレスの順番は繰り上がって登録されます。

＜電話帳登録件数＞ メニュー 2 2

電話帳の登録状況を確認する

1 **メニュー▶電話帳▶電話帳登録件数**

本体
電話帳 . . . . FOMA端末（本体）に登録されている電話帳の件数を表示します。
シークレット . . . . シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されている電話帳の件数を表示します。
静止画 . . . . 静止画が登録されている電話帳の件数を表示します。
キャラ電. . . . . キャラ電が登録されている電話帳の件数を表示します。
追加残 . . . . ：電話番号があと何件登録できるかを表示します。
：メールアドレスがあと何件登録できるかを表示します。
FOMAカード（UIM）
電話帳 . . . . FOMAカードに登録されている電話帳の件数を表示します。

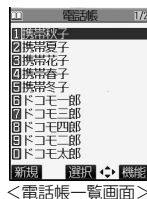
●確認が終わればクリアを押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

電話帳を使いこなす

電話帳一覧画面の機能メニュー

1 電話帳一覧画面▶(機能)▶以下の操作を行う

＜電話帳一覧画面＞

機能メニュー	内容
ソート お買い上げ時 フリガナ順	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**▶◎ ●「昇順」または「降順」を選択すると逆順に並べ替えます。
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
電話帳削除	電話帳を削除します。(P.106参照)

電話帳詳細画面の機能メニュー

1 電話帳詳細画面▶(機能)▶以下の操作を行う

＜電話帳詳細画面＞

機能メニュー	内容
発番号設定	発信者番号を通知するかしないかを設定します。(P.51参照)
プレフィックス	プレフィックスを付加します。(P.62参照)
国際電話発信	国際電話をかけます。(P.60参照)
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.392参照)
通信速度設定	テレビ電話の通信速度を設定します。(P.82参照)
電話帳便利機能	次のような機能を電話番号やメールアドレスごとに指定します。 ・音声／テレビ電話着信音(P.113参照) ・着信バイブレータ(P.115参照) ・着信イルミネーション(P.131参照) ・着信イメージ(P.124参照) ・応答メッセージ(P.75参照) ・メール着信音(P.113参照) ・メールバイブレータ(P.115参照) ・メールイルミネーション(P.131参照) ・通信速度設定(P.82参照) ・キャラ電設定(P.85参照)
電話帳指定設定	電話帳に指定機能を設定します。(P.150参照)
電話帳編集	P.105手順2へ進みます。

次ページにつづく

機能メニュー	内容
電話帳削除	電話帳を削除します。(P.105参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
iモードメール作成	メールアドレスを宛先としたiモードメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。 P.292手順3へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
オート表示	オート表示する電話番号を設定します。(P.126参照)
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
名前コピー	名前をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶されます。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●詳細画面でⓄを押してコピーする項目を表示します。表示した電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。
シークレットコード	▶端末暗証番号を入力▶◎▶コード設定 ●詳細画面でⓄを押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを表示させます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。確認が終わればクリアを押します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 ▶4桁のシークレットコードを入力▶YES 設定すると機能メニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。 ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。
シークレット解除	シークレット登録された電話帳を通常の電話帳に変更します。
FOMAカードへコピー・本体へコピー	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピーします。(P.380参照)
テレビ電話画像選択	テレビ電話の画像を選択します。(P.91参照)

お知らせ

<シークレットコード>

- シークレットコード登録をしている相手にiモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。
- FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。
- 送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。
- メールアドレスを「電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

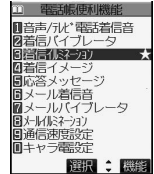
電話帳便利機能を確認／解除する

お買い上げ時	すべて解除

電話帳の電話番号やメールアドレスに設定した「電話帳便利機能」やグループに設定した「グループ便利機能」を確認／解除します。

1 メニュー▶電話帳▶**電話帳便利機能**

音声／テレビ電話着信音....P.113、P.114参照
着信バイブレータ.........P.115、P.116参照
着信イルミネーション......P.131参照
着信イメージ............P.124、P.125参照
応答メッセージ...........P.75、P.76参照
メール着信音............P.113、P.114参照
メールバイブレータ.......P.115、P.116参照
メールイルミネーション....P.131参照
通信速度設定............P.82参照
キャラ電設定............P.85参照
- 設定されている項目には「★」マークが付きます。

電話帳便利機能
1音声/テレビ電話着信音
2着信バイブレータ
3着信イルミネーション ★
4着信イメージ
5応答メッセージ
6メール着信音
7メールバイブレータ
8メールイルミネーション
9通信速度設定
0キャラ電設定
選択 機能

<電話帳便利機能画面>

2 **確認したい項目を選択▶◉**

選択した項目によっては、手順2の操作を繰り返して電話帳一覧画面を表示します。
- バイブレータの選択中は、確認のためバイブレータが動作します。通話中は確認のためのバイブレータは動作しません。
- イルミネーションの選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。

3 **電話帳を選択▶◉**

電話帳便利機能が設定されている電話番号やメールアドレスが表示されます。
- グループ名の前には「GR」が表示されます。
- 電話番号・メールアドレス・グループごとに電話帳便利機能を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号・メールアドレス・グループを選択し、◉を押して「YES」を選択します。

電話帳便利機能画面の機能メニュー

1 **電話帳便利機能画面▶i(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
設定確認	P.109手順2へ進みます。
設定解除	▶YES <例> P.109「電話帳便利機能を確認／解除する」手順1の画面から設定解除した場合は「着信イルミネーション」が設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。 P.109手順2で設定解除した場合は各項目に設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。

<ツータッチダイヤル>

少ないダイヤル操作で電話をかける

FOMA端末（本体）の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁と発信キーを押すだけで電話をかけることができます。

1 **ダイヤルボタン（0～9）▶発信キーまたは◉**

- テレビ電話キーを押すとテレビ電話発信します。

次ページにつづく

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信します。
- 「指定発信制限」を設定したときに、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号が「指定発信制限」に指定されていないときは、ツータッチダイヤルは使用できません。
  この場合は、設定している指定発信制限を解除するか、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号を指定発信制限に設定する必要があります。
- FOMAカードの電話帳にはメモリ番号がないため、ツータッチダイヤルで発信できません。

音／画面／照明設定

FOMA端末の着信音を変更する

お買い上げ時	電話：着信音1　テレビ電話：着信音1　メール：着信音2 チャットメール：着信音2　メッセージR：着信音3　メッセージF：着信音3

着信音を着信の種類、電話帳の電話番号やメールアドレス、グループごとに設定します。
ｉモーションを選択すると、着信時にｉモーションが再生され、音声が流れます。（着モーション）
●着信音は、PCM音源　64和音　ADPCM対応です。

■着信音一覧（プリインストール）

表　示	曲　名	作詞者名・作曲者名	3Dサウンド※1対応
着信音1	－	－	－
着信音2	－	－	－
着信音3	－	－	－
TOP GUN ANTHEM	TOP GUN ANTHEM	作曲：FALTERMEIER HAROLD	○
HEAVEN IS A PLACE	HEAVEN IS A PLACE ON EARTH	作詞・作曲：NOWELS RICHARD W JR 作詞・作曲：SHIPLEY ELLEN	－
ソニック 無敵※3	Sonic Invisible	作曲：中村 正人	－
夜想曲第20番	夜想曲第20番嬰ハ短調遺作	作曲：CHOPIN FREDERIC FRANCOIS	－
ダッタン人の踊り	ダッタン人の踊り	作曲：BORODIN ALEKSANDRE PORFIREVICH	○
Fuente	Fuente※5	オリジナル	－
おぼろ月夜	おぼろ月夜	作曲：岡野 貞一	－
ヴァイオリン ソナタ第5番	ヴァイオリン　ソナタ第5番 ヘ長調　春　Op24	作曲：BEETHOVEN VAN LUDWIG	○
サスペンス	－	－	－
ニュース速報	－	－	－
ソニック リング獲得音※3	Sonic Ring	－	－
3D 水の音	－	－	○
3D ヘリコプター	－	－	○
Change	－	－	○
メール（ニュースキャスター）	－	－	－
メール（スポーツ実況）	－	－	－
Soldier_mov/globe※2、※4	Soldier	作詞：小室 哲哉／MARC 作曲・編曲：小室 哲哉	－
Sonic Movie※2、※3	－	－	－

※1　3DサウンドについてはP.114参照。
※2　ｉモーション
※3　© SEGA MUSIC COMPOSED BY MASATO NAKAMURA
※4　© avex globe
（注）曲名・作詞者名・作曲者名のローマ字は大文字で表記しています。（※3、※4、※5を除く）
作詞者名・作曲者名はJASRACホームページに準拠して表示しています。
曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

JASRAC 許諾番号：V-056454

着信音選択

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **着信** ▶ **着信音選択** ▶ **着信の種類を選択** ▶ ◉ ▶ **着信音**

2 **着信音の種類を選択** ▶ ◉

- 「おしゃべり」を選択した場合は「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を選択します。設定が終了します。録音されていないときは表示されません。
- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

3 **フォルダを選択** ▶ ◉ ▶ **着信音またはｉモーションを選択** ▶ ◉

お知らせ

- 「電話」「テレビ電話」を選択し、「着信画面」を選択すると、着信画面を設定できます。P.123手順2へ進みます。
- 「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」を選択し、「メール着信画面」を選択すると、メール着信画面を設定できます。P.122手順2へ進みます。
- 着信の種類を選択し、✉（デモ）を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。
- 着信音の優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「着信音選択」の順になります。付加番号に着信した場合は、「マルチナンバー」の「着信音設定」で設定した着信音が鳴ります。
- 本機能の設定と「画面表示設定」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の着信音や画像が再生／表示されることがあります。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には「画面表示設定」よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には本機能よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した着信音が鳴り、お買い上げ時の画像が表示されます。
- ｉモーションによっては着信音に設定できない場合があります。
- 相手が発信者番号を通知してこない着信については、「非通知着信設定」で着信音を設定できます。
- 異なる種類のｉモードメール・SMS、チャットメール、メッセージR/Fを同時に受信した場合の着信音の優先順位は、「チャットメール」→「ｉモードメール・SMS」→「メッセージR」→「メッセージF」の順になります。同じ種類のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに対応した着信音が鳴ります。
- ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付・FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。

電話番号やメールアドレスごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号やメールアドレスごとに着信音を設定します。

1 **電話帳詳細画面** ▶ ⓘ（機能）▶ **電話帳便利機能** ▶ **音声／テレビ電話着信音・メール着信音**

P.113手順2へ進みます。
設定された項目に「★」マークが付きます。
- 電話番号やメールアドレスの着信音を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「電話帳便利機能」の「音声／テレビ電話着信音」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 設定した電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- 「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスからｉモードメールを受信したときは、電話帳の電話番号に設定したメール着信音でお知らせします。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）で電話帳のどの電話番号やメールアドレスが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

グループごとに設定する

メニュー 2 6

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとに着信音を設定します。
電話番号やメールアドレスごとに着信音が設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 メニュー ▶ 電話帳 ▶ **グループ設定** ▶ **グループを選択** ▶ (機能) ▶ **グループ便利機能** ▶ **音声／テレビ電話着信音・メール着信音**

P.113手順2へ進みます。
設定された項目に「★」マークが付きます。
- グループの着信音を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。
- 「グループ便利機能」の「音声／テレビ電話着信音」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループに設定されている着信音が優先されます。
- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になり、「着信音選択」で選択した着信音が鳴ります。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

<サウンド効果>

メニュー 6 4

着信音やメロディなどの音響効果を設定する

お買い上げ時	ｉモーションステレオ拡張：OFF　ステレオ・3Dサウンド設定：ON

メロディ再生音、着信音、効果音、ｉモーション再生音に音響効果を加えるかどうかを設定します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **着信** ▶ **サウンド効果**

ｉモーションステレオ拡張 . . . . **自然な立体感のある音を再生します。ｉモーション再生音に有効です。**
ステレオ・3Dサウンド設定 . . . **3Dサウンドを3次元の立体音響でステレオスピーカから再生します。ｉアプリの効果音や着信音などに有効です。**

2 **ON・OFF**

■3Dサウンド

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカ（またはステレオイヤホンセット）を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音、ｉモーションを臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。
迫力ある3Dサウンドをお楽しみいただくためには、FOMA端末を約40cm離し、正面に持って聞いた場合に最も効果が現れます。
正面から左右にずらした位置で聞く場合や、正面でも近すぎたり遠すぎたりした場合には効果が薄れてしまいますのでご注意ください。

お知らせ

- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「ｉモーションステレオ拡張」、「ステレオ・3Dサウンド設定」を「OFF」に設定してください。

<バイブレータ>

着信を振動で知らせる

お買い上げ時	OFF

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。

1 メニュー▶設定▶着信▶バイブレータ▶着信の種類を選択▶◎▶バイブレータのパターンを選択▶◎

パターン1 . . . . . . 約0.5秒間振動ON→約0.5秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン2 . . . . . . 約1秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン3 . . . . . . 約3秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
メロディ連動 . . . . 着信音に合わせて振動します。
OFF . . . . 振動しません。

- 選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
  ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。
- バイブレータ設定中は以下のアイコンが表示されます。
  - V♪：音声電話またはテレビ電話の着信時に振動
  - V✉：メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの受信時に振動
  - V♪✉：音声電話、テレビ電話・メール、チャットメール、メッセージR/Fの受信時に振動

お知らせ

- バイブレータの優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「バイブレータ」の順になります。
- 「着信音量」を「消去」以外に設定し、バイブレータを設定したときは、音と振動でお知らせします。「着信音量」を「消去」に設定したときは、振動だけでお知らせします。
- バイブレータの振動は、着信音量のレベルに関わらず、一定の強さとなります。
- 「メロディ連動」に設定していても、着信音にｉモーションやバイブレータ振動パターンが登録されていない着信音が設定されている場合は「パターン2」で振動します。
- バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。
- 充電するときは、バイブレータ設定の解除をおすすめします。

電話番号やメールアドレスごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号やメールアドレスごとにバイブレータを設定します。

1 電話帳詳細画面▶(機能)▶電話帳便利機能▶着信バイブレータ・メールバイブレータ▶バイブレータのパターンを選択▶◎

設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話番号やメールアドレスのバイブレータを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「電話帳便利機能」の「着信バイブレータ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 設定した電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- 「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスからｉモードメールを受信したときは、電話帳の電話番号に設定したメールバイブレータでお知らせします。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）で電話帳のどの電話番号やメールアドレスが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

グループごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとにバイブレータを設定します。
電話番号やメールアドレスごとにバイブレータが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 メニュー▶電話帳▶**グループ設定**▶**グループを選択**▶（機能）▶**グループ便利機能**▶**着信バイブレータ・メールバイブレータ**▶**バイブレータのパターンを選択**▶

設定された項目に「★」マークが付きます。
- グループのバイブレータを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。
- 「グループ便利機能」の「着信バイブレータ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループに設定されているバイブレータが優先されます。
- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になります。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

<おしゃべり機能>

録音した音を着信音などに使用する

FOMA端末で録音した音を各種着信音、応答／通話中保留音、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに設定できます。
1件につき約15秒間、2件まで録音できます。

1 メニュー▶ツール▶**おしゃべり機能**▶**おしゃべり1・おしゃべり2**▶**以下の操作を行う**

項目	内容
録音	録音時間（約15秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。 ●すでに録音されているデータがあるときは上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。 ●録音を途中でやめるときは、またはを押します。それまでの録音内容は保存されます。
再生	再生が終わると元の画面に戻ります。 ●再生を途中でやめるときは、またはを押します。
消去	▶YES

お知らせ
- 他の機能が動作中は、操作できません。
- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。（それまでの録音内容は保存されます。）
- 録音中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えると録音が中断されます。

＜ボタン確認音＞

メニュー 3 0

ボタンを押したときの音を設定する

お買い上げ時	ON

1 ▶**その他**▶**ボタン確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 音量はレベル4で鳴ります。
- 本機能を「OFF」に設定したときは、次の音も鳴りません。
  - ・各種警告音
  - ・電池残量確認音（P.47参照）
- ▲、▼、∧、∨、TVを押してもボタン確認音は鳴りません。
- 着信中や動画／ｉモーション再生中などは、ボタン確認音は鳴りません。

＜充電確認音＞

充電開始／終了時の音を設定する

お買い上げ時	ON

充電開始、終了時に「ピピッ」と確認音を鳴らします。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**充電確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 待受画面以外を表示中やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は、充電確認音は鳴りません。

＜通話品質アラーム＞

メニュー 7 5

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

1 メニュー▶設定▶**通話**▶**通話品質アラーム**

アラームなし . . .お知らせしません。
アラーム高音 . . .高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 . . .低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- 急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

＜メール／メッセージ鳴動＞ メニュー 6 8

メールやメッセージR/Fの着信音が鳴る時間を設定する

お買い上げ時	メール／メッセージ鳴動：ON　鳴動時間：5秒

ｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/Fを受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 メニュー▶設定▶**着信▶メール／メッセージ鳴動▶メールやメッセージの種類を選択▶◎▶ON・OFF**

●「OFF」を選択した場合は設定が終了します。待受画面に「S」が表示されます。

2 **鳴動時間（秒）を入力**

●「01」～「30」の2桁を入力します。
●設定されている鳴動時間を変更しない場合は、鳴動時間を入力せずに◎を押します。

＜イヤホン切替＞ メニュー 5 1

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

お買い上げ時	イヤホン＋スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続したとき、着信音の鳴る場所を設定します。
着信音だけでなく、アラーム通知、メロディプレーヤーの再生音なども設定した場所から鳴ります。

1 メニュー▶設定▶**外部オプション▶イヤホン切替▶イヤホン＋スピーカ・イヤホン**

お知らせ

●「イヤホン」のみの設定でも、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ただし、以下の場合は、約20秒たってもスピーカから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
・電話やメールなどの着信時以外の操作で着信音を鳴らしている場合
・アラーム通知以外の操作で着信音を鳴らしている場合
・ｉモードメール・SMS、チャットメール、メッセージR/Fの着信音にｉモーションを設定している場合
●「イヤホン」のみの設定でも、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときや、静止画・動画の撮影開始時は、スピーカから音が鳴ります。
●平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
●通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

<マナーモード>

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時	解除

FOMA端末の音を周囲に出したくないときに、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないようにできます。
マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選べます。
「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

1 待受中・通話中▶#（1秒以上）

「マナーモード選択」で選択したマナーモードに設定されます。

お知らせ

- マナーモード設定中でも、静止画・動画の撮影開始音は鳴ります。
- マナーモード設定中にメロディを再生しようとすると、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。再生を行うと「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディが鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときはレベル2で鳴ります。
- マナーモード設定中に音声付きのｉモーションを再生しようとすると、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。音声の再生を行うとレベル4の音量で音声が鳴ります。音量はレベル0～6まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
- マナーモード設定中にデジタルテレビやアナログテレビを起動しようとしたり、ビデオを再生しようとすると、音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。出力を行うと前回視聴していた音量で鳴ります。

■マナーモード設定中の表示

マナーモードに設定中は「 」が表示されます。また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

：「バイブレータ」でお知らせ

・・：「着信音量」を「消去」に設定

■マナーモードを解除するには

#を1秒以上押します。通話中、呼び出し中は「ピピッ」という音が鳴り、解除した旨のメッセージが表示されます。

■着信中にマナーモードにするには

#または▼を押します。

マナーモードになり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件が録音されます。

「伝言メモ」が「ON」に設定されていなくても伝言メモへ移ります。

電話に出るときは（）を押してください。

- すでに伝言メモが5件録音されているときは、伝言メモは動作しません。「マナーモード選択」で設定したマナーモードの着信動作になります。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。マナーモードを解除するときは#を1秒以上押します。

■通話中、呼び出し中にマナーモードにすると

通話中、呼び出し中にマナーモードに設定したときは設定した旨のメッセージが表示されます。

マナーモードを選択する

お買い上げ時	マナーモード

マナーモード設定中の動作を3種類から選択します。

■マナーモード設定中の動作

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー
伝言メモ	伝言メモ設定値		オリジナルマナー設定値
バイブレータ※1	ON		オリジナルマナー設定値
電話着信音量	消去		オリジナルマナー設定値
メール着信音量	消去		オリジナルマナー設定値
アラーム音量	消去		オリジナルマナー設定値
メモ確認音	ON	OFF	オリジナルマナー設定値
ボタン確認音	OFF		オリジナルマナー設定値
通話中マイク感度	アップ		オリジナルマナー設定値
低電圧アラーム（電池切れアラーム）	OFF		オリジナルマナー設定値※2
着信音選択中の確認音	消去		オリジナルマナー「電話着信音量」「メール着信音量」設定値
応答保留音	消去		オリジナルマナー「電話着信音量」設定値※3
通話中保留音	消去		オリジナルマナー「電話着信音量」設定値※4
おしゃべり録音時の確認音	ON	OFF	オリジナルマナー「メモ確認音」設定値
電池残量確認音	消去		消去
不在着信・新着メールの確認音	消去		オリジナルマナー「電話着信音量」設定値※5
各種警告音	消去		オリジナルマナー「ボタン確認音」設定値
スケジュールアラーム	消去		オリジナルマナー「電話着信音量」設定値
視聴予約アラーム	消去		オリジナルマナー「電話着信音量」設定値
静止画・動画の撮影開始音	レベル5		レベル5
シャッター音選択時の確認音	OFF		オリジナルマナー「メモ確認音」設定値

※1 以下の音を振動でお知らせします。
着信音、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム
バイブレータのパターンはP.115での設定と同じになります。ただし、P.115の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
不在着信、新着メール確認音
・不在着信または新着メールがあるときは約1秒間振動します。
・不在着信も新着メールもないときは約0.2秒間振動します。
※2 音量はオリジナルマナー「電話着信音量」の設定に従います。「消去」のときはレベル1で鳴ります。
※3 電話着信音量が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。
※4「消去」以外のときはレベル1で鳴ります。
※5「消去」以外のときはレベル6で鳴ります。

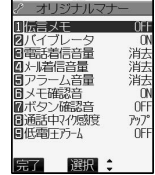
マナーモード・スーパーサイレント

電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする標準的な「マナーモード」、受話口から鳴る確認音なども消去する「スーパーサイレント」を選択します。

1   ▶着信▶マナーモード選択▶マナーモード・スーパーサイレント

オリジナルマナー

「オリジナルマナー」を選択するとマナーモード設定中の動作をお好みで設定できます。

1 メニュー▶設定▶着信▶マナーモード選択▶オリジナルマナー▶以下の操作を行う

項目	内容
伝言メモ お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF ●「ON」を選択した場合は、P.74の「伝言メモ」を「OFF」に設定していると、呼出時間は約8秒になり変更できません。 ●伝言メモについてはP.74参照。
バイブレータ お買い上げ時 ON	電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。 ▶ON・OFF ●バイブレータについてはP.115参照。
電話着信音量 お買い上げ時 消去	音声電話、テレビ電話の着信音量を調節します。 ▶○で音量を調節▶○ ●着信音量についてはP.69参照。
メール着信音量 お買い上げ時 消去	iモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したときの着信音量を調節します。 ▶○で音量を調節▶○ ●着信音量についてはP.69参照。
アラーム音量 お買い上げ時 消去	▶○で音量を調節▶○ ●アラームについてはP.368参照。
メモ確認音 お買い上げ時 ON	伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時の確認音を鳴らします。 ▶ON・OFF
ボタン確認音 お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF ●ボタン確認音についてはP.117参照。
通話中マイク感度 お買い上げ時 アップ	▶標準・アップ
低電圧アラーム お買い上げ時 OFF	低電圧アラーム（電池切れアラーム）を鳴らします。 ▶ON・OFF ●低電圧アラーム（電池切れアラーム）についてはP.47参照。

2 ✉（完了）を押す

画面の表示を変更する

待受画面を設定する

お買い上げ時	Blue

待受画面に表示する画像を設定します。FOMA端末で撮影したｉモーションやサイトから取得したｉモーションなども待受画面に設定できます。

1 **メニュー▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶待受画面▶画像の種類を選択▶●**

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。
- 「カレンダー」を選択した場合は、「背景画像あり」または「背景画像なし」を選択します。「背景画像なし」を選択すると設定が終了します。
- 「ｉアプリ待受画面」を選択した場合は、ｉアプリを選択し、●を押します。設定が終了します。
- ｉアプリを選択したあとに変更するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
  通信を許可するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」または「NO」を選択します。

2 **フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●**

- 待受画面に表示されるとき、画面より大きいサイズの画像は縦横の比率を変えずに縮小され、全体表示されます。画面より小さいサイズの画像は等倍表示されます。

■カレンダーを設定したときは

待受画面に当月のカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールの設定（P.370参照）ができるようになります。
祝日は「国民の祝日に関する法律」（昭和23年法律178号）、及び2005年5月までに既に公布されている一部改正法に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。

- 前後の月のカレンダーを確認します
  待受画面で●を押したあとに▲を押すと前の月のカレンダーが、▼を押すと次の月のカレンダーが表示されます。
  待受画面に貼り付けアイコンがあるときは、●を押すと前回使った貼り付けアイコンまたはカレンダーが選択されます。▲▼でカレンダーを選択し、もう一度●を押してから▲▼で前の月、次の月のカレンダーを表示します。
- 続けてスケジュールの設定ができます
  もう一度●を押すと表示している月の「スケジュール」が設定できます。

■アニメーション・「自作アニメ」を設定したときは

FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

■Flash画像を設定したときは

FOMA端末を開いたときに再生され、最初に操作したときの画面が待受画面として表示されます。

■ｉモーションを設定したときは

FOMA端末を開いたときに再生され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。
- 再生中に▲▼または▲▼を押すと、音量を調節できます。
  ●、✉、ｉ、◀▶、クリア、📞、カメラ、PWR HLD を押すと、再生を終了します。
- マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されている待受画面についてはP.454参照。
- 画像によっては待受画面に設定できない場合があります。
- デジタルテレビから録画したビデオや静止画は設定できません。
- 「オート表示」を設定しているときは、オート表示の設定が優先となり、FOMA端末を開いたときに画像は表示されません。
- Flash画像の音声は再生されません。

ウェイクアップ画面を設定する

お買い上げ時	Hello!

電源を入れたときに表示する画像やメッセージを設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶ウェイクアップ表示▶画像の種類を選択▶◉

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。
- 「メッセージ」を選択した場合は、メッセージを入力し、◉を押します。全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。
- 「マイピクチャ」を選択した場合は、P.122手順2へ進みます。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているウェイクアップ画面についてはP.454参照。
- Flash画像の音声は再生されません。
- デジタルテレビから録画したビデオや静止画は設定できません。

電話発着信時などの画面を設定する

お買い上げ時	スタンダード

発着信、メール送受信、問い合わせ中に表示する画像を設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶画面の種類を選択▶◉

- 「電話着信」「テレビ電話着信」を選択した場合は、「着信画面」を選択します。
- 「メール受信」を選択した場合は、「メール着信画面」を選択し、P.122手順2へ進みます。
- 「電話発信」「テレビ電話発信」「メール送信」「問い合わせ」を選択した場合は、P.122手順2へ進みます。

2 画像の種類を選択▶◉

P.122手順2へ進みます。

お知らせ

- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、「着信音」を選択すると、着信音を設定できます。P.113手順2へ進みます。
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、✉（デモ）を押すと、実際に表示／再生される内容を確認できます。
- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には本機能よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合は、本機能で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には「着信音選択」よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴り、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 本機能の設定と「着信音選択」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の画像や着信音が表示／再生されることがあります。
- 画像によっては画面表示に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。
- ｉモーションは「電話着信」、「テレビ電話着信」にのみ設定できます。
- デジタルテレビから録画したビデオや静止画は設定できません。

省電力モードを設定する

お買い上げ時	ON

ディスプレイの表示を消して電池の消費を減らす省電力モードを設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶**ディスプレイ▶画面表示設定▶省電力▶ON・OFF**

お知らせ

- 「ON」に設定したときは、待受画面表示時に何も操作をしないで一定時間経過するとディスプレイの表示が消え、FOMA端末を開いているときはコマンドナビゲーションボタンが約5秒間隔で点滅します。
- ここでの設定は、「照明設定」の「省電力モード」と共通です。また、省電力モードに切り替わるまでの待ち時間は、「照明設定」の「待ち時間（分）」で設定します。（P.127参照）
- 充電中・待受ｉアプリ設定中・マルチタスク中は省電力モードに切り替わりません。
- 省電力モードになると、プライベートウィンドウの表示も消えます。(▲)、(▼)、(∧)、(∨)、(TV)を押すと、再びプライベートウィンドウが表示されます。
- 省電力モード中にFOMA端末を操作したときや電話がかかってきたときなどは、ディスプレイは表示されます。ただし、公共モード（ドライブモード）中に電話がかかってきたときは表示されません。

＜電話帳画像着信設定＞

電話帳に登録した画像を着信中に表示する

お買い上げ時	ON

相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある画像を表示します。

1 (メニュー)▶▶**着信▶電話帳画像着信設定▶ON・OFF**

お知らせ

- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話番号ごとの設定」→「グループごとの設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。
- シークレットデータとして登録した電話帳については、着信時にシークレットモードおよびシークレット専用モードにしていても画像の表示はされません。

電話番号ごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号ごとに着信時の画像を設定します。

1 **電話帳詳細画面▶(i)（機能）▶電話帳便利機能▶着信イメージ**

P.123手順2へ進みます。
「着信イメージ」に「★」マークが付きます。
- 電話番号の着信イメージを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「電話帳便利機能」の「着信イメージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 設定した電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）で電話帳のどの電話番号が設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

グループごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとに着信時の画像を設定します。
電話番号ごとに着信イメージが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 メニュー▶電話帳▶**グループ設定▶グループを選択▶**(機能)**▶グループ便利機能▶着信イメージ**

P.123手順2へ進みます。
「着信イメージ」に「★」マークが付きます。
●グループの着信イメージを解除するには、同様の操作を行います。

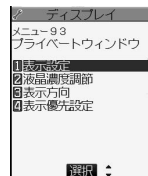
お知らせ

●「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。
●「グループ便利機能」の「着信イメージ」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
●複数のグループに同じ電話番号が登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号のグループに設定されている着信イメージが優先されます。
●シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になります。
●「電話帳便利機能」（P.109参照）でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

<プライベートウィンドウ>

プライベートウィンドウの表示を設定する

プライベートウィンドウの液晶濃度や、待受中、着信中などの表示を設定します。

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ▶プライベートウィンドウ**

2 **以下の操作を行う**

項目	内容
表示設定 お買い上げ時 ON	プライベートウィンドウに情報を表示するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
液晶濃度調節 お買い上げ時 レベル5	レベル1（薄い）〜レベル9（濃い）で調節します。 ▶**で濃度を調節▶** ●設定中にプライベートウィンドウで確認できます。
表示方向 お買い上げ時 パターン1	プライベートウィンドウに表示される時計などの向きを設定します。 ▶**パターン1・パターン2** ●設定中にプライベートウィンドウで確認できます。
表示優先設定（時計） お買い上げ時 パターン1	プライベートウィンドウに表示する時計を設定します。 ▶**時計▶パターン1・パターン2・パターン3** ●拡大時計の表示のしかたについてはP.34参照。 ●設定中にプライベートウィンドウで確認できます。

次ページにつづく

項目	内容
表示優先設定（文字・情報表示▶着信表示） お買い上げ時 ON	着信時に電話をかけてきた相手の電話番号や名前などを表示します。 **▶文字・情報表示▶着信表示▶ON・OFF**
表示優先設定（文字・情報表示▶メール表示） お買い上げ時 OFF	メールの受信日時、送信元、題名を表示します。 **▶文字・情報表示▶メール表示▶ON・OFF** ●メール表示の詳細についてはP.34参照。
表示優先設定（文字・情報表示▶アニメーション表示） お買い上げ時 ON＋ OFF	音声電話発信中や通話中にアニメーションを表示します。また、アニメーション表示時にバックライトを点灯するかどうかを設定します。 **▶文字・情報表示▶アニメーション表示▶ON＋ ON・ON＋ OFF・OFF**

お知らせ

- 「メール表示」を「ON」に設定していても、セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
- 他の機能が動作中は、設定できません。

＜オート表示＞

FOMA端末を開くだけで電話番号を表示する

待受画面表示中に閉じたFOMA端末を開くと、指定した電話帳の電話番号を表示します。 を押すだけで、その電話番号に音声電話をかけることができます。また、 を押すとテレビ電話発信します。

オート表示を設定する

お買い上げ時	OFF

1 **▶ 設定 ▶ディスプレイ▶オート表示▶ON・OFF**

お知らせ

- 各機能の操作中や文字などの入力中、通話中、PIMロック中、オールロック中、シークレット専用モード中にFOMA端末を閉じて開いたときはオート表示されません。
- オート表示中に 、 、 を押すと待受画面に戻ります。 を押すとメールメニューが表示されます。 を押すとｉモードメニューが表示されます。

オート表示する電話番号を指定／変更する

1 **電話帳詳細画面▶ （機能）▶オート表示**

オート表示が指定されると、電話帳の機能メニューの「オート表示」に「★」マークが付きます。

- オート表示に指定した電話番号を解除するには、同様の操作を行います。
- すでに別の電話番号をオート表示に指定しているときは、変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

- オート表示に指定できる電話番号は1件のみです。また、シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には指定できません。
- 「指定発信制限」と同時に「オート表示」を利用するには、「オート表示」に指定した電話番号にも「指定発信制限」を設定してください。

＜照明設定＞

ディスプレイとボタンの照明を設定する

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ▶照明設定▶以下の操作を行う**

項目	内容
通常時 お買い上げ時 ON＋省電 （バックライト：ON 省電力モード：ON 待ち時間：5分）	通常時にバックライトを点灯させるかどうかを設定します。また、省電力モードにするかどうかも設定します。 ▶**ON・OFF** ▶**ON・OFF** ●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。 ●ここでの設定は、「画面表示設定」の「省電力」と共通です。（P.124参照） ▶**待ち時間（分）を入力** ●「02」～「20」の2桁を入力します。 ●省電力モードに切り替わるまでの待ち時間を変更しない場合は、入力せずに◉を押します。
充電時 お買い上げ時 標準	**標準．．．．．．．．通常時にバックライトが点灯するときと同じ設定で充電中も点灯します。** **常時点灯 ．．．．充電中にバックライトを常時点灯します。**
範囲 お買い上げ時 液晶＋ボタン	バックライトが点灯する範囲を設定します。 ▶**液晶＋ボタン・液晶**
明るさ お買い上げ時 レベル2	レベル1（暗い）～レベル3（明るい）で調節します。 ▶**明るさを選択**▶◉ ●ここでの設定は、ディスプレイのバックライトにのみ有効です。

■バックライトのON／OFFをワンタッチで切り替えるには

5を1秒以上押すたびにON／OFFが切り替わります。
「充電時」、「範囲」、「明るさ」の設定は変わりません。
- 「通常時」を「OFF」に設定したときは待受画面に「💡」が表示されます。

お知らせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときなどに「範囲」で設定した箇所が約15秒間点灯します。FOMA端末を閉じているときに着信などがあった場合は、プライベートウィンドウのバックライトが点灯します。カメラ起動中、動画／ｉモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定に関わらず、常時点灯します。
- テレビ電話中の画面の照明設定についてはP.88参照。
- テレビ視聴中の画面の照明設定についてはP.327参照。
- ACアダプタ（別売）などの外部電源から電源を供給されているときは、通常時のバックライトのON／OFF設定に関わらず、充電時の設定になります。
- ｉモードメールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 待受画面に静止画以外を設定している場合は、画像の再生が終了したあと、待ち時間が経過すると省電力モードに切り替わります。

＜液晶AI＞
ディスプレイの画質を自動的に調整する

お買い上げ時	ON

テレビ電話中やｉモーション再生中、テレビ視聴中、ビデオ再生中にディスプレイのバックライトの明るさを自動的に調整し、その明るさにあわせて画像の画質補正をするかどうかを設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶液晶AI▶ON・OFF

お知らせ
- 他の機能が動作中は、設定できません。
- 「ON」に設定した場合、「照明設定」の「明るさ」で設定したレベル内でバックライトの明るさを調整します。メニューを選択中も調整されます。ただし、画面の明るさにあわせて画像を調整するため、ディスプレイが暗くなる場合があります。

＜配色パターン＞ メニュー 8 6
画面の色の組み合わせを設定する

お買い上げ時	スタンダード

文字や背景など、画面の配色を設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶配色パターン▶配色パターンを選択▶◉
- 「スタンダード」「カジュアル」「サイレント」「フローラル」「ミッドナイト」から選択します。
- 選択中は、確認のため選択している配色パターンで画面が表示されます。

お知らせ
- 他の機能が動作中は、設定できません。
- 複数の色で表示されているアイコンや画像、ｉモード対応のインターネットホームページ（サイト）の色は変わりません。

＜メニュー画面設定＞ メニュー 5 7
メニュー画面の表示を設定する
ガイダンス表示

お買い上げ時	ON

メインメニューやショートカットメニューのガイダンス表示を設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶メニュー画面設定▶ガイダンス表示▶ON・OFF

ON

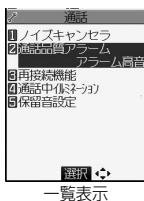
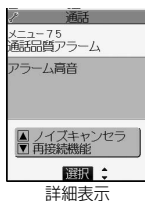
OFF

メニュー表示

お買い上げ時	詳細表示

「設定」のメニュー小項目（機能）の表示を設定します。

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ▶メニュー画面設定▶メニュー表示▶詳細表示・一覧表示**

詳細表示

一覧表示

お知らせ

- 「プライベートメニュー」は、本機能の設定に関わらず常に「一覧表示」になります。

メニューアイコン設定

お買い上げ時	パターン1

メインメニューに表示されるアイコンや背景の画像を変更します。

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ▶メニュー画面設定▶メニューアイコン設定**

パターン1 .....パターン1に設定します。設定が終了します。
パターン2 .....パターン2に設定します。設定が終了します。
カスタマイズ ...メニューアイコンや背景の画像をそれぞれ選択します。

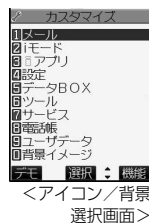
パターン1

パターン2

2 **変更したいメニューアイコンまたは背景を選択▶◉▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶◉**

手順2を繰り返してメニューアイコンまたは背景の画像を設定します。

- メニューアイコンまたは背景選択中に✉（デモ）を押すと、現在設定されている画像を確認できます。
  「背景イメージ」のデモを確認中にｉ（枠色）を押すとグループを表す枠の色を設定できます。
  色を選択し、◉を押します。✉（切替）を押すと16色と256色を切り替えます。

<アイコン／背景選択画面>

お知らせ

- カスタマイズで設定できる画像は、画像サイズがVGA（640×480）以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。ただし、背景にアニメーションGIFは設定できません。
- カスタマイズで設定した画像を削除した場合や、カスタマイズに設定中にPIMロックを設定した場合は、パターン1の画像が表示されます。
- カスタマイズに設定すると、「バイリンガル」の設定を切り替えても、メインメニューの表示は切り替わりません。

アイコン／背景選択画面の機能メニュー

1 アイコン／背景選択画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
1件リセット	「パターン1」と同じ画像（お買い上げ時）に戻します。 ▶YES
全件リセット	メニューアイコンと背景をすべて「パターン1」と同じ画像（お買い上げ時）に戻します。 ▶YES

<着信イルミネーション> メニュー89

着信中の着信／充電ランプの色を設定する

着信／充電ランプの点滅色を着信の種類ごとに設定します。

1 メニュー▶設定▶着信▶着信イルミネーション▶以下の操作を行う

項目	内容
着信イルミネーション選択 お買い上げ時 電話：色5 テレビ電話：色5 メール：色1 チャットメール：色3 メッセージR：色1 メッセージF：色1	▶着信の種類を選択▶●▶○で色を選択▶● ●色1～12を順番に点滅させる場合は「グラデーション」を選択します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。
パターン設定 お買い上げ時 固定パターン	着信イルミネーションとコマンドナビゲーションボタンの点滅パターンを設定します。 固定パターン.....約0.5秒間点灯→約0.5秒間消灯の繰り返しで点滅します。 メロディ連動.....着信音に合わせて点滅します。
カラー設定 （カラー名編集）	▶カラー名編集▶色を選択▶●▶名前を入力▶● ●「グラデーション」は編集できません。 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
カラー設定 （カラー調節）	▶カラー調節▶色を選択▶●▶○でカラーを調節▶● ●「グラデーション」は調節できません。 ●○で色を選択し、○で色調を変更します。

お知らせ

<着信イルミネーション選択>
- 着信イルミネーションの優先順位は、「電話番号やメールアドレスごとの設定」→「グループごとの設定」→「着信イルミネーション選択」の順になります。
- コマンドナビゲーションボタンの点滅色は設定できません。

<パターン設定>
- 「メロディ連動」に設定していても、ｉモーションやメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていないメロディを着信音に設定している場合は、「固定パターン」で点滅します。

電話番号やメールアドレスごとに設定する

FOMA端末（本体）の電話帳に登録した電話番号やメールアドレスごとに着信イルミネーションを設定します。

1 **電話帳詳細画面▶(機能)▶電話帳便利機能▶着信イルミネーション・メールイルミネーション▶で色を選択▶**

設定された項目に「★」マークが付きます。

- 色1～12を順番に点滅させる場合は「グラデーション」を選択します。
- 電話番号やメールアドレスの着信イルミネーションを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「電話帳便利機能」の「着信イルミネーション」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 設定した電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。
- 「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスからｉモードメールを受信したときは、電話帳の電話番号に設定したメールイルミネーションでお知らせします。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）で電話帳のどの電話番号やメールアドレスが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

グループごとに設定する

メニュー 2 6

FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているグループごとに着信イルミネーションを設定します。電話番号やメールアドレスごとに着信イルミネーションが設定されている場合は、そちらの設定が優先されます。

1 **メニュー▶電話帳▶グループ設定▶グループを選択▶(機能)▶グループ便利機能▶着信イルミネーション・メールイルミネーション▶で色を選択▶**

設定された項目に「★」マークが付きます。

- 色1～12を順番に点滅させる場合は「グラデーション」を選択します。
- グループの着信イルミネーションを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 「グループ00」やFOMAカードのグループには設定できません。
- 「グループ便利機能」の「着信イルミネーション」の設定は相手が発信者番号を通知してこないときは無効になりますのでご注意ください。「番号通知お願いサービス」を設定しておくことをおすすめします。
- 複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されているときは、行検索の検索順で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループに設定されている着信イルミネーションが優先されます。
- シークレットデータと通常の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定できますが、シークレットデータからの着信では設定は無効になります。
- 「電話帳便利機能」（P.109参照）でどのグループが設定されているかを確認したり設定を解除したりできます。

<通話中イルミネーション>

通話中の着信／充電ランプの色を設定する

お買い上げ時	OFF

通話中の着信／充電ランプの点滅色を設定します。

1 **メニュー▶設定▶通話▶通話中イルミネーション▶で色またはグラデーションを選択▶**

- 着信／充電ランプを点滅させない場合は「OFF」を選択します。
- 選択中は、確認のため着信／充電ランプが点滅します。

次ページにつづく

お知らせ

- 伝言メモの動作中、応答保留中、通話中保留中なども通話中と同じ色で点滅します。

＜確認機能設定＞

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

お買い上げ時	電子音

不在着信・新着メール・新着チャットメール・伝言メモ・留守番電話があるかないかを、FOMA端末を閉じたまま▼を押して確認します。

1 **メニュー▶設定▶着信▶確認機能設定**

電子音 ..... 不在着信や新着メール、新着チャットメールがあるかないかを電子音と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

ボイス ..... 「新着チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の順に声と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

OFF .... 確認の機能をOFFにします。

■FOMA端末を閉じた状態で▼を押すと

不在着信や新着メール、新着チャットメールがあるとき

（待受画面に「不在着信あり」、「新着メールあり」または「チャットメールあり」のアイコンのいずれかが表示されているとき）

「確認機能設定」を「電子音」に設定していると、「ピピ、ピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

「確認機能設定」を「ボイス」に設定していると、「ピピ」という音が鳴り「新着メールあり」、「不在着信あり」などと声でお知らせし、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

- 声でのお知らせが終了するまでに▼を再度押すと、お知らせを停止できます。

不在着信や新着メール、新着チャットメールがないとき

「確認機能設定」を「電子音」または「ボイス」に設定していると、「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点滅します。

「ボイス」に設定していても、声でお知らせはしません。

お知らせ

- 本機能を利用するには、「サイドボタン操作」が「閉じた時有効」に設定されている必要があります。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは「サイドボタン操作」の設定に関わらず本機能を利用できます。
- ｉモードセンターに蓄積されている新着メールは本機能で確認できません。
- 不在着信があるときは、「着信イルミネーション」の「電話」で設定されている色で着信／充電ランプが点灯します。新着メールがあるときは、「着信イルミネーション」の「メール」で設定されている色で着信／充電ランプが点灯します。新着チャットメールがあるときは、「着信イルミネーション」の「チャットメール」で設定されている色で着信／充電ランプが点灯します。不在着信と新着メール、新着チャットメールがあるときは、それぞれの色が交互に点灯します。また、すべてなかったときは「色12」で着信／充電ランプが点滅します。
- お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。
- FOMA端末を開いた状態では確認できません。開いた状態で▼を押すと伝言メモ、音声メモを再生します。（P.77参照）
- 起動中の機能によっては、確認機能が動作しない場合があります。
- 確認音はレベル6の音量で鳴ります。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定しているときは、不在着信・新着メール、新着チャットメールともに着信／充電ランプと振動でお知らせします。
- マナーモード設定中は、音が鳴らず、振動でお知らせします。ただし、「オリジナルマナー」で「電話着信音量」を「消去」以外に設定しているときは音が鳴り、「バイブレータ」を「OFF」に設定しているときは振動しません。
- 振動でのお知らせは次のようになります。
  - ・不在着信または新着メール、新着チャットメールがあるときは約1秒間振動します。
  - ・不在着信も新着メール、新着チャットメールもないときは約0.2秒間振動します。

デスクトップのアイコンを利用する

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）や新着メールがあったときなど、待受画面にアイコンでお知らせします。（お知らせアイコン）
また、よく使う電話番号やメールアドレスなどをアイコンとして貼り付けることができます。（貼り付けアイコン）

デスクトップにアイコンを貼り付ける

電話番号やメールアドレスなどを「貼り付けアイコン」として合計15件まで貼り付けることができます。

画面・操作	貼り付けられる項目
リダイヤル表示中・発信履歴表示中・着信履歴表示中	電話番号
電話帳（詳細画面）表示中	電話番号・メールアドレス
サイト表示中・Bookmark一覧画面・URL入力履歴	URL
送受信メール詳細画面・送受信アドレス一覧画面・送受信アドレス詳細画面	送信元・宛先
ソフト一覧画面	iアプリ
静止画再生中・静止画一覧画面	ピクチャ
動画一時停止中・動画再生終了時・動画一覧画面	iモーション
キャラ電一覧画面・キャラ電表示画面	キャラ電
メロディ一覧画面・メロディ再生画面	メロディ
ビデオ一覧画面・ビデオ一時停止中・ビデオ再生終了時	ビデオ
カメラメニュー表示中	カメラメニュー
バーコードリーダー選択画面	バーコードリーダー
テキストリーダー選択画面	テキストリーダー
赤外線受信選択画面	赤外線受信
ToDo表示中	ToDo
プライベートメニュー登録画面	プライベートメニュー

1 貼り付けたい項目の画面▶(i)(機能)▶デスクトップ貼付▶YES

- 送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、(○)で貼り付けたいメールアドレスや電話番号を選択し、(●)を押します。

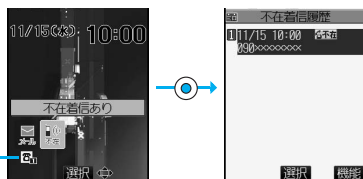
お知らせ

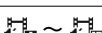
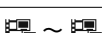
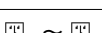
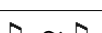
- サイトによっては、URLをデスクトップ貼付できないことがあります。
- URLのタイトルは、全角16文字まで、半角32文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上あるときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。
- ファイルやデータによってはデスクトップ貼付できない場合があります。

デスクトップのアイコンからそれぞれの機能に進む

1 待受画面▶(●)

各アイコンの説明が表示されます。

2 でアイコンを選択▶

●「貼り付けアイコン」は5件まで表示されます。
6件以上ある場合は「◀」「▶」が表示されます。

不在着信のアイコンを選択した場合

お知らせ

●「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには、クリアを1秒以上押します。
●「お知らせアイコン」を削除しても、「貼り付けアイコン」は削除されません。

■お知らせアイコン

アイコン	説明	選択したときの動作
不在	かかってきた電話に出られなかった場合	不在着信の着信履歴一覧画面が表示されます。（P.67参照）
伝言	伝言メモが録音された場合	メモ一覧画面が表示されます。（P.77参照）
メール	新着のｉモードメールやSMSがある場合	受信メール一覧画面が表示されます。（P.260参照）
チャット	新規のチャットメールがある場合	チャットメールが起動します。（P.287参照）
ソフト	ｉアプリの自動起動ができなかった場合	ｉアプリの自動起動情報画面が表示されます。（P.308参照）
エラー	ｉアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生した場合	セキュリティエラー履歴が表示されます。（P.303参照）
アラーム	アラーム通知ができなかった場合	通知できなかったアラームの内容が表示されます。（P.370参照）
アラーム	予約アラーム通知ができなかった場合	通知できなかった視聴予約の内容が表示されます。（P.323参照）
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音された場合	留守番電話の画面が表示されます。（P.384参照）
更新	ソフトウェア更新を行った場合	端末暗証番号入力後、更新完了画面または完了しなかった理由が表示されます。（P.491参照）

■貼り付けアイコン

アイコン	説明	選択したときの動作
〜	電話番号を貼り付けた場合	電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面が表示されます。（P.54、P.80参照）
〜	サイトのURLを貼り付けた場合	サイトが表示されます。（P.193参照）
〜	ｉモードメールの送信元や宛先を貼り付けた場合	宛先が入力された状態でメール作成画面が表示されます。（P.235参照）
〜	SMSの送信元や宛先を貼り付けた場合	宛先が入力された状態でSMS作成画面が表示されます。（P.292参照）
〜	ｉアプリを貼り付けた場合※	ｉアプリが起動します。（P.302参照）
〜	ピクチャを貼り付けた場合※	ピクチャビューアで表示されます。（P.330参照）
〜	ｉモーションを貼り付けた場合※	ｉモーションプレーヤーで再生されます。（P.340参照）
〜	ビデオを貼り付けた場合※	ビデオプレーヤーで再生されます。（P.347参照）
〜	キャラ電を貼り付けた場合※	キャラ電プレーヤーで再生されます。（P.349参照）
〜	メロディを貼り付けた場合※	メロディプレーヤーで再生されます。（P.351参照）
	カメラメニューを貼り付けた場合	カメラメニューが表示されます。（P.160、P.161、P.167参照）
	バーコードリーダー機能を貼り付けた場合	バーコードリーダー選択画面が表示されます。（P.178参照）
	テキストリーダー機能を貼り付けた場合	テキストリーダー選択画面が表示されます。（P.183参照）
	赤外線受信機能を貼り付けた場合	赤外線受信選択画面が表示されます。（P.362、P.363参照）
	ToDo機能を貼り付けた場合	ToDoの一覧画面が表示されます。（P.374参照）
	プライベートメニューを貼り付けた場合	プライベートメニューが表示されます。（P.376参照）

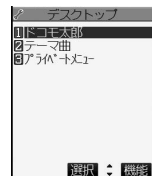
※登録元のデータが削除されたり上書き登録された場合は、貼り付けアイコンは無効になります。

貼り付けアイコンの詳細を確認する

メニュー 6 3

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ**▶**デスクトップ**

デスクトップに貼り付けられている貼り付けアイコンの一覧が表示されます。

●「貼り付けアイコン」が1件もない場合は、何も表示されません。

<貼り付けアイコン一覧画面>

2 **詳細を表示するアイコンを選択**▶◉

●URLが長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。

●確認が終われば クリア を押します。

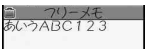
貼り付けアイコン一覧画面の機能メニュー

1 貼り付けアイコン一覧画面▶(機能)▶以下の操作を行う

●待受画面で貼り付けアイコンを選択しているときに(機能)を押しても機能メニューが表示されます。

機能メニュー	内容
タイトル編集	▶タイトルを入力▶◉ ●全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。ただし、アイコンを選択したときに表示されるタイトルは、入力したタイトルの先頭から全角11文字まで、半角22文字までです。
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>

●「貼り付けアイコン」を削除しても、「お知らせアイコン」は削除されません。

<フォント設定>

文字（フォント）の設定を変更する

メニュー 6 6

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶フォント設定▶以下の操作を行う

項目	内容
文字パターン お買い上げ時：フォント1	文字のフォント（書体）を切り替えます。 **フォント1...ゴシック体風のフォントにします。** **フォント2...ポップ体風（丸文字）のフォントにします。** フリーメモ あいうABC123（フォント1） フリーメモ あいうABC123（フォント2）
太さ お買い上げ時：中太字	**細字........文字を細くします。** **中太字......標準の太さ** **太字........文字を太くします。**

お知らせ

●他の機能が動作中は、変更できません。

●漢字など、文字によっては、「文字パターン」の設定に関わらず「フォント1」で表示されます。

●ｉモードのサイト表示中など、画面によっては、「太さ」の設定に関わらず「細字」で表示されます。

●電話番号入力や時計表示などの文字は変更できません。

＜正面時計設定＞ メニュー 3 9

時計の表示を設定する

待受画面の時計表示を日本語表示／英語表示／時計表示なしに切り替えたり、表示サイズを変更したりします。

1 メニュー▶設定▶**時計▶正面時計設定▶以下の操作を行う**

項目	内容
表示方法 お買い上げ時 日本語	▶日本語・英語・OFF
表示サイズ お買い上げ時 大きく表示	▶大きく表示・小さく表示

お知らせ

- ここでの設定は、プライベートウィンドウの時計表示に反映されません。

＜バイリンガル＞

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	Japanese

1 メニュー▶設定▶**ディスプレイ▶バイリンガル▶Japanese・English**

- Japanese（日本語表示）とEnglish（英語表示）では、以下の機能の項目が異なります。

機能	Japanese	English
正面時計設定の「表示方法」	日本語 英語 OFF	（選択不可） ON OFF
確認機能設定	電子音 ボイス OFF	ON （選択不可） OFF
使いかたナビ	（選択可能）	（選択不可）

お知らせ

- 他の機能が動作中は、変更できません。
- FOMAカードを挿入している場合、「バイリンガル」の設定はFOMAカードに記憶されます。
- FOMAカードの設定とFOMA端末の設定が異なる場合は、電源を入れたときにFOMA端末の設定がFOMAカードの設定に変更されます。

あんしん設定

暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

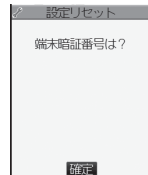
各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.141参照）

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉を押します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからはドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

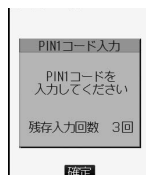
マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.199参照）
ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」→「8料金&お申込・設定」→「□ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.142参照）
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

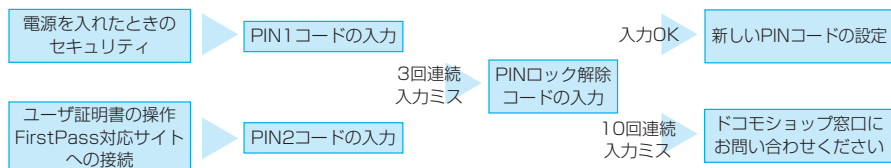
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コードまたはPIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、◉を押します。

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
- 3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。（入力可能な残りの回数は「残存入力回数」として画面に表示されます。）正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。

PIN1コードの場合

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

<端末暗証番号変更>

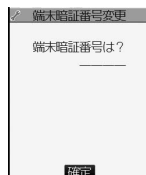
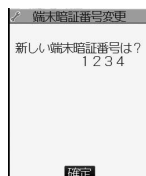
端末暗証番号を変更する

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号（4～8桁）に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶端末暗証番号変更▶現在設定されている端末暗証番号を入力▶◉**

- 初めて変更する場合は「0000」を入力します。

2 **新しい端末暗証番号（4～8桁）を入力▶◉▶YES**

次ページにつづく

お知らせ

- 本機能の設定により各種機能用の端末暗証番号が変更されます。

＜PIN設定＞

PINコードを設定する

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶PIN設定▶端末暗証番号を入力▶◉▶PIN1コード入力設定▶ON・OFF▶PIN1コードを入力▶◉

- PIN1コードについてはP.141参照。

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

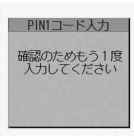
1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶PIN設定▶端末暗証番号を入力▶◉▶PIN1コード変更・PIN2コード変更▶現在設定されているPIN1コードまたはPIN2コードを入力▶◉

- PIN1コード／PIN2コードについてはP.141参照。

PIN1コード変更の場合

2 新しいPIN1コードまたはPIN2コード（4～8桁）を入力▶◉

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

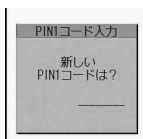
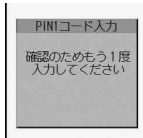
3 新しいPIN1コードまたはPIN2コードを再入力▶◉

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 PINロック解除コード（8桁）を入力▶◉

- 入力した解除コードは「_」で表示されます。

2 新しいPIN1コード／PIN2コード（4～8桁）を入力▶◉

●入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力▶◉

<オールロック>

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時	解除

オールロックをかけると電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力▶◉

「🔒」と「オールロック」が表示され、オールロックが設定されます。

●オールロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力し、◉を押します。

お知らせ

●オールロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には発信できます。確認画面で「YES」を選択すると発信します。
●オールロック中は電話がかかってきても着信動作せず、相手には話中音が流れます。ただし、遠隔監視を受けることはできます。
●オールロックは電源を切っても解除されません。
●オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
●通話中や他の機能が動作中は、設定できません。
●オールロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。オールロック解除後に「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
●オールロック中は、デスクトップのアイコンは表示されません。オールロック解除後に再表示されます。
●オールロック中にスタイルを変更してもデジタルテレビやアナログテレビは起動できません。
●オールロックを設定しても、ICカードロックはかかりません。

メニュー 9 9

遠隔操作でロックをかける

お買い上げ時	OFF

FOMA端末の紛失時などに、登録した許可番号から監視時間内に設定回数電話をかけて、オールロックとICカードロックを同時にかけることができます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ロック／セキュリティ ▶ 遠隔ロック設定 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ● ▶ ON・OFF

●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

2 以下の操作を行う

項目	内容
許可番号 お買い上げ時: 未登録 ＜許可番号一覧画面＞	公衆電話1件を含む3件まで登録できます。 **▶＜未登録＞▶電話番号を入力▶●▶✉（完了）** ●変更する場合は、登録済みの許可番号を選択します。 ●26桁まで入力できます。 ●「公衆電話」を登録／変更する場合は、i（機能）を押して機能メニューから設定します。●を押しても変更できません。 ●すでに登録されている許可番号を変更した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
監視時間 お買い上げ時: 3分（ON設定時）	**▶監視時間（分）を入力** ●「01」～「10」の2桁を入力します。 ●設定されている監視時間を変更しない場合は、監視時間を入力せずに●を押します。
着信回数 お買い上げ時: 5回（ON設定時）	**▶着信回数（回）を入力** ●「03」～「10」の2桁を入力します。 ●設定されている着信回数を変更しない場合は、着信回数を入力せずに●を押します。

3 ✉（完了）を押す

お知らせ

●他の機能が動作中は設定できません。

許可番号一覧画面の機能メニュー

1 許可番号一覧画面 ▶ i（機能）▶ 以下の操作を行う

機能メニュー	内容
宛先参照入力	電話帳、リダイヤル、着信履歴から電話番号を呼び出して入力します。(P.236参照)
公衆電話	許可番号に公衆電話を登録します。
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>
- 許可番号をすべて削除した場合、「遠隔ロック設定」は「OFF」になり、遠隔操作でロックをかけることができなくなります。

■遠隔操作でロックをかける

「許可番号」に登録した電話番号または公衆電話からFOMA端末に電話をかけて、FOMA端末にオールロックとICカードロックを同時にかけます。あらかじめ「遠隔ロック設定」を「ON」に設定しておいてください。

1. 許可番号からFOMA端末に電話をかけ、呼び出し音などを確認して電話を切る
   - FOMA端末がすでにオールロック中だった場合、話中音が流れます。
   - 操作を繰り返して、「監視時間」で設定した時間内に、「着信回数」で設定した回数の不在着信をかけます。
2. 応答メッセージを確認して電話を切る
   - 遠隔ロックが設定された旨のメッセージが流れ、電話が切れます。

お知らせ

- 遠隔ロックをかける場合は、電話番号を通知して発信してください。
- 登録されている複数の許可番号から着信した場合、最初に着信した許可番号からの着信のみ着信回数として数えられます。
- 「許可番号」に登録した電話番号または公衆電話が着信拒否に設定されている場合も、遠隔ロックの着信回数として数えられます。
- 許可番号からの着信を手動で着信拒否したり、留守番電話サービスセンターや転送先に転送しても遠隔ロックの着信回数として数えられます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定し、呼出時間を0秒に設定した場合は遠隔ロックの着信回数として数えられません。
- FOMA端末の電源を切った場合や、許可番号からの着信に応答した場合、「伝言メモ」などでFOMA端末が自動的に応答した場合は、着信回数がリセットされます。
- マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中でも、遠隔ロックをかけることができます。
- セルフモード中、64Kデータ通信中は、遠隔ロックをかけることはできません。
- 遠隔操作でかけたロックの解除は、通常のオールロック、ICカードロックの解除と同じ操作で行います。遠隔操作ではオールロック、ICカードロックを解除できません。
- オールロックを解除しても、ICカードロックは解除されません。オールロックを解除したあと、ICカードロックを解除してください。

<セルフモード>

セルフモードを利用する

お買い上げ時	解除

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **ロック／セキュリティ ▶ セルフモード ▶ YES ▶ OK**

「SELF」が表示され、セルフモードが設定されます。
- ショートカットメニューで セルフモード を選択してもYES／NOの確認画面が表示されます。
- セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると、セルフモードを解除して発信します。
- セルフモード中は、メールやメッセージR/Fの受信も行いません。
- セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」のアイコンは表示されません。
- 通話中や他の機能が動作中は、設定できません。

<PIMロック>

個人情報に関する機能を操作できないようにする

お買い上げ時	解除

個人情報を他人が見たり、不正に書き換えられたりするのを防ぐため、以下の機能が使用できないように設定します。(「PIM」とは、「個人情報管理プログラム」を意味します。)

･伝言メモ	･ソフトウェア更新	･バーコードリーダー	･画像選択
･電話帳	･パターンデータ更新	･テキストリーダー	･遠隔監視設定
･オート表示	･ｉモード	･静止画※	･登録外着信拒否
･アラーム	･ブックマーク	･動画	･デスクトップ
･スケジュール	･ｉアプリ	･メロディ※	･設定リセット
･ToDo	･メール	･キャラ電	･端末初期化
･自局番号表示	･メールメンバー	･ビデオ	･メモの再生／消去
･音声メモ	･えチャット	･miniSDメモリーカード	･赤外線通信
･フリーメモ	･チャットグループ	･データリンク	･デジタルテレビ
･FOMAカード（UIM）操作	･カメラ	･おしゃべり機能	･アナログテレビ

※お買い上げ時に登録されている静止画・メロディは表示できます。

1 (メニュー)▶(設定)▶**ロック／セキュリティ**▶**PIMロック**▶**端末暗証番号を入力**▶◉

「(アイコン)」が表示され、PIMロックが設定されます。

●PIMロックを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

●PIMロックを設定すると、それまでのリダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に残っているデータはすべて削除されます。PIMロック設定以後に発生する発着信データは残ります。
●通話中や他の機能が動作中は、設定／解除できません。
●PIMロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。PIMロック解除後に「(アイコン)」「(アイコン)」「(アイコン)」などのアイコンが表示されます。
●PIMロック中はデスクトップの貼り付けアイコンを削除できません。また、PIMロック中は、「新着メールあり」「未通知アラームあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されない「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」がありますが、PIMロック解除後に再表示されます。
●PIMロック中は、FOMA端末を閉じた状態で(▼)を押して「不在着信」、「新着メール」を確認できません。
●PIMロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
●PIMロック中に「オールロック」を設定すると「(アイコン)」が消え、「(アイコン)」が表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

＜ダイヤル発信制限＞

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする

お買い上げ時	解除

ダイヤルボタンでの発信を禁止します。FOMA端末を会社の業務用としてお使いになるときなど、私用電話を防止するために操作を制限します。

■実行できない操作
・ダイヤルボタンでの発信
・着信履歴による発信
・初期値設定
・電話帳の登録、修正、削除、miniSDメモリーカードからのインポート、赤外線での送受信
・Phone To／AV Phone To 機能
・Mail To 機能

■実行できる操作
・電話帳の呼出発信
・リダイヤル、発信履歴による発信

1 メニュー▶
▶ロック／セキュリティ▶ダイヤル発信制限▶端末暗証番号を入力▶◉

「 」が表示され、ダイヤル発信制限が設定されます。
●ダイヤル発信制限を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

●ダイヤル発信制限を設定すると、それまでのリダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に残っているデータはすべて削除されます。ダイヤル発信制限の設定以後に発生する発着信データはすべて残ります。
●ダイヤル発信制限中でも緊急通報110番／119番／118番にダイヤルボタンで電話をかけることはできます。
●通話中や他の機能が動作中は、設定／解除できません。
●ダイヤル発信制限を設定しているときは、宛先を電話帳から呼び出したときと送信アドレス一覧から呼び出したときのみメールを送れます。
●ダイヤルボタンで入力した電話番号が電話帳に登録されている電話番号と一致した場合でも、発信できません。

＜サイドボタン操作＞

サイドボタンの誤動作を防止する

お買い上げ時	閉じた時有効

FOMA端末を閉じたときにサイドボタン（▲、▼、∧、∨、TV）が効かなくなるよう設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

1 メニュー▶**▶その他▶サイドボタン操作▶閉じた時有効・閉じた時無効**

●「閉じた時無効」に設定したときは「SIDE」が表示されます。

■サイドボタンの有効／無効を簡単に切り替えるには
メニューを押して＊を1秒以上押します。
●メインメニューが表示された状態で＊を1秒以上押すたびに「閉じた時有効／無効」が切り替わります。

＜履歴表示設定＞
リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

お買い上げ時	着信履歴：ON　リダイヤル／発信履歴：ON

1 **メニュー▶設定▶その他▶履歴表示設定▶端末暗証番号を入力▶●**

着信履歴. . . . . 着信履歴と受信アドレス一覧の表示を設定します。
リダイヤル／発信履歴. . . . リダイヤル・発信履歴と送信アドレス一覧の表示を設定します。

2 **ON・OFF**

お知らせ

●「履歴表示設定」の「着信履歴」を「OFF」に設定中は、デスクトップの「不在着信あり」アイコンを選択しても履歴は表示されません。
●「履歴表示設定」の「着信履歴」を「OFF」に設定中は、伝言メモの再生はできません。

＜シークレットモード＞＜シークレット専用モード＞
知られたくない電話帳やスケジュールを守る

お買い上げ時	解除

シークレットモード、シークレット専用モードで電話帳やスケジュールを登録すると、シークレットデータとなり、通常のモードでは呼び出せません。シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出します。

シークレットモードにする　メニュー 4 0

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶シークレットモード▶端末暗証番号を入力▶●**

「S」が表示され、シークレットモードになります。
●電話帳またはスケジュールを呼び出した場合、通常の電話帳またはスケジュールでは「S」が点灯したままとなり、シークレットデータのときは「S」が点滅します。
●シークレットモードを解除するには、同様の操作を行うかPWR/HLDを押します。

シークレット専用モードにする　メニュー 4 1

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力▶●**

「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。
●シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うかPWR/HLDを押します。

■シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するには
シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールの機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

お知らせ

- シークレット登録できる電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のみです。FOMAカードの電話帳はシークレット登録できません。
- シークレットモード、シークレット専用モード中は電話帳・スケジュールがシークレットデータとして登録されます。シークレットモード、シークレット専用モードでの電話帳・スケジュールの登録、削除などの方法は通常の電話帳・スケジュールと同様です。シークレットデータは、シークレットモードまたはシークレット専用モードにしない限り、呼び出したり、修正、削除、参照できません。
- シークレットモード中に電話帳・スケジュールの修正登録をしたときは、修正登録したデータはシークレットデータになります。（シークレットモード中に電話番号やメールアドレスの1件を修正登録したときは、修正登録したメモリ番号に登録されているすべての電話番号やメールアドレスがシークレットデータになります。）
- 電話帳をメモリ番号「000」～「009」にシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードにしない限り、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
- シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレット登録した相手が発信者番号を通知して電話をかけてきたときは、「着信履歴」には通知された電話番号が表示されますが、登録されている名前は表示されません。
- シークレットデータには、「電話帳便利機能」「電話帳指定設定」「オート表示」を設定できません。
- 「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
- 電話をかけた場合や、[発信]または[カメラ]を押してそのまま発信せずに待受画面に戻った場合、シークレットモード、シークレット専用モードは解除されます。
- 他の機能が動作中は、設定できません。
- 電話帳／スケジュールの編集中や電話帳検索の結果表示中に着信があった場合などはシークレットモード、シークレット専用モードは解除されます。電話帳／スケジュールの画面に戻ったときに操作をすると、端末暗証番号を入力する画面が表示されます。端末暗証番号を入力し、[●]を押すと再びシークレットモードまたはシークレット専用モードに設定され、操作を続けることができます。

<メールセキュリティ設定>

送受信メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時	すべてチェックなし

メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。
セキュリティを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 [メニュー]▶[メール]▶**メール設定**▶**メールセキュリティ設定**▶**端末暗証番号を入力**▶[●]▶**設定したいBOXにチェック**▶[✉]（完了）

- [●]を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

お知らせ

- セキュリティを設定すると、メールメニューの設定したBOXに「[アイコン]」のアイコンが付きます。
- 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。
- 受信BOX内や送信BOX内の各フォルダにもセキュリティを設定できます。（P.268、P.273参照）

＜電話帳指定設定＞

電話帳に指定機能を設定する

お買い上げ時	すべて解除

指定発信制限
指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出してまたはを押します。（テレビ電話をかけるときはを押します。）電話番号は20件まで指定できます。

指定着信拒否
指定した電話番号からの電話がつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

指定着信許可
指定した電話番号からの電話だけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 電話帳詳細画面▶（機能）▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶

指定発信制限 . . . . 指定した番号にだけ発信できます。
指定着信拒否 . . . . 指定した番号からの電話は受けません。
指定着信許可 . . . . 指定した番号からの電話だけを受けます。
指定転送でんわ . . . P.389参照
指定留守番電話 . . . P.386参照
設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面でを押して電話帳指定設定を設定する電話番号を表示します。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとにを押して電話帳の詳細画面に戻り、を押して設定したい電話番号を表示させて操作を行ってください。
  を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 電話帳指定設定を解除するには、同様の操作を行います。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

お知らせ

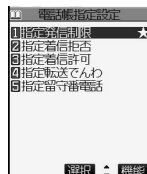
- 他の機能が動作中は、設定できません。
- シークレットデータとして登録した電話帳や、FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「指定発信制限」を設定中に「PIMロック」を設定すると、すべての発信ができなくなります。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「PIMロック」を設定すると、すべての着信を許可します。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定した電話番号を変更／削除すると、設定は解除されますのでご注意ください。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  - ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  - ・電話帳の登録、修正、削除、miniSDメモリーカードからのインポート、FOMAカードへのコピー
  - ・ダイヤル発信　・着信履歴からの発信
- 「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル、発信履歴、送信アドレス一覧に残っているデータはすべて削除されます。指定発信制限設定以後に発生する発信データは残ります。
- 「指定発信制限」と同時に「オート表示」を利用するには、「オート表示」に指定した電話番号にも「指定発信制限」を設定してください。
- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけることはできます。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定していても、電話をかけることはできます。
- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。
- 電話帳に登録されている1つの電話番号に対して、「指定着信拒否」と「指定着信許可」は同時に設定できません。

電話帳指定設定を確認／解除する

メニュー 1 2

1 メニュー▶電話帳▶**電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力**▶◉

指定発信制限 P.150参照
指定着信拒否 P.150参照
指定着信許可 P.150参照
指定転送でんわ. . . P.389参照
指定留守番電話. . . P.386参照

- 設定されている項目には「★」マークが付きます。

<電話帳指定設定画面>

2 **電話帳を選択**▶◉

電話帳指定設定が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに電話帳指定設定を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号を選択し、◉を押して「YES」を選択します。

電話帳指定設定画面の機能メニュー

1 **電話帳指定設定画面**▶i(機能)▶**以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
設定確認	P.151手順2へ進みます。
設定解除	▶YES <例> P.151「電話帳指定設定を確認／解除する」手順1の画面から設定解除した場合は「指定発信制限」が設定されている電話帳がすべて解除されます。

お知らせ

- 他の機能が動作中は、確認／解除できません。

＜非通知着信設定＞

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

お買い上げ時	通知不可能：許可／通常着信音と同じ　公衆電話：許可／通常着信音と同じ 非通知設定：許可／通常着信音と同じ

発信者番号非通知理由によって電話を受ける（許可）か受けない（拒否）かを設定できます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあります。

1 メニュー▶▶**ロック／セキュリティ**▶**非通知着信設定**▶**端末暗証番号を入力**▶◉

通知不可能 . . . 海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合
（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）
公衆電話. . . . . 公衆電話などから発信した場合
非通知設定 . . . 発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

2 **許可・拒否**

●「許可」を選択した場合は、P.113手順2へ進み着信音またはｉモーションを選択します。
「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。

お知らせ

●「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定した場合、相手の通話は切断されます。ただし、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
●SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

＜呼出時間表示設定＞

メニュー 9 0

呼出動作をすぐに開始しないようにする

1 メニュー▶▶**着信**▶**呼出時間表示設定**▶**以下の操作を行う**

項目	内容
無音時間設定 お買い上げ時 0秒	電話帳に電話番号が登録されていない相手から電話がかかってきたときの呼出動作が開始するまでの時間を設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。 ▶**無音時間（秒）を入力** ●「00」～「99」の2桁を入力します。「00」を入力した場合は、着信と同時に呼出動作を開始します。 ●設定されている無音時間を変更しない場合は、無音時間を入力せずに◉を押します。
時間内不在着信表示 お買い上げ時 表示する	「無音時間設定」で設定した時間内に切れた着信を着信履歴に表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**

お知らせ

- 呼出動作とは、着信音・バイブレータが動作し、着信／充電ランプが点灯／点滅する動作のことです。
- 電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186／184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、PIMロック中やシークレットデータとして登録されている相手からの着信については、本機能の設定に従って動作します。
- 無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信の呼出時間でも同様です。

<登録外着信拒否>

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時	許可

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの電話を拒否できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **ロック／セキュリティ** ▶ **登録外着信拒否** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ ◉ ▶ **許可・拒否**

お知らせ

- 本機能を「拒否」に設定していても、「非通知着信設定」を「許可」に設定中は、非通知の相手からの着信を受けてしまいます。
- PIMロック中やシークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定に関わらず、着信は拒否されません。
- 「電話帳指定設定」の「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。
- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のお知らせアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定した場合、相手の通話は切断されます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のお知らせアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
- 本機能を「拒否」に設定し、「非通知着信設定」の各設定を「許可」に設定しているときは、通知不可能・公衆電話・非通知設定の電話は着信します。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照先
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.389
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.390
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.221
ICカード機能の不正使用を防止したい	ICカードロック	P.313
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.491
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.495
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.254
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害用伝言板」サービス	「ｉモード操作ガイド」をご覧ください
メールアドレスを変更したい	アドレス変更	
メールアドレスを忘れてしまったときなどに確認したい	アドレス確認	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策 (受信／拒否設定)	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		
SMSを受信したくない	迷惑メール対策 (SMS拒否設定)	
1日に1台のｉモード端末から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	

お知らせ

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。
- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「登録外着信拒否／非通知着信設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

・撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、ピントが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上から下に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・◎を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、◎を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（P.354参照）

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

●お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

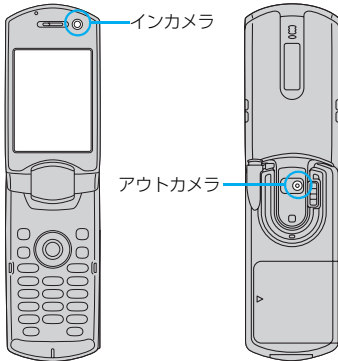
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラとスタイルについて

カメラを使って静止画や動画を撮影します。
カメラは前面（インカメラ）と背面（アウトカメラ）の2カ所にあり、撮影方法や被写体によって、スタイルを変更したりカメラを切り替えて使います。

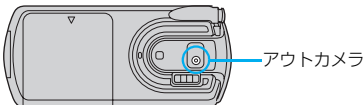
●スタイル切替についてはP.28参照。
●カメラ切替についてはP.173参照。

■ノーマルスタイル

インカメラで自分を撮影したり、アウトカメラで人物や風景などを撮影できます。

撮影時に使用するボタン

ボタン	機能
[メール]・[▲]（1秒以上）	フォトライト（アウトカメラ使用時）
[●]・[TV]	シャッター・保存
[→]	望遠
[←]	広角
[i]	機能メニュー呼出
[▲]	カメラモード切替
[▼]	記録媒体設定
[1]	色調切替
[2]	ホワイトバランス設定
[3]	明るさ調節
[4]	撮影モード選択
[6]	セルフタイマー設定
[7]	画像サイズ設定（フォトモード・連写モード時）
[#]	カメラ切替
[PWR/HLD]・[クリア]	カメラ終了・戻る

■ビューアスタイル

アウトカメラを使って横撮りで撮影するのに適しています。
「スタイル連動設定」が「カメラ」に設定されている状態で、待受画面表示中にビューアスタイルに切り替えると、カメラが起動します。

●インカメラでも撮影できます。
●ビューアスタイルでは機能メニューは操作できません。

撮影時に使用するボタン

ボタン	機能
[TV]	シャッター・保存
[▲]	カメラモード切替
[▲]（1秒以上）	フォトライト（アウトカメラ使用時）
[▼]	記録媒体設定
[∧]	広角
[∨]	望遠

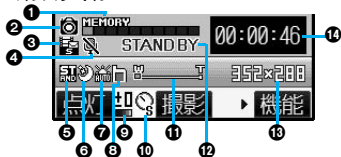
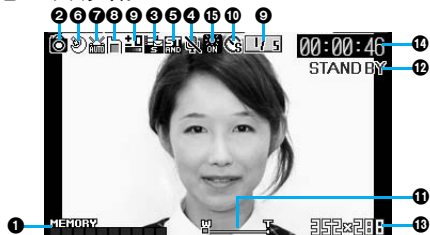
お知らせ

●カメラ起動中は着信／充電ランプが点滅します。アウトカメラ起動中はカメラモードランプも赤色に点灯します。点滅・点灯は消せません。
●インカメラとアウトカメラは同時に起動できません。
●シャッター音の音量を変更や消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
●撮影画面で何も操作を行わないと、約3分後にカメラが自動的に終了します。
●撮影した画像の保存先選択時にビューアスタイルに切り替えるとボタン操作ができなくなります。その場合はノーマルスタイルに切り替えて操作してください。
●えチャット撮影時やメール作成画面からカメラを起動した場合、ビューアスタイルに切り替えるとカメラを終了します。撮影していた画像は保存されません。

撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

■ノーマルスタイル

MEMORY　00:00:46　STAND BY　352×288　撮影　機能　❶〜⓮

■ビューアスタイル

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶使用メモリ量バー※1	MEMORY	メモリ使用状況：10段階で表示されます。メモリや保存件数がいっぱいのときは赤色で表示されます。	—
❷カメラモード		フォトモード	P.160
		ムービーモード	P.167
		連写モード	P.161
❸動画容量設定		メール制限（小）：290Kバイトまで保存可能	P.173
		メール制限（大）：490Kバイトまで保存可能	
	LONG	長時間：長時間撮影可能	
❹撮影種別設定		映像のみ録画	P.174
		音声のみ録音	
❺動画保存設定	STAND	FOMA端末　標準：標準画質	P.174
	HQ	画質優先：画質重視	
	LONG	時間優先：撮影可能時間重視	
	MOVE	動き優先：動き重視	
	NORML	miniSDメモリーカード　ノーマル：標準画質	
	FINE	ファイン：高画質	
	SFINE	スーパーファイン：最高画質	
❻撮影モード選択		ナイトモード	P.174
❼ホワイトバランス設定	AUTO	オート：ホワイトバランスを自動で調整	P.174
		晴天：屋外晴天下で撮影するとき	
		曇天：曇天や日陰で撮影するとき	
		電球：電球照明下で撮影するとき	
❽記録媒体設定		本体：FOMA端末に保存	P.174
	SD	miniSD：miniSDメモリーカードに保存	
❾明るさ調節・連続撮影枚数	±0	画面の明るさ	P.174
	1/4	マニュアル連写モード時の撮影枚数	P.173
❿セルフタイマー設定		セルフタイマーON	P.177
⓫ズームバー	W T	望遠・広角の状態：調節中は拡大表示されます。	P.171
⓬撮影状態	STAND BY	動画撮影可能	P.167
	● REC	動画撮影中	
⓭画像サイズ	1600×1200・1200×1600※2	アウトカメラフォト　UXGA（1600×1200、1200×1600※2）	P.173、P.174
	1280×960・960×1280※2	SXGA（1280×960、960×1280※2）	
	640×480	VGA（640×480）	
	352×288・288×352※3	インカメラフォト　連写　CIF（352×288、288×352※3）	
	240×320	待受（240×320）	
	176×144	ムービー　QCIF（176×144）	
	128×96	Sub-QCIF（128×96）	
	320×240	QVGA（320×240）	
⓮記録可能時間	—	動画の記録可能時間（目安）	—
⓯フォトライト	ON	フォトライト点灯中（ビューアスタイル時のみ表示）	P.172

※1 フォト・連写モード中は静止画の使用メモリ量、ムービーモード中は動画の使用メモリ量、記録媒体設定が「miniSD」のときはminiSDメモリーカードの使用メモリ量を表しています。

※2 ビューアスタイルでの撮影時は、UXGAは1200×1600、SXGAは960×1280で撮影します。

※3 ビューアスタイルでインカメラで撮影するときは、288×352で撮影します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
画素数	フォト：UXGA（1600×1200、1200×1600）、SXGA（1280×960、960×1280）、VGA（640×480）、CIF（352×288、288×352）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96） 連写：　CIF（352×288、288×352）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）
拡張子	jpg
タイトル	保存日時と枚数により自動設定（2006年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合） 「2006/11/15 10:00」 時計設定が未設定の場合 「image001」（記録媒体設定：本体） 「P1000001」（記録媒体設定：miniSD）
ファイル名	保存日時と枚数により自動設定（2006年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合） 「200611151000000」（記録媒体設定：本体） 「P1000001」（記録媒体設定：miniSD） 時計設定が未設定の場合 「image001」（記録媒体設定：本体） 「P1000001」（記録媒体設定：miniSD）
最大ファイルサイズ	700Kバイト
メール添付・出力	メール添付やminiSDメモリーカード等によるFOMA端末外への出力可能
保存容量	2.8Mバイト（本体） miniSDメモリーカードについてはP.163参照。
表示方法	ピクチャビューア

動画撮影の仕様

ファイル形式	MP4（本体）、ASF（miniSDメモリーカード）
符号化方式	映像：MPEG4※1 音声：AMR（本体）、G.726（miniSDメモリーカード）
画素数	QVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）
拡張子	asf、3gp※2
タイトル	撮影日時により自動設定（2006年11月15日10時00分に撮影した場合） 「2006/11/15 10:00」 時計設定が未設定の場合 「----/--/-- --:--」
ファイル名	撮影日時により自動設定（2006年11月15日10時00分に撮影した場合） 「200611151000」（記録媒体設定：本体） 「MOL001」（記録媒体設定：miniSD） 時計設定が未設定の場合 「movie」（記録媒体設定：本体） 「MOL001」（記録媒体設定：miniSD）
最大ファイルサイズ	490Kバイト（記録媒体設定：本体） 撮影時にｉモーションメール添付可能なサイズに制限できます。（P.173参照）
メール添付・出力	メール添付やminiSDメモリーカード等によるFOMA端末外への出力可能
保存容量	3.3Mバイト（本体） miniSDメモリーカードについてはP.169参照。
表示方法	ｉモーションプレーヤー

※1 MPEG4とはMoving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化（データ圧縮）方式です。

※2 asf、3gpのファイル生成についてはP.360参照。

静止画を撮影する

カメラを使って静止画を撮影します。撮影した静止画は本体の「マイピクチャ」内の任意のフォルダまたはminiSDメモリーカードに保存されます。
保存先を選択するには「記録媒体設定」、「保存先フォルダ選択」参照。

静止画を撮影する

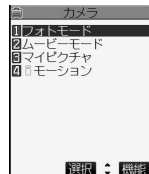
1 **(メニュー)▶(ツール)▶カメラ**

＜カメラメニュー＞

カメラメニューが表示されます。
- 待受画面で(カメラ)を1秒以上押すと、前回操作したモードでカメラが起動します。ムービーモードで起動した場合は、(▲)を2回押すか、機能メニューの「カメラモード切替」で「フォトモード」を選択します。手順3へ進みます。

2 **フォトモード**

＜撮影画面＞

「(カメラマーク)」が表示されます。

3 **(●)を押す**

静止画を撮影します。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、保存すると正常に表示されます。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。手順6へ進みます。

4 **(●)▶YES**

＜ポストビュー画面＞

撮影した静止画を保存します。
- (i)(機能)を押して「保存」を選択しても、保存できます。
  鏡像（左右反転）で保存する場合は、(i)(機能)を押して「鏡像保存」を選択します。
- 「記録媒体設定」が「miniSD」に設定されていると、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。手順6へ進みます。
- (クリア)を押すと撮影した静止画を取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると撮影画面に戻ります。

- (✉)(✉)を押すと撮影した静止画を簡単にｉモードメールに添付できます。（P.164参照）
- 未保存の静止画があるときにビューアスタイルに切り替えると、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると静止画が保存されます。（P.161「ビューアスタイル」手順3参照）

5 **保存したいフォルダを選択▶(●)**

6 **カメラを終了するには(PWR/HLD)または(クリア)を押す**

- 保存した静止画を再生するには、P.330参照。

■ポストビュー画面について
「ポストビュー画面」とは、撮影した静止画や動画を保存する前に確認できる画面です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

1 撮影画面でビューアスタイルに切り替える

●カメラメニューを表示中にビューアスタイルに切り替えても前回操作したモードでカメラが起動します。
●「スタイル連動設定」を「カメラ」に設定している場合、待受画面でビューアスタイルに切り替えても前回操作したモードでカメラが起動します。
●ムービーモード、連写モードで起動した場合は、▲（モード）を数回押してフォトモードに切り替えます。

2 TVを押す

静止画を撮影します。
●「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合は、静止画が自動的に保存されます。手順4へ進みます。

3 TV▶YES

撮影した静止画を保存します。
●「記録媒体設定」が「本体」に設定されている場合は「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダ、「miniSD」に設定されている場合は「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。
●V（取消）を押すと撮影した静止画を取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると撮影画面に戻ります。

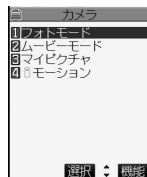
4 カメラを終了するにはノーマルスタイルまたはスイッチスタイルに切り替えて PWR HLD または クリア を押す

●未保存の静止画がある場合、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、P.160手順5へ進みます。

連続撮影する

カメラを使って自動または手動で静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート時の撮影間隔を設定するには「撮影間隔／枚数」参照。

1 メニュー▶ツール▶カメラ

カメラメニューが表示されます。
●待受画面で カメラ を1秒以上押すと、前回操作したモードでカメラが起動します。ただし、前回連写モードで操作した場合はフォトモードで起動します。

<カメラメニュー>

2 フォトモード・ムービーモード

「📷」または「🎥」が表示されます。

3 i（機能）▶カメラモード切替▶連写モード

オート ....「撮影間隔／枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。
マニュアル ....「撮影間隔／枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。

「⧉」が表示されます。
●「マニュアル」を選択すると連続撮影枚数が表示されます。
●▲を数回押しても連写モードに切り替えられます。オート／マニュアルの設定は前回操作した設定となります。

<撮影画面>

次ページにつづく

4 ◎を押す

連続撮影を開始します。
手順3で「マニュアル」を選択した場合は、撮影枚数分◎を押します。

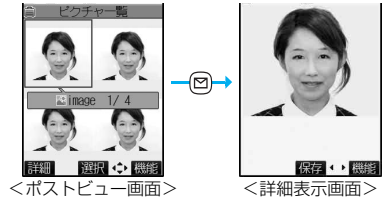
- 撮影を途中で中止する場合はクリアを押します。手順3で「オート」を選択した場合は、✉（中止）を押しても撮影を中止できます。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、保存すると正常に表示されます。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合は、自動的に保存されます。手順7へ進みます。

5

1枚だけ選択して保存する場合

静止画を選択▶✉（詳細）▶◎

- 詳細表示画面で◎を押すと、前または次の静止画を表示します。
- i（機能）を押して「保存」を選択しても、保存できます。
  鏡像（左右反転）で保存する場合は、i（機能）を押して「鏡像保存」を選択します。

＜ポストビュー画面＞　＜詳細表示画面＞

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画にチェック▶i（機能）▶選択保存▶保存・鏡像保存

- ◎を押すごとに「☑」が表示されます。

すべての静止画を保存する場合

i（機能）▶全保存▶保存・鏡像保存

- ポストビュー画面でクリアを押すと撮影した静止画を取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると撮影画面に戻ります。
- 未保存の静止画があるときにビューアスタイルに切り替えると、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると静止画が保存されます。（P.163手順3参照）

6 YES▶保存したいフォルダを選択▶◎

- 「記録媒体設定」が「miniSD」に設定されていると、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。
- すべての静止画を保存した場合は撮影画面に戻ります。未保存の静止画がある場合は、未保存の静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、保存したいフォルダを選択するとすべての静止画が保存されます。「NO」を選択すると撮影画面に戻ります。

7 カメラを終了するには☎またはクリアを押す

- 保存した静止画を再生するには、P.330参照。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

1 撮影画面でビューアスタイルに切り替える

- カメラメニューを表示中にビューアスタイルに切り替えても前回操作したモードでカメラが起動します。
- 「スタイル連動設定」を「カメラ」に設定している場合、待受画面でビューアスタイルに切り替えても前回操作したモードでカメラが起動します。
- フォトモード、ムービーモードで起動した場合は、▲（モード）を数回押して連写モードに切り替えます。オート／マニュアルの設定は前回操作した設定となります。

2 TVを押す

連続撮影を開始します。
マニュアル連写モードの場合は撮影枚数分TVを押します。

- オート連写モードの場合、撮影を途中で中止するには∨（中止）を押します。
- マニュアル連写モードの場合、撮影を途中で中止するにはノーマルスタイルまたはスイッチスタイルに切り替えます。未保存の画像を保存する場合はP.162手順6へ進みます。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合は、静止画が自動的に保存されます。手順4へ進みます。

3 TV▶YES

すべての静止画を保存します。

- 5枚以上撮影した場合、▲（前）、▼（後）で表示する画像を切り替えできます。
- 「記録媒体設定」が「本体」に設定されている場合は「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダ、「miniSD」に設定されている場合は「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。
- ∨（取消）を押すと撮影した静止画を取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると撮影画面に戻ります。

4 カメラを終了するにはノーマルスタイルまたはスイッチスタイルに切り替えて PWR/HLDまたはクリアを押す

- 未保存の静止画がある場合、保存するかどうかの確認画面が表示されます。P.162手順6へ進みます。

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。
※本体・miniSDメモリーカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■FOMA端末に保存可能な枚数

画像サイズ	UXGA (1600×1200・1200×1600)	SXGA (1280×960・960×1280)	VGA (640×480)	CIF (352×288・288×352)	待受 (240×320)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
枚数	約4枚	約5枚	約28枚	約46枚	約62枚	約112枚	約186枚

- 保存可能な枚数は目安です。

■miniSDメモリーカードに保存可能な枚数

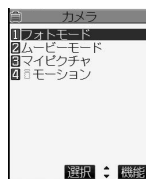
画像サイズ	UXGA (1600×1200・1200×1600)	SXGA (1280×960・960×1280)	VGA (640×480)	CIF (352×288・288×352)	待受 (240×320)	QCIF (176×144)	Sub-QCIF (128×96)
容量：32Mバイト	約43枚	約60枚	約269枚	約470枚	約626枚	約937枚	約1858枚
容量：16Mバイト	約20枚	約29枚	約128枚	約224枚	約298枚	約446枚	約886枚

- 保存可能な枚数は目安です。なお、miniSDメモリーカードのメーカーにより保存できる枚数は異なります。

お知らせ

- 「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。
- miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。音量はレベル5に固定されており変更できません。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。
- 撮影中に電話がかかってきた場合は、撮影を中止します。通話終了後にカメラメニューが表示されます。
- カメラで撮影後、着信などにより中断した場合、次にカメラを起動すると未保存の静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると保存できます。未保存のデータがあるため起動できない旨のメッセージが表示された場合は、◎を押して同様の操作で保存できます。
- 連続撮影中にFOMA端末を閉じた場合は、撮影を中止してポストビュー画面が表示されます。
- ファイル保存中はスタイルを切り替えないでください。保存に失敗することがあります。
- ファイル保存中に電源を切った場合などは、不完全なファイルが保存されることがあります。
- 本体またはminiSDメモリーカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
- フォトモード・マニュアル連写モードは撮影時に着信／充電ランプが赤色で点滅します。オート連写モードは赤色で点灯します。アウトカメラ起動中はカメラモードランプも赤色に点灯します。miniSDメモリーカードにアクセス中は緑色で点滅します。

カメラメニューの機能メニュー

1 カメラメニュー▶(機能)▶以下の操作を行う

<カメラメニュー>

機能メニュー	内容
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面の機能メニュー

1 フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面▶(機能)▶以下の操作を行う

<ポストビュー画面>

<詳細表示画面>

機能メニュー	内容
保存	撮影した静止画を保存します。(P.160、P.162参照)
鏡像保存	フレームを付けずに撮影した静止画を鏡像（左右反転）のまま保存します。(P.160、P.162参照)
ｉモードメール作成	撮影した静止画を保存し、ｉモードメールに添付します。 ▶フォルダを選択▶◎ P.235手順2へ進みます。 ● クリア を押すと、未保存の静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

機能メニュー	内容
画像加工 機能 ＜画像加工画面＞	撮影した静止画を加工します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶**YES**▶**フォルダを選択**▶◉ ●撮影した静止画を保存せずに加工する場合は「NO」を選択します。 ●画像加工画面の機能メニューについてはP.166参照。
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶**YES**▶**フォルダを選択**▶◉ P.334手順1へ進みます。 ●「記録媒体設定」を「miniSD」に設定していても、本体に保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。フォトモード時のみ設定できます。 ▶**フレームを選択**▶◉ ●◎を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は✉（取消）を押します。i（機能）を押して「取消」を選択してもフレームを選択し直せます。 ▶◉ ●i（機能）を押して「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●フレームの解除はできません。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.454参照。
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像（左右反転）表示を切り替えます。
表示サイズ設定	静止画の表示方法を設定します。（P.175参照）
ファイル制限	ファイル制限を設定します。（P.176参照）
取り消し	撮影した静止画を保存しません。フォトモード時のみ操作できます。 ▶**YES**

お知らせ

<ｉモードメール作成>

- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像をｉモード対応端末に送信した場合、ｉショットセンターで「ｉモード対応端末に適したサイズ」に変換されます。
- 画像サイズがQVGA（320×240）サイズより大きいときは、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。
  「そのまま添付」を選択すると、画像サイズは変更しません。
  「QVGA縮小添付」を選択すると、縦横比を保ったままQVGA（320×240）サイズ以下に縮小します。
  ファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。
- ｉモード対応端末に送信する静止画のサイズはQVGA（320×240）サイズが適しています。

<画像加工>

- インカメラで撮影した鏡像表示の画像は、「画像加工」を選択すると正像表示になります。
- 画像加工できるのは以下のサイズの静止画です。
  CIF（352×288）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）

画像加工画面の機能メニュー

1 画像加工画面▶i（機能）▶以下の操作を行う

＜画像加工画面＞

機能メニュー	内容
フレーム合成	▶フレームを選択▶●▶● ●左の画面でi（機能）を押して「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●左の画面で○を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は左の画面で✉（取消）を押します。i（機能）を押して「取消」を選択してもフレームを選択し直せます。 ●加工した画像を保存する場合は●を押します。i（機能）を押して「保存」を選択しても保存できます。保存についてはP.160参照。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.454参照。
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 **シャープ . . . . 輪郭を強調します。** **ソフト . . . . . . 輪郭をぼかします。** **セピア . . . . . . 色調をセピアにします。** **浮き彫り . . . . でこぼこの質感にします。** **ネガ. . . . . 色調を反転します。** **ミラー . . . . . . 左右を反転します。** ▶● ●左の画面でi（機能）を押して「確定」を選択してもフォトレタッチを確定できます。 ●左の画面で○を押すと、前または次のフォトレタッチを表示します。 ●フォトレタッチを選択し直す場合は左の画面で✉（取消）を押します。i（機能）を押して「取消」を選択してもフォトレタッチを選択し直せます。 ●加工した画像を保存する場合は●を押します。i（機能）を押して「保存」を選択しても保存できます。保存についてはP.160参照。
ｉモードメール作成	ｉモードメールを作成します。（P.164参照）
保存	加工した静止画を保存します。（P.160参照）

お知らせ

＜フレーム合成＞

●編集中の静止画と同じサイズのフレーム以外は合成できません。

連写モードのポストビュー画面の機能メニュー

1 連写モードのポストビュー画面▶i（機能）▶以下の操作を行う

●ポストビュー画面で静止画を選択し●を押すと、「☑」が付きます。再度●を押すと選択は解除されます。

＜ポストビュー画面＞

機能メニュー	内容
選択保存	撮影した静止画の中から複数の静止画を選択して保存します。（P.162参照）
全保存	撮影した静止画をすべて保存します。（P.162参照）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

機能メニュー	内容
全保存&自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 ▶保存 ●鏡像（左右反転）で保存するには「鏡像保存」を選択します。 ▶YES▶フォルダを選択▶◉▶<未登録>
1件選択	1件選択します。
全選択	全選択します。 ▶YES
1件解除	選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。 ▶YES
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像（左右反転）表示を切り替えます。
選択ファイル制限	ポストビュー画面で選択した複数の静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.176参照。
全ファイル制限	ポストビュー画面に表示される全静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.176参照。
取り消し	撮影した静止画を保存しません。 ▶YES

お知らせ

<全保存&自作アニメ>
- 「記録媒体設定」を「miniSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。
- 1枚だけ撮影した場合、この機能は使用できません。

<動画撮影>

動画を撮影する

カメラを使って動画を撮影します。撮影した動画は本体の「ｉモーション」内の任意のフォルダまたはminiSDメモリーカードに保存されます。保存先を選択するには「記録媒体設定」、「保存先フォルダ選択」参照。

1 メニュー▶ツール▶カメラ

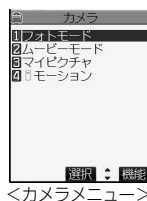
カメラメニューが表示されます。
- 待受画面でカメラを1秒以上押すと、前回操作したモードでカメラが起動します。フォトモードで起動した場合は、▲を押すか、機能メニューの「カメラモード切替」でムービーモードに切り替えます。手順3へ進みます。

<カメラメニュー>

2 ムービーモード

「🎥」が表示されます。

<撮影画面>

次ページにつづく

3 ◉を押す

録画を開始します。

- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、保存すると正常に表示されます。
- 録画中にビューアスタイルに切り替えると、録画を終了し、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると動画が保存されます。（P.169手順4参照）

4 ◉を押す

録画を終了します。

- クリアを押しても録画を終了できます。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合または「記録媒体設定」が「miniSD」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。「記録媒体設定」が「本体」に設定されている場合は「ｉモーション」内の「カメラ」フォルダ、「miniSD」に設定されている場合は「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。手順7へ進みます。

5 ◉▶YES

撮影した動画を保存します。

- クリアを押すと撮影した動画を取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると撮影画面に戻ります。
- ✉（再生）を押すと撮影した動画を再生できます。（P.340参照）
- 未保存の動画があるときにビューアスタイルに切り替えると、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると動画が保存されます。（P.169手順4参照）

<ポストビュー画面>

6 保存したいフォルダを選択▶◉

7 カメラを終了するには☎またはクリアを押す

- 保存した動画を再生するには、P.340参照。

■ポストビュー画面について
「ポストビュー画面」とは、撮影した静止画や動画を保存する前に確認できる画面です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

1 撮影画面でビューアスタイルに切り替える

- カメラメニューを表示中にビューアスタイルに切り替えても前回操作したモードでカメラが起動します。
- 「スタイル連動設定」を「カメラ」に設定している場合、待受画面でビューアスタイルに切り替えても前回操作したモードでカメラが起動します。
- フォトモード、連写モードで起動した場合は、▲（モード）を数回押してムービーモードに切り替えます。

2 TVを押す

録画を開始します。

3 TVを押す

録画を終了します。

- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合または「記録媒体設定」が「miniSD」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。「記録媒体設定」が「本体」に設定されている場合は「ｉモーション」内の「カメラ」フォルダ、「miniSD」に設定されている場合は「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。手順5へ進みます。

4 TV▶YES

撮影した動画を保存します。

- 「ｉモーション」内の「カメラ」フォルダに保存されます。
- V（取消）を押すと撮影した動画を取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると撮影画面に戻ります。

5 カメラを終了するにはノーマルスタイルまたはスイッチスタイルに切り替えてPWR HLDまたはクリアを押す

- 未保存の動画がある場合、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、P.168手順6へ進みます。

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間・容量も参考にしてください。

■FOMA端末に録画可能な時間

撮影種別設定	通常		映像のみ		音声のみ	
動画容量設定／動画保存設定	メール制限（小）	メール制限（大）	メール制限（小）	メール制限（大）	メール制限（小）	メール制限（大）
画質優先	約20秒	約34秒	約23秒	約39秒	約2分57秒	約5分
時間優先	約1分11秒	約1分59秒	約1分30秒	約2分33秒	約2分57秒	約5分
動き優先	約11秒	約18秒	約12秒	約20秒	約2分57秒	約5分
標準	約47秒	約1分19秒	約54秒	約1分32秒	約2分57秒	約5分

- 録画可能な時間は目安です。
- 記載している時間は、1回の撮影で録画可能な時間です。

■miniSDメモリーカードに録画可能な時間

容量	動画保存設定	通常	映像のみ
32Mバイト	スーパーファイン	約4分	約4分
	ファイン	約9分	約9分
	ノーマル	約16分	約19分
16Mバイト	スーパーファイン	約2分	約2分
	ファイン	約4分	約4分
	ノーマル	約8分	約9分

（撮影種別設定）

- 録画可能な時間の目安です。なお、miniSDメモリーカードのメーカーにより録画できる時間は異なります。
- 記載している時間は、各miniSDメモリーカードの最大録画時間であり、1回の撮影で録画可能な時間です。

次ページにつづく

お知らせ

- miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 撮影開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。音量はレベル5に固定されており変更できません。
- 録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 録画中に電池残量が少なくなると、自動的に録画を終了し電池切れアラームが鳴ります。「記録媒体設定」が「miniSD」に設定されている場合は保存されます。「本体」に設定されている場合は、充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとに保存できます。
- 録画中に電話がかかってきた場合やFOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画を終了します。「記録媒体設定」が「miniSD」に設定されている場合、または「記録媒体設定」が「本体」で「自動保存設定」が「ON」の場合は保存されます。「記録媒体設定」が「本体」、「自動保存設定」が「OFF」に設定されている場合は、通話終了後またはFOMA端末を開くとポストビュー画面が表示されます。
- ファイル保存中はスタイルを切り替えないでください。保存に失敗することがあります。
- ファイル保存中に電源を切った場合などは、不完全なファイルが保存されることがあります。
- 本体またはminiSDメモリーカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
- 録画中は着信／充電ランプが点滅します。「記録媒体設定」が「本体」に設定されている場合は赤色、「miniSD」に設定されている場合は緑色で点滅します。
- 電池残量が少ないときは撮影できない場合があります。

ムービーモードのポストビュー画面の機能メニュー

1 ムービーモードのポストビュー画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

<ポストビュー画面>

機能メニュー	内容
再生	撮影した動画を再生します。（P.340参照）
保存	撮影した動画を保存します。（P.168参照）
iモードメール作成	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶**フォルダを選択**▶(●) P.235手順2へ進みます。
待受画面設定	撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。 ▶**YES**▶**フォルダを選択**▶(●) ●待受画面に設定した動画の再生についてはP.122参照。
表示サイズ設定	動画の表示方法を設定します。（P.175参照）
ファイル制限	ファイル制限を設定します。（P.176参照）
取り消し	撮影した動画を保存しません。 ▶YES

お知らせ

<待受画面設定>
- 設定した動画を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 動画によっては、正しく表示されない場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角（Wide）・望遠（Tele）で表示します。
各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

■アウトカメラ

カメラモード	サイズ	最大倍率	
		ノーマルスタイル・スイッチスタイル	ビューアスタイル
フォト	VGA（640×480）	約2.5倍	約1.8倍
	CIF（352×288）	約4.1倍	約3.4倍
	待受（240×320）	約3.7倍	約5.0倍
	QCIF（176×144）	約8.3倍	約6.8倍
	Sub-QCIF（128×96）	約12.5倍	約9.3倍
連写	CIF（352×288）	約1.3倍	約1.1倍
	待受（240×320）	約1.2倍	約1.6倍
	QCIF（176×144）	約2.7倍	約2.2倍
	Sub-QCIF（128×96）	約4.1倍	約3.1倍
ムービー	QVGA（320×240）※1	約1.6倍	約1.2倍
	QCIF（176×144）※2	約2.7倍	約2.2倍
	Sub-QCIF（128×96）※3	約4.1倍	約3.1倍

●フォトモード時のUXGA・SXGAではズームできません。

■インカメラ

カメラモード	サイズ	最大倍率	
		ノーマルスタイル・スイッチスタイル	ビューアスタイル
フォト／連写	QCIF（176×144）	約2.0倍	約1.6倍
	Sub-QCIF（128×96）	約2.7倍	約2.2倍
ムービー	QCIF（176×144）※2	約2.0倍	約1.6倍
	Sub-QCIF（128×96）※3	約2.7倍	約2.2倍

●フォトモード時・連写モード時のCIF・待受、ムービーモード時のQVGAではズームできません。

※1：「動画保存設定」が「スーパーファイン」に設定されているとき
※2：「動画保存設定」が「標準」「画質優先」「動き優先」「ノーマル」「ファイン」に設定されているとき
※3：「動画保存設定」が「時間優先」に設定されているとき

1 撮影画面▶◎でズーム倍率を調節

◎（広角）、◎（望遠）を押すごとにズーム倍率が変わります。
◎（広角）、◎（望遠）を押し続けると、ズーム倍率が連続的に変化します。

広角（Wide）の場合

望遠（Tele）の場合

1 撮影画面▶[∧][∨]でズーム倍率を調節

[∧](広角)、[∨](望遠）を押すごとにズーム倍率が変わります。
[∧](広角)、[∨](望遠）を押し続けると、ズーム倍率が連続的に変化します。

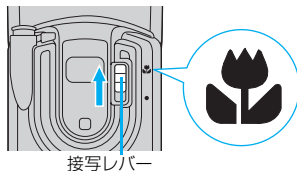
お知らせ

●広角・望遠にすると画質は多少変化することがあります。
●以下の場合、望遠は解除されます。
・[PWR HLD]を押してカメラを終了したとき　・サイズを変更したとき　・カメラモードを切り替えたとき

接写する

被写体まで約8cmの距離で撮影します。
「🌷」の方向に接写レバーを動かします。
アウトカメラのみ接写モードに設定できます。
接写終了後は、接写レバーを「 ● 」の方向に戻します。

接写レバー

フォトライト

カメラ起動時	消灯

暗い場所などでアウトカメラを使用して撮影するときに、フォトライトを補助光として点灯させます。フォトモードでは撮影の瞬間に強く光ります。

1 撮影画面▶[✉](点灯)

●消灯する場合は[✉](消灯）を押します。また、約30秒間何も操作をしなかった場合や、ポストビュー画面が表示されると消灯します。
●セルフタイマーでの撮影中やオート連写モード・ムービーモードで撮影中は、フォトライトは消灯しません。

1 撮影画面▶[▲](1秒以上)

●消灯する場合は[▲]を1秒以上押します。

お知らせ

●ムービーモードで撮影種別設定を「音声のみ」に設定している場合、フォトライトは使用できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニュー

1 撮影画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

●カメラ撮影時・ファイル保存時の設定はカメラを終了しても保持されます。再度カメラを起動すると、前回カメラ終了時の設定となります。

<撮影画面>

機能メニュー	設定できるモード	内容
インカメラ・アウトカメラ お買い上げ時 アウトカメラ	フォトモード 連写モード ムービーモード	インカメラとアウトカメラを切り替えます。 ●撮影画面から(#)を押してもインカメラとアウトカメラを切り替えられます。
カメラモード切替	フォトモード 連写モード ムービーモード	**▶モードを選択▶(●)** ●「連写モード」を選択した場合は、「オート」、「マニュアル」を選択します。 ●撮影画面では(▲)を押すごとに「ムービーモード」→「連写モード」→「フォトモード」→「ムービーモード」…と切り替えることができます。
画像サイズ設定 お買い上げ時 フォトモード・連写モード ：CIF（352×288） えチャット撮影 ：QCIF（176×144）	フォトモード 連写モード	**▶画像サイズを選択▶(●)** ●撮影画面から(7)を押しても画像サイズを設定できます。 ●えチャット撮影時は「QCIF（176×144）」「Sub-QCIF（128×96）」のみ選択できます。
撮影間隔／枚数（撮影間隔） お買い上げ時 CIF（352×288） ：1.0秒 待受（240×320）・ QCIF（176×144）・ Sub-QCIF（128×96） ：0.5秒	連写モード	**▶撮影間隔▶撮影間隔を選択▶(●)** ●オート連写モード時のみ設定できます。
撮影間隔／枚数（撮影枚数） お買い上げ時 CIF（352×288） ：4枚 待受（240×320）・ QCIF（176×144）・ Sub-QCIF（128×96） ：5枚	連写モード	**▶撮影枚数▶撮影枚数（枚）を入力** ●「画像サイズ設定」が「待受（240×320）」に設定されているときは、「05」～「10」の2桁を入力します。「QCIF（176×144）」または「Sub-QCIF（128×96）」に設定されているときは、「05」～「20」の2桁を入力します。 ●「画像サイズ設定」が「CIF（352×288）」に設定されている場合、「撮影枚数」は4枚に設定されており、変更できません。
動画容量設定 お買い上げ時 メール制限（小）	ムービーモード	**メール制限（小）．．．．290Kバイトまで保存できます。** **メール制限（大）．．．．490Kバイトまで保存できます。** **長時間．．．．．．．．．．．長時間撮影できます。miniSDメモリーカードに保存します。**

次ページにつづく

機能メニュー	設定できるモード	内容
動画保存設定 お買い上げ時 標準	ムービーモード	保存する際の画質を設定します。「記録媒体設定」が「本体」のときは「標準」「画質優先」「時間優先」「動き優先」を、「miniSD」のときは「ノーマル」「ファイン」「スーパーファイン」を選択できます。 ▶**画質を選択**▶◉ ●「標準」「画質優先」「動き優先」「ノーマル」「ファイン」はQCIF（176×144）、「時間優先」はSub-QCIF（128×96）、「スーパーファイン」はQVGA（320×240）の画像サイズになります。
画質調整（明るさ調節） カメラ起動時 ±0	フォトモード 連写モード ムービーモード	−2（暗い）〜+2（明るい）で調節します。 ▶**明るさ調節**▶**明るさを選択**▶◉ ●撮影画面から3を押しても明るさを調節できます。
画質調整（ホワイトバランス設定） お買い上げ時 オート	フォトモード 連写モード ムービーモード	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**ホワイトバランス設定** **オート ……ホワイトバランスを自動で調整します。** **晴天 ……屋外晴天下で撮影するとき** **曇天 ……曇天や日陰で撮影するとき** **電球 ……電球照明下で撮影するとき** ●撮影画面から2を押してもホワイトバランスを調整できます。
画質調整（色調切替） カメラ起動時 通常	フォトモード 連写モード ムービーモード	▶**色調切替**▶**色調を選択**▶◉ ●撮影画面から1を押しても色調を切り替えられます。
画質調整（撮影モード選択） カメラ起動時 標準	フォトモード ムービーモード	露光を長くして、暗いところでも撮影できるナイトモードに設定します。 ▶**撮影モード選択**▶**標準・ナイトモード** ●撮影画面から4を押しても撮影モードを選択できます。
画質調整（画像チューニング） お買い上げ時 自動	フォトモード 連写モード ムービーモード	アウトカメラで撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。 ▶**画像チューニング**▶**自動・モード1（50Hz地域）・モード2（60Hz地域）**
自動保存設定 お買い上げ時 OFF	フォトモード 連写モード ムービーモード	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「ON」に設定すると、動画撮影中に電話がかかってきたときやFOMA端末を閉じたときも自動で保存されます。「記録媒体設定」が「本体」のときは「カメラ」フォルダ内、「記録媒体設定」が「miniSD」のときは「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶**ON・OFF**
記録媒体設定 お買い上げ時 本体	フォトモード 連写モード ムービーモード	撮影した静止画や動画の保存先を設定します。 ▶**本体・miniSD** ●撮影画面から▼を押しても記録媒体を設定できます。ビューアスタイルのときは押すごとに記録媒体が切り替わります。
シャッター音選択 お買い上げ時 シャッター音1	フォトモード 連写モード ムービーモード	シャッター音を設定します。フォトモード時・連写モード時とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。 ▶**シャッター音を選択**▶◉ ●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。
セルフタイマー設定	フォトモード 連写モード ムービーモード	セルフタイマーを設定します。（P.177参照）
撮影種別設定 カメラ起動時 通常	ムービーモード	動画撮影時の映像・音声の有無を設定します。 ▶**通常・映像のみ・音声のみ**

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

機能メニュー	設定できるモード	内容
フレーム選択 カメラ起動時 OFF	フォトモード	フレームを合成して撮影します。 ▶**フレームを選択**▶◉ ●「OFF」に設定するとフレームを解除します。 ●「画像サイズ設定」を「CIF（352×288）」「待受（240×320）」「QCIF（176×144）」「Sub-QCIF（128×96）」に設定している場合のみ設定できます。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.454参照。
ファイル制限	フォトモード 連写モード ムービーモード	ファイル制限を設定します。（P.176参照）
表示サイズ設定 お買い上げ時 等倍表示	フォトモード 連写モード ムービーモード	撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示（等倍表示）するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示・画面サイズで表示**
保存容量確認	フォトモード 連写モード ムービーモード	FOMA端末・miniSDメモリーカードの空き容量と保存されている静止画・動画の保存容量（目安）を表示します。 ●確認が終わればクリアを押します。

お知らせ

＜画像サイズ設定＞

●UXGA（1600×1200）を選択した場合は、ビューアスタイルでは1200×1600で撮影します。
SXGA（1280×960）を選択した場合は、ビューアスタイルでは960×1280で撮影します。

●CIF（352×288）を選択した場合、ビューアスタイルのインカメラ撮影時は288×352で撮影します。

＜撮影間隔／枚数（撮影間隔）＞

●「画像サイズ設定」を「CIF（352×288）」に設定している場合、「0.5秒」は選択できません。

●撮影間隔を「0.5秒」に設定しているときに「画像サイズ設定」を「CIF（352×288）」に設定すると、撮影間隔は「1.0秒」に変更されます。

＜撮影間隔／枚数（撮影枚数）＞

●「画像サイズ設定」を「CIF（352×288）」に設定すると「撮影枚数」は4枚になります。「CIF（352×288）」サイズから他のサイズへ「画像サイズ設定」を変更すると、「撮影枚数」は5枚に変更されます。「撮影枚数」を11枚以上に設定しているときに「画像サイズ設定」を「待受（240×320）」に設定すると、10枚に変更されます。

＜動画容量設定＞

●「長時間」に設定した場合、「記録媒体設定」が「miniSD」に設定されます。「長時間」に設定していてカメラを終了し再度起動した場合は、「メール制限（小）」に切り替わります。このとき「記録媒体設定」は「miniSD」に設定されたままです。

＜動画保存設定＞

●「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合、「動画保存設定」は設定できません。

＜画質調整＞

●フォトモード・ムービーモード時に撮影モード選択を「ナイトモード」に設定中、連写モードに切り替えると撮影モード選択は「標準」になります。

●◉を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、◉を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。ナイトモード時は露光が長くなり特にぶれやすくなるので、ご注意ください。

●画像チューニングを「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてご利用ください。

●ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、「画質調整」を設定できません。

＜自動保存設定＞

●「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。

●ムービーモード時に「動画容量設定」を「長時間」に設定しているときや「記録媒体設定」を「miniSD」に設定しているときは、「自動保存設定」を変更できません。

次ページにつづく

お知らせ

<記録媒体設定>
- miniSDメモリーカード内の保存先を設定するには「保存先フォルダ選択」参照。
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合、「記録媒体設定」を「本体」に設定できません。「記録媒体設定」を「本体」に設定しているときに「動画容量設定」を「長時間」に変更すると、「記録媒体設定」は「miniSD」に切り替わります。

<シャッター音選択>
- マナーモード中の確認のためのシャッター音についてはP.120参照。

<撮影種別設定>
- ムービーモード時の「記録媒体設定」を「miniSD」に設定している場合、「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定できません。「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定しているときに「記録媒体設定」を「miniSD」に変更したり「動画容量設定」を「長時間」に変更すると、「撮影種別設定」は「通常」に切り替わります。

<フレーム選択>
- インカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
- フレームを合成して撮影した静止画は、鏡像で保存できません。
- 静止画と同じサイズのフレームでも、縦横のサイズが異なる場合は選択できません。
- ビューアスタイルに切り替えるとフレームは「OFF」になります。

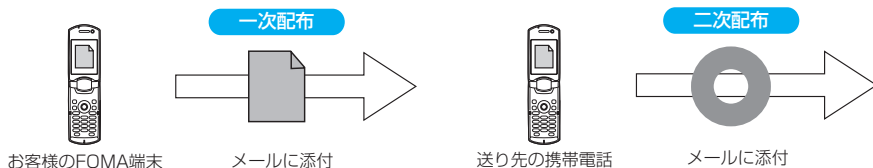
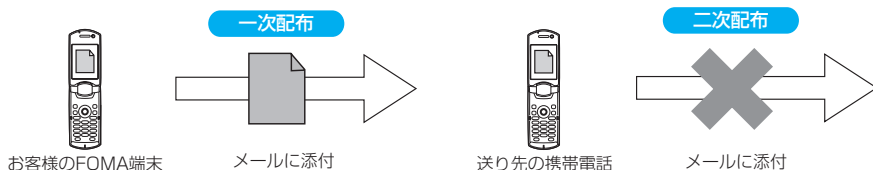
<表示サイズ設定>
- 画像サイズ設定を「待受（240×320）」サイズ以上に設定している場合は、表示サイズ設定を設定できません。常に「画面サイズで表示」になります。
- 「動画保存設定」を「スーパーファイン」に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合、「表示サイズ設定」は設定できません。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

ファイル制限

お買い上げ時	なし

撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。
一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。

1 撮影画面・フォトモード、ムービーモード、えチャットのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面▶(機能)▶ファイル制限▶なし・あり

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

お知らせ

- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、miniSDメモリーカードにエクスポートすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
- 保存後もP.332「ファイル制限」で設定を変更できます。
- ムービーモードで「動画容量設定」を「長時間」に設定しているときや「記録媒体設定」を「miniSD」に設定しているときは、「ファイル制限」を設定できません。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 撮影画面▶(機能)▶セルフタイマー設定▶ON・OFF

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。
- 撮影画面からを押してもセルフタイマーを設定できます。

2 作動時間（秒）を入力

- 「01」～「15」の2桁を入力します。
- 設定されている作動時間を変更しない場合は、作動時間を入力せずにを押します。

■セルフタイマー設定を「ON」に設定したときは

「ON」に設定すると、撮影画面に「」が表示されます。
を押すと確認音が鳴り、「」が点滅します。撮影の約5秒前までは約1秒ごとに着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとに着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。

- 着信／充電ランプが点滅中に(中止)またはを押すか、ビューアスタイルに切り替えると撮影が中止されます。撮影を中止したり、ビューアスタイルに切り替えても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。
- 作動時間が経過する前にを押すとセルフタイマーが「OFF」になり、すぐに撮影します。
- ビューアスタイルでは、撮影時にはを、撮影を中止するときは(中止)を押すか、ノーマルスタイルに切り替えます。

お知らせ

- マニュアル連写モード時はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

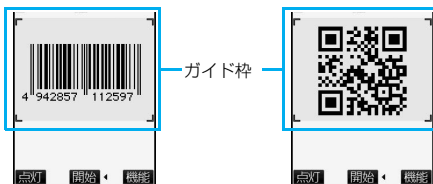
<バーコードリーダー>

バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、ｉモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- 接写レバーを「🌷」に動かしてから、読み取りを行ってください。（P.172参照）
- コードに対してカメラを約8cm離して読み取ってください。ただし、コードが小さい場合はガイド枠内に大きく写るようにゆっくりカメラを近づけてください。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。
- コードがガイド枠内に入るようにして読み取ってください。
- 必要に応じて読み取り終了後は接写レバーを「●」に戻します。

ガイド枠

■JANコード

JANコードとは、幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のJANコードを読み取れます。
- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコード

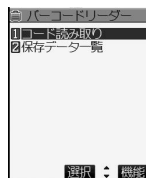
QRコードとは、縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
文字として表示されるのは、英数字・文字（漢字・カナ・絵文字）です。
画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。
- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	フォトライト：OFF ズーム：拡大

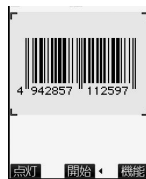
読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 (メニュー)▶▶**バーコードリーダー**▶**コード読み取り**

- 撮影画面の機能メニューから「カメラモード切替」の「バーコードリーダー」を選択しても右の画面が表示されます。
- データがすでに5件登録されている場合、最も古いデータに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

<バーコードリーダー選択画面>

2 **接写モードにして読み取りたいコードをガイド枠に合わせて表示する**

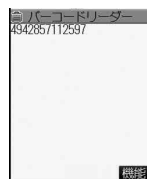
- 文字入力（編集）画面の機能メニューで「バーコードリーダー」が選択可能な場合、「バーコードリーダー」を選択しても右の画面が表示されます。
- (✉)（点灯／消灯）を押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。
- (◐)を押すと標準のズームに、(◑)を押すと拡大のズームに替わります。

<コード読取画面>

3 ◉を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- 読み取りを中止する場合はクリアまたは◉を押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定中は音が鳴りません。
- メロディのデータは「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「NG」や「 」で表示されます。
- 文字入力（編集）中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。読み取った文字を入力する場合は◉を押します。破棄する場合は✉（取消）またはクリアを押します。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。
- 読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断され、コード読取画面に戻ります。
- 読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、◉を押すと次のデータを読み込むためにコード読取画面が表示されます。手順2～手順3の操作を繰り返してください。2回目以降のデータ読み取り完了時にも読み取り完了音が鳴り着信／充電ランプが点灯します。
- 分割されたQRコードを読み込む際に途中で読み込みを中断した場合は、それまでの読み取りデータを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。

4 i（機能）▶認識結果保存

- コード読取結果画面でクリアを押すと読み取ったデータを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとバーコードリーダー選択画面に戻ります。

<コード読取結果画面>

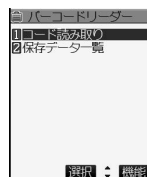
5 YES▶OK

読み取ったデータが登録されます。

お知らせ

- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取れません。
- 読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- ビューアスタイルではコード読み取りできません。

バーコードリーダー選択画面の機能メニュー

1 バーコードリーダー選択画面▶i（機能）▶以下の操作を行う

<バーコードリーダー選択画面>

機能メニュー	内容
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)

コード読取画面の機能メニュー

1 **コード読取画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う**

<コード読取画面>

機能メニュー	内容
明るさ調節 バーコードリーダー起動時 ±0	−2（暗い）〜+2（明るい）で調節します。 ▶**明るさを選択**▶◉

コード読取結果画面の機能メニュー

1 **コード読取結果画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う**

<コード読取結果画面>

機能メニュー	内容
認識結果保存	読み取り結果を登録します。（P.179参照）
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。 ●読み取り結果を登録していない場合は、読み取りデータを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
Internet	選択中のURLに接続します。 ▶YES▶OK ●コード読取結果画面でURLを選択し、◉を押してもURLに接続します。 ●ページを取得中に中止する場合は✉（中止）または クリア を押します。
ｉモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。 ●コード読取結果画面でメールアドレスを選択し、◉を押してもｉモードメールを作成します。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 ▶**発信方法を選択**▶◉ ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●コード読取結果画面で電話番号を選択し、◉を押しても同様の操作を行えます。 ▶**発信** ●国際電話をかける場合は「国際電話発信」を選択します。（P.60参照） ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。（P.51手順2参照）
電話帳登録	電話帳に登録します。（P.100参照）
Bookmark登録	選択中のURLをブックマークに登録します。 ▶YES▶OK▶**登録したいフォルダを選択**▶◉ ●コード読取結果画面で「Bookmark登録」を選択するとサイト名とURLが登録されます。

機能メニュー	内容
画像保存	読み取ったデータの画像を、選択した「マイピクチャ」フォルダに保存します。 ▶保存したいフォルダを選択▶◎ ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。 ▶ピクチャ貼付するには「YES」を選択▶◎ P.334手順1へ進みます。
メロディ保存	読み取ったデータのメロディを、選択した「メロディ」フォルダに保存して着信音などに設定します。 ▶YES▶保存したいフォルダを選択▶◎ ●「♪」を選択するとメロディが再生されます。 ●保存されているメロディがいっぱいのときはP.211参照。 P.207手順3へ進みます。
ｉアプリ起動	読み取ったデータからｉアプリを起動します。 ▶YES ●コード読取結果画面で「ｉアプリ起動」を選択してもｉアプリが起動します。
コピー	▶コピーする始点を選択▶◎▶コピーする終点を選択▶◎ ●全角5000文字まで、半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.442参照。

お知らせ

<Internet>
- URLは、バーコードリーダーでは半角512文字、テキストリーダーでは半角256文字まで表示されます。

<ｉモードメール作成>
- 宛先に入力できない文字が含まれていた場合、宛先には入力できません。
- 本文に入力できない文字が含まれていた場合、その文字はスペースになることがあります。

<電話発信>
- 発信できる文字は数字と記号（＃＊＋－）です。これら以外の文字が含まれている場合は発信できません。
- 本機能で設定したテレビ電話画像は、この発信時のみ有効です。

<Bookmark登録>
- URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。

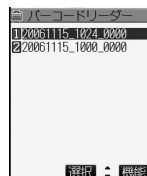
<画像保存>
- 保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXX」（XXXは数字です。）となります。
- 1224×1632ドットを超える画像のバーコードは読み取れません。

<メロディ保存>
- 保存されたメロディのファイル名は「melodyXXX」（XXXは数字です。）となります。
- タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
- メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定された音量で再生されます。
- 通話中はメロディを再生できません。

<ｉアプリ起動>
- 「ｉアプリ To 設定」で「バーコードからｉアプリ To」のチェックを外していると、読み取ったデータを利用してのｉアプリ起動はできません。
- 指定したソフトがない場合、ｉアプリは起動できません。

保存データ一覧を表示する

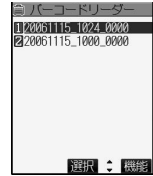
1 メニュー▶ツール▶**バーコードリーダー▶保存データ一覧**

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。
- データが1件も登録されていない場合、右の画面は表示されません。
- タイトルを選択し◎を押すと、コード読取結果画面が表示されます。

<バーコードリーダー一覧画面>

お知らせ

- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
  （例）日付・時刻が設定されていて、2006年11月15日10時00分に保存した場合
  タイトル名：20061115_1000_0000
  ・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで登録した順に増えます。
  日付・時刻が設定されていないときに保存した場合
  タイトル名：00000000_0000_0000
  ・下4桁の数字が「9999」まで順に増えていき、「9999」まで登録すると「0000」に戻ります。

バーコードリーダー一覧画面の機能メニュー

1 バーコードリーダー一覧画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

<バーコードリーダー一覧画面>

機能メニュー	内容
タイトル編集	▶タイトルを入力▶(●) ●全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
結果表示	登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶(●)▶YES

テキストリーダーを利用する

アウトカメラを使って印刷されている電話番号やメールアドレス、URLなどの英数記号を読み取り、文字情報として登録できます。文字情報を使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

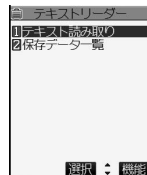
■テキストリーダーで読み取りを行うときは
- 接写レバーを「🌷」に動かしてから、読み取りを行ってください。(P.172参照)
- 読み取りたい文字列に対してカメラを約8cm離して読み取ってください。
  約8cmの距離からずれた位置で読み取りを行った場合、認識率が低下します。
- 読み取りたい文字列に対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。
- 読み取りたい文字列を読み取り範囲内に入るようにして読み取ってください。
- 必要に応じて読み取り終了後は接写レバーを「●」に戻します。

文字を読み取る

テキストリーダー起動時	フォトライト：OFF ズーム：拡大

読み取ったデータは、1件につき半角256文字、8件まで登録できます。
一度に読み取り可能な文字数は半角50文字までで、長い文字列は分割して読み取れます。

1 メニュー▶ツール▶テキストリーダー▶テキスト読み取り

- 撮影画面の機能メニューから「カメラモード切替」の「テキストリーダー」を選択しても右の画面が表示されます。
- データがすでに8件登録されている場合、最も古いデータに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

<テキストリーダー選択画面>

2 接写モードにして読み取りたい文字を読み取り範囲に合わせて表示する

- ✉(点灯／消灯)を押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。
- ◎を押すと標準のズームに、◎を押すと拡大のズームに替わります。

<テキスト読取画面>

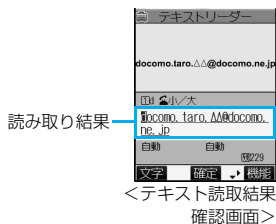
3 ◉を押す

読み取り範囲内の文字が読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)
- 読み取りを中止する場合はクリアを押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定中は音が鳴りません。

次ページにつづく

4 読み取り結果を確認する

読み取った文字に下線が付いて表示されます。読み取った文字が間違っていないか確認します。

- 読み取りをやり直す場合はクリアを押します。
- 文字を修正せずに登録する場合は手順6へ進みます。

<テキスト読取結果確認画面>

■テキスト読取結果確認画面で文字を修正するときは

変換候補の文字を選択して修正する

読み取り結果が表示されると、それぞれの文字の変換候補が最大4種類まで表示されます。

1. を押して修正したい文字を選択▶変換候補文字の番号を押す

直接入力して修正する

変換候補以外の文字などに修正したい場合に直接入力します。

1. を押して修正したい文字を選択▶（文字）を押して「英字入力モード」または「数字入力モード」に切り替える▶文字を入力

お知らせ

- 修正する文字が英字の場合、を押すと大文字、小文字に変換できます。
- による「.ne.jp」や「.co.jp」などの文字入力はできません。

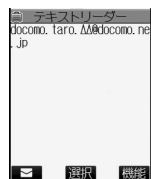
5 を押す

読み取った文字が確定します。

- 文字を結合させる場合は、手順2～手順5を繰り返します。
- 読み取り結果を破棄する場合は、クリアを押し、テキスト読取結果確認画面でクリアを押します。

6 （機能）▶登録

読み取った文字が登録されます。

- （）を押すと、読み取った文字を宛先にしてｉモードメールを作成できます。P.235手順3へ進みます。

<テキスト読取結果画面>

お知らせ

- 読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 読み取りできる文字は、英字（大文字・小文字）、数字、記号（# & ( ) ー . / : @ [ ] _ ˜ ? = % +）です。漢字やひらがななどは読み取りできません。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく読み取りできない場合があります。
- 手書きの文字は正しく読み取りできません。
- FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく読み取りできない場合があります。
- ビューアスタイルではテキスト読み取りできません。

保存データ一覧を表示する

1 メニュー▶ツール▶**テキストリーダー**▶**保存データ一覧**

<テキストリーダー一覧画面>

登録済みの場合は、最初の半角22文字までが表示されます。

- データが1件も登録されていない場合、右の画面は表示されません。
- 項目を選択し◉を押すと、テキスト読取結果画面が表示されます。
- テキスト読取結果画面で◉を押すと、上書きしてテキストリーダーを起動させるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合はP.183手順2へ進みます。
- 項目を選択し✉（✉）を押すと、項目の文字を宛先にしてｉモードメールを作成できます。P.235手順3へ進みます。

テキストリーダー選択画面の機能メニュー

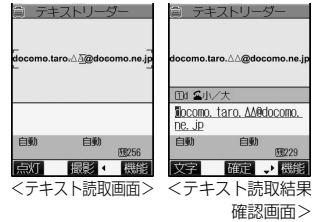
1 **テキストリーダー選択画面**▶ⓘ（機能）▶**以下の操作を行う**

<テキストリーダー選択画面>

機能メニュー	内容
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）

テキスト読取画面・テキスト読取結果確認画面の機能メニュー

1 **テキスト読取画面・テキスト読取結果確認画面**▶ⓘ（機能）▶**以下の操作を行う**

<テキスト読取画面>　<テキスト読取結果確認画面>

機能メニュー	内容
登録	読み取り結果を登録します。（P.184参照）
編集	読み取った文字列を編集して登録します。 ▶**文字を編集**▶◉
認識モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の種類に合わせて認識モードを設定できます。 **自動設定**……**文字の種類を自動で判別します。** **URL**……**読み取った文字列の先頭に自動で「http://」・「https://」を付加して登録されます。** **アドレス**……**メールアドレスを読み取る場合に選択します。** **電話番号**……**電話番号を読み取る場合に選択します。** **数字**……**数字を読み取る場合に選択します。** **フリー文字列**……**特に指定せずに文字を読み取る場合に選択します。**
反転モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の印刷の状態に合わせて反転モードを設定できます。 **自動設定**……**印刷の状態を自動で判別します。** **無反転固定**……**薄い色地に濃い色の文字が印刷されている場合に選択します。** **反転固定**……**濃い色地に薄い色の文字が印刷されている場合に選択します。**

次ページにつづく

お知らせ

<認識モード設定>

●「URL」を選択して読み取りを行った場合に、読み取った文字列に「http://」･「https://」を付加する条件は以下の通りになります。
読み取った文字列に「://」がない場合は、「http://」を文字の先頭に付加します。ただし、文字列の先頭が「/」または「//」の場合は、「/」または「//」を「http://」に置き換えます。
読み取った文字列に「://」がある場合は、「://」より前を「http」に置き換えます。ただし、「://」の前が「s」や「S」の場合は、「://」より前を「https」に置き換えます。

テキスト読取結果画面・テキストリーダー一覧画面の機能メニュー

1 **テキスト読取結果画面・テキストリーダー一覧画面▶(機能)▶以下の操作を行う**

<テキスト読取結果画面> <テキストリーダー一覧画面>

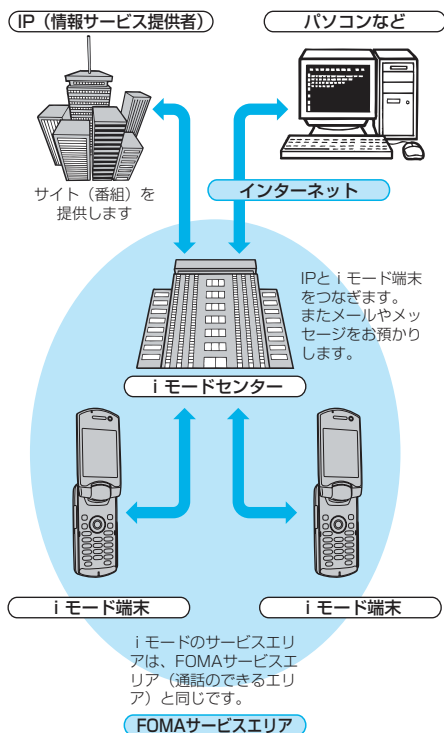
機能メニュー	内容
編集	▶**文字を編集**▶◉
Internet	読み取ったURLに接続します。(P.180参照)
ｉモードメール作成	読み取ったメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。
電話発信	読み取った電話番号に発信します。(P.180参照)
メールアドレス登録	読み取ったメールアドレスを電話帳に登録します。(P.100参照)
電話番号登録	読み取った電話番号を電話帳に登録します。(P.100参照)
Bookmark登録	読み取ったURLをブックマークに登録します。(P.180参照)
電話帳検索	読み取った文字を使って電話帳検索を行います。 ▶**検索方法を選択**▶◉▶◎ 文字に該当する電話帳の一覧が表示されます。
詳細表示・一覧表示	テキスト読取結果画面とテキストリーダー一覧画面を切り替えます。
1件削除	▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶◉▶YES

ｉモード／ｉモーション

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- **サイト（番組）接続**
  iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。
- **インターネット接続**
  iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。
- **iモードメール**
  iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

■サービスのしくみ

- **iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。**

お知らせ

- 新規でFOMAサービスをご契約いただきますと、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内「お知らせ」でご確認できます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、iモードメールアドレスはそのままご利用になれます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

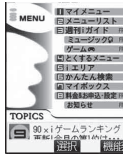
サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど様々なオンラインサービスがあります。

※銀行などの一部のサイトについては、別途IPへお申し込みが必要な場合があります。サイトとは、モバイルバンキングやニュース速報など、各IPが提供している番組のことです。

■サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenu画面が表示されます。ここから各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。

サイトの表示方法についてはP.193を参照してください。

1 マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。（P.198参照） ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2 メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
3 週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。 またミュージックとゲームの特集コーナーも用意されています。
4 とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。 （提供：D2コミュニケーションズ）
5 ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
6 かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
7 マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8 料金&お申込・設定	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができるほか、ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
TOPICS	最新のトピックスを紹介しています。
ENGLISH	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※ 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

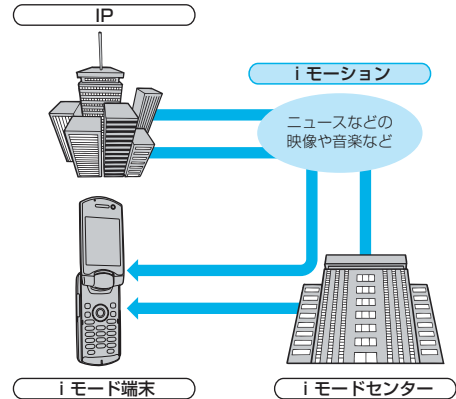
お知らせ

- 接続するサイトによっては、お客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」の送信が必要となる場合があります。送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- 「📱」が点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

■こんなこともできます

ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しめます。

- ｉモーションを取得する方法についてはP.225を参照してください。
- ｉモーションを再生する方法についてはP.340を参照してください。
- ｉモーションの自動再生設定についてはP.227を参照してください。

着モーション／着うた®

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。

- 一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。設定できるファイルかどうかは、ｉモーション情報でご確認いただけます。（P.343参照）
- 着モーションを設定する方法についてはP.113を参照してください。

ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- ｉアプリをダウンロードする方法についてはP.301を参照してください。
- ｉアプリを実行する方法についてはP.302を参照してください。
- ｉアプリを自動実行する方法についてはP.308を参照してください。

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- ｉアプリ待受画面を設定する方法についてはP.308を参照してください。

ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

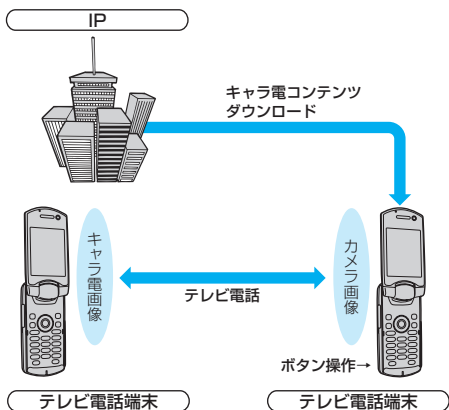
- ｉアプリDXについてはP.300を参照してください。

3Dサウンド

3Dサウンド対応ｉモード端末では、ステレオスピーカ（またはステレオイヤホンセット）により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出せ、臨場感あふれるｉアプリのゲーム、ｉモーションや着信音などをお楽しみいただけます。（3Dサウンド対応のコンテンツの場合となります。）

キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラクタを撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。）

- キャラ電をダウンロードする方法についてはP.210を参照してください。
- キャラ電を確認する方法についてはP.349を参照してください。
- キャラ電を設定する方法についてはP.85を参照してください。
- キャラクタの操作方法についてはP.349を参照してください。
- キャラ電を撮影する方法についてはP.351を参照してください。

赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使い方ができます。例えば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

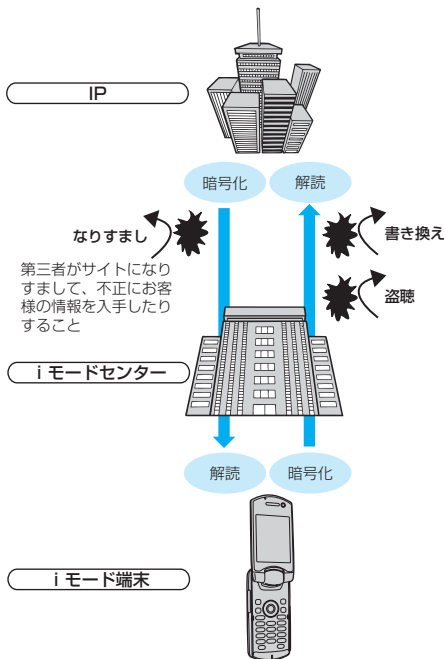
※相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

- 赤外線通信をする方法についてはP.360を参照してください。

SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信をする方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすまし（P.192参照）や書き換え（P.192参照）を防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書（以降「SSL証明書」）を利用し、SSL（P.192参照）に対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。

- ｉモード端末に保存されているSSL証明書を利用するにはP.221を参照してください。
- FirstPassセンターのユーザ証明書を利用するにはP.221を参照してください。

FOMAカード動作制限機能
お客様情報〔電話番号・電話帳（一部）など〕を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画等のファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。
※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。
※着信音や待受画像設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定が一時的に無効となります。

ｉメロディ
サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音としてご利用になれます。（P.207参照）

ｉアニメ
サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面などに表示できます。（P.206参照）

Flash®
Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトをご利用になれます。
また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定できます。（P.206参照）
Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用するデータには次のものがあります。
・電池残量　・電波の受信レベル　・日付時刻
・着信音量　・バイリンガル　・携帯電話機種情報
● ｉモード端末の登録データを利用する設定についてはP.213を参照してください。

メッセージサービス
メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。
メッセージサービスにはメッセージR（メッセージリクエスト）とメッセージF（メッセージフリー）があります。

メッセージR（リクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（フリー）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

● メッセージサービスの受信方法については、P.215を参照してください。
● メッセージFの設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。
※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめ「料金&お申込・設定」からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。
● お客様のｉモード端末がテレビ電話中、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。

お知らせ

● ｉモードセンターでの各メッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数や最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

● ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、P.255「ｉモード問い合わせ」により受信できます。

トクだねニュース便
メッセージR機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。
● メッセージRの画面の見かたについてはP.216参照。

■ｉモードパスワード
有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・削除、ｉモードメール設定などを行うときは「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。（P.199参照）
なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。
● **インターネットホームページの表示方法についてはP.199を参照してください。**

お知らせ

● ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。詳しくはP.192を参照してください。
● パソコン上での表示とは異なる場合があります。
● URLが256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

iモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売したり、メールへの添付やiモード端末外へ出力することはできません。
- iモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、iアプリ、iモーション）やブックマークなどの登録内容は、iモード端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。（P.490参照）
- iモード端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリ・iモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

■用語解説

- **インターネットホームページ**
  情報を提供するサーバ（情報が登録されている場所）が情報の簡単な紹介をするページです。インターネットホームページから項目をたどって、詳細な情報を見ることができます。
- **URL**
  インターネットホームページがインターネット上のどこにあるのかを表す「住所」のようなものです。URLを指定することによりインターネットホームページを表示できます。
- **ブックマーク（Bookmark）**
  頻繁に接続するインターネットホームページなどを登録しておくと、次回からすぐに表示できる機能です。ブックマークには、お気に入りのインターネットホームページのURLを登録します。
- **キャッシュ**
  一度表示したインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶するFOMA端末内の場所です。再度同じインターネットホームページを表示するときは、キャッシュ内のデータを呼び出すため、すぐにページを表示できます。
- **ダウンロード**
  サーバからインターネットを通じてデータやソフトを受け取り、FOMA端末に保存することです。
- **リンク**
  他の場所にあるデータとのつながりを持つことです。たとえば、サイトのページの中に「目次」などと表示されていて、各項目を選択するとそのページへ移動できる場合があります。それは選択した項目がそのページのURLにリンクされているということです。通常、他の部分と区別するため、色が変えられていたり下線が引かれています。
- **SSL**
  インターネット上でサーバと情報をやりとりするときに情報を暗号化して、不正に書き換えられたり、他人が見ることができないようにするセキュリティープロトコル（決まりごと）です。
- **SSL証明書**
  第三者の認証機関が発行する電子的な書類です。SSL通信で接続するサーバとFOMA端末には、あらかじめ認証機関から発行、提供された証明書が保存されています。認証機関をCAといいます。
- **SSL認証**
  FOMA端末がSSL通信を始めるときに、接続先のサーバが同じ認証機関から発行された証明書を持つことを確認することにより、接続先サーバを認証することをいいます。
- **なりすまし**
  第三者がサイトやお客様のふりをして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。
- **書き換え**
  インターネットを通じてサーバと情報をやりとりするときに第三者が不正に情報の内容を変えてしまうことです。改ざんともいいます。

お知らせ

＜キャッシュに記憶されたページを表示するときは＞

- キャッシュとは、表示したインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。◎や◎を押すことで、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示できます。（P.194参照）
  ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしているか、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、◎や◎を押した際、通信を行います。
- キャッシュに記憶されたページを表示する際、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- iモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- ダウンロード（取得）完了画面はキャッシュに記憶されません。
- SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、「SSLページを表示します」というメッセージが表示されます。

サイトに接続する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスを利用します。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。（IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。）

1 [メニュー]▶[iモード]▶ｉMenu

通信中は「 」が点滅します。

- ページを取得中に中止するときは[✉]（[中止]）を押します。
- 待受画面で[i]（[i]）を押しても「ｉモードメニュー画面」が表示されます。

＜ｉモードメニュー画面＞

2 項目（リンク先）を選択▶[●]

- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。（サイトによっては接続できない場合があります。）

手順2を繰り返して目的のサイトを表示します。

■スクロール機能（行単位と画面単位）
サイトなどのページを表示している場合で、一覧や文章が画面内におさまらず、続きがあるときは、[○]を押すと下方向にスクロールして、一覧や文章の続きを表示します。また、一覧や文章の続きを表示しているときに、[○]を押すと上方向にスクロールして、前の一覧や文章を表示します。
また、[▲]や[▼]を押すと画面単位でスクロールします。

■SSLページを取得するときは
SSLに対応したサイトを取得するとき、右の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、「 」が点灯します。

- 認証中に中止する場合は[●]を押します。認証後のページを取得中に中止する場合は[✉]（[中止]）を押します。

■通常のサイトに戻るには
SSLに対応していないサイトに戻るとき、右の画面が表示されます。「YES」を選択すると通常のサイトが表示され、「 」が消灯します。

お知らせ

- SSL通信を行う際は、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。

■ｉモードを終了するには
1. サイト表示中▶[PWR/HLD]▶YES

「 」が消灯し、ｉモードが終了します。

- ｉモード終了までに時間がかかる場合があります。

お知らせ

- [PWR/HLD]を2秒以上押した場合は、電源が切れます。

次ページにつづく

お知らせ

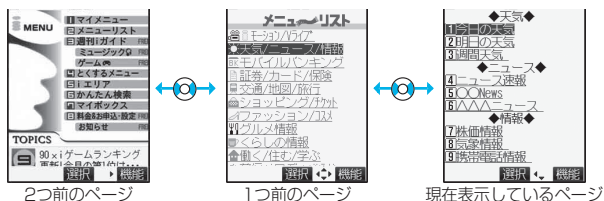
- 「圏外」が点灯しているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。「Yıll」など電波の受信レベル表示が点灯する場所まで移動してください。
- ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード待機中）は「 」が点滅します。
- サイトによっては、ご利用の前に別途書面などで申し込みが必要になることがあります。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- エリア内でｉモードのサービスを受けていないとき（エリア内で「 」や「 」が表示されていないとき）に、サイトやインターネット（P.199参照）で情報の送受信やｉモードメールの送信（P.235参照）などをしようとしたときは、「 」が点滅し「ｉモード通信開始」というメッセージが表示され、ｉモード開始まで時間がかかることがあります。
- ｉモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。
- 圏外でもｉモードメニュー画面を表示できます。ただし、圏外ではサイトやインターネットで情報の送受信などはできません。
- サイトによっては、画像を表示できない場合があります。
- 画像が正しく表示されなかった場合、「 」が表示されます。
- サイトに接続中でも、電話をかけたり受けたりできます。また、メールを送受信できます。ただし、ｉモード通信中はテレビ電話を受けることはできません。
- 「Receiving Page...」のメッセージが表示されているときでも で画面をスクロールできます。
- 表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択できます。選択された項目は反転表示されます。
- ｉモード対応のインターネットホームページ（サイト）によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

取得済みのページに戻る・進む

1 **前のページを表示させるときは を押す**
次のページを表示させるときは を押す

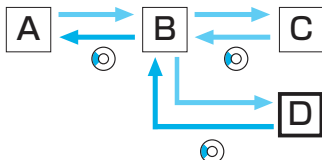
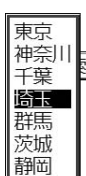
2つ前のページ　　1つ前のページ　　現在表示しているページ

■ページを移動するには

 を続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で を押して前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、現在表示している「D」から を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

お知らせ

- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

<画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき>

A　B　C　D

…ページの表示の順番

…画面「D」から前のページを表示させたときの順番

サイトで選択・入力する

サイトでアンケートや申し込みをするときなどに、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューが表示されることがあります。

名称	表示例	内容
ラジオボタン	○：非選択状態 ◉：選択状態	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□：非選択状態 ☑：選択状態	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス	乗換駅から 下車駅へ 0．検索	文字を入力できます。テキストボックスを選択し、◉を押すと文字入力画面が表示されます。 ●（機能）を押して「バーコードリーダー」を選択するとバーコードリーダーを利用してJANコード、QRコードの文字情報をテキストボックスに入力できます。（メロディと画像は入力できません。文字情報として表示されます。）
プルダウンメニュー	東京 0．検索 → 東京 神奈川 千葉 埼玉 群馬 茨城 静岡	選択肢の一覧から項目を選択できます。選択肢が見えない状態で表示され、プルダウンメニューを選択し、◉を押すと選択肢一覧が表示されます。 ●プルダウンメニューでは、サイトなどのつくりによって複数の項目を選択できる場合があります。◎で項目を選択し、◉を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったら✉（完了）を押します。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像を利用した画像をFOMA端末にダウンロードして再生したり、待受画面に設定したりできます。

お知らせ

- Flash画像によってはお客様のFOMA端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データの利用を許可するには、「登録データ利用設定」を「利用する」に設定してください。（お買い上げ時は「利用する」に設定されています。）
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「効果音設定」を「効果音OFF」に設定してください。また、バイブレータを設定中は、効果音が鳴った場合でも振動しません。
- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。「バイブレータ」を「OFF」に設定していても振動します。
- 「リトライ」を実行すると、Flash画像を最初から再生できます。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定すると、Flash画像は表示されません。
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見え方と異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては◎や◉で操作できることがあります。「✥」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。

■User IDやPasswordを入力するには

サイトによっては右のような認証画面が表示されることがあります。
（サイトによって表示される画面が異なります。）

1.「User ID」欄を選択▶◉▶User IDを入力▶◉
2.「Password」欄を選択▶◉▶Passwordを入力▶◉
　●入力したPasswordは「＊」で表示されます。
3. OK
　User ID、Passwordの認証を始めます。

■携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択し◉を押すと、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。送信してもよいときは「YES」を選択します。クリアまたは✉（戻る）を押すと前の画面に戻ります。

お知らせ

●送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
●送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

サイト表示中の機能メニュー

1 サイト表示中▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
Bookmark登録	Bookmarkに登録します。（P.201参照）
画面メモ保存	画面メモを保存します。（P.204参照）
ｉMenu	「ｉMenu」に戻ります。
Bookmark一覧	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。（P.202参照）
画面メモ一覧	画面メモ一覧画面を表示します。（P.204参照）
再読み込み	サイトが更新されていれば、この操作のたびに表示されるサイトの内容が最新の情報に更新されます。
画像保存	画像を保存します。（P.206参照）
URL入力	URLを入力して、インターネットホームページを表示します。（P.199参照）
電話帳登録	電話帳に登録します。（P.100参照）
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
ｉモードメール作成	表示中のサイトや画面メモのURL、画像をｉモードメールの本文に貼り付けまたは添付して作成します。 **URL貼付. . . . . . . .URLをｉモードメールの本文に貼り付けます。** **メール添付. . . . . . .画像を選択してｉモードメールに添付します。** **デコメール挿入 . . .画像を選択してデコメールに貼り付けます。** P.235手順2へ進みます。 ●デコメールについてはP.240参照。
ホーム登録	ホームURLに登録します。（P.201参照）
ホーム表示	ホームURLに登録したサイトを表示します。（P.201参照）

機能メニュー	内容
タイトル表示	表示中のサイトのタイトルを表示します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
URL表示	表示中のサイトのURLを表示します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
証明書表示	SSL通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認します。 ●で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば クリア を押します。
文字コード変換	文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換します。
画像表示設定	画像を表示するかどうかを設定します。(P.213参照)
iモーションタイプ設定	取り込むiモーションのタイプを設定します。(P.227参照)
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。(P.213参照)
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。

お知らせ

＜再読み込み＞
●文字入力後やID・パスワードなどを入力して閲覧しているときに実行すると、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。(自動的に更新されるサイトでは「再読み込み」を実行していなくても表示されます。)「YES」を選択します。

＜iモードメール作成＞
●本文に貼り付けできるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字以上あるときは貼り付けできません。
●画像によってはiモードメールに添付または貼り付けできない場合があります。

＜タイトル表示＞
●表示されたタイトルの編集はできません。
●タイトルは半角128文字まで表示されます。

＜URL表示＞
●表示されたURLの編集はできません。

＜証明書表示＞
●証明書は最大4枚まで表示され、で前後の証明書を確認できます。
●「スクロール設定」の設定に関わらず1行スクロールで表示されます。

＜文字コード変換＞
●正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
●変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
●正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。
●「文字コード変換」は表示中のサイトに対してのみ有効です。

＜リトライ＞
●再生途中に選択すると、はじめから再生されます。

＜ラストURL＞

最後に見たサイトのページを表示する

ラストURLを表示する

iモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。
iモードメニュー画面で「ラストURL」を選択すると、最後に見たページに接続します。
URLが半角2048文字を超えるページ、メロディやiモーションのダウンロード（取得）完了画面、FirstPassセンターのページなど、ページによっては「ラストURL」に記憶されません。

1 メニュー▶iモード▶**ラストURL**

お知らせ

- ページを表示するたびに「ラストURL」は表示中のページのURLに更新されます。
- お買い上げ時や「ラストURL初期化」を行ったあとに「ラストURL」を選択するとi Menu画面が表示されます。

ラストURL初期化

最後に見たページのURLを初期化（i MenuのURLに）します。

1 メニュー▶iモード▶**iモード設定▶ラストURL初期化▶YES**

＜マイメニュー＞

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
最大45件まで登録できます。

マイメニューに登録する

1 **登録したいサイトのページを表示▶マイメニュー登録**

- 各サイトによりページ構成が異なります。

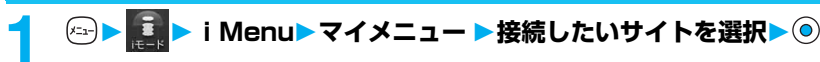
2 **iモードパスワードのテキストボックスを選択▶◉▶iモードパスワードを入力▶◉▶決定**

- 入力したiモードパスワードは「＊」で表示されます。
- iモードパスワードについてはP.140参照。

お知らせ

- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- メニューリスト内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 メニュー▶iモード▶**i Menu▶マイメニュー▶接続したいサイトを選択▶◉**

お知らせ

- マイメニューからサイトに接続するためには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。
- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

＜ｉモードパスワード変更＞

ｉモードパスワードを変更する

メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「ｉモードパスワード」（4桁）が必要になります。ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）がｉモードパスワードとして設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。
なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 **(メニュー)▶(iモード)▶ｉMenu▶料金&お申込・設定▶オプション設定▶ｉモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶(●)**

2 **ｉモードパスワード（4桁）を入力▶(●)**

- 入力した数字は「＊」で表示されます。
- ご契約時は「0000」となっていますので、初回は「0000」を入力します。

3 **「新パスワード」のテキストボックスを選択▶(●)▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力▶(●)**

4 **「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶(●)▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力▶(●)▶決定**

- 手順3で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

- ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

＜URL入力＞

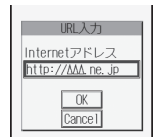
インターネットホームページを表示する

URLを入力して、インターネットホームページに接続します。
URLは半角の英数字や記号で入力します。

1 **(メニュー)▶(iモード)▶Internet▶URL入力▶＜新規入力＞**

- インターネットホームページ表示中は(i)（機能）を押して「URL入力」を選択すると手順2の画面が表示されます。テキストボックスを選択し、(●)を押します。（テキストボックスには表示中のサイトのURLが入力されています。）

2 **URLを入力▶(●)▶OK▶OK**

「http://」は自動的に挿入されます。
- 半角256文字まで入力できます。

お知らせ

- インターネットホームページ表示中に他のホームページに接続できます。
- ｉモード対応のインターネットホームページ以外では、正しく表示されない場合があります。
- 接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 受信したデータが取得可能な1ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。(●)を押すと、取得したところまでのデータが表示される場合もあります。

＜URL入力履歴＞

URL入力履歴を使って表示する

入力したURLはURL入力履歴として10件まで記憶されます。

1 **(メニュー)▶(iモード)▶Internet▶URL入力▶表示したいURLを選択▶(●)▶OK▶OK**

●URLのテキストボックスを選択して(●)を押すとURLを編集できます。

＜URL入力履歴一覧画面＞

お知らせ

●履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
●機能メニューの「URL入力」からのアクセスは同じURLでも履歴として記録されます。
●URL入力履歴は「http://」または「https://」以下の半角22文字までが表示されます。

URL入力履歴一覧画面の機能メニュー

1 **URL入力履歴一覧画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
iモードメール作成	選択中のURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.235手順2へ進みます。
ホーム登録	ホームURLに登録します。(P.201参照)
削除	▶YES
選択削除	▶削除したいURL入力履歴にチェック▶(✉)(完了)▶YES ●(●)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(i)(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶(●)▶YES

＜ホーム表示＞

ホーム登録したサイトを表示する

ホームURL設定

お買い上げ時	無効

ホーム登録するサイトのURLとホーム表示の有効・無効を設定します。
例：URLを入力して「有効」に設定する場合

1 **(メニュー)▶(iモード)▶iモード設定▶ホームURL設定**

2 「ホームURL」のテキストボックスを選択▶◉

●無効に設定する場合は「無効」を選択します。設定が終了します。

ホームURL設定
1無効
2有効
ホームURL
http://
選択

3 URLを入力▶◉▶有効

「http://」は自動的に挿入されます。
●半角256文字まで入力できます。
●入力されているURLを変更しない場合は、URLを入力せずに「有効」を選択します。

ホーム登録

表示中のサイトやブックマーク一覧、URL入力履歴のURLをホームURLに登録します。

1 サイト表示中・Bookmark一覧画面・URL入力履歴一覧画面▶i(機能)▶ホーム登録▶YES

●すでにホームURLが登録されている場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

●「ホーム登録」でURLを登録しても、「ホームURL設定」の「有効」、「無効」は変更されません。

ホーム表示

「ホーム登録」や「ホームURL設定」で登録したURLからサイトを表示します。

1 (メニュー)▶iモード▶Internet▶ホーム表示

●サイト表示中はi(機能)を押して「ホーム表示」を選択します。
●待受画面で▲を押しても表示されます。

お知らせ

●「ホームURL設定」が「無効」に設定されている場合は、「ホーム表示」からサイトに接続できません。
●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

＜ブックマーク＞

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

よく見るサイトのURLをブックマークに登録して、直接目的のサイトに接続します。100件まで登録できます。（全フォルダの合計）

ブックマークに登録する

1 登録したいページを表示中▶i(機能)▶Bookmark登録▶YES

●同じURLを登録しようとした場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

2 登録したいフォルダを選択▶◉

次ページにつづく

お知らせ

- 登録できる1件あたりのURLの文字数は半角256文字までです。URLの文字数がそれ以上あるときは登録できません。
- タイトルは全角12文字まで、半角24文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。
- ブックマークに登録時は、サイトで入力した内容は登録されません。
- ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。
- すでにブックマークが最大保存件数まで登録されている場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

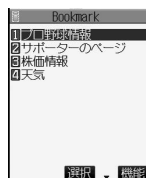
1 (メニュー)▶(iモード)▶**Bookmark▶フォルダを選択▶**◉

- サイト表示中は(i)(機能)を押して「Bookmark一覧」を選択します。

<Bookmarkフォルダ一覧画面>

2 **表示したいブックマークを選択▶**◉

- ブックマークが11件以上ある場合、◎を押すと、次の10件や前の10件を表示できます。

<Bookmark一覧画面>

お知らせ

- ブックマークを使ってページを表示させると、次回はそのブックマークがBookmark一覧画面の先頭に表示されます。
- 情報が自動的に更新されない場合がありますので、その場合は「再読み込み」を行ってください。

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面▶**(i)**(機能)▶以下の操作を行う**

<Bookmarkフォルダ一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。「Bookmark」フォルダ以外に9件まで追加できます。 **▶フォルダ名を入力▶**◉ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

機能メニュー	内容
フォルダ名編集	▶フォルダ名を編集▶◉ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
登録件数確認	全フォルダに登録されているブックマークの件数を表示します。 ●確認が終われば(クリア)を押します。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のすべてのブックマークを削除します。「Bookmark」フォルダは削除できません。 ▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES
Bookmark全削除	すべてのブックマークを削除します。フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

お知らせ

<フォルダ追加>
- 新規フォルダはBookmarkフォルダ一覧画面の一番下に追加されます。
- フォルダ名を入力しなければ新規フォルダは追加できません。

<フォルダ名編集>
- 「Bookmark」フォルダの名前は変更できません。
- 同じ名前のフォルダも登録できます。

<Bookmark全削除>
- ブックマークが1件も登録されていない場合でも操作できます。

Bookmark一覧画面の機能メニュー

1 Bookmark一覧画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

<Bookmark一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ移動	ブックマークを別のフォルダに移動します。 ▶移動先のフォルダを選択▶◉▶移動したいブックマークにチェック▶(✉)(完了)▶YES ●◉を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。(i)(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
タイトル編集	▶タイトルを編集▶◉ ●全角12文字まで、半角24文字まで入力できます。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
ｉモードメール作成	選択中のURLをｉモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.235手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
ホーム登録	ホームURLに登録します。(P.201参照)
URLコピー	ブックマークのURLをコピーします。 ▶コピーする始点を選択▶◉▶コピーする終点を選択▶◉ ●コピーした文字を貼り付けるにはP.442参照。
登録件数確認	表示しているフォルダ内に登録されているブックマークの件数を表示します。 ●確認が終われば(クリア)を押します。
削除	▶YES

機能メニュー	内容
選択削除	▶削除したいブックマークにチェック▶(完了)▶YES ●を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	フォルダ内に登録されているすべてのブックマークを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶▶YES

お知らせ

<タイトル編集>
●タイトルを削除（空白）してを押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。

<画面メモ>

サイトの内容を保存する

一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存できます。画面メモに保存したページは、ｉモードに接続せずに表示できます。
最大100件まで保存できます。（データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。）

画面メモを保存する

1 保存したいページを表示中▶(機能)▶画面メモ保存▶YES

●保存されている画面メモがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

●タイトルは全角11文字まで、半角22文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。
●ダウンロード（取得）完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。（再生期限付きのｉモーションの取得完了画面は保存できません。）ダウンロード（取得）完了画面は、画面メモとして保存できない場合があります。ダウンロード（取得）完了画面以外は、そのページのURLが半角256文字まで保存されます。
●SSL対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL証明書も保存されます。
●同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
●テキストボックスに入力した内容や、プルダウンメニュー、チェックボックス、ラジオボタンで選択した内容は保存されません。

画面メモを表示する

1 (メニュー)▶iモード▶画面メモ

●サイト表示中は(機能)を押して「画面メモ一覧」を選択します。

<画面メモ一覧画面>

2 表示したい画面メモを選択▶◉

◎で他の画面メモを確認できます。

<画面メモ詳細画面>

お知らせ

- 画面メモに保存されたページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。
- 保存したページにタイトルがないときは、画面メモ一覧画面で「無題」と表示されます。

画面メモ一覧画面の機能メニュー

1 画面メモ一覧画面▶(機能)▶以下の操作を行う

<画面メモ一覧画面>

機能メニュー	内容
タイトル編集	▶タイトルを編集▶◉ ●全角11文字まで、半角22文字まで入力できます。
保護／保護解除	画面メモを削除されないように保護します。最大50件まで保護できます。（保護するページのデータ量により件数は変動します。） 保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保存件数確認	保存されている画面メモの件数と保護されている画面メモの件数を表示します。 ●確認が終わればクリアを押します。
削除	▶YES
選択削除	▶削除したい画面メモにチェック▶✉(完了)▶YES ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

お知らせ

<タイトル編集>
- タイトルを削除（空白）して◉を押した場合は、「無題」と登録されます。

画面メモ詳細画面の機能メニュー

1 画面メモ詳細画面▶i(機能)▶以下の操作を行う

<画面メモ詳細画面>

機能メニュー	内容
画像保存	画像を保存します。(P.206参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.100参照)
タイトル編集	タイトルを編集します。(P.203参照)
保護／保護解除	保護／保護解除します。(P.205参照)
ｉモードメール作成	ｉモードメールを作成します。(P.196参照)
URL表示	画面メモのURLを表示します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
証明書表示	SSL通信で使用している証明書を確認します。(P.197参照)
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。(P.213参照)
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。
削除	▶YES

お知らせ

<URL表示>
●表示されたURLの編集はできません。

<リトライ>
●再生途中に選択すると、はじめから再生されます。

<画像保存>

サイトから画像をダウンロードする

サイト、画面メモに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定します。
デコメール用の画像やフレーム、スタンプ画像なども保存できます。

1 サイト表示中・画面メモ詳細画面▶i(機能)▶画像保存▶画像を選択▶◎▶YES

●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

2 保存したいフォルダを選択▶◎

3 ピクチャ貼付するには「YES」を選択▶◎

P.334手順1へ進みます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

お知らせ

- 保存された画像のファイル名は半角36文字までで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、取得したURLの最後の「/」から「.」「?」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」「?」の間に文字がない場合や、「/」よりあとに「.」「?」英数字以外の文字がある場合は、「imageXXX」(XXXは数字)のファイル名で保存されます。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定しているときは保存できません。また、「 」が表示されている場合も保存できません。
- サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存してピクチャビューアで表示すると、表示されない場合があります。
- 以下の条件を満たす画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
  - ・アニメーションGIFファイルではない透過GIFファイル
  - ・ファイルの拡張子が「ifm」
  - ・フレームは画像サイズが352×288ドット、240×320ドット、176×144ドット、128×96ドットの画像、スタンプはフレーム画像以外の352×288または288×352ドット以下の画像
- 1件あたり100Kバイトまでの画像を保存できます。

■お願い■

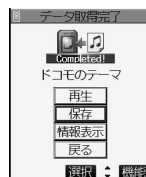
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、miniSDメモリーカード(P.354参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.471参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

< i メロディ>

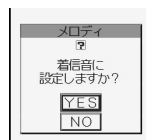
サイトからメロディをダウンロードする

サイトからメロディをダウンロードして、着信音などに設定します。ダウンロードしたメロディは20〜最大400曲まで保存できます。(データ量により実際に保存できる曲数が少なくなる場合があります。)

1 メロディダウンロード可能なサイトを表示▶メロディを選択▶◉▶保存▶YES

- 「再生」を選択するとメロディが再生されます。メロディ再生中の操作についてはP.352参照。
- 「情報表示」を選択するとメロディの情報が表示されます。(P.353参照)
- 保存されているメロディがいっぱいのときはP.211参照。

<取得完了画面>

2 保存したいフォルダを選択▶◉

3 着信音に設定するには「YES」を選択▶◉▶着信の種類を選択▶◉

お知らせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付・FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- 保存されたメロディのファイル名は半角36文字までで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、取得したURLの最後の「/」から「.」「?」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」「?」の間に文字がない場合や、「/」よりあとに「.」「?」英数字以外の文字がある場合は、「melodyXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。
- タイトルが付けられていないメロディは取得完了画面では「無題」と表示されますが、一覧ではファイル名がタイトルになります。
- 通話中はメロディの再生ができません。
- 1件あたり100Kバイトまでのメロディを保存できます。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、パソコンをお持ちの場合は、万一に備え、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することをおすすめします。

取得完了画面の機能メニュー

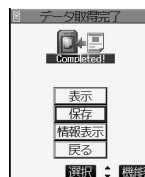
1 **取得完了画面▶i（機能）▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
画面メモ保存	画面メモを保存します。（P.204参照）

<テンプレートダウンロード>

サイトからテンプレートをダウンロードする

サイトからデコメール用のテンプレートをダウンロードします。お買い上げ時のものも含めて45件まで保存できます。

1 **テンプレートダウンロード可能なサイトを表示▶テンプレートを選択▶◉**

<取得完了画面>

2 **保存▶YES**

- 「表示」を選択するとテンプレートの内容が表示されます。
- 「情報表示」を選択するとテンプレートの情報が表示されます。（P.244参照）
- 保存したテンプレートの確認方法についてはP.244参照。

■保存されているテンプレートがいっぱいのときは

すでにテンプレートが最大保存件数まで保存されている場合は、不要なテンプレートを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES▶削除したいテンプレートを選択▶◉▶YES

お知らせ

- お買い上げ時に保存されているテンプレート（P.457参照）は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  i Menu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- テンプレートにデコレーションが1つもない場合やFOMA端末外への出力が禁止されている画像が挿入されていた場合は、保存できません。
- テンプレートにファイルが添付されている場合は、添付ファイルは削除されます。
- ダウンロードしたテンプレートのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
  日付が設定されていない場合は「templateXX」となります。（XX：01～45）
- 1件あたり20Kバイトまでのテンプレートを保存できます。

取得完了画面の機能メニュー

1 **取得完了画面▶(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
画面メモ保存	画面メモを保存します。（P.204参照）

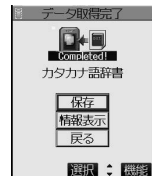
<辞書ダウンロード>

サイトから辞書をダウンロードする

サイトから辞書をダウンロードします。5件まで保存できます。

1 **辞書ダウンロード可能なサイトを表示▶辞書を選択▶◉**

2 **保存▶YES**

- 「情報表示」を選択すると、辞書の情報が表示されます。（P.443参照）

<取得完了画面>

3 **<未登録>**

- すでに登録済みの項目を選択した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ダウンロードした辞書の操作方法についてはP.443参照。

お知らせ

- 辞書データは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  i Menu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 1件あたり10Kバイトまでの辞書を保存できます。
- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。

取得完了画面の機能メニュー

1 取得完了画面▶（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
画面メモ保存	画面メモを保存します。（P.204参照）

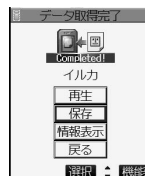
<キャラ電ダウンロード>

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからキャラ電をダウンロードします。お買い上げ時のものを含めて10件まで保存できます。

1 キャラ電ダウンロード可能なサイトを表示▶キャラ電を選択▶◉

2 保存▶YES

- 「再生」を選択するとキャラ電が再生されます。
- 「情報表示」を選択するとキャラ電の情報が表示されます。（P.350参照）

<取得完了画面>

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているキャラ電（P.349参照）は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  i Menu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 1件あたり100Kバイトまでのキャラ電を保存できます。

取得完了画面の機能メニュー

1 取得完了画面▶（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
画面メモ保存	画面メモを保存します。（P.204参照）

■保存されているデータがいっぱいのときは

データを保存するときに、すでに最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES▶削除したいデータにチェック▶✉（完了）▶YES

- ◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。データによっては🔘（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
- 画像の場合、「ピクチャ表示設定」が「ピクチャ一覧」に設定されていると、一覧には画像で表示されます。削除したい画像を選択し、◉を押すと「☑」が付きます。
- ディスプレイの左下に「完了」が表示されるまでチェックを付けます。

お知らせ

- 本操作は以下のデータを保存するときに行います。
  ・画面メモ　・画像　・ｉモーション　・メロディ　・キャラ電

反転した情報を使っていろいろな操作をする

サイトのページやメールなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など）を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したり、デジタルテレビの起動や視聴予約を登録できます。

- **パソコンなどから送信されたメールでは、Web To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To、Media To 機能が使用できない場合があります。**

Phone To／AV Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、音声電話発信、テレビ電話発信します。

- テレビ電話でのPhone To 機能のことをAV Phone To 機能と呼びます。

1 電話番号などの情報を選択▶◉▶発信方法を選択▶◉

- 「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。
- 電話番号の前に「tel:」または「tel-av:」があった場合などは、発信方法の選択肢が表示されないことがあります。手順2へ進みます。

2 発信

- 国際電話をかける場合は「国際電話発信」を選択します。（P.60参照）
- 発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。（P.51手順2参照）

お知らせ

- サイトによっては、Phone To／AV Phone To 機能を利用できない場合があります。
- メールの送信元や宛先が電話番号のときもPhone To／AV Phone To 機能が利用できます。
- お話の途中で（マルチ）を1秒以上押すと、元の画面に戻ってｉモードなどの操作を続けることができます。
- 電話番号を表す数字列以外の反転表示された情報を使ってPhone To／AV Phone To 機能を利用できる場合もあります。

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ります。

1 メールアドレスなどの情報を選択▶◉

宛先にはメールアドレスがすでに入力されています。
P.235手順3へ進みます。

お知らせ

- サイトによっては、Mail To 機能を利用できない場合があります。
- メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。
- 反転表示されている表示に複数のメールアドレスが指定されている場合は、複数の宛先が入力されたメールを作成できます。（P.233「メール同報送信」参照）
- メールアドレス以外の反転表示された情報を使ってMail To 機能を利用できる場合もあります。

Web To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報を使って、インターネットホームページに接続します。

1 URLなどの情報を選択▶◉

- 接続するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択します。
- ページを取得中に中止する場合は✉（中止）または(ｸﾘｱ)を押します。

お知らせ

- サイトによっては、Web To 機能を利用できない場合があります。
- URLの表示はサイトにより異なります。
- URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To 機能を利用できる場合もあります。

ｉアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL（リンク）からｉアプリを起動します。

1 ｉアプリの情報を選択▶◉▶YES

ｉアプリが起動します。

お知らせ

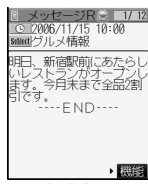
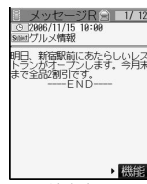
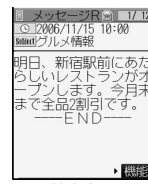
- 「ｉアプリ To 設定」でチェックを外していると、貼り付けられたデータを利用してのｉアプリ起動は不可となります。
- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- ｉモードメール本文に、ｉアプリを起動させるリンクがある場合、返信や転送をするとｉアプリを起動させるリンクは引用できません。また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時もｉアプリを起動させるリンクは引用できません。
- 起動させるｉアプリがない場合は、ソフトがない旨の確認画面が表示されます。この場合、ダウンロードする必要があります。
- ｉアプリ To 機能でサイトからすぐに起動するソフトには、保存できないものもあります。

Media To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている情報（リンク）からデジタルテレビを起動したり、デジタルテレビの視聴予約を行います。

1 デジタルテレビの情報を選択▶◉▶YES

デジタルテレビやデジタルテレビの視聴予約が起動します。

- 視聴予約機能が起動したときは✉（完了）を押して視聴予約する番組を登録します。
  登録前に内容を変更する場合はP.322手順2参照。

お知らせ

- 他の機能が動作中はデジタルテレビを起動できません。
- 視聴予約の情報にはチャンネルや番組名の情報が含まれている場合があります。

詳細機能を設定する

ｉモードやメッセージR/Fの設定をします。

1 メニュー▶▶ｉモード設定▶以下の操作を行う

項目	内容
スクロール設定 お買い上げ時 1行スクロール	サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文を表示している画面で〇を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶行数を選択▶●
文字サイズ設定 お買い上げ時 標準表示	サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文に表示される文字サイズを設定します。 ▶文字サイズを選択▶● メッセージRの場合 標準表示　縮小表示　拡大表示
画像表示設定 お買い上げ時 表示する	サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどに含まれる画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。 ▶表示する・表示しない ●サイト表示中は、ｉ（機能）を押して「画像表示設定」を選択します。
ｉモーション設定	ｉモーションの設定を行います。（P.227参照）
メッセージ自動表示設定	メッセージR/Fの自動表示のしかたを設定します。（P.216参照）
開封時メロディ再生設定	メッセージR/F開封時にメロディを自動再生するかどうかを設定します。（P.216参照）
登録データ利用設定 お買い上げ時 利用する	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報を利用するかどうかを設定します。 ▶利用する・利用しない
ホームURL設定	ホームURLを設定します。（P.200参照）
効果音設定 お買い上げ時 効果音ON	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶効果音ON・効果音OFF ●サイト表示中や画面メモ詳細画面表示中は、ｉ（機能）を押して「効果音設定」を選択します。
ｉモード設定確認	ｉモード設定の各項目の設定状況を確認します。 ●確認が終わればクリアを押します。
ラストURL初期化	最後に見たサイトのURLを初期化（ｉMenuのURLに）します。（P.198参照）
ｉモード設定リセット	「ｉモード設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目については「機能一覧表」を参照してください。（P.446参照） ▶端末暗証番号を入力▶●▶YES

お知らせ

<スクロール設定>

●P.197「証明書表示」時は、1行スクロールで表示されます。

次ページにつづく

お知らせ

＜画像表示設定＞
- 「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「 」が表示されます。
- 「表示しない」に設定すると、「 」で表示され、データの受信を行いません。

＜登録データ利用設定＞
- 利用できる情報は以下のとおりです。
  - ・「時計設定」で設定された日付時刻
  - ・「着信音量」の「電話」で設定された音量
  - ・電波の受信レベル
  - ・「バイリンガル」で設定された言語
  - ・電池残量
  - ・FOMA端末の機種や製造番号

＜効果音設定＞
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

＜接続待ち時間設定＞
接続待ち時間を設定する

お買い上げ時	60秒間

サイトを取得するまでしばらく時間がかかることがあります。取得を中止するまでの時間を設定します。「無制限」に設定すると、自動的には中止しません。

1 メニュー▶▶**アプリケーション通信設定▶接続待ち時間設定▶待ち時間を選択▶●**

お知らせ

- 「無制限」に設定していても、電波状況などにより切断される場合があります。

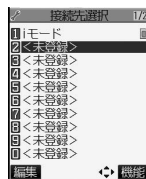
＜接続先選択＞ メニュー 8 1
ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）

お買い上げ時	ｉモード

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。登録した接続先に変更したときはｉモードを利用できなくなります。

1 メニュー▶設定▶**アプリケーション通信設定▶接続先選択▶＜未登録＞を選択▶✉（編集）▶端末暗証番号を入力▶●**

- 変更する場合は、設定済みの接続先を選択します。

＜接続先選択画面＞

2 **以下の操作を行う**

項目	内容
接続先名称	▶**接続先名称を入力▶●** ●全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶**接続先番号を入力▶●** ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶**接続先アドレスを入力▶●** ●半角英数字で30文字まで入力できます。

3 ✉(完了)を押す

お知らせ

- 他の機能が動作中は、操作できません。
- 接続先をｉモード以外に設定した場合、パケ・ホーダイは適用されません。

接続先選択画面の機能メニュー

1 接続先選択画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
編集	▶端末暗証番号を入力▶◉ P.214手順2へ進みます。
削除	▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

<メッセージR/F受信>

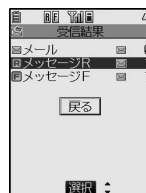
メッセージR/Fを自動的に受信する

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
受信したメッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。
ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fを受信するには「ｉモード問い合わせ」を行います。

1 メッセージR/Fを受信すると「R(白色)」または「F(白色)」のアイコンが点滅し、「メッセージR受信中・・・」または「メッセージF受信中・・・」と表示される

受信結果
メール 0
メッセージR 1
メッセージF 1
戻る
選択

受信が終わると、受信したメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。
- 何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。(「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)
  ビューアスタイルで受信したときは、Ⓥを押すかスタイルを変更しても元の画面に戻ります。

■FOMA端末を閉じているときは
プライベートウィンドウに表示されます。

お知らせ

- 新しいメッセージR/Fが届いたときは、ｉモードメールセンターに保管されているメッセージR/Fやｉモードメールもあわせて受信します。
- 待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）中、オールロック中、PIMロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。
- メッセージR/Fを受信したときに、すでに最大保存件数までメッセージR/Fが保存されていた場合、未読または保護されているメッセージR/F以外で一番古い日時に受信したメッセージR/Fから順に削除して受信します。
- FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「R(黒色)」または「F(黒色)」が表示されます。未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。
- 「R(白色)」または「F(白色)」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除したあとに、「ｉモード問い合わせ」を行ってください。
- 「R(黒色)」または「F(黒色)」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージR/Fがいっぱいです。「ｉモード問い合わせ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの最大保管期間は3日間（72時間）です。ただし最大保管件数（メッセージR 300件、メッセージF 300件）を超えたときは、ｉモードセンターに保管されている各メッセージの最も古いものから削除され、最新のメッセージR/Fが保管されます。
- 自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは、メッセージR/F一覧画面では既読となります。
- 音声電話中、または「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて待受画面以外を表示中にメッセージR/Fを受信したときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、音声電話中、カメラ起動中を除いて、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- ｉモーションの再生中にメッセージR/Fを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

メッセージ自動表示設定

お買い上げ時	メッセージR優先

待受中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 メニュー▶iモード▶**ｉモード設定▶メッセージ自動表示設定▶自動表示の方法を選択▶**◉

お知らせ

- ビューアスタイルでメッセージR/Fを受信した場合は、本機能の設定に関わらず自動表示しません。

開封時メロディ再生設定

お買い上げ時	自動再生する

受信したメッセージR/F開封時に、貼り付けまたは添付されているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 メニュー▶iモード▶**ｉモード設定▶開封時メロディ再生設定▶自動再生する・自動再生しない**

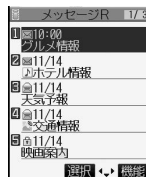
<メッセージR/F表示>

受信したメッセージR/Fを見る

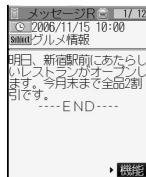
FOMA端末が通話圏内にあるときには、ｉモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。
メッセージR/Fが届くと画面の上部に「R(白色)」や「F(白色)」が表示されます。

1 メニュー▶iモード▶**メッセージ▶メッセージR・メッセージF**

2 表示したいメッセージR/Fを選択▶◉

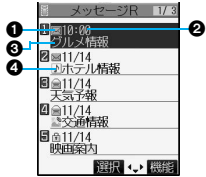
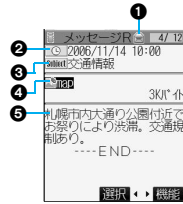
●未読のメッセージR/Fを選択した場合は「✉」が「✉」に変わります。

<メッセージR/F一覧画面>

●◎で他のメッセージR/Fを確認できます。

●メッセージR/Fの本文が長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。
また、▲や▼を押すと画面単位でスクロールします。

<メッセージR/F詳細画面>

お知らせ

●メッセージR/Fに「OK」や「Cancel」などが表示されることがあります。表示された場合は、サイトなどと同様の操作を行ってください。

■メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面

<メッセージR/F一覧画面>

<メッセージR/F詳細画面>

❶メッセージR/Fの状態

保護設定すると「🔒」が表示されます。

アイコン	説明
✉ ✉🔒	未読のメッセージR/F
📨 🔒	既読のメッセージR/F

❷受信した時刻や日付

一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。

詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸題名

❹添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<メッセージR/F一覧画面またはメッセージR/F詳細画面の場合>

アイコン	説明
♪	正常なメロディデータ
♪✕／♪✕	一部／すべてのメロディデータが不正（一覧画面のみ）
🖼	正常な画像データ
🖼✕／🖼✕	一部／すべての画像データが不正（一覧画面のみ）
📄	複数のデータ

❺本文

お知らせ

- FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合は、時刻や日付が「--:--」、「--/--」で表示されます。

メッセージR/F一覧画面の機能メニュー

1 **メッセージR/F一覧画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う**

<メッセージR/F一覧画面>

機能メニュー	内容
全表示	ソート機能やフィルタ機能を行ったあと、すべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。
ソート	表示されるメッセージR/Fの順番を変更します。 ▶**順番を選択**▶(◉)
フィルタ	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。 ▶**種類を選択**▶(◉)
保護／保護解除	メッセージR/Fを上書き・削除されないように保護します。 最大50件（メッセージRとメッセージFそれぞれ）まで保護できます。 保護すると「 」や「 」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保護全解除	保護をすべて解除します。 ▶YES
保存件数確認	FOMA端末に保存されているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。 ●確認が終われば(クリア)を押します。
削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいメッセージR/Fにチェック**▶(✉)(完了)▶YES ●(◉)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(i)(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
既読削除	既に読んだメッセージR/Fを削除します。 ▶YES
全削除	メッセージR/Fをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶(◉)▶YES

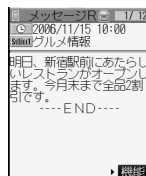
お知らせ

<ソート>
- フィルタ機能とソート機能を併用できます。
- ソート機能でメッセージR/F一覧を表示させたあとその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を実行しても戻ります。

<フィルタ>
- フィルタ機能でメッセージR/F一覧を表示させたあとその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を実行しても戻ります。
- 「画像表示設定」が「表示しない」に設定されている場合、「画像のみ」は選択できません。

<保護／保護解除>
- FOMA端末に保存されているメッセージR/Fが最大保存件数を超えた場合、保護されていない既読のメッセージR/Fから古い順に上書きされます。

メッセージR/F詳細画面の機能メニュー

1 **メッセージR/F詳細画面▶i(機能) ▶以下の操作を行う**

<メッセージR/F詳細画面>

機能メニュー	内容
電話帳登録	電話帳に登録します。（P.100参照）
メロディ保存	添付または貼り付けられたメロディを保存して、着信音に設定します。 ▶YES P.207手順2へ進みます。 ●複数のメロディが添付されているときは、◎で登録するメロディを選択してから操作してください。 ●保存されているメロディがいっぱいのときはP.211参照。
画像保存	添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶YES P.206手順2へ進みます。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
画像再読み込み	メッセージR/Fの本文中で画像の代わりに「 」が表示されているときに、画像の再読み込みを行い、画像を表示できます。
保護／保護解除	保護／保護解除します。（P.219参照）
削除	▶YES

お知らせ

<メロディ保存>
- 添付されているメロディを反転表示させて◉を押すと、指定したメロディを再生できます。
- 通話中はメロディの再生ができません。
- メロディ保存時には、ファイル名ではなくタイトルが登録されます。メロディにタイトルが設定されていない場合は、ファイル名が登録されます。
- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

<画像再読み込み>
- 再読み込みを行っても画像を表示できないことがあります。

<SSL証明書操作>

SSL証明書を操作する

1 メニュー▶設定▶**アプリケーション通信設定▶証明書▶証明書を選択▶**(機能)**▶以下の操作を行う**

項目	内容
証明書表示	証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を表示します。 ●(機能)を押すかわりにを押しても証明書を確認できます。 ●で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終わればクリアを押します。
有効／無効設定 お買い上げ時 すべて有効	無効に設定され、「」が「」になります。 ●すでに無効に設定されている証明書を選択して実行した場合は、有効に設定されます。 ●無効に設定すると、そのSSL証明書を持っているサイトは表示できなくなります。 ●「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

■SSL通信で使用する証明書について

証明書. . . . . 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書. . . . . FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。

ユーザ証明書. . . . . ｉモードメニューから「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色）内に保存されます。

<ユーザ証明書操作>

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
FOMAカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がFOMAカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、FirstPassセンターに更新申請を行い、そのユーザ証明書をダウンロードできます。

- **FirstPassセンターへユーザ証明書の発行を要求し、ダウンロードができます。**
- **青色のFOMAカードではご利用になれません。**
- **FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。**
- **FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。**
- **FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。**

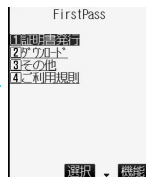
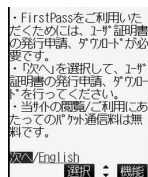
■クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
- クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには添付のCD-ROMのFirstPass PCソフトが必要です。
  詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。
  「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）
  詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターのサイトから行います。
FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

1 メニュー▶iモード▶**ユーザ証明書操作▶次へ**

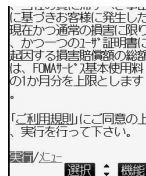
<FirstPassセンターのサイト画面>

お知らせ

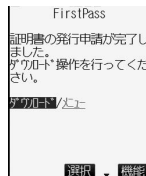
- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

ユーザ証明書の発行を申請し、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 **FirstPassセンターのサイト画面▶証明書発行▶実行**

- 更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。
- すでにユーザ証明書の発行を申請済みの場合は、FirstPassセンターのサイト画面で「ダウンロード」を選択すると手順3の画面が表示されます。手順3へ進みます。

2 **PIN2コードを入力▶**◉

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。正しく入力されると、発行申請完了の画面が表示されます。
- PIN2コードについてはP.141参照。

3 **ダウンロード▶実行**

- すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は、「メニュー」を選択します。SSLページを終了するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、「FirstPassセンターのサイト画面」に戻ります。

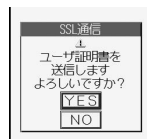
お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

1 **FirstPass対応サイトを表示▶項目を選択▶◉**

2 **YES**

3 **PIN2コードを入力▶◉**

●PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。正しく入力されると、認証中の画面が表示され、続いてサイトの画面が表示されます。
●PIN2コードについてはP.141参照。

お知らせ

●ダウンロードしたユーザ証明書を使用してFirstPass対応サイトに接続するにはPIN2コードの入力が必要です。
●ユーザ証明書がない状態や、ユーザ証明書の有効期限が切れている状態でFirstPass対応サイトに接続しようとした場合、継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると元のページに戻りますので、FirstPassセンターのサイトでユーザ証明書をダウンロード／更新してから再度接続してください。
●FirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。

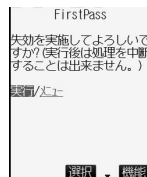
ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 **FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES**

2 **PIN2コードを入力▶◉**

●PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。正しく入力されると、失効申請確認の画面が表示されます。
●PIN2コードについてはP.141参照。

3 **実行▶次へ▶実行**

お知らせ

●失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトが表示できなくなります。
●失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
●ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合は、P.221参照。

<証明書センター接続設定>

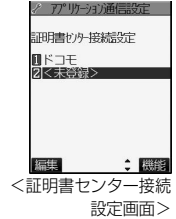
証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時	ドコモ

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 メニュー▶設定▶アプリケーション通信設定▶証明書センター接続設定▶<未登録>を選択▶✉(編集)

●登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。

<証明書センター接続設定画面>

2 端末暗証番号を入力▶◉▶以下の操作を行う

項目	内容
初期画面URL	▶初期画面URLを入力▶◉ ●半角英数字で100文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力▶◉ ●半角英数字で99文字まで入力できます。

3 ✉(完了)を押す

証明書センター接続設定画面の機能メニュー

1 証明書センター接続設定画面▶i(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
編集	P.224手順2へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
削除	▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

FirstPassのご使用にあたって

●FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
●ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
●ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものと見なされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
●FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
●FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
●FirstPass及びSSLのご利用にあたり、ドコモ及び認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用下さい。

ｉモーションとは

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータで、ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込みます。また、ｉモーションを着信音に設定することもできます。
ｉモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したｉモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
スタンダード（標準）タイプ（保存可※）	データ取得後の再生（最大500Kバイトまで）	ｉモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中の再生（最大500Kバイトまで）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、「データ取得後の再生」と同様に再生できます。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データ取得中の再生（最大2Mバイトまで）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存したりできません。

※ｉモーションによっては、保存できないものもあります。

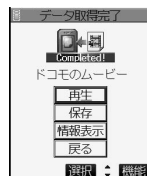
＜ｉモーション取得＞

サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得して再生する

1　ｉモーション取得可能なサイトでｉモーションを選択▶◉▶再生

再生中の操作についてはP.341参照。

- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、取得したあと自動的にｉモーションが再生されます。
- 取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます。

＜取得完了画面＞

お知らせ

- タイトルが付いていないｉモーションは取得完了画面で「無題」と表示されます。
- 接続するサイトやｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- スタンダード（標準）タイプの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合、「ｉモーションタイプ設定」を「標準・ストリーミングタイプ」にする必要があります。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得したあとに自動再生はされません。
- 再生回数・再生期間・再生期限に制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションは再生できません。再生制限を確認するにはP.343参照。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できない場合があります。
- 回線速度・回線状況・電波環境により、データ取得を中断した場合や、最大サイズを超えてデータを取得した場合、「再生」、「保存」、「情報表示」のいずれかが表示可能であれば、データ取得できなかった旨の確認画面表示後、取得完了画面が表示されます。
- 回線速度・回線状況・電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。スタンダードタイプのｉモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。
- ASF形式のｉモーションは取得できません。

i モーションを保存する

取得した i モーションをFOMA端末に保存します。最大100件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

1 **取得完了画面▶保存▶YES**

- 保存されている i モーションがいっぱいのときはP.211参照。

2 **保存したいフォルダを選択▶◉**

お知らせ

- タイトルが付いていない i モーションは一覧で「movie」と表示されます。
- i モーションによっては取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- サイトなどから取得した i モーションを待受画面に設定できます。(P.122参照)
  i モーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- 待受画面に設定した i モーションからWeb To 機能、Mail To 機能、Phone To／AV Phone To 機能は利用できません。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、miniSDメモリーカード(P.354参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.471参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

情報を表示する

取得した i モーションの情報を表示します。(P.343参照)

1 **取得完了画面▶情報表示**

- ◎で画面をスクロールして確認できます。
- 確認が終わればクリアを押します。

テロップ中にリンクが設定されていたとき

テロップが設定されている i モーションの場合、再生中にテロップが表示されます。
テロップに下線が付いている電話番号やメールアドレス、サイトのURLなどが設定されていたときは、再生終了時・停止中にPhone To／AV Phone To 機能やMail To 機能、Web To 機能、電話帳登録を実行できます。
<例>テロップ中のURLに接続する場合

1 **再生終了時▶YES**

- リンクによって別の機能を起動する前に i モーションが保存可能でまだ保存されていない場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

取得完了画面の機能メニュー

1 取得完了画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
画面メモ保存	画面メモを保存します。（P.204参照）

ｉモーションの取得方法を設定する

1 (メニュー)▶(iモード)▶ｉモード設定▶ｉモーション設定▶以下の操作を行う

項目	内容
自動再生設定 お買い上げ時 自動再生する	サイトからスタンダード（標準）タイプのｉモーションを取得した場合や、スタンダード（標準）タイプのｉモーションが登録されている画面メモを選択した場合に、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。 **▶自動再生する・自動再生しない**
ｉモーションタイプ設定 お買い上げ時 標準タイプ	ｉモーションを取得するときに、スタンダード（標準）タイプのｉモーションのみを取得するか、ストリーミングタイプのｉモーションも取得するかを設定します。 ｉモーションの種類についてはP.225参照。 **▶取得するｉモーションのタイプを選択▶(●)** ●サイト表示中は、(i)(機能)を押して「ｉモーションタイプ設定」を選択します。

お知らせ

＜自動再生設定＞

●「自動再生しない」に設定すると、サイトからスタンダード（標準）タイプのｉモーションを取得したあとやスタンダード（標準）タイプのｉモーションが登録されている画面メモを選択した場合に、自動再生は行わず取得完了画面が表示されます。

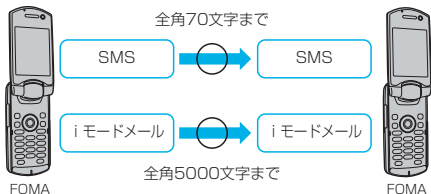
●「自動再生しない」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されますので、ご注意ください。

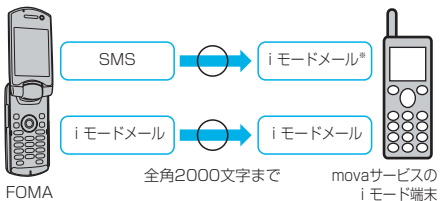
メール

FOMA端末のメール機能について

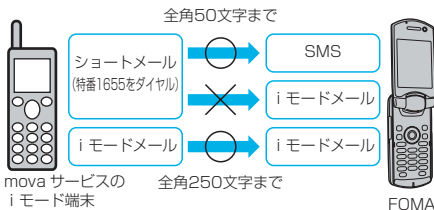
FOMA端末はｉモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。

メールの送受信について

FOMA端末→FOMA端末へ

FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ

FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。

※SMS送達通知設定（P.296参照）を「要求する」に設定している場合は送れません。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ

movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末のSMSで受信できます。

※ショートメールとは、ドコモの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
・FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。

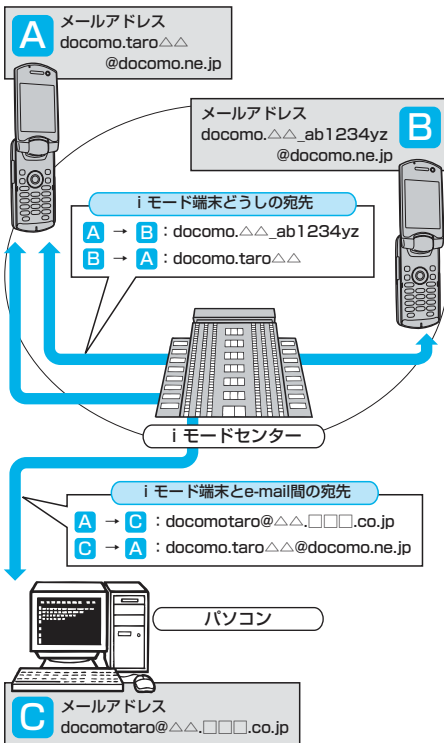
ｉモードメールの送信、受信方法についてはP.235、P.251を参照してください。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

■新規にｉモードをご契約の場合
●「@」マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスを確認してください。

（例）abc1234~789xyz@docomo.ne.jp

〈お客様のメールアドレスの確認方法〉
ｉMenu→8料金&お申込・設定→3メール設定→アドレス確認

●ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、「@」マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
●パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

メール選択受信
iモードセンターに保管されているiモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除したりできます。(P.254参照)

■メール設定を行う
下記の各種設定を行えます。
<設定方法>
i Menu→8料金&お申込・設定→3メール設定→【各設定】
- 詳細はiモードご契約時にお渡しいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。

メールアドレス変更【メールアドレス設定(アドレス変更)】
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分をお好みのアドレスに変更できます。

メールアドレス確認【メールアドレス設定(アドレス確認)】
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

シークレットコード登録【メールアドレス設定(その他設定)→シークレットコード登録】
電話番号のアドレス利用時に、電話番号に加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないiモードメールは受信されなくなるため、不要なiモードメールの受信を避けられます。

メールアドレスリセット【メールアドレス設定(その他設定)→アドレスリセット】
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

迷惑メール対策
以下のいずれかの方法でメールの受信/拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

①受信/拒否設定【メール受信設定(迷惑メール対策)→受信/拒否設定】
・ドコモ、au、ボーダフォン、ツーカー、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。
そして、インターネットから携帯電話・PHSドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

②SMS拒否【メール受信設定(迷惑メール対策)→SMS拒否設定】
・受信するSMSを制限でき、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS拒否と国際SMS拒否」の4つの中から選択いただけます。また、設定の状況を確認したりできます。

③iモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定(その他設定)→iモードメール大量送信者からのメール受信制限】
・1日に1台のiモード端末(mova端末含む)から送信される200通目以降のiモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④未承諾広告※メール拒否【メール受信設定(その他設定)→未承諾広告※メール拒否】
・受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要がありません。
(送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています。)

メールサイズ制限【メール受信設定(メールサイズ制限)】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するiモードメールを制限できます。

設定状況確認【メール受信設定(設定状況確認)】
現在設定されているメール受信/拒否などの設定状況を確認できます。

メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用しない場合、iモードセンターでのメール機能停止を行えます。メール機能停止設定後、「メール機能再開」もできます。ただし、メール機能を再開した直後のメールアドレスは「電話番号@docomo.ne.jp」となります。

■送受信できる文字数
iモードメールで送受信できる文字数は、次のとおりです。

項目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
題名	15	30
宛先	—	50
本文	5000※	10000※

※メロディ、画像、iモーションなどのファイルを添付した場合や本文をデコレーションした場合は、送受信可能な本文文字数は少なくなります。

お知らせ

- iモードメールの本文は全角5000文字(10000バイト)まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。iモードメールで対応していない添付ファイルの送受信はできません。iモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。このとき本文の先頭に[添付ファイル削除]の文字が追加されます。([添付ファイル削除]も含めて、受信可能な文字数まで受信できます。)
- iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- mova端末へiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角2000文字までです。また、iショット・iモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- iモードメールの題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 他の携帯電話会社(au/ボーダフォン/ツーカー)に絵文字入りのiモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
※送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
※送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「=」に変換されます。

■iモードメールを受信できないとき
iモードセンターに届いたiモードメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただし、お客様のiモード端末の電源が入っていない場合や圏外などで受信できないときは、iモードメールはiモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送されます。また、メール選択受信設定により、iモードセンターでiモードメールを選択して受信することもできます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件（約2メガバイトまで）	720時間

- 保管期間が超過したｉモードメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数はｉモードメールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではｉモードメールを受信せず送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には「■（黒色）」（センター保管件数が満杯になったマーク）が表示されます。なお、メール選択受信設定が「ON」のときは、保管件数を超えても「■（黒色）」（センター保管件数が満杯になったマーク）は表示されません。
- ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、P.255「ｉモード問い合わせ」やP.254「メール選択受信」により受信できます。また新しいｉモードメールが届いたときは、保管されている他のｉモードメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。
- ｉモード端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。受信したｉモードメールはｉモード端末に保存されます。（P.251参照）
- メール機能を停止している場合は、ｉモードセンターで新しいメールの保管は行いません。
- 極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

■こんなこともできます

ファイル添付メール

・メロディ添付メール（送信P.246参照、受信P.257参照）

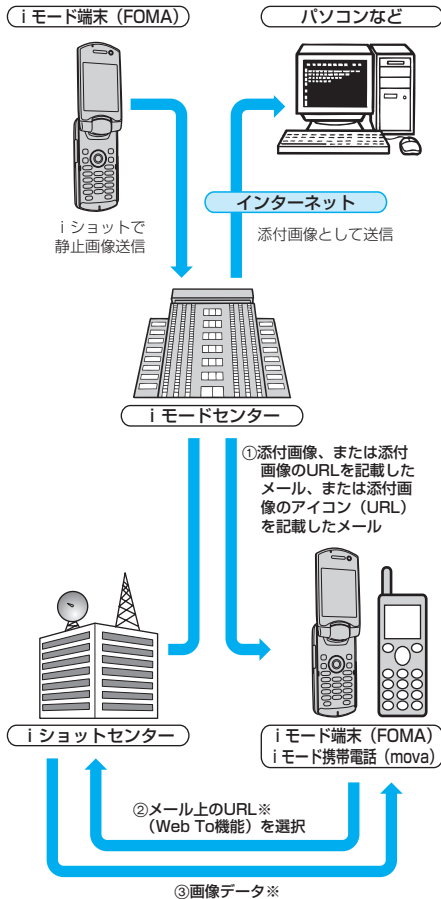
サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません。）

- 送受信した相手がFOMA P901iTV以外の場合は、メロディが正しく再生できない場合があります。

・画像添付メール（送信P.246参照、受信P.258参照）

サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをｉモードメールに添付できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。）

ｉショット（送信P.246参照、受信P.258参照）

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてｉモード端末（mova端末含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

※添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
- ｉモード端末が送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

デコメール
ｉモードメールの本文を入力・編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。）デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選ぶことにより、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法についてはP.241を参照してください。
- デコメール送信方法についてはP.240を参照してください。
- 対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- デコメール閲覧用URLの記載されたメールを転送しても、転送先で閲覧できません。また、そのURLを他の端末で直接入力してもデコメールは閲覧できません。

メール同報送信
同じｉモードメールを一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。（P.237参照）
5件の宛先をメールメンバーに登録できます。（P.280参照）

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）

Cc、Bcc送受信
パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。（P.237参照）

チャットメール
複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- 通信料は相手が複数の場合、メール同報送信したときと同じです。

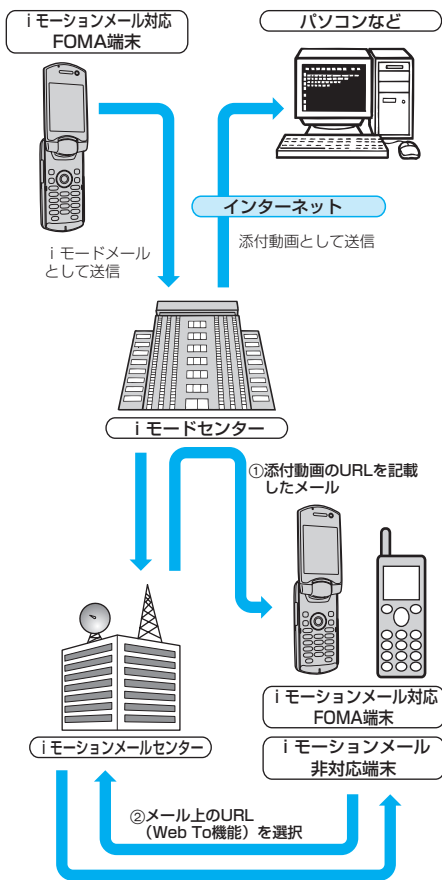
ｉアプリ貼付メール（受信P.212参照）
受信したｉモードメールに貼り付けられているURL（リンク）からｉアプリを起動できます。

ｉモーションメールについて

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。）

- **ｉモーションメールの送信方法については、P.246を参照してください。**
- **ｉモーションメールの受信方法については、P.259を参照してください。**

■サービスのしくみ
ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選ぶことにより、動画を取得できます。

- ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選ぶことにより、連続静止画を取得します。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像が保管され、保管期間経過後自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

お知らせ

- ｉモーションメールをパソコンなどに送信すると添付ファイルとして届きます。
- ｉモーションメールでは、撮影した動画などを本文を除き最大500Kバイトまで添付して送信できます。最大サイズを超えたｉモーションは添付できません。
- ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。
- ｉモーションをパソコンなどで再生するにはP.471参照。

SMS（ショートメッセージ）について

ｉモードを契約しなくても、SMSの送受信ができます。
SMSの送信、受信方法についてはP.292、P.294を参照してください。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

- FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードに保存できます。（P.380参照）

■SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

■送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は、次のとおりです。

宛先	21文字（「+」を含む）	
SMS本文入力設定	日本語入力（70文字）	半角英数入力（160文字）

■SMSを受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、センターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。保管期間は「SMS有効期間設定」で設定できます。（P.296参照）
- 保管期間が経過したSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、P.295「SMS問い合わせ」により受信できます。
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。（P.294参照）

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して送信します。
デコメールを作成するにはP.240を参照してください。

1 (メニュー)▶ (メール)▶**新規メール作成**

＜メール作成画面＞

- 保存BOXに保存メールが20件あると、ｉモードメールを作成できません。
  保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 待受画面で(✉)(✉)を押しても「メールメニュー」が表示されます。

2 宛先欄（ To ）を選択▶◉▶宛先を入力▶◉

- 半角50文字まで入力できます。
- 宛先を電話帳や履歴、メールメンバーから呼び出す場合はP.236参照。
- 送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
- 複数の宛先に送信する場合はP.237参照。
- 追加した宛先を削除する場合はP.237参照。

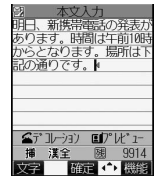
3 題名欄（ Subject ）を選択▶◉▶題名を入力▶◉

- 全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。

4 本文欄（ 📄 ）を選択▶◉▶本文を入力▶◉

＜メール本文入力画面＞

- 全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。
- 冒頭文／署名を貼り付けるときはP.238参照。
- 入力した本文をすべて削除する場合はP.238参照。
- ファイルを添付する場合はP.246参照。

5 ✉(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。
- 送信を途中で中止する場合は(クリア)を1秒以上押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

6 OK

次ページにつづく

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモード端末どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- 送信を行わずに(クリア)または(PWR HLD)を押すと、内容を破棄して編集を終了するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとそれまで入力した文字は消去されます。
- 電話番号入力中などの機能メニューから「ｉモードメール作成」を選択した場合、電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されているとメールアドレスが宛先に入力されます。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが入力されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- 宛先に「,（カンマ）」が入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。ただし、Toを設定せずにｉモードメールを送信することはできません。
- 入力した宛先がシークレットコードを設定して電話帳に登録されている場合、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは電話帳にシークレットコードを登録していても、シークレットコードは追加されず、通常のｉモードメールとして送信されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 本文編集中に改行できます。改行は全角1文字としてカウントされます。
- スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。

宛先参照入力・アドレス参照入力・メンバー参照入力

電話番号やメールアドレスを電話帳や送受信アドレス一覧などから呼び出して入力できます。以下の画面の機能メニューから操作します。

- メール作成画面（P.235参照）
- SMS作成画面（P.292参照）
- メールメンバーアドレス一覧画面・メールメンバーアドレス確認画面（P.281参照）
- チャットメンバー一覧画面（P.288参照）
- メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面（P.290参照）
- 対局番号一覧画面（P.92参照）
- 許可番号一覧画面（P.144参照）

1 **電話番号などを呼び出したい画面▶(機能)▶宛先参照入力・アドレス参照入力・メンバー参照入力▶呼び出したい機能を選択▶◉**

2 電話帳の場合

電話帳を呼び出す▶電話番号またはメールアドレスを表示▶◉

送信アドレス一覧・受信アドレス一覧・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の場合

電話番号またはメールアドレスを選択▶◉▶◉

メールメンバーの場合

メールメンバーを選択▶◉

お知らせ

- すでに電話番号やメールアドレスなどが入力されていた場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

メール作成画面の機能メニュー

1 **メール作成画面▶i(機能)▶以下の操作を行う**

＜メール作成画面＞

機能メニュー	内容
送信	メールを送信します。 P.235手順6へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認します。 確認が終われば◎を押します。 ●✉(送信)を押すとメールを送信できます。i(機能)を押して「送信」を選択しても送信できます。 ●i(機能)を押して「保存」を選択するとメールを保存できます。
保存	作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。 ●宛先、題名、本文のすべてが未入力で、添付ファイルもない場合は保存できません。
宛先参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧、メールメンバーから電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。(P.236参照)
宛先追加	宛先を追加します。宛先を追加すると、同じ内容のｉモードメールを一度に複数の相手に送信できます。同時に送信できる宛先は5件までです。 **電話帳 . . . . P.236手順2へ進みます。** **送信アドレス一覧. . . . . P.236手順2へ進みます。** **受信アドレス一覧. . . . . P.236手順2へ進みます。** **直接入力 . . . . メールアドレスや電話番号を入力し、◎を押します。**
宛先削除	宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。 ▶YES
宛先タイプ変更	**To. . . . . 通常の宛先です。宛先は受信側に表示されます。※** **Cc. . . . . 直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。※** **Bcc. . . . . 他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。** ※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。
テンプレート **(テンプレート読込み)**	テンプレートを読み込んでデコメールを作成します。 **▶テンプレート読込み** ●すでに本文が入力されている場合やファイルが添付されている場合は、本文または添付ファイルを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。 **▶テンプレートを選択▶◎** テンプレートの内容が本文に入力されます。 ●テンプレート選択中に✉(デモ)を押すとテンプレートの内容を確認できます。 ●デコメールの作成についてはP.240参照。 ●お買い上げ時に登録されているテンプレートについてはP.457参照。
テンプレート **(テンプレート保存)**	作成中のデコメールをテンプレートとして保存します。 **▶テンプレート保存▶YES** ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.208参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.244参照。
添付ファイル追加	添付ファイルを追加します。(P.246参照)
カメラ起動	画像やｉモーションを撮影して添付します。 **▶撮影モードを選択▶◎** ●撮影方法についてはP.160、P.167参照。

次ページにつづく

機能メニュー	内容
添付ファイル削除	添付ファイルを削除します。(P.247参照)
添付ファイル全削除	添付ファイルをすべて削除します。(P.247参照)
冒頭文貼付	冒頭文をｉモードメールの本文の先頭に貼り付けます。 ●あらかじめ冒頭文を登録しておく必要があります。(P.284参照)
署名貼付	署名をｉモードメールの本文の最後に貼り付けます。 ●あらかじめ署名を登録しておく必要があります。(P.284参照)
本文消去	本文に入力されている文章や挿入された画像をすべて削除します。宛先や題名、添付ファイルなどは削除されません。 ▶YES
メール削除	▶YES 編集中のｉモードメールが削除されます。

お知らせ

<宛先追加>
- 「To」、「Cc」、「Bcc」合わせてすでに宛先が5件入力されているときや、宛先が1件も入力されていない場合は、宛先を追加できません。
- 同じ宛先を複数入力して送信しようとすると、重複しているアドレスを削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

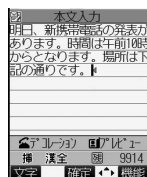
<宛先タイプ変更>
- 宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。

<テンプレート（テンプレート保存）>
- 本文にデコレーションがないｉモードメールはテンプレート保存できません。
- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分)
  日付時刻が設定されていない場合は「templateXX」となります。(XX：01〜45)

<カメラ起動>
- フォトモードで設定できる画像サイズは「待受（240×320）」と「Sub-QCIF（128×96）」です。
- 撮影した画像によりｉモードメールに添付できない場合があります。

<冒頭文貼付><署名貼付>
- 「冒頭文／署名設定」で「自動貼付」にチェックが付いていれば、ｉモードメール作成時に自動的に冒頭文や署名が貼り付けられます。
- 冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字、半角10000文字を超える場合は、貼り付けできません。
- 本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名も合わせてデコレーションされます。

メール本文入力画面の機能メニュー

1 **メール本文入力画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

<メール本文入力画面>

機能メニュー	内容
デコレーション	パレットを表示します。(P.241参照)
デコレーション全解除	すべてのデコレーションを解除します。 ▶YES ●挿入した画像がある場合は、「インライン画像を削除しました」と表示されます。◎を押すとメール本文入力画面に戻ります。 ●パレットからは「デコレーション全解除」を実行できません。

機能メニュー	内容
絵文字記号連続入力	絵文字、記号を入力します。(P.440参照)
大文字切替・小文字切替	大文字、小文字を切り替えます。
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。(P.440参照)
コピー	文字をコピーします。(P.442参照)
切り取り	文字を切り取ります。(P.442参照)
貼り付け	切り取り・コピーした文字を貼り付けます。(P.442参照)
定型文入力	定型文を入力します。(P.440参照)
スペース入力	スペースを入力します。(P.440参照)
改行入力	改行を入力します。(P.440参照)
記号入力	記号を入力します。(P.440参照)
絵文字入力	絵文字を入力します。(P.440参照)
電話帳引用	電話帳を引用します。(P.440参照)
個人データ引用	個人データを引用します。(P.440参照)
JUMP	カーソルをJUMPさせます。(P.441参照)
プロパティ	デコメールで挿入した画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ●あらかじめカーソルを画像の直前に移動しておく必要があります。 ●確認が終われば◎を押します。
元に戻す	文字の入力や削除、貼り付け、デコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。
全画面／参照切替	参照返信時に、メール本文入力画面を全画面に表示するか、受信メール詳細画面を画面下に表示するかを切り替えます。
ウィンドウ切替	参照返信時に、メール本文入力画面の操作と受信メール詳細画面の操作を切り替えます。
プレビュー	送信する前に本文の内容を確認します。 ●メール本文入力画面で ⓘカメラ を押してもプレビューを表示できます。 ●確認が終われば ⓘ（閉）を押します。

お知らせ

<デコレーション全解除>

●デコレーションを設定したときに自動的に挿入された改行は削除されません。

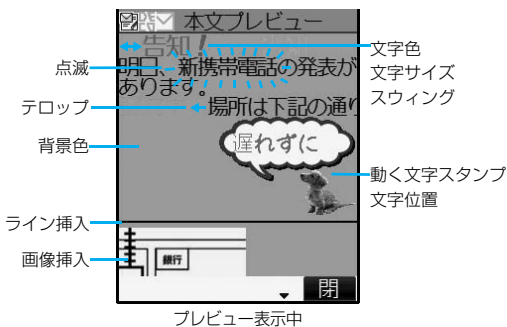
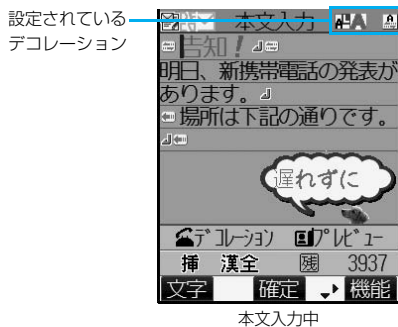
●「デコレーション全解除」で解除したデコレーションは「元に戻す」で戻せます。

<元に戻す>

●「元に戻す」でひとつ前の状態に戻したあと、「元に戻す」の取り消しはできません。

●メール本文入力画面を終了すると、再度メール本文入力画面を表示しても「元に戻す」でひとつ前の状態には戻せません。(「プレビュー」でプレビューを表示後の場合は戻せます。)

デコメールを作成して送信する

iモードメールの本文を入力・編集時に、デコレーションにより文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入して自分のオリジナルメールを作成して送信できます。
また、テンプレート（ひな形）を使用して作成できます。（P.244参照）

1 P.235手順1～手順3の操作を行う

2 本文欄（）を選択▶◉

3 パレットを使って本文をデコレーションする

●パレットの使い方についてはP.241参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

▶デコレーションのアイコンを選択▶本文を入力

●各デコレーションの詳しい操作についてはP.242参照。

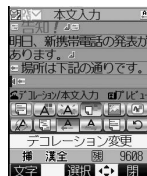
本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶▶

P.242「デコレーション変更」へ進みます。

●全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。
（デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。）
●メール本文をデコレーションすると、「」が表示されます。
●を押すと、本文のプレビューを表示できます。
もう一度を押すか、（）またはを押すとプレビューを終了して元の画面に戻ります。

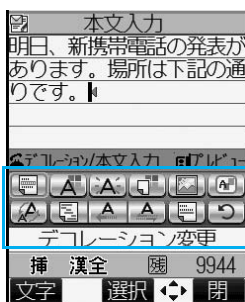
4 ◉を押す

メール作成画面が表示されます。
P.235手順5へ進みます。

お知らせ

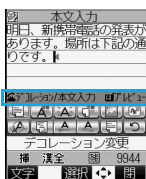
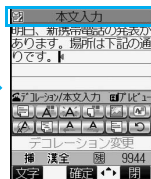
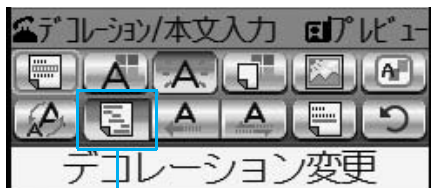
- デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、クリアを1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- 受信したデコメールを引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただしメール送信できない画像が含まれている場合は画像が削除されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。
- パソコンなどの、デコメール対応ｉモード端末以外とデコメール送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- テロップ・スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

デコレーションについて

■パレットの使い方

パレットを使って、ｉモードメールの本文をデコレーションします。
1箇所に複数のデコレーションを設定できます。
- 文字位置・テロップ・スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。
- ライン挿入は文字色で指定している色で挿入されます。
- 画像挿入と動く文字スタンプ作成は文字位置で指定している位置で挿入されます。

メール本文入力画面でを押すとパレットが表示されます。
- 機能メニューから「デコレーション」を選択してもパレットを表示できます。
- （閉）を押すと、パレットを閉じます。パレット操作中にクリアを押しても、パレットを閉じます。
- パレットのアイコンについてはP.242の操作手順を参照してください。

操作を切り替える

を押すごとに、パレットの操作と本文入力の操作を切り替えることができます。パレットを表示したままカーソルを移動させたり、本文を入力したりできます。

- 文字を入力後は「本文入力操作」になります。
  続けてパレットを操作する場合は、を押してから操作します。

アイコンの状態

- デコレーションを設定すると、設定されているデコレーションのアイコンが押された状態で表示されます。
  押された状態のアイコンを選択してを押すとデコレーションを変更または終了、解除できます。
  範囲選択中はクリアを押しても範囲選択を解除できます。
- グレーで表示されているアイコンは選択できません。

次ページにつづく

■デコレーションの操作方法

機能	内容
(デコレーション変更)	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加したり、点滅、テロップ、スウィングを解除できます。 **を選択▶◉▶始点を選択▶◉** ●(全選択)を押して「YES」を選択すると全文を選択できます。 **▶終点を選択▶◉** ●範囲選択中は画面の右上に「選択/SELECT」が表示されます。 **<デコレーションを設定、変更、追加する>** **▶アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加** ●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、続けて他のアイコンを選択します。 **▶を選択▶◉** ●点滅、テロップ、スウィングを設定した場合は、再度それぞれのアイコンを選択して各デコレーションを終了します。 **<点滅、テロップ、スウィングを解除する>** **▶点滅、テロップ、スウィングのアイコンを選択▶◉▶再度同じアイコンを選択▶◉**
(文字色)	入力する文字の色、ラインの色を変更します。 **を選択▶◉▶色を選択▶◉▶文字を入力** ●文字色を変更中は画面の右上に「」が表示されます。 ●他のデコレーションも設定する場合、続けて他のデコレーションを設定します。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(点滅)	入力する文字を点滅表示させます。 **を選択▶◉▶文字を入力** 文字が点滅表示されます。 ●点滅を設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●他のデコレーションも設定する場合、続けて他のデコレーションを設定します。 **▶▶(点滅終了)を選択▶◉**
(背景色)	メール本文の背景色を変更します。 **を選択▶◉▶色を選択▶◉**
(画像挿入/マイピクチャ)	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。 **を選択▶◉▶を選択▶◉▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶◉** 自動的に改行が入力され、画像が挿入されます。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、クリアを押します。 ●お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャについてはP.456参照。
(画像挿入/カメラ)	その場でカメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。 **を選択▶◉▶を選択▶◉▶静止画を撮影** 自動的に改行が入力され、画像が挿入されます。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、クリアを押します。 ●撮影方法についてはP.160手順3～手順5参照。
(動く文字スタンプ作成)	入力する文字をスタンプにして本文に挿入します。スタンプはアニメーションになり様々な動きをして相手に気持ちを伝えてくれます。 **を選択▶◉▶動く文字スタンプを選択▶◉▶文字を入力▶◉** 自動的に改行が入力され、画像が挿入されます。 ●動く文字スタンプを削除するには、動く文字スタンプにカーソルをあて、クリアを押します。 ●お買い上げ時に登録されている動く文字スタンプについてはP.455参照。
(文字サイズ)	入力する文字のサイズを変更します。 **を選択▶◉▶サイズを選択▶◉▶文字を入力** ●文字サイズを変更中は画面の右上に「」「」が表示されます。 ●他のデコレーションも設定する場合、続けて他のデコレーションを設定します。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。

機能	内容
(文字位置)	入力する文字、挿入する画像の位置を変更します。 **を選択▶◎▶文字位置を選択▶◎▶文字を入力** 自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。 ●文字位置を設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●他のデコレーションも設定する場合、続けて他のデコレーションを設定します。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(テロップ)	入力する文字をテロップ表示（右から左へ流れる表示）させます。 **を選択▶◎▶文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「」が表示されます。 ●テロップを設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●他のデコレーションも設定する場合、続けて他のデコレーションを設定します。 **▶▶(テロップ終了) を選択▶◎** 自動的に改行が挿入されます。
(スウィング)	入力する文字をスウィング表示（左右を往復する表示）させます。 **を選択▶◎▶文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「」が表示されます。 ●スウィングを設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●他のデコレーションも設定する場合、続けて他のデコレーションを設定します。 **▶▶(スウィング終了) を選択▶◎** 自動的に改行が挿入されます。
(ライン挿入)	メール本文にライン（水平線）を挿入します。 **を選択▶◎** 自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。 ●ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、クリアを押します。
(元に戻す)	設定したデコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。 **を選択▶◎**

お知らせ

<デコレーション変更>

●範囲選択中は「背景色」「画像挿入」「動く文字スタンプ作成」「ライン挿入」を選択できません。

<文字色>

●別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。
●絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。

<背景色>

●デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先のURL文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

<画像挿入>

●メール本文と画像の合計が10000バイトまでとなるJPEGまたはGIF画像を10件まで挿入できます。
●挿入できる画像は10件までですが、操作によっては10件以下でもメモリ不足のため再編集する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、再度本文の編集を行ってください。
●同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。
●編集画面上で既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされコピー元と合わせて1件として扱われます。
●アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。
●カメラの画像サイズはSub-QCIF（128×96）です。
●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は挿入できません。

<動く文字スタンプ作成>

●動く文字スタンプはアニメーションGIF画像として挿入されます。
●メール本文と動く文字スタンプの合計が10000バイトまで挿入できます。

<文字サイズ>

●別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。

<元に戻す>

●範囲選択中に「元に戻す」を行うと範囲選択も解除されます。

テンプレートを利用してデコメールを作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションがすでに指定されているデコメール用のひな形データです。
お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたり（P.208参照）、送受信したデコメールや作成中のデコメールをテンプレートとしてメールメニューの「テンプレート」に保存したりできます。（P.237、P.272参照）保存したテンプレートはパレットで編集できます。

●お買い上げ時に保存されているテンプレート（P.457参照）は削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。（P.42参照）

1 メニュー▶メール▶**テンプレート**

＜テンプレート一覧画面＞

2 **テンプレートを選択▶◎**

●✉（✉）を押すと、テンプレートの内容でデコメールを作成します。P.235手順2へ進みます。

＜テンプレート詳細画面＞

テンプレート一覧画面の機能メニュー

1 **テンプレート一覧画面▶i（機能）▶以下の操作を行う**

＜テンプレート一覧画面＞

機能メニュー	内容
iモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.235手順2へ進みます。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択▶◎
タイトル編集	▶タイトルを入力▶◎ ●全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。
情報表示	テンプレートのファイルサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。
保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。

機能メニュー	内容
削除	▶YES
選択削除	▶削除したいテンプレートにチェック▶(完了)▶YES ●を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶▶YES

お知らせ

<ｉモードメール作成>
●「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

テンプレート詳細画面の機能メニュー

1 テンプレート詳細画面▶(機能)▶以下の操作を行う

<テンプレート詳細画面>

機能メニュー	内容
ｉモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.235手順2へ進みます。
編集	テンプレートの内容を編集して保存します。 ▶本文を編集▶ ●本文の編集方法についてはP.240手順3参照。 ▶ YES ....上書きして保存します。 NO ....別データとして保存します。 ●(機能)を押して「保存」を選択しても保存できます。 ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.208参照。
挿入画像保存	テンプレートに挿入された画像を保存します。(P.258参照)

お知らせ

<ｉモードメール作成>
●「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

<編集>
●別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分)
日付時刻が設定されていない場合は「templateXX」となります。(XX：01～45)
●編集後、デコレーションが1つもなくなった場合は保存できません。

<添付ファイル>
ファイルを添付する

iモードメールに画像やメロディを添付して送信します。また、動画／iモーションを添付して、iモーションメールとして送信できます。

■添付可能なファイルについて

ファイルの種類	メロディ	10000バイト以下の画像（JPEG、GIF）	10000バイトを超える画像（JPEG）	動画／iモーション
添付可能な最大件数	合計10件※1		どちらか1件※2	

※1 メロディと画像の合計と本文を合わせたデータ量が全角5000文字分（10000バイト）までで最大10件です。ファイルのデータ量によっては10件より少なくなる場合があります。

※2 最大500Kバイトまでの画像もしくは動画／iモーションのどちらか1件のみ添付できます。メロディ、10000バイト以下の画像とは別で1件として数えます。

- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- 自端末で撮影した静止画、動画や赤外線で受信したファイルは、「ファイル制限」の設定に関わらず、添付できます。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像もしくはiモーションを添付すると、本文に入力できる文字数が全角100文字分（半角200文字分）少なくなります。本文をデコレーションしている場合は、全角200文字分（半角400文字分）少なくなります。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像をiモード対応端末に送信した場合、iショットセンターで「iモード対応端末に適したサイズ」に変換されます。

1 メール作成画面▶(i)（機能）▶添付ファイル追加▶以下の操作を行う

項目	内容
メロディ添付	**▶フォルダを選択▶◉▶メロディを選択▶◉** P.235手順2へ進みます。 ●添付したメロディを選択して◉を押すと、メロディを再生できます。いずれかのボタンを押すと再生は停止します。
イメージ添付	**▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶◉** P.235手順2へ進みます。 ●選択した画像サイズがQVGA（320×240）サイズや待受／メインLCD壁紙（240×320）サイズより大きいときは、添付するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。 ●添付した画像を選択して◉を押すと、画像を表示できます。もう一度◉を押すと元の画面に戻ります。
iモーション添付	**▶フォルダを選択▶◉▶iモーションを選択▶◉** P.235手順2へ進みます。 ●添付したiモーションを選択して◉を押すと、iモーションを再生できます。再生中にクリアを押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

<メロディ添付>
- 受信側がFOMA P901iTV以外の場合は、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。
- 添付されたメロディはmovaサービスのiモード端末では受信できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

お知らせ

<イメージ添付>
- 500Kバイトを超える画像は添付できません。P.332「ｉモードメール作成」やP.332「メール用サイズ変更」を行うと500Kバイト以下に変更して添付できます。
- ｉモードメールからの画像表示とピクチャビューアからの画像表示は異なる場合があります。画像を正しく表示するには、画像を端末内に保存したあとピクチャビューアで表示する必要があります。
- 自端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末およびパソコンや他社携帯電話へ送信できます。ただし、movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのｉモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）です。（受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合。）複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
- GIF画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- 受信側の機種によっては、画像が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

<ｉモーション添付>
- ファイルサイズが500Kバイトより大きいときは、メールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、ｉモーションの先頭から約490Kバイトまでを切り出します。
- ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。
- miniSDメモリーカードに保存されている動画は添付できません。動画をインポートしてください。（P.335参照）
- 受信側の端末によっては、動画が粗くなったり連続静止画に変換されて表示される場合があります。

添付ファイル削除

選択している添付ファイルを削除します。

1 **メール作成画面▶(i)(機能)▶添付ファイル削除▶YES**

添付ファイル全削除

1 **メール作成画面▶(i)(機能)▶添付ファイル全削除▶YES**

<えチャット>

えチャットを使う

音声電話中の相手に静止画を送ります。静止画はｉモードメールの添付ファイルとして送信され、通話中に画像を見ることができます。
えチャットを利用するには、あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを同じ電話帳に登録しておく必要があります。
相手側の機種によっては、通話中に画像を見られない場合があります。

静止画を撮影して送信する

音声電話中に撮影した静止画を送信します。

1 **音声電話中▶(i)(機能)▶えチャット撮影／送信▶フォトモード**

カメラが起動します。

次ページにつづく

2 ◉を押す

＜撮影画面＞

静止画が撮影されます。
- 撮影画面で[PWR HLD ☎]を押すと通話画面に戻ります。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。手順4へ進みます。

3 ◉▶フォルダを選択▶◉

- 中止する場合は[クリア]を押します。

＜ポストビュー画面＞

4 メールアドレスを選択▶◉

静止画が送信されます。送信後、「OK」を選択して通話画面に戻ります。
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択し、◉を押します。

お知らせ
- カメラの画像サイズは、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）です。

静止画を選択して送信する

保存されている静止画を送信します。

1 音声電話中▶[i]（機能）▶えチャット撮影／送信▶マイピクチャ

2 フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶◉

- QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）のファイルのみ選択できます。

3 メールアドレスを選択▶◉

静止画が送信されます。送信後、「OK」を選択して通話画面に戻ります。
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択し、◉を押します。

音声電話中の機能メニュー

1 音声電話中▶[i]（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
えチャット撮影／送信	えチャットを送信します。(P.247参照)
えチャット表示	えチャットメールを受信していた場合、静止画を表示します。 ●「えチャット表示設定」を「自動表示する」に設定していると、自動で静止画が表示されます。 ●複数のえチャットを受信したときは、◯で静止画を切り替えることができます。
ｉモード問い合わせ	音声電話中に「ｉモード問い合わせ」を行います。(P.255参照)

■「えチャット表示設定」および「受信表示設定」によるえチャット受信時の画面表示について

通話中

えチャット表示設定 受信表示設定	自動表示する	自動表示しない
操作優先	えチャット表示	変更なし
通知優先	えチャット表示	変更なし

えチャット表示中

えチャット表示設定 受信表示設定	自動表示する	自動表示しない
操作優先	変更なし※	変更なし※
通知優先	変更なし※	変更なし※

※ で静止画を切り替えることができます。

撮影画面の機能メニュー

1 **撮影画面▶ （機能）▶以下の操作を行う**

<撮影画面>

機能メニュー	内容
インカメラ・アウトカメラ	インカメラとアウトカメラを切り替えます。（P.173参照）
カメラモード切替	この機能は選択できません。
画像サイズ設定	画像サイズを設定します。（P.173参照）
撮影間隔／枚数	この機能は選択できません。
画質調整	画質を調整します。（P.174参照）
自動保存設定	自動的に保存するかどうかを設定します。（P.174参照）
記録媒体設定	この機能は選択できません。
シャッター音選択	シャッター音を選択します。（P.174参照）
セルフタイマー設定	セルフタイマーを設定します。（P.177参照）
フレーム選択	フレームを選択します。（P.175参照）
ファイル制限	ファイル制限を設定します。（P.176参照）
表示サイズ設定	静止画の表示方法を設定します。（P.175参照）
保存容量確認	保存容量を確認します。（P.175参照）

ポストビュー画面の機能メニュー

1 **ポストビュー画面▶（i）（機能）▶以下の操作を行う**

<ポストビュー画面>

機能メニュー	内容
保存＆メール送信	撮影した静止画を保存してから送信します。 ▶**フォルダを選択**▶◉ P.248手順4へ進みます。
ピクチャ貼付	撮影した静止画を「ピクチャ貼付」設定してから送信します。（P.165参照）
ファイル制限	撮影した静止画を「ファイル制限」設定します。（P.176参照）
取り消し	えチャット送信を中止します。 ▶YES

お知らせ

- 次の場合、えチャットは利用できません。
  - ・通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
  - ・通話中の相手の電話番号とメールアドレスがシークレットデータとして電話帳に登録されているとき
  - ・相手から発信者番号が通知されていないとき
  - ・指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
  - ・保存BOXがいっぱいのとき（送信できません。）
  - ・受信BOXが未読または保護されているメールでいっぱいのとき（受信できません。）
  - ・10000バイトを超えるJPEG形式の画像が添付されたｉモードメールの受信中
  - ・キャッチホン中のとき
- 画像によってはえチャット送信できない場合があります。
- 送受信したえチャットは、題名が電話番号で本文のない画像添付メールとして送信BOX／受信BOXに保存されます。送信時に「中止」を選択した場合は保存BOXに保存されます。
- 「添付ファイル設定」で「画像有効」のチェックを外していると、受信時に添付ファイルが削除されます。

iモードメールを自動的に受信する

FOMA端末が通話圏内にあるときには、自動的にiモードメール・SMS・SMS送達通知が送られてきます。（iモードメールを選択して受信するにはP.254参照。）
movaサービスのiモード端末から送られてくるiモードメールも、FOMA端末で受信できます。

1 iモードメールを受信すると「✉(白色)」のアイコンが点滅し、「メール受信中・・・」と表示される

受信が終わると、受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。
●「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。

<受信結果画面>

■何も操作しないで約15秒経過すると
元の画面に戻ります。（「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。）
ビューアスタイルで受信したときは、Ⓥを押すかスタイルを変更しても元の画面に戻ります。
●デスクトップに「✉メール」が表示されます。
◎を押して「✉メール」を選択し、◎を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。

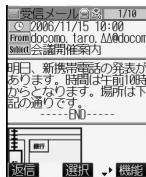
■FOMA端末を閉じているときは
プライベートウィンドウに表示されます。
▲を押すと受信したiモードメールの受信日時、送信元、題名が表示されます。（P.34参照）

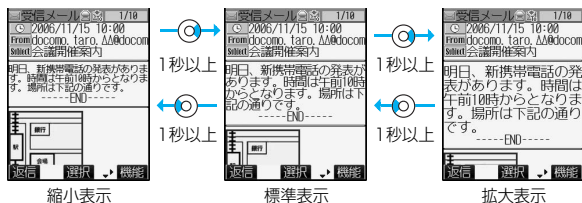
新着メールあり

お知らせ

- 受信メールの最大保存件数を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読または保護されている受信メールは上書きされません。
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「✉(黒色)」が表示されます。iモードメールを受信できるようにするには、「✉(黒色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「iモード問い合わせ」を行ってください。
- iモードメールを選択受信するように設定すると、送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されます。（画面上部に「▯」が表示されます。）センターに保管されているiモードメールのタイトルなどを確認してから選択して受信できます。（P.254参照）
- 新しいiモードメールが届いたときは、iモードセンターに保管されている他のiモードメールやメッセージR/Fも合わせて受信します。
- iモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはiモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- 極端に容量の大きいiモードメールは、iモードセンターで受け付けずに、エラーメッセージとともに送信者へ返信されることがあります。
- FOMA端末がiモードメールを受信すると、iモードセンターに保管されていたiモードメールは削除されます。
- あらかじめ受信する添付ファイルの種類を制限できます。（P.283参照）
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。
- 音声電話中、または「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて待受画面以外を表示中にiモードメールを受信したときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、音声電話中、カメラ起動中を除いて、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- iモーションの再生中にiモードメールを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。
- FOMA端末で、movaサービスのiモード端末からのiショットを受信したときは、添付ファイルとして受信されます。

新着ｉモードメールを表示する

1 **受信結果画面▶メール▶表示したいｉモードメールを選択▶◉**

■ｉモードメール表示切替機能

ｉモードメールの詳細画面（本文）を表示しているとき、表示する文字の大きさを変更できます。

お知らせ

- 詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときには、再度、縮小表示や拡大表示になります。
- 上記の操作により表示を切り替えたときには、「文字サイズ設定」の設定も変更されます。

お知らせ

- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。また、画像サイズが横240ドットを超えている場合は、縦横比を保ったまま横240ドットまで縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- パソコンなどから送信されたメールでは、Web To、Phone To／AV Phone To、Mail To 機能が使用できない場合があります。

＜キラリメール＞

キラリメールを受信したときは

キラリメールとは、メール本文中のキラリメール対応絵文字に合わせて着信／充電ランプが光る機能です。メール受信時、メールの詳細画面表示時、メール作成中のプレビュー表示時に着信／充電ランプが光ります。

●メール受信時

・ｉモードメール、SMSに関わらず、対応絵文字が含まれていれば光ります。
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに対して光ります。
・通常の着信／充電ランプが点滅したあと光ります。
・公共モード（ドライブモード）中、通話中に受信した場合は光りません。

●メールの詳細画面表示時

・メロディが添付または貼り付けられている場合は、メロディ再生後に光ります。
・詳細画面以外に移ったときは、点灯や点滅は中断されます。
・メール連動型ｉアプリでメールを表示した場合は光りません。

●メール作成中のプレビュー表示時

・「キラリメール設定」の設定に関わらず光ります。

■着信／充電ランプの点灯や点滅を確認するには

受信メール詳細画面、送信メール詳細画面、メール作成画面、送信プレビュー表示の画面でを押します。

●受信メール詳細画面、送信メール詳細画面、送信プレビュー表示の画面で（機能）を押して「キラリメール確認」を選択しても確認できます。
●「キラリメール設定」の設定に関わらず確認できます。
●メール作成画面で確認した場合は、いずれかのボタンを押すと点灯や点滅は停止します。

■キラリメール対応絵文字一覧

絵文字	ランプ色	光りかた	絵文字	ランプ色	光りかた	絵文字	ランプ色	光りかた	絵文字	ランプ色	光りかた
	白	A		赤	A		黄	C		青	C
	白	A		赤	A		黄	C		青	C
	白	A		赤	B		黄	C		青	C
	白	B		赤	C		緑	C		青	C
	白	C		赤	C		水色	A		ピンク	A
	白	C		赤	C		水色	C		ピンク	C
zzz	白	C		黄	A		水色	C		ピンク	C
	白	C		黄	C		水色	C		ピンク	C
	赤	A		黄	C		青	A		ピンク	C
	赤	A		黄	C		青	C		グラデーション	C

●光りかたA：約1秒間速く点滅します。
●光りかたB：約1秒間点灯します。
●光りかたC：約2秒間ゆっくり点滅します。
※絵文字は、ｉモード対応以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、　　　の絵文字は、対応していないｉモード対応携帯電話では正しく表示されません。
※ランプ色はイメージです。

お知らせ

●点灯中や点滅中に着信などがあった場合は中断されます。

キラリメール設定

お買い上げ時	すべてチェックあり

キラリメールを受信したり表示したときに、対応絵文字に合わせて着信／充電ランプが光るかどうかを設定します。

1 メニュー▶メール▶**メール設定▶キラリメール設定▶設定したい項目にチェック**

自動表示設定 . . . . キラリメールの詳細画面を表示したときに着信／充電ランプが光ります。
着信時設定 . . . . . . キラリメールを受信したときに着信／充電ランプが光ります。

- ◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

2 ✉（完了）

<メール選択受信>

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。
「▯」が表示された場合は、「メール選択受信」を行い、必要なメールを受信します。

1 メニュー▶メール▶**メール選択受信**

引き続き、「ｉモード操作ガイド」の手順に従って操作してください。

- 「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。◉を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。
- 「メニュー▶iモード▶ｉMenu▶メニューリスト▶メール選択受信」を実行してもメール選択受信画面が表示されます。

お知らせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「ｉモード問い合わせ」を利用するとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。（P.255参照）
- メール選択受信画面を表示した場合、「▯」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「▯」のアイコンは消灯します。

メール選択受信設定

お買い上げ時	OFF

ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 メニュー▶メール▶**メール設定▶メール選択受信設定▶ON・OFF**

お知らせ

- 「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、「▯」が表示されます。その際、メール着信音は鳴らずマナーモードやバイブレータを設定していても振動しません。受信するには、「メール選択受信」を行ってください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「ｉモード問い合わせ」を利用するとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。（P.255参照）
- SMSは選択して受信できません。

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

ｉモードセンターに届いたｉモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときまたはメール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードセンターに保管されます。
「(白色)」が表示された場合は、ｉモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。

1 (メニュー)▶メール・iモード▶ｉモード問い合わせ

ｉモードメールのアイコン「(白色)」とメッセージR/Fのアイコン「(白色)・(白色)」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、ｉモードメールやメッセージR/Fを受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。
- 待受画面で(メール)を1秒以上押しても問い合わせできます。
- 受信を途中で中止する場合は、(クリア)を1秒以上押します。ただしタイミングにより、受信されることがあります。

お知らせ
- 圏外のときは問い合わせできません。
- ｉモードを開始していない（「」消灯中）状態から問い合わせを行ったときは、ｉモードを開始してから問い合わせをしますので、問い合わせ終了後はｉモード待機中（「」点滅中）になります。
- 「(黒色)」「(黒色)・(黒色)」「(黒色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なｉモードメールやSMSやメッセージR/Fを削除するか、未読のｉモードメールやSMSやメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。（読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージR/Fは、古いものから順に自動的に上書きされます。）
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「(白色)」が表示されないことがあります。（FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など）
- 問い合わせをする項目を「ｉモード問い合わせ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

ｉモード問い合わせ設定

お買い上げ時	すべてチェックあり

「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目をｉモードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。

1 (メニュー)▶設定▶アプリケーション通信設定▶ｉモード問い合わせ設定▶問い合わせたい項目にチェック▶(メール)(完了)

- (決定)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

お知らせ
- メッセージRやメッセージFの配信を希望されない場合は、「□」にしてご利用ください。

受信したｉモードメールに返信する

返信・引用返信

ｉモードメールやSMSの送信元に返信します。「引用返信」では、受信ｉモードメールの本文を引用して返信できます。SMSは引用返信できません。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶(iモード)(機能)▶返信・引用返信

- 受信メール詳細画面表示中は、(メール)(返信)を押しても返信できます。
- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。

次ページにつづく

2 題名、本文を入力して送信する

ｉモードメールを選択していた場合はP.235手順3へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.292手順3へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

参照返信

画面上にメール本文入力画面、画面下に受信メール詳細画面が表示され、受信メールを参照しながら本文を入力できます。SMSは参照返信できません。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶(機能) ▶参照返信

- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。

2 本文を入力▶

- を押すごとにメール本文入力画面の操作と受信メール詳細画面の操作を切り替えることができます。(機能) を押して「ウィンドウ切替」を選択しても切り替わります。
- を1秒以上押すと、本文のプレビューを表示できます。(閉) または を押すとプレビューを終了して元の画面に戻ります。
- メール本文入力画面を全画面に表示するには、(機能) を押して「全画面／参照切替」を選択します。もう一度操作すると画面下に受信メール詳細画面が表示されます。

3 題名を入力して送信する

P.235手順3へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

お知らせ

- SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。
- 返信できない送信元（メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど）には「 」が表示されます。
- 保存BOXに保存メールが20件ある場合は返信できません。
- 返信または引用返信、参照返信するｉモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。（受信したｉモードメールの題名に「Re:」が付いているときは「Re2:」となります。「Re2:」～「Re98:」が付いているときは「Re3:」～「Re99:」となります。）
- 引用符（P.284参照）は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭にひとつだけ付きます。本文のすべての行には付きません。
- ｉモードメールの本文に引用符が追加されて、引用符と本文を合わせて全角文字で5000文字を超えると、文字数が超えていることを伝える表示がされます。その後、本文入力画面が表示され、規定文字数まで文字を削除する必要があります。
- 参照返信の際に画面下に表示される受信メール詳細画面は「本文表示設定」の設定に関わらず本文から表示されます。
- ファイルが添付されているｉモードメールを引用返信するときは、警告音が鳴り「添付ファイルが削除されます」と表示されます。 を押すとファイルが削除されメール返信画面が表示されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、返信をしても貼り付けデータは引用できません。
また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.263参照。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

<転送>

受信したｉモードメールを転送する

ｉモードメールやSMSを他の人に転送できます。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶(機能) ▶転送

2 宛先を入力して送信する

ｉモードメールを選択していた場合はP.235手順2へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.292手順2へ進みます。
送信すると「」が「」に変わります。

お知らせ

- SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。
- 保存BOXに保存メールが20件ある場合は、転送できません。
- 転送するｉモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。（受信したｉモードメールの題名に「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となります。「Fw2:」～「Fw98:」が付いているときは「Fw3:」～「Fw99:」となります。）
- 本文を追加、編集し直したり、題名を編集し直したりできます。受信したｉモードメールの本文、追加した文、冒頭文、署名、添付されているメロディや画像、本文に挿入した画像などを合わせて全角5000文字分まで、半角10000文字分まで転送できます。
- 転送するｉモードメールにFOMA端末外への出力が禁止されているメロディや画像などが添付（または本文に挿入）されているときは、メロディや画像などが削除される旨の警告画面が表示されます。
  ◉を押すとメロディや画像などが削除されメール転送画面が表示されます。
- 取得されていない画像があるｉモードメールを転送すると、画像の情報は削除されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。
  また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.263参照。

<メロディ再生><メロディ保存>

ｉモードメールからメロディを再生・保存する

メロディを再生する

添付または貼り付けられているメロディを再生できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付または貼り付けメロディを選択▶◉

お知らせ

- 通話中はメロディを再生できません。

メロディを保存する

添付または貼り付けられたメロディを保存して、着信音に設定します。
送信元がFOMA P901iTV以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付または貼り付けメロディを選択▶ⓘ(機能)▶データ保存▶YES

P.207手順2へ進みます。

- 複数のメロディが添付または貼り付けられているときは、登録するメロディをⓄで選択してから操作してください。
- 保存されているメロディがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

添付画像を表示・保存する

画像表示

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付画像を選択▶◉**

●◉を押すごとに、画像表示とファイル名表示が切り替わります。

■10000バイトを超えるJPEG形式の画像を受信したときは

10000バイトを超えるJPEG形式の画像が添付されたｉモードメールを受信すると、画像は自動的に取得され、「ｉモード」フォルダに保存されます。「📷画像あり」が表示されているときは、画像が自動的に取得できず、ｉショットセンターに保管されています。保管されている画像を取得し、「ｉモード」フォルダに保存します。

1.「📷画像あり」を選択▶◉

10000バイトを超えるJPEG形式の画像の取得が開始されます。取得が完了すると画像が保存され、受信メールの画面に戻ります。

●途中で中止する場合は、クリアを1秒以上押します。ただし、タイミングにより取得されることがあります

●取得したデータが正しくない場合は「 」が表示されます。

お知らせ

- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。ただし、大きすぎる画像は表示されない場合があります。
- デコメールの本文に挿入されている画像は自動的に表示されます。デコメールに添付された10000バイト未満の画像は自動的には表示されません。
- ｉモードメールからの画像表示とピクチャビューアからの画像表示は異なる場合があります。画像を正しく表示するには、「マイピクチャ」内の任意のフォルダに保存した画像をピクチャビューアで表示する必要があります。
- 本書では、説明のため画像表示ではなくファイル名表示で記載している画面があります。

データ保存

添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。

●10000バイトを超えるJPEG形式の画像はメール受信時にすでに保存されているため、この操作は不要です。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付画像を選択▶Ⓘ(機能)▶データ保存▶YES**

P.206手順2へ進みます。

●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

挿入画像保存

デコメールの本文やテンプレートに挿入された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。

1 **送信メール詳細画面・受信メール詳細画面・テンプレート詳細画面▶Ⓘ(機能)▶挿入画像保存▶画像を選択▶◉▶YES**

P.206手順2へ進みます。

●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

ｉモーション取得

受信したｉモーションメール中のURLを選択することにより、ｉモーションメールセンターに保管されているｉモーションを取得して保存します。

1 ⓜ▶▶**受信BOX▶フォルダを選択▶◉▶ｉモーションメールを選択▶◉**

2 **URLを選択▶◉▶YES**

ｉモーションの取得が開始されます。

- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、取得したあと自動的にｉモーションが再生されます。
- 取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます。

3 **保存▶YES**

P.226手順2へ進みます。

- 保存されているｉモーションがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

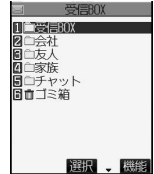
- ｉモーションのURLは引用返信や転送することができます。
- ｉモーションの取得・再生・保存の詳細についてP.225～P.227参照。

受信／送信／保存BOXのメールを表示する

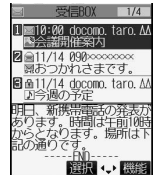
受信BOXのメールを表示する

受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで保存できます。
受信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 (メニュー)▶ (メール) ▶**受信BOX**▶**フォルダを選択**▶◉

●待受画面で✉(✉)を押しても「メールメニュー」が表示されます。

＜受信フォルダ一覧画面＞

2 **メールを選択**▶◉

●未読のメールを選択した場合は「✉」が「✉」に変わります。

＜受信メール一覧画面＞

＜受信メール詳細画面＞

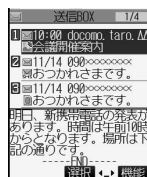
●◎で他のメールを確認できます。
●メールの本文が長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。
また、▼や▲を押すと画面単位でスクロールします。
●メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。（「開封時メロディ再生設定」で変更できます。）

送信BOXのメールを表示する

送信したｉモードメールやSMSは合わせて最大400件まで保存できます。
送信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 (メニュー)▶ ▶**送信BOX**▶**フォルダを選択**▶◉

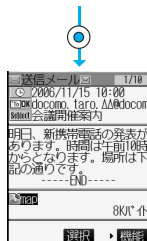
●待受画面で✉(✉)を押しても「メールメニュー」が表示されます。

＜送信フォルダ一覧画面＞

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

2 メールを選択▶◉

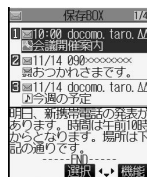
<送信メール一覧画面>

<送信メール詳細画面>

- ◎で他のメールを確認できます。
- メールの本文が長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。
  また、▼や▲を押すと画面単位でスクロールします。

保存BOXのメールを表示する

送信せずに保存してあるｉモードメールやSMSを編集して送信できます。
ｉモードメールとSMSを合わせて20件まで保存できます。

1 ▶保存BOX

- 待受画面で✉（✉）を押しても「メールメニュー」が表示されます。

<保存メール一覧画面>

2 メールを選択▶◉

ｉモードメールを選択していた場合はP.235手順2へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.292手順2へ進みます。

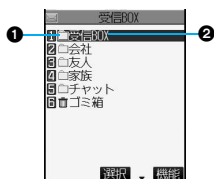
お知らせ

- メールセキュリティが設定されたフォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力し、◉を押します。ただし、メールメニュー内の受信BOXや送信BOXがメールセキュリティ設定（P.149参照）されている場合、受信フォルダ一覧画面や送信フォルダ一覧画面を表示するときに端末暗証番号の入力をするので、再度端末暗証番号を入力する必要はありません。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた

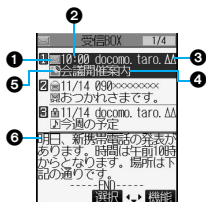
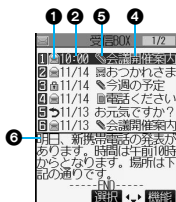
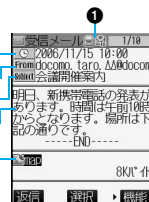
■受信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

未読のメールがあるときは「」、メールセキュリティを設定すると「」が表示されます。

アイコン	説明
	通常のフォルダ

アイコン	説明
	ｉアプリメール用フォルダ
	ゴミ箱フォルダ

❷フォルダ名

■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面

＜受信メール一覧画面＞
2行表示（本文あり）の場合

＜受信メール一覧画面＞
1行表示（本文あり）の場合

＜受信メール詳細画面＞

❶メールの状態やタイプ

保護設定すると「」が表示されます。

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール

アイコン	説明
	転送済みメール
	返信済みメール
	受信したメールのタイプ

❷受信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸送信元・同報先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。（P.267参照）

アイコン	説明
From	送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
	返信できない送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
	同報メールアドレス（詳細画面のみ）
	返信できない同報メールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

アイコン	説明
	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS

❺添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

＜受信メール一覧画面（2行表示の場合）と受信メール詳細画面＞

アイコン	説明
	正常なメロディデータ
／	一部／すべてのメロディデータが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み（一覧画面のみ）
	メロディデータが「添付ファイル削除」により削除済み（詳細画面のみ）
	正常な画像データ
／	一部／すべての画像データが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み（一覧画面のみ）
	画像データが「添付ファイル削除」により削除済み（詳細画面のみ）
	正常な10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み（一覧画面のみ）
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データが「添付ファイル削除」により削除済み（詳細画面のみ）
	取得前の10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ（一覧画面のみ）
	取得前の10000バイトを超えるJPEG形式の画像データが不正
	ｉアプリ起動情報（一覧画面のみ）
	ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	複数のデータ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

＜受信メール一覧画面（1行表示の場合）＞

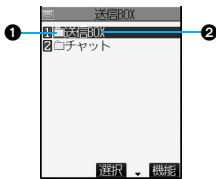
アイコン	説明
	正常なメロディデータ・画像データ
／	一部／すべてのメロディデータ・画像データが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み
	正常な10000バイトを超えるJPEG形式の画像を含むデータ
／	一部／すべての10000バイトを超えるJPEG形式の画像を含むデータが不正、または「添付ファイル削除」により削除済み
	ｉアプリメール
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文

「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、受信メール一覧画面に本文は表示されません。

アイコン	説明
	取得前の10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	ｉモーションのURLを記載

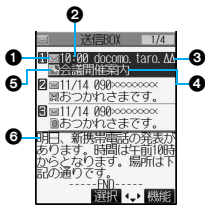
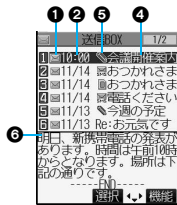
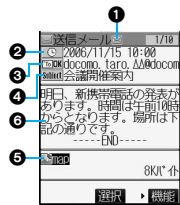
次ページにつづく

■送信フォルダー覧画面

❶フォルダの状態

メールセキュリティを設定すると「」が表示されます。

アイコン	説明
	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ

❷フォルダ名

■送信メール一覧画面と送信メール詳細画面

＜送信メール一覧画面＞
2行表示（本文あり）の場合

＜送信メール一覧画面＞
1行表示（本文あり）の場合

＜送信メール詳細画面＞

❶メールの状態

保護設定すると「」が表示されます。

アイコン	説明
	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール

アイコン	説明
	一部の宛先に送信できた同報メール
	すべての宛先に送信できなかった同報メール

❷送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。
詳細画面では、送信した日時が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。（P.267参照）

アイコン	説明
To OK Cc OK Bcc OK	送信に成功したメールアドレス （詳細画面のみ）

アイコン	説明
To × Cc × Bcc ×	送信に失敗したメールアドレス （詳細画面のみ）

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

アイコン	説明
SMS	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS送達通知受信済み（一覧画面（2行表示）と詳細画面のみ）

❺添付されているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<送信メール一覧画面（2行表示の場合）と送信メール詳細画面>

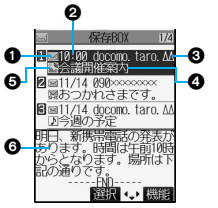
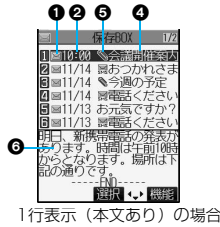
アイコン	説明
	メロディデータ
／	一部／すべてのメロディデータが「添付ファイル削除」により削除済み（一覧画面のみ）
	メロディデータが「添付ファイル削除」により削除済み（詳細画面のみ）
	画像データ
／	一部／すべての画像データが「添付ファイル削除」により削除済み（一覧画面のみ）
	画像データが「添付ファイル削除」により削除済み（詳細画面のみ）
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データが「添付ファイル削除」により削除済み（一覧画面のみ）
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データが「添付ファイル削除」により削除済み（詳細画面のみ）
	ｉモーションデータ
	ｉモーションデータが「添付ファイル削除」により削除済み（一覧画面のみ）
	ｉモーションデータが「添付ファイル削除」により削除済み（詳細画面のみ）
	ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

<送信メール一覧画面（1行表示の場合）>

アイコン	説明
	メロディデータ・画像データ
／	一部／すべてのメロディデータ・画像データが「添付ファイル削除」により削除済み
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像やｉモーションを含むデータ
／	一部／すべてのｉモーションや10000バイトを超えるJPEG形式の画像を含むデータが「添付ファイル削除」により削除済み
	ｉアプリメール
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文

「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、送信メール一覧画面に本文は表示されません。

■保存メール一覧画面

2行表示（本文あり）の場合

1行表示（本文あり）の場合

❶メールの状態

アイコン	説明
	通常のメール
	同報メール

❷保存した時刻や日付

メール一覧画面では、当日保存したメールは時刻が表示され、前日までに保存したメールは日付が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。（P.267参照）

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。

アイコン	説明
	SMSを示す

❺添付されているデータ

＜2行表示の場合＞

アイコン	説明
	メロディデータ
	画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像データ
	ｉモーションデータ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

＜1行表示の場合＞

アイコン	説明
	メロディデータや画像データ
	10000バイトを超えるJPEG形式の画像やｉモーションを含むデータ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文

「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、保存メール一覧画面に本文は表示されません。

お知らせ

- スキャン機能が「ON」に設定されている場合は、受信メールの一覧・詳細画面の表示に時間がかかる場合があります。
- 受信メール一覧画面（本文あり）表示時のスキャン実行において問題要素が検出された場合は、本文が表示されません。
- FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合は、送信メールや保存メールの時刻や日付が「--:--」、「--/--」で表示されます。
- 題名がないｉモードメールは、「無題」と表示されます。
- 画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像を選択し、◉を押すごとに画像表示とファイル名表示に切り替わります。本書では、説明のため画像表示ではなくファイル名表示で記載している画面があります。
- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、それに対応するメール連動型ｉアプリが起動します。

■受信メール（送信元）の名前表示

電話帳に登録している内容によって、受信メール（送信元）のメールアドレスが名前で表示されます。

電話帳登録内容	電話帳登録箇所	
	電話番号欄	メールアドレス欄
電話番号（0から始まる11桁以上の数字） 例：090XXXXXXXX	○	○
英数記号文字（@docomo.ne.jpを除いた文字） 例：abc1234～789xyz	－	×
電話番号@docomo.ne.jp 例：090XXXXXXXX@docomo.ne.jp	－	×※
英数記号文字@docomo.ne.jp 例：abc1234～789xyz@docomo.ne.jp	－	○
電話番号@△△.□□□.ne.jp（@以降がdocomo.ne.jp以外の場合） 例：090XXXXXXXX@△△.□□□.ne.jp	－	○
上記以外の一般メールアドレス	－	○

○：名前で表示されます。
×：名前で表示されません。
－：登録できません。
※電話番号のみ登録すると名前表示されます。

■送信メール（送信先）の名前表示

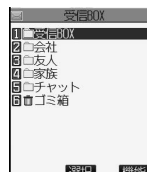
電話帳に登録している内容と、送信メール（送信先）のメールアドレスが一致した場合、名前で表示されます。

お知らせ

- 送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致した場合は、名前で表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると名前で表示されます。
  送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると、名前で表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると名前で表示されます。

メールを管理する

受信フォルダ一覧画面の機能メニュー

1 受信フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

<受信フォルダ一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。「受信BOX」フォルダ・「送信BOX」フォルダ・「チャット」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ・ｉアプリメール用フォルダ以外に22件までフォルダを追加できます。 **▶フォルダ名を入力▶◉** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
自動振分け設定	自動振分けを設定します。（P.278参照）
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。追加したフォルダのみ編集できます。 **▶フォルダ名を編集▶◉** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
メールセキュリティ	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 **▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES** フォルダが「 」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
フォルダ削除	フォルダを削除します。フォルダ内のメールもすべて削除されます。 **▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES** ●フォルダに「自動振分け設定」が設定されているときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
フォルダ並び替え	選択しているフォルダの順番を変更できます。追加したフォルダ、ｉアプリメール用フォルダのみ並べ替えできます。 **▶◎でフォルダの順番を変更▶◉**
保存件数確認	受信メール 全件. . . . . . . .全受信フォルダ内の総メール件数※ 未読. . . . . . . .全受信フォルダ内の未読メール件数※ 保護. . . . . . . .全受信フォルダ内の保護メール件数 送信メール 全件. . . . . . . .全送信フォルダ内の総メール件数※ 保護. . . . . . . .全送信フォルダ内の保護メール件数 FOMAカード（UIM） 受信. . . . . . . .FOMAカード内の受信SMS件数 送信. . . . . . . .FOMAカード内の送信SMS件数 ※FOMAカード内のSMS件数、各フォルダのメール件数を含みます。 ●確認が終わればクリアを押します。
フォルダ内表示	フォルダ内のメールを表示します。ｉアプリ用メールフォルダを「フォルダ内表示」すると、メール連動型ｉアプリを起動することなくフォルダ内のメールを表示できます。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.362参照）
既読メール全削除	全受信フォルダ内の既読メールをすべて削除します。FOMAカード内の既読SMSもすべて削除されます。 **▶YES**

機能メニュー	内容
受信メール全削除	全受信フォルダ内のメールをすべて削除します。FOMAカード内の受信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶◉▶**YES**

お知らせ

<フォルダ追加>
●メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、ｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。

<メールセキュリティ>
●メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

<フォルダ削除>
●フォルダ内のメールが保護されているときやメールセキュリティが設定されているときは、フォルダを削除できません。保護またはメールセキュリティを解除してから削除してください。
●対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダは削除できません。
ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。
●「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

受信メール一覧画面の機能メニュー

1 **受信メール一覧画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う**

<受信メール一覧画面>

機能メニュー	内容
返信	返信します。(P.255参照)
引用返信	引用して返信します。(P.255参照)
参照返信	受信メールを見ながら返信します。(P.256参照)
転送	転送します。(P.256参照)
フォルダ移動	▶**移動先のフォルダを選択**▶◉▶**移動したいメールにチェック**▶✉(完了)▶**YES** ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。ⓘ(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
メール検索 **(送信元検索※1)** **(宛先検索※2)**	送信元や宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 ▶**送信元検索※1・宛先検索※2** **電話帳 . . . . P.236手順2へ進みます。** **受信アドレス一覧. . . . . P.236手順2へ進みます。** **送信アドレス一覧. . . . . P.236手順2へ進みます。** **直接入力 . . . . メールアドレスや電話番号を入力し、◉を押します。** ●半角50文字まで入力できます。 ※1　受信メール一覧画面で表示されます。 ※2　送信メール一覧画面で表示されます。
メール検索 **(題名検索)**	題名からメールを検索します。 ▶**題名検索**▶**題名を入力**▶◉ ●全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。
全表示	メール検索・ソート機能・フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。

機能メニュー	内容
送信+受信メール	選択または表示中の送信元や宛先との送受信履歴を表示します。 ▶**送信元または宛先を選択**▶◉ 対象の送受信メールが表示されます。 ⇦ ....送信メール ⇨ ....受信メール ●履歴を選択して◉を押すと受信メール詳細画面または送信メール詳細画面を表示できます。クリアを押すと元の画面に戻ります。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**▶◉
フィルタ	条件に合うメールのみを表示します。 ▶**種類を選択**▶◉
一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかも選択できます。 ▶**表示する内容を選択**▶◉
全件既読	フォルダ内の未読メールを既読メールに変更します。 ▶YES
保護/保護解除	メールを上書き・削除されないように保護します。受信メールは最大500件、送信メールは最大200件（いずれもSMSとｉモードメールの合計で）まで保護できます。 保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保護全解除	▶YES
カラーラベル	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ▶**カラーを選択**▶◉
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.358参照）
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピー、移動します。（P.380参照）
メール情報	送信元のメールアドレスや電話番号、受信日時、題名を確認します。 ●確認が終わればクリアを押します。
保存件数確認	受信メール フォルダ内. . .フォルダ内の総メール件数※1 未読. . . . . . . .フォルダ内の未読メール件数※1 保護. . . . . . . .フォルダ内の保護メール件数 送信メール フォルダ内. . .フォルダ内の総メール件数※2 保護. . . . . . . .フォルダ内の保護メール件数 保存メール 全件. . . . . . . .保存BOX内の総メール件数 FOMAカード（UIM） 受信. . . . . . . .FOMAカード内の受信SMS件数 送信. . . . . . . .FOMAカード内の送信SMS件数 ※1 「受信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のSMS件数を含みます。 ※2 「送信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のSMS件数を含みます。 ●確認が終わればクリアを押します。
ゴミ箱へ捨てる	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き（消去）されます。 ▶**ゴミ箱に捨てたいメールにチェック**▶✉(完了)▶YES ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。i(機能)を押して「全選択/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいメールにチェック**▶✉(完了)▶YES ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。i(機能)を押して「全選択/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

機能メニュー	内容
既読削除	フォルダ内の既に読んだメールをすべて削除します。 ▶YES
SMS送達通知全削除	SMS送達通知をすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES
全削除	フォルダ内のメールをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES

お知らせ

＜フォルダ移動＞
- 「ゴミ箱」フォルダへは移動できません。
- FOMAカードに保存されているSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

＜メール検索＞＜ソート＞＜フィルタ＞
- メール検索・ソート・フィルタを併用できます。また、検索結果をさらに検索することや、フィルタを3回まで重ねて設定できます。
- 元に戻すには「全表示」を実行します。
- 一覧画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。
- メール検索の題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

＜送信＋受信メール＞
- 対象の送受信メールが保存されているフォルダにメールセキュリティが設定されている場合（P.268、P.273参照）やメールメニューの送信BOX・受信BOXにメールセキュリティ設定が設定されている場合（P.149参照）は、端末暗証番号の入力が必要になります。
- 送受信履歴は日付・時刻の新しい順に1000件まで表示されます。

＜一覧表示切替＞
- 受信メール一覧画面・送信メール一覧画面・保存メール一覧画面で[#]を押しても、「題名表示」、「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。

＜全件既読＞
- メール検索機能やフィルタ機能でメールを表示させたあとに「全件既読」を行うと、表示されているメールのみ既読メールになります。

＜保護／保護解除＞
- FOMA端末に保存されている受信メールや送信メール（いずれもSMSとｉモードメールの合計）が最大保存件数を超えた場合、保護されていない既読の受信メールや送信メールのうちから古い順に上書きされます。
- FOMAカードに保存したSMSは保護できません。
- 「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。

＜保護全解除＞
- メール検索機能やフィルタ機能でメールを表示させたあとに「保護全解除」を行うと、表示されているメールのみ保護が解除されます。

＜カラーラベル＞
- miniSDメモリーカードへエクスポートした場合や、FOMAカードへコピー・移動、FOMAカードからコピー・移動した場合は、カラーラベルは解除されます。
- FOMAカード内のSMSにカラーラベルを設定した場合、FOMAカードを抜き差しすると、カラーラベルは解除されます。

＜ゴミ箱へ捨てる＞
- 保護されたメール、FOMAカード内のSMS、SMS送達通知はゴミ箱に捨てることはできません。
- 未読メールをゴミ箱に捨てると、既読メールになります。
- メール検索機能やフィルタ機能でメールを表示させたあとに「ゴミ箱へ捨てる」を行うと、表示されているメールの中からゴミ箱に移動できます。

＜SMS送達通知全削除＞
- メール検索機能やフィルタ機能でSMS送達通知を表示させたあとに「SMS送達通知全削除」を行うと、表示されているSMS送達通知のみ削除されます。

受信メール詳細画面の機能メニュー

1 **受信メール詳細画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う**

<受信メール詳細画面>

機能メニュー	内容
返信	返信します。(P.255参照)
引用返信	引用して返信します。(P.255参照)
参照返信	受信メールを見ながら返信します。(P.256参照)
キラリメール確認	キラリメールを確認します。(P.253参照)
転送	転送します。(P.256参照)
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。(P.270参照)
送信+受信メール	メールの相手との送受信履歴を表示します。(P.270参照)
カラーラベル	メールに色を付けます。(P.270参照)
フォルダ移動	▶**移動先のフォルダを選択**▶◉
コピー	▶**コピーしたい項目を選択**▶◉ ●コピーの方法についてはP.442参照。 ●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、◎でコピーしたいメールアドレスや電話番号を選択し、◉を押します。
アドレス登録	送信元や同報先を電話帳に登録します。(P.100参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.100参照)
データ保存	データを保存します。(P.257、P.258参照)
挿入画像保存	本文に挿入された画像を保存します。(P.258参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
テンプレート保存	送受信したデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.208参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.244参照。
プロパティ	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ▶**画像を選択**▶◉ ●確認が終われば◉を押します。
貼付URL表示	iモードメールに貼り付けられている10000バイトを超えるJPEG形式の画像のURLを表示します。半角200文字まで表示できます。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
チャット起動	送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。P.285手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。(P.380参照)
スクロール設定	スクロールする行数を設定します。(P.282参照)
文字サイズ設定	文字サイズを設定します。(P.282参照)
添付ファイル削除	▶YES
ゴミ箱へ捨てる	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き(消去)されます。 ▶YES

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

機能メニュー	内容
削除	▶YES

お知らせ

<フォルダ移動>
- 「ゴミ箱」フォルダへは移動できません。
- FOMAカードに保存されているSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<添付ファイル削除>
- メール本文に貼り付けられたデータは削除されません。

<ゴミ箱へ捨てる>
- 保護されたメール、FOMAカード内のSMS、SMS送達通知はゴミ箱に捨てることはできません。

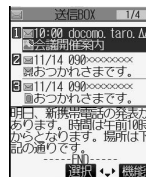
送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

1 送信フォルダ一覧画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う

<送信フォルダ一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。(P.268参照)
自動振分け設定	自動振分けを設定します。(P.278参照)
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。(P.268参照)
メールセキュリティ	メールセキュリティを設定します。(P.268参照)
フォルダ削除	フォルダを削除します。(P.268参照)
フォルダ並び替え	フォルダを並べ替えます。(P.268参照)
保存件数確認	保存件数を確認します。(P.268参照)
フォルダ内表示	フォルダ内のメールを表示します。ｉアプリ用メールフォルダを「フォルダ内表示」すると、メール連動型ｉアプリを起動することなくフォルダ内のメールを表示できます。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
送信メール全削除	全送信フォルダ内のメールをすべて削除します。FOMAカード内の送信SMSもすべて削除されます。 ▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

送信メール一覧画面の機能メニュー

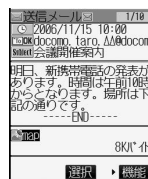
1 送信メール一覧画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う

<送信メール一覧画面>

機能メニュー	内容
再編集	送信したメールを再編集して送信します。 ｉモードメールを選択していた場合はP.235手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.292手順2へ進みます。

次ページにつづく

機能メニュー	内容
フォルダ移動	別のフォルダに移動します。(P.269参照)
メール検索 (宛先検索)	宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。(P.269参照)
メール検索 (題名検索)	題名からメールを検索します。(P.269参照)
全表示	メール検索・ソート機能・フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。
送信+受信メール	メールの相手との送受信履歴を表示します。(P.270参照)
ソート	表示順を変更します。(P.270参照)
フィルタ	条件に合うメールのみを表示します。(P.270参照)
一覧表示切替	一覧表示を切り替えます。(P.270参照)
保護/保護解除	メールを保護/保護解除します。(P.270参照)
保護全解除	保護をすべて解除します。(P.270参照)
カラーラベル	メールに色を付けます。(P.270参照)
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。(P.380参照)
保存件数確認	保存件数を確認します。(P.270参照)
削除	▶YES
選択削除	選択して削除します。(P.270参照)
全削除	全削除します。(P.271参照)

送信メール詳細画面の機能メニュー

1 **送信メール詳細画面▶i(機能)▶以下の操作を行う**

<送信メール詳細画面>

機能メニュー	内容
再編集	送信したメールを再編集して送信します。 iモードメールを選択していた場合はP.235手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.292手順2へ進みます。
再送信	送信したメールを再送信します。 ▶YES
キラリメール確認	キラリメールを確認します。(P.253参照)
送信+受信メール	メールの相手との送受信履歴を表示します。(P.270参照)
フォルダ移動	別のフォルダに移動します。(P.272参照)
コピー	本文などをコピーします。(P.272参照)
アドレス登録	宛先を電話帳に登録します。(P.100参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.100参照)
データ保存	データを保存します。(P.257、P.258参照)
挿入画像保存	本文に挿入された画像を保存します。(P.258参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

機能メニュー	内容
テンプレート保存	テンプレートとして保存します。（P.272参照）
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。（P.270参照）
カラーラベル	メールに色を付けます。（P.270参照）
プロパティ	プロパティを表示します。（P.272参照）
SMS送達通知表示	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。SMS送達通知を受信するには、「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定してください。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.358参照）
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピー、移動します。（P.380参照）
スクロール設定	スクロールする行数を設定します。（P.282参照）
文字サイズ設定	文字サイズを設定します。（P.282参照）
添付ファイル削除	添付ファイルを削除します。（P.272参照）
削除	▶YES

お知らせ

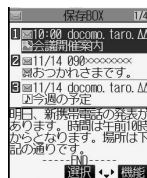
<再送信>

- 送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

<SMS送達通知表示>

- 選択しているメールに対応するSMS送達通知がない場合は、この機能は利用できません。
- 「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定していても、メールが送信できなかった（相手に届かなかった）場合は、SMS送達通知は付きません。

保存メール一覧画面の機能メニュー

1 保存メール一覧画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

<保存メール一覧画面>

機能メニュー	内容
一覧表示切替	一覧表示を切り替えます。（P.270参照）
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.362参照）
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.358参照）
保存件数確認	保存件数を確認します。（P.270参照）
削除	▶YES
選択削除	選択して削除します。（P.270参照）
全削除	フォルダ内のメールをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶(●)▶YES

＜送信アドレス一覧＞

送信したメールの履歴を表示する

ｉモードメールやSMSを送信すると、送信アドレス一覧に30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号が確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号への送信があった場合、古いデータは削除されます。

1 (ﾒﾆｭｰ)▶(ユーザデータ)▶**発信履歴**▶(✉)(切替)

＜送信アドレス一覧画面＞

- 待受画面で(◎)を押してリダイヤル一覧画面を表示したあとでも、送信アドレス一覧画面を表示できます。
- 待受画面で(◎)を1秒以上押しても送信アドレス一覧画面が表示されます。
- 最新のデータが一番上に表示されます。
- 送信アドレス一覧画面で(✉)(切替)を押すと発信履歴一覧画面が表示されます。リダイヤル一覧画面から送信アドレス一覧画面を表示した場合や、待受画面で(◎)を1秒以上押して送信アドレス一覧画面を表示した場合は、(✉)(切替)を押すとリダイヤル一覧画面が表示されます。

(SMS)..送信に成功したSMSを表します。
(ｉ)..送信に成功したｉモードメールを表します。
(SMS)..送信に失敗したSMSを表します。
(ｉ)..送信に失敗したｉモードメールを表します。

2 **表示したい履歴を選択**▶(●)

＜送信アドレス詳細画面＞

- 相手のメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されているときは、メールアドレスまたは電話番号、名前、アイコンが表示されます。
- 表示されたアドレスにｉモードメールを送るには(●)を押してP.235手順3へ進みます。電話番号にSMSを送るには(●)を押してP.292手順3へ進みます。
- 電話帳に登録する場合は、(✉)(登録)を押します。P.100手順2へ進みます。

お知らせ

- 「履歴表示設定」の「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定している場合は表示できません。

送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面の機能メニュー

1 **送信アドレス一覧画面・送信アドレス詳細画面**▶(ｉ)(機能)▶**以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.100参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
ｉモードメール作成	ｉモードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。P.235手順3へ進みます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。P.292手順3へ進みます。

機能メニュー	内容
電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 **▶発信方法を選択▶◎** ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。設定を解除する場合は「設定解除」を選択します。 ●電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。 **▶発信** ●国際電話をかける場合は「国際電話発信」を選択し、国際アクセス番号や国番号を選択したあと、再度機能メニューから「電話発信」を選択し、上記の操作を行います。（P.60参照） ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。（P.51手順2参照）
リダイヤル表示・発信履歴表示	リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。
1件削除	▶YES
選択削除	**▶削除したい履歴にチェック▶✉（完了）▶YES** ●◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。◉（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES**

<受信アドレス一覧>

受信したメールの履歴を表示する

ｉモードメールやSMSを受信すると、受信アドレス一覧に30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号が確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号からの受信があった場合、古いデータは削除されます。

1 メニュー▶ユーザデータ▶着信履歴▶全着信▶✉（切替）

●待受画面で◎を押しても「着信履歴」は表示されます。
●「不在着信」を選択した場合は、◉（機能）を押して「受信アドレス一覧」を選択すると受信アドレス一覧画面を表示できます。
●待受画面で◎を1秒以上押しても受信アドレス一覧画面が表示されます。
●最新のデータが一番上に表示されます。
●受信アドレス一覧画面で✉（切替）を押すと着信履歴一覧画面が表示されます。
SMS . .SMSを表します。
ｉ . . ｉモードメールを表します。

<受信アドレス一覧画面>

2 表示したい履歴を選択▶◎

●相手のメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されているときは、メールアドレスまたは電話番号、名前、アイコンが表示されます。
相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
●表示されたアドレスにｉモードメールを送るには◎を押してP.235手順3へ進みます。
電話番号にSMSを送るには◎を押しP.292手順3へ進みます。
●電話帳に登録する場合は、✉（登録）を押します。P.100手順2へ進みます。

<受信アドレス詳細画面>

お知らせ

●「履歴表示設定」の「着信履歴」を「OFF」に設定している場合は表示できません。

受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面の機能メニュー

1 受信アドレス一覧画面・受信アドレス詳細画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.100参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
iモードメール作成	iモードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。 P.235手順3へ進みます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。 P.292手順3へ進みます。
電話発信	電話帳の電話番号に発信します。(P.277参照)
着信履歴表示	着信履歴一覧画面を表示します。
1件削除	▶YES
選択削除	**▶削除したい履歴にチェック▶(✉)(完了)▶YES** ●(◎)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(i)(機能)を押して「全選択/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶(◎)▶YES**

お知らせ

<着信履歴表示>

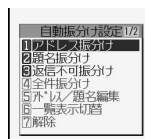
●表示される着信履歴画面は「全着信」(すべての着信履歴を表示)です。

<自動振分け設定>

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、iアプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 送信フォルダ一覧画面・受信フォルダ一覧画面▶(i)(機能)▶自動振分け設定

P.279の機能メニュー表の操作を行って自動振分けを設定します。

<自動振分けメニュー画面>

すでに振り分け条件が設定されているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

<自動振分け設定画面>

■条件を変更するときは
再設定するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

■同じ条件が他のフォルダに設定されているときは
変更するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。
●メールセキュリティがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

お知らせ

●1フォルダあたり700件までのアドレスを登録できます。また、各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
●メールメニューの送信BOXや受信BOXにセキュリティが設定されている場合（P.149参照）、メールメニューの「送信BOX」や「受信BOX」に「 」が表示されます。その場合は端末暗証番号の入力が必要になります。
●振り分けるフォルダにメールセキュリティが設定されている場合（P.268、P.273参照）、手順1のあとに端末暗証番号の入力が必要になります。
●複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
①全件振分け
②題名振分け
③返信不可振分け・送信失敗振分け
④アドレス振分け（アドレス参照入力・直接入力）
⑤アドレス振分け（メールメンバー参照）
⑥アドレス振分け（グループ参照）
●同報送信した送信メールは、「アドレス振分け」や「送信失敗振分け」では振り分けされません。

自動振分け設定画面の機能メニュー

1 自動振分け設定画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
アドレス振分け（アドレス参照入力）	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や送信・受信アドレス一覧から設定します。 ▶**アドレス参照入力**▶**呼び出したい機能を選択**▶◉ P.236手順2へ進みます。
アドレス振分け（グループ参照）	フォルダに振り分けるグループを設定します。 ▶**グループ参照**▶**グループを選択**▶◉
アドレス振分け（メールメンバー参照）	フォルダに振り分けるメールメンバーを設定します。 ▶**メールメンバー参照**▶**メールメンバーを選択**▶◉
アドレス振分け（直接入力）	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ▶**直接入力**▶**メールアドレスや電話番号を入力**▶◉ ●メールアドレスや電話番号は半角50文字まで入力できます。 ●メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けることができます。
題名振分け	フォルダに振り分けるｉモードメールの題名を入力します。入力した文字が題名に含まれているメールが振り分けられます。 ▶**題名を入力**▶◉
返信不可振分け	返信不可のメールを振り分けるよう設定します。
送信失敗振分け	送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。
全件振分け	ｉアプリメール用フォルダにすべてのメールを振り分けるよう設定します。 ▶YES
アドレス／題名編集	フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集・登録します。 ▶**メールアドレス、電話番号、題名を編集**▶◉

機能メニュー	内容
一覧表示切替	メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶名前表示・アドレス表示 ●自動振分け設定画面で(#)を押しても切り替えることができます。
解除	振り分け条件を解除します。（「自動振分け設定画面」から削除されます。） ▶YES
選択解除	メールアドレスや電話番号などを選択して解除します。（「自動振分け設定画面」から削除されます。） ▶解除したいメールアドレスや電話番号などにチェック▶(✉)(完了)▶YES ●(◉)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(i)(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。 ●(#)を押して名前とメールアドレス（電話番号）を切り替えることができます。
全解除	振り分け条件をすべて解除します。（「自動振分け設定画面」から削除されます。） ▶YES

お知らせ

＜アドレス振分け（グループ参照）＞
- 自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。
- 「グループ00」やFOMAカード内のグループは設定できません。

＜アドレス振分け（メールメンバー参照）＞
- 自動振分け設定画面では、メールメンバー名の前に「 」が表示されます。

＜題名振分け＞
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「送信BOX」や「受信BOX」に最も近いフォルダに振り分けられます。
- 1つのフォルダに設定できる題名は1件のみです。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

＜返信不可振分け＞
- SMS送達通知は振り分けされません。
- 「返信不可振分け」は1つのフォルダにしか設定できません。

＜送信失敗振分け＞
- 「送信失敗振分け」は1つのフォルダにしか設定できません。

＜全件振分け＞
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。
- 「全件振分け」は、受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにしか設定できません。
- 「全件振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。

＜メールメンバー＞ (メニュー)(9)(7)

メールメンバーを作成する

メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数のメンバーにメールを送信できます。1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは20件まで作成できます。

1 (メニュー)▶(ユーザデータ)▶**メールメンバー**▶**登録したいメールメンバーを選択**▶(◉)

- メールメンバーが登録されている場合、画面左下に「✉」が表示されます。(✉)(✉)を押すと、選択しているメールメンバーにｉモードメールを送信します。P.235手順3へ進みます。

＜メールメンバー一覧画面＞

2 <未登録>を選択▶✉(編集)

●登録済みのメールアドレスを選択すると、「メールメンバーアドレス確認画面」が表示されます。

<メールメンバーアドレス一覧画面>

3 メールアドレスを入力▶◉

手順2〜手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。
●半角50文字まで入力できます。

お知らせ

●同じ宛先をメールメンバーに登録してメールを送信しようとすると、重複しているアドレスを削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

メールメンバー一覧画面の機能メニュー

1 メールメンバー一覧画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う

<メールメンバー一覧画面>

機能メニュー	内容
iモードメール作成	メールメンバー宛のｉモードメールを作成します。 P.235手順3へ進みます。
メンバー名編集	▶メールメンバー名を入力▶◉ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
メンバー名初期化	メールメンバー名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

メールメンバーアドレス一覧画面・メールメンバーアドレス確認画面の機能メニュー

1 メールメンバーアドレス一覧画面・メールメンバーアドレス確認画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う

<メールメンバーアドレス一覧画面> <メールメンバーアドレス確認画面>

機能メニュー	内容
アドレス編集	P.281手順3へ進みます。 ●✉(編集)を押してもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。(P.236参照)

機能メニュー	内容
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES

＜メール設定＞

iモードメールやSMS（ショートメッセージ）の詳細設定について

1 メニュー▶メール▶**メール設定▶以下の操作を行う**

項目	内容
スクロール設定 お買い上げ時 1行スクロール	メール詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶**行数を選択**▶◎ ●送信メールや受信メール表示中は、i（機能）を押して「スクロール設定」を選択します。
文字サイズ設定 お買い上げ時 標準表示	メール詳細画面の本文の文字サイズを設定します。 ▶**文字サイズを選択**▶◎ ●送信メールや受信メール表示中は、i（機能）を押して「文字サイズ設定」を選択します。 標準表示　縮小表示　拡大表示
メール一覧表示設定 お買い上げ時 2行表示（本文あり）	メール一覧画面でメールを表示する行数や画面下に本文を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示方法を選択**▶◎
本文表示設定 お買い上げ時 通常表示	受信メールを通常表示（先頭から表示）するか、本文から表示するか設定します。 ▶**通常表示・本文から表示** 通常表示　本文から表示
開封時メロディ再生設定 お買い上げ時 自動再生する	受信メールの本文を表示時に、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。 ▶**自動再生する・自動再生しない**
冒頭文／署名設定	冒頭文・署名・引用符を登録します。（P.284参照）
メールセキュリティ設定	メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。（P.149参照）
受信表示設定 お買い上げ時 通知優先	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 **通知優先 ....メール受信時に受信中や受信結果画面を優先します。** **操作優先 ....メール受信時に操作中の画面を優先します。**
メール選択受信設定	iモードメールを選択受信するかどうかを設定します。（P.254参照）

項目	内容
添付ファイル設定 お買い上げ時 すべてチェックあり	iモードメールに添付されるファイルを受信するかどうかを設定します。 ▶**受信したい添付ファイルにチェック**▶✉(完了) ●◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
えチャット表示設定 お買い上げ時 自動表示する	えチャットを受信したときに、自動的に静止画を表示するかどうかを設定します。 ▶**自動表示する・自動表示しない**
キラリメール設定	キラリメール受信時の動作を設定します。（P.254参照）
チャット設定	チャットメールの設定を行います。（P.289参照）
SMS送達通知設定	SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。（P.296参照）
SMS有効期間設定	SMSがSMSセンターに保存される期間を設定します。（P.296参照）
SMS本文入力設定	SMSの本文に入力できる文字を設定します。（P.296参照）
メール設定確認	メール設定の各項目の設定状態を確認します。 ●Ⓞで画面を切り替えて確認できます。 ●確認が終わればクリアを押します。
メール設定リセット	「メール設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目については「機能一覧表」を参照してください。（P.446参照） ▶**端末暗証番号を入力**▶◎▶**YES**

お知らせ

＜文字サイズ設定＞

●メール本文表示中にⓄを1秒以上押しても、文字サイズを変更できます。（P.252、P.295参照）その場合、本機能の設定も変更されます。

●詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときには、再度、縮小表示や拡大表示になります。

＜メール一覧表示設定＞

●「2行表示」や「2行表示（本文あり）」に設定した場合、一覧表示は「名前表示」に切り替わります。

●「1行表示」や「1行表示（本文あり）」に設定した場合、一覧表示は「題名表示」に切り替わります。

●「2行表示」または「1行表示」に設定した場合、受信メール一覧画面から「返信」「引用返信」「参照返信」「転送」は操作できません。また、送信メール一覧画面から「再編集」は操作できません。

＜本文表示設定＞

●「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

＜開封時メロディ再生設定＞

●「自動再生する」に設定していても、マナーモード中は自動再生されません。

●「自動再生する」に設定していても、FOMA P901iTV以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

＜添付ファイル設定＞

●チェックボックスが「□」に設定されているファイルが添付されているメールは、ファイルがiモードセンターで削除されて受信します。削除されたファイルは受信できません。「画像有効」が「□」に設定されていると、デコメールの挿入画像も削除されます。

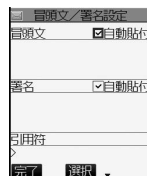
●「メロディ有効」にチェックを付けていると、メロディを受信できますが、FOMA P901iTV以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

＜えチャット表示設定＞

●ビューアスタイルでえチャットを受信した場合は、本機能の設定に関わらず自動表示しません。

冒頭文／署名設定

冒頭文・署名・引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかも設定します。

1 メニュー ▶ メール ▶ **メール設定** ▶ **冒頭文／署名設定** ▶ **以下の操作を行う**

項目	内容
冒頭文 お買い上げ時 未入力（自動貼付する）	冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。 ▶**冒頭文の欄を選択**▶◉▶**冒頭文を入力**▶◉ ●冒頭文を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択し、◉を押して「☑」を「□」にします。 ●全角120文字まで、半角240文字まで入力できます。
署名 お買い上げ時 未入力（自動貼付する）	署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。 ▶**署名の欄を選択**▶◉▶**署名を入力**▶◉ ●署名を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択し、◉を押して「☑」を「□」にします。 ●全角120文字まで、半角240文字まで入力できます。
引用符 お買い上げ時 >	引用符とは、引用返信するときに引用した本文の先頭に表示される記号です。 ▶**引用符の欄を選択**▶◉▶**引用符を入力**▶◉ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

2 ✉（完了）**を押す**

●中止する場合はクリアまたはPWR HLDを押して「YES」を選択します。

お知らせ

●「自動貼付」にチェックを付けていても、えチャット・テンプレート・iアプリからiモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

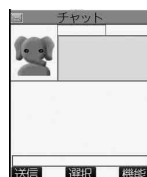
<チャットメール>

チャットメールを利用する

チャットメールでは、1つの画面で複数の相手とメールのやりとりができます。

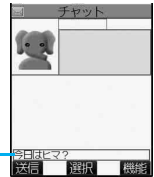
チャットメールをやりとりする

チャットメールを行うには、あらかじめチャットメンバーに相手のメールアドレスを登録しておく必要があります。お買い上げ時は、チャットメンバーが登録されていません。チャットメンバーを登録してください。（P.288参照）

1 メニュー ▶ メール ▶ **チャットメール**

<チャットメール画面>

2 ◉▶文字を入力▶◉

入力した文字が入力ボックスに表示されます。

●全角250文字まで、半角500文字まで入力できます。

3 ✉（送信）を押す

チャットメールが送信されます。
送信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。

4 受信中の画面が表示され、チャットメールを受信する

受信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。
手順2～手順4を繰り返してチャットメールをやりとりします。

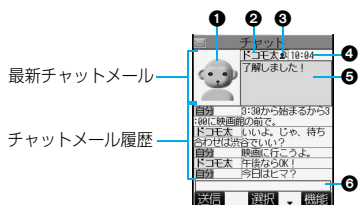
5 ⓘ（機能）▶チャット終了

YES. . . . . . . **既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除します。**
NO. . . . . **既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除しません。**
チャットメールが終了します。

●クリアまたはPWR HLDを押してチャットメールを終了できます。
●送受信したチャットメールが1件もない場合、確認画面は表示されません。

次ページにつづく

■チャットメール画面

チャットメール画面は以下のように表示されます。

❶画像

チャットグループで登録した画像が表示されます。

●チャットメール履歴には表示されません。

❷メンバー名

チャットグループに登録されているメンバー名が表示されます。また、既定の背景色で表示されます。

●チャットグループに登録されていない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。

❸同報マーク

複数の宛先が設定されているチャットメールを受信した場合に表示されます。

（青色）：すべての宛先がチャットメンバーに登録されている場合

（紺色）：チャットメンバーに登録されていない宛先がある場合

❹送受信日時

送受信した日時を表示します。当日送受信したチャットメールは時刻が表示され、前日までに送受信したチャットメールは日付が表示されます。

●日付・時刻が設定されていないときに送信すると「--/--」と表示されます。また受信したチャットメールの日時情報に異常がある場合も「--/--」が表示されます。

❺本文

チャットメールの本文を表示します。表示される本文は全角250文字、半角500文字までです。

本文が4行を超える場合は が表示され、 を押してページを切り替えることができます。

●チャットメール履歴の本文はページを切り替えることができません。

●正常に送信されたチャットメールの本文は黒色で表示されます。送信に失敗したチャットメールの本文はグレーで表示されます。

❻入力ボックス

入力した文字（送信する文字）の先頭から1行分を表示します。

お知らせ

●複数の相手とチャットメールをやり取りした場合の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）

●「受信BOX」や「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダやチャットメールが保存されているフォルダに「メールセキュリティ」が設定されている場合は、端末暗証番号の入力画面が表示されます。

●「メール選択受信設定」が「ON」に設定されていると、チャットメールは行えません。

●受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は、チャットメールは行えません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。

●添付ファイルや貼付データは表示されません。

●送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。再送信する場合は、「チャット」フォルダから送信してください。

●送信したチャットメールの題名は「チャットメール」（半角）となります。

●チャットメール画面で受信したチャットメールは、「チャット」フォルダにおいて既読となります。

●文字を入力せずに送信しようとした場合は確認画面が表示されます。「YES」を選択すると本文なしのチャットメールを送信します。

●チャットメール画面表示中は、チャットメール本文に電話番号・メールアドレス・URLが含まれていても、Phone To／AV Phone To 機能・Mail To 機能・Web To 機能は利用できません。ただし、チャットメールを終了し、「受信BOX」や「送信BOX」からチャットメールを表示した場合は利用できます。

待受中にチャットメールを受信すると

待受中にチャットメールを受信すると、デスクトップに「チャット」が表示されます。
◉を押して「チャット」を選択し、◉を押すとチャットメールが起動します。

お知らせ

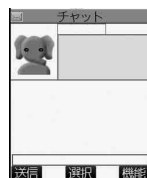
- 以下の場合に、チャットメールと認識します。
  - ・送信元や宛先のアドレスが、チャットメンバーやチャットグループに登録されている場合
  - ・題名に「チャットメール」(すべて全角、またはすべて半角)が含まれている場合
- チャットメール起動中に、チャットメンバー以外のチャットグループのメンバーからチャットメールを受信した場合も「チャット」が表示されます。

■デスクトップ・受信メール・チャットグループからチャットメールを起動すると
チャットメンバーに登録されていないメールアドレスやチャットグループから起動した場合は、登録されているメンバーを削除して起動するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると現在のチャットメンバーを削除して、送信元のメールアドレスやチャットグループのメンバーをチャットメンバーに登録します。

<デスクトップや受信メールから起動した場合>
送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録されます。送信元のメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、そのグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。ただし、送信先に選択されているのは、送信元のメールアドレスのみです。

<チャットグループから起動した場合>
チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。送信先にはグループのメンバーすべてが選択されています。

チャットメール画面の機能メニュー

1 チャットメール画面▶(機能)▶以下の操作を行う

<チャットメール画面>

機能メニュー	内容
送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	チャットメンバーの中から、チャットメールを送信する宛先を選択します。 **▶送信したい宛先にチェック▶✉(完了)** ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
チャットメンバー	チャットメンバーを登録します。(P.288参照)
同報宛先確認	同報送信されたチャットメールの宛先を確認します。 ●確認が終われば◉を押します。 ●チャットメンバーに登録されていない宛先がある場合は、チャットメンバーに登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、「YES」を選択し、登録したい宛先をチェックして✉(完了)を押します。
更新	自動的に受信できなかったチャットメールを受信します。新しいチャットメールを受信すると、チャットメール画面が更新されます。
先頭表示	最も新しいチャットメールを表示します。
最終表示	最も古いチャットメールを表示します。
既読削除	受信した既読のチャットメールと送信したチャットメールをすべて削除します。 **▶YES**
チャット終了	チャットメールを終了します。(P.285参照)

次ページにつづく

お知らせ

<同報宛先確認>
- チャットメンバーはユーザ（自分）を含めて6人まで登録できます。

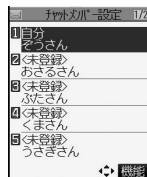
<更新>
- チャットメール以外のメールを受信した場合は、チャットメール画面は更新されません。

<既読削除>
- 送信に失敗したチャットメールも削除されます。
- 保護されているチャットメールは削除されません。

チャットメンバー

チャットメールをするメンバーを登録します。
チャットメンバーはユーザ（自分）を含めて6人まで登録できます。

1 **チャットメール画面▶ⓘ（機能）▶チャットメンバー▶<未登録>**

- 編集する場合は、登録済みのメンバーを選択します。

<チャットメンバー一覧画面>

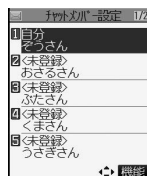
2 **メールアドレスを入力▶◉**

- ｉモードメールアドレスをチャットメンバーに登録するときは、ドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく登録してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 半角50文字まで入力できます。

お知らせ

- すでに登録されているメンバーと同じメールアドレスは登録できません。
- 登録したメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、メンバー名が表示されます。チャットグループに登録されていない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。
- 登録済みのメンバーのメールアドレスを編集した場合は、メンバー名と画像も変更されます。

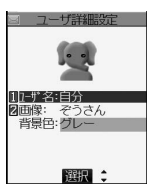
チャットメンバー一覧画面の機能メニュー

1 **チャットメンバー一覧画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

<チャットメンバー一覧画面>

機能メニュー	内容
編集	メールアドレスを編集します。 P.288手順2へ進みます。
メンバー参照入力	電話帳、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。（P.236参照）

機能メニュー	内容
メンバー入れ替え（チャットグループ）	チャットグループに登録されているメンバーをチャットメンバーに登録します。 **▶チャットグループ** **グループ一覧．．．．．チャットグループ単位で選択します。** **メンバー一覧．．．．．チャットグループに登録されている全メンバーから選択します。** ●「グループ一覧」を選択した場合は、チャットグループを選択し、◉を押します。選択したチャットグループのメンバーが登録されます。 ●「メンバー一覧」を選択した場合は、登録したいメンバーをチェックし、✉（完了）を押します。
メンバー入れ替え（メールメンバー）	メールメンバーに登録されているメンバーをチャットメンバーに登録します。 **▶メールメンバー▶メールメンバーを選択▶◉**
詳細設定確認	チャットメンバーのメンバー名、画像、背景色、メールアドレスを確認します。 ●Ⓞでメンバーを切り替えることができます。 ●確認が終われば(クリア)を押します。
削除	▶YES
全削除	▶YES

お知らせ

<メンバー入れ替え>
- すでにチャットメンバーが登録されていた場合は、チャットメンバーをすべて入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- チャットメンバーから削除されたメンバーのチャットメールがあった場合は、チャットメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。

<詳細設定確認>
- ユーザ（自分）の詳細設定確認を表示した場合は、メールアドレスは表示されません。

<削除><全削除>
- ユーザ（自分）は削除できません。

チャット設定

1 **▶メール設定▶チャット設定▶以下の操作を行う**

項目	内容
お知らせ音設定 お買い上げ時 チャットお知らせ音1	チャットメール画面でチャットメールを送受信したときに鳴るお知らせ音を設定します。 **▶フォルダを選択▶◉▶お知らせ音を選択▶◉** ●お知らせ音を鳴らさない場合は「OFF」を選択します。設定が終了します。
チャットメール画像設定 お買い上げ時 有効	チャットメール画面で画像を表示するかしないかを設定します。 **▶有効・無効**
ユーザ詳細設定 お買い上げ時 ユーザ名：自分 画像：ぞうさん ユーザ詳細設定 1ユーザ名:自分 2画像: ぞうさん 背景色:グレー 選択	ユーザ（自分）の名前、画像を設定します。 **▶ユーザ名▶ユーザ名を入力▶◉** ●全角4文字まで、半角8文字まで入力できます。 ●ユーザ名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 **▶画像▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶◉**

メール　チャットメール

次ページにつづく

お知らせ

<お知らせ音設定>
- チャットメンバーに登録されていないメンバーから受信したときは鳴りません。

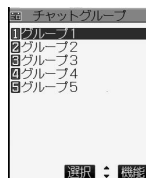
<ユーザ詳細設定>
- ユーザ名に何も入力しなかった場合は、ユーザ名は「自分」になります。
- 背景色は変更できません。

<チャットグループ>

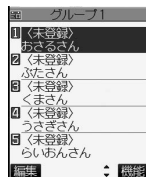
チャットグループを作成する

チャットメールを行いたいメールアドレスをグループごとに登録します。
複数のメンバーをグループに登録しておけば、一度にチャットメンバーとして設定できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは5件まで作成できます。

1 メニュー▶ユーザデータ▶チャットグループ▶登録したいチャットグループを選択▶◉

- チャットグループが登録されている場合、画面左下に「CHAT」が表示されます。
  ✉（CHAT）を押すと、チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。P.285手順2へ進みます。

<チャットグループ一覧画面>

2 <未登録>を選択▶✉（編集）

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、「メールアドレス確認画面」が表示されます。

<メールアドレス一覧画面>

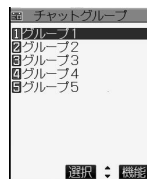
3 メールアドレスを入力▶◉

手順2～手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。
- ｉモードメールアドレスをチャットメンバーに登録するときは、ドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく登録してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 半角50文字まで入力できます。

お知らせ

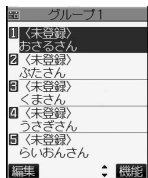
- 登録したメールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名として設定されます。登録したメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。電話帳に画像も登録されているときは、画像も設定されます。
- 他のグループに同じメールアドレスのメンバーが登録されていた場合、グループを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとすでに登録されているグループから新しいグループに変更されます。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

1 **チャットグループ一覧画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う**

<チャットグループ一覧画面>

機能メニュー	内容
チャット起動	チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 P.285手順2へ進みます。
グループ名編集	**▶チャットグループ名を入力▶(●)** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	チャットグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 **▶YES**

メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面の機能メニュー

1 **メールアドレス一覧画面・メールアドレス確認画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う**

<メールアドレス一覧画面> <メールアドレス確認画面>

機能メニュー	内容
編集	メールアドレスを編集します。 P.290手順3へ進みます。 ●(✉)(編集)を押しても編集できます。
メンバー参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。(P.236参照)
メンバー入れ替え	メールメンバーに登録されているメンバーをチャットグループに登録します。 **▶メールメンバー▶メールメンバーを選択▶(●)**
メンバー詳細設定 メンバー詳細設定 1メンバー名: ドコモ太 2画像: おさるさん 背景色: イエロー メールアドレス:docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp 選択 機能	メンバーのメンバー名、画像を設定します。(○)を押してメンバーを切り替えることができます。 **▶メンバー名▶メンバー名を入力▶(●)** ●全角4文字まで、半角8文字まで入力できます。 ●メンバー名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 **▶画像▶フォルダを選択▶(●)▶画像を選択▶(●)**
削除	**▶YES**
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶(●)▶YES**

次ページにつづく

お知らせ

<メンバー入れ替え>

- すでにメンバーが登録されていた場合は、メンバーをすべて入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

<メンバー詳細設定>

- メンバー名に何も入力しない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名になります。メールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。電話帳に画像も登録されているときは、画像も設定されます。
- 背景色は変更できません。

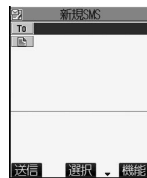
SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

SMSを作成して送信します。

- **ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。**

1 メニュー ▶ メール ▶ SMS作成

- 保存BOXに保存メールが20件あると、SMSを作成できません。保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 待受画面で✉（✉）を押しても「メールメニュー」が表示されます。

<SMS作成画面>

2 宛先欄（To）を選択 ▶ ◉ ▶ 相手の電話番号を入力 ▶ ◉

宛先は1件しか指定できません。

- 21桁まで入力できます。（「+」を含む）
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」（0を1秒以上押す）、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）

3 本文欄（📄）を選択 ▶ ◉ ▶ 本文を入力 ▶ ◉

- 入力できる文字数は「SMS本文入力設定」により異なります。

4 ✉（送信）を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

5 OK

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- 送信を行わずに(クリア)または(PWR HLD)を押すと、内容を破棄して編集を終了するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとそれまで入力した文字は消去されます。
- 宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているメールをSMSとして送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。
- 「+」は宛先の先頭でのみ有効です。
- 宛先に数字、「＊」、「#」、「+」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- 本文編集中に改行できます。「SMS本文入力設定」を「日本語入力（70文字）」に設定している場合、改行は全角2文字分としてカウントされ、「半角英数入力（半角160文字）」に設定している場合は半角1文字分としてカウントされます。
- スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能／SMS centerのSMSには返信できません。

SMS作成画面の機能メニュー

1 SMS作成画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
送信	SMSを送信します。 P.292手順5へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 確認が終われば(●)を押します。 ●(✉)(送信)を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
宛先参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号を呼び出して入力します。（P.236参照）
SMS送達通知設定	作成中のSMSの送達通知を要求するかどうかを設定します。（P.296参照）
SMS有効期間設定	作成中のSMSの有効期間を設定します。（P.296参照）
SMS本文入力設定	作成するSMSの本文に入力できる文字を設定します。（P.296参照）
本文消去	本文に入力されている文章をすべて削除します。宛先は削除されません。 ▶YES
SMS削除	▶YES

SMS（ショートメッセージ）を自動的に受信する

受信したSMSは、ｉモードメールと合わせて最大1000件まで保存できます。

1 **SMSを受信すると「（白色）」のアイコンが点灯し、「メール受信中・・・」と表示される**

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示されます。

●「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。

＜受信結果画面＞

■何も操作しないで約15秒経過すると

元の画面に戻ります。（「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。）

ビューアスタイルで受信したときは、を押すかスタイルを変更しても元の画面に戻ります。

●デスクトップに「メール」が表示されます。

を押して「メール」を選択し、を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。

■FOMA端末を閉じているときは

プライベートウィンドウに表示されます。

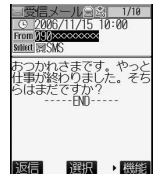
を押すと受信したSMSの受信日時、送信元が表示されます。（P.34参照）

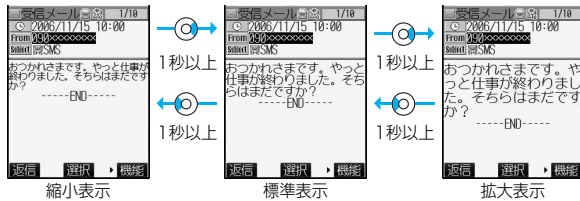
新着メールあり

お知らせ

- FOMA端末に保存されている受信メール（SMSとｉモードメールの合計）が1000件を超えたときなど、受信メールの最大保存件数を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読または保護されている受信メールは上書きされません。
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「（黒色）」が表示されます。SMSを受信できるようにするには、「（黒色）」が消えるまでFOMA端末に保存されている受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問い合わせ」を行ってください。
- 音声電話中やテレビ電話中、または「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて待受画面以外を表示中にSMSを受信したときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、音声電話中、テレビ電話中、カメラ起動中を除いて、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- ｉモーションの再生中にSMSを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

新着SMS（ショートメッセージ）を表示する

1 **受信結果画面▶メール▶表示したいSMSを選択▶**

■SMS表示切替機能

SMSの詳細画面（本文）を表示しているとき、表示する文字の大きさを変更できます。

お知らせ

- 詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときには、再度、縮小表示や拡大表示になります。
- 上記の操作により表示を切り替えたときには、「文字サイズ設定」の設定も変更されます。

お知らせ

- 受信したSMSに入力されている文字によっては、スペースで表示されることがあります。
- 表示したSMSの送信元（電話番号）を反転表示した状態で◉を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。（Phone To／AV Phone To 機能）
  また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。
- SMS送達通知は、SMS送達通知設定で要求するように設定した場合のみ送られてきます。
  また、送信メールの「SMS送達通知表示」でも確認できます。
- FOMA端末では、ショートメールをSMSとして受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

＜SMS問い合わせ＞

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 メニュー ▶ メール ▶ **SMS問い合わせ**

2 ◉**を押す**

センターにSMSが保管されていれば、自動的に受信されます。

お知らせ

- 問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。
- 圏外のときは問い合わせできません。
- 「(黒色)」「(黒色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に上書きされます。)
- 本機能でｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードメールやメッセージR/Fを受信するには、「ｉモード問い合わせ」で受信してください。

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMS送達通知設定

お買い上げ時	要求しない

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。

1 メニュー▶メール▶**メール設定▶SMS送達通知設定▶要求する・要求しない**

- SMS作成画面表示中は、(機能)を押して「SMS送達通知設定」を選択します。

お知らせ

- 受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。
- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

SMS有効期間設定

お買い上げ時	3日

送信したSMSがSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 メニュー▶メール▶**メール設定▶SMS有効期間設定▶保存期間を選択**▶

- 「0日」を選択した場合はSMSセンターに保存しません。
- SMS作成画面表示中は、(機能)を押して「SMS有効期間設定」を選択します。

お知らせ

- 本機能の設定はFOMAカードに記憶されます。
- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

SMS本文入力設定

お買い上げ時	日本語入力（70文字）

SMSの本文に入力できる文字を設定します。
半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 メニュー▶メール▶**メール設定▶SMS本文入力設定**

日本語入力（70文字）...... 全角文字、半角文字が入力できます。「」「」(P.459参照)を除く絵文字は入力できません。本文は70文字まで入力できます。
半角英数入力（160文字）.... 半角英数字、半角記号のみ入力できます。本文は160文字まで入力できます。

- SMS作成画面表示中は、(機能)を押して「SMS本文入力設定」を選択します。その場合、「日本語入力（70文字）」は「日本語入力」、「半角英数入力（160文字）」は「半角英数入力」と表示されます。

お知らせ

- 本文が入力されているときは設定できません。

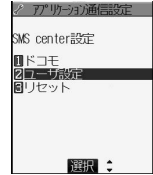
SMS center設定

お買い上げ時	ドコモ

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターのアドレスと「Type of number」の設定をします。
現在ご利用されているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶**アプリケーション通信設定▶SMS center設定▶ユーザ設定▶アドレスを入力▶**◉

- 半角20文字まで入力できます。

2 **International・Unknown**

- 入力したアドレスに「＊」や「#」が含まれている場合、「International」に設定できません。

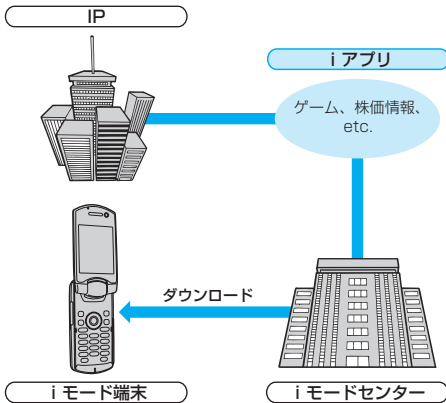
■ユーザ設定をリセットして「ドコモ」に戻すには
1. 手順1の画面▶リセット▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。
- 本機能の設定はFOMAカードに記憶されます。FOMAカード内に「ドコモ」以外の設定が記憶されている場合は、FOMAカードの設定になります。

ｉアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

● iアプリをダウンロードする方法についてはP.301を参照してください。
● iアプリを実行する方法についてはP.302を参照してください。
● iアプリを自動実行する方法についてはP.308を参照してください。
・ ソフトによっては、iモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
・ ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないようにも設定できます。

■登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作ができるものがあります。
登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴・リダイヤル、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

■登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・電話帳参照
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・メールメニューの利用
・iモードメール作成画面利用
・最新のリダイヤル参照
・最新の着信履歴参照
・最新の未読メール参照
・着信音保存
・着信音変更（電話、メール、メッセージ）
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・画面設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信）

・ iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
・ iアプリDXを起動するには、時計設定が必要です。

メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリは、iアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。
・ メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応iアプリとは

おサイフケータイ対応iアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。
・おサイフケータイ対応iアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにICカード内の情報が送信されます。
・おサイフケータイについてはP.312参照。

こんなこともできます

■iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。（P.308参照）
● iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。（P.308参照）

■カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。
●カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。（P.360参照）
●赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
●相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■赤外線リモコン
ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。（P.307参照）
例えばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用できます。（P.307参照）
●赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

＜ｉアプリダウンロード＞

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをFOMA端末にダウンロードします。
ダウンロードしたソフトは10〜最大200件まで登録できます。（データ量により実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。）

1 ｉアプリダウンロード可能なサイトを表示▶ソフトを選択▶◉

2 ダウンロードが完了したら◉を押す

●ダウンロード完了後にソフト設定（通信設定、待受画面設定、待受画面通信、番組表ボタン設定）の画面が表示されることがあります。設定が終われば✉（完了）を押します。各設定は、ソフト一覧からも設定できます。

3 YES・NO

YES. . . ｉアプリが起動します。
NO. . . . サイト画面に戻ります。
●ソフトを起動すると画面下に「 」や「 」が表示されます。

■保存されているソフトがいっぱいのときは
すでにソフトが最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なソフトを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。
1.YES▶削除したいソフトにチェック▶✉（完了）▶YES
●◉を押すごとに「☐」と「☑」が切り替わります。
●ディスプレイの左下に「完了」が表示されるまでチェックを付けます。
●メール連動型ｉアプリの削除についてはP.305参照。
●電波状況などによりダウンロードに失敗した場合は保存されません。

■メール連動型ｉアプリのダウンロード
メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリのタイトルになり、変更できません。
メール連動型ｉアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
メール連動型ｉアプリは5件まで保存できます。
●同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
●メールセキュリティ設定中はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
●送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが5つある場合、メール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

■メール連動型ｉアプリの再ダウンロード
ｉアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のｉアプリメール用フォルダを利用できます。既存のｉアプリメール用フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除してｉアプリメール用フォルダを新規作成します。フォルダを新規作成せずにメール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。
既存のｉアプリメール用フォルダを利用する場合
1.フォルダを利用するかどうかの確認画面▶YES
既存のフォルダを削除し、ｉアプリメール用フォルダを新規作成する場合
1.フォルダを利用するかどうかの確認画面▶NO
2.フォルダを新規作成するかどうかの確認画面▶YES

お知らせ
●「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信・保存したメールや、メール連動型ｉアプリ用として送られてきたメールのことです。ｉアプリメールには、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されるよう、ｉアプリ利用データが設定されています。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定（通信設定）」での設定が必要です。
- SSL対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「」が表示されます。
- お買い上げ時は「ソフト情報表示設定」は「表示しない」に設定されています。「表示する」に設定した場合、ダウンロードする前にソフトの情報を確認できます。ソフト情報の確認画面で◉を押すとダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ダウンロード時に、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- ダウンロード時に、FOMA端末内の登録データを利用する旨の確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータも上書きする旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトとICカード内のデータは削除されます。
- ソフトによっては、ICカード機能動作中やICカードロック中はダウンロードできない場合があります。
- ソフトによっては、ダウンロード完了後すぐに起動することがあります。この場合、ソフトはダウンロードされていますが保存はされていません。ソフトを終了すると、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。
- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。（ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。）
  ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 1件あたり100Kバイトまでのｉアプリを保存できます。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※多角形を組み合わせることにより、立体的で奥行きのある画像を表現します。

ソフト情報表示設定

お買い上げ時	表示しない

ソフトダウンロード時にソフト情報を表示できます。

1 (メニュー)▶設定▶ｉアプリ設定▶ソフト情報表示設定▶表示する・表示しない

＜ｉアプリ実行＞

ｉアプリを起動する

1 (メニュー)▶ｉアプリ▶ソフト一覧▶起動したいソフトを選択▶◉

- 待受画面で を1秒以上押しても「ソフト一覧画面」が表示されます。
- 「ソフト設定（通信設定）」を「起動ごとに確認」にしていると、通信を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「YES」または「NO」を選択します。
- ｉアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
- ｉアプリ実行中は「」や「」が表示されます。
- ｉアプリを終了するには(クリア)を1秒以上または(PWR HLD)を押して「YES」を選択します。

■ソフトから他のソフトを起動するには

ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しめます。起動させるソフトがあらかじめ指定されているものと、指定されていないものがあります。

起動するソフトが指定されている場合

ｉアプリ実行中に、指定されたソフトを起動するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

起動するソフトが指定されていない場合

起動するソフトが指定されていない場合、ソフトを選択する必要があります。ｉアプリ実行中に、ソフトを選択するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、ソフトを選択して◉を押します。

お知らせ

- 指定されたソフトがソフト一覧にない場合、ダウンロードする必要があります。

■ソフトに異常があったときは
ソフトに異常があった場合、その内容を確認できます。

1. MENU ▶ iアプリ ▶「iアプリ実行情報」▶「トレース情報」
トレース情報の画面が表示されます。

■セキュリティエラーが起こったときは
ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合にセキュリティエラーが起こります。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。
デスクトップに「エラー」が表示されている場合は、アイコンを選択して◉を押してもセキュリティエラー履歴を表示できます。

1. MENU ▶ iアプリ ▶「iアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」
セキュリティエラー履歴の画面が表示されます。

■トレース情報またはセキュリティエラー履歴の画面に「機能」が表示されているときは
(機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

お知らせ

- トレース情報がない場合は、「トレース情報」は表示されません。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- iアプリ作成者の方へ
ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
トレース情報の確認方法は、「■ソフトに異常があったときは」をご覧ください。

お知らせ

- iアプリDXを起動するには、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
- iアプリ起動中や実行中でもメールやメッセージR/Fを受信できます。その場合、iアプリは継続され「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。受信したメールやメッセージを確認するときは、iアプリを終了させるか、マルチタスク機能をご利用ください。
- ソフトの実行中に再生されるメロディは、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で鳴ります。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で鳴ります。ただし、通話中は再生されません。
- ソフトを実行中に、通信設定が必要な場合があります。
- iアプリ実行中に電話がかかってきた場合、iアプリは一時中断されます。通話が終わるとiアプリの画面に戻ります。
- ソフトによっては、iアプリからWeb To 機能やPhone To/AV Phone To 機能なども利用できます。ただし、iアプリ待受画面からWeb To 機能はご利用になれません。
- iアプリ実行中にiモーション(映像や音のデータ)が再生された場合は、P.340を参照して操作してください。再生を中止するとiアプリの画面に戻ります。
- iアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、iアプリの一部として保存、利用されます。
- iアプリからカメラを起動した場合、iアプリによっては、画像サイズや画質などを設定できることがあります。
- iアプリからカメラを利用してQRコード、JANコードを読み取れます。読み取った結果はソフトで利用・保存されます。

お知らせ

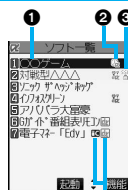
- iアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータ等は、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※iアプリで利用する画像とは
  - カメラ連携(連動)アプリからカメラを起動して撮影した画像
  - iアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
  - サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像
  - iアプリがデータBOXから取得した画像
- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- iアプリ起動時に最新ソフトにバージョンアップするかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」または「NO」を選択します。(P.304参照)
- iアプリによっては、iアプリ上で使用している各種情報をiアプリ終了時に保存することがありますが、iアプリ実行中に電池アラームが表示されたり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が「▮」のときは、PWR/HLDを押すか各ソフトの操作に従ってiアプリを終了してください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなります。削除やソフト情報の表示などは可能です。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP(情報サービス提供者)がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、「▮」が表示されます。

■ソフト一覧画面
ソフト一覧画面は以下のように表示されます。

❶タイトル表示
iアプリのタイトルを表示します。

❷ 自動起動表示
自動起動を設定していることを表します。
iアプリ待受画面表示
iアプリ待受画面に設定していることを表します。
自動起動・iアプリ待受画面表示
自動起動とiアプリ待受画面の両方を設定していることを表します。
設定可能表示
iアプリ待受画面の設定が可能であることを表します。
FOMAカード実行制限表示
異なるFOMAカードでダウンロードまたはバージョンアップされていることを表します。

❸ SSL表示
SSLページからダウンロードしたことを表します。

❹ おサイフケータイ対応iアプリ
iアプリDX
メール連動型iアプリ

お知らせ

- 最後に起動したり、バージョンアップしたソフトが最上段に表示されます。なお、ソフトの並び順は手動で変更できません。

ソフト一覧画面の機能メニュー

1 ソフト一覧画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
ｉアプリ To 設定	サイトやメールなどからｉアプリを起動させるかどうかを設定します。また、ICカード機能対応読み取り装置（リーダー／ライター）にFOMA端末をかざしたときにｉアプリを起動させるかどうかも設定できます。ソフトごとに設定できます。 **▶設定したい項目にチェック** **▶✉（完了）** サイトからｉアプリ To ．．．．．．．ｉアプリを起動させるリンクのあるサイトからｉアプリを起動します。 メールからｉアプリ To ．．．．．．．ｉアプリを起動させるリンクのあるメールからｉアプリを起動します。 赤外線からｉアプリ To ．．．．．．．ｉアプリ起動可能な赤外線データを受信して外部機器からｉアプリを起動します。 バーコードからｉアプリ To ．．．．．．．ｉアプリ起動可能なバーコードからｉアプリを起動します。 ICカードからｉアプリ To ．．．．．．．ICカードからｉアプリを起動します。 ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 ●ソフトによっては設定できない項目があります。
自動起動時刻設定	自動起動する日時を設定します。（P.308参照）
ソフト設定 （待受画面設定）	ｉアプリ待受画面に設定します。（P.308参照）
ソフト設定 （通信設定）	ｉアプリ実行中に通信するかどうかを設定します。 **▶通信設定▶通信する・通信しない・起動ごとに確認** ●「起動ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリを起動するたびにネットワーク接続を許可するかどうかを確認します。 **▶✉（完了）**
ソフト設定 （待受画面通信）	ｉアプリ待受画面実行中に通信するかどうかを設定します。（P.309参照）
ソフト設定 （アイコン情報）	ｉモードメール、SMS、メッセージ（R/F）、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外アイコンの情報をｉアプリが利用するかどうかを設定します。 **▶アイコン情報▶利用する・利用しない** **▶✉（完了）**
ソフト設定 （着信音／画像変更）	ｉアプリが着信音・待受画面などの設定を変更するかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 **▶着信音／画像変更▶許可する・許可しない・変更ごとに確認** ●「変更ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリから着信音・待受画面などの設定を変更しようとするたびに、変更するかどうかを確認します。 **▶✉（完了）**
ソフト設定 （電話帳／履歴参照）	ｉアプリが電話帳・リダイヤル・着信履歴の参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 **▶電話帳／履歴参照▶許可する・許可しない▶✉（完了）**
ソフト設定 （番組表ボタン設定）	デジタルテレビから起動する番組表ｉアプリに設定します。デジタルテレビと連携機能があるｉアプリDXにのみ設定できます。 **▶番組表ボタン設定▶設定する・設定しない**
ソフト情報	ｉアプリのソフト名、バージョンなどを表示します。 ●◎で画面をスクロールして確認できます。
バージョンアップ	ソフトをバージョンアップします。 **▶YES**
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
削除	**▶YES**
選択削除	**▶削除したいソフトにチェック** **▶✉（完了）▶YES** ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。ⓘ（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES**

お知らせ

<ソフト設定（アイコン情報）>
- ｉアプリ待受画面の「ソフト設定（アイコン情報）」を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号と同様にインターネットを経由してIP（情報提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- ソフト設定（アイコン情報）が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定すると動作しない場合があります。

<ソフト設定（番組表ボタン設定）>
- 「設定する」を選択すると、設定されている番組表ｉアプリを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると番組表ｉアプリに設定されます。
- 「設定しない」を選択すると「Gガイド番組表リモコン」が番組表ｉアプリに設定されます。
- 設定できるのは「ソフト情報」で「番組表ボタン設定」が「可能」のｉアプリのみです。

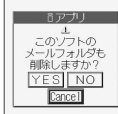
<ソフト情報>
- 「ソフト情報」で表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

お知らせ

<バージョンアップ>
- 起動時にソフトが更新されていた場合は、自動でバージョンアップできます。
- メモリの空きが不足しているときは、不要なソフトを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。（P.301参照）
- バージョンアップ時に、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 以下の場合は、メール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - ・対応するｉアプリメール用フォルダの詳細を表示中
  - ・メールセキュリティ設定中
  - ・対応するｉアプリメール用フォルダにセキュリティが設定されているとき

<削除><選択削除><全削除>
- 「Gガイド番組表リモコン」は削除できません。
- 番組表ｉアプリに設定しているソフトを削除すると、「Gガイド番組表リモコン」が番組表ｉアプリに設定されます。

■メール連動型ｉアプリを削除するときは

メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたｉアプリメール用フォルダを削除するかどうかを選択できます。フォルダのみを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認できます。

1件削除の場合

1.「削除」、「選択削除」または「全削除」の操作を行う
YES . . . . . . ソフト・ｉアプリメール用フォルダとも削除します。
NO. . . . . . . ｉアプリメール用フォルダを削除せずソフトのみ削除します。
Cancel . . . ソフト・ｉアプリメール用フォルダとも削除せず元の画面に戻ります。

お知らせ

- ｉアプリメール用フォルダに保護メールが含まれている場合、「YES」を選択しても、ソフト、フォルダともに削除できません。
- 以下の場合は、ｉアプリメール用フォルダを削除できません。
  - ・フォルダの詳細を表示中
  - ・メールセキュリティ設定中
  - ・フォルダにセキュリティが設定されているとき
  - ・フォルダに保護メールが含まれているとき

■おサイフケータイ対応ｉアプリを削除するときは

おサイフケータイ対応ｉアプリを削除する場合、ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除できない場合があります。
- ICカード機能動作中やICカードロック中は削除できない場合があります。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には以下のｉアプリが登録されています。

- **お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」以外のｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。（P.42参照）**
- **再ダウンロードサービスは2010年2月末日（インフォスクリーンのみ2008年2月末日）に終了の予定です。**
  ソニック・ザ・ヘッジホッグの追加データダウンロードサービスは2010年3月末日に終了の予定です。
  アバパラ大富豪のアバターダウンロードサービスは2010年3月末日に終了の予定です。
  また、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

ソニック・ザ・ヘッジホッグ

ソニックを操作して、世界征服をたくらむDr.エッグマンから動物たちを救い出し、世界征服を阻止してください。
- このゲームは複数のステージで構成されており、お買い上げ時は前半のステージのみ登録されています。前半のステージをクリアすることで後半のステージをダウンロードできるようになります。
  また、「P-SQUARE」からもダウンロードできます。

© SEGA

1 **ソフト一覧画面▶ソニック ザヘッジホッグ**
- 画面左下に「♪ <<<」などが表示されているときは、[メール]を押すと音量を調節できます。

2 **[決定]▶[上下]でメニューを選択▶[決定]**

ゲームスタート . . . ゲームを開始します。
ステージセレクト. . ステージを選択してゲームを開始します。
ゲーム説明. . . . . . . ゲームの内容や操作方法を説明します。
ランキング. . . . . . . ランキングやハイスコアを閲覧します。
オプション. . . . . . . ゲームの難易度やサウンド音量を調節します。
- セーブしたゲームがある場合「ゲームスタート」を選択すると、最初から始めるか途中から始めるかを選択できます。

■ゲーム中のボタン操作

回転ジャンプやスピンなど、ソニックが丸まっている状態で敵に接触すると、敵を倒せます。
- 一部の敵は特定の部位を攻撃しないと倒せません。

ボタン操作	内容
[上]／[2]	回転ジャンプ
[下]／[8]	しゃがむ／（ダッシュ中）スピン
[左]／[4]	左へ移動／ダッシュ
[右]／[6]	右へ移動／ダッシュ
[決定]／[5]	上を見る
[i]	休憩／再開

次ページにつづく

■セーブについて
ゲーム中に(i)を押し、休憩画面で「セーブして中断」を選択するとセーブできます。また、ゲーム中に電池が切れた場合やソフトが終了した場合なども自動的にセーブされます。
- セーブはACTクリア時点が保存されます。ゲーム開始からACTクリアを行っていない場合は「セーブして中断」を選択しても、これまでのセーブ内容は変更されません。

■コンティニューについて
ゲームオーバーになると、コンティニュー画面が表示されます。10カウント以内に(●)を押すと、ゲームオーバー時のステージ(ACT)の最初からゲームを再開できます。

お知らせ

- 後半のステージへ移行する際は、指定されたソフトを起動するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると後半のステージへ進めます。
後半のステージがダウンロードされていない場合は、ダウンロードが必要な旨の画面が表示されます。「OK」を選択し、「YES」を選択すると後半のステージをダウンロードできます。ダウンロード終了後、後半のステージへ進めます。

アバパラ大富豪

トランプゲームの「大富豪」です。
手持ちのカードが0枚になったらあがりです。3人目があがるとゲームが終了し、ゲーム結果画面が表示されます。設定した回数のゲームが終了すると全ゲームの結果が表示され、着順に応じてポイントがもらえます。たまったポイントと引き替えにアバターをダウンロードできます。

- ポイント送信を5ヶ月以上行わないと、サイトにあるアバターのユーザ情報は予告なく消去される場合があります。
- ゲームの遊び方について詳細は「P-SQUARE」をご覧ください。
- アバターを使用するには通信料がかかります。

1 ソフト一覧画面▶アバパラ大富豪

- 画面左下に「♪<<」などが表示されているときは、(✉)を押すと音量を調節できます。

2 (●)▶はじめから

はじめから . . . . . .ゲームを初めから行います。
つづきから . . . . . .セーブしたゲームの続きを行います。
アバターの確認・更新
 . . . . .サイトに接続して現在のアバターを確認します。
アバターの変更 . .サイトに接続してアバターを変更します。
ポイント送信 . . . .ポイントを送信します。
遊び方 . . . . .ゲームの概要が表示されます。
ユーザ登録 . . . . . .アバターをダウンロードするためにユーザ登録を行います。

3 ゲームモードを選択▶(●)

COM対戦 . . . . .COMと対戦するモードです。COMを3人選択します。
いきなりCOM対戦 . . .前回設定したルール、ゲーム回数でCOM対戦をします。ゲームが開始されます。
みんなで対戦 . . . . . . .友人とFOMA端末を手渡ししながら遊ぶモードです。対戦する友人の人数を選択します。「2人対戦」、「3人対戦」を選択した場合は残りの1人または2人をCOMから選択します。

4 (◎)でルールを選択▶ONまたはOFFを選択▶決定

- 選択しているルールの説明が画面下に表示されます。

5 (◎)でゲーム回数を選択▶(●)

ゲームが開始されます。
- 格付けが決まっている場合はカードを交換します。カードの交換が終了するとゲームが始まります。

■ゲーム中のボタン操作

ボタン操作	内容
(◎左右)	カードを選択
(◎上)	選択したカードを決定
(◎下)	決定したカードを戻す
(●)	決定したカードを出す
(✉)	パスする
(i)	MENUを表示（履歴／中断／ルール確認／音量調節／戻る）

インフォスクリーン

ニュースや天気予報、占いを取得できます。
待受画面ではカレンダーを表示します。
- データの取得には通信料がかかります。
- より良くお使いいただくために待受画面設定をすることをおすすめします。

1 ソフト一覧画面▶インフォスクリーン

- ｉアプリ待受画面に設定している場合は、ｉアプリ待受画面で(クリア)を押しても起動できます。

2 (◎)で項目を選択▶(●)

1 news . . . . . ニュースを表示します。
2 weather . . . 天気予報を表示します。（(●)は押せません。）
3 fortune . . . 占いを見ます。
4 calendar . . カレンダーを見ます。
5 menu. . . . . 各種設定などを行います。
- (1)～(5)のボタンを押しても選択できます。
- ニュース、天気予報、占いの画面では、(✉)（取得）を押して「YES」を選択すると最新のデータを取得できます。

■menu項目の説明

menu項目		説明
最新データ取得		最新のデータを取得。
データ取得設定		
	自動取得設定	自動でデータ取得を行うかどうかを設定。
	写真ニュース取得	写真ニュースを取得するかどうかを設定。
	ニュース取得件数	ニュースを取得する件数を設定。（古いものから自動的に削除されます。）
	ニュース取得文字数	ニュースを取得する文字数を設定。
	ニュース文字サイズ	ニュースを表示する文字サイズを設定。
ユーザー設定		
	都道府県	天気予報用の都道府県を設定。
	地域	天気予報用の地域を設定。
	星座	占い用の星座を設定。
背景設定		
	背景1～4	待受画面で表示する画像を設定。
待受表示設定		
	情報表示	待受画面での情報表示を設定
	ニュース写真表示	待受画面でのニュース写真表示を設定。
	カレンダー表示	待受画面でのカレンダー表示を設定。
	天気表示	待受画面での天気表示を設定。
音設定		音声のON／OFFを設定。
アプリ終了		アプリを終了する。

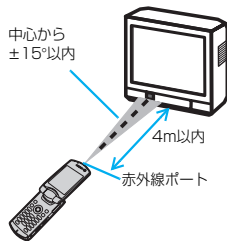
Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

テレビ番組表とAVリモコン機能に加え、デジタルテレビを起動できる機能が1つになった便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。気になった番組があったら番組情報をお気に入り登録ができて、携帯電話の視聴予約機能に番組の開始日時を登録して番組開始時にデジタルテレビを起動できます。さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。(一部対応していない機種もあります。)
なお、以下の「エリア変更」操作により、地上デジタル放送の視聴エリアを変更して、該当地域の番組表を表示させることができます。
「メニュー」から「エリア変更」を選択します。「現在地から探す」、「地域一覧から探す」及び「過去履歴から探す」のいずれかの方法によりエリアを選択します。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。(目安：8放送局を選択。20日分の番組表をご利用の場合およそ600Kバイト。)
- 詳しくは、「iモード操作ガイド」をご覧ください。

■赤外線リモコンについて
FOMA端末を赤外線リモコン対応機器のリモコンとして使用できます。iアプリが赤外線を利用してリモコン信号を送信します。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- 機器によっては操作できないものもあります。
- ボタン操作はソフトによって異なります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- 赤外線リモコンを使用中は「[icon]」が表示されます。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。
- 機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。
  操作ができる範囲は正面でおよそ4m以内です。
- 赤外線放射角度は中心から±15°以内です。

電子マネー「Edy」

電子マネー Edyとは、FeliCaを利用して誰でも簡単にご利用いただけるプリペイド型の電子マネーサービスです。電子マネーEdyは、ビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には、注意事項、利用約款などをご確認のうえ、初期設定を実行してください。

初期設定・サービス登録（無料）

チャージ（入金）
- 店頭でのEdyチャージ（入金）
- iモードでのEdyチャージ（入金）※

使う（お支払い）
- 店頭でのお支払い
- Mobile Edy※（ネットでのお支払い）

便利な機能
- 残高・履歴照会
- Edyギフトのお受取り
- Edy to Edy

サポート
- 機種変更の「Edy」に関するお手続き※
- 故障時の「Edy」に関するお手続き※

※印のサービスは事前にサービス登録が必要です。

電子マネー Edyについての詳しいサービス内容やご利用可能店舗およびFOMA端末の機種変更・故障時などのEdyに関する諸手続きなどにつきましては、Edyのホームページおよびiモードサイトをご参照いただくか、下記連絡先までお問い合わせください。

本サービスについてのお問い合わせ先
ビットワレット株式会社
- Edyに関する情報については、Edyのiモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  iモードサイト：i Menu→メニューリスト→くらしの情報→生活総合→電子マネー「Edy」
  ホームページ：http://www.edy.jp

サイト接続用QRコード

- Edyに関する諸手続きでお困りの場合
  Edy緊急ダイヤル： 0570-081-999（ナビダイヤル）
  平日 9:30～19:00／土･日･祝日 10:00～18:00
  ※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

次ページにつづく

お知らせ

- 「初期設定」およびｉアプリの「主なメニュー」の機能など、ｉモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- 機種変更後も、それまでお使いいただいたFOMA端末をEdyカードと同様にご利用いただけますので、廃棄する際にはご注意ください。
- ｉアプリの通信設定で「通信しない」に設定した場合、もしくはFOMA端末を「セルフモード」に設定した場合は、ｉモード通信を行えず、「初期設定」およびｉアプリの「主なメニュー」内の機能はご利用いただけませんのでご注意ください。
- 迷惑メール対策（受信／拒否設定）でインターネットからのメールを拒否している場合は、Mobile Edy（ネットでのお支払い）をご利用の際にEdyセンターからの決済開始メールの受信が必要となりますので、「bitwallet.co.jp」をドメイン指定に加えてください。
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリを自動起動する

設定した日時に自動的にｉアプリが起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

お買い上げ時	許可しない

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 メニュー▶ｉアプリ▶**自動起動設定**
▶**許可する・許可しない**

自動起動時刻設定

自動起動する日時を設定します。3件まで設定できます。あらかじめ、「自動起動設定」を「許可する」に設定しておいてください。

1 **ソフト一覧画面**▶(**機能**)
▶**自動起動時刻設定**

2 **設定したい項目にチェック**▶(**完了**)

時間間隔設定 . . . ソフトに設定された間隔で起動します。設定が終了します。
起動時刻設定 . . . 設定した時刻に自動的に起動します。
- ◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

3 **起動時刻を選択**▶◉
▶**設定する日付・時刻を入力**▶◉

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。
- 年は西暦で入力します。
- 時刻は24時間で入力します。

4 **繰り返しなし**

設定なし . . . 繰り返さない（1回のみ）設定になります。手順6へ進みます。
毎日 . . . . . . 毎日起動する設定になります。手順6へ進みます。
曜日指定 . . . 指定した曜日に自動起動します。

5 **設定したい曜日にチェック**▶(**完了**)

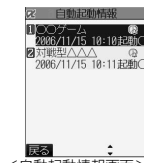
- ◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
- 少なくとも1つの曜日を選択してください。

6 (**完了**) **を押す**

自動起動情報

ソフトが正しく自動起動したかどうかを確認します。また、ICカードからの起動に失敗した場合の情報も確認できます。自動起動情報は3件まで、ICカードからの起動に失敗した場合の情報は1件まで記憶されます。

1 メニュー▶ｉアプリ▶**ｉアプリ実行情報**
▶**自動起動情報**

起動○ . . . 正常に自動起動しました。
起動× . . . 自動起動しませんでした。「起動」が表示されている場合は、◉を押してソフトを起動できます。
未起動 . . . まだ自動起動していません。

＜自動起動情報画面＞

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - ・FOMA端末の電源がOFFの場合
  - ・日付・時刻が設定されていない場合
  - ・他の機能が動作中の場合
  - ・オールロック、PIMロック設定中
  - ・アニメーション、Flash画像再生中
  - ・「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」、「視聴予約」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合
  - ・オート表示中
  - ・同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分以内の起動時刻が設定されていた場合
- 自動起動ができなかった場合、デスクトップに「α」が表示されます。アイコンを選択して◉を押すと、自動起動情報画面が表示されます。

＜ｉアプリ待受画面＞

ｉアプリ待受画面を操作する

ソフト設定（待受画面設定）

ｉアプリを待受画面に設定します。一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

1 **ソフト一覧画面**▶(**機能**)▶**ソフト設定**
▶**待受画面設定**

設定する . . . . ｉアプリ待受画面に設定します。
設定しない. . . ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

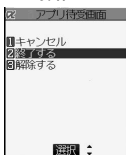
2 (**完了**) **を押す**

待受画面に設定すると「α」が表示されます。ｉアプリ待受画面実行中は「α」や「α」が表示されます。

■ｉアプリ待受画面実行中に通常のｉアプリとして操作するには

ｉアプリ待受画面で(クリア)を押します。

「」や「」が「」や「」の点滅に変わり、通常のｉアプリとして操作できます。

- ｉアプリ待受画面に戻る場合は、(クリア)を1秒以上押すか、(PWR HLD)を押して「終了する」を選択します。「解除する」を選択し、「YES」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

- ソフトによっては、ｉアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のｉアプリの状態からｉアプリ待受画面の状態に戻せるものもあります。ただし、他のメニュー機能が動作中はｉアプリ待受画面の状態に戻せません。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1つのみです。
- ｉアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- 「ソフト設定（待受画面通信）」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ネットワークに接続するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況等により正しく動作しない場合があります。
- ｉアプリ待受画面を設定すると「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像は表示されません。
- メニュー機能の動作中に待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面から「Web To 機能」はご利用になれません。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了します。オールロックを設定すると「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示され、PIMロックを設定するとお買い上げ時に登録されている画像が表示されます。オールロックまたはPIMロックを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。

ソフト設定（待受画面通信）

ｉアプリ待受画面実行中の通信を許可するかどうかを設定します。

1 ソフト一覧画面▶(機能)▶ソフト設定▶待受画面通信▶通信する・通信しない▶(完了)

待受画面終了

実行中のｉアプリ待受画面を一時的に終了します。また、ｉアプリ待受画面を解除します。

1 (メニュー)▶(設定)▶ｉアプリ設定▶待受画面終了▶終了・設定解除

- 「設定解除」を選択した場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を解除すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が待受画面に表示されます。

待受画面終了情報

ｉアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認します。

1 (メニュー)▶(ｉアプリ)▶ｉアプリ実行情報▶待受画面終了情報

お知らせ

- ｉアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。
- 待受画面終了情報の画面で「機能」が表示されているときは、(機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

ｉアプリ起動中の照明やバイブレータを設定する

α照明設定

お買い上げ時	システム依存

ｉアプリ起動中のバックライト点灯のしかたを設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶ｉアプリ設定▶α照明設定

システム依存．．．「照明設定」に従います。
ソフト依存．．．．．ソフトの設定に従います。

αバイブレータ

お買い上げ時	システム依存

1 (メニュー)▶(設定)▶ｉアプリ設定▶αバイブレータ

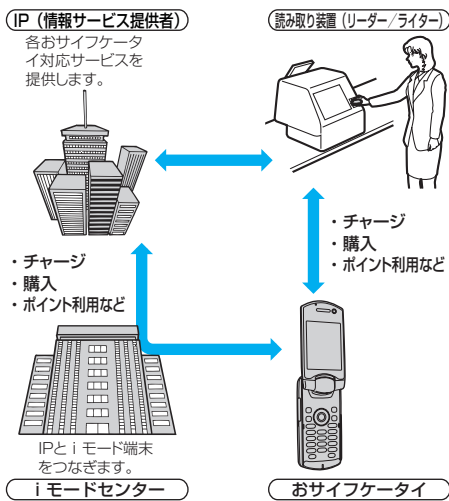
システム依存．．．「バイブレータ」の設定に関わらず動作しません。ソフトによっては動作する場合があります。
ソフト依存．．．．．ソフトの設定に従います。

お知らせ

- ソフトによってはバックライト、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらは動作しませんので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

おサイフケータイ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末をおサイフケータイと呼びます。
FeliCaとはかざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の１つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り装置（リーダー／ライター※）にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、おサイフケータイ内のICカードに電子マネーをサイトから入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。
※ICカードの読み書きを行う装置です。

※ICカード機能をご利用いただくには、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしてください。

- 各おサイフケータイ対応サービスのお申し込み・ご利用の方法につきましてはそれぞれ異なりますのでIP（情報サービス提供者）などのお問い合わせ先にご連絡ください。各おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ご利用の各おサイフケータイ対応サービスのサービス名や問い合わせ先などはメモを取り保管してください。おサイフケータイの故障・修理・電話機の変更やその他の取扱いによって、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります。（修理の場合は、原則データをお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。）万が一、ICカード内のデータが消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ICカード内のデータを消去する場合や、消失・変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせの上、ご確認ください。
- ドコモショップなど窓口にて、他のおサイフケータイへの交換時および故障取り替え時に、ICカード内のデータは新機種へコピーできません。対応方法につきましては各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万が一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。なお、本製品はICカードロック／遠隔ロック設定でICカード機能を制限できます。
（P.144、P.313参照）

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ICカード内のデータの読み書きを行う

ソフト一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ・ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  - ・電池が切れた場合

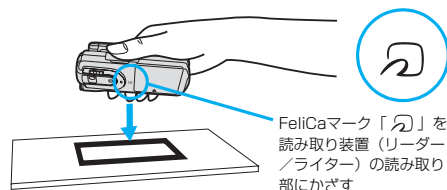
1 **[メニュー]▶[iアプリ]▶ソフト一覧▶おサイフケータイ対応ｉアプリを選択▶[◉]**

おサイフケータイ対応ｉアプリが起動します。
- 待受画面で[i]を1秒以上押しても「ソフト一覧画面」が表示されます。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末のFeliCaマーク「[FeliCaマーク]」を読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中やｉモード接続中は、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。

1 **FOMA端末のFeliCaマーク「[FeliCaマーク]」を読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして、目的のサービスを利用する**

お知らせ

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。また、電源が入っていないときや電池が消耗してからもFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応iアプリは起動できません。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。

<ICカードロック>

ICカード機能をロックする

お買い上げ時	解除

他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぐために、ICカード機能を使用できないようにします。

ICカードロックをかける

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶ICカードロック▶端末暗証番号を入力▶**◉

「」が表示され、ICカードロックが設定されます。
- 待受画面でメニューを1秒以上押してもICカードロックをかけることができます。

ICカードロックを解除する

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶ICカードロック**

- 待受画面でメニューを1秒以上押しても操作できます。

2 **端末暗証番号を入力▶**◉

ICカードロックが解除されます。

お知らせ

- 通話中や他の機能が動作中は、設定／解除できません。
- ICカードロックを設定しているときに電池が切れた場合、ICカードロックは保持されます。

ICカードタイマーロック

お買い上げ時	OFF

ICカードタイマーロックを「ON」に設定すると、待受画面表示中に何も操作を行わずに設定した時間が経過したときに、自動的にICカードロックがかかります。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶ICカードタイマーロック▶端末暗証番号を入力▶**◉▶**ON・OFF**

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

2 **タイマーロック時間を選択▶**◉

ICカードロックをかけるまでの時間を設定します。
「」が表示され、タイマーロックが設定されます。

お知らせ

- 通話中や他の機能が動作中は設定・解除できません。
- 待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は設定した時間が経過してもICカードロックはかかりません。
- FOMA端末を閉じたり開いたり、スタイルを切り替えると、経過時間は0秒に戻ります。
- 「ICカードタイマーロック」を「ON」に設定している場合、ICカードロックの解除操作をすると一時的にICカードロックは解除されますが、待受画面表示中に何も操作を行わずに設定した時間が経過すると、再びICカードロックがかかります。

テレビを見る

デジタルテレビ・アナログテレビについて

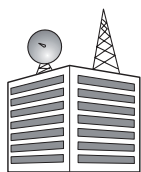
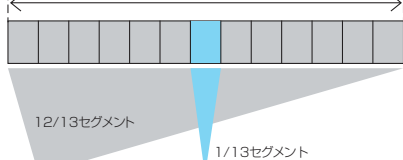
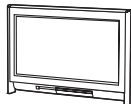
デジタルテレビについて

■ワンセグとは

ワンセグは、移動体向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを移動体向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。

ワンセグでは映像音声と共にデータ放送が放送されますが、より詳細な情報は通信（データ放送サイトやｉモードサイト等）にて提供されるため、放送を通信で補完することが前提となる放送サービスです。なお、通信を使用する際には、パケット通信料がかかります。

また、携帯電話の通信機能を利用して、テレビ放送事業者（放送局）などと双方向に情報のやりとりができるようになります。これを利用してクイズ番組へ参加したり、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

- 地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年末までに放送が開始される予定です。
  ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
  安定した映像と音声、およびデータ放送が特徴です。
- 本機では地上デジタルテレビ放送の文字放送（字幕）はご覧いただけません。

地上デジタルテレビ放送（UHF帯）

移動体向け

■ワンセグのご利用について

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- データ放送領域に表示される情報には、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で放送され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意した通信サイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」等へ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードなどのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」を閲覧する際は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人地上デジタル放送推進協会（D-pa）
  　パソコンから：http://www.d-pa.org/
  　携帯から：http://www.d-pa.org/1seg/k/
  電話での問合せは出来ません。（2006年6月現在）

お知らせ

- ワンセグは放送波を受信して表示されるため、FOMAサービスの圏内／圏外に関わらず、放送波が届かない場所や時間帯（放送圏外／放送休止中）では受信できません。

■放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ARIB※の放送技術仕様で規定されているワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、視聴中の番組内のデータ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業等個人情報が含まれる場合があります。

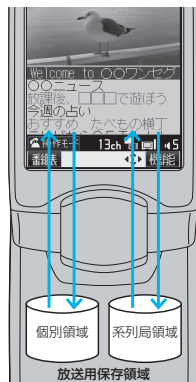
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。

※ARIB：社団法人電波産業会

放送用保存領域には、各放送局個別領域と、系列局※共通領域があります。

放送局個別領域に保存された情報は、同一放送局の番組視聴中にのみ利用することが可能です。また、系列局共通領域に保存された情報は、同一の放送局と系列内の他の放送局の番組視聴中のみ利用することが可能です。

※系列局：（例）フジテレビ、東海テレビ、関西テレビなど同一系列のテレビ局

- 放送用保存領域を消去するにはP.328参照。
  別のFOMAカードに差し替えたときは、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「NO」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域に初めて情報の保存を行う場合の画面表示
お買い上げ後、初めて放送用保存領域に情報を保存する場合、「放送用保存領域を確保しますか？　データ放送内で入力した情報等が保存され同一系列放送局で利用されます」と表示されます。「YES」を選択すると、放送用保存領域への書き込みが可能となります。「NO」を選択すると、視聴中の番組が終了するまでは放送用保存領域を利用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示
ある番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？　同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「YES」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。

■こんなこともできます

- データ放送の表示と利用
- 番組表ｉアプリの利用
- 視聴予約
- テレビリンクの利用
- ビデオや静止画の録画
- 主音声／副音声の切り替え
- 横画面での視聴
- スタイル変更による起動
- リモコン番号によるダイレクト選局

アナログテレビについて

家庭用テレビで視聴可能な地上アナログ放送（VHF／UHF）をご覧いただけます。
アナログテレビ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。（2005年12月現在）
アナログテレビ放送終了後は、アナログテレビ放送に関する機能は、お使いいただけません。

- 本機ではアナログテレビ放送の文字放送（字幕）はご覧いただけません。

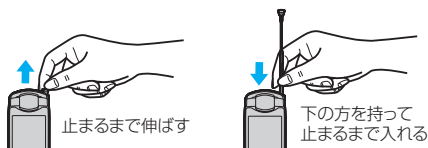
■充電しながらの視聴について
充電しながらアナログテレビを視聴する場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。（P.46参照）
充電しながら長時間アナログテレビの視聴を続けると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

■こんなこともできます

- 横画面での視聴
- スタイル変更による起動
- リモコン番号によるダイレクト選局

テレビをご利用になる前に

■アンテナについて
テレビを視聴するときは、TVアンテナまたはアンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01がアンテナの役割をします。TVアンテナは十分伸ばして視聴してください。
アナログテレビの1～12ch（VHF）を視聴するときは、アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01を接続してください。受信感度が良くなる場合があります。

- デジタルテレビでは、両方のアンテナを使うと感度が良くなる場合があります。
- テレビの映りが悪いときは、FOMA端末を体から離したり引き寄せたり、または場所を移動したりすると映りが良くなることがあります。また、TVアンテナを倒したり方向を変えたりすると映りが良くなることがあります。
- TVアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。
- アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01以外のアンテナ内蔵イヤホンの動作は保証いたしません。

■テレビの切り替えについて
デジタルテレビとアナログテレビを切り替えるには、視聴を一旦終了する必要があります。

■電池残量について
<デジタルテレビ>
電池残量が少ないときにデジタルテレビを利用しようとすると、起動するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとデジタルテレビを起動します。「NO」を選択した場合は元の画面に戻ります。
また、デジタルテレビを視聴中に電池残量が少なくなると、終了するかどうかの確認画面が表示され、「YES」を選択するとデジタルテレビを終了します。「NO」を選択した場合は視聴を継続します。
FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「LOW BATTERY」と表示されます。

- 視聴中に確認画面が表示されたときの電池残量では、30分程度の音声通話が可能です。
- デジタルテレビの録画中に電池残量が少なくなり視聴を終了した場合、それまで録画したビデオは自動的に保存されます。

<アナログテレビ>
電池残量が「」のときは、アナログテレビを利用できません。
また、アナログテレビを視聴中に電池残量が「」になると、電池残量が残り少ない旨のメッセージが表示され、アナログテレビを終了し、待受画面が表示されます。

- 状態によっては「」でも、終了したり視聴できない場合があります。

■視聴中に着信などがあったときは
デジタルテレビやアナログテレビ視聴中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します。
各機能終了後は視聴を再開できます。

- 音声電話着信
- テレビ電話着信
- ｉモードメール、SMS、メッセージR/F受信
（「受信表示設定」が「通知優先」のとき）
- アラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約の通知
（「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき）

お知らせ

- 通話中に端末のスタイルを変更して通話を終了すると、自動的にテレビ視聴を開始する場合があります。その際、テレビ用の音量でテレビの音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報（デジタルテレビから録画したビデオや静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報等）は移し替えできませんので、万一に備え、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

チャンネル設定

テレビを利用するには、あらかじめデジタルテレビ、アナログテレビそれぞれのチャンネル設定を行う必要があります。
FOMA端末では、現在その地域で受信できる放送局を自動で検索し、チャンネルリストに登録します。
各放送局には、選局のときに利用するリモコン番号があらかじめ設定されています。リモコン番号は「リモコン番号設定」でお好みの設定に変更できます。
チャンネルリストはデジタルテレビ、アナログテレビそれぞれ10件まで登録できます。
1件のチャンネルリストには、デジタルテレビは50件まで、アナログテレビは12件までの放送局が登録できます。

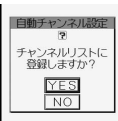
- 受信できる放送局は地域によって異なります。旅行先や出張先で自動チャンネル設定を行い、それぞれの地域別にチャンネルリストを登録しておくと、チャンネルリストを選択するだけでその地域の放送局を視聴できます。
- 自動チャンネル設定を行う際はTVアンテナを伸ばすか、アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01を接続してください。

自動チャンネル設定

1 (メニュー)▶(ツール)▶デジタルTV・アナログTV▶自動チャンネル設定▶YES

検索を開始します。
- メインメニューで(✉)(デジタルTV)または(i)(アナログTV)を押して「自動チャンネル設定」を選択しても放送局の検索を開始できます。

2 YES▶タイトルを入力▶(◉)

- 全角11文字まで、半角22文字まで入力できます。
- タイトルを入力せずに(◉)を押した場合、タイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分)
日付時刻が設定されていない場合は「----/--/-- --:--」となります。
- 新しく登録したチャンネルリストを利用するには「チャンネルリスト選択」を行ってください。

お知らせ

- すでにチャンネルリストが10件登録されているときやデジタルテレビの録画中は自動チャンネル設定できません。
- アナログテレビの場合、13件以上のチャンネルを検出した場合は、最初の12件を保存します。
- お買い上げ時はチャンネルリストが登録されていませんが、デジタルテレビは従来のチャンネルに相当する13ch～62ch、アナログテレビは1ch～12chを視聴できます。
- チャンネルの検索にかかる時間は以下のとおりです。
アナログテレビ：約14秒
デジタルテレビ
TVアンテナのみの場合：約15～160秒
アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01を接続した場合：約30～210秒
放送局の数や放送電波の状態によってかかる時間は異なり、上記の目安を超える場合もあります。
- デジタルテレビの自動チャンネル設定で、リモコン番号が同じ放送局が複数見つかったときは、リモコン番号が重複した旨のメッセージが表示されます。(◉)を押し、地域の選択画面でお使いの地域を選択してください。選択した地域の放送局がリモコン番号1～12に優先的に割り当てられ、選択しなかった地域の放送局はリモコン番号13以降に割り当てられます。
- パソコンや他の液晶テレビなどノイズの多い機器の近くで自動チャンネル設定を行うと、時間がかかる場合があります。

チャンネルリスト選択

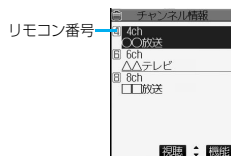
チャンネルリストを選択して、受信する放送局を設定します。
また、登録済みのチャンネルリストを編集できます。

1 (メニュー)▶(ツール)▶デジタルTV・アナログTV▶チャンネルリスト選択

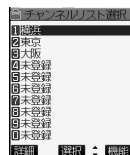
現在設定されているチャンネルリストが選択されています。
- メインメニューで(✉)(デジタルTV)または(i)(アナログTV)を押して「チャンネルリスト選択」を選択してもチャンネルリスト一覧画面を表示できます。

<チャンネルリスト一覧画面(デジタルテレビの場合)>

2 チャンネルリストを選択▶(◉)

受信するチャンネルリストが設定され、詳細画面が表示されます。
- 放送局を選択して(◉)を押すとテレビを視聴できます。
- デジタルテレビ視聴画面やアナログテレビ視聴画面の機能メニューから「チャンネルリスト選択」を選択した場合、チャンネルリストを選択すると視聴画面に戻ります。
- チャンネルリスト一覧画面で(✉)(詳細)を押し、放送局を選択してもテレビを視聴できます。

<チャンネルリスト詳細画面(デジタルテレビの場合)>

チャンネルリスト一覧画面の機能メニュー

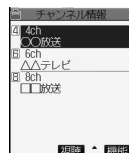
1 チャンネルリスト一覧画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

<チャンネルリスト一覧画面(デジタルテレビの場合)>

機能メニュー	内容
自動チャンネル設定	受信できる放送局を検索してチャンネルリストに登録します。 登録済みのチャンネルリストを選択した場合はチャンネルリストが更新されます。 ▶YES 検索を開始します。 P.318「自動チャンネル設定」手順2へ進みます。
タイトル編集	チャンネルリストのタイトルを編集します。 ▶タイトルを入力▶(◉) ●全角11文字まで、半角22文字まで入力できます。

テレビを見る　チャンネル設定

機能メニュー	内容
1件削除	チャンネルリストを削除します。現在設定しているチャンネルリストは削除できません。 ▶YES

チャンネルリスト詳細画面の機能メニュー

1 **チャンネルリスト詳細画面▶(機能)▶以下の操作を行う**

<チャンネルリスト詳細画面(デジタルテレビの場合)>

機能メニュー	内容
リモコン番号設定	リモコン番号に設定されている放送局を変更します。 **▶変更したい放送局を選択▶** **▶設定先のリモコン番号を選択▶** リモコン番号が変更されます。設定先のリモコン番号に放送局が登録されていた場合は放送局が入れ替わります。操作を繰り返してリモコン番号に放送局を設定します。 ●デジタルテレビでは表示されるチャンネルの数値もリモコン番号と同じ数値に変わります。 ▶(完了)▶YES
1件削除	放送局を削除します。現在設定しているチャンネルリスト内の放送局は削除できません。 ▶YES
チャンネル名編集	チャンネル名を編集します。アナログテレビのチャンネルリスト詳細画面でのみ操作できます。 **▶チャンネル名を入力▶** ●全角11文字まで、半角22文字まで入力できます。

お知らせ

<1件削除>
●チャンネルリスト内の放送局をすべて削除した場合は、チャンネルリストも削除されます。

デジタルテレビを見る

デジタルテレビを視聴します。
スイッチスタイルやビューアスタイルでデジタルテレビを起動すると、横画面で視聴できます。また、視聴中にスタイルを変更するだけで、縦画面と横画面を自動で切り替えられます。
●番組表iアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使ってデジタルテレビを起動することもできます。

1 **▶デジタルTV▶TV視聴**

前回視聴していたチャンネルでデジタルテレビが起動します。「自動チャンネル設定」を実行後は、検索したチャンネルが表示されます。(お買い上げ時は13chを表示します。)

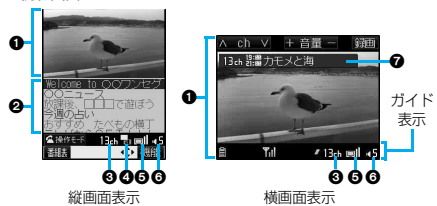
<デジタルテレビ視聴画面>

●ショートカットメニューで(デジタルTV)を選択してもデジタルテレビを起動できます。
●メインメニューで(デジタルTV)を押してデジタルTVメニューを表示し、「TV視聴」を選択してもデジタルテレビを起動できます。
●「サイドTVボタン設定」を「デジタルTV」に設定しているときは、待受画面でTVを1秒以上押してもデジタルテレビを起動できます。
●視聴を終了するときはを押して「YES」を選択します。(ビューアスタイルでは終了できません。)

■スイッチスタイルでデジタルテレビを起動するには
1.待受画面でTVを1秒以上押す
横画面でデジタルテレビが起動します。
●あらかじめ「サイドTVボタン設定」を「デジタルTV」に設定しておいてください。
●ノーマルスタイルでデジタルTVメニュー表示中やチャンネルリスト詳細画面表示中にスイッチスタイルに変更してもデジタルテレビを起動できます。
●「スタイル連動設定」を「デジタルTV」に設定しているときは、待受画面でノーマルスタイルからスイッチスタイルに変更してもデジタルテレビを起動できます。

■ビューアスタイルでデジタルテレビを起動するには
1.待受画面でTVを1秒以上押す
横画面でデジタルテレビが起動します。
●あらかじめ、「サイドTVボタン設定」を「デジタルTV」に設定しておいてください。
●ノーマルスタイルでデジタルTVメニュー表示中にビューアスタイルに変更してもデジタルテレビを起動できます。
●「スタイル連動設定」を「デジタルTV」に設定しているときは、待受画面でノーマルスタイルからビューアスタイルに変更してもデジタルテレビを起動できます。

次ページにつづく

■視聴画面について

❶映像　❷データ放送　❸チャンネル
❹操作モード
映像モード：映像、音声を操作します。（P.319参照）
データ放送モード：データ放送を操作します。（P.324参照）
❺放送電波の受信レベル
（弱）〜（強）
放送圏外の場合は「」が表示されます。
❻音量
❼番組情報（概要）
チャンネル、開始・終了時間、番組名が表示されます。
ボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときに表示されます。

- アナログテレビの視聴画面では❶❸❻のみ表示されます。
- 横画面では、「ピクト常時表示設定」をOFFに設定していると、ガイド表示はボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときのみ表示されます。
- ビューアスタイル時のナビゲーション表示は、ボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときに表示されます。スイッチスタイルではナビゲーション表示は表示されません。

お知らせ

- チャンネルサーチなどで選局したときは、❸や❼にチャンネルが表示されない場合があります。

■チャンネルの切り替え
下記の操作でチャンネルを切り替えられます。

操作	ボタン操作
順送り選局	またはを押します。※
ダイレクト選局	〜、、を押してリモコン番号を入力します。
	リモコン番号 1〜9：〜
	10：または（続けて押す）
	11：または（続けて押す）
	12：または（続けて押す）
	13〜62：〜で2桁の番号を入力します。例）リモコン番号13を選局するにはと押します。
チャンネルサーチ	受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。を1秒以上またはを1秒以上押します。 ●、、を押すと検索を中止します。

※横画面で視聴している場合、を押すと番組情報（概要）が表示され、続けてを押すと、チャンネルが切り替わります。

■視聴時の操作
デジタルテレビの視聴画面から、下記の操作を行えます。

操作	ボタン操作
音量調節	またはを押します。押し続けると連続して音量が調節できます。※1
消音	を押します。再度を押すか音量調節を行うと音が出ます。※2
番組表ｉアプリ起動	を押します。※3
番組情報表示	を1秒以上押します。※3
ビデオ録画	を1秒以上押します。
静止画録画	を押します。
操作モード切替	映像モードとデータ放送モードを切り替えます。を押します。

※1 データ放送モードでは、でのみ音量調節できます。
※2 映像モードでのみ操作できます。
※3 ノーマルスタイルでのみ操作できます。

お知らせ

- お買い上げ時の音量はレベル5に設定されています。音量はレベル0〜9まで設定でき、次回からは設定した音量で聞こえます。（音量はデジタルテレビ、アナログテレビ共通の設定です。）
- 「クローズ音声継続設定」が「ON」の場合、視聴中にFOMA端末を閉じても音声を聞けます。閉じた状態では音量調節以外の操作はできません。
- 電波の状態などにより、以下のようになることがあります。
  - ・音声がとぎれる　・データ放送が操作できない
  - ・映像にブロック状のノイズが入る、または停止する
  - ・映像やデータ放送が表示されない（黒い画面が表示される）
- 番組によっては、映像の上下、左右が切り取られて表示される場合があります。
- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- 場所を移動すると、山やビルの影響で受信できる放送電波や放送局が異なる場合があります。移動して映りが悪くなった場合、自動チャンネル設定を行うと違った放送電波により映りがよくなったり、異なった放送局にて視聴できる場合があります。
- 場所を移動したときなどにチャンネルサーチで選局を行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が見つかる場合があります。見つかった放送局を「チャンネル追加登録」で登録すると、次回から視聴できます。
- デジタルテレビ起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。

デジタルテレビ視聴画面の機能メニュー

1 **デジタルテレビ視聴画面▶（機能）▶以下の操作を行う**

<デジタルテレビ視聴画面>

機能メニュー	内容
チャンネル情報	選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。放送局を選択すると選択した放送局に切り替わります。 ●確認が終わればを押します。
番組情報表示	視聴している番組の情報を表示します。 ●デジタルテレビ視聴画面でを1秒以上押しても番組情報を表示できます。 ●確認が終わればを押します。 ●番組情報を取得できていないときは表示できません。

機能メニュー	内容
コンテンツ画面切替	データ放送画面の半画面表示、全画面表示を切り替えます。（P.324参照）
チャンネルリスト選択	P.318「チャンネルリスト選択」手順2へ進みます。
自動チャンネル設定	現在その地域で受信できる放送局を自動で検索し、チャンネルリストに登録します。 ▶**YES** P.318「自動チャンネル設定」手順2へ進みます。
テレビリンクリスト	テレビリンク一覧画面を表示します。（P.324参照）
横画面拡大表示設定	ビューアスタイル、スイッチスタイルでデジタルテレビを視聴するとき、映像を拡大表示するかどうかを設定します。（P.327参照）
音声調整	視聴時の音声を設定します。（P.327参照）
音声イヤホン切替 テレビ起動時 イヤホン	アンテナ内蔵ステレオイヤホンセットP01接続時の音声の出力先を設定します。 **イヤホン . . . 接続時はイヤホンから、未接続時はスピーカから音声を出力します。** **スピーカ. . . .スピーカから音声を出力します。**
主／副音声設定 デジタルテレビ起動時 主音声	▶**音声を選択**▶◉
音声切替	音声を切り替えます。切り替えできる音声があるときのみ操作できます。 ▶**音声を選択**▶◉
ステレオ／モノラル設定 デジタルテレビ起動時 ステレオ	音声をステレオ再生するかモノラル再生するかを設定します。 ▶**ステレオ・モノラル** ●「ステレオ」に設定していても、横画面での視聴時はスピーカが画面の上下に位置するため、ステレオ感がなくなります。
クローズ音声継続設定	視聴中にFOMA端末を閉じたときに、音声の出力を継続するかどうかを設定します。（P.328参照）
番組表表示	番組表ｉアプリを起動します。（P.321参照）
液晶AI	映像の動きや明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを自動で調整できます。 ▶**ON・OFF** ●ここでの設定は視聴を終了するまで有効です。テレビ起動時の設定は「液晶AI」（P.128参照）の設定に従います。
操作モード切替 デジタルテレビ起動時 映像モード	ノーマルスタイルで視聴中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。 ●デジタルテレビ視聴中にを押しても映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
コンテンツ再読み込み	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
証明書表示	SSL通信で使用している証明書を確認します。（P.197参照）
画像表示設定	データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。（P.213参照）
効果音設定	データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。（P.328参照）
サービス選局	同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。 ▶**チャンネルを選択**▶◉
明るさ設定	ディスプレイのバックライトの明るさをレベル1（暗い）～レベル3（明るい）で設定します。 ▶**明るさを選択**▶◉ ●ここでの設定は、テレビ視聴を終了するまで有効です。テレビ起動時の設定は、「照明設定」（P.127参照）の「明るさ」の設定に従います。
ピクト常時表示設定	横画面で視聴するときにピクト表示を行うかどうかを設定します。（P.328参照）
データ放送へ戻る	データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。
チャンネル追加登録	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。 ▶**YES**

お知らせ

<チャンネル追加登録>
- リモコン番号13以降で空いているリモコン番号の中で、最も小さいリモコン番号に登録されます。
- すでに同じ放送局が登録されている場合は上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると上書き登録されます。
- チャンネルリストが設定されていない場合は登録できません。

番組表ｉアプリについて

番組表ｉアプリを利用して、番組表から番組を選択してデジタルテレビを起動したり、視聴予約を行ったりできます。

番組表ｉアプリを起動する

1 ▶ツール▶**デジタルTV**▶**番組表**

- ショートカットメニューで番組表を選択しても番組表ｉアプリを起動できます。
- メインメニューで（デジタルTV）を押して「番組表」を選択しても番組表ｉアプリを起動できます。
- デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「番組表表示」を選択しても番組表ｉアプリを起動できます。
- デジタルテレビ視聴画面で（番組表）を押しても番組表ｉアプリを起動できます。
- 番組表ｉアプリ画面で（TV起動）を押すと、選択しているチャンネルで現在放送している番組を視聴できます。
- 番組表ｉアプリを終了するにはを押して「YES」を選択します。
- 詳しくは「ｉモード操作ガイド」をご覧ください。

お知らせ

- 初めて番組表ｉアプリを利用するときは、初期設定をする必要があります。
- 番組表ｉアプリは「ソフト設定」の「番組表ボタン設定」で設定できます。

＜視聴予約＞

デジタルテレビの視聴を予約する

デジタルテレビの視聴予約を行います。設定した日時にアラームで番組の開始をお知らせします。「連携起動設定」を「ON」に設定しておくと、予約アラーム通知の画面から直接デジタルテレビを起動できます。

- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使って視聴予約を登録することもできます。
- FOMA端末では録画予約はできません。

視聴予約を登録する

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約を登録します。視聴予約は100件まで登録できます。

1 メニュー▶ ツール ▶デジタルTV▶視聴予約

- ショートカットメニューで 視聴予約 を選択しても視聴予約一覧画面を表示できます。
- メインメニューで ✉（デジタルTV）を押して「視聴予約」を選択しても視聴予約一覧画面を表示できます。
- 登録済みの視聴予約を選択すると、登録内容を確認できます。

＜視聴予約一覧画面＞

2 ✉（新規）▶以下の操作を行う

項目	内容
（開始日時）	視聴を開始する日付、時刻を入力します。 直接入力．．．日付、時刻をダイヤルボタンで直接入力し、◉を押します。 カレンダーから入力 ．．．．．．．．．．カレンダーが表示されますので、◎で日付を選択し、◉を押します。ダイヤルボタンで時刻を入力し、◉を押します。
ch（チャンネル）	▶チャンネルを選択▶◉
名（番組名）	▶番組名を入力▶◉ ●全角48文字、半角96文字まで入力できます。
（繰り返し）	設定なし．．．繰り返さない（1回のみ）設定になります。繰り返しの設定が終了します。 毎日．．．．．．毎日同じ時刻、チャンネルの視聴を予約します。繰り返しの設定が終了します。 曜日指定．．．指定した曜日に視聴予約を設定します。 ●繰り返し（毎日／曜日指定）を設定した視聴予約も1件としてカウントされます。 ▶設定したい曜日にチェック▶✉（完了） ●◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 ●少なくとも1つの曜日を選択してください。
（アラーム通知）	通知する．．．．．．．開始日時に設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する．．．開始日時に設定した時刻の前にアラームで通知します。 通知しない．．．．．通知しません。通知の設定が終了します。 ▶事前通知時間を選択▶◉
♪（アラーム音）	▶フォルダを選択▶◉▶アラーム音を選択▶◉ ●アラーム音を鳴らさない場合は「OFF」を選択します。
（アラーム音量）	▶◎で音量を調節▶◉ ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
（連携起動設定）	「ON」に設定すると予約アラーム通知の画面から直接デジタルテレビを起動できます。 ▶ON・OFF

3 ✉（完了）を押す

お知らせ

- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどの中に表示されている番組などの情報を使って視聴予約を登録することもできます。その場合、開始日時、チャンネル、番組名があらかじめ入力された状態で視聴予約登録の画面が表示される場合があります。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻のみです。視聴予約の開始日時に設定した日時にはアラーム通知は行われません。
- 同じ日時に予約アラーム通知を行う視聴予約を複数登録した場合、予約アラーム通知時にはあとから登録した視聴予約の通知が優先されます。
- 予約アラーム通知日時を過ぎた視聴予約は自動的に削除されます。ただし、繰り返しを設定した予約や、「通知しない」に設定した予約は削除されません。また、通知日時に「視聴予約」機能を起動していた場合も削除されません。
- チャンネルリストが設定されていない場合、視聴予約はできません。

視聴予約一覧画面の機能メニュー

1 視聴予約一覧画面▶ ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
新規登録	P.322手順2へ進みます。
編集	P.322手順2へ進みます。 ●✉（編集）を押しても編集できます。
ソート	並べ替えて表示します。 ▶表示したい順番を選択▶◉
1件削除	▶YES
過去削除	予約アラーム通知日時が現在の日付、時刻より前に設定されている視聴予約を削除します。 ▶YES

機能メニュー	内容
選択削除	▶削除したい視聴予約にチェック ▶ⓜ（完了）▶YES ● ◉ を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。ⓘ（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶ ◉ ▶YES

■視聴予約のアラームを設定しているときは

視聴予約のアラームを設定しているとデスクトップにアイコンが表示されます。

「🔔」. . .当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合に表示されます。

「🔔」. . .明日以降の設定のみの場合に表示されます。

●「正面時計設定」の「表示方法」を「OFF」に設定した場合や、視聴予約を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

■視聴予約で設定した時刻になると

設定した時刻になるとアラーム音が約5分間鳴ってお知らせします。通話中のときは、受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。画面には、設定した開始日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されます。

●操作中は

「アラーム通知設定」で操作中の通知のしかたを設定できます。（P.375参照）

「操作優先」. . .操作中は通知しません。

「通知優先」. . .常に通知します。

●予約アラーム通知の設定を「アラーム」、「ToDo」、「スケジュール」と同じ時刻にしたときは

「アラーム」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。通知できなかった視聴予約については「未視聴予約あり」アイコンを表示してお知らせします。

●電源OFFのときは

設定した時刻になっても予約アラーム通知はしません。電源をONにしたあとも「未視聴予約あり」アイコンは表示されません。

●マナーモード中は

設定した時刻になるとバイブレータとメッセージ表示でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「電話着信音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。

●オールロック中、PIMロック中は

「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になっても予約アラーム通知はしません。オールロックやPIMロック解除後に「未視聴予約あり」アイコンを表示してお知らせします。

●SD-PIM動作中は

「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になっても予約アラーム通知はしません。

SD-PIM動作終了後に「未視聴予約あり」アイコンを表示してお知らせします。

●FOMAカード（UIM）操作中は

「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になっても予約アラーム通知はしません。

FOMAカード（UIM）操作終了後に「未視聴予約あり」アイコンを表示してお知らせします。

●ソフトウェア更新中は

「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になっても予約アラーム通知はしません。

書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後も「未視聴予約あり」アイコンは表示されません。

●赤外線通信中は

「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になっても予約アラーム通知はしません。

赤外線通信終了後に「未視聴予約あり」アイコンを表示してお知らせします。

■アラーム音／予約アラームメッセージ・アニメーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押すとアラーム音が停止し、アニメーションの動きも止まります。「連携起動設定」が「OFF」の場合、予約アラームメッセージの表示を消すにはもう一度いずれかのボタンを押します。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンで予約アラームメッセージの表示は消せません。また、予約アラーム通知中に電話がかかってきたときはアラーム音が停止し、予約アラームメッセージやアニメーションの表示も消えます。

■連携起動設定を「ON」に設定しているときは

予約アラーム通知画面で ◉（ビューアスタイルの場合は ⓣⓥ）を押して「YES」を選択するとデジタルテレビが起動し、視聴予約した番組を視聴できます。

デジタルテレビ録画中に視聴予約した番組の視聴を開始すると、それまでに録画したビデオが自動的に保存され、視聴予約した番組を表示します。

■「予約アラーム通知」ができなかったときは

予約アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未視聴予約あり」アイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかった予約アラームの内容（未視聴予約情報）を確認できます。

未視聴予約情報は通知できなかった最新のものを表示します。

1. 待受画面▶ ◉

表示されているアイコンが選択できるようになります。

2. アラーム を選択▶ ◉

●未視聴予約情報画面には、視聴予約に登録したときに設定した日時、チャンネル、番組名が表示されます。

● PWR/HLD または クリア を押すと元の状態に戻ります。

●未視聴予約情報画面で ◉（ビューアスタイルの場合は ⓣⓥ）を押してもデジタルテレビを起動できます。

●未視聴予約情報を確認すると、「未視聴予約あり」アイコンは消えます。

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定している場合、待受画面以外で予約アラーム時刻になったときはアラーム通知されません。

●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中に予約アラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中に予約アラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。

●アイコンを削除すると、未視聴予約情報は確認できなくなります。

＜データ放送＞

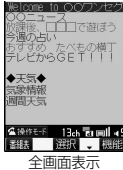
データ放送を利用する

デジタルテレビでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

1 デジタルテレビ視聴画面（映像モード）▶(📞🔈)

「📺」が表示され、データ放送モードに切り替わります。

- (📞🔈)を押すたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「操作モード切替」を選択しても映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- データ放送モード中もデジタルテレビの音声は流れます。
- デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「コンテンツ画面切替」を選択すると、データ放送を半画面表示、全画面表示に切り替えられます。

半画面表示

全画面表示

2 項目（リンク先）を選択▶◉

- データ放送、データ放送サイトによっては、iモード接続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- サイト表示中の操作についてはP.194参照。

お知らせ

- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- 放送用保存領域内の放送局個別領域がすでに8つ使用されているときに、新たな放送局が放送局個別領域に書き込みを行おうとした場合、保存されている項目を削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると削除する項目を選択する画面が表示されます。項目を選択し、「YES」を選択すると新しい項目を保存できます。
- データ放送、データ放送サイトからiモードサイトへ接続を行った場合、サイトは全画面で表示され、デジタルテレビの映像、音声は表示・再生されません。
- データ放送、データ放送サイトによっては表示中に音声が鳴ることがあります。その場合、テレビ放送の音声が一時的に停止し、データ放送の音声が優先して再生されます。
- データ放送、データ放送サイトを表示中に、サイトで入力した内容を送信したり、携帯電話情報の取得を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。情報を送信したり、取得を許可する場合は「YES」を選択します。
- デジタルテレビ視聴中に放送電波が不安定な場所で移動すると、映像およびデータ放送・データ放送サイトが自動的に更新される場合があります。その場合、データ放送のトップページが表示され、データ放送・データ放送サイトへ接続して入力した情報はクリアされます。データ放送・データ放送サイトを利用するときは、放送電波が安定した場所でご利用ください。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

データ放送サイトで反転表示された情報を利用して簡単な操作で電話発信、メール送信などの機能が利用できます。項目（リンク先）を選択し◉を押すと、それぞれの機能を利用できます。

お知らせ

- データ放送、データ放送サイトによっては、自動的にiモードメール作成や電話帳登録などの機能が起動する場合があります。機能を利用するかどうかの確認画面で「YES」を選択すると、それぞれの機能を利用できます。

＜テレビリンク＞

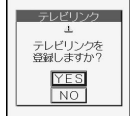
テレビリンクを使う

データ放送、データ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。テレビリンクに登録しておくと、直接目的のサイトやメモ情報を表示できます。

テレビリンクに登録する

テレビリンク登録可能な項目（リンク先）を選択すると、テレビリンクに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
テレビリンクは50件まで登録できます。

1 テレビリンク登録可能な項目（リンク）を選択▶◉
▶YES

- 同じURLやメモ情報を登録しようとした場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

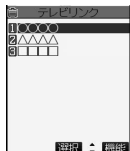
- 登録できる1件あたりのURLの文字数は半角60文字までです。URLの文字数がそれ以上あるときは登録できません。
- タイトルは全角20文字まで、半角40文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、一覧画面ではURLが表示されます。
- テレビリンクに登録時は、サイトで入力した内容は登録されません。
- すでにテレビリンクが最大保存件数まで登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、不要なテレビリンクを削除してから登録してください。

テレビリンクからサイトやメモ情報を表示する

1 (メニュー)▶(ツール)▶デジタルTV▶テレビリンク▶表示したいテレビリンクを選択▶◉

- デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「テレビリンクリスト」を選択してもテレビリンク一覧画面を表示できます。
- ショートカットメニューで(テレビリンク)を選択してもテレビリンク一覧画面を表示できます。
- メインメニューで(✉)(デジタルTV)を押して「テレビリンク」を選択してもテレビリンク一覧画面を表示できます。

＜テレビリンク一覧画面＞

テレビを見る／データ放送

■テレビリンク一覧画面のアイコンについて
テレビリンクの種別により以下のアイコンが表示されます

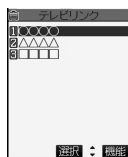
	メモ情報	メモ情報を表示
	リンク通信コンテンツ	データ放送サイトに接続
	ｉモードコンテンツ	ｉモードサイトに接続

●リンク通信コンテンツを選択した場合、データ放送の画面が全画面表示されます。ｉモードコンテンツを選択した場合、ｉモードサイトに接続します。接続するかどうかの確認画面で「YES」を選択します。

お知らせ

●テレビリンクを使ってサイトを表示させると、次回はそのテレビリンクがテレビリンク一覧画面の先頭に表示されます。
●データ放送、データ放送サイトによっては、サイトを表示したときに自動的にテレビリンク一覧画面を表示するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「YES」を選択するとテレビリンク一覧画面が表示されます。
●録画中はテレビリンクからデータ放送サイトに接続できません。
●情報が自動的に更新されない場合がありますので、その場合は「コンテンツ再読み込み」を行ってください。

テレビリンク一覧画面の機能メニュー

1 テレビリンク一覧画面▶ (機能)▶以下の操作を行う

<テレビリンク一覧画面>

機能メニュー	内容
詳細表示	テレビリンクのタイトル、URL、概要、コンテンツ種別を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。
登録件数確認	登録されているテレビリンクの件数を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいテレビリンクにチェック ▶ (完了) ▶YES ● を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 (機能) を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶ ▶YES

デジタルテレビを録画する

デジタルテレビを視聴中に、番組をビデオまたは静止画として保存します。
●デジタルテレビには、コピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。
●コピー制御信号が「1回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」の番組は録画できます。ただし、FOMA端末外へは出力できません。
●録画中にコピー制御信号が録画不可（コピーネバー）に変化した場合、録画を終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

ビデオ録画

録画したビデオは本体の「ビデオ」に保存されます。
録画できるのは、合計最大約30分※です。
※映像200kbps、音声48kbpsの場合の目安です。
●録画したビデオを再生するにはP.347参照。

1 デジタルテレビ視聴画面▶ (1秒以上)

確認音が鳴り、「●REC」が表示され、録画を開始します。
●電波の受信レベルが「 」以外のときはビデオ録画できません。
●録画中はチャンネルを変えられません。

2 を押す

確認音が鳴り、録画を終了します。ビデオが自動的に保存されます。
●FOMA端末内の保存領域がいっぱいになると、自動的に録画を終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

お知らせ

●電波状況によっては、保存したデータの再生時間が録画した時間より短くなる場合があります。
●録画中に着信があっても、録画は中断されません。
●録画中に電波状況が「 」以外になったときは、録画は継続されますが、その間の映像・音声は保存されません。
●録画中に電池パックが外れた場合、それまでに録画したデータが保存されない場合があります。
●放送局、番組によっては、録画開始操作の少し前からの映像・音声が保存される場合があります。
●放送局、番組によって最大録画可能時間は異なり、30分より短くなる場合があります。
●ビデオの保存領域がいっぱいの場合は録画できません。また、保存領域の残りが少ない場合、録画できない場合があります。不要なビデオを削除してから再度操作してください。ビデオの削除についてはP.348参照。
●保存されたビデオのファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
・ファイル名：YYYYMMDDhhmm
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
movie（日付時刻が未設定の場合）
・タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
----/--/-- --:--（日付時刻が未設定の場合）
●録画したビデオは待受画面や着信音、着信画面などには設定できません。
●保存中にビューアスタイルに切り替えると操作できなくなる場合があります。保存中はスタイルを変更しないでください。
●データ放送はビデオ録画できません。

静止画録画

録画した静止画は「マイピクチャ」の「TVイメージ」に保存されます。約90件※保存できます。
※1件30Kバイトの画像の場合の目安です。
●録画した静止画を再生するにはP.330参照。

1 デジタルテレビ視聴画面▶(TV)

確認音が鳴り、静止画が自動的に保存されます。
●電波の受信レベルが「」以外のときは静止画録画できません。

お知らせ

●保存された静止画のファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
・ファイル名：YYYYMMDDhhmmXXX
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
imageXXX（日付時刻が未設定の場合）
(Xは数字です。)
・タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
----/--/-- --:--（日付時刻が未設定の場合）
●録画した静止画はピクチャ貼付できません。
●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
●保存中にビューアスタイルに切り替えると操作できなくなる場合があります。保存中はスタイルを変更しないでください。
●データ放送は静止画録画できません。

アナログテレビを見る

アナログテレビを視聴します。
スイッチスタイルやビューアスタイルでアナログテレビを起動すると、横画面で視聴できます。また、視聴中にスタイルを変更するだけで、縦画面と横画面を自動で切り替えられます。
アナログテレビは連続して約1時間視聴すると、自動的に終了します。
●アナログテレビでは以下の機能は利用できません。
・視聴予約
・録画
・番組表 i アプリ

1 (メニュー)▶ ツール ▶アナログTV▶TV視聴

前回視聴していたチャンネルでアナログテレビが起動します。「自動チャンネル設定」を実行後は、検索したチャンネルが表示されます。（お買い上げ時は1chを表示します。）
●ショートカットメニューで アナログTV を選択してもアナログテレビを起動できます。

＜アナログテレビ視聴画面＞

●メインメニューで(アナログTV)を押してアナログTVメニューを表示し、「TV視聴」を選択してもアナログテレビを起動できます。
●「サイドTVボタン設定」を「アナログTV」に設定しているときは、待受画面で(TV)を1秒以上押してもアナログテレビを起動できます。
●視聴を終了するときは(PWR)を押して「YES」を選択します。（ビューアスタイルでは終了できません。）
●視聴画面についてはP.320参照。

■スイッチスタイルでアナログテレビを起動するには

1.待受画面で(TV)を1秒以上押す
横画面でアナログテレビが起動します。
●あらかじめ「サイドTVボタン設定」を「アナログTV」に設定しておいてください。
●ノーマルスタイルでアナログTVメニュー表示中やチャンネルリスト詳細画面表示中にスイッチスタイルに変更してもアナログテレビを起動できます。
●「スタイル連動設定」を「アナログTV」に設定しているときは、待受画面でノーマルスタイルからスイッチスタイルに変更してもアナログテレビを起動できます。

■ビューアスタイルでアナログテレビを起動するには

1.待受画面で(TV)を1秒以上押す
横画面でアナログテレビが起動します。
●あらかじめ「サイドTVボタン設定」を「アナログTV」に設定しておいてください。
●ノーマルスタイルでアナログTVメニュー表示中にビューアスタイルに変更してもアナログテレビを起動できます。
●「スタイル連動設定」を「アナログTV」に設定しているときは、待受画面でノーマルスタイルからビューアスタイルに変更してもアナログテレビを起動できます。

■チャンネルの切り替え

下記の操作でチャンネルを切り替えられます。

操作	ボタン操作
順送り選局	(左右)または(∧)(∨)を押します。
ダイレクト選局	リモコン番号（(1)〜(9)、(*)、(0)、(#)）に対応するボタンを押します。
チャンネルサーチ	受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。 (左右)を1秒以上または(∧)(∨)を1秒以上押します。 ●(メール)、(クリア)、(∨)を押すと検索を中止します。

■視聴時の操作

アナログテレビの視聴画面から、下記の操作を行えます。

操作	ボタン操作
音量調節	(上下)または(▲)(▼)を押します。押し続けると連続して音量が調節できます。
消音	(クリア)を押します。 再度(クリア)を押すか音量調節を行うと音が出ます。

お知らせ

●お買い上げ時の音量はレベル5に設定されています。音量はレベル0〜9まで設定でき、次回からは設定した音量で聞こえます。（音量はデジタルテレビ、アナログテレビ共通の設定です。）
●「クローズ音声継続設定」が「ON」の場合、視聴中にFOMA端末を閉じても音声を聞けます。閉じた状態では音量調節以外の操作はできません。
●電波の状態などにより、放送を受信できない場合があります。
●アナログテレビでは、放送受信レベルは表示されません。

テレビを見る
アナログテレビを見る

アナログテレビ視聴画面の機能メニュー

1 アナログテレビ視聴画面▶i（機能）▶以下の操作を行う

＜アナログテレビ視聴画面＞

機能メニュー	内容
チャンネル情報	選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。放送局を選択すると選択した放送局に切り替わります。 ●確認が終われば クリア を押します。
チャンネルリスト選択	P.318「チャンネルリスト選択」手順2へ進みます。
自動チャンネル設定	現在その地域で受信できる放送局を自動で検索し、チャンネルリストに登録します。 ▶**YES** P.318「自動チャンネル設定」手順2へ進みます。
音声イヤホン切替	アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット P01接続時の音声の出力先を設定します。（P.321参照）
クローズ音声継続設定	視聴中にFOMA端末を閉じたときに音声の出力を継続するかどうかを設定します。（P.328参照）
選局モード切替 アナログテレビ起動時 チャンネルリスト選局	順送り選局時に、チャンネルリストに登録されているチャンネルのみ選局するか、すべてのチャンネルを選局するか設定します。 **チャンネルリスト選局** . . . .**チャンネルリストに登録されているチャンネルのリモコン番号順に選局します。** **マニュアル選局** . . . .**1～62の順にすべてのチャンネルを選局します。**
チャンネル追加登録	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。 ▶**YES**
液晶AI	映像の動きや明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを自動で調整できます。（P.321参照）
明るさ設定	ディスプレイの明るさを設定します。（P.321参照）
ピクト常時表示設定	横画面で視聴するときにピクト表示を行うかどうかを設定します。（P.328参照）

お知らせ

＜チャンネル追加登録＞
- チャンネルリスト詳細画面の未登録の一番上に登録されます。
- チャンネルリスト詳細画面に未登録部分がない場合や、チャンネルリストが設定されていない場合は登録できません。

＜ユーザ設定＞

テレビに関する各種設定をする

デジタルテレビやアナログテレビの映像や音声について設定します。

デジタルのみ . . . .デジタルテレビのユーザ設定を選択した場合のみ設定できる項目です。
共通 . . . .デジタルテレビ、アナログテレビ共通の設定です。どちらか一方の設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

1 メニュー▶ツール▶デジタルTV・アナログTV▶ユーザ設定▶以下の操作を行う

- メインメニューで ✉（デジタルTV）または i（アナログTV）を押して「ユーザ設定」を選択しても以下の操作を行えます。

項目	内容
照明設定 お買い上げ時 常時点灯 共通	視聴中のディスプレイのバックライトの点灯について設定します。 **常時点灯. . . バックライトを常時点灯します。設定が終了します。** **時間設定. . . バックライトを設定した時間点灯します。** ▶**点灯継続時間（分）を入力** ●「01」～「30」の2桁を入力します。 ●設定されている点灯継続時間を変更しない場合は、点灯継続時間を入力せずに ◉ を押します。
横画面拡大表示設定 お買い上げ時 オート デジタルのみ	ビューアスタイル、スイッチスタイルで映像が16：9のデジタルテレビ放送を視聴するときに、映像を拡大表示するかどうかを設定します。 ▶**ON・オート** ●デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「横画面拡大表示設定」を選択しても設定できます。
音声調整（自動音量設定） お買い上げ時 ON デジタルのみ	小さな音を大きくして聞き取りやすくするかどうかを設定します。 ▶**自動音量設定▶ON・OFF** ●デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「音声調整」を選択し、「自動音量設定」を選択しても設定できます。
音声調整（音声モード切替） お買い上げ時 ノーマル デジタルのみ	音質を変更します。アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット P01を接続しているときに効果が得られます。 ▶**音声モード切替** **ノーマル. . . . . . .受信したままの音質。** **ダイナミック . . .メリハリ感を強調しダイナミックな音にします。** **ボイス . . . . .会話を聞き取りやすくします。** **トレイン. . . . . . .音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。** ●デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「音声調整」を選択し、「音声モード切替」を選択しても設定できます。
音声調整（サラウンド設定） お買い上げ時 OFF デジタルのみ	音声にサラウンド効果をかけるかどうかを設定します。 ▶**サラウンド設定▶ON・OFF** ●デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「音声調整」を選択し、「サラウンド設定」を選択しても設定できます。

次ページにつづく

項目	内容
クローズ音声継続設定 お買い上げ時 ON 共通	視聴中にFOMA端末を閉じたときに、音声の出力を継続するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「OFF」に設定した場合、FOMA端末を閉じると音声は消音されます。FOMA端末を開き、◉を押すと再び音声が鳴ります。 ●デジタルテレビ視聴画面やアナログテレビ視聴画面の機能メニューから「クローズ音声継続設定」を選択しても設定できます。 ●「ON」に設定した場合、視聴中にFOMA端末を閉じるとプライベートウィンドウに情報が表示されます。
画像表示設定 デジタルのみ	データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。（P.213参照）
効果音設定 お買い上げ時 ON デジタルのみ	データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●デジタルテレビ視聴画面の機能メニューから「効果音設定」を選択しても設定できます。
ピクト常時表示設定 お買い上げ時 ON 共通	ビューアスタイル、スイッチスタイルで視聴中のガイド表示（P.320参照）を常時行うかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●デジタルテレビ視聴画面やアナログテレビ視聴画面の機能メニューから「ピクト常時表示設定」を選択しても設定できます。 ●「OFF」に設定すると、デジタルテレビの横画面視聴時、電波の状態が悪いと何も表示されず黒い画面になる場合があります。
TV設定確認	ユーザ設定を確認します。 ●確認が終われば クリア を押します。
チャンネル設定初期化	チャンネル設定を初期化します。 デジタルテレビのユーザ設定から選択した場合はデジタルテレビのチャンネルリストを、アナログテレビのユーザ設定から選択した場合はアナログテレビのチャンネルリストを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES
放送用保存領域消去 デジタルのみ	放送用保存領域を消去します。 ▶ i (機能) 1件削除 . . . 放送用保存領域のうち、選択した系列放送局の領域のみを削除します。 全削除. . . . . 放送用保存領域に作成されたすべての系列放送局の領域を削除します。 ▶YES ●「全削除」を選択した場合、端末暗証番号を入力し、◉を押します。
TV設定リセット	ユーザ設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

<サイドTVボタン設定>

サイドTVボタンでテレビを起動する

お買い上げ時	デジタルTV

待受画面で TV を1秒以上押したとき、デジタルテレビを起動するかアナログテレビを起動するかを設定します。

1 メニュー▶ 設定 ▶その他▶サイドTVボタン設定▶デジタルTV・アナログTV

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。サイトから取得したデータなどが、種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。
また、各項目内にはデータを活用するための便利な機能が搭載されています。

マイピクチャ		
ｉモード		ダウンロードした静止画など
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
デコメールピクチャ		デコメール作成で使用できる静止画
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
miniSD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からエクスポートしたDCF規格に準ずるJPEG形式の画像
	イメージボックス	パソコンなどで書き込んだGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
フレーム		フレームに使用できる静止画
スタンプ		マーカースタンプ、マジックスタンプに使用できる静止画
TVイメージ		デジタルテレビから録画した静止画
ｉモーション		
ｉモード		サイトから取得したｉモーションなど
カメラ		カメラで録画したｉモーションや撮影したキャラ電ムービーなど
プリインストール		お買い上げ時に登録されているｉモーション
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内のｉモーション
miniSD		カメラで撮影した動画やFOMA端末からエクスポートした動画
プログラム		ｉモーション連続再生機能
メロディ		
ｉモード		ダウンロードしたメロディなど
プリインストール		お買い上げ時に登録されているメロディ
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内のメロディ
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
プログラム		メロディ連続再生機能
キャラ電		
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電		
ビデオ		
デジタルテレビから録画したビデオ		

※「フォルダ追加」「フォルダ名編集」により表示されるフォルダ名は異なります。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

＜ピクチャビューア＞ メニュー 4 6
画像を表示する

FOMA端末内またはminiSDメモリーカード内に保存した静止画を表示します。FOMA端末ではJPEGファイル、GIFファイル、Flash画像を表示できます。ただし、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 メニュー ▶ データBOX ▶ **マイピクチャ**

- カメラメニューで「マイピクチャ」を選択してもピクチャビューアを起動できます。
- ショートカットメニューで TVイメージ を選択すると、「TVイメージ」フォルダ内の静止画を表示できます。

＜静止画フォルダ一覧画面＞

2 **フォルダを選択▶**◉**▶ファイルを選択▶**◉

- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に✉（デモ）を押して静止画を確認できる場合があります。

＜静止画一覧画面＞

■静止画再生時の操作
静止画の再生画面から、下記の操作を行えます。

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	◉を押します。
前のファイルを表示※1	◉を押します。
等倍表示※2	◉（等倍）を押します。再度◉（戻る）を押すと元に戻ります。

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズにより操作できない場合があります。

■静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※、GIF、Flash
画素数	1632×1224ドット以下のファイル
拡張子	jpg、gif、swf、ifm

※再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

■静止画フォルダー覧画面で「miniSD」を選択したときは

1.ピクチャ . . カメラで撮影した静止画やエクスポートした静止画を表示します。
イメージボックス
. . . . パソコンなどで書き込んだ静止画やアニメーションGIF画像を表示します。

2.フォルダを選択▶ ◉
静止画の一覧が表示されます。

<miniSD静止画フォルダー覧画面>

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

<ファイル形式>

ファイル形式	アイコン
JPEG形式	(青色)
GIF形式	(橙色)
フレーム・マーカースタンプ	
マジックスタンプ	
Flash	

●ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「」が付きます。ただし、Flash画像には付きません。

<取得元>

取得元	アイコン
サイトやｉモードメール添付など	
FOMA端末で撮影	
赤外線通信やデータリンクソフトなど	
キャラ電撮影	

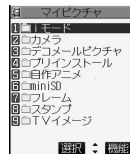
<可能な操作>

可能な操作	アイコン
ｉモードメール添付 (10000バイト以下)	
ｉモードメール添付 (10000バイトを超える500Kバイト以下)	(グレークリップ)
ｉモードメール添付 (500Kバイトを超える)	(赤クリップ)
デコメールに画像挿入	
ピクチャ貼付	
赤外線送信	
miniSDメモリーカードへエクスポート	

お知らせ

●1632×1224ドットを超える静止画は対応していません。
●700Kバイトを超える静止画は対応していません。
●本体・miniSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。

静止画フォルダー覧画面の機能メニュー

1 静止画フォルダー覧画面▶ (機能) ▶以下の操作を行う

<静止画フォルダ一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 **▶フォルダ名を入力▶** ◉ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 **▶フォルダ名を入力▶** ◉ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべてのファイルを削除します。 **▶端末暗証番号を入力▶** ◉ **▶YES**
画像全削除	ファイルをすべて削除します。ただし、お買い上げ時に登録されているファイルやminiSDメモリーカード内のファイルは削除されません。 **▶端末暗証番号を入力▶** ◉ **▶YES**

お知らせ

<フォルダ削除><画像全削除>
●削除するかどうかの確認画面が表示された場合は「YES」を選択します。他の機能に設定していたファイルを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目にピクチャ貼付した画像は変更されません。
●添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。(ｉモードメールに添付された10000バイトを超えるJPEG形式の画像は削除されます。)
●添付元の動画を削除すると、メールに添付された動画は削除されます。

静止画一覧画面の機能メニュー

1 **静止画一覧画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

<静止画一覧画面>

機能メニュー	内容
ピクチャ編集	静止画を編集します。（P.337参照）
タイトル編集	▶**タイトルを入力**▶◉ ●FOMA端末内のファイルの場合、全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。 ●miniSDメモリーカード内のファイルの場合、全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。
ピクチャ表示	画像を表示します。 ●◉を押すごとに等倍表示と画面サイズに合わせた表示を切り替えることができます。（「画像表示設定」の設定やファイル・画像サイズによっては切り替えられない場合があります。）
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。（P.334参照）
ピクチャ情報	情報を表示します。（P.335参照）
ｉモードメール作成	P.235手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
デコメール作成	「デコメールピクチャ」フォルダからデコメールを作成します。 P.235手順2へ進みます。 ●デコメールについてはP.240参照。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
インポート	FOMA端末に1件取り込みます。（P.335参照）
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.335参照）
電話帳ピクチャ登録	静止画を電話帳に登録します。（P.100参照）
メール用サイズ変更	静止画をｉモードメールに添付可能なファイルサイズ・画像サイズになるよう変更します。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。 **そのまま添付** **......画像サイズは変更しません。** **QVGA縮小添付** **......縦横比を保ったままQVGA（320×240）サイズ以下に縮小します。** **QVGA切出し添付** **......縦横比を保ったままQVGA（320×240）サイズ以下に縮小・切り出しします。** ●ファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。ファイルサイズを変換しても500Kバイトを超える静止画の場合、「そのまま添付」は選択できません。 ▶◉▶YES ●QVGA（320×240）サイズに縮小または切り出しした場合、✉（取消）を押すと再度縮小・切り出しを設定できます。ⓘ（機能）を押して「取消」を選択しても再度縮小・切り出しを設定できます。 また、ⓘ（機能）を押して「保存」を選択すると静止画を保存します。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
貼付表示位置 お買い上げ時 中央に表示	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの位置を設定します。 ピクチャ貼付についてはP.334参照。 ▶**表示位置を選択**▶◉
切り出し範囲 お買い上げ時 中央を表示	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの範囲を設定します。 ピクチャ貼付についてはP.334参照。 ▶**表示範囲を選択**▶◉
ファイル名編集	▶**ファイル名を入力**▶◉ ●半角英数字で36文字まで入力できます。
ファイル制限	ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶**なし・あり** ●ファイル制限についてはP.176参照。
フォルダ移動	FOMA端末内の静止画・動画をFOMA端末内の別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択**▶◉
DPOF設定	DPOF設定します。（P.363参照）
コピー	miniSDメモリーカード内の静止画・動画をminiSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶**コピー先を選択**▶◉
移動	miniSDメモリーカード内の静止画・動画をminiSDメモリーカード内の別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択**▶◉
1件削除	▶**YES**
全削除	フォルダ内に保存されているすべてのファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶◉▶**YES**

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

機能メニュー	内容
複数選択	複数のファイルを選択して操作します。 ▶選択したいファイルにチェック ●ピクチャ一覧では◉を押すごとに「☑」が表示されます。タイトル名一覧では◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 ▶ⓘ(機能) ピクチャ一覧・タイトル名一覧 . . . . .P.337参照 削除 . . . . .P.332「1件削除」参照 DPOF設定 . . .P.363参照 コピー. . . . . . .P.332参照 移動 . . . . .P.332参照 全選択. . . . . . .全選択します。 全選択解除 . . .選択をすべて解除します。
保存容量確認	FOMA端末内・miniSDメモリーカードに保存されている静止画・動画・ビデオの空き容量と保存容量（目安）を表示します。 ●確認が終われば(クリア)を押します。
ソート お買い上げ時 新しい順	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択▶◉
ピクチャ一覧・ タイトル名一覧	静止画の一覧表示を切り替えます。（P.337参照）
4枚画像合成	4枚の画像を合成して1枚の画像を作成します。 ▶画像配置<左上><右上><左下><右下>を選択▶◉▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶◉ 上記の手順を繰り返して4つの画像を配置します。 ●配置した画像を解除するには、配置した画像を選択して◉を押し、「ピクチャ解除」を選択します。 ▶✉(完了)▶◉ ●✉(取消)を押すと画像配置を選択する手順に戻ります。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

<タイトル編集>
- ビデオのタイトルを入力時、未入力の状態で◉を押すと「オリジナルタイトル」の先頭から18文字がタイトルになります。
- miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、タイトル編集できない場合があります。
- ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。
- お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ、フレーム、スタンプ、プリインストールフォルダ内の画像はタイトル編集できません。

<ピクチャ表示>
- ファイルによってはピクチャ表示できない場合があります。
- Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

お知らせ

<ｉモードメール作成>
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像をｉモード対応端末に送信した場合、ｉショットセンターで「ｉモード対応端末に適したサイズ」に変換されます。
- ｉモード対応端末に送信する静止画の画像サイズはQVGA（320×240）サイズが適しています。
- 画像サイズがQVGA（320×240）サイズより大きいときは、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
「QVGA縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままQVGA（320×240）サイズ以下に縮小します。
「QVGA切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままQVGA（320×240）サイズ以下に縮小・切り出しします。
ファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。ファイルサイズを変換しても500Kバイトを超える静止画の場合、「そのまま添付」は選択できません。
- QVGA（320×240）サイズに縮小または切り出しした場合、✉(取消)を押すと再度縮小・切り出しを設定できます。ⓘ(機能)を押して「取消」を選択しても再度縮小・切り出しを設定できます。また、ⓘ(機能)を押して「確定」を選択するとｉモードメール作成画面を表示します。
- 保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
- 画像によってはｉモードメール作成できない場合があります。
- ファイル制限ありのファイルのメール添付についてはP.176参照。

<デコメール作成>
- 画像サイズがSub-QCIF（128×96）サイズより大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF（128×96）サイズ以下に縮小します。
「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF（128×96）サイズ以下に縮小・切り出しします。
ファイルサイズがデコメール作成可能サイズを超える場合は、デコメール作成可能サイズ以下に変換します。
- Sub-QCIF（128×96）サイズに縮小または切り出しした場合、✉(取消)を押すと再度縮小・切り出しを設定できます。ⓘ(機能)を押して「取消」を選択しても再度縮小・切り出しを設定できます。また、ⓘ(機能)を押して「確定」を選択するとｉモードメール作成画面を表示します。
- 保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
- 画像によってはデコメール作成できない場合があります。

<メール用サイズ変更>
- 保存したファイルのファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
  ・ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnn
  （Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号）
  image（日付時刻が未設定の場合）
  ・タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
  （Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
  image（日付時刻が未設定の場合）
  ・保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ
  （ただし、「miniSD」の場合は「ｉモード」）
  ・取得元：📷
- 画像によってはメール用サイズ変更できない場合があります。

<貼付表示位置>
- Flash画像に貼付表示位置は設定できません。
- 設定した表示位置は待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した表示位置が機能しない場合があります。

お知らせ

<切り出し範囲>
- 設定した切り出し範囲は待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した切り出し範囲が機能しない場合があります。

<ファイル名編集>
- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- メールに添付されている10000バイトを超えるJPEG形式の画像やｉモーションをファイル名編集しようとすると、メール添付解除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。

<ファイル制限>
- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、miniSDメモリーカードにエクスポートすることで、静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。

<フォルダ移動>
- 「TVイメージ」フォルダの静止画は移動できません。

<コピー>
- 複数のファイルをコピー中に着信があった場合、コピーは途中でも中止されます。

<移動>
- 複数のファイルを移動中に着信があった場合、移動は途中でも中止されます。

<1件削除><全削除>
- お買い上げ時に登録されている画像は削除できません。
- 削除するかどうかの確認画面が表示された場合は「YES」を選択します。他の機能で設定していたファイルを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目にピクチャ貼付した画像は変更されません。
- 添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。（ｉモードメールに添付された10000バイトを超えるJPEG形式の画像は削除されます。）
- 添付元の動画を削除すると、メールに添付された動画は削除されます。
- miniSDメモリーカード内の複数のファイルを削除中に着信があった場合は、削除は途中でも中止されます。
- 録画時間の長いビデオは、削除に時間がかかることがあります。また、削除中は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード・メールなどのパケット通信、データ通信などはできません。
- 録画時間の長いビデオを削除する場合、電池残量が十分にあることを確認してから行ってください。

<複数選択>
- FOMA端末内の静止画は560件、動画、ビデオは100件まで選択できます。miniSDメモリーカード内のファイルは100件まで選択できます。

<ソート>
- miniSDメモリーカード内のファイルはソートできません。

<4枚画像合成>
- JPEGファイルのみ選択できます。
- VGA（640×480）サイズを除く、CIF（352×288）サイズを超える静止画は選択できません。
- 「TVイメージ」フォルダの静止画は合成できません。
- 合成した画像の取得元は、画像合成に使用した画像により異なります。

ピクチャ貼付

画像を待受画面などに貼り付けて表示します。
貼り付ける画像の位置や範囲についてはP.332「貼付表示位置」「切り出し範囲」参照。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面 ▶ (i)(機能) ▶ ピクチャ貼付 ▶ 貼付先を選択 ▶ ◉**

- 貼付された項目には「★」マークが付きます。「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。
- 「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、「応答保留／On Hold」、「保留／Holding」、「カメラオフ／Camera off」、「伝言メモ録音中／Recording Voice only」、「伝言メモ準備中／Preparing」、「音声メモ録音中／Recording Voice only」と静止画に表示されます。◉を押すと上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

貼付先	ファイル形式		
	GIF	JPEG	Flash
待受画面（P.122参照）	○	○	○
ウェイクアップ表示（P.123参照）	○	○	○
電話発信（P.123参照）	○	○	○
電話着信（P.123参照）	○	○	○
テレビ電話発信（P.123参照）	○	○	○
テレビ電話着信（P.123参照）	○	○	○
メール送信（P.123参照）	○	○	○
メール受信（P.123参照）	○	○	○
問い合わせ（P.123参照）	○	○	×
テレビ電話応答保留（P.90参照）	×	○	×
テレビ電話通話中保留（P.90参照）	×	○	×
テレビ電話代替画像（P.90参照）	×	○	×
テレビ電話伝言メモ（P.90参照）	×	○	×
テレビ電話伝言準備（P.90参照）	×	○	×
テレビ電話音声メモ（P.90参照）	×	○	×

○：貼付可能
×：貼付不可能

お知らせ

- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。
- 「プリインストール」フォルダの静止画は「待受画面」「ウェイクアップ表示」にのみピクチャ貼付できます。
- 自作アニメは「待受画面」「ウェイクアップ表示」「電話発信」「電話着信」「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」「メール送信」「メール受信」「問い合わせ」にピクチャ貼付できます。
- 「TVイメージ」フォルダの静止画はピクチャ貼付できません。
- ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

ピクチャ情報

1 静止画再生中・静止画一覧画面 ▶ (機能) ▶ピクチャ情報

- で画面をスクロールして確認できます。
- 自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。
- 確認が終われば を押します。

項目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示。
ファイル種別	ファイル形式を表示。Flashファイルの場合は表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。
保存日時	ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示されます。
ファイル制限	ファイル制限のあり／なしを表示。
表示サイズ	表示サイズを表示。Flashファイルの場合は表示されません。
取得元	ファイルの取得元を表示。「TVイメージ」フォルダ内のファイルの場合は表示されません。
DPOF設定	DPOF設定のあり／なし（ありの場合は枚数）を表示。100枚以上設定されている場合、「＊＊」が表示されます。（miniSDメモリーカードの「ピクチャ」フォルダ内静止画のみ）
故障時移行可否	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様の情報内容をドコモ指定の故障取扱窓口で移行可能かどうかを表示。（万が一、お客様の情報内容の移行ができない場合及び情報内容の消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）「可」になるのは、移行を許可されたダウンロードした静止画・メロディです。
ピクチャ貼付	設定している貼付先を表示。（「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目は表示されません。）「TVイメージ」フォルダ内のファイルの場合は表示されません。

お知らせ

- 「miniSD」フォルダ内のファイルには、「故障時移行可否」と「ピクチャ貼付」は表示されません。

miniSDメモリーカード内のファイルをFOMA端末に取り込む（インポート）

miniSDメモリーカード内にあるファイルを、本体内のｉモードフォルダに取り込みます。

1 miniSDメモリーカードの静止画再生中・静止画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時・動画一覧画面 ▶ (機能) ▶インポート

- 中止する場合は （中止）を押します。
- 保存されている画像・ｉモーションがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

- インポート中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
- JPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイルをインポートできます。
- ASFファイルをインポートすると、再生時間が長くなる場合があります。また、ASFファイルによってはインポートできない場合があります。
- 動画インポート時は動画を切り出し・変換・縮小を行うため、画質が劣化したり、ファイルサイズが増減することがあります。
- QVGA（320×240）サイズの動画やテロップ付の800Kバイトを超える動画をインポートする場合、テロップ情報が失われる旨の確認画面が表示されます。QVGA（320×240）サイズの動画をインポートする場合、QCIF（176×144）サイズに変換される旨の確認画面が表示されます。QVGA（320×240）サイズの動画、ASFファイル、800Kバイトを超えるファイルをインポートする場合、時間がかかる旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると800Kバイト以内に切り出し・変換・縮小してインポートします。
- ASF形式または800Kバイトを超える動画で以下の場合はインポートできません。
  - ・音声コーデックがAACのとき
  - ・動画像ビットレートが制限を超えるとき
  - ・シーク（早送り・早戻し）ができないとき
  - ・動画サイズがQVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）以外のとき

  上記の条件以外でも動画によってはインポートできない場合があります。
- インポート後のファイルのタイトルはminiSDメモリーカード内で設定したタイトルになります。ただし、miniSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名がタイトルになります。
- VGA（640×480）サイズを超えるJPEGファイルをインポートする場合、VGA（640×480）サイズに縮小されることがあります。
- インポート中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えるとインポートが中断されます。

FOMA端末内のファイルをminiSDメモリーカードへコピーする（エクスポート）

FOMA端末内のファイルをminiSDメモリーカードへコピーします。「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダにコピーされます。

1 静止画再生中・静止画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時・動画一覧画面 ▶ (機能) ▶エクスポート

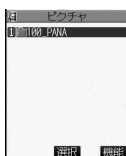
- 中止する場合は （中止）を押します。

お知らせ

- エクスポート中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
- 「iモード」、「カメラ」、「ユーザフォルダ」内のファイルのみエクスポートできます。
- miniSDメモリーカードの保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成し、その中にファイルを保存します。
  エクスポートが完了すると、「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」（XXXXXXXはフォルダ名）と表示されます。
- エクスポート後のファイル名は以下のようになります。
  - ・静止画ファイル：PXXXXXXX（Xは数字です。）
  - ・動画ファイル：MOLXXX（Xは英数字です。）
- JPEGファイル、MP4ファイルをエクスポートできます。ただし、以下のファイルはエクスポートできません。
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ・再生制限付きファイル
  - ・音声のみを録音した動画
  - ・正しく表示されない静止画
- miniSDメモリーカードへエクスポートすると、画質が劣化したりファイルサイズが大きくなる場合があります。
- 時計設定が行われていない場合、保存日時が「----/--/-- --:--」のファイルをエクスポートすると、ファイルの保存日時は「2005/ 1/ 1 0:00」となります。
- VGA（640×480）サイズを超えるJPEGファイルをエクスポートする場合、VGA（640×480）サイズに縮小されることがあります。
- エクスポート中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えるとエクスポートが中断されます。

miniSD静止画フォルダ一覧画面の機能メニュー

1 miniSD静止画フォルダ一覧画面 ▶ ⓘ（機能）▶ 以下の操作を行う

＜miniSD静止画フォルダ一覧画面＞

機能メニュー	内容
フォルダタイトル編集	▶フォルダ名を入力▶◎ ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。
フォルダ作成	▶フォルダ名を入力▶◎ ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES
保存先フォルダ選択	撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

お知らせ

＜フォルダタイトル編集＞
- 「イメージボックス」内のフォルダでは操作できません。

＜フォルダ作成＞
- 「イメージボックス」内のフォルダでは操作できません。
- miniSDメモリーカード内の「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき、「iモーション」内フォルダ数が4095件のとき、フォルダ作成はできません。

＜フォルダ削除＞
- 削除するかどうかの確認画面が表示された場合は「YES」を選択します。

＜保存先フォルダ選択＞
- 保存先に設定されたフォルダには「」のアイコンが表示されます。
- miniSDメモリーカードの保存先フォルダは、電源OFFやminiSDメモリーカードの取り外しを行うと、FOMA端末で作成した最新のフォルダに設定されます。また、miniSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

静止画再生中の機能メニュー

1 静止画再生中 ▶ ⓘ（機能）▶ 以下の操作を行う

機能メニュー	内容
ピクチャ編集	静止画を編集します。（P.337参照）
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。（P.334参照）
ピクチャ情報	情報を表示します。（P.335参照）
iモードメール作成	iモードメールを作成します。（P.332参照）
デコメール作成	デコメールを作成します。（P.332参照）
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
画像表示設定 お買い上げ時 標準	静止画を本来のサイズ（等倍）で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**標準・画面サイズで表示** ●「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
インポート	FOMA端末に1件取り込みます。（P.335参照）
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.335参照）
電話帳ピクチャ登録	静止画を電話帳に登録します。（P.100参照）
貼付表示位置	貼り付けて表示するときの位置を設定します。（P.332参照）
切り出し範囲	貼り付けて表示するときの範囲を設定します。（P.332参照）
DPOF設定	DPOF設定します。（P.363参照）
1件削除	1件削除します。（P.332参照）
リトライ	アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

＜ピクチャ表示設定＞
静止画一覧画面の表示内容を設定する

お買い上げ時	ピクチャ一覧

1 **(メニュー)▶(設定)▶ディスプレイ▶ピクチャ表示設定▶ピクチャ一覧・タイトル名一覧**

- ピクチャ一覧では、FOMA端末内の静止画は9枚、miniSDメモリーカード内の静止画は4枚表示されます。
- 静止画一覧画面では(機能)を押して「ピクチャ一覧」または「タイトル名一覧」を選択します。

ピクチャ一覧

タイトル名一覧

お知らせ

- 「ピクチャ一覧」で表示すると、画像によっては見えかたが異なる場合があります。

＜ピクチャ編集＞
静止画を編集する

静止画を編集します。編集した静止画は、編集元の静止画があるフォルダに保存されます。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面▶(機能)▶ピクチャ編集**

- VGAサイズより大きい静止画の場合、VGAサイズに縮小されます。
- 編集する静止画がディスプレイより大きい場合は、でスクロールできます。

＜ピクチャ編集画面＞

2 **(機能)▶静止画を編集する**

操作方法についてはP.338～P.339をご覧ください。

3 **を押す**

YES. . . 上書きして保存します。
NO. . . . 新しい静止画として保存します。
編集した静止画が保存されます。

- 編集した静止画を保存しない場合は、(クリア)または(PWR HLD)を押して「YES」を選択します。
- 保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

■ピクチャ編集ができる静止画のサイズ

編集メニュー	UXGA SXGA	VGA	CIF	QVGA（待受）（メインLCD壁紙）
マーカースタンプ	○	○	○	○
フレーム合成	×	×	○	○
文字スタンプ	○	○	○	○
チャーミーフェイス	×	×	○	○
マジックスタンプ	×	×	○	○
サイズ変更	○	○	○	○
トリミング	○	○	○	○
フォトレタッチ	×	×	○	○
回転	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
iモードメール作成	○	○	○	○

編集メニュー	QCIF	Sub-QCIF	CIFより大きいVGA未満のサイズ	CIFより小さいその他のサイズ
マーカースタンプ	○	○	○	○
フレーム合成	○	○	×	×
文字スタンプ	○	○	○	○※1
チャーミーフェイス	○	○	×	○
マジックスタンプ	○	○	×	○
サイズ変更	○	○	○	○
トリミング	○	○	○	○※2
フォトレタッチ	○	○	×	○
回転	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
iモードメール作成	○	○	○	○

○…ピクチャ編集可　×…ピクチャ編集不可
※1 24×24ドットより小さい静止画は編集できません。
※2 チャット画像サイズ（80×80）または96×64ドット以下の静止画は編集できません。

お知らせ

- 1616×1212ドット、1632×1224ドットの画像も編集できます。
- カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはｉモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのファイルのみピクチャ編集できます。
- 「TVイメージ」フォルダの静止画はピクチャ編集できません。
- 静止画によってはピクチャ編集できない場合があります。
- 撮影した静止画の画像にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
- 静止画によっては編集効果が現れにくいものもあります。
- 作成中のメールに添付されている10000バイトを超えるJPEG形式の画像をピクチャ編集して保存すると、新規保存され、編集元の画像はメールに添付されたままになります。作成中以外のメール（送信済みのメールなど）に添付されている10000バイトを超えるJPEG形式の画像を編集して上書き保存すると、メール添付は解除されます。
- 編集中に電池がなくなった場合は、編集した内容は破棄されます。
- 新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
  - ・ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnn
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号）
image（日付時刻が未設定の場合）
  - ・タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
image（日付時刻が未設定の場合）
  - ・保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ
  - ・取得元：編集前の画像の取得元

ピクチャ編集画面の機能メニュー

1 **ピクチャ編集画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
マーカースタンプ	スタンプフォルダのマーカースタンプを合成します。 **▶マーカースタンプを選択▶◉** ●ⓘ（機能）を押して「右90度／左90度／180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大／縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大・縮小できます。 ●選択したマーカースタンプを取り消す場合は、✉（取消）を押します。 ●お買い上げ時に登録されているマーカースタンプについてはP.455参照。 **▶◎で位置を選択▶◉** ●マーカースタンプを追加する場合は✉（追加）を押します。ⓘ（機能）を押して「追加」を選択してもマーカースタンプを追加できます。 **▶◉** ●ⓘ（機能）を押して「確定」を選択してもマーカースタンプを確定できます。
フレーム合成 	**▶フレームを選択▶◉▶◉** ●左の画面でⓘ（機能）を押して「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●左の画面で◎を押すと、前または次のフレームを表示します。◎を1秒以上押すと、連続して表示されます。 ●フレームを選択し直す場合は左の画面で✉（取消）を押します。ⓘ（機能）を押して「取消」を選択してもフレームを選択し直せます。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.454参照。
文字スタンプ 	文字を合成します。 **▶文字を入力▶◉** 全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。ただし、静止画のサイズによっては入力できる文字数は少なくなります。 ●ⓘ（機能）を押して「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。✉（切替）を押して16色・256色を切り替えることができます。「フォント」を選択し、「ゴシック体／ポップ体」を選択すると、文字のフォント（書体）を変更できます。「文字サイズ」を選択し、「拡大サイズ／通常サイズ／縮小サイズ」を選択すると、文字を拡大・縮小できます。「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 **▶◎で位置を選択▶◉** **▶◉** ●ⓘ（機能）を押して「確定」を選択しても文字スタンプを確定できます。 ●配置する位置を選択し直す場合は✉（取消）を押します。ⓘ（機能）を押して「取消」を選択しても選択し直せます。
チャーミーフェイス 	人物の表情を変えます。 **▶表情パターンを選択▶◉▶◉** ●左の画面でⓘ（機能）を押して「確定」を選択してもチャーミーフェイスを確定できます。 ●表情パターンを選択し直す場合は左の画面で✉（取消）を押します。ⓘ（機能）を押して「取消」を選択しても表情パターンを選択し直せます。

機能メニュー	内容
マジックスタンプ	スタンプフォルダのマジックスタンプを合成します。人物の顔の部分を自動で認識し、マジックスタンプをふさわしい位置に貼り付けます。 **▶マジックスタンプを選択▶**◉ ●(機能)を押して「スタンプ拡大/スタンプ縮小」を選択すると、マジックスタンプを拡大・縮小できます。 ●選択したマジックスタンプを取り消す場合は✉(取消)を押します。 ●お買い上げ時に登録されているマジックスタンプについてはP.455参照。 **▶◎で位置を選択▶**◉ ●静止画からはみ出したマジックスタンプは、切り取られます。 ●マジックスタンプを追加する場合は✉(追加)を押します。(機能)を押して「追加」を選択してもマジックスタンプを追加できます。 ▶◉ ●(機能)を押して「確定」を選択してもマジックスタンプを確定できます。
サイズ変更	**▶変更したい画像サイズを選択▶**◉ ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない最大の大きさに拡大/縮小します。 ▶◉ ●(機能)を押して「確定」を選択してもサイズを確定できます。 ●サイズを選択し直す場合は✉(取消)を押します。(機能)を押して「取消」を選択してもサイズを選択し直せます。
トリミング	一定の大きさに切り出します。 **▶切り出したい画像サイズを選択▶**◉ ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●「CIF(352×288)」「QVGA(320×240)」「メインLCD壁紙(240×320)」「CIF縦(288×352)」を選択した場合は、編集中の静止画とトリミングする枠が縦横ともに1/2に縮小して表示されます。 **▶◎でトリミングする部分を選択▶**◉ ●(機能)を押して「確定」を選択してもトリミング枠の位置を確定できます。 ●トリミングするサイズを選択し直す場合は✉(取消)を押します。(機能)を押して「取消」を選択しても選択し直せます。 トリミング枠を移動している場合は、トリミング枠が中央に戻ります。 ▶◉ ●(機能)を押して「確定」を選択してもトリミングを確定できます。 ●トリミングする部分を選択し直す場合は✉(取消)を押します。(機能)を押して「取消」を選択してもトリミングする部分を選択し直せます。

機能メニュー	内容
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 **シャープ.....輪郭を強調します。** **ソフト......輪郭をぼかします。** **セピア......色調をセピアにします。** **浮き彫り.....でこぼこの質感にします。** **ネガ........色調を反転します。** **ミラー......左右を反転します。** **スーパークリアシャドウ** **...........暗い静止画を見やすくします。** **記憶色補正...色やコントラストを補正します。** ▶◉ ●(機能)を押して「確定」を選択してもフォトレタッチを確定できます。 ●効果を選択し直す場合は✉(取消)を押します。(機能)を押して「取消」を選択しても効果を選択し直せます。
回転	**▶右90度・左90度・180度▶**◉ ●(機能)を押して「確定」を選択しても回転を確定できます。 ●角度を選択し直す場合は✉(取消)を押します。(機能)を押して「取消」を選択しても角度を選択し直せます。
明るさ	−2(暗い)から+2(明るい)で調節します。 **▶明るさを選択▶**◉
iモードメール作成	iモードメールを作成します。(P.332参照)
保存	編集後の静止画を保存します。(P.337参照)

お知らせ

<マーカースタンプ>
- 編集する静止画より大きいマーカースタンプや、以下のサイズのマーカースタンプは選択できません。
  QVGA(320×240)、CIF(352×288)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)
- 拡大や縮小は繰り返して操作できます。
- 編集する静止画より大きく拡大できません。

<フレーム合成>
- 編集中の静止画と同じサイズのフレーム以外は合成できません。

<文字スタンプ>
- 編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

<チャーミーフェイス>
- 人物の顔や輪郭を正確に認識できないことがあります。複数の人物の顔がある場合は1人の顔のみ認識します。また、人物がいない場合は画像がゆがむことがあります。

<マジックスタンプ>
- CIF(352×288)サイズやCIF縦(288×352)サイズより大きいマジックスタンプは選択できません。
- 人物の顔や輪郭を正確に認識できないことがあります。複数の人物の顔がある場合は、1人の顔のみ認識します。
- 拡大や縮小は最大3回まで操作できます。
- CIF(352×288)サイズより大きく拡大できません。

＜自作アニメ＞

アニメを作成する

iモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ内のJPEGファイルを最大20件（20コマ）選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 (メニュー) ▶ (データBOX) ▶ **マイピクチャ** ▶ **自作アニメ** ▶ **＜未登録＞**

- 登録済みの自作アニメを選択すると自作アニメを再生します。

＜自作アニメ一覧画面＞

2 **コマ順＜1コマ目＞～＜20コマ目＞を選択** ▶ ◉

3 **フォルダを選択** ▶ ◉ ▶ **静止画を選択** ▶ ◉

- すでに登録済みの静止画を解除する場合は「ピクチャ解除」を選択します。

4 **手順2～手順3を繰り返す**

静止画の登録が完了したら、✉（完了）を押します。

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

1 **自作アニメ一覧画面** ▶ ⓘ（機能） ▶ **以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
タイトル編集	▶タイトルを入力▶ ◉ ●全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	P.340「アニメを作成する」手順2へ進みます。
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。（P.334参照）
ピクチャ情報	情報を表示します。（P.335参照）
自作アニメ解除	▶YES

自作アニメ再生中の機能メニュー

1 **自作アニメ再生中** ▶ ⓘ（機能） ▶ **以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。（P.334参照）
画像表示設定	表示方法を設定します。（P.336参照）
リトライ	再度自作アニメを再生します。

お知らせ

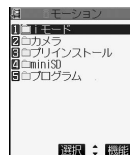
- 静止画が登録されていないコマがある場合、登録されているコマのみ順番に再生します。
- VGA（640×480）サイズを超えるJPEGファイルまたはminiSDメモリーカード内の静止画は登録できません。
- 自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

＜iモーションプレーヤー＞

動画／iモーションを再生する

FOMA端末内またはminiSDメモリーカード内に保存した動画を再生します。

1 (メニュー) ▶ (データBOX) ▶ **iモーション**

- カメラメニューで「iモーション」を選択してもiモーションプレーヤーを起動できます。

＜動画フォルダ一覧画面＞

2 **フォルダを選択** ▶ ◉ ▶ **ファイルを選択** ▶ ◉

- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

再生不可

再生制限期限切れ など

＜動画一覧画面＞

- 他の機能でフォルダやiモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやiモーションがあります。また、iモーションを選択中に✉（デモ）を押してiモーションを確認できる場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

■動画再生時の操作
動画の再生画面から、下記の操作を行えます。

操作	ボタン操作
早送り再生	✉（早送）を押します。（P.344参照）
消音	ⓘ（🔇）を押します。再度ⓘ（🔈）を押すか音量調節を行うと音が鳴ります。
一時停止※1	◉（停止）を押します。再生するには、◉（再生）を押します。
コマ送り再生※2	一時停止中に✉（コマ送）を押します。✉（コマ送）を押すごとに1コマずつ進みます。
音量調節	◎または▲▼を押します。押し続けると連続して音量が調整されます。FOMA端末を閉じている場合も▲▼で調節できます。
次のファイルを表示※3	◎を押します。
前のファイルを表示※3	◎を押します。※4
シーク（早送り）※2	◎を押し続けると、押している間映像を早送りします。
シーク（早戻し）※2	◎を押し続けると、押している間映像を早戻しします。

※1 ストリーミングタイプのｉモーションでは操作できません。
※2 ｉモーションを取得しながら再生しているとき、ストリーミングタイプのｉモーションでは操作できません。
※3 動画一覧画面の並び順で表示します。動画一覧から再生した場合は操作できます。
※4 再生時間が10秒以上過ぎた場合は、再生中のファイルの頭出しになります。

■動画再生の仕様について

ファイル形式※	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263 音声：AMR、AAC
	ASFファイル	映像：MPEG4 音声：G.726
画素数	MPEG4：QVGA（320×240）以下のファイル	
	H.263：Sub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）のファイルのみ	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

※　対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■動画フォルダ一覧画面で「miniSD」を選択したときは
1. フォルダを選択▶◉
動画の一覧が表示されます。

<miniSD動画フォルダ一覧画面>

■ファイル一覧表示中のアイコンについて
<ファイル形式>

ファイル形式	音声の形式	アイコン
MP4ファイル	AMR	🎞
	AAC	🎞
ASFファイル	−	🎞

- ｉモーションによっては、再生できる回数・期限・期間が設定（再生制限）されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには、「◷」（再生制限付き）または「◷」（再生制限切れ）が付きます。「ｉモーション情報」でファイルの再生制限を確認できます。
- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「⊠」が付きます。

<取得元>

取得元	アイコン
サイトやｉモードメール添付など	📡
FOMA端末で撮影	📷
赤外線通信やデータリンクソフトなど	📥
キャラ電撮影	📷

お知らせ
- お買い上げ時のｉモーションプレーヤーの音量はレベル4に設定されています。音量はレベル0～6まで設定でき、次回からは設定した音量で再生されます。
- 3Dサウンド対応のｉモーションでは、臨場感あふれる音声をお楽しみいただけます。（P.114参照）
- シーク（早送り・早戻し）は、動画を一時停止・再生中（スロー再生・早送り再生も含む）に実行できます。シーク中は無音です。
- QVGA（320×240）サイズのｉモーションによっては早送りされないことがあります。
- ストリーミングタイプのｉモーションを再生中など、ｉモーションによってはシーク（早送り・早戻し）できない場合があります。
- シーク（早送り・早戻し）やコマ送り再生中にテロップは表示されません。
- 本体・miniSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- 動画／ｉモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

動画フォルダ一覧画面の機能メニュー

1 **動画フォルダ一覧画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

<動画フォルダ一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ追加	フォルダを追加します。（P.331参照）
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。（P.331参照）
フォルダ削除	フォルダを削除します。（P.331参照）

機能メニュー	内容
プログラム編集	ｉモーションを10個まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶プログラム順<1番目>～<10番目>を選択▶◉▶フォルダを選択▶◉ ▶ｉモーションを選択▶◉ ●すでに登録済みのｉモーションを解除する場合は「ムービー解除」を選択します。 ▶操作を繰り返してプログラム編集を完了させる▶✉（完了）
プログラム解除	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES

プログラム再生

プログラム編集で選択した動画を繰り返し再生します。

1 メニュー▶データBOX▶ｉモーション▶プログラム

●終了するにはクリアを押します。

動画一覧画面の機能メニュー

1 動画一覧画面▶ⓘ（機能）
▶以下の操作を行う

<動画一覧画面>

機能メニュー	内容
ｉモーション編集	動画／ｉモーションを編集します。（P.344参照）
タイトル編集	タイトルを編集します。（P.332参照）
着信音設定	動画を着信音に設定します。 ▶着信の種類を選択▶◉ ●設定された項目には「★」マークが付きます。
待受画面設定	動画を待受画面に設定します。 ▶YES ●待受画面に設定した動画ファイルの再生方法についてはP.122参照。
ｉモーション情報	情報を表示します。（P.343参照）
ｉモードメール作成	ファイルを添付してｉモーションメールを作成します。 P.235手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
インポート	FOMA端末に1件取り込みます。（P.335参照）
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.335参照）
フォルダ移動	フォルダ移動します。（P.332参照）
コピー	コピーします。（P.332参照）
移動	移動します。（P.332参照）
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
ファイル名編集	ファイル名を編集します。（P.332参照）
ファイル制限	ファイル制限を設定します。（P.332参照）
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
1件削除	1件削除します。（P.332参照）
全削除	全削除します。（P.332参照）
複数選択	複数のファイルを選択します。（P.333参照）
保存容量確認	保存容量を確認します。（P.333参照）
ソート	表示順を変更します。（P.333参照）
一覧表示切替	動画の一覧表示を切り替えます。（P.343参照）

お知らせ

<着信音設定>
●着信音設定「可」のｉモーションのみ着信音に設定できます。着信音設定「可」「不可」を確認するには「ｉモーション情報」参照。

<待受画面設定>
●ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
●待受画面に設定したｉモーションからWeb To 機能、Mail To 機能、Phone To／AV Phone To 機能は利用できません。
●ｉモーションによっては、正しく表示されない場合があります。
●設定した動画を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

<ｉモードメール作成>
●ファイルサイズが500Kバイトより大きいときは、メールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとｉモーションの先頭から約490Kバイトまでを切り出します。
テロップ付のｉモーションの場合は、テロップは切り出せない旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
●ｉモーションによってはｉモードメール作成できない場合があります。
●ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減する場合があります。
●ｉモーション編集画面から500Kバイトを超えるｉモーションは添付できません。ｉモーションメールに添付できるサイズに切り出すには「メールサイズ切り出し」参照。
●ファイル制限ありのファイルのメール添付についてはP.176参照。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

ｉモーション情報

1 **一時停止中・再生終了時・動画一覧画面 ▶ⓘ（機能）▶ｉモーション情報**

- で画面をスクロールして確認できます。
- 確認が終われば クリア を押します。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">情報内容</th></tr>
<tr><td>ファイル名</td><td colspan="2">ファイル名を表示。</td></tr>
<tr><td>ファイル種別</td><td colspan="2">ファイル形式を表示。</td></tr>
<tr><td>タイトル</td><td colspan="2">ファイルの初期タイトル名を表示。初期タイトル名がない場合は「不明」と表示。</td></tr>
<tr><td>作成者</td><td colspan="2">ファイルの著作者情報を表示。情報がない場合は「不明」と表示。</td></tr>
<tr><td>コピーライト</td><td colspan="2">ファイルの著作権情報の有無を表示。情報がない場合は「不明」と表示。</td></tr>
<tr><td>保存日時</td><td colspan="2">ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示。</td></tr>
<tr><td>説明</td><td colspan="2">ファイルの説明を表示。説明がない場合は「不明」と表示。</td></tr>
<tr><td>ファイルサイズ</td><td colspan="2">ファイルサイズを表示。</td></tr>
<tr><td>表示サイズ</td><td colspan="2">表示サイズを表示。音声のみの動画の場合や再生不可のファイルの場合は「0×0」と表示。</td></tr>
<tr><td>取得元</td><td colspan="2">ファイルの取得元を表示。</td></tr>
<tr><td>着信音設定</td><td colspan="2">着信音設定の可／不可を表示。着信音に設定されている場合、設定先を表示。</td></tr>
<tr><td>着信画面設定</td><td colspan="2">着信画面設定の可／不可を表示。着信画面に設定されている場合、設定先を表示。</td></tr>
<tr><td>ｉモーション設定</td><td colspan="2">ｉモーションの設定先を表示。設定されていない場合は「設定なし」と表示。</td></tr>
<tr><td>ファイル制限</td><td colspan="2">ファイル制限のあり／なしを表示。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">再生制限</td><td>回数制限がある場合</td><td>「あとYY回（YY/XX）」（YY：残り再生回数、XX：全再生回数）と表示。</td></tr>
<tr><td>期限制限がある場合</td><td>「ファイル登録日時～再生期限日時」を表示。</td></tr>
<tr><td>期間制限がある場合</td><td>「再生開始可能日時～再生期限日時」を表示。</td></tr>
<tr><td>再生制限がない場合</td><td>「なし」と表示。</td></tr>
<tr><td>ビデオ</td><td colspan="2">映像のあり／なし／再生不可を表示。</td></tr>
<tr><td>オーディオ</td><td colspan="2">AAC／AMR／なし／再生不可／再生可を表示。</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="2">テキストのあり／なし／再生不可を表示。</td></tr>
</table>

一覧表示切替

お買い上げ時	タイトル＋画像

動画一覧画面の表示内容を変更します。
miniSDメモリーカードの一覧画面では、タイトルで表示するかファイル名で表示するかを選択できます。

1 **動画一覧画面▶ⓘ（機能）▶一覧表示切替**

タイトル……タイトルまたはファイル名が一覧表示されます。
タイトル＋画像…タイトルまたはファイル名と画像が同時に表示されます。表示される画像は動画の1コマ目です。
タイトル表示／ファイル名表示
……………タイトルを表示するかファイル名を表示するかを選択します。

- miniSDメモリーカードの一覧画面の場合、「タイトル」「タイトル＋画像」は「名前」「名前＋画像」と表示されます。

タイトル

タイトル＋画像

miniSD動画フォルダ一覧画面の機能メニュー

1 **miniSD動画フォルダ一覧画面 ▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

<miniSD動画フォルダ一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダタイトル編集	フォルダのタイトルを編集します。（P.336参照）
フォルダ作成	フォルダを作成します。（P.336参照）
フォルダ削除	フォルダを削除します。（P.336参照）
保存先フォルダ選択	保存先フォルダを選択します。（P.336参照）

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

1 一時停止中・再生終了時▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
通常再生	動画を通常の速度で再生します。
スロー再生	動画を通常の約1/2の速度で再生します。 ●スロー再生を解除するには、(✉)(再生)を押すか「通常再生」の操作を行います。
早送り再生	動画を通常の約2倍の速度で再生します。 ●早送り再生を解除するには、(✉)(再生)を押すか「通常再生」の操作を行います。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	再生を開始する位置を設定します。 ▶タイムバーのカーソル位置を選択▶(●) ●再生位置選択を中止するには、(クリア)を押します。
ｉモーション編集	動画／ｉモーションを編集します。(P.344参照)
ｉモードメール作成	ｉモーションメールを作成します。(P.342参照)
着信音設定	着信音に設定します。(P.342参照)
待受画面設定	待受画面に設定します。(P.342参照)
ｉモーション情報	情報を表示します。(P.343参照)
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
インポート	FOMA端末に1件取り込みます。(P.335参照)
エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.335参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
画像表示設定 お買い上げ時 等倍表示	動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示 ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超える動画は画面サイズに縮小されます。

お知らせ

<スロー再生>
●スロー再生中は無音です。
●ストリーミングタイプのｉモーションや、データを取得しながら再生中のｉモーションは、スロー再生できません。

<早送り再生>
●早送り再生中は無音です。
●ｉモーションによっては、早送りされない場合があります。
●ストリーミングタイプのｉモーションや、データを取得しながら再生中のｉモーション、待受画面から再生したｉモーションは、早送り再生できません。

<再生位置選択>
●動画／ｉモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

お知らせ

<画像表示設定>
●QCIF(176×144)を超えるQVGA(320×240)以下のサイズの動画は設定に関わらず画面サイズに合わせて表示します。
●画像サイズによっては、画面の右側や下側が切り取られて表示される場合があります。

<ｉモーション編集>

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。編集した動画／ｉモーションは、編集元の動画／ｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 一時停止中・再生終了時・動画一覧画面▶(i)(機能)▶ｉモーション編集

●(◎)または(▼)(▲)で音量を調節できます。

<ｉモーション編集画面>

2 (i)(機能)▶動画／ｉモーションを編集

操作方法についてはP.345～P.347をご覧ください。

3 (●)を押す

●編集した動画／ｉモーションを保存しない場合は、(クリア)または(PWR/HLD)を押して「YES」を選択します。

4 YES

編集した動画／ｉモーションが保存されます。
●保存されているｉモーションがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

●カメラで撮影した動画やデータ通信で取得したｉモーション、サイトもしくはｉモードメールから取得したｉモーションで「ファイル制限」がなしのファイルのみｉモーション編集できます。
●動画サイズがQCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)の動画／ｉモーションのみｉモーション編集できます。
●プリインストールフォルダ、miniSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションはｉモーション編集できません。
●ｉモーションによっては編集できない場合があります。
●ｉモーション編集中に表示されるファイルサイズは目安です。
●ｉモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。
●編集中に以下の動作が発生した場合は、確定した編集内容を反映した状態で保存されます。ただし、保存されているｉモーションがいっぱいのときは保存されません。
・電池がなくなった場合
・スタイルを切り替えた場合
・電話がかかってきた場合
・メールを受信した場合(「受信表示設定」が「通知優先」のとき)
・アラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約の通知があった場合(「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

ｉモーション編集画面の機能メニュー

1 **ｉモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
ｉモーション切り出し	動画／ｉモーションを切り出します。（P.345参照）
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 ▶◎でフレームを選択▶✉（確定）▶YES▶フォルダを選択▶◉ ●テロップがある動画／ｉモーションの場合、テロップは切り出せない旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。 ●◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。 ●◉を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度◉を押すと一時停止します。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
アフレコ編集	音声を録音します。（P.345参照）
テロップ編集	テロップを編集します。（P.346参照）
メールサイズ切り出し	動画／ｉモーションをｉモーションメールに添付可能なサイズにします。 **メールサイズ（小）. . .約290Kバイト以下のサイズに切り出します。** **メールサイズ . . . . . . .約490Kバイト以下のサイズに切り出します。** ●テロップがある動画／ｉモーションの場合、テロップは切り出せない旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。 **▶◎で開始フレームを選択** **▶✉（始点）** 動画／ｉモーションが再生されます。約290Kバイトまたは約490Kバイト以下のサイズになると、自動的に再生が停止します。 ●◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。 ●◉を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度◉を押すと一時停止します。 **▶◉** ●✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／ｉモーションを確認できます。
ｉモードメール作成	ｉモーションメールを作成します。（P.342参照）
ファイル制限	ファイル制限を設定します。（P.332参照）

お知らせ

<メールサイズ切り出し>
- 編集中は、切り出された場合のおよそのファイルサイズが表示されます。
- 290Kバイト以上490Kバイト以下のｉモーションの場合、「メールサイズ」は選択できません。

ｉモーション切り出し

ｉモーションから任意の範囲を切り出します。

1 **ｉモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶ｉモーション切り出し**

- テロップがある動画／ｉモーションの場合、テロップは切り出せない旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

2 **◎で開始フレームを選択▶✉（始点）**

開始フレームが設定され、動画／ｉモーションが再生されます。
- ◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。
- ◉を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度◉を押すと一時停止します。

3 **切り出したいところまで再生したら◉を押す**

動画／ｉモーションの再生が一時停止します。

4 **◎で終了フレームを選択▶✉（終点）**

切り出した範囲が再生されます。
- ◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。
- ◉を押すと動画／ｉモーションが再生されます。再度◉を押すと一時停止します。
- ファイルサイズが約800Kバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。

5 **◉を押す**

- ✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／ｉモーションを確認できます。

お知らせ

- 編集中は、切り出された場合のファイルサイズ（目安）が表示されます。
- ｉモーション切り出しを行うと、再生時間が長くなる場合があります。

アフレコ編集

ｉモーションの任意の範囲に音声を録音します。

1 **ｉモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶アフレコ編集**

- テロップのある動画／ｉモーションの場合、テロップが削除される旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

2 **✉（始点）を押す**

録音が開始されます。送話口に向かってお話しください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのマイクから録音します。
- 動画／ｉモーションの途中から録音したい場合は、◉を押して動画／ｉモーションを再生します。

3 **✉（終点）を押す**

録音が終了します。
- 続けて録音する場合は、手順2～手順3を繰り返します。

4 **◉を押す**

アフレコ編集が終了します。

次ページにつづく

5 ◎を押す

- ✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます

テロップ編集

iモーションのテロップ情報（再生中に表示される文字情報）を作成・編集します。

新規作成

1つの動画／iモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 iモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶テロップ編集▶新規作成

- すでにテロップ情報がある場合は一部が削除される可能性がある旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

2 ◎で開始フレームを選択▶✉（始点）

- ◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。
- ◎を押すと動画／iモーションが再生されます。再度◎を押すと一時停止します。
- 早戻しにより、以前設定したテロップの終点に到達した場合、始点を決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると始点が決定され、前のテロップと隙間なくテロップを作成できます。

3 テロップを入力▶◎

- 全角20文字まで、半角40文字まで入力できます。

4 テロップ効果を選択▶◎▶効果の内容を選択▶◎

- 続けてテロップ効果を設定する場合は、手順4を繰り返します。
- テロップ効果の設定を終了する場合は、「設定完了」を選択します。

5 ◎で終了フレームを選択▶✉（終点）

- ◎を1秒以上押すと早戻し、◎を1秒以上押すと早送りします。
- ◎を押すと動画／iモーションが再生されます。再度◎を押すと一時停止します。
- 開始フレームから終了フレームまで十分な間隔がない場合、終了フレームを選択できない場合があります。
- 他のテロップが設定されているフレームを表示した場合、終了フレームを決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると終了フレームが決定され、他のテロップと隙間なくテロップを作成できます。

6 ⓘ（機能）▶テロップ編集完了

- テロップの作成を続ける場合は手順2〜手順5を繰り返します。

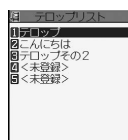
7 ◎を押す

- ✉（デモ）を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます。
- ⓘ（修正）を押すとテロップリスト画面が表示され、作成したテロップを修正できます。

編集

1 iモーション編集画面▶ⓘ（機能）▶テロップ編集▶YES▶編集

登録されているテロップが表示されます。

- テロップが1つも登録されていない場合は、編集できません。

<テロップリスト画面>

2 テロップを選択▶ⓘ（機能）

文字変更 . . . . . . P.346「新規作成」手順3参照
効果変更 . . . . . . P.346「新規作成」手順4参照
開始位置変更 . . . P.346「新規作成」手順2参照
終了位置変更 . . . P.346「新規作成」手順5参照
テロップ追加 . . . P.346「追加」参照
テロップ削除 . . . テロップを削除します。「YES」を選択します。

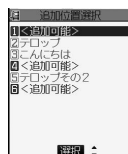
- テロップを選択して◎を押すと、そのテロップの詳細が確認できます。確認が終われば（クリア）を押します。
- 続けてテロップを編集する場合は、手順2を繰り返します。

3 テロップリスト画面で✉（完了）▶◎

追加

テロップを追加します。1つの動画／iモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 テロップリスト画面▶ⓘ（機能）▶テロップ追加

上が先頭フレーム、下が最終フレームと見立てて、テロップを追加できる位置が表示されます。

2 <追加可能>

P.346「新規作成」手順2〜手順5へ進みます。

- 5つのテロップを作成した場合は、テロップリスト画面に戻ります。✉（完了）を押し、◎を押します。
- テロップが5つ未満の場合は、P.346手順6〜手順7へ進みます。

お知らせ

- スクロールの速度は、始点から終点までの時間に合わせて自動的に設定されます。
- テロップを追加するときは、テロップどうしの始点と終点が重ならないようにしてください。
- 赤外線通信やデータ通信で取得したｉモーションなどでテロップが6つ以上登録されていた場合は、編集時に6つ目以降のテロップは削除されます。また、全角20文字を超えるテロップは全角21文字目以降が削除され、対応していない効果なども削除されます。
- FOMA P901iTV未対応のテロップ効果は削除・変更される場合があります。
- テロップ編集を行うと、編集したデータは着信音に設定できません。

デモ再生中・ｉモーション編集中の操作

■一時停止するには
を押します。再度を押すと再生されます。

■早戻し、早送りするには
を1秒以上押して早戻し、を1秒以上押して早送りします。

■コマ戻し、コマ送りするには
一時停止中にを押してコマ戻し、を押してコマ送りします。

■音量を調節するには
またはを押します。

操作により実行できない項目があります。

デモ再生一時停止中・ｉモーション編集中の機能メニュー

1 デモ再生一時停止中・ｉモーション編集中▶（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。
早送り再生	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	ｉモーション切り出し、メールサイズ切り出しの開始フレームを設定します。
終点	ｉモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。
テロップ表示始点	テロップ編集の開始フレームを設定します。
テロップ表示終点	テロップ編集の終了フレームを設定します。
テロップ編集完了	テロップ編集を終了します。

<ビデオプレーヤー>

ビデオを再生する

録画したビデオを再生します。
スイッチスタイルやビューアスタイルでは横画面で再生します。再生中にスタイルを切り替えることもできます。

1 ▶（データBOX）▶ビデオ

- ショートカットメニューで（ビデオ）を選択しても右の画面が表示されます。

<ビデオ一覧画面>

2 ファイルを選択▶

■ビデオ再生時の操作
ビデオの再生画面から、下記の操作を行えます。

操作	ボタン操作
一時停止	またはを押します。再生するには、再度またはを押します。
音量調節	またはを押します。押し続けると連続して音量が調整されます。
消音	（）を押します。再度（）を押すか音量調節を行うと音が鳴ります。
次のビデオを表示※	またはを押します。
前のビデオを表示※	またはを押します。再生時間が3秒以上の場合は頭出しになります。

※　ビデオ一覧画面の並び順で表示します。

お知らせ

- お買い上げ時のビデオプレーヤーの音量はレベル5に設定されています。音量はレベル0〜9まで設定でき、次回からは設定した音量で再生されます。
- 表示されるタイムバーは目安です。
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかった部分は表示されず、正しく再生できる位置までスキップされます。その際、数秒間映像が表示されなかったり、乱れたりする場合があります。また、タイムバーが正しく表示されない場合があります。
- 録画時にFOMA端末の日付・時刻が設定されていなかった場合、タイムバーは表示されません。また、横画面ではタイムバーは表示されません。
- 録画した番組によっては、映像の上下、左右が切り取られて表示される場合があります。

ビデオ一覧画面の機能メニュー

1 ビデオ一覧画面▶ⓘ(機能)
▶以下の操作を行う

<ビデオ一覧画面>

機能メニュー	内容
タイトル編集	タイトルを編集します。(P.332参照)
情報表示	情報を表示します。(P.348参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
1件削除	1件削除します。(P.332参照)
全削除	全削除します。(P.332参照)
複数選択	複数のファイルを選択します。(P.333参照)
保存容量確認	保存容量を確認します。(P.333参照)
ソート	表示順を変更します。(P.333参照)
一覧表示切替	ビデオの一覧表示を切り替えます。(P.348参照)

情報表示

1 一時停止中・再生終了時・ビデオ一覧画面
▶ⓘ(機能)▶情報表示

- ◎で画面をスクロールして確認できます。
- 確認が終われば クリア を押します。

項目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示。
オリジナルタイトル	「録画開始日時-録画終了日時」を表示。情報がない場合は「不明」と表示。
ファイル種別	ファイル形式を表示。
録画開始日時～録画終了日時	録画を開始した日時と終了した日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示。
コピー制御情報	コピーフリー／コピーワンスを表示。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。
チャンネル名	チャンネル名を表示。チャンネル名がない場合は「不明」と表示。
番組名	番組名を表示。番組名がない場合は「不明」と表示。

一覧表示切替

お買い上げ時	タイトル＋画像

ビデオ一覧画面の表示内容を変更します。

1 ビデオ一覧画面▶ⓘ(機能)
▶一覧表示切替

タイトル ....タイトルが一覧表示されます。
タイトル＋画像....タイトルと画像が同時に表示されます。表示される画像はビデオの1コマ目です。

タイトル

タイトル＋画像

お知らせ

- 電波状態が悪いため正しく録画できなかったビデオは、画像が表示されない場合があります。

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

1 一時停止中・再生終了時▶ⓘ(機能)
▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
情報表示	情報を表示します。(P.348参照)
停止	再生を終了します。
再生位置選択	再生を開始する位置を設定します。 **▶タイムバーのカーソル位置を選択▶◎** ●再生位置を解除するには、クリア を押します。
ステレオ／モノラル設定 ビデオプレーヤー起動時 ステレオ	音声をステレオ再生するかモノラル再生するかを設定します。 **▶ステレオ・モノラル** ●「ステレオ」に設定していても、横画面での再生時はスピーカが画面の上下に位置するため、ステレオ感がなくなります。
主／副音声設定 ビデオプレーヤー起動時 主音声	**▶音声を選択▶◎**
音声調整(自動音量設定) お買い上げ時 ON	小さな音を大きくして聞き取りやすくするかどうかを設定します。 **▶自動音量設定▶ON・OFF**
音声調整(音声モード切替) お買い上げ時 ノーマル	音質を変更します。アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット P01を接続しているときに効果が得られます。 **▶音声モード切替** **ノーマル......受信したままの音質。** **ダイナミック...メリハリ感を強調しダイナミックな音にします。** **ボイス ....会話を聞き取りやすくします。** **トレイン......音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。**

機能メニュー	内容
音声調整（サラウンド設定） お買い上げ時 OFF	音声をサラウンド出力するかどうかを設定します。 ▶サラウンド設定▶ON・OFF
音声イヤホン切替 ビデオプレーヤー起動時 イヤホン	アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット P01接続時の音声の出力先を設定します。 イヤホン．．．接続時はイヤホンから、未接続時はスピーカから音声を出力します。 スピーカ．．．スピーカから音声を出力します。
ピクト常時表示設定 お買い上げ時 ON	ビューアスタイル、スイッチスタイルで再生中にピクト表示を行うかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
横画面拡大表示設定 お買い上げ時 オート	ビューアスタイル、スイッチスタイルで映像が16：9のビデオを再生しているときに、映像を拡大表示するかどうかを設定します。 ▶ON・オート

お知らせ

<再生位置選択>
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかった位置を選択した場合は、正しく再生できる位置まで移動します。
- タイムバーが表示されないビデオでは操作できません。

<キャラ電>

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーでキャラ電を再生したり、キャラ電を撮影したりできます。

■お買い上げ時に登録されているキャラ電

<ソニック>
© SEGA

<テイルス>
© SEGA

<ブンブン（Dimo）>
© BVIG

■お買い上げ時に登録されているキャラ電の操作

ボタン	ソニック	テイルス	ブンブン（Dimo）
1	手を振る	手を振る	嬉しい
2	わははっ！（大笑い）	わーい！（喜ぶ）	ごめんなさい
3	No....（嘆く）	えーん（泣く）	びっくり
4	いくぜ！（笑う）	にこっ（笑う）	ラブラブ
5	やれやれ（呆れる）	ぷんぷん！（怒る）	病気
6	Ok！（はい）	Ok！（はい）	酔っぱらい
7	No！（いいえ）	No！（いいえ）	着ぐるみ
8	Sorry（謝る）	ごめんなさい！（謝る）	拾ってください
9	わわっ（慌てる）	わわっ（慌てる）	成金

- お買い上げ時に登録されているキャラ電にはパーツアクションはありません。
- これらのキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。（P.42参照）

<キャラ電プレーヤー>

キャラ電を表示して操作する

登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。
「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。
- キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

1 メニュー▶データBOX▶**キャラ電**
- サイトからダウンロードしたキャラ電は、タイトルの前に「」が表示されます。

<キャラ電一覧画面>

2 キャラ電を選択▶◎

＜キャラ電表示画面＞
© BVIG

■キャラ電操作のボタン割当

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9 ※1※2 （全体アクションモード時）	全体アクション
11～99 ※1 （パーツアクションモード時）	パーツアクション
0	実行中のアクションを中断します。
## ※1	2桁のボタン操作で行うアクションを、操作の途中で取り消します。
*	「アクション一覧」を表示します。
✉	アクションモードを切り替えます。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。
※2 1桁目の#を取り消すにはもう一度#を押します。

お知らせ

- 全体アクションモードとは、キャラクタが身体全体でアクションを表現するモードです。
  パーツアクションモードとは、キャラクタが身体の一部分でアクションを表現するモードです。
- 操作できるアクション数はキャラ電により異なります。
- キャラ電によってはアクションが無いものがあります。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

1 キャラ電一覧画面▶i（機能）▶以下の操作を行う

＜キャラ電一覧画面＞

機能メニュー	内容
キャラ電発信	キャラ電を利用してテレビ電話をかけます。（P.85参照）
代替画像設定	代替画像に設定します。（P.86参照）
キャラ電撮影	キャラ電を撮影します。（P.351参照）
タイトル編集	▶タイトルを入力▶◎ ●全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。
情報表示	キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。 ●◎で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば クリア を押します。
保存容量確認	キャラ電の空き容量と保存容量（目安）を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES ●お買い上げ時にインストールされているキャラ電も削除されます。
複数選択	複数のキャラ電を選択して削除します。 ▶削除したいキャラ電にチェック ▶i（機能）▶削除▶YES ●◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
画像表示設定 お買い上げ時：画面サイズで表示	キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES

お知らせ

＜情報表示＞
- 「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、miniSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

＜1件削除＞＜全削除＞＜複数選択＞
- 代替画像に設定しているブンブン（Dimo）以外のキャラ電を削除した場合、代替画像はブンブン（Dimo）に設定されます。ブンブン（Dimo）を削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。
- 削除するかどうかの確認画面が表示された場合は「YES」を選択します。

キャラ電表示画面の機能メニュー

1 キャラ電表示画面▶i（機能）▶以下の操作を行う

＜キャラ電表示画面＞
© BVIG

機能メニュー	内容
キャラ電発信	キャラ電を利用してテレビ電話をかけます。（P.85参照）
代替画像設定	代替画像に設定します。（P.86参照）
キャラ電撮影	キャラ電を撮影します。（P.351参照）
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

機能メニュー	内容
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選択して ◉ を押すと、アクションを実行できます。 ● ✉（詳細）を押すとアクションの詳細を確認できます。 ● ✱ を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 お買い上げ時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード（ ）またはパーツアクションモード（ ）に切り替えます。 ● ✉ を押しても切り替えることができます。
情報表示	情報を表示します。（P.350参照）
画像表示設定	表示方法を設定します。（P.350参照）

<キャラ電撮影>

キャラ電を撮影する

表示されているキャラ電を、静止画や動画として撮影します。

1 メニュー▶データBOX▶キャラ電▶撮影したいキャラ電を選択▶◉▶ⓘ（機能）▶キャラ電撮影

●キャラ電一覧画面の機能メニューからも選択できます。

<キャラ電撮影画面>
© BVIG

静止画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「 」を表示▶◉

表示中のキャラ電の静止画が撮影されます。
●「 」が表示されているときは ▲ を押して「 」を表示します。

2 ◉を押す

撮影した静止画を「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

●マナーモード中や「着信音量」の「電話」や「メール」が「消去」に設定されている場合は、撮影確認音は鳴りません。
●静止画の撮影についてはP.160参照。

動画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「 」を表示▶◉

表示中のキャラ電の録画を開始します。
●「 」が表示されているときは ▲ を押して「 」を表示します。

2 ◉を押す

録画を終了します。

3 ◉を押す

撮影した動画を「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

●画像サイズはQCIF（176×144）に固定されます。
●マナーモード中や「着信音量」の「電話」や「メール」が「消去」に設定されている場合は、撮影開始音・撮影終了音は鳴りません。
●「映像／音声選択」が「映像＋音声」に設定されている場合は、音声も録音されます。（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、イヤホンマイクから音声が録音されます。）
●動画の撮影についてはP.167参照。

キャラ電撮影画面の機能メニュー

1 キャラ電撮影画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
キャラ電切替	▶表示したいキャラ電を選択▶◉
代替画像設定	代替画像に設定します。（P.86参照）
アクション一覧	アクション一覧を表示します。（P.351参照）
アクション切替	アクションを切り替えます。（P.351参照）
画像表示設定	表示方法を設定します。（P.350参照）
記録サイズ設定 お買い上げ時 QCIF（176×144）	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶QCIF（176×144）・縮小サイズ（117×96）
映像／音声選択 お買い上げ時 映像＋音声	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像・音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶映像＋音声・映像のみ
記録品質設定 お買い上げ時 標準	キャラ電の動画を保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶画質を選択▶◉

お知らせ

<キャラ電切替>
●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。

<メロディプレーヤー> メニュー 1 6

メロディを再生する

1 メニュー▶データBOX▶メロディ

<メロディフォルダ一覧画面>

次ページにつづく

2 フォルダを選択▶◎▶メロディを選択▶◎

<メロディ一覧画面>　<メロディ再生画面>

- 他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、✉（デモ）を押してメロディを再生できる場合があります。

■メロディ再生時の操作
メロディの再生画面から、下記の操作を行えます。

操作	ボタン操作
停止	◎（停止）、、、0〜9、*、#、✉、▲、▼、TV を押します。
音量調節	◎または▲▼を押します。押し続けると連続して音量が調節できます。
次のファイルを再生※	◎を押します。
前のファイルを再生※	◎を押します。

※メロディ一覧画面から再生した場合、有効です。

■メロディ一覧画面表示中のアイコンについて

<ファイル形式>

ファイル形式	説明	アイコン
SMF形式	著作権がなくファイル制限なしのメロディ	
	著作権がありファイル制限ありのメロディ	
MFi形式	著作権がなくファイル制限なしのメロディ	
	著作権がありファイル制限ありのメロディ	

<取得元>

取得元	アイコン
サイトもしくはｉモードメール添付	
赤外線通信やデータリンクソフトなど	

お知らせ

- FOMA端末を閉じてもメロディは再生されます。
- メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合、鳴りません。
- 3Dサウンド対応のメロディでは、臨場感あふれるメロディをお楽しみいただけます。（P.114参照）
- 再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディフォルダー一覧画面の機能メニュー

1 メロディフォルダー一覧画面▶ (機能)▶以下の操作を行う

<メロディフォルダー一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 ▶フォルダ名を入力▶◎ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名を編集▶◎ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべてのメロディを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES
プログラム編集	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶プログラム順<1曲目>〜<10曲目>を選択▶◎▶フォルダを選択▶◎▶メロディを選択▶◎ ●すでに登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 ▶操作を繰り返してプログラム編集を完了させる▶✉（完了）
プログラム解除	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES

お知らせ

<フォルダ削除>

- 削除するかどうかの確認画面が表示された場合は「YES」を選択します。他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。
（「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。）

<プログラム編集>

- プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1 (メニュー)▶(データBOX)▶メロディ▶プログラム

- 再生を止めるには◎を押します。

メロディ一覧画面の機能メニュー

1 **メロディ一覧画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う**

＜メロディ一覧画面＞

機能メニュー	内容
タイトル編集	▶タイトルを編集▶◎ ●全角25文字まで、半角50文字まで入力できます。
ファイル名編集	▶ファイル名を編集▶◎ ●半角英数字で36文字（拡張子を除く）まで入力できます。
メロディ再生	メロディを再生します。（P.351参照）
着信音設定	▶着信の種類を選択▶◎ ●設定された項目には「★」マークが付きます。
ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.176参照。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
ｉモードメール作成	選択しているメロディをｉモードメールに添付して作成します。 P.235手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
メロディ情報	メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。 ●◎で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば(ｸﾘｱ)を押します。
保存容量確認	メロディの空き容量と保存容量（目安）を表示します。 ●確認が終われば(ｸﾘｱ)を押します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除（1件削除）	▶1件削除▶YES
削除（選択削除）	複数のメロディを選択して削除します。 ▶選択削除▶削除したいメロディにチェック▶✉(完了)▶YES ●◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。ⓘ(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
削除（全削除）	選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶全削除▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES
ソート お買い上げ時 新しい順	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択▶◎

機能メニュー	内容
フォルダ移動	メロディを別のフォルダに移動します。 ▶移動先のフォルダを選択▶◎▶移動したいメロディにチェック▶✉(完了)▶YES ●◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。ⓘ(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

お知らせ

＜ファイル名編集＞
- 取得元アイコンが「」で、「」や「」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。
- ファイル名を編集するときは、記号や半角の「.」「@」「/」「(」「)」「,」「-」「_」「:」「'」「˜」「&」「?」「!」「¥」「＊」「#」「.ne.jp」「.co.jp」「.ac.jp」「www.」「.com」「.html」「http://」「https://」「@docomo.ne.jp」は入力できません。
- ファイル名を編集する場合は、拡張子以外の部分が編集可能になります。拡張子は、ファイル形式に適した拡張子が自動的に追加されます。

＜ファイル制限＞
- 取得元アイコンが「」のメロディにのみファイル制限を設定できます。
- ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。

＜ｉモードメール作成＞
- 「」や「」のメロディは取得元、ファイル制限の設定に関わらずｉモードメールに添付できません。また、取得元アイコンが「」で「」のメロディや10000バイトを超えるメロディも添付できません。

＜メロディ情報＞
- メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、ｉモードメールに添付できないことがあります。
- 故障時移行可否についてはP.335参照。

＜削除＞
- 削除するかどうかの確認画面が表示された場合は「YES」を選択します。他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。
（「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。）

＜ソート＞
- ソート機能でメロディ一覧を表示させたあとその画面を終了し、再度メロディ一覧画面を表示したときは、「新しい順」に戻ります。

メロディ再生画面の機能メニュー

1 **メロディ再生画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う**

＜メロディ再生画面＞

機能メニュー	内容
着信音設定	着信音に設定します。（P.353参照）

機能メニュー	内容
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
iモードメール作成	iモードメールを作成します。(P.353参照)
メロディ情報	メロディの情報を表示します。(P.353参照)

miniSDメモリーカードについて

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- FOMA P901iTVは、512MバイトまでのminiSDメモリーカード（市販品）に対応しています。松下、東芝、サンディスク社製について動作確認しています。ただし、各社のminiSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
  最新の対応情報については下記をご覧ください。
  iモード　　iMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  パソコンなど　http://panasonic.jp/mobile/index.html

サイト接続用QRコード

- カード処理を行っているときは、着信／充電ランプが点灯・点滅します。（機能によっては点灯・点滅しない場合があります。）
  カード処理を行っているときは絶対にminiSDメモリーカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、miniSDメモリーカードを抜いてください。
- miniSDメモリーカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。

お知らせ

- パソコンなど他機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードは使用できないことがあります。必ずFOMA P901iTVでフォーマットしたminiSDメモリーカードをご使用ください。
- パソコンなど他機器で使用しているminiSDメモリーカードをFOMA P901iTVで使用すると、FOMA P901iTVで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。
- miniSDメモリーカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA P901iTVでminiSDメモリーカードを読めなくなることがあります。

■miniSDメモリーカードの書き込み速度が低下したときは

ご使用になるminiSDメモリーカードの種類によっては、データの保存や削除を繰り返すと、データの書き込み速度が低下することがあります。動画撮影時に、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりする場合もありますので、以下の操作を行うことをおすすめします。

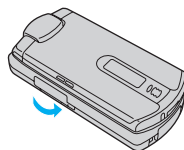
1. **miniSDメモリーカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。**
2. **パソコンでminiSDメモリーカード内のすべてのデータを削除する。**
3. **手順1でコピーしておいたデータを、miniSDメモリーカードにコピーして戻す。**

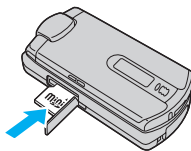
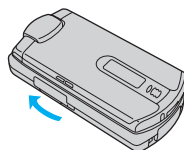
- パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- パソコン上にコピーしたデータは、miniSDメモリーカードに戻すまでにフォルダ名やファイル名を編集したりしないでください。
- 手順2で、miniSDメモリーカードをフォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

miniSDメモリーカードのフォーマットを行うとすべてのデータが消去されるのでご注意ください。

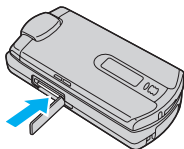
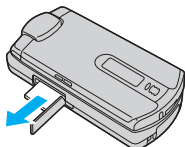
miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

■取り付けかた

1 miniSDメモリーカード差込口のカバーを開ける

2 miniSDメモリーカードのおもて面を上に向けて差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

3 miniSDメモリーカード差込口のカバーを閉める

■取り外しかた

1 取り付けかたの手順1に従ってカバーを開け、miniSDメモリーカードをいったん奥まで押し込む

●奥まで押し込むとminiSDメモリーカードが出ます。

2 miniSDメモリーカードを抜き取る

■画面表示について
miniSDメモリーカードを取り付けると以下のマークが表示されます。
SD：miniSDメモリーカードに保存したり、保存したデータを読み出したりできます。
SD：miniSDメモリーカードを使用できません。miniSDメモリーカードを取り外して、再度取り付けてください。miniSDメモリーカードを取り外して、再度取り付けても「SD」が表示される場合は、「miniSDチェックディスク」または「miniSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で付けたり外したりしないでください。miniSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- miniSDメモリーカードを装着したり取り外したりするときは、飛び出すことがありますので注意してください。
- miniSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとminiSDメモリーカードや差込口が破損する恐れがあります。
- miniSDメモリーカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末はminiSDメモリーカード内に次のようなフォルダを作成し、そのフォルダ内に保存します。パソコンなどで確認できます。

- DCIM（DCF規格静止画用フォルダ）
  - △△△_PANA
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - STILL（DCF規格外静止画フォルダ〔パソコンなどから画像を保存するためのフォルダで、パソコンなどで作成する必要があります。〕）
      - SUD□□□
    - TABLE（付加情報フォルダ）
- SD_VIDEO（動画用フォルダ〔音楽データ含む〕）
  - PRL◇◇◇
- SD_PIM
  （電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク用フォルダ）
- MISC
  （DPOF用フォルダ〔P.363「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕）

●「△△△」は100～999の3桁の半角数字になります。
●「□□□」は001～999の3桁の半角数字になります。
●「◇◇◇」は0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字になります。
※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数え方です。

■パソコンなどからminiSDメモリーカードにファイルを書き込むときは
パソコンなどからminiSDメモリーカードにファイルを書き込んで利用する場合は、それぞれのフォルダに指定のファイル名で書き込む必要があります。ファイル名については以下のとおりです。

ファイル	ファイル名
静止画（DCF規格）	Pxxxzzzz.JPG（JPEGファイル）
静止画（DCF規格外）	STILzzzz.JPG（JPEGファイル） STILzzzz.GIF（アニメーションGIFファイル）
動画	MOL＊＊＊.3GP（3GPファイル） MOL＊＊＊.SDV（SDVファイル） MOL＊＊＊.ASF（ASFファイル） MOL＊＊＊.MP4（MP4ファイル）
電話帳 スケジュール ToDo メール フリーメモ ブックマーク	PIM$$$$$.VCF（vCardファイル） PIM$$$$$.VCS（vCalendarファイル） PIM$$$$$.VMG（vMessageファイル） PIM$$$$$.VNT（vNoteファイル） PIM$$$$$.VBM（vBookmarkファイル）

●「xxx」はフォルダ名の「△△△」と同じ半角数字に、「zzzz」は0001～9999の4桁の半角数字にして保存します。
●「＊＊＊」は0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字にして保存します。
※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数え方です。
●「$$$$$」は00001～65535の5桁の半角数字にして保存します。

お知らせ

- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンで編集したファイルをminiSDメモリーカードに保存するとき、P.355に記載されているフォルダ名、ファイル名以外を使用した場合、FOMA P901iTVでは表示されません。また、パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- miniSDメモリーカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA P901iTVでminiSDメモリーカードを読めなくなることがあります。
- FOMA P901iTV未対応のデータをパソコンでminiSDメモリーカードに記録しても、FOMA P901iTVでは認識できません。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- miniSDリーダーライターおよびパソコンに搭載されているSDカードスロットについては、miniSDメモリーカードの動作を各メーカーにご確認のうえお買い求めください。
- FOMA P901iTV以外の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■miniSDメモリーカードに保存できる件数・時間について

miniSDメモリーカードに保存できる件数・時間は、ご使用になるminiSDメモリーカードの容量によって変わります。フォルダを追加して、エクスポートする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

ファイル	フォルダ	保存可能数・時間
静止画（DCF規格）	DCIM	P.163参照
静止画（DCF規格外）	STILL	32Mバイト：約1820件 16Mバイト：約900件
動画	SD_VIDEO	P.169参照
電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク	SD_PIM	32Mバイト：約1820件 16Mバイト：約900件

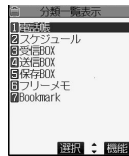
miniSDメモリーカードの空き容量と保存容量は「miniSD情報表示」で確認できます。
miniSDメモリーカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても実際の保存容量はminiSDメモリーカードに表示された容量より少なくなります。

＜SD-PIM＞

miniSDメモリーカードを使う

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをminiSDメモリーカードに保存できます。また、保存したデータをFOMA端末に取り込めます。

- miniSDメモリーカードに保存できる件数についてはP.356参照。
- 静止画・動画／ｉモーションを保存するにはP.335「エクスポート」参照、取り込むにはP.335「インポート」参照。

1 メニュー▶ツール▶SD-PIM

＜分類一覧表示画面＞

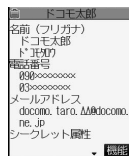
2 表示したい分類を選択▶◉

- 「スケジュール」を選択すると、ToDoも表示されます。

＜miniSDファイル画面＞
電話帳の場合

3 表示したいminiSDメモリーカード内のファイルを選択▶◉

＜データ一覧画面＞
電話帳の場合

4 表示したいデータを選択▶◉

＜データ詳細画面＞
電話帳の場合

お知らせ

- 他の機能が動作中は、操作できません。
- デコメールを表示したときは、miniSDメモリーカードに保存する前のメールイメージを、正しく表示できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

分類一覧表示画面・miniSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面の機能メニュー

1 分類一覧表示画面・miniSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面 ▶ (機能) ▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
タイトル編集	▶タイトルを入力▶ ●全角15文字まで、半角31文字まで入力できます。
追加インポート	FOMA端末に追加で取り込みます。(P.357参照)
上書インポート	FOMA端末に上書きで取り込みます。(P.357参照)
追加1件インポート	FOMA端末に追加で1件取り込みます。(P.357参照)
追加全件インポート	FOMA端末に追加で全件取り込みます。(P.357参照)
上書全件インポート	FOMA端末に上書きで全件取り込みます。(P.357参照)
本体からエクスポート	FOMA端末からminiSDメモリーカードへコピーします。(P.358参照)
1件削除	▶YES
全削除	現在表示している分類にあるファイルを全件削除します。▶端末暗証番号を入力▶ ▶YES
miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの容量を表示します。(P.359参照)
miniSDフォーマット	miniSDメモリーカードをフォーマットします。(P.358参照)
miniSDチェックディスク	miniSDメモリーカードをチェックします。(P.358参照)

miniSDメモリーカード内のデータをFOMA端末に取り込む(インポート)

miniSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをFOMA端末に取り込みます。

追加1件インポート

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末に取り込みます。

1 データ一覧画面・データ詳細画面 ▶ (機能) ▶追加1件インポート ▶YES

1ファイル追加インポート

miniSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末に取り込みます。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 miniSDファイル画面・データ一覧画面 ▶ (機能) ▶追加インポート・追加全件インポート▶端末暗証番号を入力▶ ▶YES

1ファイル上書インポート

miniSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末に取り込みます。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 miniSDファイル画面・データ一覧画面 ▶ (機能) ▶上書インポート・上書全件インポート▶端末暗証番号を入力▶ ▶YES▶YES

お知らせ

- 取り込み中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でインポートが中断されます。取り込み済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加インポート時、miniSDファイルに登録されているグループ番号・グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号・グループ名と異なる場合、電話帳はグループ00に登録されます。
- 電話帳を上書きで全件インポートした場合は、先頭のデータを「自局番号表示」に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「自局番号表示」に設定されます。「NO」を選択すると「自局番号表示」は設定されずに全データが電話帳に登録されます。
- 受信BOXがいっぱいのとき、受信メールを1件インポートすると、保護されていない最も古い既読メールに上書きされます。
- 送信BOXがいっぱいのとき、送信メールを1件インポートすると、保護されていない最も古いメールに上書きされます。
- 追加全件インポートした場合、以下のデータはインポートされません。
  ・日付時刻の設定が同じスケジュール
  ・同じURLのブックマーク
- miniSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- インポート中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えるとインポートが中断されます。
- インポート中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード・メールなどのパケット通信、データ通信などはできません。

FOMA端末内のデータをminiSDメモリーカードへコピーする（エクスポート）

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをminiSDメモリーカードにコピーします。

1件エクスポート

FOMA端末内の1件のデータをminiSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータの画面▶[i]（機能）▶1件エクスポート・エクスポート▶YES

全件エクスポート

分類一覧画面で選択している分類やminiSDファイル画面で表示している分類のデータをFOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 分類一覧表示画面・miniSDファイル画面▶[i]（機能）▶本体からエクスポート▶端末暗証番号を入力▶[●]▶YES

■「スケジュール」「ToDo」を全件エクスポートするときは
分類一覧表示画面・miniSDファイル画面でスケジュールを選択していた場合は、エクスポートする項目を選択します。
スケジュール . . .スケジュールを全件miniSDメモリーカードに保存します。
ToDo. . . . . .ToDoを全件miniSDメモリーカードに保存します。
全て . . . . .スケジュール、ToDoを全件miniSDメモリーカードに保存します。

お知らせ

- ｉアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- シークレットで登録されているデータを1件エクスポートした場合、シークレットが解除されたデータとしてコピーされます。
- データを全件エクスポートした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- 電話帳を全件エクスポートした場合、「自局番号表示」の内容もコピーされます。
- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。
- パソコンなど他機器でプロテクト設定されたminiSDメモリーカードには書き込みができません。
- エクスポート中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えるとエクスポートが中断されます。
- エクスポート中は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード・メールなどのパケット通信、データ通信などはできません。

<miniSDフォーマット>

miniSDメモリーカードをフォーマットする

miniSDメモリーカードを初めて利用するときには、フォーマット（初期化）する必要があります。フォーマットは必ずFOMA P901iTVで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードは正常に使用できない場合があります。

※フォーマットを行うと、miniSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 [メニュー]▶[ツール]▶SD-PIM▶[i]（機能）▶miniSDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶[●]▶YES

お知らせ

- 他の機能が動作中は、操作できません。
- フォーマット中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- フォーマット中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えるとフォーマットが中断されます。
- フォーマットを中止した場合、miniSDメモリーカードに保存されていたデータは不確定になります。
- プロテクト設定されたminiSDメモリーカードや未対応のメモリーカードはフォーマットできません。
- miniSDフォーマット中は着信／充電ランプが緑色で点滅します。
- miniSDフォーマット中に[メール]（中止）や[電源]を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
- フォーマット後にminiSDメモリーカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

<miniSDチェックディスク>

miniSDメモリーカードをチェックする

miniSDメモリーカードのチェックを行い、修復します。

1 [メニュー]▶[ツール]▶SD-PIM▶[i]（機能）▶miniSDチェックディスク▶YES

データ表示／編集／管理 miniSDフォーマット

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

お知らせ

- 他の機能が動作中は、操作できません。
- チェックディスク中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- チェックディスク中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えるとチェックディスクが中断されます。
- プロテクト設定されていたりフォーマットされていないminiSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- miniSDメモリーカードのチェックディスクを行った場合、miniSDメモリーカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- miniSDチェックディスク中は着信／充電ランプが緑色で点滅します。
- miniSDチェックディスク中に✉（中止）や PWR/HLD を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
- miniSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- miniSDメモリーカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

＜miniSD情報表示＞

miniSDメモリーカードの容量を表示する

miniSDメモリーカードの空き容量と保存容量（目安）を表示します。
静止画、動画の保存容量を確認するにはP.333参照。

1 メニュー▶ツール▶SD-PIM▶ⓘ（機能）▶miniSD情報表示

- 確認が終われば クリア を押します。

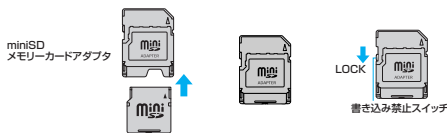
お知らせ

- miniSDメモリーカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても実際の保存容量はminiSDメモリーカードに表示された容量より少なくなります。
- 以下の画面から ⓘ（機能）を押しても表示できます。
SD-PIMのminiSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面

miniSDメモリーカードをパソコンなどで使う

miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタに接続すると、SDメモリーカード対応のパソコンなどで利用できます。静止画・動画を表示・プリントアウトしたり、大切なデータのバックアップを取れます。
miniSDメモリーカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

miniSDメモリーカードアダプタを使う

miniSDメモリーカードアダプタを使用すれば、miniSDメモリーカードをSDメモリーカード対応機器で利用できます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードアダプタ本体の書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にあると、miniSDメモリーカードへの書き込みやフォーマットなどができなくなります。
大切なデータを保護したい場合は書き込み禁止スイッチを「LOCK」側に、データの書き込み・フォーマットなどをしたい場合は書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。

FOMA端末をminiSDリーダーライターとして使う

お買い上げ時	通信モード

miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、miniSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

1 メニュー▶設定▶その他▶USBモード設定▶miniSDモード

- 「miniSDモード」に設定すると、待受画面に「SD MODE」が表示されます。
- パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信（OBEX）やハンズフリー対応機器での通話で使用する場合は「通信モード」に設定します。

2 FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続する（P.398参照）

パソコンがminiSDメモリーカードを認識します。

- 待受画面に「SD」が表示されます。また、miniSDメモリーカードを装着中は「SD」が表示されます。
- miniSDメモリーカードにアクセス中は着信／充電ランプが緑色で点滅します。

データ表示／編集／管理
miniSD情報表示

次ページにつづく

お知らせ

- パソコンなどからminiSDメモリーカードをフォーマットすると、FOMA端末で使用できなくなることがあります。必ずFOMA端末でフォーマットしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- miniSDメモリーカード内のデータの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- FOMA端末からのアクセス中はパソコンからはアクセスできません。また、パソコンからのアクセス中はFOMA端末からはアクセスできません。
- データリンクソフトを使用する場合は、「通信モード」でご利用ください。

■FOMA端末をminiSDリーダーライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル（別売）
パソコン	FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows® Me、Windows® 2000、Windows® XP（各日本語版）

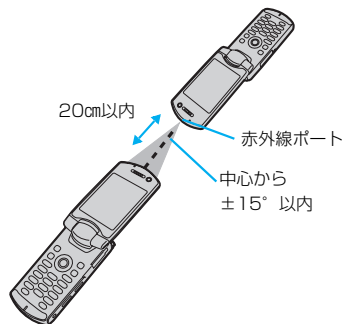
■用語解説

- DCF
  Design rule for Camera File Systemの略でファイルシステムの規格です。
- MPEG4
  Moving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化（データ圧縮）方式の動画です。
- 3gp形式
  「3gp」は3GPP（3rd Generation Partnership Project）により規定されたフォーマットです。
- asf形式
  Advanced Streaming Formatの略で、映像、音声や文字などの情報を持つことのできるストリーミング配信に適したフォーマットです。

記録媒体設定	「本体」の場合	「miniSD」の場合
保存先	FOMA端末	miniSDメモリーカード
ファイル形式	MP4（3gp）	ASF（asf）
備　考	miniSDメモリーカードへエクスポート可	本体へインポート可

赤外線通信について

FOMA端末はIrMCバージョン1.1に準拠しています。赤外線通信機能を持つ機器との間で、電話帳やスケジュールなどを送受信できます。
ただし、相手機器がIrMCバージョン1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。
※FOMA P2101Vとは赤外線通信できません。
　また、メロディファイル・静止画ファイル・動画ファイルは、FOMA P901iTVからFOMA P2102Vには送信できません。（FOMA P2102VからFOMA P901iTVには送信できます。）

- 赤外線の通信距離は、20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下・赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。

■赤外線通信時のご注意

- 他の機能が動作中は、通信できません。
- 赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、iモード・メールなどのパケット通信、データ通信などはできません。
- 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、自局番号表示のデータを送信できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

■赤外線を使って転送できるデータの一覧

転送可能データ＼転送条件	1件	全件
電話帳（自局番号表示）	○	700件まで※1
スケジュール※2	○	100件まで
ToDo	○	100件まで
受信メール	○	1000件まで
送信メール	○	400件まで
保存メール	○	20件まで
フリーメモ	○	10件まで
メロディ※3、※4	○	×
静止画ファイル※4、※5	○	×
動画ファイル※4、※6	○	×
ブックマーク※7	○	100件まで

※1 電話帳の全件送受信件数は、電話番号とメールアドレスがそれぞれ700件に到達するまでです。
※2 休日・記念日は赤外線では送受信できません。
※3 ファイルによっては送受信できません。
※4 vntファイルに変換して送受信されます。
※5 自作アニメや「TVイメージ」フォルダの静止画は送受信できません。
また、VGA（640×480）サイズを超えるJPEGファイルを送受信する場合、VGA（640×480）サイズに縮小されることがあります。
※6 ASFファイルは送受信できません。
※7 ブックマークを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳（自局番号表示）	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」（「ツータッチダイヤル」）の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。
ToDo	1件受信	ToDoリストの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ順番で登録されます。
受信メール	1件受信	「受信フォルダ一覧」の「受信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	「送信フォルダ一覧」の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
フリーメモ	1件受信	<未登録>の一番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「iモード」フォルダの1番目に登録されます。
静止画ファイル	1件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「iモード」フォルダの1番目に登録されます。
動画ファイル	1件受信	「データBOX」内の「iモーション」内の「iモード」フォルダの1番目に登録されます。
ブックマーク	1件受信	「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。

お知らせ

- 静止画、動画のタイトルは、全角で9文字、半角で18文字まで送受信されます。
- メロディのタイトルは、全角で25文字、半角で50文字まで送受信されます。
- 認証に失敗したとき、データが容量を超えるときなどはその旨の警告画面が表示され、送信（受信）できないことがあります。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。
- 送受信中はビューアスタイルに切り替えないでください。ビューアスタイルに切り替えると送受信が中断されます。
- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

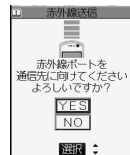
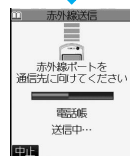
データを1件ずつ送受信する

FOMA端末から電話帳、自局番号表示、スケジュール、ToDo、フリーメモ、ブックマーク、メール、メロディファイル、静止画ファイル、動画ファイルを赤外線で1件ずつ送受信できます。

データを1件送信する

1 **送信したいデータの画面▶(i)(機能)▶赤外線送信▶YES**

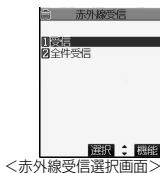
- 通信を中止する場合は(✉)(中止)または(クリア)を押します。

次ページにつづく

お知らせ

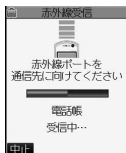
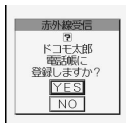
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画や動画、メロディ、FOMAカード内の電話帳やSMSは送信できません。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像の情報があるメールや、ｉアプリを起動させるリンク情報があるメールはその情報が削除されて送信されます。
- 送信が中断され、続けるかどうかの確認画面が表示されたときは、「YES」を選択すると再度通信をやり直せます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードは送信されません。
- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。

データを1件受信する

メニュー 7 9

1 メニュー▶ツール▶**赤外線受信**

＜赤外線受信選択画面＞

2 **受信**

- 通信を中止する場合は ✉（中止）または クリア を押します。

3 **YES**

お知らせ

- 外部からの赤外線データ受信対応のｉアプリソフトをすでにダウンロード済みで、ソフトを起動する指示を受信した場合は、指定されたソフトが起動します。ただし、ｉアプリ To 設定で「赤外線からｉアプリ To」にチェックを入れていない場合は、自動起動しません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録した電話帳を受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 受信した「自局番号表示」のデータは電話帳として登録されます。
- 受信メールの最大保存件数（P.499参照）を超えた場合は、①「ゴミ箱」フォルダのメール②保護されていない最も古い既読メールの順に上書きされます。
- 送信メールの最大保存件数（P.499参照）を超えた場合は、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- 静止画は700Kバイト、動画は800Kバイト、メロディは100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。

データを全件送受信する

FOMA端末から電話帳、スケジュール、ToDo、フリーメモ、ブックマーク、メールのデータを赤外線で全件送受信できます。

■全件送受信すると

- 電話帳を全件送信すると「自局番号表示」のデータも一緒に送信されます。
- 受信側の「自局番号表示」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- 保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。

■全件送受信する前に必ずお読みください

- 全件受信を行うと、登録されていたデータは保護メールも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
- 電話帳を全件受信すると、「自局番号表示」に登録されている個人データ（自局番号を除く）も上書きされます。
- 「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
- 受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- 全件送受信の場合、通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。送受信するデータのサイズによっては、データが正しく送受信されていてもバー表示の進み具合が遅くなったり、通信の相手側と異なって見えることがあります。

データを全件送信する

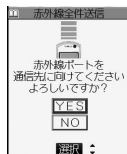
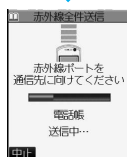
全件送信するには、認証パスワード（任意の4桁の番号）の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

1 **送信したいデータの画面**▶ i（機能）▶**赤外線全件送信**▶**端末暗証番号を入力**▶◎

2 **認証パスワードを入力**▶**YES**

- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

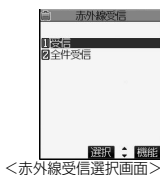
- 通信を中止する場合は ✉（中止）または クリア を押します。

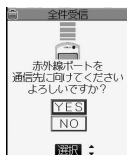
＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

お知らせ

- FOMAカード内の電話帳やSMSは送信できません。
- ToDoに対応していない端末にToDoを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- メールの全件送信を行った場合、10000バイトを超えるJPEG形式の画像の情報があるメールや、ｉアプリを起動させるリンク情報があるメールはその情報が削除されて送信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 送信が中断され、続けるかどうかの確認画面が表示されたときは、「YES」を選択すると再度通信をやり直せます。
- シークレットモード時に関係なく、選択したすべてのデータが送信されます。

データを全件受信する

全件受信するには、送信側と同じ認証パスワードの入力が必要です。全件受信をすると、受信したデータにより上書きされ、保護を設定したデータを含め登録していたデータはすべて削除されますのでご注意ください。「シークレットモード」で登録されていたデータも削除されます。

1 ▶▶**赤外線受信**

＜赤外線受信選択画面＞

2 **全件受信▶端末暗証番号を入力▶◉▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力▶YES**

3 **YES**

登録済みのデータを削除し、受信を開始します。

- 通信を中止する場合は✉（中止）または クリア を押します。

お知らせ

- 電話帳に設定されている静止画やメールに添付されているファイルを受信したとき、同じファイルがある場合はデータBOXには1つだけ登録されます。

赤外線受信選択画面の機能メニュー

1 **赤外線受信選択画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)

＜電話帳画像転送＞ 通信の設定を行う

お買い上げ時	する

赤外線、SD-PIMやデータリンクソフトで電話帳を転送したときに、登録されている静止画も合わせて転送するかどうかを設定します。

1 メニュー▶ツール▶**電話帳画像転送▶する・しない**

保存した画像を印刷する

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。miniSDメモリーカード内の静止画にプリントする情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定通りに印刷できます。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面▶ⓘ（機能）▶DPOF設定▶プリント指定**

- 選択した静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定解除」を選択します。すべての静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定全解除」を選択します。設定が終了します。

2 **プリント枚数（枚）を入力▶◉**

- 「01」～「99」の2桁を入力します。

お知らせ

- DPOF設定した画像はファイル形式アイコンが「![icon]」や「![icon]」になります。
- 999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
- UXGA（1600×1200）サイズを超える画像には設定できません。
- パソコンなど他機器で設定したDPOF設定は枚数情報以外は無効となります。
- miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。（アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。）不要なファイルを削除するなどして、容量を空けてから再度設定してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

その他の便利な機能

<マルチアクセス>
マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.468参照。

種類	回線数
音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。
- テレビ電話または64Kデータ通信利用時はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSは同時に受信できます。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 ｉモード中・パケット通信中▶(メニュー)（1秒以上）

待受画面が表示されます。

2 電話をかける

- ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
  テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。
- 画面を切り替えるときは(マルチ)を1秒以上押すか、(マルチ)を押してタスクメニューから切り替えます。（P.368参照）

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると電話着信画面が表示される

2 (通話)で電話に出る

- 画面を切り替えるときは(マルチ)を1秒以上押すか、(マルチ)を押してタスクメニューから切り替えます。（P.368参照）
- 電話に出ないでｉモードやパケット通信の画面に戻るには(マルチ)を1秒以上押します。もう一度(マルチ)を1秒以上押すと電話着信画面に戻ります。
  相手にはメッセージは流れず、呼出中になります。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにｉモードやメールの送受信などができます。

1 音声電話中▶(メニュー)

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

- 画面を切り替えるときは(マルチ)を1秒以上押すか、(マルチ)を押してタスクメニューから切り替えます。（P.368参照）

お知らせ

- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信表示設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

■通話中に着信があったときは

キャッチホンを契約し、サービスを「開始」に設定している場合は、通話中、64Kデータ通信中に着信があると、着信音が鳴り、通話／通信を終了すれば着信に応答できる旨のメッセージが表示されます。

元の通話を続けるには

1. ◎または(ｸﾘｱ)を押す
 ●音声電話中に音声電話がかかってきたときは、着信に応答できる旨のメッセージは表示されません。着信画面で手順2の操作を行います。

2. (i)(機能)
 着信拒否 . . . . .新しい着信を拒否し、元の通話に戻ります。
 転送でんわ . . .新しい着信を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
 留守番電話 . . .新しい着信を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

新しい着信に応答するには

・テレビ電話中にテレビ電話の着信があったとき
 音声電話中に音声電話の着信があったとき
 64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信があったとき
 1. ◎または(ｸﾘｱ)を押す
  ●音声電話中に音声電話がかかってきたときは、着信に応答できる旨のメッセージは表示されません。着信画面で手順2の操作を行います。
 2. (PWR HLD)を押す
  元の通話が終了し、着信画面が表示されます。新しい着信に応答できます。

・上記以外の組み合わせのとき
 1. ◎または(ｸﾘｱ)▶(ﾏﾙﾁ)▶終了する通信を選択▶◎
  ●テレビ電話を終了するには「テレビ電話通信」、音声電話を終了するには「音声通信」、64Kデータ通信を終了するには「外部機器通信」を選択します。
  ●(ﾏﾙﾁ)を1秒以上押してタスクを切り替えても終了する通信を選択できます。
 2. (PWR HLD)を押す
  元の通話が終了し、着信画面が表示されます。新しい着信に応答できます。

お知らせ

- テレビ電話接続中、遠隔監視中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。（留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）
- テレビ電話中に着信があった場合、着信時の画像に設定された動画／ｉモーション、Flash画像は表示されません。
- テレビ電話中に着信があった場合、元の通話の相手には「内蔵」の代替画像が送信されます。
- テレビ電話中に着信があった場合、バイブレータは動作しません。
- デジタルテレビ（視聴予約、番組表ｉアプリ含む）、アナログテレビ起動中は、以下の通話中着信に応答できません。
 ・音声通話中にテレビ電話がかかってきた場合
 ・テレビ電話中に音声電話がかかってきた場合
 新しい着信を切断する場合は機能メニューから「着信拒否」を選択してください。

＜マルチタスク＞

マルチタスクについて

FOMA端末は、メニュー機能（P.35参照）などの複数の機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。
マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。（マルチタスクの組み合わせパターンについてはP.469参照）
最大3つのタスクと音声電話またはテレビ電話を同時に使用できます。

メールグループ . . . . ｉモードメール機能、SMS機能
ｉモードグループ . . . メインメニューの「ｉモードグループ」内のメニュー機能
設定グループ . . . . . . メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能
ツールグループ . . . . メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能
その他グループに属さない機能
. . . . 音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など

■マルチタスク中は

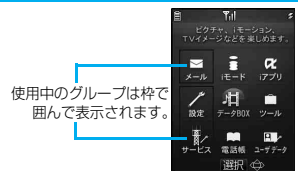
新しい機能を実行する

1 **各種機能を実行中▶(ﾒﾆｭｰ)**

ツールグループの機能を実行中の場合

2 **新しい機能を実行**

その他の便利な機能　マルチタスク

次ページにつづく

■機能の使用状況を確認するには

アイコンで確認するには

「」．．．．．使用している機能が一つのときに表示されます。
「」．．．．．複数の機能を使用中に表示されます。

タスクメニューで確認するには

を押します。
現在使用中のメニューが一覧表示されます。
で選択し、を押してメニューを切り替えることもできます。

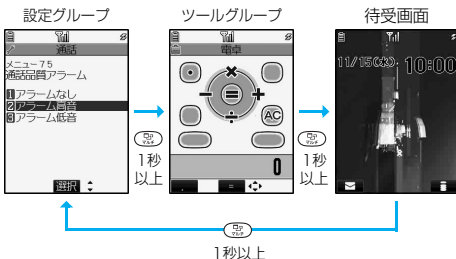
■メニュー機能を呼び出す操作をしたときは

すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されている場合は、機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。
すでにタスクを3つ起動しているときに、さらに機能を起動しようとした場合、「これ以上機能を起動できません」と表示されます。

お知らせ

- 待受画面が表示されているときは、を押してｉモードメニューを、を押してメールメニューを呼び出せます。
- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が動作中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- FOMAカード、miniSDメモリーカード、別のFOMA端末、パソコンなどとのデータ転送機能は、マルチタスクでは使用できません。これらの機能を呼び出すときは、必ず他のメニュー機能を終了してください。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

複数のメニュー機能が動作しているときは、を1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。最近選択したものから新しい順で切り替わります。

お知らせ

- を押してタスクメニューを表示し、切り替えることもできます。
- メインメニュー以外でを1秒以上押すと待受画面が表示されます。メインメニュー表示中は切り替わりません。
- で画面を切り替えても、動作中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力画面（P.438参照）から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態でを押すと、そのメニュー機能が終了します。

- **タスクメニューで（）を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。**

お知らせ

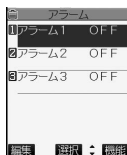
- 複数のメニュー機能が動作しているときに、を繰り返し押すと、表示中のメニュー機能を終了したあとに、タスクの重なっている順に、動作していた機能が終了します。
- FOMA端末の電源を切ると、メニュー機能はすべて終了します。
- 他のメニュー機能が動作中にFOMAカード（UIM）操作などのメニュー機能を呼び出す操作をすると、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。この場合、他のメニュー機能を終了してから、メニュー機能を呼び出す操作をしてください。

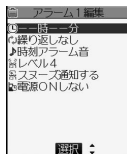
<アラーム>　メニュー 4 4

アラームを利用する

お買い上げ時	OFF

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーションでお知らせします。3件まで登録できます。

1 ▶ツール▶**アラーム**

2 **アラームを選択▶（編集）▶以下の操作を行う**

- 登録済みのアラームを選択すると、登録内容を確認できます。
- アラームを「OFF」にする場合は、（機能）を押して機能メニューから「1件OFF」または「全件OFF」を選択します。

項目	内容
（時刻）	▶アラームを鳴らす時刻を入力▶ ●時刻は24時間で入力します。 ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

項目	内容
(繰り返し)	設定なし . . . 繰り返さない（1回のみ）設定になります。繰り返しの設定が終了します。 毎日 . . . . . . 毎日同じアラームを設定します。詳細画面に「D」が表示されます。繰り返しの設定が終了します。 曜日指定 . . . 指定した曜日にアラームを設定します。 ▶設定したい曜日にチェック ▶(完了) ●を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 ●少なくとも1つの曜日を選択してください。 ●詳細画面に「W」が表示されます。
(アラーム音)	▶フォルダを選択▶▶アラーム音を選択▶ ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ●メロディのフォルダや一覧についてはP.351参照
(アラーム音量)	▶で音量を調節▶ ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
(スヌーズ通知)	スヌーズ通知するかどうかを設定します。スヌーズ通知しない場合は、アラーム音が鳴り続ける時間を設定します。 ▶スヌーズ通知する・スヌーズ通知しない ●「スヌーズ通知する」を選択した場合は、設定が終了します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.369参照。 ▶鳴動時間（分）を入力 ●「01」～「10」の2桁を入力します。
(自動電源ON)	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶電源ONする・電源ONしない

3 (完了) を押す

お知らせ

●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームを終了し、アラームメッセージが消え通話中の画面になります。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームを終了し、アラームメッセージが消えます。
●スヌーズ中に着信があった場合やスケジュール・ToDo・視聴予約のアラーム音が鳴った場合、スヌーズは解除されます。
●自動的に電源をONにしてアラームを通知する場合、「プリインストール」以外のFOMAカード動作制限の対象となるアラーム音が選択されていると、お買い上げ時のアラーム音が鳴ります。
●高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

アラーム表示中の機能メニュー

1 **アラーム表示中▶(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
編集	P.368手順2へ進みます。 ●(編集)を押しても編集できます。
詳細表示	アラームの設定内容を表示します。
1件OFF	▶YES
全件OFF	▶YES

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているときは

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているとデスクトップにアイコンが表示されます。
「」. . . 当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合に表示されます。
「」. . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。
●「正面時計設定」の「表示方法」を「OFF」に設定した場合や、スケジュール・ToDoを「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になると

設定した時刻になるとアラーム音が約5分間（「アラーム」は設定した時間）鳴り、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は、を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。通話中のときは、受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。画面には、設定したアラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションが表示されます。

●操作中は
「アラーム通知設定」で操作中の通知のしかたを設定できます。(P.375参照)
「操作優先」. . . 操作中は通知しません。
「通知優先」. . . 常に通知します。

●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。通知できなかったスケジュールまたはToDoについては「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●電源OFFのときは
<アラーム>
自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
<スケジュール・ToDo>
設定した時刻になってもアラーム通知はしません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●マナーモード中は
<アラーム>
設定した時刻になるとバイブレータでお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「アラーム音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。
<スケジュール・ToDo>
設定した時刻になるとバイブレータとメッセージ表示でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「電話着信音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。

次ページにつづく

●オールロック中、PIMロック中は
「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。オールロックやPIMロック解除後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。
<アラームのみ>
オールロック中やPIMロック中で電源もOFFにしていたときは、電源はONにならず、オールロックやPIMロック解除後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●SD-PIM動作中は
「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。
SD-PIM動作終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●FOMAカード（UIM）操作中は
「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。
FOMAカード（UIM）操作終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●ソフトウェア更新中は
「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。
書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●赤外線通信中は
「アラーム通知設定」の設定に関わらず、設定した時刻になってもアラーム通知はしません。
赤外線通信終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

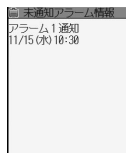
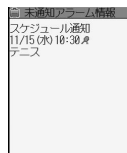
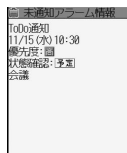
■アラーム音／アラームメッセージ・アニメーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押すとアラーム音が停止し、アニメーションの動きも止まります。アラームメッセージの表示を消すにはもう一度いずれかのボタン（アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合はPWR HLD）を押します。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールのアラームメッセージの表示は消せません。また、アラーム通知中に電話がかかってきたときはアラーム音が停止し、アラームメッセージやアニメーションの表示も消えます。

■「アラーム通知」ができなかったときは

アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

1. 待受画面▶◉
表示されているアイコンが選択できるようになります。

2. アラームを選択▶◉
●「アラーム」の未通知アラーム情報画面には、アラームに登録した日時が表示されます。「スケジュール」の未通知アラーム情報画面には、スケジュール登録したときに設定した日時、スケジュールアイコン、要約または内容が表示されます。「ToDo」の未通知アラーム情報画面には、ToDoを登録したときに設定した日時、高または低、状態アイコンが表示されます。
●PWR HLDまたはクリアを押すと元の状態に戻ります。
●未通知アラーム情報を確認すると、「未通知アラームあり」のアイコンは消えます。

アラームの場合　スケジュールの場合　ToDoの場合

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定している場合、待受画面以外でアラーム時刻になったときはアラーム通知されません。
●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
●デスクトップで未通知アラーム情報の内容を確認せずにアイコンを消したいときは、クリアを1秒以上押します。
●アイコンを削除すると、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

＜スケジュール＞　メニュー 4 5

カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位または1週間単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2005年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

●アラーム通知の動作についてはP.369参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音と入力したアラームメッセージ（スケジュールの要約や内容）および設定したアイコンに対応したアニメーションで用件をお知らせします。
スケジュールは100件まで登録できます。また、1日に複数のスケジュールを登録できます。

1 メニュー▶ ツール ▶**スケジュール**

<カレンダー画面>

2 ✉（新規）▶**スケジュール**
▶**以下の操作を行う**

項目	内容
（開始日時）	▶**スケジュールを開始する日付、時刻を入力**▶◎ ●時刻は24時間で入力します。
（終了日時）	開始日時と同じか、あとの日時を入力します。 ▶**スケジュールを終了する日付、時刻を入力**▶◎ ●時刻は24時間で入力します。
（繰り返し）	**設定なし . . . 繰り返さない（1回のみ）設定になります。繰り返しの設定が終了します。** **毎日 . . . . . . 毎日同じスケジュールを設定します。繰り返しの設定が終了します。** **曜日指定 . . . 指定した曜日にスケジュールを設定します。** ●繰り返し（毎日／曜日指定）を設定したスケジュールも1件としてカウントされます。 ▶**設定したい曜日にチェック**▶✉（完了） ●◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。 ●少なくとも1つの曜日を選択してください。
（アラーム通知）	**通知する . . . . . . .開始日時に設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。** **事前通知する . . .開始日時に設定した時刻の何分か前になるとアラームで通知します。** **通知しない . . . . .通知しません。通知の設定が終了します。** ▶**何分前に通知するかを入力** ●「01」～「99」の2桁を入力します。
（アラーム音）	▶**フォルダを選択**▶◎▶**アラーム音を選択**▶◎ ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ●メロディのフォルダや一覧についてはP.351参照。
（要約）	▶**スケジュール要約を入力**▶◎ ●全角20文字まで、半角40文字まで入力できます。
（内容）	▶**スケジュール内容を入力**▶◎ ●全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。 ▶**アイコンを選択**▶◎ ●ユーザアイコンを設定しているときは〜が表示されます。 ●アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。

3 ✉（完了）**を押す**

●スケジュール内容を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。
●設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
🔔：アラームでお知らせ
D：毎日繰り返し
W：曜日指定繰り返し

■同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを設定しようとしたときは
2つのスケジュールがともに「繰り返しなし」（設定なし）またはともに「繰り返し」（毎日／曜日指定）の場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
「繰り返しなし」（設定なし）のスケジュールと「繰り返し」（毎日／曜日指定）のスケジュールの場合は、「繰り返しなし」（設定なし）が優先される旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

●同時刻に設定できるのは「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせだけです。このとき「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。

次ページにつづく

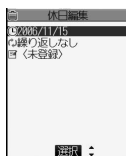
お知らせ

- 待受画面にカレンダーを設定しているときは、カレンダーからスケジュールの設定ができます。(P.122参照)
- シークレットデータとして登録したスケジュールは、通常モードでのアラーム通知時にシークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。
- 待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻(スケジュールの01～99分前)のみです。スケジュールを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

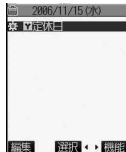
■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード(P.354参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.471参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

休日・記念日を登録する

休日と記念日は1日1件ずつ、それぞれ100件まで登録できます。

1 メニュー▶ツール▶スケジュール▶✉(新規)▶休日・記念日▶以下の操作を行う

項目	内容
(日付)	▶日付を入力▶◎
(繰り返し)	設定なし . . . 繰り返さない(1回のみ)設定になります。 毎年 . . . . . . 毎年同じ休日・記念日を設定します。 ●繰り返し(毎年)を設定した休日・記念日も1件としてカウントされます。
(内容)	▶休日または記念日の内容を入力▶◎ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

2 ✉(完了)を押す

設定した休日(☀)・記念日(🎀)が登録されます。
Y:毎年繰り返し
- すでに同じ日付に休日または記念日が登録されている場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

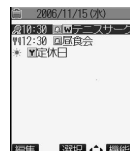
1 メニュー▶ツール▶スケジュール

カレンダー画面が表示されます。
- 選択されている日付は反転表示されます。
- スケジュールが登録されている日付には「□」(午前)、「■」(午後)が表示されます。土曜日は青色、日曜日・祝日・設定した休日は赤色で表示されます。記念日は赤丸で囲んで表示されます。
- その日の午前と午後に設定されているスケジュールの件数と登録されているアイコンを表示します。休日と記念日のアイコンは午後の欄に表示されますが、登録件数には含まれません。
- その日の午前と午後に設定されているスケジュールの件数を表示します。
- その日に設定されているスケジュール、休日または記念日のアイコンと内容を表示します。

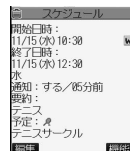
1ヶ月表示

1週間表示

2 日付を選択▶◎

選択した日付のスケジュールの一覧が時刻順に表示されます。

<スケジュール一覧画面>

3 スケジュール、休日または記念日を選択▶◎

スケジュール、休日または記念日の詳細画面が表示されます。

<スケジュール詳細画面>

お知らせ

- 祝日は「国民の祝日に関する法律」(昭和23年法律178号)、及び2005年5月までに既に公布されている一部改正法に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。
- カレンダー画面では当日の日付の下にアンダーラインが表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

カレンダー画面の機能メニュー

1 カレンダー画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

<カレンダー画面>

機能メニュー	内容
新規登録	スケジュール....P.371手順2へ進みます。 休日...........P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 記念日.........P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。
1ヶ月表示・1週間表示 お買い上げ時 1ヶ月表示	カレンダー画面の表示を切り替えます。 ▶1ヶ月表示・1週間表示
アイコン別表示	▶表示したいアイコンを選択▶◉ 選択したアイコンで登録されているスケジュールの一覧が表示されます。 ●スケジュールを選択し、◉を押すと詳細が表示されます。
ユーザアイコン設定	ユーザアイコンを設定します。（P.373参照）
登録件数確認	スケジュール、休日、記念日の件数を表示します。シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されているスケジュールの件数を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.362参照）
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶削除したい項目を選択▶◉▶YES
全削除	すべてのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶◉ ▶削除したい項目を選択▶◉▶YES ●休日をすべて削除すると、祝日の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
祝日リセット	削除した祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。休日はリセットされません。 ▶YES

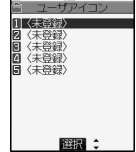
お知らせ

<アイコン別表示>
●アイコン別表示では、繰り返しを設定しているスケジュール（「W」または「D」）は1件として表示されます。日付は、今後のスケジュールの中で最も近い日付が表示されます。

ユーザアイコン設定

静止画またはアニメーションをユーザアイコンとして登録すると、用件をお知らせするときに登録した画像が表示されます。
ユーザアイコンは5件まで登録でき、アイコン選択の画面では「1」〜「5」と表示されます。

1 カレンダー画面・スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面▶ⓘ（機能）▶ユーザアイコン設定▶<未登録>

●静止画またはアニメーションが1件も登録されていないときは、「ユーザアイコン設定」は選択できません。
●変更する場合は、登録済みのユーザアイコンを選択します。選択したユーザアイコンがスケジュールに使用されている場合は確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

2 ユーザアイコンの種類を選択▶◉

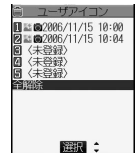
3 フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶◉

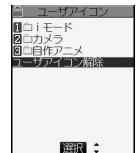
●選択した画像が小さい場合は「貼付表示位置」で設定した位置に表示されます。

お知らせ

●画像によってはユーザアイコンに設定できない場合があります。

■ユーザアイコンの設定をすべて解除するときには

手順1の画面で「全解除」を選択し、「YES」を選択します。
解除されたアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「🕒」に変わります。

■選択したユーザアイコン1件だけを解除するには

手順2で「ユーザアイコン解除」を選択します。

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

1 スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面▶(i)(機能)▶以下の操作を行う

<スケジュール一覧画面>

<スケジュール詳細画面>

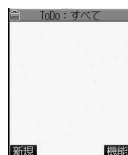
機能メニュー	内容
新規登録	スケジュール....P.371手順2へ進みます。 休日...........P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 記念日.........P.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。
編集	スケジュールはP.371手順2へ進みます。 休日と記念日はP.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●(✉)(編集)を押しても編集できます。 ●祝日は編集できません。
コピー	スケジュール、休日または記念日をコピーして別の日付に登録します。 ▶貼り付け先の日付、時刻を入力▶(●) スケジュールはP.371手順2へ進みます。 休日と記念日はP.372「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●コピー元のスケジュール、休日または記念日に「繰り返し（毎日／曜日指定／毎年）」が設定されていても、貼り付けたスケジュール、休日または記念日は「繰り返しなし」に変更されます。 ●祝日はコピーできません。
カレンダー表示	アイコン別表示からカレンダー表示に戻ります。アイコン別表示中のみ操作できます。
アイコン別表示	スケジュールをアイコン別に表示します。(P.373参照)
ユーザアイコン設定	ユーザアイコンを設定します。(P.373参照)
シークレット解除	シークレット登録されたスケジュールを通常のスケジュールに変更します。
iモードメール作成	スケジュールの日付と内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。P.235手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.361参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.362参照)
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.358参照)
1件削除	▶YES ●繰り返し（毎日／曜日指定／毎年）が設定されているスケジュール、休日または記念日を削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。 ●祝日は「1件削除」でのみ削除できます。
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールを削除します。(P.373参照)
選択削除	▶削除したいスケジュール、休日または記念日にチェック▶(✉)(完了)▶YES ●(●)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(i)(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	スケジュール、休日または記念日をすべて削除します。アイコン別表示中のみ操作できます。(P.373参照)

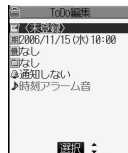
<ToDo>

ToDoでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを最大100件登録してスケジュールを管理できます。

●アラーム通知の動作についてはP.369参照。

1 (メニュー)▶(ツール)▶ToDo

2 (✉)(新規)▶以下の操作を行う

●すでにToDoが登録されている場合は、機能メニューから「新規登録」を選択します。
●登録済みのToDoを選択すると、登録内容を確認できます。

項目	内容
(本文)	▶本文（ToDo内容）を入力▶(●) ●全角100文字まで、半角200文字まで入力できます。
期 (期日)	直接入力...期日（期限）をダイヤルボタンで直接入力し、(●)を押します。 カレンダーから入力.........カレンダーが表示されますので、(◎)で期日（期限）を選択し、(●)を押します。期日を確認し、(●)を押します。 なし......期日（期限）を設定しません。アラーム通知しません。
優 (優先度)	▶優先度を選択▶(●) ●期日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

項目	内容
(カテゴリー)	▶カテゴリーを選択▶ ◎
(アラーム通知)	通知する . . . . 設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する . . . 設定した時刻の何分か前になるとアラームで通知します。 通知しない . . . . . 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
(アラーム音)	▶フォルダを選択▶ ◎ ▶アラーム音を選択▶ ◎ ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ●メロディのフォルダや一覧についてはP.351参照

3 ◎(完了)を押す

高：優先度高い　低：優先度低い

●本文（ToDo内容）を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

お知らせ

●待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。

●「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（ToDoの01～99分前）のみです。ToDoを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

ToDo表示中の機能メニュー

1 ToDo表示中▶ ◎(機能) ▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
新規登録	P.374手順2へ進みます。
編集	P.374手順2へ進みます。 ● ◎(編集)を押しても編集できます。 ●ToDoの状態が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、P.374手順2「期日」と同様の操作を行います。
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶状態を選択▶ ◎ ●状態アイコンは、期日を過ぎると白色からピンク色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.374手順2「期日」と同様の操作を行います。
カテゴリー別表示	▶カテゴリーを選択▶ ◎ ●ToDoを選択し、◎を押すと詳細が表示されます。
ソート／フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶表示したい順番や状態を選択▶ ◎
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.133参照）
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.362参照）
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.358参照）
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいToDoにチェック ▶ ◎(完了) ▶YES ●ToDoの一覧が登録順に表示されます。 ● ◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。◎(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。 ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶ ◎ ▶YES

<アラーム通知設定>
アラームで通知するときの状況を設定する

お買い上げ時	通知優先

他の機能を操作中に「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」と「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 メニュー▶ 設定 ▶時計▶アラーム通知設定

操作優先 . . .アラーム通知は待受画面表示中にだけ行います。

通知優先 . . .FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」または「未視聴予約あり」のアイコンが表示されます。

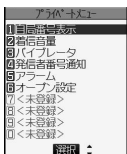
＜プライベートメニュー登録＞
オリジナルのメニューを使う

お買い上げ時	自局番号表示　着信音量　バイブレータ　発信者番号通知　アラーム　オープン設定

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。
電話帳、設定、データBOX、ツール、ユーザデータ、サービス、ｉモード、メール、ｉアプリの各機能(P.446参照）から10件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

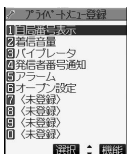
1 **(メニュー)を2回押す**

プライベートメニューが表示されます。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。
- プライベートメニューが1件も登録されていないときは、新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、P.376「メニュー登録」へ進みます。

＜プライベートメニュー＞

2 **機能を選択▶(決定)**

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー登録画面を表示する (メニュー)(5)(2)

1 **(メニュー)▶(設定)▶ディスプレイ▶プライベートメニュー登録**

＜プライベートメニュー登録画面＞

プライベートメニュー登録画面の機能メニュー

1 **プライベートメニュー登録画面▶(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶登録する機能を選択▶(決定) ●プライベートメニュー登録画面で項目を選択し、(決定)を押しても機能を選択できます。 ●(上下)を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。(上下)を押して登録する機能を選択します。 ●すでに登録されている機能に新たに登録する場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.133参照)
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

＜メニュー登録＞
- 「ｉモード」、「ｉアプリ」および「メール」はメニュー機能の大項目のみ登録できます。その中の各機能は登録できません。
- 同じ機能は複数登録できません。
- 通話中や他の機能が動作中は、登録できません。

＜自局番号表示＞ (メニュー)(0)
自分の名前やメールアドレスなどを登録する

ご契約の電話番号（自局番号）の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号（3件)、メールアドレス（3件)、住所、誕生日、メモ、静止画を登録できます。
メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 **(メニュー)▶(ユーザデータ)▶自局番号表示▶(メール)(編集)**

＜自局番号表示画面＞

その他の便利な機能　プライベートメニュー登録

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

2 端末暗証番号を入力▶◉

P.97手順2の操作を行って個人データを登録します。

- 自局番号は変更、削除できません。
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

3 ✉（完了）を押す

お知らせ

- 自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。
- 本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

自局番号表示画面の機能メニュー

1 自局番号表示画面▶ⓘ（機能）▶以下の操作を行う

機能メニュー	内容
個人データ編集	個人データを編集します。 P.377手順2へ進みます。
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶端末暗証番号を入力▶◉ ◎でそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶されます。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.358参照）
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力し、◉を押します。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

お知らせ

<メールアドレス削除><個人データ初期化>
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

<通話中音声メモ><待受中音声メモ>

通話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、通話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「待受中音声メモ」の2つがあります。
録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「待受中音声メモ」のどちらか一方で1件、録音時間は約20秒間です。

- 「通話中音声メモ」「待受中音声メモ」の再生／消去についてはP.77参照。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶▽（1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音が始まります。
テレビ電話の場合は録音が始まると「●REC」が表示されます。

- 音声電話中は以下の操作でも録音できます。
  1.音声電話中▶メニュー▶ツール▶通話中音声メモ
- テレビ電話の場合は相手に「画像選択」の「音声メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- 録音を途中で止めるときは◉または▽（1秒以上）を押します。音声電話の場合はクリアを押しても録音が停止します。
- 録音時間（約20秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「通話中音声メモ」「待受中音声メモ」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生・未再生に関わらず上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中、保留中などは録音できません。
- 録音中に電源/終話を押すと、録音を停止し、通話を終了します。

待受中に自分の声を録音する メニュー 4 3

1 メニュー▶ツール▶待受中音声メモ▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

- 録音を途中で止めるときは◉、クリアまたは電源/終話を押します。
- 録音時間（約20秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときやアラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。
  また、録音中にビューアスタイルに切り替えても中断されますので、録音中はビューアスタイルに切り替えないでください。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

通話時間の表示を設定する

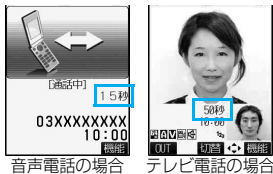
お買い上げ時	ON

通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。

●表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 メニュー▶設定▶時間／料金▶通話中時間表示▶ON・OFF

音声電話の場合

テレビ電話の場合

●テレビ電話中は i（機能）を押して「通話中時間表示」を選択します。

お知らせ

● i モード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
●通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合や、通話時間の表示が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」に戻ってカウントします。

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

●表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
●通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
●通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥＊＊」が表示されます。
●通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金は表示できません。(FOMAカードには蓄積されています。)
●表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1 メニュー▶設定▶時間／料金▶通話時間／料金

前回通話時間 . . . . . . 音声通話：直前の音声電話の通話時間を表示します。
デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。
前回通話料金 . . . . . . 音声通話：直前の音声電話の通話料金を表示します。
デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話料金を表示します。
積算通話時間 . . . . . . 音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。
デジタル：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。
積算通話料金 . . . . . . 積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。
時間リセット日時. . . 前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。
料金リセット日時. . . 前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示します。

●確認が終われば クリア を押します。

お知らせ

●日付時刻が設定されていない場合や、日付時刻を設定後、積算リセットを1回も行っていない場合は、時間リセット日時／料金リセット日時は表示されません。
●前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
●テレビ電話の積算通話時間は、デジタル通信のため、音声電話による「音声通話」ではなく「デジタル」として表示されます。
●通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」(P.55、P.83参照）が表示されている間は料金は課金されません。
● i モード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。 i モード利用料などの確認方法については、 i モードご契約時にお渡しする「 i モード操作ガイド」をご覧ください。
●着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
●電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「¥＊＊」になります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

＜積算リセット＞

積算時間／積算通話料金をリセットする

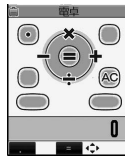
1 メニュー ▶ 設定 ▶ **時間／料金 ▶ 積算リセット ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ● ▶ 以下の操作を行う**

項目	内容
積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶YES
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶YES▶PIN2コードを入力▶● ●PIN2コードについてはP.141参照。

＜電卓＞ メニュー 8 5

電卓を使う

電卓を表示して四則演算（＋、－、×、÷）を行います。10桁まで表示できます。

1 メニュー ▶ ツール ▶ **電卓 ▶ 以下の操作で計算を行う**

●	＋	●	×	●	＝
●	－	●	÷	✉	小数点
クリア	C（クリア） 間違った数字を入力した場合などに、直前に入力した数字を取り消します。 再度数字、四則計算を入力して計算を続行できます。				
	AC（オールクリア） 数字、四則計算をすべて取り消します。 クリア／オールクリア後に再度押すと、ツール機能の選択画面に戻ります。				

■計算の例（－15＋20.7を計算します。）

－	1	5	＋	2	0	.	7	＝	5.7
●	1	5	●	2	0	✉	7	●	

お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。また、負数で始まる計算を行う場合は、数字を入力する前に●を押して「－」を入力してください。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。

＜フリーメモ＞

フリーメモを作成する

フリーメモを10件まで登録できます。

1 メニュー ▶ ツール ▶ **フリーメモ ▶ ＜未登録＞を選択 ▶ ✉（編集）**

- 登録済みのフリーメモを選択すると、登録内容を確認できます。フリーメモが長い場合は ◎ で画面をスクロールして確認できます。

2 **フリーメモを入力 ▶ ●**

- 全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

フリーメモ表示中の機能メニュー

1 **フリーメモ表示中 ▶ i（機能）▶ 以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
編集	P.379手順2へ進みます。 ●✉（編集）を押しても編集できます。
iモードメール作成	フリーメモの内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.235手順2へ進みます。
スケジュール作成	フリーメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 ▶スケジュール P.371手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.361参照）
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.362参照）
1件エクスポート	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.358参照）
フリーメモ情報	フリーメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。
分類	フリーメモをカテゴリー別に設定します。 ▶分類を選択▶● ●設定しない場合は「なし」になります。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいフリーメモにチェック ▶✉（完了）▶YES ●●を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。i（機能）を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。

次ページにつづく

機能メニュー	内容
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◉▶YES

＜FOMAカード（UIM）操作＞

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに記憶している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 **メニュー▶ツール▶FOMAカード（UIM）操作▶端末暗証番号を入力▶◉**

端末暗証番号を入力すると「圏外」が表示され、電話やメールの機能は使えません。
- 端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。

2 **コピー・削除▶コピー先や削除元を選択▶◉**

3 **電話帳・SMS**

電話帳
電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS
受信BOX . . . 受信BOXのデータをコピー・削除します。
送信BOX . . . 送信BOXのデータをコピー・削除します。
フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

4 **コピー・削除したいデータにチェック▶✉（完了）▶YES**

- ◉を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

お知らせ
- 他の機能が動作中は、操作できません。

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

1 **電話帳またはSMS一覧表示中▶i（機能）▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。
1件選択	1件選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。

電話帳の機能メニューからコピーする

電話帳をFOMA端末（本体）またはFOMAカードへコピーします。

1 **電話帳詳細画面▶i（機能）▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES**

- FOMA端末（本体）の電話帳の場合は「FOMAカードへコピー」、FOMAカードの電話帳の場合は「本体へコピー」と表示されます。

メールの機能メニューから移動・コピーする

送受信したSMSをFOMA端末またはFOMAカードへ移動・コピーします。

1 **送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶i（機能）▶FOMAカード操作**

2 **移動またはコピーする方法を選択▶◉▶YES**

「SMS」はFOMA端末内のSMSを表します。
「▯」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ
- 電話帳のデータは、グループ単位でのコピー・削除はできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字まで、半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定中でもコピー・削除できません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループ00に登録されます。
- SMSレポート（送達通知）の移動・コピーはできません。
- SMSのデータはBOX単位、フォルダ単位での移動・コピー・削除はできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- 追加したフォルダ・iアプリメール用フォルダ・「チャット」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ内のSMSをFOMA端末からFOMAカードへ移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。
- 移動・コピー先にすでに最大登録（保存）件数まで登録（保存）されているときは、操作できません。
- データのコピー中にコピー先の最大登録（保存）件数を超えたときは、データがいっぱいになった旨の画面が表示されます。すでに登録（保存）されたデータの中で不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける／受ける

イヤホンマイク端子（P.27参照）のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続プラグを差し込んで使用します。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける

1 電話番号を入力
または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。

3 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

1 着信中▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中に [カメラ] を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。（P.87参照）

- FOMA端末を閉じた状態や、ビューアスタイルでも利用できます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信」をONに設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「イヤホン切替」で平型スイッチ付イヤホンマイクを接続したときに音がスピーカから鳴らないように設定できます。
- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってから平型スイッチ付イヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。（テレビ電話を保留していた場合、代替画像を送信し、テレビ電話を開始します。）
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンをご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に [▲]（音量を上げる）、[▼]（音量を下げる）を押すと、音量調節ができます。

<オート着信> [メニュー] [9] [4]

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	オート着信：OFF 呼出時間：6秒（ON設定時）

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 [メニュー]▶[設定]▶外部オプション▶オート着信▶ON・OFF

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

2 呼出時間（秒）を入力

- 「001」～「120」の3桁を入力します。
- 設定されている呼出時間を変更しない場合は、呼出時間を入力せずに [◉] を押します。
- 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

■テレビ電話の場合
オート着信で設定している呼出時間の経過後、自動的にテレビ電話に応答し、相手に代替画像を送信します。

- テレビ電話中に [カメラ] を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。（P.87参照）

お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信を同時に設定する場合、オート着信を優先させるには、オート着信の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間がオート着信の呼出時間より長いと、呼出動作を行わずオート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

<PLMN設定>
利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時	DoCoMo

お客様がご利用になるFOMAサービスを提供するPLMN（通信事業者）の設定を行います。

※2006年7月現在、「DoCoMo」以外の通信事業者は選択できません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **その他** ▶ **PLMN設定** ▶ **ネットワーク手動選択** ▶ **PLMN（通信事業者名）を選択** ▶ ◉

お知らせ

- 他の機能が動作中は、設定できません。

<設定リセット> メニュー 2 3
各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の [ ] の項目をお買い上げ時の状態に戻します。（P.446参照）

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **その他** ▶ **設定リセット** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ ◉ ▶ **YES**

お知らせ

- 他の機能が動作中は、リセットできません。

<端末初期化>
登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態については「機能一覧表」を参照してください。（P.446参照）

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリや、お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されません。
- 保護しているデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデコメール用のテンプレート、キャラ電を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **その他** ▶ **端末初期化** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ ◉ ▶ **YES** ▶ **YES**

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ

- 他の機能が動作中は、初期化できません。
- FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- ｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。
- 削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳しくは「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

**FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用できます。
各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。**

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.384
キャッチホン	要	有料	P.386
転送でんわサービス	要	無料	P.387
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.389
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.51
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.390
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.390
英語ガイダンス	不要	無料	P.391
マルチナンバー	要	有料	P.392
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.71
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.72
SMS	不要	無料	P.292

●「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

■お申し込みが必要なサービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

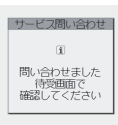
お知らせ

●詳しくは「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。
●サービスエリア外や電波の届いていない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
●ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。（P.393参照）

<サービス問い合わせ> メニュー 2 5

新しい伝言メッセージがあるか確認する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

1 メニュー ▶ サービス ▶ **サービス問い合わせ**

お知らせ

●通話が途中で途切れたり、電波の状態によっては、問い合わせできないことがありますのでご了承ください。
●サービス問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、再度サービス問い合わせを行っても確認できない場合があります。

■問い合わせ結果について
●伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン（留守）と留守番電話アイコン（など）を表示してお知らせします。
●伝言メッセージがあることを示す留守番電話アイコン（など）は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「留守番アイコン消去」の操作を行うと消去されます。
●留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、1、2、3…+（10件以上）と表示が変わります。
表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
●「件数増加鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。
●伝言メッセージの再生のしかたについてはP.385参照。

■「圏外」が表示されているときは
伝言メッセージの問い合わせができません。「圏外」が消える場所でご利用ください。

<留守番電話>

留守番電話サービスを利用する

**電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
電話をかけてきた方には、応答メッセージでお応えし、伝言メッセージをお預かりします。**

■留守番電話サービスについて
●留守番電話サービスは音声電話、テレビ電話に有効です。※
●伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音／録画でき、最長72時間保存されます。※
●テレビ電話の伝言メッセージが留守番電話サービスセンターにあるときは、SMSにて通知されます。※
●留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信してください。※
●32Kテレビ電話による留守番電話接続はできません。
●キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。（P.89参照）※
●電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。
●留守番電話サービスを「開始」に設定していても、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。
●留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音（「着信音選択」で設定した着信音）が鳴ります。（着信音が鳴る時間は変更可能です。P.385参照）その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。また、待受画面の留守番電話アイコンや「留守番電話あり」のアイコン、「着信履歴」で着信があったことをお知らせします。
●かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続できます。また、通話中にかかってきた電話も接続できます。
●留守番電話サービスは、「転送でんわサービス」を「開始」に設定したときは、自動的に停止状態になります。
●プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、ご契約時に設定した4桁の「ネットワーク暗証番号」で留守番電話サービスの操作ができます。（「遠隔操作設定」の設定に従います。）
●「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。（留守番電話サービスはご利用になれません。）
●サービスエリア外や電波の届いていない場所では、留守番電話サービスの操作はできません。
※2006年7月現在テレビ電話の留守番電話サービスは未提供です。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音／録画する※
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスを利用する

1 (メニュー)▶(サービス)▶**留守番電話**
▶**以下の操作を行う**

項目	内容
留守番メッセージ再生	留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。 ▶YES▶音声ガイダンスの指示に従って操作する
留守番電話サービス開始	▶YES▶YES▶呼出時間（秒）を入力▶(◉) ●「000」～「120」の3桁を入力します。 ●留守番電話設定確認の機能メニューから「留守番サービス開始」を選択しても開始できます。
留守番サービス停止	▶YES ●留守番電話設定確認の機能メニューから「留守番サービス停止」を選択しても停止できます。
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。 ▶呼出時間（秒）を入力▶(◉) ●「000」～「120」の3桁を入力します。 ●留守番電話設定確認の機能メニューから「呼出時間設定」を選択しても設定できます。
留守番設定確認	留守番電話サービスの設定内容を確認します。
留守番サービス設定	留守番電話サービスの設定内容を切り替えます。 ▶YES▶音声ガイダンスの指示に従って操作する
件数増加鳴動設定 お買い上げ時 YES	伝言メッセージが増えたときに着信音を鳴らすように設定します。「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。 ▶YES・NO
留守番アイコン消去	待受画面にある留守番電話アイコン（(アイコン)など）を消去します。 ▶YES
着信通知開始	電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどにかかってきた電話の着信履歴をSMSでお知らせします。SMS1通につき5件までの着信履歴が通知されます。 全着信 ......すべての着信についてお知らせします。 発番号あり ...相手の電話番号が通知された着信についてのみお知らせします。 ▶YES
着信通知停止	▶YES
着信通知設定確認	着信通知の設定内容を確認します。 ●確認が終われば(◉)を押します。

お知らせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
- 通話中は操作できません。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（(0)～(9)、(＊)、(#)）を行った場合、(PWR HLD)を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は(PWR HLD)をもう一度押してください。

<留守番呼出時間設定>
- 0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。
- 「伝言メモ」を同時に設定しているときに留守番電話サービスを優先させるには、留守番電話サービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が留守番電話サービスの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず留守番電話サービスに移行します。呼出動作を行ってから留守番電話サービスに移行させるには、留守番電話サービスの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。

<留守番アイコン消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

<着信通知開始>
- 留守番電話サービスを「停止」に設定していても着信通知を開始できます。
- SMS一括拒否を設定している場合でも着信履歴は通知されます。
- 設定および着信履歴の通知（SMSの受信）には料金はかかりません。

<着信通知停止>
- 着信通知を停止しても、留守番電話サービスの設定は変更されません。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続できます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

1 着信中▶(機能)▶留守番電話

- 着信中に(機能)を押し、を押してもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

お知らせ

- 「110番（警察への緊急通報）」、「119番（消防・救急への緊急通報）」および「118番（海上で事件・事故が起きたときの緊急通報）」に電話をかけているときは、本機能はご利用できません。
- 「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、本機能はご利用になれません。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定に関わらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 電話帳詳細画面▶(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶◉▶指定留守番電話

「指定留守番電話」に「★」マークが付きます。

- 指定留守番電話を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 電話帳に登録されている1つの電話番号に対して、「指定留守番電話」と「指定転送でんわ」は同時に設定できません。
- 本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン（P.73、P.133参照）と「着信履歴」でお知らせします。
- 「伝言メモ」の呼出時間を0秒に設定している場合でも、「指定留守番電話」が優先されます。
- 本機能を設定していても、留守番電話サービス停止中に「PIMロック」を設定すると、すべての着信が留守番電話サービスセンターへ接続されなくなります。
- 留守番電話サービスが未契約の場合は、不在着信となります。
- シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 設定した電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。

<キャッチホン>

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の電話を保留にして新しい電話に出ることができます。
通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。
サービスエリア外や電波の届いていない場所ではキャッチホンの操作はできません。

■キャッチホンについて

- キャッチホンを使用するときは、「着信動作選択」を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても通話中にかかってきた電話に応答できません。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。（「キャッチホン」はご利用になれません。）
- 以下のようなときは、キャッチホンは動作しません。
  - ・110、119、118、104にかけているとき
  - ・117にかけているとき（音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は鳴りますが電話に出ることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。）
  - ・テレビ電話中（着信履歴には不在着信として残ります。）
  - ・音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります。）
  - ・発信中、および相手を呼び出し中の場合
  - ・1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけている間
  - ・「留守番電話サービス」をご利用のお客様で、メッセージの再生など留守番電話サービスセンターに接続されている間

キャッチホンサービスを利用する

1 (メニュー)▶(サービス)▶キャッチホン▶以下の操作を行う

項目	内容
キャッチホンサービス開始	▶YES
キャッチホンサービス停止	▶YES
キャッチホンサービス設定確認	キャッチホンの設定内容を確認します。 ●確認が終われば◉を押します。

通話中にかかってきた電話に出る

お話し中の通話を保留にして、かかってきた電話に出ます。

1 通話中に電話がかかってきたら、を押す

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- を押すたびに通話する相手が切り替わります。

通話を終了してかかってきた電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、かかってきた電話に出ます。

1 通話中に電話がかかってきたら、[PWR HLD]を押す

着信音が鳴ります。（iモーションを着信音に設定している場合は、お買い上げ時の着信音が鳴ります。）

2 [通話]または◉を押す

通話を保留して電話をかける

お話し中の通話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号を入力▶[通話]

新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留されます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [通話]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して保留中の電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、保留中の電話に出ます。

1 マルチ接続中▶[PWR HLD]

着信音が鳴ります。（iモーションを着信音に設定している場合は、お買い上げ時の着信音が鳴ります。）

2 [通話]または◉を押す

■通話中の相手が通話を終了したときは
[通話]を押して保留中の相手と通話します。

保留中の電話を終了する

1 マルチ接続中▶[i]（機能）▶保留呼切断

お知らせ

- 通話保留中も発信者の方の料金は加算され続けます。
- キャッチホンに加入している場合のみ通話保留中に電話をかけることができます。
- 保留中に着信があった場合は、保留が解除されます。
- マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、通話を終了すれば着信に応答できる旨のメッセージが表示されます。かかってきた電話に出るには、お話し中の電話か保留中の電話を終了します。

<転送でんわ>

転送でんわサービスを利用する

FOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなど、あらかじめ登録しておいた転送先に転送します。

■転送でんわサービスについて

- 転送先として1件登録できます。
- FOMA端末から離れているとき、電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどでも、自動的に転送されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音（「着信音選択」で設定した着信音）が鳴ります。（着信音が鳴る時間は変更可能です。P.388参照）その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、転送先に転送します。また「不在着信あり」のアイコンや「着信履歴」でお知らせします。
- かかってきた電話をボタン操作だけで転送できます。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。
- 転送でんわサービスは、「留守番電話サービス」を「開始」に設定したときは、自動的に停止状態になります。
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、ご契約時に設定した4桁の「ネットワーク暗証番号」で転送でんわサービスの操作ができます。（「遠隔操作設定」の設定に従います。）
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。（転送でんわサービスはご利用になれません。）
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、転送でんわサービスの操作はできません。
- テレビ電話がかかってきた場合、転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。（相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。）
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される

お知らせ

- 転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、本機能のご契約者のご負担となります。お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、本機能の通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。たとえば、転送先として東京の会社の電話番号を登録し、大阪出張の時に大阪で本機能を開始に設定。その後FOMA端末の電源を切ったままにしておくと、転送されるお客様負担分は大阪から東京の会社までとなります。お出かけ先から戻ってきたら、電源を入れ直してください。位置登録が自動的に行われます。

転送でんわサービスを利用する

1 メニュー▶サービス▶**転送でんわ**
▶**以下の操作を行う**

項目	内容
転送サービス開始	▶転送先設定▶転送先の電話番号を入力▶◉ ●◎を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.102参照) ▶呼出時間設定▶呼出時間（秒）を入力▶◉ ●「000」～「120」の3桁を入力します。 ▶開始▶YES
転送サービス停止	▶YES
転送先変更	▶転送先の電話番号を入力▶◉ 転送先変更 ....転送でんわサービス開始中の場合に選択します。 転送先変更+転送開始 ....転送でんわサービス停止中で、転送先の変更と同時に転送でんわサービスを開始したいときに選択します。 ●◎を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.102参照)
転送先通話中時設定	転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。 留守番電話を使うには「留守番電話サービス」のご契約が必要です。 ▶YES
転送サービス設定確認	転送先の電話番号や呼出時間などを確認します。 ●確認が終われば クリア を押します。

お知らせ

- 転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
- 転送でんわサービスを開始に設定していても、発信はできます。
- 転送でんわサービスを開始に設定している場合、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
- 着信中に応答すれば、転送されずに通話できます。
- 電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
- 転送先からの申し出があり、必要なときには、お客様に代わって転送を中止することがありますのでご了承ください。
- PBX、ポケットベル※、FAXを転送先としたとき、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- すでに転送先が設定されている場合は、「転送先設定」、「呼出時間設定」を省略できます。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。
- 「伝言メモ」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
- 「遠隔監視」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視」の応答時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が転送でんわサービスの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず転送でんわサービスに移行します。呼出動作を行ってから転送でんわサービスに移行させるには、転送でんわサービスの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 **待受画面**▶1 4 2 9▶発信

音声ガイダンスに従って操作してください。

- 詳しくは「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

着信中の電話を転送する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号に転送できます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 **着信中**▶i（機能）▶**転送でんわ**

お知らせ

- 「110番（警察への緊急通報）」「119番（消防・救急への緊急通報）」および「118番（海上で事件・事故が起きたときの緊急通報）」に電話をかけているときは、本機能はご利用できません。
- 「オープン設定」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、本機能はご利用になれません。

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定に関わらず、自動的に転送できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 電話帳詳細画面▶(i)(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶(◉)▶指定転送でんわ

「指定転送でんわ」に「★」マークが付きます。
●指定転送でんわを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ●電話帳に登録されている1つの電話番号に対して、「指定転送でんわ」と「指定留守番電話」は同時に設定できません。
- ●本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送します。このとき電話がかかってきたことを「着信履歴」でお知らせします。
- ●本機能を設定していても、転送でんわサービス停止中に「PIMロック」を設定すると、すべての着信が転送されなくなります。
- ●転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。
- ●シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- ●設定した電話番号を変更すると、本機能は解除されますのでご注意ください。

<迷惑電話ストップ>

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話を着信しないように登録します。最大30件登録できます。
サービスエリア外や電波の届いていない場所では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	迷惑電話拒否登録した方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません。）
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（転送先には転送されません。）
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	着信拒否ガイダンスが流れます。（公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません。）

詳しくは「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

1 (メニュー)▶(サービス)▶迷惑電話ストップ▶以下の操作を行う

項目	内容
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信通話した相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。▶YES▶OK
迷惑電話1登録削除	最後に拒否登録した電話番号のみを削除します。（それ以前の番号を1つだけ削除することはできません。）▶YES▶OK
迷惑電話全登録削除	▶YES▶OK

お知らせ

- ●あらかじめ相手先の電話番号を指定することはできません。最後に着信通話した相手の電話番号だけが拒否登録できます。着信しても応答しなかった通話やお客様からの発信は登録できません。
  電話番号を指定して拒否登録する場合は「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。
- ●発信者番号を通知してこない電話でも「迷惑電話着信拒否登録」で登録できます。（発信者番号通知についてはP.51参照）
- ●国際電話は「迷惑電話着信拒否登録」では登録できない場合があります。
- ●本機能によって着信しなかった場合は、「着信履歴」に記憶されません。
- ●拒否登録がすでに30件あるときに登録を行うと、最も古い番号を削除して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ●拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
- ●着信拒否先として登録した相手先の電話番号は、確認・問い合わせできません。登録した電話番号のメモなどを取っておくことをおすすめします。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

<番号通知お願いサービス>

番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願いサービスとは、発信者番号を通知してこない電話に対して、発信者番号を通知してかけ直すようメッセージで応答するサービスです。迷惑電話や間違い電話などによるトラブルを防ぎ、安心できる携帯電話の活用が可能になります。
サービスエリア外や電波の届いていない場所では、番号通知お願いサービスの操作はできません。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません。）
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（転送先には転送されません。）
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	番号通知お願いガイダンスが流れます。（公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません。）

1 [メニュー]▶[サービス]▶**番号通知お願いサービス**▶**以下の操作を行う**

項目	内容
番号通知お願い開始	▶YES▶OK
番号通知お願い停止	▶YES▶OK
番号通知お願い確認	番号通知お願いサービスの設定内容を確認します。 ●確認が終われば[●]を押します。

お知らせ

- 「発信者番号非通知理由」が発信者の意思により発信者番号を通知しない「非通知設定」のときだけ働きます。（「公衆電話」、「通知不可能」は対象外です。ただし、「184」を付けて公衆電話から電話をかけた場合は番号通知お願いガイダンスが流れます。）
- ガイダンスに関わる通話については、発信者に通話料金がかかります。
- FOMA端末の「非通知着信設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 本機能の設定・確認は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。
- 本機能を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があったときは、「着信履歴」に記憶されず、またデスクトップに「不在着信あり」のアイコンは表示されません。
- テレビ電話で相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。
- 以下のような場合には、番号通知お願いガイダンスは流れません。
  - ・NTT公衆電話や海外からの着信などは、電話番号の通知ができないためガイダンスは流れません。
  - ・発信者が「度数表示サービス」や「料金メーター」をご利用の場合は、番号通知お願いガイダンスは流れません。
  - ・64Kデータ通信は、番号通知お願いガイダンスは流れず接続されます。

<デュアルネットワーク>

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワークサービスを利用すると、FOMAでご契約されたひとつの電話番号で、movaもご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。
FOMAのサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内ならmovaから電話をかけたり受けたりできます。また、留守番電話のチェックや受信メールの確認などもできます。
ただし、FOMAとmovaは同時にご利用いただけません。

1 [メニュー]▶[サービス]▶**デュアルネットワーク**▶**以下の操作を行う**

項目	内容
デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように切り替えます。FOMA端末がFOMAエリア内にあるときに操作してください。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力▶[●] ●ネットワーク暗証番号についてはP.140参照。
デュアルネットワーク状態確認	デュアルネットワークサービスの設定内容を確認します。 ●確認が終われば[●]を押します。

お知らせ

<デュアルネットワーク切替>
- FOMA端末およびmovaで通信中に切替操作を行うと、通信は強制的に切断されます。
- すでにデュアルネットワーク機能が稼働中の時にこの操作を行うと、「現在利用可能となっています」と表示されます。
- movaを利用できるように切り替えるには、movaから操作を行ってください。FOMA端末からは操作できません。

ボタン操作でのデュアルネットワークサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によってデュアルネットワークサービスを利用します。

■端末を切り替えるには（利用不可状態の端末から）
[1][5][4][0][通話]→ネットワーク暗証番号入力→切替ガイダンス→[終話]

■デュアルネットワーク状態確認（確認したい方の端末から）
[1][5][4][6][通話]→確認→[終話]

お知らせ

- 詳しくは、「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（[0]～[9]、[*]、[#]）を行った場合、[終話]を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は[終話]をもう1度押してください。

＜英語ガイダンス＞
ガイダンスを日本語と英語で切り替える

電話の発信時・着信時にガイダンスを行う場合、ガイダンスの言語を日本語と英語に切り替えることができます。発信時・着信時を別々に設定できます。
発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。
発信時・着信時に設定できるガイダンスは以下の通りです。

■発信時（お客様ご自身へのガイダンス）

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
英語	英語でガイダンスします。

■着信時（お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス）

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
日本語＋英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
英語＋日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**英語ガイダンス**
▶**以下の操作を行う**

項目	内容
ガイダンス設定	発信時＋着信時 . . . 発信時と着信時のガイダンスを一度に設定します。 発信時. . . . . 発信時のガイダンスを設定します。 着信時. . . . . 着信時のガイダンスを設定します。 ▶ガイダンスに設定する言語を選択▶(◉)▶YES ●「発信時＋着信時」を選択した場合は、発信時のガイダンスを設定したあとに、着信時のガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	英語ガイダンスの設定内容を確認します。 ●確認が終われば(クリア)を押します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

＜サービスダイヤル＞
サービスダイヤルを利用する

故障お問い合わせ先や総合お問い合わせ先（取扱説明書裏面参照）に簡単に電話をかけることができます。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**サービスダイヤル**
▶**以下の操作を行う**

項目	内容
ドコモ故障問合せ	故障お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶(◉) 113番に発信します。
ドコモ総合案内・受付	総合お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶(◉) 151番に発信します。

お知らせ

●FOMAカードに故障お問い合わせ先や総合お問い合わせ先が登録されていない場合は、本機能はご利用になれません。
●表示される画面や発信する番号は、FOMAカードにより異なる場合があります。

＜着信動作選択＞
通話中にかかってきた電話の対処を選択する

お買い上げ時	通常着信

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」または「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中に別の電話がかかってきた場合、かかってきた電話をどのように扱うかを選択します。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**着信動作選択**

留守番電話 . . . 通話中にかかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ . . . 通話中にかかってきた電話をあらかじめ登録されている番号に転送します。
着信拒否 . . . . 着信を拒否して呼び出さないようにします。
通常着信 . . . . 着信動作します。留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが「開始」に設定されているときは、その設定に従います。

通話中着信設定

着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**通話中着信設定**
▶**以下の操作を行う**

項目	内容
通話中着信設定開始	▶YES
通話中着信設定停止	▶YES
通話中着信設定確認	着信動作の設定内容を確認します。 ●確認が終われば(◉)を押します。

次ページにつづく

お知らせ

- 本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。
- 留守番電話サービス（P.384参照）、転送でんわサービス（P.387参照）をご契約いただくと、本機能は「開始」に設定されます。

＜遠隔操作設定＞

遠隔操作を設定する

留守番電話サービス（P.384参照）や転送でんわサービス（P.387参照）などのサービスを公衆電話などFOMA端末以外の機器から遠隔操作するかどうかを設定します。

1 **メニュー▶サービス▶遠隔操作設定▶以下の操作を行う**

項目	内容
遠隔操作開始	▶YES
遠隔操作停止	▶YES
遠隔操作設定確認	遠隔操作の設定内容を確認します。 ●確認が終われば◉を押します。

お知らせ

- 本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。
- 留守番電話サービス（P.384参照）、転送でんわサービス（P.387参照）のご契約時には、本機能は「停止」に設定されています。

＜マルチナンバー＞

付加番号を設定する

すでにお持ちの電話番号（基本契約番号）のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用になれます。

電話番号登録

付加番号を登録します。

1 **メニュー▶サービス▶マルチナンバー▶電話番号登録▶付加番号を選択▶◉**

- 登録済みの付加番号を選択すると、登録名と電話番号を確認できます。

2 **登録名を入力▶◉▶電話番号を入力▶◉**

- 登録名は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。

お知らせ

- 別のFOMAカードに差し替えた場合、FOMA端末へ登録していたマルチナンバーの設定（名前・番号・着信音など）が消去されます。再度登録を行ってください。
- 付加番号に着信した場合の表示についてはP.65参照。

付加番号表示中の機能メニュー

1 **付加番号表示中▶i（機能）▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
編集	P.392「電話番号登録」手順2へ進みます。 ●✉（編集）を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

通常発信番号設定

通常発信番号設定を切り替えることにより、すべての発信先に設定した番号で電話をかけることができます。

1 **メニュー▶サービス▶マルチナンバー▶通常発信番号設定**

基本契約番号 . . . .ご契約の電話番号で発信します。
付加番号1～2 . . .付加番号で発信します。登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

2 **YES**

お知らせ

- リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信した場合は、以前に発着信したときの番号で発信します。

電話をかけるときに発信番号を設定する

電話をかける前に、機能メニューから相手に通知する番号を選択して発信します。

1 **電話番号を入力または、電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示**

2 **i（機能）▶マルチナンバー▶電話番号を選択▶◉**

- 付加した電話番号を消去する場合は、「発番号設定消去」を選択します。
- マルチナンバー未契約の場合は、付加番号を選択しても基本契約番号での発信となります。

お知らせ

- 「基本契約番号」「付加番号1～2」を選択した場合は、電話番号のあとに「*590#」「*591#」「*592#」が付加されます。

通常発信番号設定確認

通常発信番号を確認します。

1 **メニュー▶サービス▶マルチナンバー▶通常発信番号設定確認**

- 確認が終われば◉を押します。

着信音設定

お買い上げ時	通常着信音と同じ

付加番号に着信した場合の着信音を設定します。

1 メニュー▶サービス▶**マルチナンバー**▶**着信音設定**▶**付加番号を選択**▶◉

P.113手順2へ進みます。
「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」または「テレビ電話」で設定した着信音になります。

<追加サービス>
サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、新しいネットワークサービスを10件まで登録できます。

サービスを登録する

1 メニュー▶サービス▶**追加サービス**▶**追加サービス**

<追加サービス一覧画面>

2 **<未登録>を選択**▶i（機能）▶**設定追加**

3 **サービス名を入力**▶◉▶**特番・USSD**

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。
- サービス名は全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

4 **特番またはサービスコード（USSD）を入力**▶◉▶**YES**

お知らせ

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認・入力が必要です。
  特番
  …サービスセンターに接続するための番号です。
  サービスコード（USSD）
  …FOMA端末ではUSSDとして入力します。サービスセンターに通知するためのコードです。

登録したサービスを利用する

1 メニュー▶サービス▶**追加サービス**▶**追加サービス**▶**サービスを選択**▶◉▶◉

サービスセンターに発信します。

追加サービス一覧画面の機能メニュー

1 **追加サービス一覧画面**▶i（機能）▶**以下の操作を行う**

<追加サービス一覧画面>

機能メニュー	内容
設定追加	サービスを登録します。 （P.393「サービスを登録する」参照）
設定変更	P.393「サービスを登録する」手順3へ進みます。
1件削除	▶YES▶OK
全削除	▶YES▶OK

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。登録したコードが応答として返ってきたときに応答メッセージが表示されます。

1 メニュー▶サービス▶**追加サービス**▶**応答メッセージ設定**

<応答メッセージ設定一覧画面>

2 **<未登録>を選択**▶i（機能）▶**設定追加**

3 **コード（USSD）を入力**▶◉▶**応答メッセージを入力**▶◉▶**YES**

ドコモから通知されたコード（USSD）を入力します。
- 応答メッセージは全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

応答メッセージ設定一覧画面の機能メニュー

1 応答メッセージ設定一覧画面▶ⓘ(機能)▶以下の操作を行う

＜応答メッセージ設定一覧画面＞

機能メニュー	内容
設定追加	応答メッセージを登録します。（P.393「応答メッセージを登録する」参照）
設定変更	P.393「応答メッセージを登録する」手順3へ進みます。
1件削除	▶YES▶OK
全削除	▶YES▶OK

データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

利用できる通信形態

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下の通りです。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機 FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。
OS	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me：32Mバイト以上※ Windows® 2000 Professional：64Mバイト以上※ Windows® XP Professional/Home Edition：128Mバイト以上※ （各日本語版）
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量※

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.398以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続し、64kbpsの通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。
P.398以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

データ転送（OBEX）

赤外線やFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。
FOMA端末とパソコン間でFOMA USB接続ケーブルを使ってデータ転送（OBEX）を行う際には、データリンクソフト（P.471参照）をインストールしてください。また、FOMA USB接続ケーブルを使う場合はP901iTV通信設定ファイルをインストールする必要があります。（P.399～P.402参照）

お知らせ

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
- FOMA端末からは、PIAFSなどのPHSサービス（64K/32Kデータ通信）はご利用できません。
- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」や「musea」と接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion II」「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信の接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビ システムズ 株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）
詳しくはアドビ システムズ 株式会社のホームページを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

・FOMA USB接続ケーブル（別売）に対応したパソコンであること
・FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

■用語解説

- **APN**
  Access Point Nameの略です。パケット通信において、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別します。例えばmoperaの場合は「mopera.ne.jp」のような文字列で表します。
- **cid**
  Context Identifierの略です。パケット通信をする際に、FOMA端末にあらかじめ登録するAPNの登録番号です。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。
- **Administrator権限・管理者権限**
  本書では、Windows® XP、Windows® 2000 Professionalのシステムのすべてにアクセスできる権限のことを指しています。通常、Administratorsのグループに所属したユーザーはこの権限を持っています。一方、Administrator権限または管理者権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールなどができません。
- **DNS**
  Domain Name Systemの略です。「nttdocomo.co.jp」のような人間が理解しやすい名前を、コンピュータが管理しやすい数字で表したアドレスに変換するシステムのことです。
- **OBEX**
  OBEX（Object Exchange）は、IrDA（Infrared Data Association）が規定したデータ通信についての国際規格（プロトコル）です。
  OBEX規格に対応した機器やソフトウェアを使うことで、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどさまざまな情報機器間で、データの送受信ができます。
- **IrDA**
  Infrared Data Associationの略です。赤外線を用いたデータ通信の規格の制定、促進を行う国際的な組織です。
- **IrMC**
  Ir Mobile Communicationsの略です。IrDAが定めた規格で、電話帳、スケジュール、メール、フリーメモ等のデータ交換方法が定められています。また、機器間の通信には、OBEX規格を使用することが規定されています。
- **QoS**
  Quality of Serviceの略でネットワークのサービス品質です。FOMA端末のQoS設定では、速度を限定しないで接続するかあるいは最高速度（上り64kbps、下り384kbps）でのみ接続するかを設定できます。（接続後の速度は可変します。）詳しくはP.434参照。
- **W-TCP**
  FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。「Wireless」、「W-CDMA」、「Windows®」の環境下でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要です。
- **W-CDMA**
  世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つです。
  FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

データ通信の準備の流れ

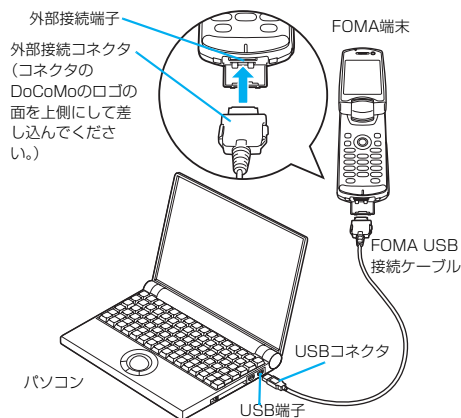
パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

■添付の「FOMA P901iTV用CD-ROM」について
FOMA端末とパソコンを接続してパケット通信を行うときには、添付の「FOMA P901iTV用CD-ROM」の「P901iTV通信設定ファイル」（ドライバ）をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。
「P901iTV通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール方法はP.399～P.402参照。
「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法はP.403参照。

パソコンとFOMA端末を接続する

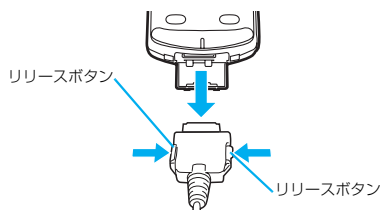
FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

2 FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

お知らせ

- FOMA USB接続ケーブルのコネクタは無理に差し込まないでください。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。（パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）
- FOMA端末に表示される「」は、パケット通信または64Kデータ通信の通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。通信設定ファイルのインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く。

お知らせ

- FOMA USB接続ケーブルは無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA USB接続ケーブルを取り外さないでください。
- FOMA USB接続ケーブルの取り付け・取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け・取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

通信設定ファイルをインストールする

通信設定ファイルのインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末を初めて接続するときに必要です。

- Windows® XP、Windows® 2000 ProfessionalでP901iTV通信設定ファイル（ドライバ）のインストールを行う場合は、必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

Windows® XPにインストールする

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.398参照）

2 パソコンを起動し「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットする

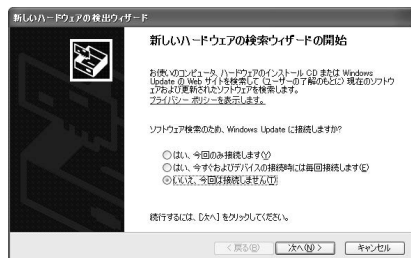
3 「ランチャ」画面を終了する

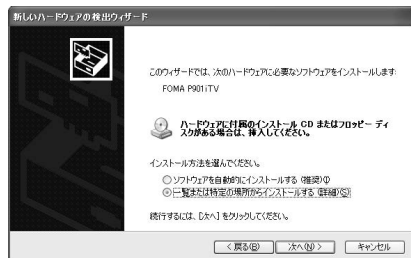
- この画面は「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。
- P901iTV通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「閉じる」をクリックします。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

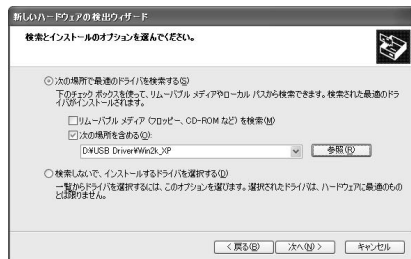
5 インストールを始める

タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されたあと、下の画面が表示されます。
「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。

- お使いのパソコンにより、この画面は表示されない場合があります。

6 インストール方法を選ぶ

「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。

7 ドライバを選ぶ

「次の場所で最適のドライバを検索する」を選んだあと、「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックします。「参照」をクリックし、「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k_XP」を指定し、「次へ」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）

- ドライバはWindows® 2000 Professionalと共通です。

8 「完了」をクリックする

9 引き続き、手順5～手順8を参考にして、残りの3つのP901iTV通信設定ファイル（ドライバ）（P.402参照）をすべてインストールする

すべてのP901iTV通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

> 引き続き、P901iTV通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。（P.401）

Windows® 2000 Professionalにインストールする

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.398参照）

2 パソコンを起動し「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットする

次ページにつづく

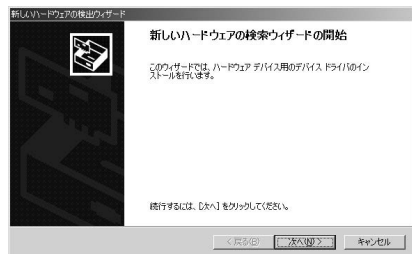
3 「ランチャ」画面を終了する

- この画面は「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。
- P901iTV通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「閉じる」をクリックします。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

5 インストールを始める

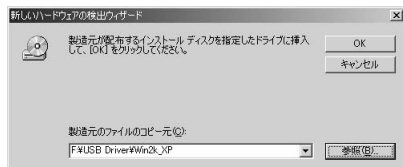
「次へ」をクリックします。

- お使いのパソコンにより、この画面は表示されない場合があります。

6 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)」を選択し、「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。

7 「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックする

8 検索するフォルダを指定する

フォルダ名は、「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k_XP」です。
検索するフォルダを指定したら、「OK」をクリックします。
(CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。)

9 ドライバ名（P.402参照）を確認して、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA P901iTV」と表示されます。

- お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。

10 「完了」をクリックする

11 引き続き、手順5～手順10を参考にして、残りの3つのP901iTV通信設定ファイル（ドライバ）（P.402参照）をすべてインストールする

引き続き、P901iTV通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。(P.401)

Windows® 98、Windows® Meにインストールする

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.398参照）

2 パソコンを起動し「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「ランチャ」画面を終了する

- この画面は「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。
- P901iTV通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「閉じる」をクリックします。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

5 インストールを始める

Windows® 98の場合、「次へ」をクリックし、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。
Windows® Meの場合、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け)」を選択し、「次へ」をクリックします。

6 ドライバを選ぶ

Windows® 98の場合、「検索場所の指定」をチェックします。
Windows® Meの場合、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」をチェックします。
「参照」をクリックし、「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win98_Me」を指定し、「次へ」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）
- ドライバはWindows® 98、Windows® Me共通です。

Windows® Meの場合、手順8へ進みます。

7 「更新されたドライバ（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

8 ドライバ名（P.402参照）を確認して、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA P901iTV」と表示されます。

9 「完了」をクリックする

10 引き続き、手順5～手順9を参考にして、残りの6つのP901iTV通信設定ファイル（ドライバ）（P.402参照）をすべてインストールする

引き続き、P901iTV通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

インストールしたドライバを確認する

P901iTV通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

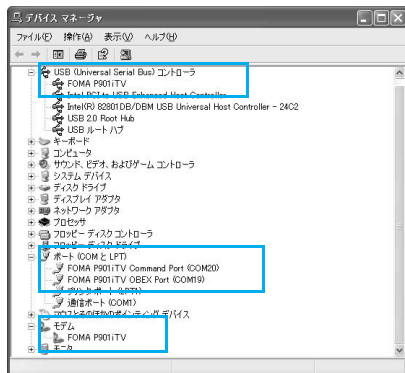
1 <Windows® XPの場合>
「スタート」▶「コントロールパネル」を開く ▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を開く

<Windows® 2000 Professional、Windows® 98、Windows® Meの場合>
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く▶「システム」を開く

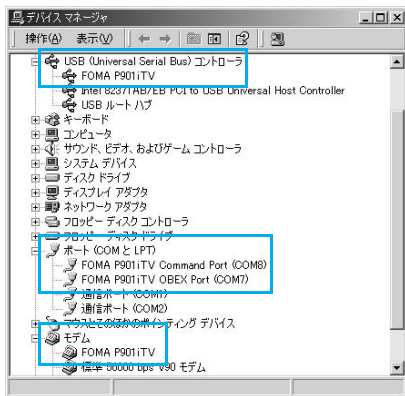
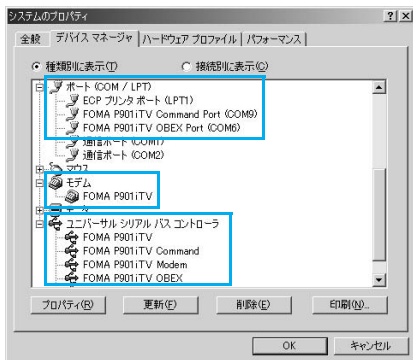
2 <Windows® XP、Windows® 2000 Professionalの場合>
「ハードウェア」タブをクリック ▶「デバイスマネージャ」をクリックする

<Windows® 98、Windows® Meの場合>
「デバイスマネージャ」タブをクリックする

3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COM／LPT）」、「モデム」、「ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB（Universal Serial bus）コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

Windows® XPの場合

Windows® 2000 Professionalの場合

次ページにつづく

Windows® 98、Windows® Meの場合
※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

P901iTV通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	P901iTV通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COM/LPT）	· FOMA P901iTV Command Port · FOMA P901iTV OBEX Port
モデム	· FOMA P901iTV
ユニバーサル　シリアルバスコントローラ、または USB（Universal Serial Bus）コントローラ	· FOMA P901iTV · FOMA P901iTV OBEX※ · FOMA P901iTV Modem※ · FOMA P901iTV Command※

※ Windows® 98／Windows® Meのみ

FOMA PC設定ソフトを使って接続先の設定をするにはP.403参照。
FOMA PC設定ソフトを使わずに接続先の設定をするにはP.414、P.426参照。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータ転送を行うにはP.471参照。

お知らせ

- P901iTV通信設定ファイルをインストールするときに、途中でパソコンからFOMA USB接続ケーブルを抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、P901iTV通信設定ファイルが正常にインストールされない場合があります。このような場合には、アンインストールの手順に従ってP901iTV通信設定ファイルを一度削除してから、再度インストールし直してください。
- 間違って異なるOSのP901iTV通信設定ファイルをインストールすると、正しく動作しません。P901iTV通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールし直してください。

通信設定ファイルをアンインストールする

P901iTV通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。ここではWindows® XPを例にしてアンインストールを説明します。

- Windows® XP、Windows® 2000 ProfessionalでP901iTV通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールを行う場合は、必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

2 パソコンを起動し「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 ランチャ画面を終了する

- この画面は「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。

4 「マイコンピュータ」からCD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する

5 CD-ROM内の「USB Driver」フォルダをダブルクリックする

6 「Uninst」フォルダをダブルクリックする

7 「p901tvun.exe」をダブルクリックする

- お使いのパソコンの設定によって「p901tvun」と表示されることがあります。

8 「OK」をクリックする

9 「はい」をクリックしてパソコンを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
- 「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

STEP1　ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします。

インストール方法についてはP.403参照。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う前にアンインストールしてください。「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、「FOMA PC設定ソフト」のインストールはできません。「FOMA PC設定ソフト」はデータ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

STEP2　設定前の準備

各種設定前の準備をします。

各種設定の前にFOMA端末にパソコンが接続され、正しく認識されていることを確認してください。FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法ついてはP.398参照。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行えません。FOMA端末がパソコンに正しく認識されているか確認するにはP.401参照。
P901iTV通信設定ファイルのインストール方法についてはP.399～P.402参照。

STEP3　各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします。

W-TCP設定でパケット通信性能を最適化するにはP.412参照。
接続先（APN）を設定するにはP.413参照。

STEP4　接　続

インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（P.414、P.426参照）「FOMA PC設定ソフト」はデータ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

■かんたん設定
ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などをかんたんに行います。

■W-TCPの設定
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要になります。
64Kデータ通信による接続を行うときは「W-TCP設定」で最適化を行わないでください。

■接続先（APN）の設定
パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid※の1番にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid※の3番にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。
※「Context Identifier」のことで、パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号

お知らせ

- 古いバージョンのFOMA PC設定ソフト（バージョン1.00、以後旧FOMA PC設定ソフトと呼びます。）がインストールされている場合は、本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン2.00）のインストールを行う前にアンインストールしてください。バージョン情報の確認についてはP.405参照。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、W-TCPや接続先（APN）の設定ができます。

- Windows® XP、Windows® 2000 Professionalで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FOMA PC設定ソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機 FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev 1.1準拠）
OS	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional：64Mバイト以上※ Windows® XP：128Mバイト以上※
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量※

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

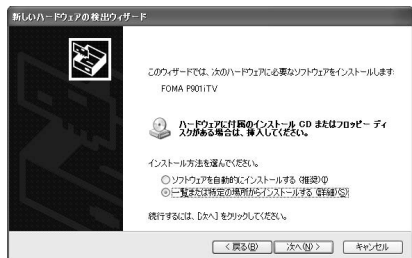
FOMA端末がパソコンに正しく認識されているかご確認ください

「FOMA PC設定ソフト」をインストールする前に、FOMA端末がFOMA USB接続ケーブル（別売）により、ご利用のパソコンに接続され、パソコンのデバイス上にP901iTV通信設定ファイル（P.402参照）が正しく登録されている必要があります。（P.401参照）

■FOMA端末をはじめてパソコンに接続すると

下のようなウィザードが開始されます。

FOMAデータ通信を利用するには、ご利用のパソコン側に、FOMA端末が「通信デバイス」として登録されている必要があります。

P901iTV通信設定ファイルのインストールについてはP.399～P.402参照。

お知らせ

- Windows® 98およびWindows® Meでは、FOMA端末がCOM1～9以外の番号で認識されている場合は、APN設定の際、APN情報の取得・書き込みができません。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

ここではWindows® XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 添付の「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 FOMA PC設定ソフトをインストールするには「FOMA PC設定ソフト」をクリックする

CD-ROMが自動再生されない場合は、マイコンピュータ等でCD-ROMを参照して、「FOMA_PCSET」フォルダ内にある「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

- FOMA PC設定ソフトのインストール中にこの画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックします。

3 「次へ」をクリックする

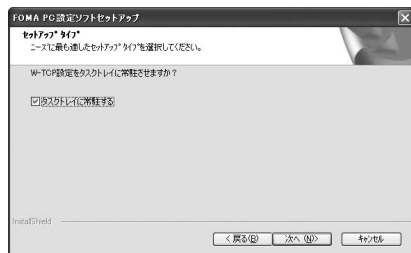
セットアップを始める前に、現在稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックして、ご使用中のプログラムを保存終了させたあとインストールを再開してください。

- 「旧W-TCP設定ソフト」、「旧APN設定ソフト」および「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合の警告画面が出た場合はP.405参照。

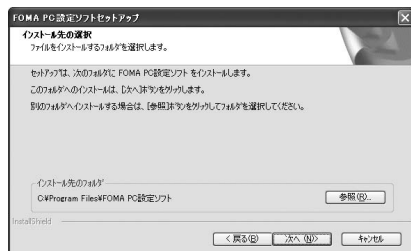
4 内容をご確認の上、契約内容にご同意いただける場合は、「はい」をクリックする

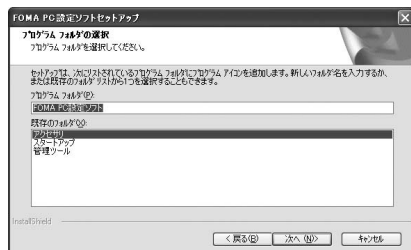
5 セットアップタイプを選択する

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」を常駐させるかどうか選択できます。「W-TCP設定」がタスクトレイにあれば、「W-TCP通信」の設定・解除が簡単に操作できます。特に問題がなければ、「タスクトレイに常駐する」にチェックを付けたまま、「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。

- 「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定の変更が可能です。

デスクトップの右下（通常）のタスクトレイに表示されます。

6 インストール先を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、「参照」をクリックして、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。（ハードディスクスペースの問題などで、異なったドライブにもインストールできますが、通常はそのままお進みください。）

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、新規フォルダ名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

8 「完了」をクリックする

セットアップが完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。

■FOMA PC設定ソフト インストール時の画面表示

「旧W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合

警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンのW-TCP環境設定ソフトをアンインストールしてください。

「旧FOMA データ通信設定ソフト」がインストールされている場合

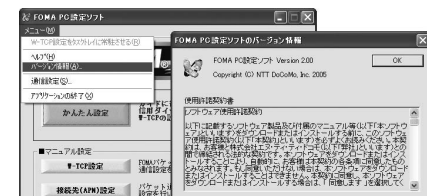
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」をアンインストールしてください。

「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から「旧FOMA PC設定ソフト」をアンインストールしてください。

インストール途中で「キャンセル」をクリックした場合

セットアップの途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックした場合、確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は「はい」をクリックし、「完了」をクリックしてください。

■FOMA PC設定ソフトのバージョン情報の確認について

FOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「バージョン情報」を選択します。
FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が表示されます。

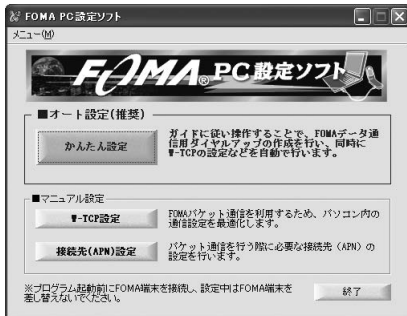
通信の設定を行う

パケット通信や64Kデータ通信に関するさまざまな設定をします。
簡単に設定できる「オート設定」とパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されているかご確認ください。

1 **「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を開く**

<Windows® 2000 Professional、Windows® 98、Windows® Meの場合>
「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

この設定ソフトでは、お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダ」の情報に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 「かんたん設定」からパケット通信を設定する場合はP.406参照。
- 「かんたん設定」から64Kデータ通信を設定する場合はP.409参照。
- 「W-TCP設定」を設定する場合はP.412参照。
- 「接続先（APN）設定」をする場合はP.413参照。

通信ポート指定について

1 **FOMA PC設定ソフトの「メニュー」▶「通信設定」を選択する**

- 自動設定（推奨）
  自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
  通常は自動設定をお選びください。
- COMポート指定
  COMポート番号を指定したい場合に、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号を指定します。（COM1～99）

●Windows® 98およびWindows® Meでは、COM1～9以外の番号で認識されている場合は、APN設定の際、APN情報の取得・書き込みができません。
●COMポート番号の確認方法についてはP.415参照。

2 **「OK」をクリックする**

設定が適用されます。

かんたん設定からパケット通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

1 **「かんたん設定」をクリックする**

2 **「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする**

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.407参照。

4 「OK」をクリックする

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
- 半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「"」は入力できません。

6 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも構いません。
- Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合は、ユーザーの選択を任意に行ってください。
  Windows® 98およびWindows® Meの場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

7 「最適化を行う」を選択して、「次へ」をクリックする

「最適化を行う」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックします。
- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。（P.410参照）接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。
- 「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ここでは「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用します。「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込み等が必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックする

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力する

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

- 半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「"」は入力できません。
- 「接続先（APN）の選択」欄には標準で「mopera.ne.jp」が設定されていますが、「接続先（APN）設定」画面に進んでください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、番号（cid）1には「mopera.ne.jp」が、番号（cid）3には「mopera.net」が設定されています。「追加」をクリックして、「接続先（APN）の追加」画面で、FOMAパケット通信に対応した接続先名（APN）を正しく入力して、「OK」をクリックします。

- プロバイダの接続先（APN）については、各プロバイダにお問い合わせください。
- 新たに設定した接続先（APN）を選択して、よろしければ「OK」をクリックしてください。「パケット通信設定」の画面に戻ります。

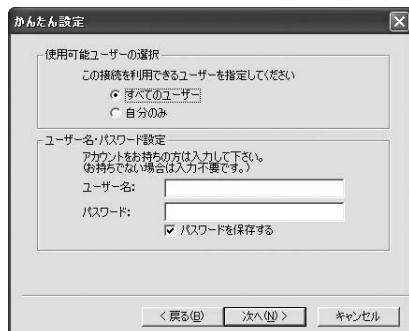
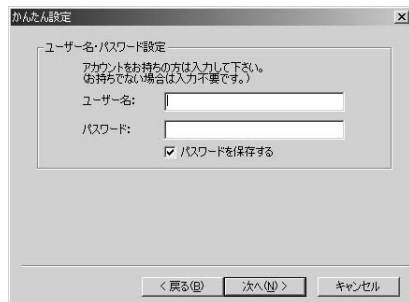
7 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」･「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックする

9 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合は、ユーザーの選択を任意に行ってください。
  Windows® 98およびWindows® Meの場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

Windows® XP・Windows® 2000 Professionalの場合

Windows® 98・Windows® Meの場合

10 「最適化を行う」を選択して、「次へ」をクリックする

「最適化を行う」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックします。

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

11 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

12 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。（P.410参照）接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。

- 「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.409参照。

4 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
また、「モデムの選択」欄で、FOMA P901iTVが表示されていることをご確認ください。
- 半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「"」は入力できません。

5 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも構いません。
- Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合は、ユーザーの選択を任意に行ってください。
  Windows® 98およびWindows® Meの場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

6 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

7 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。（P.410参照）接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。（通信速度最大64kbps）
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込み等が必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

次ページにつづく

4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera U」または「mopera」以外のISDN同期64K対応プロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、
①接続名の入力（任意）
②モデムの選択（FOMA P901iTV）
③プロバイダ接続の電話番号
をそれぞれに登録します。
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。

- 「接続名」欄に半角の「¥」「／」「：」「＊」「？」「！」「<」「>」「｜」「"」は入力できません。

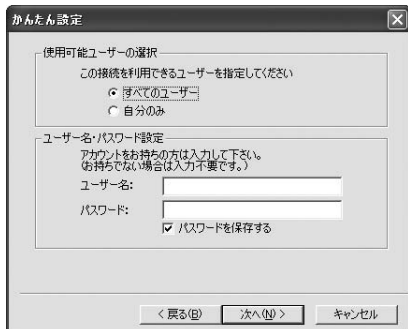
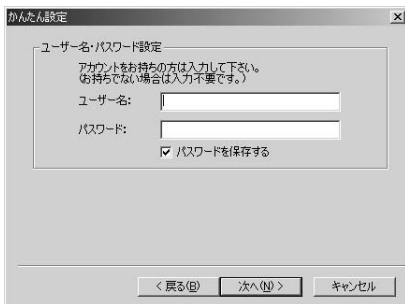
5 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- Windows® XPおよびWindows® 2000 Professionalの場合は、ユーザーの選択を任意に行ってください。
Windows® 98およびWindows® Meの場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

Windows® XP・Windows® 2000 Professionalの場合

Windows® 98・Windows® Meの場合

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。（P.410参照）接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。

設定した通信を実行する

ここではWindows® XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.398の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

通信設定で作成されたFOMA接続のショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。

- ショートカットアイコンがない場合は以下の操作でアイコンを表示します。

<Windows® XP>
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」

<Windows® 2000 Professional>
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」

<Windows® 98、Windows® Me>
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」

2 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は「ユーザー名」、「パスワード」については空欄でも構いません。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」にチェックを付けると、このユーザーもしくはすべてのユーザーは次回から入力する必要がなくなります。

3 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックして、接続されたことを確認する

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「」(通信中、データ送信中)
「」(通信中、データ受信中)
「」(通信中、データ送受信なし)
「」(発信中、または切断中)
「」(着信中、または切断中)
- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「切断」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

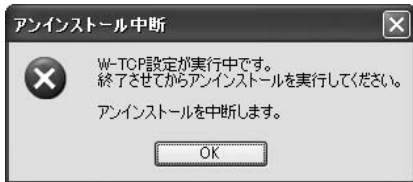
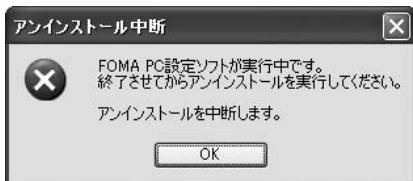
「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

1 「W-TCP設定ソフト」をタスクトレイに常駐させないようにする

ウィンドウ右下タスクトレイの「W-TCP設定ソフト」を右クリックして、「常駐させない」を選択します。

次ページにつづく

2 起動中のプログラムを終了する

「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定ソフト」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールをする

ここではWindows® XPでアンインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が異なります。

- Windows® XP、Windows® 2000 Professionalで「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を開く

<Windows® 2000 Professional、Windows® 98、Windows® Me>
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して、「変更と削除」をクリックする

- Windows® 2000 Professionalでは「変更/削除」と表示されます。
- Windows® 98・Windows® Meでは「追加と削除」と表示されます。

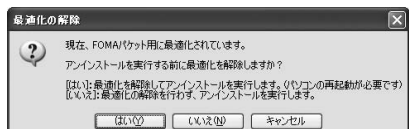
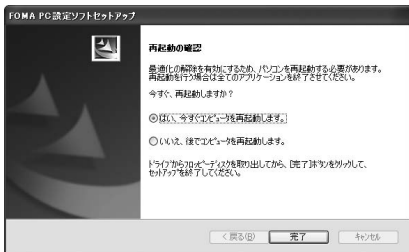
3 削除するプログラム名を確認して、「はい」をクリックする

アンインストールが実行されプログラムが削除されます。

4 「OK」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

■「W-TCP最適化」を解除するには

W-TCPが最適化されている場合は、下の画面が出ます。最適化を解除する場合は「はい」をクリックしてください。

設定を有効にするために、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「完了」をクリックしてください。

W-TCP設定

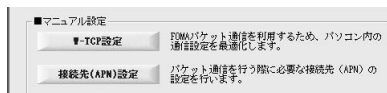
W-TCPソフトの役割

「W-TCP設定ソフト」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。
「かんたん設定」で「最適化を行う」にチェックを入れてダイヤルアップを作成した場合、ここでは最適化を行う必要はありません。

最適化の設定と削除

Windows® XPの場合

Windows® XPの場合はダイヤルアップごとに最適化設定が可能です。

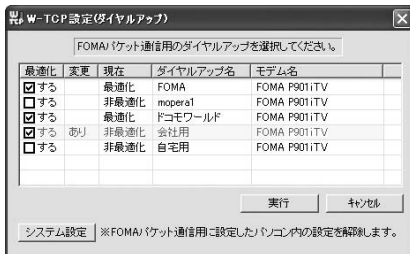
1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合> FOMA PC設定ソフトを起動して、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

<タスクトレイから操作する場合>
タスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックして、プログラムを起動する

2 <システム設定が最適化されていない場合>
「最適化を行う」をクリックする

最適化するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

<システム設定が最適化されている場合>
内容の変更などがある場合は設定を行ってください。

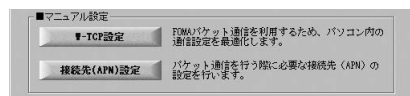
<最適化を解除する場合>
「システム設定」▶「最適化を解除する」をクリックする

FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

Windows® 2000 Professional／Windows® 98／Windows® Meの場合

1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合>
FOMA PC設定ソフトを起動して、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

<タスクトレイから操作する場合>
タスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックして、プログラムを起動する

2 <最適化されていない場合>
「最適化を行う」をクリックする

<最適化されている場合>
「最適化を解除する」をクリックする

FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

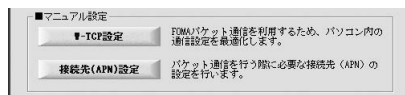
3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

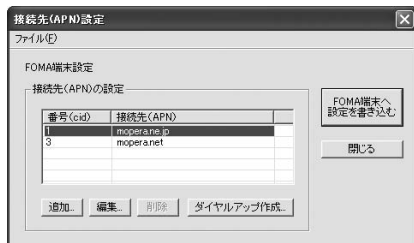
接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）の設定をします。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
cid（Context Identifier）とはパケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号のことです。（P.417参照）

1 FOMA PC設定ソフトを起動して、「マニュアル設定」の「接続先（APN）設定」をクリックする

2 「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動アクセスし、登録されている「接続先（APN）設定」を読み込みます。また、設定情報は手順3でメニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からも読み込めます。

3 接続先（APN）の設定をする

● FOMA端末が接続されていない場合、この画面は表示されません。

接続先（APN）の追加・編集・削除

・接続先（APN）の追加をする場合は「追加」をクリックしてください。

・登録済みの接続先（APN）を編集（修正）する場合は「編集」をクリックします。

・登録済みの接続先（APN）を削除したい場合は、対象の接続先（APN）を選択して「削除」をクリックしてください。

※「cid1」と「cid3」に登録されている接続先（APN）は削除できません。（「cid3」を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

ファイルへの保存

メニューの「ファイル」→「上書き保存」／「名前を付けて保存」からの操作で、FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

ファイルからの読み込み

メニューの「ファイル」→「開く」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込めます。

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

「FOMA端末から設定を取得」をクリックすると、接続先（APN）設定をFOMA端末から読み込めます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込めます。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面上で追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックすると、パケット通信ダイヤルアップが作成できます。FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップ作成画面」が表示されます。

任意の接続先名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。（mopera Uまたはmoperaの場合は空欄でも構いません。）

ユーザー名とパスワードを入力し（Windows® XP・Windows® 2000 Professionalの場合は使用可能ユーザーの選択をして）「OK」をクリックしてください。

ご利用のインターネットサービスプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。

設定入力が完了したら、「OK」をクリックしてください。ダイヤルアップが作成されます。

「mopera U」または「mopera」を利用する場合はP.406参照。

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合はP.407参照。

お知らせ

● 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。

● パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。

パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows®標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.416参照）は不要です。

発信者番号通知／非通知の設定（P.418参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）

<ATコマンドによるパケット通信設定の流れ>

COMポート番号を確認する（P.415参照）

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する（P.416手順3参照）

接続先（APN）の設定をする（P.417手順7参照）

発信者番号の通知／非通知を設定する（P.418手順2参照）

その他の設定をする（P.427参照）

通信ソフトを終了する（P.417手順9参照）

■ATコマンドについて

● ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

● ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）できます。

● 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ⏎」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、P901iTV通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA P901iTV」(モデム)に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先(APN)の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows® XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番/エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P901iTV」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.416参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows® 2000 Professionalの場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P901iTV」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.416参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows® 98、Windows® Meの場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

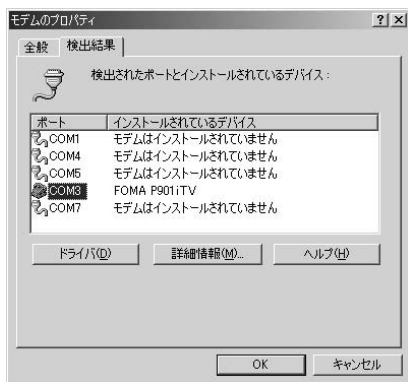
2 「コントロールパネル」の「モデム」を開く

- コントロールパネルに「モデム」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

3 「FOMA P901iTV」がセットアップされていることを確認して、「検出結果」タブをクリックする

次ページにつづく

4 「FOMA P901iTV」が設定されているCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.416参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は10個まで登録でき、1～10の「cid」（P.417参照）という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定は不要です。
ここでは接続先（APN）が「XXX.abc」の場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定（P.418参照）での接続先番号となります。

Windows® XPの例

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 ハイパーターミナルを起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
ハイパーターミナル起動後に、『「既定のTelnet」プログラムにしますか？』と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカーおよびマイクロソフトにご確認ください。

- Windows® 2000 Professional、Windows® 98、Windows® Meでは、パソコンで「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
- Windows® 98では、「ハイパーターミナル」を開いたあと「Hypertrm.exe」をダブルクリックします。

4 「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする

ここでは例として「Sample」と入力します。

5 接続方法を選択する

<P.415で確認したCOMポート番号が選択できる場合>

「接続方法」でP.415で確認したCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。
このあと手順6へ進んでください。

- ここでは例として「COM3」を選択します。

<P.415で確認したCOMポート番号が選択できない場合>

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P901iTV」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

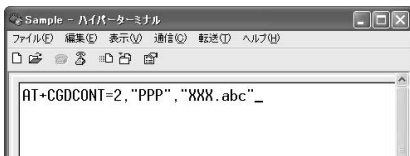
6 COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

- 手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

7 接続先（APN）を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PPP","APN"の形式で入力します。
cid：2もしくは4～10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"APN"：APNを" "で囲んで入力します。
"PPP"についてはそのまま"PPP"と入力します。

（例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
入力後↵を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

- 現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT？↵ 」と入力します。
APN設定が一覧で表示されます。（P.417参照）

8 「OK」と表示されることを確認する

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- 「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

■cid（登録番号）について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が接続先（APN）として登録されています。「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、cid2とcid4～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先（APN）を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp (mopera)
2	未設定
3	mopera.net (mopera U)
4～10	未設定

■cidに登録した接続先（APN）に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊<cid番号>＃」

（例）cid2に登録した接続先（APN）に接続する場合
＊99＊＊＊2＃

■接続先（APN）設定のリセット／確認について

接続先（APN）設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先（APN）設定のリセット

リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2とcid4～10の設定は未登録となります。
（入力方法）
AT+CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）
AT+CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

接続先（APN）設定の確認

現在の設定内容を表示させます。
（入力方法）
AT+CGDCONT?↵

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について
ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186（通知）／184（非通知）の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝3の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの186が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定）を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
発信者番号の通知／非通知は＊DGPIRコマンドで設定します。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

- 「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.416参照。

2 ＊DGPIRコマンド（P.430参照）で発信者番号の通知／非通知を設定する

- 発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合は、
  AT＊DGPIR=1↵と入力します。
- 発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合は、
  AT＊DGPIR=2↵と入力します。

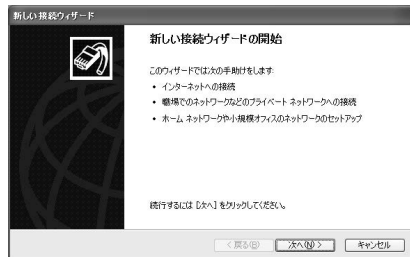
3 「OK」と表示されることを確認する

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

Windows® XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

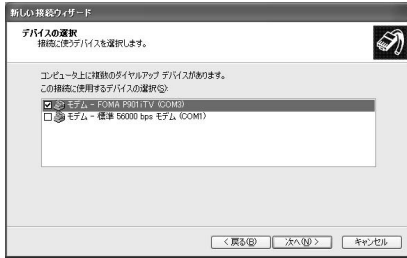
1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

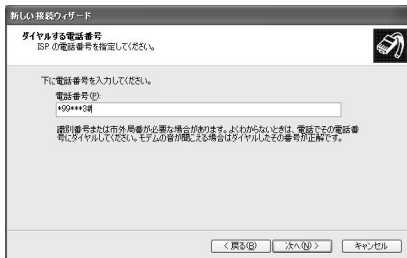
6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P901iTV」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

●「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

●ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

8 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
mopera U以外に接続する場合は「＊99＊＊＊<cid番号>#」の形式で入力します。cid番号についてはP.417参照。

●「接続の利用範囲」の画面が表示された場合は、ユーザーを指定して「次へ」をクリックします。

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも構いません。

10 「完了」をクリックする

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

データ通信

ダイヤルアップネットワークの設定をする

次ページにつづく

13「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム−FOMA P901iTV」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム−FOMA P901iTV」の優先順位を一番上にするか、「モデム−FOMA P901iTV」以外のモデムのチェックを外してください。

「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P901iTV」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「∗99∗∗∗3#」を入力します。
  mopera U以外に接続する場合は「∗99∗∗∗<cid番号>#」の形式で入力します。cid番号についてはP.417参照。

14「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。
続いて「設定」をクリックします。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows® 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

- 「所在地情報」の画面は、手順2で「新しい接続の作成」を初めて起動したときのみ表示されます。
- 2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されるので、手順5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」が表示されたら、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

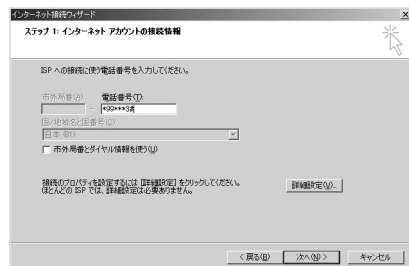
7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」の欄が「FOMA P901iTV」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする

- 選択されていない場合には、「FOMA P901iTV」を選択します。
- お使いになるパソコンの動作環境によっては、下の画面は表示されません。その場合は、手順10へ進みます。

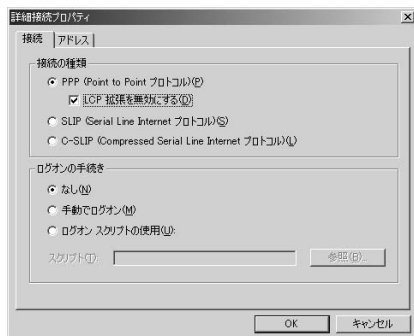
10 「電話番号」の欄に接続先番号を入力する

- 「市外局番」の欄には何も入力しません。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外に接続する場合は「＊99＊＊＊<cid番号>＃」の形式で入力します。cid番号についてはP.417参照。

11 「詳細設定」をクリックする

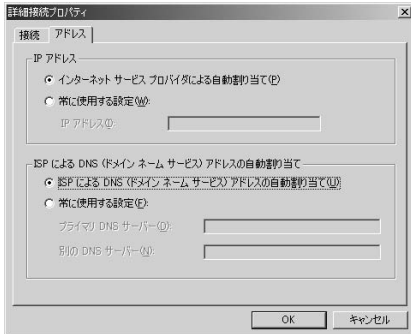
12 「接続」タブの中の設定を行う

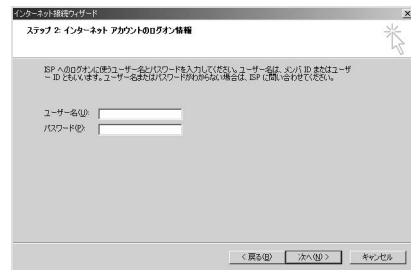
「接続の種類」、「ログオンの手続き」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
設定を確認したら、「アドレス」タブをクリックします。

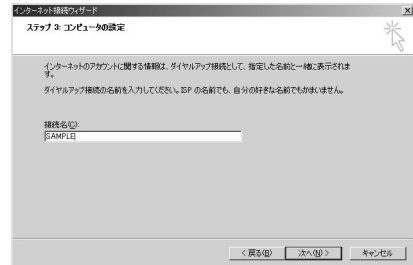
- 「接続」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

次ページにつづく

13 IPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスの設定を行う

「IPアドレス」、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。手順10の画面に戻るので、「次へ」をクリックします。

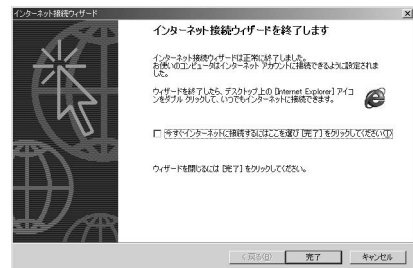
- **IPアドレスおよびDNSアドレスの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

14 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたは管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも構いません。この場合、「ユーザー名を空白のままにしておきますか？」という画面と「パスワードを空白のままにしておきますか？」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックして手順15へ進みます。

15 「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

16 「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックする

- インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択します。
- **設定する場合の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

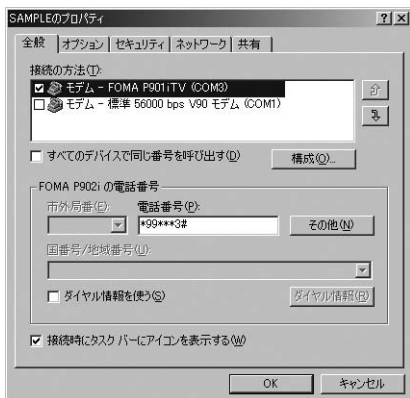
17 続いて「TCP/IP」の設定をする

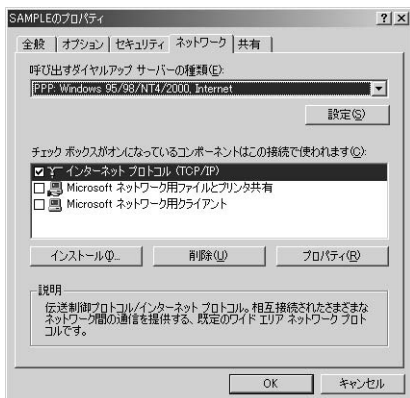
- 下の画面が表示された場合は、「今すぐインターネットに接続するにはここを選び［完了］をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックします。

18 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

19 手順15で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する

データ通信
ダイヤルアップネットワークの設定をする

20 「全般」タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P901iTV」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックされている場合にはチェックを外します。
- 「FOMA P901iTV」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外に接続する場合は「＊99＊＊＊<cid番号>＃」の形式で入力します。cid番号についてはP.417参照。

21 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。
続いて「設定」をクリックします。

22 すべてのチェックを外して「OK」をクリックする

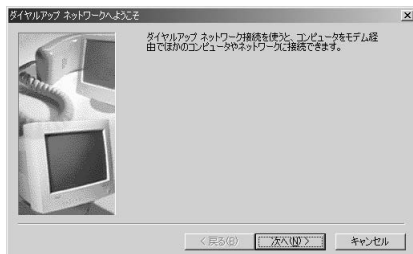
23 手順21の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows® 98、Windows® Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

ここでは、Windows® Meの画面で説明しています。

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」を開く

2 「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

- この画面はダイヤルアップネットワークを初めて起動したときのみ表示されます。「次へ」をクリックして、手順4に進んでください。
- 2回目以降は、この画面は表示されません。その場合は、手順3へ進みます。

3 「ダイヤルアップネットワーク」の中の「新しい接続」をダブルクリックする

4 「接続名」の欄に接続先名（任意の名前）を入力して、「次へ」をクリックする

ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

- ●「モデムの選択」の欄が「FOMA P901iTV」になっていない場合は、「FOMA P901iTV」を選択します。

5 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

- ●「市外局番」の欄には何も入力しません。
- ●「国／地域番号」は「日本（81）」を選択します。
- ●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
  mopera U以外に接続する場合は「＊99＊＊＊<cid番号>#」の形式で入力します。cid番号についてはP.417参照。

6 接続先名（任意の名前）を確認して、「完了」をクリックする

続いて「TCP/IP」の設定をします。

7 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」を開く

8 手順4で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する

9 「全般」タブで「電話番号」の入力および「接続方法」の確認を行う

- ●「市外局番」の欄には何も入力しません。
- ●「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外します。
- ●「接続方法」の欄が「FOMA P901iTV」になっていない場合は、「FOMA P901iTV」を選択します。
- ●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
  mopera U以外に接続する場合は「＊99＊＊＊<cid番号>#」の形式で入力します。cid番号についてはP.417参照。

10 <Windows® 98の場合>「サーバーの種類」タブをクリックして、各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を選択します。「詳細オプション」の欄は、チェックマークを付けずに、「使用できるネットワークプロトコル」欄は、TCP/IPのみチェックマークを入力します。

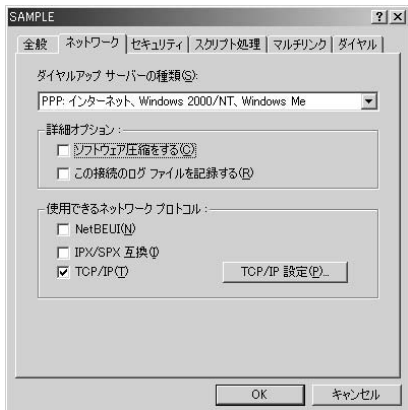
- ●「サーバーの種類」タブは、お使いのパソコンによって表示位置が異なります。
- **●「サーバーの種類」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

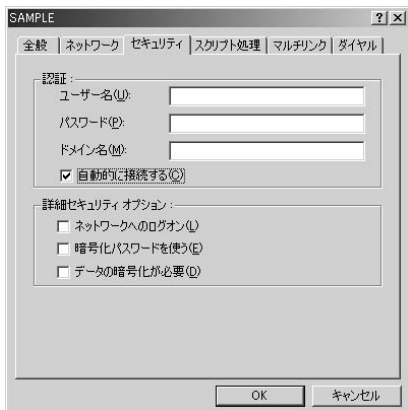
手順12へ進みます。

<Windows® Meの場合>

「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP: インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」を選択します。「詳細オプション」の欄は、チェックマークを付けずに、「使用できるネットワークプロトコル」欄は、TCP/IPのみチェックマークを入力します。

- 「ネットワーク」タブは、お使いのパソコンによって表示位置が異なります。
- **「ネットワーク」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

11 「セキュリティ」タブをクリックして、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力する

- 「自動的に接続する」にチェックをしておくと、接続時にユーザー名、パスワードなどを確認する画面が出なくなり、すぐに接続するようになります。
- パスワードを変更した場合は、この画面でパスワードを入力し直します。
- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合、ユーザー名とパスワードは空欄でも構いません。

12 「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

ここではWindows® XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.398の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

- パケット通信による接続を行うときにはP.412「W-TCP設定」で通信性能を最適化することをおすすめします。最適化することでFOMAネットワークでの高速通信を最大限に生かして利用できます。最適化を行うにはP.403「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。
- 64Kデータ通信による接続を行うときは「W-TCP設定」で最適化を行わないでください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名（P.419参照）のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも構いません。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、下のようなメッセージが数秒間表示されます。

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
- メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「 」(通信中、データ送信中)
「 」(通信中、データ受信中)
「 」(通信中、データ送受信なし)
「 」(発信中、または切断中)
「 」(着信中、または切断中)

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「 」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「切断」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない(ダイヤルアップ接続ができない)場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「FOMA P901iTV」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境(P.396参照)を満たしているかを確認してください。 ・P901iTV通信設定ファイルがインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル(別売)がしっかりと接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID(ユーザー名)やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定(P.414参照)と同じです。
以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先(APN)の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。(mopera Uに接続する場合は「*8701」、moperaに接続する場合は「*9601」と電話番号欄に入力してください。)
- 「発信者番号通知/非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
(mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。)
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.410、P.425の手順に従って操作してください。

FirstPass PCソフトを利用する

FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書をパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。

FirstPass PCソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FirstPass PCソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必　要　環　境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Microsoft® Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP（各日本語版） （Windows® 98には対応していません。）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional：32Mバイト以上※ Windows® XP：128Mバイト以上※
ハードディスク容量	10Mバイト以上の空き容量※
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上 Windows® XPの場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0以上

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

インストールする前に

FirstPass PCソフトをインストールする前にCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPass PCソフトをインストールする

ここではWindows® XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 **添付の「FOMA P901iTV用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 FirstPass PCソフトをインストールするには **「FirstPass PCソフト」をクリックする**

引き続き、CD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）の手順に従ってインストールしてください。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド（命令）です。

※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。

[AT]：FOMA P901iTV Command Portで使用できるコマンドです。

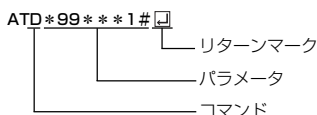
[M]：FOMA P901iTV（モデム）で使用できるコマンドです。

[&F]：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。

[&W]：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

●入力例

●ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。

お知らせ

●ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。
・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
●オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。
※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について
AT+CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：　CDは常にON n=1：　CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0：　ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1：　ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2：　ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0：　無線区間通信速度を表示します。 n=1：　DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0：　DRは常にON（初期値） n=1：　DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT*DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0〜3）	=0：　FOMA端末のアンテナが圏外 =1：　FOMA端末のアンテナが1本 =2：　FOMA端末のアンテナが2本 =3：　FOMA端末のアンテナが3本	AT*DANTE *DANTE:3 OK AT*DANTE=? *DANTE:(0-3) OK
AT*DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0：　着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1：　着信拒否設定（AT*DGARL）を有効にします。 n=2：　着信許可設定（AT*DGAPL）を有効にします。 AT*DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT*DGANSM=0 OK AT*DGANSM? *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT*DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT*DGAPL=0,1 OK AT*DGAPL? *DGAPL:1 OK AT*DGAPL=1 OK AT*DGAPL? OK
AT*DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT*DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT*DGARL=0,1 OK AT*DGARL? *DGARL:1 OK AT*DGARL=1 OK AT*DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.418参照）	n=0： APNをそのまま使用します。（初期値） n=1： APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2： APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT＊DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値～75：最大値）	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	－	－
AT+CEER [M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.435参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.434参照。	P.434参照。
AT+CGEQMIN [M]	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.434参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.434参照。
AT+CGEQREQ [M]	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.434参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.434参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 1234512345123456 OK
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=0： 通知なし。（初期値） n=1： 通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=0： 通知しません。（初期値） n=1： 通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=0： 発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1： 発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2： 不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0：CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1：通話相手に番号発信しません。 n=2：通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0：CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0：通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1：+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2：+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR：SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号 type：129もしくは145 129:　国際アクセスコード+を含まない 145:　国際アクセスコード+を含む リザルト：+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=0：表示しません。（初期値） n=1：表示します。 <serv>：パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。 （回線種別により"SYNC"、"AV32K"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD*99***1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0：+CRINGを使用しません。（初期値） n=1：+CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 （OSによっては設定できない場合があります。）	n=0：通知なし。（初期値） n=1：通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：音声圏外 1：音声圏内 4：不明 5：音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK (圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+GMI [M]	メーカー名（Panasonic）を表示します。	－	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P901iTV）を表示します。	－	AT+GMM FOMA P901iTV OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2.2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M] [&F][&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	n=22：W-CDMA（Wideband CDMA）のみ指定可能です。（初期値）	AT+WS46=22 OK
ATA [M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD [M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1〜10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：　製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：　PPPパケット機能のバージョンを表示します。（+GMRと同じ）	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P901iTV OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：　オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません。）
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：　自動着信しません。（初期値） n=1〜255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：　初期値 n=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：　初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS30=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	n=0～255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＊（アスタリスク） n=1：／（スラッシュ）（初期値） n=2：￥またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＃（シャープ） n=1：%（パーセント）（初期値） n=2：&（アンド）	ATS104=0 OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で返送します。 n=1：リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK
ATZ [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	－	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT￥S [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	－	AT￥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ￥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT￥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=0：拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） n=1：拡張リザルトコードを使用します。	AT￥V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・AT（ATのみの入力）
・ATP（パルス設定）
・ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
・ATT（トーン設定）
・ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
・ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名： +CGDCONT [M]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※ ：1～10

<APN>※ ：任意

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=	：すべての<cid>に対し初期値を設定します
+CGDCONT=<cid>	：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?	：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?	：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CGEQMIN=[パラメータ] [M]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrateUL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※	：1～10
<Maximum bitrate UL>※	：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>※	：なし（初期値）または384

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN=	：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>	：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2)上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384
OK

(3)上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64
OK

(4)上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CGEQREQ=[パラメータ] [M]

・概要

PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式

+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明

<cid>※：1～10

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ=	：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>	：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の1パターンのみ設定できます。

(各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CLIP

・概要

"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。

+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例

AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド（P.433参照）がn=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
2	AV32K	テレビ電話32Kで接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

- ATX0が設定されている場合
  AT¥Vコマンド（P.433参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1
- ATX1が設定されている場合※
  ・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1 21
  ・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
  接続完了のときに、以下の書式で表示します。
  CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET
  　　　　　　　mopera.ne.jp /64/384
  　　　　　　　（mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1215

※ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

文字入力

＜文字入力＞

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

文字入力画面

文字入力（編集）画面には、そのときの入力モードなどの情報やガイダンスなどが表示されています。ガイダンスを非表示にすることもできます。（P.444参照）

■ガイダンス

▲▼変換
◎を押して文字を変換できるときに表示します。

▲▼全件▲▼検索
電話帳の検索画面で、◎を押して検索できるときに表示します。

◀▶▲▼領域
文字をコピー（切り取り）するときに表示します。

小／大
を押すと、入力した文字の大文字⇔小文字切り替えができます。

長押 改行
を1秒以上押すと、改行できます。
- SMS本文入力、冒頭文編集、署名編集、引用符編集などで表示されます。
- iモードメールの本文入力時など、「長押 改行」が表示されていなくても操作できる場合があります。

固定入力 固定終了
モード3（T9入力方式）選択時に＊を押してT9入力／固定入力を切り替えます。（P.444参照）

ホーム 逆順
モード1（かな方式）で文字を入力中に、▲を押して入力した文字を1つ前の文字に戻すことができるときに表示します。

フリーメモ編集
挿　漢全　残512
文字　確定　機能

■情報表示

2／T9／固
モード2（2タッチ方式）（P.443参照）／モード3（T9入力方式）（P.443参照）／固定入力（P.444参照）のときに表示します。

挿／上
挿入／上書きモードを表示します。（P.440参照）

漢／ｶﾅ／英／数／区
文字入力モードを表示します。

全／半
全角／半角を表示します。

小
小文字のときに表示します。

残
入力可能な残り文字数をバイト数で表示します。

入
FOMAカードの電話帳登録時、SMSの本文入力時に入力済みの文字数を文字数単位で表示します。

文字入力方式を選択する

お買い上げ時	入力モード：すべてチェックあり 優先入力方式：モード1（かな方式）

文字入力方式には、次の3種類の方式があります。

モード	説明	参照
モード1 （かな方式）	1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに文字が変わります。	P.438参照
モード2 （2タッチ方式）	2つの数字の組み合わせで文字を入力します。	P.443参照
モード3 （T9入力方式）	1つのボタンを押すごとに、そのボタンに割り当てられた文字の候補が表示され、その中から選択して入力します。	P.443参照

1 メニュー▶設定▶その他▶文字入力方式▶入力モード▶使用したいモードにチェック▶✉（完了）
- ◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
- 少なくとも2つのモードを選択してください。

2 優先的に使うモードを選択▶◎
- 手順1で選択したモードの中から、優先的に使うモードを選択します。

■文字入力（編集）画面での切り替え方法
文字入力（編集）画面では、次の2つの方法でモードを切り替えることができます。
- ✉（文字）を1秒以上押す
押すごとに、モード1→モード2→モード3→モード1…の順で、手順1で選択したモードに切り替わります。
- 文字入力（編集）画面の機能メニューから「入力モード切替」を選択し、モードを選択する（P.441参照）

＜モード1（かな方式）＞

モード1（かな方式）で文字を入力する

文字を入力する操作手順で✉（文字）を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

入力モード	入力できる文字
漢字ひらがな入力モード	ひらがな・文字変換（漢字、カタカナなど）・記号
カタカナ入力モード	カタカナ・記号
英字入力モード	英字・記号
数字入力モード	数字・「#」「＊」・記号

漢字・ひらがな・カタカナを入力する

＜例＞フリーメモに「タダの花」を入力する

1 メニュー▶ツール▶フリーメモ▶✉（編集）
文字入力（編集）画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→4を1回、◎を1回
だ→4を1回、#を1回
の→5を1回、▲を1回
は→6を1回
な→5を1回

- 同じボタンで入力する文字が続く場合は、◎を押すか、もう一度同じボタンを1秒以上押し、次の文字を入力します。
- 大文字・小文字を切り替える場合は文字を入力したあとに*を押します。
- ▲を押すと、押すごとに逆順に文字が表示されます。
- 変換せずにそのまま確定する場合は◉を押します。

3 ◎で文字を変換

- 目的の文字に変換されない場合は、◎を押して変換対象となる文字を反転させ、◎を目的の文字が出るまで数回押します。
  また、濁点や半濁点を外したり、読み方を変えて（音読み・訓読みなど）入力し直してください。
- ◎を何度か押すと、変換候補の一覧が表示されるので、目的の文字を選択します。

4 「タダ」を選択▶◉

- 文字を確定すると次の文字が反転します。

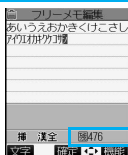
5 同様に残りの文字を確定

お知らせ

- FOMA端末は連文節変換を行います。変換するためのひらがなは最大20文字まで入力することができ、6文節までを一括変換します。
- 一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。
- ひらがなを入力するときは、変換候補から選ぶ方法と漢字に変換する前に◉を押す方法があります。
- 変換後の文字が入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーする旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると入力可能な範囲までの文字が確定されます。
- ｉモードメールの本文を入力するときは、メール本文入力画面でダイヤルボタンを押すと文字入力（編集）画面が表示され、文字入力（編集）画面の機能メニューを利用できます。

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則にしたがってカウントされます。各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 全角文字は、半角文字2文字分になります。
  全角：あいうえお　5文字（カウントは10バイト）
  半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ　10文字（カウントは10バイト）

■文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。
<例>「ﾄﾞｺﾓ」を半角カタカナ入力モードで、「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄ ﾞ ｺ ﾓ の 携 帯 電 話
1 1 1 1 2 2 2 2 2

- 画面に表示される文字数は9文字でカウントは14バイト、半角文字14文字分となります。
- 半角文字の濁点「ﾞ」半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、◎で行単位、▼ ▲でページ単位のスクロールができます。漢字変換の候補リスト表示画面では、◎で行単位、◎または▼ ▲でページ単位のスクロールができます。

■文字を挿入するには

挿入モードのときは、◎を押して挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせ、文字を入力します。
文字はカーソルの位置に挿入されます。

■文字を削除するには

◎を押して削除したい文字にカーソルを合わせ、クリアを押します。
カーソル上の文字が削除されます。
カーソル以降に文字がないときは、カーソルの左側の1文字が削除されます。

- カーソル以降に文字がある場合、クリアを1秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。
  カーソル以降に文字が無い場合、クリアを1秒以上押すと文字をすべて削除します。

その他の入力機能

項目	内容
カタカナ入力	✉（文字）を数回押してカタカナ入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力
英字入力	✉（文字）を数回押して英字入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力
数字入力	✉（文字）を数回押して数字入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力

■編集中のデータについて

電池が切れたときは

フリーメモ、新規メールの文字編集中などに電池残量が少なくなると、自動的に文字編集を終了し電池切れアラームが鳴ります。編集中のデータは自動的に確定して保存されますので、充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集できます。ただし、変換中の確定していない文字は保存されません。

[PWR]を押したときは

文字を入力、編集中に[PWR]を押すと、編集を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
（データを変更していないときは確認画面は表示されません。）

- **編集中の内容を破棄して終わるときは**
  「YES」を選択します。
  編集中のデータを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。
  ※[PWR]を押してもデータを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。
- **編集を続けるときは**
  「NO」を選択します。
  編集中のデータはそのままで元の画面に戻ります。
  ※[クリア]を押しても元の画面に戻ります。

マルチタスク機能を利用したときは

文字編集の途中でマルチタスク機能を利用して他の文字入力（編集）画面に切り替えた場合でも、元の編集途中の画面はそのまま保持されます。タスクを切り替えれば、元の文字編集を行えます。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

文字編集中に電話がかかってきたり、メールを受信したときでも、マルチタスク機能が働くため編集中のデータはそのままで応対できます。

文字入力（編集）中の機能メニュー

1 文字入力（編集）中▶[i]（機能）▶以下の操作を行う

- メール本文入力画面での機能メニューについてはP.238参照。

機能メニュー	内容
絵文字記号連続入力	絵文字や記号を文字入力（編集）画面に表示しながら入力します。 **▶絵文字または記号を選択▶[●]** 上記の操作を繰り返して、他の絵文字や記号を入力できます。 ●[✉]（絵記）を押して絵文字や記号の一覧画面を切り替えます。 ●絵文字、記号の一覧についてはP.462参照。 ▶[クリア]
大文字切替・小文字切替	大文字、小文字を切り替えます。
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。 ●モード2のときは[✉]（文字）を押しても切り替わります。
コピー	文字をコピーします。（P.442参照）
切り取り	文字を切り取ります。（P.442参照）
貼り付け	切り取り・コピーした文字を貼り付けます。（P.442参照）
定型文入力	**▶フォルダを選択▶[●]▶定型文を選択▶[●]** ●フォルダ1とフォルダ2には固定定型文があらかじめ登録されています。 ●フォルダ3～5は、定型文が登録されていない場合は表示されません。 ▶[●] ●定型文の一覧についてはP.463参照。
スペース入力	全角入力モードのときは全角スペース、半角入力モードのときは半角スペースを入力します。 文末にカーソルがある場合、[◎]を押してもスペースを入力できます。
改行入力	改行マークを入力し、文章を改行します。 ●[☎]を1秒以上押しても改行を入力できます。
記号入力	**▶記号を選択▶[●]** ●記号の一覧についてはP.462参照。
絵文字入力	**▶絵文字を選択▶[●]** ●絵文字の一覧についてはP.462参照。
区点入力	区点コード一覧表（P.464参照）にある文字・数字・記号を入力します。 **▶区点コード（4桁）を入力** 入力した区点コードに対応した文字が表示され、元の入力モードに戻ります。 ●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。
挿入モード・上書きモード	すでに入力されている文字と文字の間に新たに入力した文字を挿入する「挿入モード（挿）」と、すでに入力されている文字を新たに入力した文字に置き換える「上書きモード（上）」を切り替えます。 ●上書きモードの状態で文字入力（編集）画面を終了し、再度文字入力（編集）画面にしたときは挿入モードになります。上書きモードにはその都度切り替えてください。
電話帳引用	文字入力（編集）画面で電話帳を呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 <FOMA端末内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ <FOMAカード内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス **▶グループ検索・行検索** ●「電話帳引用」では、「グループ検索」と「行検索」のみで電話帳を検索します。 **▶電話帳を選択▶[●]▶引用したい項目にチェック▶[✉]（完了）** ●[●]を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
個人データ引用	文字入力（編集）画面でお客様の個人データを呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ **▶端末暗証番号を入力▶[●]▶引用したい項目にチェック▶[✉]（完了）** ●[●]を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

機能メニュー	内容
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。 (P.178参照)
ワード予測ON・ ワード予測OFF	ワード予測のON／OFFを設定します。 (P.444参照)
入力モード切替	文字入力方式を切り替えます。 ▶入力モードを選択▶◉ ●「文字入力方式」の「入力モード」(P.438参照)で選択していない入力モードは選択できません。 ●文字入力（編集）画面で✉（文字）を1秒以上押しても「モード1」→「モード2」→「モード3」→「モード1」…の順で、「文字入力方式」で選択したモードに切り替わります。
JUMP	カーソルを文頭または文末に移動させます。 ▶文頭へJUMP・文末へJUMP ●「文末」とは、エンドマーク「◂」のことではなく、入力文字中の最終文字（スペース、改行含む）のことです。

お知らせ

<定型文入力>
- 文字入力（編集）画面によっては定型文を入力できない場合があります。
- 固定定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。漢字ひらがな入力モード（モード1（かな方式）、モード3（T9入力方式））、全角入力モード（モード2（2タッチ方式））のときは漢字ひらがな表現、それ以外のときは半角カタカナ表現で呼び出されます。
- 入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーする旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると定型文が入力可能な範囲まで入力されます。

<改行入力>
- 改行は、全角1文字分としてカウントされます。
- iモードのテキストボックスの編集など、機能によっては改行できない場合があります。

<記号入力>
- 文字入力（編集）画面や入力モードによって表示される記号が異なります。使用できる記号だけが表示されます。

<絵文字入力>
- 文字入力（編集）画面によっては絵文字を入力できない場合があります。

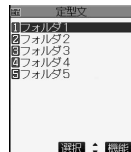
<電話帳引用><個人データ引用>
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。
- 引用した文字に入力できない文字が含まれている場合は、入力できない文字をスペースに変換する旨のメッセージが表示され、半角スペースに置き換えて入力されます。
- 入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーする旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると引用したデータが入力可能な範囲まで入力されます。

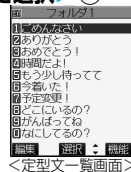
<定型文>

定型文を使用する

FOMA端末にあらかじめ登録された固定定型文や自作の定型文を文字入力（編集）画面から呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分かれていて、フォルダ1とフォルダ2には10件ずつ固定定型文が登録されています。フォルダ3～5には自作の定型文を各10件登録できます。固定定型文も編集して保存できます。

定型文を表示する

1 メニュー▶ユーザデータ▶**定型文▶フォルダを選択▶**◉

<定型文フォルダ一覧画面>

2 **定型文を選択▶**◉

<定型文一覧画面> <定型文画面>

●定型文の一覧についてはP.463参照。

お知らせ

- メールの題名・本文・冒頭文・署名・引用符に使用する自作の定型文を作成するときは、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります。（iモードメールどうしでは絵文字を使用できます。）
- 固定定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。漢字ひらがな入力モード（モード1（かな方式）、モード3（T9入力方式））、全角入力モード（モード2（2タッチ方式））のときは漢字ひらがな表現、それ以外のときは半角カタカナ表現で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

1 **定型文フォルダ一覧画面▶**ⓘ**(機能)**
▶以下の操作を行う

<定型文フォルダ一覧画面>

機能メニュー	内容
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力▶◉ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。 ●フォルダ名に入力した文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。
フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時のフォルダ名に戻します。 ▶YES

定型文一覧画面・定型文画面の機能メニュー

1 **定型文一覧画面・定型文画面▶(機能)▶以下の操作を行う**

<定型文一覧画面>

<定型文画面>

機能メニュー	内容
編集	▶定型文を入力▶◎ ●全角64文字まで、半角128文字まで入力できます。 ●定型文一覧画面、定型文画面で(編集)を押しても編集できます。 ●固定定型文の文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。
1件削除	▶YES ●固定定型文はお買い上げ時の定型文に戻ります。
全削除	フォルダ内のすべての定型文を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES ●固定定型文はお買い上げ時の定型文に戻ります。

文字の切り取り・コピーと貼り付け

切り取り・コピー

文字を最大全角5000文字まで、半角10000文字まで切り取り・コピーできます。

1 **文字入力（編集）画面▶(機能)▶切り取り・コピー**

2 **始点を選択▶◎**

●メールの本文を切り取り・コピーする場合は、(全選択)を押し、「YES」を選択するとすべての文字を選択できます。

3 **終点を選択▶◎**

お知らせ

●記憶できる件数は、「切り取り」または「コピー」のどちらか1件です。新しく「切り取り」または「コピー」をすると前に記憶していた文字は上書きされます。
●デコメール本文入力中に切り取り・コピーして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます。
●デコメールの本文など、データの容量によってはメモリが不足するため切り取り・コピーできない場合があります。

貼り付け

切り取り・コピーした文字を貼り付けます。

1 **文字入力（編集）画面▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動**

2 **(機能)▶貼り付け**

●上書きモードに設定されていると、カーソル以降に入力されている文字は貼り付けた文字によって上書きされます。

お知らせ

●切り取り・コピーした文字に貼り付け先に入力できない文字が含まれていた場合は、入力できない文字をスペースに変換する旨のメッセージが表示され、半角スペースに置き換えて貼り付けられます。
●入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーする旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると切り取り・コピーした文字が入力可能な範囲まで入力されます。

<ユーザ辞書> メニュー 8 2

ユーザ辞書に単語を登録する

よく使う単語に好きな読み（ひらがな）を付けてユーザ辞書に100件まで登録できます。

1 **メニュー▶ユーザデータ▶ユーザ辞書▶<新規登録>**

●登録済みのユーザ辞書を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **単語を入力▶◎▶読みを入力▶◎**

●単語は全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
●読みはひらがなで10文字まで入力できます。また、記号（゛゜、。・！？）を登録することはできません。
ただし、「゛」や「゜」を付けることができる文字のときには「゛」や「゜」は登録できます。
●絵文字や改行、定型文は入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。

ユーザ辞書表示中の機能メニュー

1 **ユーザ辞書表示中▶(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
編集	P.442「ユーザ辞書に単語を登録する」手順2へ進みます。 ●(編集)を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいユーザ辞書にチェック▶(完了)▶YES ●◎を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES

＜学習履歴クリア＞

学習辞書を初期状態に戻す

入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習辞書）をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 メニュー▶設定▶**その他▶文字入力方式▶学習履歴クリア▶端末暗証番号を入力▶**◎

T9／ワード予測 . . . .「モード3（T9入力方式）」、「ワード予測」で蓄積した学習辞書を初期状態に戻します。
かな漢字変換 . . . . . . かな漢字変換で蓄積した学習辞書を初期状態に戻します。

＜ダウンロード辞書＞

ダウンロードした辞書を使用する

サイトからダウンロードした辞書（P.209参照）を有効にします。辞書は5つまで保存でき、そのうち2つまで同時に有効にできます。

1 メニュー▶ユーザデータ▶**ダウンロード辞書▶ダウンロード辞書を選択▶**◎

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。
●ダウンロード辞書を無効にするには、同様の操作を行います。

ダウンロード辞書表示中の機能メニュー

1 ダウンロード辞書表示中▶i**(機能)▶以下の操作を行う**

機能メニュー	内容
タイトル編集	▶タイトルを編集▶◎ ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
辞書ファイル設定	辞書を有効／無効にします。操作するごとに有効／無効が切り替わります。
辞書情報	辞書のタイトル、バージョン、製作者を表示します。 ●確認が終われば クリア を押します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶◎▶YES

お知らせ

＜タイトル編集＞
●タイトルに入力した文字をすべて削除した場合は、元のタイトルに戻ります。

＜モード2（2タッチ方式）＞

モード2（2タッチ方式）で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字（記号）が入力されます。
文字入力（編集）画面で✉（文字）を押すたびに「全角（全）」と「半角（半）」が切り替わります。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。
●ダイヤルボタンの文字割り当て（2タッチ方式）についてはP.459参照。
●「2タッチ方式」への切り替えについてはP.438参照。

文字を入力する

＜例＞フリーメモに「タダの花」を入力する

1 メニュー▶ツール▶**フリーメモ▶**✉**(編集)**

文字入力（編集）画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→4 1
だ→4 1、0 4
の→5 5
は→6 1
な→5 1
●8 0と押すと、大文字／小文字入力モードが切り替わります。大文字／小文字の切り替えが可能な文字を入力し📞を押しても、大文字／小文字が切り替わります。

ひらがなを入力後、P.439手順3へ進みます。

＜モード3（T9入力方式）＞

モード3（T9入力方式）で文字を入力する

このモードを利用すると、少ないボタン操作で文字の入力ができます。
たとえば“あした”という読みを入力するとき、モード1（かな方式）では1を1回、3を2回、4を1回押して入力しますが、モード3（T9入力方式）では、1 3 4と入力したい行のボタンをそれぞれ1回押します。
1つのボタンに行の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに読み候補が表示され、その中から読み候補を選択して入力します。
モード3での入力を手助けする機能に、「読み編集」と「固定入力」があります。
「読み編集」は入力した読み候補を編集するときに使います。「固定入力」は入力したい読みをダイレクトに入力するときに使います。
✉（文字）を押すたびに「漢字ひらがな」→「カタカナ」→「英字」→「数字」の順に入力モードが切り替わりますが、モード3（T9入力方式）が働くのは「漢字ひらがな」と「カタカナ」モードのみです。「英字」と「数字」モードでは自動的にモード1となります。
●ダイヤルボタンの文字割り当て（T9入力方式）についてはP.460参照。
●「T9入力方式」への切り替えについてはP.438参照。

文字を入力する

＜例＞フリーメモに「遠藤」を入力する

1 メニュー▶ツール▶**フリーメモ**▶✉（編集）

文字入力（編集）画面が表示されます。

2 1 **を押す**

ガイダンス内にあ行の候補が表示されます。

- 候補が表示されていない状態で＊を押すと、固定入力ができます。（P.444参照）

3 0▶4▶#▶1

ボタンを押すごとに候補が表示されます。

- ◎を押すと選択範囲に合わせた候補が表示されます。

4 ◎▶**「えんどう」を選択**▶●

- カナ入力モードでは、●を押すと入力した文字が確定されます。

5 ◎**で漢字に変換**▶●

■読み編集

読み候補の一覧を表示中に＊または✉（読み）を押すと、読み候補を編集できます。

＜例＞「あたいする」という読み候補を「いどうする」にする場合

1.モード3（T9入力方式）で読み候補「あたいする」を入力▶＊または✉（読み）
カーソルが読み候補の先頭に移動し、読み候補一覧が表示されます。

2.◎で編集したい文字を選択▶読み候補一覧から入力したい読みの番号を押す
編集したい文字を選択すると、読み候補には選択された文字の行の読みの番号が表示されます。
（ここでは「あ」を「い」にするために2を押します。）

3.濁点・半濁点を付けるには#を押す▶同様に残りの読み候補を編集
（ここでは「ど」を入力するため#5を、「う」を入力するために3を押します。）
読み候補の編集を中止するときは、＊または✉（戻る）を押します。このとき候補表示は、読み編集した文字を固定して、候補を絞り込むことができます。

4.読みの編集を終了するには●を押す
◎を押して漢字、ひらがな、カタカナなどに変換します。
●カナ入力モードでは、編集した読みで文字が確定されます。

■固定入力

文字入力（編集）画面に候補が表示されていない状態で＊を押すと、固定入力ができます。固定入力では、文字を1文字ずつ入力できます。

＜例＞「だて」という読みを入力する場合

1.モード3（T9入力方式）の文字入力（編集）画面▶＊▶入力したい文字の行の番号を押す
読み候補一覧にその行の読みの番号が表示されます。

2.濁点・半濁点を付けるには#を押す▶読み候補一覧から選択したい文字の番号を押す
（ここでは「だ」を入力するために#1を押します。）

3.同様に残りの読み候補を編集
（ここでは「て」を入力するために44を押します。）
固定入力を終了するときは、＊を押します。

4.読みの編集を終了するには●を押す
◎を押して漢字、ひらがな、カタカナなどに変換します。
●カナ入力モードでは、編集した読みで文字が確定されます。

ワード予測を行う　メニュー 3 5

お買い上げ時	ON

ワード予測とは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、その後同じ読みの文字を入力したときに、記憶した文字列や定型文の候補の中から選択できる機能です。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**文字入力方式**▶**ワード予測**▶**ON・OFF**

- 文字入力（編集）画面ではｉ（機能）を押して機能メニューから「ワード予測ON」または「ワード予測OFF」を選択してワード予測のON／OFFを設定します。

■ワード予測を使った例

1.「あ」と入力
ガイダンスに候補が表示されます。
2.◎を1秒以上押す
候補にカーソルが移動します。
3.◎で候補を選択▶●

ガイダンスを表示する　メニュー 3 5

お買い上げ時	ON

文字入力（編集）画面のガイダンス（P.438参照）を表示するかどうかを設定します。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**文字入力方式**▶**ガイダンス表示**▶**ON・OFF**

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

機能一覧表

　　の項目はP.382「設定リセット」、※1の項目はP.283「メール設定リセット」、※2の項目はP.213「ｉモード設定リセット」、※3の項目はP.328デジタルテレビの「TV設定リセット」、※4の項目はP.328アナログテレビの「TV設定リセット」、※5の項目はP.328「チャンネル設定初期化」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
P.382「端末初期化」を行うと、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
●端末初期化を行っても、削除したプリインストールｉアプリは元に戻りません。

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
メール		受信BOX		メールなし（FOMAカード内は除く）	P.260
			ユーザ作成フォルダ	なし	
			ｉアプリメール用フォルダ	なし	
		送信BOX		メールなし（FOMAカード内は除く）	P.260
			ユーザ作成フォルダ	なし	
			ｉアプリメール用フォルダ	なし	
		保存BOX		メールなし（FOMAカード内は除く）	P.261
		新規メール作成		−	P.235
		チャットメール	チャットメンバー	未登録（「自分」は除く）	P.284
		SMS作成		−	P.292
		ｉモード問い合わせ		−	P.255
		メール選択受信		−	P.254
		SMS問い合わせ		−	P.295
		テンプレート		プリインストールデータのみ	P.244
		メール設定※1	スクロール設定	1行スクロール	P.282
			文字サイズ設定	標準表示	P.282
			メール一覧表示設定	2行表示（本文あり）	P.282
			本文表示設定	通常表示	P.282
			開封時メロディ再生設定	自動再生する	P.282
			冒頭文／署名設定	冒頭文： 未入力（自動貼付する） 署名：未入力（自動貼付する） 引用符：〉	P.284
			メールセキュリティ設定	すべてチェックなし	P.149
			受信表示設定	通知優先	P.282
			メール選択受信設定	OFF	P.254
			添付ファイル設定	すべてチェックあり	P.283
			えチャット表示設定	自動表示する	P.283
			キラリメール設定	すべてチェックあり	P.254
			チャット設定	お知らせ音設定： チャットお知らせ音1 チャットメール画像設定：有効 ユーザ詳細設定： 自分（ユーザ名） ぞうさん（画像）	P.289
			SMS送達通知設定	要求しない	P.296
			SMS有効期間設定	3日	P.296
			SMS本文入力設定	日本語入力（70文字）	P.296
iモード		ｉMenu		−	P.193
		Bookmark		未登録	P.201
			ユーザ作成フォルダ	なし	
		画面メモ		未登録	P.204
		ラストURL※2		ｉMenu	P.198
		Internet	URL入力履歴	履歴なし	P.200
		メッセージ		メッセージなし	P.216
		ｉモード問い合わせ		−	P.255
		ユーザ証明書操作		−	P.222

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
iモード		ｉモード設定	スクロール設定※2	1行スクロール	P.213
			文字サイズ設定※2	標準表示	P.213
			画像表示設定※2、※3	表示する	P.213
			ｉモーション設定※2	自動再生設定：自動再生する ｉモーションタイプ設定： 標準タイプ	P.227
			メッセージ自動表示設定※2	メッセージR優先	P.216
			開封時メロディ再生設定※2	自動再生する	P.216
			登録データ利用設定※2	利用する	P.213
			ホームURL設定※2	設定：無効 ホームURL：http://	P.200
			効果音設定※2	効果音ON	P.213
iアプリ		ソフト一覧		プリインストールｉアプリのみ	P.302
		自動起動設定		許可しない	P.308
		ｉアプリ実行情報		情報／履歴なし	P.308
設定		**着信**			
	50	着信音量		レベル4	P.69
	13	着信音選択	電話	着信音1	P.112
			テレビ電話	着信音1	
			メール	着信音2	
			チャットメール	着信音2	
			メッセージR	着信音3	
			メッセージF	着信音3	
	64	サウンド効果	ｉモーションステレオ拡張	OFF	P.114
			ステレオ・3Dサウンド設定	ON	
	54	バイブレータ		OFF	P.115
	89	着信イルミネーション	電話	色5	P.130
			テレビ電話	色5	
			メール	色1	
			チャットメール	色3	
			メッセージR	色1	
			メッセージF	色1	
			パターン設定	固定パターン	
			カラー設定	初期状態	
	20	マナーモード選択		マナーモード	P.120
			伝言メモ	OFF（オリジナルマナー設定時）	
			バイブレータ	ON（オリジナルマナー設定時）	
			電話着信音量	消去（オリジナルマナー設定時）	
			メール着信音量	消去（オリジナルマナー設定時）	
			アラーム音量	消去（オリジナルマナー設定時）	
			メモ確認音	ON（オリジナルマナー設定時）	
			ボタン確認音	OFF（オリジナルマナー設定時）	
			通話中マイク感度	アップ（オリジナルマナー設定時）	
			低電圧アラーム	OFF（オリジナルマナー設定時）	
		電話帳画像着信設定		ON	P.124
	58	着信アンサー設定		エニーキーアンサー	P.66
	18	クローズ動作設定		終話	P.67
	68	メール／メッセージ鳴動		ON	P.118
			鳴動時間	5秒	
	90	呼出時間表示設定	無音時間設定	0秒	P.152
			時間内不在着信表示	表示する	
	65	確認機能設定		電子音	P.132
		オープン設定		着信継続	P.66
		通話			
	76	ノイズキャンセラ		ON	P.63
	75	通話品質アラーム		アラーム高音	P.117
	77	再接続機能		アラームなし	P.62
		通話中イルミネーション		OFF	P.131

次ページにつづく

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
設定		保留音設定	応答保留音	応答保留音1	P.71
			通話中保留音	主よ人の望みの喜びよ	
		テレビ電話			
		画像品質設定		標準	P.89
		発信時自画像送信		ON	P.89
		画像選択	応答保留選択	内蔵	P.90
			通話保留選択	内蔵	
			代替画像選択	キャラ電（ブンブン（Dimo））	
			伝言メモ選択	内蔵	
			伝言メモ準備選択	内蔵	
			音声メモ選択	内蔵	
		音声自動再発信		OFF	P.91
		遠隔監視設定	対局番号登録	未登録	P.92
			応答時間設定	5秒（ON設定時）	
			設定	OFF	
		テレビ電話画面設定	親画面表示	親画面対局表示	P.94
			画面サイズ設定	拡大	
		テレビ電話切替機能通知		－	P.91
		ディスプレイ			
	56	画面表示設定	待受画面	Blue	P.122
			ウェイクアップ表示	Hello!	
			電話発信	スタンダード	
			電話着信	スタンダード	
			テレビ電話発信	スタンダード	
			テレビ電話着信	スタンダード	
			メール送信	スタンダード	
			メール受信	スタンダード	
			問い合わせ	スタンダード	
			省電力	ON	
	70	照明設定	通常時	ON＋省電 （バックライト：ON） （省電力モード：ON） （待ち時間　　：5分）	P.127
			充電時	標準	
			範囲	液晶＋ボタン	
			明るさ	レベル2	
	86	配色パターン		スタンダード	P.128
	93	プライベートウィンドウ	表示設定	ON	P.125
			液晶濃度調節	レベル5	
			表示方向	パターン1	
			時計	パターン1	
			着信表示	ON	
			メール表示	OFF	
			アニメーション表示	ON＋ OFF	
	66	フォント設定	文字パターン	フォント1	P.136
			太さ	中太字	
	63	デスクトップ		なし	P.133
	15	バイリンガル		Japanese	P.137
	52	プライベートメニュー登録		自局番号表示 着信音量 バイブレータ 発信者番号通知 アラーム オープン設定	P.376
	57	メニュー画面設定	ガイダンス表示	ON	P.128
			メニュー表示	詳細表示	
			メニューアイコン設定	パターン1	

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
		ピクチャ表示設定		ピクチャ一覧	P.337
	47	オート表示		OFF	P.126
		液晶AI		ON	P.128
	36	表示アイコン説明		−	P.32
		時間／料金			
	61	通話時間／料金	前回通話時間・積算通話時間	0秒	P.378
			前回通話料金	￥＊＊	
			時間リセット日時・料金リセット日時	--/-- --:--	
	60	積算リセット		−	P.379
	48	通話中時間表示		ON	P.378
		時計			
	31	時計設定		自動	P.50
	39	正面時計設定	表示方法	日本語	P.137
			表示サイズ	大きく表示	
		アラーム通知設定		通知優先	P.375
		ロック／セキュリティ			
		オールロック		解除	P.143
		PIMロック		解除	P.146
		セルフモード		解除	P.145
		ダイヤル発信制限		解除	P.147
		登録外着信拒否		許可	P.153
	10	非通知着信設定		すべて許可／通常着信音と同じ	P.152
	29	端末暗証番号変更		0000	P.141
		PIN設定		−	P.142
	40	シークレットモード		解除	P.148
	41	シークレット専用モード		解除	P.148
		スキャン機能	スキャン機能設定	ON	P.495
	99	遠隔ロック設定		OFF	P.144
			許可番号	未登録	
			監視時間	3分（ON設定時）	
			着信回数	5回（ON設定時）	
		ICカードロック		解除	P.313
		ICカードタイマーロック		OFF	P.313
		アプリケーション通信設定			
		接続待ち時間設定		60秒間	P.214
		ｉモード問い合わせ設定		すべてチェックあり	P.255
	81	接続先選択		ｉモード	P.214
		SMS center設定		−	P.297
		証明書		すべて有効	P.221
		証明書センター接続設定		ドコモ	P.224
			ユーザ指定接続先	未登録	
		ｉアプリ設定			
		ソフト情報表示設定		表示しない	P.302
		α照明設定		システム依存	P.309
		αバイブレータ		システム依存	P.309
		待受画面終了		−	P.309
		外部オプション			
	51	イヤホン切替		イヤホン＋スピーカ	P.118
	94	オート着信		OFF	P.381
			呼出時間	6秒（ON設定時）	
		その他			
	30	ボタン確認音		ON	P.117
		充電確認音		ON	P.117
	71	電池残量		−	P.47
		サイドボタン操作		閉じた時有効	P.147

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
設定	35	文字入力方式	入力モード	すべてチェックあり	P.438
			優先入力方式	モード1（かな方式）	
			ワード予測	ON	P.444
			ガイダンス表示	ON	P.444
		履歴表示設定	着信履歴	ON	P.148
			リダイヤル／発信履歴	ON	
	84	ポーズダイヤル		未登録	P.58
		サブアドレス設定		ON	P.62
		プレフィックス設定		WORLD CALL (009130010)	P.61
		国際ダイヤル設定	自動付加設定	自動付加	P.60
			国際電話設定	WORLD CALL (009130010)	P.60
			国番号設定	アメリカ（1）	P.61
		PLMN設定	ネットワーク手動選択	DoCoMo	P.382
		スタイル連動設定		OFF	P.29
		サイドTVボタン設定		デジタルTV	P.328
		USBモード設定		通信モード	P.359
	23	設定リセット		－	P.382
		端末初期化		－	P.382
		ソフトウェア更新		－	P.491
データBOX	46	マイピクチャ		プリインストールデータのみ	P.330
			ユーザ作成フォルダ	なし	
			ピクチャ貼付	すべて解除	P.334
			貼付表示位置	中央に表示	P.332
			切り出し範囲	中央を表示	P.332
			ソート	新しい順	P.333
			ピクチャ一覧・タイトル名一覧	ピクチャ一覧	P.337
			画像表示設定	標準	P.336
			自作アニメ	未登録	P.340
		ｉモーション		プリインストールデータのみ	P.340
			ユーザ作成フォルダ	なし	
			音量調節	レベル4	P.341
			プログラム編集	未登録	P.342
			着信音設定	すべて解除	P.342
			待受画面設定	解除	P.342
			ソート	新しい順	P.333
			一覧表示切替	タイトル＋画像	P.343
			画像表示設定	等倍表示	P.344
	16	メロディ		プリインストールデータのみ	P.351
			ユーザ作成フォルダ	なし	
			プログラム編集	未登録	P.352
			着信音設定	すべて解除	P.353
		キャラ電		プリインストールデータのみ	P.349
			代替画像設定	ブンブン（Dimo）	P.86
			画像表示設定	画面サイズで表示	P.350
			カメラモード	フォトモード	P.351
			記録サイズ設定	QCIF（176×144）	P.351
			映像／音声選択	映像＋音声	P.351
			記録品質設定	標準	P.351

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
データBOX		ビデオ		未登録	P.347
			音量調節	レベル5	P.347
			ソート	新しい順	P.333
			一覧表示切替	タイトル＋画像	P.348
			自動音量設定	ON	P.348
			音声モード切替	ノーマル	P.348
			サラウンド設定	OFF	P.349
			ピクト常時表示設定	ON	P.349
			横画面拡大表示設定	オート	P.349
ツール		デジタルTV	音量調節	レベル5	P.320
			視聴予約	未登録	P.322
			テレビリンク	未登録	P.324
			チャンネルリスト選択※5	未登録（13ch〜62ch）	P.318
			ユーザ設定	照明設定※3、※4：常時点灯	P.327
				横画面拡大表示設定※3：オート	P.327
				自動音量設定※3：ON	P.327
				音声モード切替※3：ノーマル	P.327
				サラウンド設定※3：OFF	P.327
				クローズ音声継続設定※3、※4：ON	P.328
				画像表示設定※2、※3：表示する	P.213
				効果音設定※3：ON	P.328
				ピクト常時表示設定※3、※4：ON	P.328
		アナログTV	音量調節	レベル5	P.326
			チャンネルリスト選択※5	未登録（1ch〜12ch）	P.318
			ユーザ設定	照明設定※3、※4：常時点灯	P.327
				クローズ音声継続設定※3、※4：ON	P.328
				ピクト常時表示設定※3、※4：ON	P.328
		カメラ		アウトカメラ	P.173
			画像サイズ設定	フォトモード・連写モード：CIF（352×288） えチャット撮影：QCIF（176×144）	P.173
			撮影間隔	CIF（352×288）：1.0秒 待受（240×320）・QCIF（176×144）・Sub-QCIF（128×96）：0.5秒	P.173
			撮影枚数	CIF（352×288）：4枚 待受（240×320）・QCIF（176×144）・Sub-QCIF（128×96）：5枚	P.173
			動画容量設定	メール制限（小）	P.173
			動画保存設定	標準	P.174
			ホワイトバランス設定	オート	P.174
			画像チューニング	自動	P.174
			自動保存設定	OFF	P.174
			記録媒体設定	本体	P.174
			シャッター音選択	シャッター音1	P.174
			ファイル制限	なし	P.176
			表示サイズ設定	等倍表示	P.175
	79	赤外線受信		−	P.362
		使いかたナビ		−	P.40
		バーコードリーダー	保存データ	なし	P.178
		テキストリーダー	保存データ	なし	P.183
		SD-PIM		−	P.356

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
ツール	45	スケジュール		未登録	P.370
			1ヶ月表示・1週間表示	1ヶ月表示	P.373
			ユーザアイコン設定	未登録	P.373
	44	アラーム		未登録	P.368
				OFF	
	85	電卓		−	P.379
	95	ToDo		未登録	P.374
	42	フリーメモ		未登録	P.379
		メモの再生／消去		−	P.77
	55	伝言メモ		未登録	P.74
				OFF	
			応答メッセージ	標準（ON設定時）	
			呼出時間	8秒（ON設定時）	
	43	待受中音声メモ※6		未登録	P.377
		通話中音声メモ※6		未登録	P.377
	91	おしゃべり機能		未登録	P.116
		電話帳画像転送		する	P.363
		FOMAカード（UIM）操作		−	P.380
サービス	25	サービス問い合わせ		−	P.384
	17	発信者番号通知		−	P.51
		留守番電話	件数増加鳴動設定	YES	P.384
		キャッチホン		−	P.386
		転送でんわ		−	P.387
		迷惑電話ストップ		−	P.389
		番号通知お願いサービス		−	P.390
		着信動作選択		通常着信	P.391
		通話中着信設定		−	P.391
		遠隔操作設定		−	P.392
		デュアルネットワーク		−	P.390
		英語ガイダンス		−	P.391
		追加サービス		未登録	P.393
			応答メッセージ設定	未登録	
		サービスダイヤル		−	P.391
		マルチナンバー		未登録	P.392
			着信音設定	通常着信音と同じ	
		規制	本端末ではご利用になれません。（2006年7月現在）		
電話帳		電話帳登録		未登録（FOMAカード内は除く）	P.97
		電話帳検索	検索方法	フリガナ検索	P.102
			ソート	フリガナ順	P.107
	22	電話帳登録件数		−	P.106
	62	電話帳便利機能		すべて解除	P.109
	12	電話帳指定設定		すべて解除	P.150
	26	グループ設定	グループ名	グループ01〜19（FOMAカード内は除く）	P.101
ユーザデータ	0	自局番号表示		未登録（自局番号は除く）	P.376
	24	着信履歴		履歴なし	P.67
			受信アドレス一覧	履歴なし	P.277
		発信履歴		履歴なし	P.56
			送信アドレス一覧	履歴なし	P.276
	97	メールメンバー		未登録	P.280
			メンバー名	メールメンバー 1〜20	
		チャットグループ		未登録	P.290
			グループ名	グループ1〜5	
	38	定型文	固定定型文	初期状態	P.441
			自作定型文	未登録	
	82	ユーザ辞書		未登録	P.442
		ダウンロード辞書		未登録	P.443

	メニュー	機能名称	お買い上げ時		参照先
その他		時計表示（プライベートウィンドウ）		時計+アイコン表示	P.34
		テレビ電話	明るさ調節	0	P.88
			ホワイトバランス	オート	P.88
			照明設定	常時点灯	P.88
		えチャット	画像サイズ設定	QCIF（176×144）	P.173
		受話音量		レベル4	P.69
		マナーモード		解除	P.119
		公共モード（ドライブモード）		解除	P.71
		リダイヤル		履歴なし	P.56

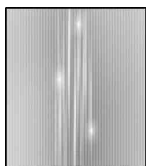
※6 通話中は「通話中音声メモ」、通話中以外は「待受中音声メモ」が表示されます。

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面・ウェイクアップ画面

Blue

Black

宇宙

光

ソニック © SEGA

Dimo © BVIG

球体 ※1 ※2

ビル ※1

Hello! ※1

※1 Flash画像
※2 背景色や画像が変化します。

フレーム

フラワー1　フラワー2　デニム　サイバー　おさかな　メタル　ハート　キラキラ　トロピカル　星

ひまわり　虹　WANTED　反省・・・　マイク　雑誌　ドール　舞妓　ニュース　スクープ！

スタンプ

Happy Birthday!	Happy!	ありえない。	やられた。	ガーン	メラメラ	よろぴく	ハート1	ハート2	ハート3
グラスフラワー	キラキラ	さくらんぼ	クローバー	マル秘	ツッコミ	ビアジョッキ	涙	イヌ	フラワー
マジック ネコ耳	マジック ネコひげ	マジック ティアラ	マジック キラキラ	マジック ハイビスカス	マジック カウボーイハット	マジック 殿	マジック 工事中！	マジック 仮面	マジック マダム
マジック 燃える目	マジック キラキラ目	マジック バラ	マジック 号泣	マジック 10トン	マジック ほっぺ	マジック 鼻息	マジック 頭噴火	マジック 怒り	マジック 居眠り

お知らせ

●マジックスタンプで選択できるスタンプは「マジックネコ耳」から「マジック居眠り」までです。

動く文字スタンプ

空港	60s	マスゲーム	RPG風	黒板	お茶はいかが※1	ひまわり※1	若草※1	うごくID ドッグ※2	うごくID ペンギン※2

リング※1	LOVELY※1	メガホン	看板クマ	ごめんね・・・	ペンギン	フキダシ犬	シルバー	ソニック※3	テイルス※3

※1 © CHIE TANAKA
※2 © motion-id
※3 © SEGA

デコメールピクチャ

ひよこ うれしい	ひよこ きらい	ひよこ 寒い	ひよこ 暑い	ひよこ ショック	ひよこ さみしい	ひよこ おやすみ	ひよこ 泣く	くま 怒る	くま 泣く
うれしい！	カップ 悩む	ハト すき	ハト きらい	ショック！	Hello	Good-Bye	おつかれ！	Thank you!	おめでとう
ヒマ？	遅れる～	Good-Night	ダッシュ	ラーメン	バブル（上）	バブル（下）	アフロ（上）	アフロ（下）	ライン フラワー
ライン スター	ライン 猫	ライン 犬	ライン ハート	ライン キラキラ	ライン 渋滞	ライン 雪	ドライブ	カラオケ	海
温泉	学校	ひつじ すき	ひつじ ジャンプ	ごめん	女の子 きらい	女の子 さみしい	花 悩む	月 おやすみ	おやすみ
忙しい！	発熱	怒り	・・・。	バイバイ	ファイト！	眠い	晴れ	曇り	雨
スノーボード	ゴルフ	サッカー	野球	水泳	イライラ	暑い	行ってきます	ソニック※1	テイルス※1
こんにちは※2	おどろき※2	かぜひいた※2	着ぐるみ※2	酔っぱらい※2	悲しい※2	いばる※2	うれしい～※2	ごめんなさい※2	ラブラブ※2

テンプレート

がんばれ～！

ごめん・・・。

ありがとう！

おやすみ

遅れる～！

Happy Birthday!

飲みに行こう！

Kingyo

ソニック※1

Hello※2

Love※2

Fight!※2

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カタカナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	?!-/¥&* () #゛゜ ♥ ☎※1	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0 わを ん ー	わをんーゎ	ワヲンーヮ※2		0
* http://	※3		.ne.jp .co.jp .ac.jp※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp	＊ .ne.jp .co.jp .ac.jp※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp
# ｡@/ ﾏﾅｰ	゛゜、。・！？※5	゛゜、。・！？※5	. @/!? (), -_:' ˜※6&¥	#. @/!? (), -_:' ˜※6&¥

※1：SMSの本文入力時のみ有効です。「♥」「☎」は常に全角文字、その他は常に半角文字として表示されます。
※2：「ワ」の小文字は全角入力でのみ入力できます。
※3：「漢字ひらがな入力モード」で（* http://）を押すと「区点入力モード」に切り替わります。
※4：全角に切り替えた場合は表示されません。（数字入力モードの「＊」は除く。）
※5：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「・」「！」「？」は入力できません。
※6：全角モード時は「￣」になります。
（網掛け）：小文字は次の2つの方法で入力することができます。
大文字を入力したあとに（☎ 🔈）を押して小文字に変換する。
「小文字切替」を行ったあとに入力する。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	Ａ ａ	Ｂ ｂ	Ｃ ｃ	Ｄ ｄ	Ｅ ｅ
	2	か	き	く	け	こ	Ｆ ｆ	Ｇ ｇ	Ｈ ｈ	Ｉ ｉ	Ｊ ｊ
	3	さ	し	す	せ	そ	Ｋ ｋ	Ｌ ｌ	Ｍ ｍ	Ｎ ｎ	Ｏ ｏ
	4	た	ち	つ っ	て	と	Ｐ ｐ	Ｑ ｑ	Ｒ ｒ	Ｓ ｓ	Ｔ ｔ
	5	な	に	ぬ	ね	の	Ｕ ｕ	Ｖ ｖ	Ｗ ｗ	Ｘ ｘ	Ｙ ｙ
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Ｚ ｚ	？	！	ー	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※2 ☎	
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃		※2 ♥	※1 切替 切替
	9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
	0	わ ゎ	を	ん	※3 ゛ 、	※3 ゜ 。	６	７	８	９	０

半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※2 ☎	
	8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※2 ♥	※1 切替 切替
	9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
	0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ､	ﾟ ｡	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

●空白欄はスペースが入力されます。

※1：[8]、[0]を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。
　また、大文字を入力したあとに[☎]を押して小文字に変更することもできます。

※2：「フリーメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。
　「☎」「♥」は常に全角文字として表示されます。
　SMSの本文入力時は「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。

※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。

お知らせ

- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力時にひらがなの代わりに、カタカナの入力が可能です。
- 一部、モード2の入力が利用できない場合があります。その場合はモード1で入力してください。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（T9入力方式）

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ1	アイウエオァィゥェォ1
2 か ABC	かきくけこ2	カキクケコ2
3 さ DEF	さしすせそ3	サシスセソ3
4 た GHI	たちつてとっ4	タチツテトッ4
5 な JKL	なにぬねの5	ナニヌネノ5
6 は MNO	はひふへほ6	ハヒフヘホ6
7 P ま QRS	まみむめも7	マミムメモ7
8 や TUV	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8
9 W ら XYZ	らりるれろ9	ラリルレロ9
0 わを ん一	わをんゎー0	ワヲンヮ※1ー0
* http://	※2	※2
# ｯ@/・ マナー	゛ ゜ 、。 ・ ！ ？※3	゛ ゜ 、。 ・ ！ ？※3

※1：「ヮ（小文字）」は全角入力でのみ入力できます。
※2：「読み編集」または「固定入力」に切り替えられます。（P.444参照）
※3：全角で「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。

記号入力変換表

文字入力（編集）画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。次のような文字を入力して変換しても記号を入力できます。

入力文字	記号
あっと あっとまーく	@
いこーる	＝
えん	¥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】 ‘’ “” ()〈〉[]{}「」

入力文字	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

入力文字	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

顔文字入力変換表

文字入力（編集）画面で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると顔文字の候補が表示されます。次のような文字を入力して変換しても顔文字を入力できます。

入力文字	顔文字
ありがと ありがとう	m(_ _)m
ばんざい	＼(^O^)／
わーい	(^O^)
おーい	(^O^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく	(^_-)
さよなら	(^_^)/~
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b

入力文字	顔文字
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^;
あせあせ	(;^_^A
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・・;)
はてな	(・・?)
きらーん	(☆。☆)
しくしく	(T_T)
さよなら	(T_T)/~
いたた	(>_<)
えーん	(;_;)
なぜ	(?_?)
がーん	(￣□￣;)!!
えへん	(￣^￣)
む	(－＿－メ)

<table>
<tr><th>入力文字</th><th>顔文字</th></tr>
<tr><td>いかり</td><td>(｀´)</td></tr>
<tr><td>むか</td><td>(;-_-+</td></tr>
<tr><td>こそこそ</td><td>(·_·|</td></tr>
<tr><td>じーっ</td><td>(-_-)</td></tr>
<tr><td>きこえない</td><td>|(-_-)|</td></tr>
<tr><td>こまったもんだ</td><td>(￣～￣) ξ</td></tr>
<tr><td>ぶたー</td><td>)^o^(</td></tr>
<tr><td>こあら</td><td>(－Q－)</td></tr>
<tr><td>いっぷく</td><td>(^!^)y~</td></tr>
<tr><td>いっぷく</td><td>(^.^)y-~~~</td></tr>
<tr><td>ほし</td><td>☆彡</td></tr>
<tr><td>ねてる</td><td>(-_-)zz</td></tr>
<tr><td>ねむい</td><td>＼(~o~)／</td></tr>
<tr><td>めも</td><td>φ(..)</td></tr>
<tr><td>うん</td><td>(°_°)(。_。)</td></tr>
<tr><td>かんぱい</td><td>(^^)／∇☆∇＼(^^)</td></tr>
<tr><td>ども</td><td>＼(^_^)(^_^)／</td></tr>
</table>

記号一覧表

全角記号入力（1/5）

、。，．・：；？！゛゜´
｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々
〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥
‘’“”（）〔〕［］｛｝
〈〉《》「」『』【】＋－
±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂
♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆
＊＠§☆★○●◎◇◆□■
△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈
∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔

全角記号入力（2/5）

∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√
∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡
¶◯ゎゐゑヮヰヱヴヵヶΑ
ΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩα
βγδεζηθικλμν
ξοπρστυφχψωА
БВГДЕЁЖЗИЙКЛ
МНОПРСТУФХЦЧ
ШЩЪЫЬЭЮЯабвг

全角記号入力（3/5）

деёжзийклмно
прстуфхцчшщъ
ыьэюя─│┌┐┘└├
┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣
┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥
┸╂

特殊記号入力（4/5）

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫
⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣ
ⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧
㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝
㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤
㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼≒≡
∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

半角記号入力（5/5）

! " # $ % & ' ( ) * + ,
 - . / : ; < = > ? @ [¥
] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､
･ ｰ ﾞ ﾟ

お知らせ

- 特殊記号は、ｉモード対応端末以外の携帯電話やパソコンに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- 半角文字しか入力できない文字入力モードの機能メニューから「記号入力」を選択すると、半角記号のみ表示されます。

絵文字一覧表

絵文字1入力（1/3）

絵文字1入力（2/3）

絵文字2入力（3/3）

お知らせ

- 絵文字はすべて全角文字でカウントされます。
- 絵文字は、ｉモード対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。
また、<絵文字2入力（3/3）>は対応していないｉモード対応携帯電話では正しく表示されません。

定型文一覧表

■フォルダ1（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■フォルダ2（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	ｉモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

区点コード一覧表

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		あ		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		い		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		う		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		え		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		お		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		か		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		き		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		く		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		け		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		こ		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		さ		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

次ページにつづく

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	禪	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

区点コード一覧表の見かた

最初に「区点1〜3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

マルチアクセスの組み合わせについて

通信イベント／通信状態	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話	①	②	×	×※1	⑤	⑤	⑥
テレビ電話	×	×※1	×	×※1	×	×	×
iモード	③	④	⑧	×	×	○	④
iモードメール	③	④	⑧	×	⑤	×	×
SMS	③	④	③	④	⑤	×	⑥※2
iアプリ※3	×	④	×	×	×	×	⑥
iアプリソフト動作中	⑦	④	⑧	×	×	○	⑥
パケット通信（データ通信）	③	④	×	×	×	×	×
64Kデータ通信	×	×※1	×	×※1	×	×	×

通信イベント／通信状態	SMS		iアプリ	iアプリソフト動作中	パケット通信（データ通信）		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	発信	送信	受信	送信	受信
音声電話	⑤	⑥	×	×	○	○	×	×※1
テレビ電話	×	⑥	×	×	×	×	×	×※1
iモード	○	④	×	×	×	×	×	×
iモードメール	×	⑥※2	×	×	×	×	×	×
SMS	×	⑥	⑤	⑤	○	○	○	○
iアプリ※3	×	⑥	×	×	×	×	×	×
iアプリソフト動作中	⑤	⑥	×	×	×	×	×	×
パケット通信（データ通信）	⑤	④	×	×	×	×※1	×	×
64Kデータ通信	⑤	④	×	×	×	×	×	×※1

○　：現在の通信状態を維持したまま、発生した通信を同時に処理（単独での通信と同じ動作）できます。
×　：同時に処理できません。現在の通信状態を継続します。（発生した通信は拒否されます。）
①　：キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
②　：最大音声回線数＋1の状態のとき、留守番電話、キャッチホン、転送でんわを起動できます。（P.384、P.386、P.387参照）
③　：メニュー機能の切り替え（P.368参照）後、待受画面から発信できます。
④　：メニューが切り替わり、着信画面（受信画面）を表示します。
⑤　：メニュー機能の切り替え（P.368参照）後、各アプリケーションから通信できます。
⑥　：画面に「✉（白色）」を表示して受信をお知らせします。
⑦　：メニュー機能の切り替え（P.368参照）により、iアプリを中断して発信できます。
⑧　：iモード接続を切断し、発信します。
※1：キャッチホンを契約されていれば、通話／通信を終了したあとに着信に応答できます。
※2：iモードメールとSMSは1回線ずつ同時使用が可能です。
※3：iアプリのバージョンアップ、iアプリをダウンロード中の場合です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

マルチタスクの組み合わせについて

同じグループの機能が競合したとき（表中の　　部分）は、起動中の機能を切り替える画面が表示されます。ただし、操作によっては表示されないこともあります。

発生した機能＼使用中の機能	音声電話	テレビ電話	メール	iモードグループ		設定グループ		ツールグループ				プライベートメニュー/ショートカットメニュー
				iモード	iアプリ	設定	サービス	データBOX	ツール※1	電話帳	ユーザデータ	
音声電話	×	×	○	○	×	○※2	○※3	×	○※4	○※5	○※6	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
メール	○	○	×	○	○	○※2	○	○	○	○※5	○	○
iモード	○	○	○	×	×	○※2	○	○	○	○※5	○	○
iアプリ	○	○	○	×	×	○※2	○	○	○	○※5	○	○
設定	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○※5	○	○
サービス	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○※5	○	○
データBOX※7	○	○	○	○	○	○※2	○	×	×	×	×	○
ツール※1	○※8	○※8	○※9	○	○	○※2	○	×	×	×	×	○
電話帳	○	○	○	○	○	○※2	○	×	×	×	×	○
ユーザデータ	○	○	○	○	○	○※2	○	×	×	×	×	○

○：同時に起動できます。
×：同時に起動できません。
※1 ：「デジタルTV」、「アナログTV」、「おしゃべり機能」、「赤外線受信」、「SD-PIM」、「FOMAカード（UIM）操作」はマルチタスクで起動できません。
※2 ：機能によっては利用できません。
※3 ：通話中に「発信者番号通知」は起動できません。
※4 ：通話中に起動できるツールは、「カメラ（静止画撮影のみ）」、「使いかたナビ」、「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」、「スケジュール」、「ToDo」、「フリーメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」の各機能だけです。
※5 ：「電話帳指定設定」は起動できません。
※6 ：通話中に起動できるユーザデータは、「自局番号表示」、「着信履歴」、「発信履歴」、「メールメンバー」、「チャットグループ」の各機能だけです。
※7 ：ピクチャビューア（miniSDメモリーカード）、iモーションプレーヤー、メロディプレーヤー、キャラ電プレーヤー使用中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、再生、表示は終了します。
iモーション編集中に機能を切り替えることはできません。
※8：「伝言メモ」、「テレビ電話伝言メモ」、「音声メモ」の再生中、「待受中音声メモ」の録音中に着信があった場合は、再生／録音を停止します。「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中に着信があった場合は、読み取り中のデータを破棄します。「デジタルTV」、「アナログTV」起動中に着信があった場合は、「デジタルTV」、「アナログTV」の操作が中断されます。通話終了後に操作を再開できます。
※9：「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合、「デジタルTV」、「アナログTV」起動中にメールを受信すると、「デジタルTV」、「アナログTV」の操作が中断され、受信結果画面が表示されます。表示終了後に操作を再開できます。「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中にメールを受信すると、読み取り中のデータを破棄します。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません。）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）　　午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急連絡通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2006年7月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2006年7月現在）
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側などから確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます。）

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック　P06
・リアカバー　P09
・FOMA ACアダプタ　01
・FOMA海外兼用ACアダプタ　01
・FOMA DCアダプタ　01
・FOMA乾電池アダプタ　01
・卓上ホルダ　P12
・車内ホルダ　01
・キャリングケース　P07
・FOMA USB接続ケーブル
・FOMA室内用補助アンテナ
・アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01
・平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02
・平型ステレオイヤホンセット　P01
・スイッチ付イヤホンマイク　P001/P002※1
・ステレオイヤホンセット　P001※1
・イヤホンジャック変換アダプタ　P001
・車載ハンズフリーキット　01※2
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01

※1 イヤホンジャック変換アダプタ　P001が必要です。
※2 FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01が必要です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA P901iTV データリンクソフト」を使うと、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、電話帳、スケジュール、メール、ブックマークなどを双方向に転送できます。パソコンに取り込むことにより、データの編集・バックアップなどが可能になります。

■ダウンロードURL

「FOMA P901iTV データリンクソフト」については、WEBサイトからダウンロードできます。インストールにあたっては使用許諾をご確認の上、インストールしてください。

http://panasonic.jp/mobile/p901itv/datalink/index.html

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。

お知らせ

- ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。
- ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- FOMA P901iTVでは、上記URLからダウンロードした「FOMA P901iTV データリンクソフト」をご利用ください。他のデータリンクソフトはご利用になれませんのでご注意ください。

■対応OS

Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition（各日本語版）

※上記OSが動作するPC-AT互換機

■免責事項について

パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は、本ソフトウェアの瑕疵担保責任、その他一切の保証責任を負わないものとします。また、パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は、データリンクソフトおよび関連資料に関して、いかなる保証も行いません。データリンクソフトおよび関連資料に関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担より解決されるものとします。

「FOMA P901iTV データリンクソフト」に関するお問い合わせ先

パナソニックソフトウェアサポートデスク

電話番号　0120-568-721　　受付時間　午前9:00～12:00　午後1:00～5:00（土・日・祝日・所定の休日は除く）

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTimePlayer（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。
- ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

AV機器とのリンクについて

他の機器からminiSDメモリーカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。
http://panasonic.jp/mobile/sd/index.html

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

パナソニック モバイルコミュニケーションズ　お客様相談センター

一般電話からは	0120-15-8729	受付時間　午前9:00～午後5:00
携帯電話・PHSからは	045-938-4023	（土・日・祝日・所定の休日は除く）

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

付録／外部機器連携／困ったときには
AV機器とのリンクについて

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

故障かな？と思ったら、まずチェック

●まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.491参照。

症状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	●電池が正しく取り付けられていますか。 ●電池切れになっていませんか。 ●デュアルネットワークサービスでmovaが利用可能になっている場合、FOMAのサービスで利用できないものがあります。FOMAが利用可能になっていますか。詳しくは「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。	P.44 P.47 P.390
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●ダイヤル発信制限を設定していませんか。 ●指定発信制限を設定していませんか。 ●オールロックを設定していませんか。 ●セルフモードを設定していませんか。	P.147 P.150 P.143 P.145
ダイヤルしたが話中音（プープー音）がでてつながらない	●市外局番を忘れていませんか。 ●発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ●「圏外」の表示がでていませんか。	P.54 P.48
「圏外」が表示されて話中音（プープー音）がでる	●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.48
「」と「オールロック」が表示され、ボタンを押しても動作しない	●オールロックを設定していませんか。	P.143
FOMA端末を閉じているときに、サイドボタンを押しても動作しない	●サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定していませんか。	P.147
ピピピ…という警告音が鳴っている	●電池が少なくなっています。充電してください。	P.45
充電ができない（FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）	●FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ●アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ●アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。	P.44 P.46
充電中にアナログテレビを視聴すると、映りが悪い	●ノイズフィルタを取り付けていますか。	P.46
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	●省電力モードになっていませんか。	P.48 P.124
メールを受信したときに、異なる着信音が鳴る	●電話帳便利機能でメールアドレスごとにメール着信音を設定した相手からのメールではありませんか。 ●グループ設定でメール着信音を設定したグループに登録されている相手からのメールではありませんか。	P.113 P.114
着信またはメールの受信があったときに、異なる着信／充電ランプが点灯／点滅する	●電話帳便利機能で電話番号やメールアドレスごとに着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定した相手からの着信／メールではありませんか。 ●グループ設定で着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定したグループに登録されている相手からの着信／メールではありませんか。	P.131
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	●画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。	P.42
積算通話料金がカウントされない	●FOMAカードに蓄積されている積算通話料金が上限（約1677万円）を超えていませんか。積算料金をリセットすることにより0円に戻せます。	P.379

こんな表示が出たときは

表示	説明	参照先
空きメモリがないため登録できません	電話番号またはメールアドレスがすでに700件登録されています。不要な電話番号またはメールアドレスを削除してから操作してください。	P.105
アクション一覧がありません	キャラ電に操作可能なアクションはありません。	−
新しいPIN1コードが違います 再入力してください	入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。	P.141
新しいPIN2コードが違います 再入力してください	入力したPIN2コードが間違っています。正しいPIN2コードを入力してください。	P.141
宛先を入力してください	宛先が入力されていません。宛先を入力してから再度操作してください。	P.235 P.288 P.292
アナログTV視聴をオートオフします	アナログテレビの連続視聴時間が1時間経過したため、自動的にアナログテレビを終了しました。	−
アラーム時刻を過ぎています 登録できません	アラーム通知する日時を過ぎているため登録できません。通知時間を変更してから再度操作してください。	P.322
以下の宛先にはメール送信できませんでした（561） xxx@docomo.ne.jp	表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。	−
一部の画像が保存できません	エラーが発生したため一部の画像が保存できません。	−
移動機情報送信が許可されていません	登録データ利用設定が「利用しない」に設定されているため、FOMA端末の情報が送信されませんでした。	P.213
移動できませんでした	エラーが発生したため移動できませんでした。	−
イメージがいっぱいです	画像が最大保存件数まで登録されているため、これ以上登録できません。不要な画像を削除してください。	P.332
イメージが表示できません	画像データが不正なため表示できません。	−
イメージはありません	設定できる画像が1件もありません。画像を登録してから再度操作してください。	−
イヤホン挿入時に有効です イヤホン挿入後に設定してください	アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01が接続されていません。アンテナ内蔵ステレオイヤホンセット　P01を接続してから再度操作してください。	P.317
映像が再生できません	非対応データのため映像が再生できません。	−
映像／音声が再生できません	非対応データのため映像や音声が再生できません。	−
映像／テキストが再生できません	非対応データのため映像やテロップが再生できません。	−
エクスポートできませんでした	エラーが発生したためエクスポートできませんでした。	−
エラーが発生しました アナログTVを終了します	エラーが発生したためアナログテレビを終了しました。	−
エラーが発生しました デジタルTVを終了します	エラーが発生したためデジタルテレビを終了しました。	−
エラーが発生しました メールを終了します	エラーが発生したためメール機能を終了しました。	−
エラーが発生しました 録画できません デジタルTV視聴を終了します	エラーが発生したためデジタルテレビを終了しました。	−
エラーが発生しました 録画およびデジタルTV視聴を終了します		
遠隔監視応答時間と同じ秒数のため設定できません	遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。	P.74 P.93 P.381
遠隔操作可能なサービスは未契約です	留守番電話サービス・転送でんわサービスなど遠隔操作可能なサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
応答がありませんでした（408）	サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。	−
オート着信呼出秒数と同じ秒数のため設定できません	遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。	P.74 P.93 P.381
オールロック設定中です	オールロックが設定されています。オールロックを解除してから再度操作してください。	P.143
同じデータのインポートはできませんでした	すでに登録されているデータと同じ日時のスケジュールをインポートしたため登録できませんでした。	−
同じメールフォルダのソフトが既にあるためダウンロードできません	すでに同じメール連動型ｉアプリがダウンロードされています。	−
同じメンバーが登録されています 登録できません	すでに同じメールアドレスのメンバーが登録されています。	−

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

表　示	説　明	参照先
同じURLが登録されています	すでに同じURLのブックマークが登録されています。	−
音声が再生できません	非対応データのため音声が再生できません。	−
音声切替できません	音声が1つしかないため切り替えできません。	−
音声／テキストが再生できません	非対応データのため音声やテロップが再生できません。	−
該当するデータはありません	該当するデータが1件もありません。	−
該当する電話帳はありません	該当する電話帳が1件もありません。	−
外部機器接続中です 起動できません	64Kデータ通信中のため起動できません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
書き換えできません	シークレットデータとして登録した電話帳や「オート表示」に設定した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。	P.99
書き込みできません	miniSDメモリーカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでminiSDメモリーカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。	−
画像がいっぱいのため画像以外を登録しました	画像がいっぱいになったため画像以外が登録されました。	−
画像が登録できなかった電話帳があります	画像がいっぱいになったため一部の電話帳の画像が登録できませんでした。	−
画像に誤りがあり正しく動作しません	容量不足またはエラーが発生したため正しく動作しません。	−
画像／動画がいっぱいのため画像／動画以外を登録しました	画像／動画がいっぱいになったため一部の画像／動画が登録できませんでした。	−
監視中のため設定できません	遠隔ロック監視中のため設定できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.144
規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）	アクセス可能な回数を超えたため、表示できませんでした。	−
起動できません	ｉアプリを起動できませんでした。	−
起動できませんでした	エラーが発生したため起動できませんでした。	−
起動に失敗しました	ｉアプリDXの起動に失敗しました。	−
既読がないため削除できません	既読メールが1件もないため削除できません。	−
記念日がいっぱいです	記念日がいっぱいです。不要な記念日を削除してから再度操作してください。	P.373 P.374
キャッチホン未契約です	キャッチホンに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
キャラ電がありません	キャラ電が1件も登録されていません。	−
キャラ電がありません 内蔵代替画像を送信します	代替画像に設定していたキャラ電がFOMA端末内にないため内蔵の代替画像が送信されます。	−
キャラ電がありません プリインストールのキャラ電を送信します	代替画像に設定していたキャラ電がFOMA端末内にないためブンブン（Dimo）が送信されます。	−
キャラ電再生エラー 内蔵代替画像を送信します	代替画像に設定していたキャラ電にエラーが発生したため内蔵の代替画像が送信されます。	−
休日がいっぱいです	休日がいっぱいです。不要な休日を削除してから再度操作してください。	P.373 P.374
休日／記念日がいっぱいです	休日／記念日がいっぱいです。不要な休日／記念日を削除してから再度操作してください。	P.373 P.374
切替できません	音声電話またはテレビ電話へ切り替えできませんでした。	−
記録エラーです	記録時にエラーが発生したため記録できません。	−
記録エラーです 中止します	記録時にエラーが発生したため記録できませんでした。	−
圏外です	電波が届いていません。電波の強い場所で再度操作してください。	−
件数オーバーです	保存件数がいっぱいのため保存できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342 P.353
件数オーバーです 移動できません	保存件数がいっぱいのため移動できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342 P.353
件数オーバーです インポートできません	保存件数がいっぱいのためインポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342
件数オーバーです エクスポートできません	保存件数がいっぱいのためエクスポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.357
限定視聴のため視聴できません	限定受信放送のため視聴できません。	−
更新できませんでした	エラーが発生したため更新できませんでした。	−
このカードでは無効な機能です	挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。	−
このカードは使用できません	FOMA P901iTVでは使用できないメモリーカードです。miniSDメモリーカードをご利用ください。	P.354

次ページにつづく

表　示	説　明	参照先
このカードは認識できません	正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.41
	FOMAカードにエラーが発生したか、PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	取扱説明書裏面
この画像は添付できません	iモードメールに添付できない画像です。	－
この画像は挿入できません	デコメールに挿入できない画像です。	－
この画像は表示できません	画像データが不正なため表示できません。	－
この画像はフレーム／スタンプ画像に使用できません	フレーム／スタンプ画像には使用できない画像です。	－
この画像は保存できません	正常に表示できなかった画像のため保存できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。	－
この記念日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の記念日を受信したため登録できません。	－
この機能は利用できません	挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。	－
この休日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の休日を受信したため登録できません。	－
この休日／記念日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の休日／記念日を受信したため登録できません。	－
この言葉は設定できません 記号等消してください	登録できない文字が使われているためユーザ辞書に登録できません。	－
このサイトとのSSL通信は無効です	改ざんされたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。	－
このサイトとのTLS／SSL通信は無効です	改ざんされたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。	－
この辞書は保存できません	ダウンロードした辞書が不正なため保存できません。	－
このスケジュールは登録できません	すでに登録されているデータと同じ日時のスケジュールを受信したため登録できません。	－
このソフトは現在利用できません	使用期限が過ぎたかサーバ側から使用停止状態に設定されているため起動できません。	－
このソフトは削除できません	削除できないiアプリです。	－
このチャンネルは受信できません	電波状況が悪い、または放送が提供されていないため受信できません。	－
このデータは最後まで再生できません	iモーションデータが最後まで取得できていません。	－
このデータは再生できない可能性があります	iモーションデータが不正なため再生できない場合があります。	－
このデータは再生できません	データが不正なため再生できません。	－
このデータは貼り付けできません	使用できない文字を貼り付けようとしています。貼り付ける文字を確認してから再度操作してください。	P.442
このデータは保存できません	サイトから取得したデータが不正なため保存できません。	－
この番組は録画禁止です	コピー制御信号が録画不可（コピーネバー）のため録画できません。	－
このピクチャは保存できません	画像データが不正なため保存できません。	－
このファイルは表示できません	対応していないファイルのため表示できません。	－
このメールは再送信できません	宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。	－
このメールは再送信できません 再編集して送信してください	宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。再編集してから送信してください。	P.273
このメロディは再生できません	メロディデータが不正なため再生できません。	－
この文字は登録できません	登録できない文字が使われているため登録できません。	－
このiモーションは再生可能回数が終了しました	再生可能回数が終了しているため再生できません。	－
このiモーションは再生期限が切れました	再生期限が切れているため再生できません。	－
このiモーションは再生できません	iモーションのデータが不正なため再生できません。	－
このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください	iモーションタイプ設定が「標準タイプ」に設定されています。設定を「標準・ストリーミングタイプ」にしてから再度操作してください。	P.227
このminiSDは使用できません	FOMA P901iTVでは使用できないminiSDメモリーカードです。FOMA P901iTVに対応したminiSDメモリーカードを使用してください。	P.354
コピーできませんでした	エラーが発生したためコピーできませんでした。	－
これ以上機能を起動できません	マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.368
これ以上検索／フィルタはできません	すでに最大回数までフィルタがかけられているため、これ以上できません。	－
これ以上保護できません	すでに最大保護可能件数まで保護されているためこれ以上保護できません。他のデータの保護を解除してから再度操作してください。	P.205 P.219 P.270

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

表　示	説　明	参照先
コンテンツ取得エラーが発生しました	コンテンツ情報が正しく取得できなかったため表示できません。	−
コンテンツ異常です チャンネルのトップページに戻ります	コンテンツ情報が不正なため表示できません。トップページが表示されます。	−
サービスが1つのため選択できません	サービスが1つしかないため選択できません。	−
サービス未契約です	ｉモードをご契約されておりません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れなおしてください。	P.48 取扱説明書裏面
最後まで取得できていないため保存できません	ｉモーションデータが最後まで取得できていないため保存できません。	−
サイズが大きいため挿入できません	マーカースタンプの画像サイズが編集元の画像サイズよりも大きいため挿入できません。	−
再生エラー発生 終了します	エラーが発生したため再生を終了しました。	−
再生可能期限が切れたため再生できません	再生可能な期限を超えたためｉモーションを再生できません。	−
再生可能日前です 再生できません	再生可能日前のためｉモーションを再生できません。	−
再生制限データに誤りがあるため取得できません	ｉモーションの再生制限データに誤りがあるため取得できません。	−
最大サイズを超えたので中断しました	データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。	−
	サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。	−
	コンテンツ情報が最大サイズを超えたため受信を中断し、前の画面に戻ります。	−
最大サイズを超えています 受信できません（452）	最大サイズを超えるデータを受信しようとしたため、受信できませんでした。	−
サイトに接続できませんでした（403）	サイトやインターネットホームページに接続できません。	−
削除される添付ファイルがあります	FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送できません。	−
削除される本文中画像があります	FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送できません。	−
削除できないソフトがあります	選択したｉアプリに削除できないｉアプリが含まれていたため、削除できませんでした。	−
削除できませんでした	エラーが発生したため削除できませんでした。	−
作成可能サイズを超えるため一部削除されます	宛先・題名・本文のいずれか（または複数）が入力可能文字数を超えていたため、一部削除されました。	−
撮影画像がメールに添付できませんでした	撮影した画像をｉモードメールに添付できませんでした。	−
撮影できませんでした	エラーが発生したため撮影できませんでした。	−
撮影に失敗しました	エラーが発生したため撮影に失敗しました。	−
参照返信起動中 テンプレートを利用できません	参照返信が起動しているためテンプレートを利用できません。	−
シークレットデータのため呼び出せません	シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出しができません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。	P.148
失敗しました	エラーが発生したためインポートできませんでした。	−
	認証に失敗しました。	−
指定サイトがみつかりません（404）	サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLが間違っている場合はURLを確認してから再度操作してください。	P.199
指定サイトに表示データがありません（204）	サイトやインターネットホームページに表示データがないため接続できません。	−
指定されたイメージがありません	表示する画像がFOMA端末内にありません。	−
指定されたキャラ電がありません	起動するキャラ電がFOMA端末内にありません。	−
指定されたグループがありません	選択したグループがFOMA端末内にありません。	−
指定されたソフトがありません	サイトやメール、赤外線から起動するｉアプリがFOMA端末内にありません。	−
指定されたソフトが起動できません	サイトやメール、赤外線からFOMA端末内のｉアプリが起動できません。	−
指定されたソフトが起動できませんでした	サイトやメール、赤外線からFOMA端末内のｉアプリが起動できませんでした。	−
指定されたビデオがありません	再生するビデオがFOMA端末内にありません。	−
指定されたメロディがありません	再生するメロディがFOMA端末内にありません。	−

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
指定されたｉモーションがありません	再生するｉモーションがFOMA端末内にありません。	−
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	サーバからの応答がなかったため接続できません。	−
指定したファイルが見つかりません（492）	選択したファイルがFOMA端末内にありません。	−
指定の宛先には送信できません	宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。	P.235 P.288 P.292
指定のサイトには接続できません トップページに戻ります	サイトに接続できませんでした。トップページが表示されます。	−
指定発信制限設定中です	指定発信制限が設定されています。指定発信制限を解除してから再度操作してください。	P.151
自動付加設定中 削除できません	自動付加設定で設定されている国番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。	P.60
自動付加設定中 全削除できません	自動付加設定で設定されている国番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。	P.60
しばらくお待ちください	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	−
受信可能なチャンネルがサーチできませんでした	現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。	−
受信できませんでした	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.214
受信できませんでした ｉモードセンターが混み合っています	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	−
受信メールがいっぱいです	FOMA端末内の受信メールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	P.260 P.270
受信メールがないため削除できません	受信BOX内に受信メールが1件もないため削除できません。	−
取得できなかったメッセージがあります	FOMA端末内の受信メールがいっぱいになったため、一部のメールが受信できませんでした。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	P.260 P.270
	SMSを受信する際に一定時間が過ぎたのですべてのSMSを受信できませんでした。	−
取得できませんでした	メールの取得に失敗しました。	−
スキャンが異常終了しました	エラーが発生したためスキャンできませんでした。	−
スケジュールがいっぱいです	FOMA端末内のスケジュールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なスケジュールを削除してから再度操作してください。	P.373 P.374
すでに取得済みです	すでに取得済みのため取得できません。	−
すでに設定されています	すでに設定されているため設定できません。	−
すでに同一番組が登録されています 登録できません	すでに同じ番組が視聴予約に登録されています。	−
すでに同時刻設定済みです	ｉアプリの自動起動がすでに同時刻に設定されています。それぞれ違う時刻に設定してください。	P.308
すでに同時刻に登録されています	アラームがすでに同時刻に設定されています。それぞれ違う時刻に設定してください。	P.368
すでに登録されています	すでに登録されているため登録できません。	−
すでに貼り付けられています	すでにデスクトップに貼り付けられています。待受画面で確認してください。	P.133
すでに他の機能が起動中です 起動できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.368
すでに他の機能が起動中です 設定できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.368
すでに読み取り済みです 次のデータを読み取ってください	すでに読み取り済みの分割されたQRコードです。次のQRコードを読み取ってください。	P.178
すでに100件登録されています	データがすでに100件登録されています。不要なデータを削除してから再度操作してください。	−
すでに100件保存されています 録画できません	ビデオがすでに100件保存されています。不要なビデオを削除してから再度操作してください。	P.348
すでに2件設定されています	ダウンロード辞書がすでに2件設定されています。不要なダウンロード辞書を解除してから再度操作してください。	P.443
すでに3件自動起動設定済みです	自動起動できるソフトがすでに3件設定されています。自動起動設定しているソフトを解除してから再度操作してください。	P.308

表　示	説　明	参照先
すでに700件登録されています	電話帳がすでに700件登録されています。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.105
すべて既読です	すべての受信メールが既読になっています。	－
すべて保護のため削除できません	すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	P.205 P.219 P.270
正常に接続できませんでした(400)	データが不正なため接続できませんでした。	－
赤外線送信できません	エラーが発生したため赤外線送信ができませんでした。	－
セキュリティエラーのため終了しました	ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合にセキュリティエラーが起こります。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。	P.303
セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました	ｉアプリDXが強制終了しました。	－
接続相手が見つかりません	赤外線通信時にうまく通信先と通信できていません。FOMA端末の赤外線ポートを通信相手の赤外線ポートに向けて再度操作してください。	P.360
接続が中断されました	回線が混雑しているか、通信エラーが発生したため接続が中断されました。しばらくしてから再度操作してください。	－
接続先が対応していません	接続先選択で設定した接続先アドレスが対応していないため操作できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.214
	ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。	－
接続できません	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため接続できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.214
	ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。	－
	電波が弱いため接続できません。電波の強い場所で再度操作してください。	－
接続できませんでした	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	－
	テレビ電話をかけた相手が番号通知お願いサービスを設定しているため接続ができません。発信者番号を「通知する」に設定しておかけ直しください。	P.51
接続できませんでした（562）	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	－
設定可能なデータはありません	設定できるデータが1件もありません。データを登録してから再度操作してください。	－
設定されていません	設定されているデータが1件もありません。	－
設定されている電話番号はありません	設定されている電話番号が1件もありません。	－
設定されているメールアドレスはありません	設定されているメールアドレスが1件もありません。	－
設定時間内に接続できませんでした	接続待ち時間設定で設定した時間内に接続できませんでした。設定を変更するか、再度操作してください。	P.214
設定値が範囲外です	撮影枚数が設定範囲外です。設定可能な撮影枚数を入力してください。	P.173
設定できませんでした	エラーが発生したため設定できませんでした。	－
設定に失敗しました	エラーが発生したため設定できませんでした。	－
セルフモード設定中です	セルフモードが設定されています。セルフモードを解除してから再度操作してください。	P.145
全件インポートできませんでした	エラーが発生したため全件インポートできませんでした。	－
全件エクスポートできませんでした	エラーが発生したため全件エクスポートできませんでした。	－
全削除できません	エラーが発生したため全削除できませんでした。	－
選択受信設定中です 起動できません	メール選択受信設定が「ON」に設定されているため起動できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.254
選択受信設定中です チャットメールを起動できません	メール選択受信設定が「ON」に設定されているためチャットメールを起動できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.254
操作できませんでした	エラーが発生したため操作できませんでした。	－
操作内容をご確認ください	エラーが発生したため操作できませんでした。	－
送信先にデータを登録できません	送信相手がデータをロックしています。	－
送信先のデータがいっぱいです	送信相手のデータがいっぱいです。	－
送信できない宛先があります 送信できなかった宛先があります	いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。	P.235 P.288 P.292
送信できませんでした 送信できませんでした（XXX）	メールが正しく送信できませんでした。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	－

次ページにつづく

表　示	説　明	参照先
送信できません 宛先を確認してください（451）	メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。	P.235 P.288 P.292
送信できませんでした 送信先のメールがいっぱいです（551）	送信相手のメールがいっぱいです。	－
送信できませんでした ｉモードセンターが混み合っています	回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
送信不可のファイルが添付されているため再送信できません	メールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているため、再送信できませんでした。	－
送信メールがいっぱいです	FOMA端末内の送信メールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なメールを削除するか保護を解除してから再度操作してください。	P.274
送信メールが壊れているため再送信できません	メールの本文のサイズがオーバーしていたり、本文の添付情報が壊れていたりしているため再送信できませんでした。	－
送信メールがないため削除できません	送信メールが1件もないため削除できませんでした。	－
そのソフトは最新です	目的のソフトが更新されていないため実行できません。	－
ソフトウェア更新機能起動中です 起動できません	ソフトウェア更新中のため起動できませんでした。ソフトウェア更新が終了してから再度操作してください。	－
ソフトに誤りがあります	ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。	－
ソフトに誤りがあるためダウンロードできません	ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。	－
ソフトに誤りがあるためバージョンアップを中止しました	ソフトのデータが不正なためバージョンアップが中止されました。	－
ソフトに継続動作できない障害が発生しました	ｉアプリ起動中や実行中にエラーが発生しました。	－
ソフトを起動しICカード内データを削除後ソフトを削除してください	ICカード内にデータが残っているためおサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して登録データを削除してから再度操作してください。	－
ソフトをダウンロード中です 起動できません	ダウンロード中のため起動できませんでした。ダウンロードが終了してから再度操作してください。	－
対応機種ではありません	ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。	－
対応していないコンテンツがあります	FOMA端末に対応していないデータが含まれています。	－
対応ソフトがあるため削除できません	対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。	－
対応ソフトが削除されています フォルダ内表示を参照してください	対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。	－
対局番号を登録してください	対局番号を登録していないため操作できませんでした。対局番号を登録してから再度操作してください。	P.92
ダイヤル発信制限設定中です	ダイヤル発信制限が設定されています。ダイヤル発信制限を解除してから再度操作してください。	P.147
大容量ファイル受信中です 操作できません	10000バイトを超えるJPEG形式の画像を受信中のため操作できません。	－
ダウンロードが中断されました	エラーが発生したためダウンロードが中断されました。	－
ダウンロード済みです	同じバージョンのソフトがすでにダウンロードされています。	－
ダウンロードできません **ダウンロードできませんでした**	他の機能が動作中、またはエラーが発生したためダウンロードができませんでした。	－
ダウンロードを中止しました	フォルダ内を表示しているためメール連動型ｉアプリのダウンロードが中止されました。フォルダ内の表示を終了してから再度操作してください。	－
ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい	パケ・ホーダイをご利用の場合、一定時間内に大量の通信を行うと、一定時間接続できなくなることがあります。しばらくしてから再度操作してください。	－
ただいまｉモードメールが混みあっています しばらくお待ち下さい（553）	回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
端末暗証番号が違います	入力した端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.140
端末暗証番号が違います 終了します	入力した端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.140
端末暗証番号は4～8桁です	入力した端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.140

表　示	説　明	参照先
着信通知未契約です	留守番電話サービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
着信履歴はありません	着信履歴が1件もありません。	−
チャンネル情報が取得できないため登録できません	チャンネル情報が取得できないためチャンネルリストに登録できません。	−
チャンネルは見つかりませんでした	現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。	−
チャンネルリストがいっぱいのため登録できません	すでにチャンネルリストが10件登録されているため登録できません。不要なチャンネルリストを削除してから再度操作してください。	P.319
チャンネルリストが設定されていません	チャンネルリストがないため操作できません。自動チャンネル設定でチャンネルリストを登録してから再度操作してください。	P.318
中断されました	データ通信中にパソコン側から接続が切断されました。	−
中断しました	エラーが発生したため中断されました。	−
通信が許可されていません	通信設定が「通信しない」に設定されています。設定を「通信する」にしてから再度操作してください。	P.304
通信機能起動中 タスクメニューから全終了できません	タスクメニューからすべてのメニュー機能を終了できません。通信を終了してから再度操作してください。	−
通信機能のためタスクメニューから終了できません	タスクメニューからひとつのメニュー機能を終了できません。通信を終了してから再度操作してください。	−
通信中です 起動できません	通信中のため起動できませんでした。通信を終了してから再度操作してください。	−
通信中です 操作できません	通信中のため操作できませんでした。通信を終了してから再度操作してください。	−
通信中のため削除できません	通信中のため削除できませんでした。通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
通信できませんでした	エラーが発生したため通信できませんでした。	−
通話中です 起動できません	通話中のため起動できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.64 P.81 P.84
通話中です 操作できません	通話中のため操作できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.64 P.81 P.84
通話中です 発信できません	通話中のため発信できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.64 P.81 P.84
通話中のため起動できません	通話中のため起動できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.64 P.81 P.84
通話中のため発信できません	通話中のため発信できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.64 P.81 P.84
データがいっぱいです	FOMAカード内のデータがいっぱいです。不要なデータを削除してから再度操作してください。	P.380
データがいっぱいです スタイルを切り替えて処理を続けてください	データがいっぱいのため画像を保存できません。ノーマルスタイルに切り替えてから再度操作してください。	P.28
データ結合できませんでした	読み取ったデータを結合できませんでした。今まで読み込んだデータは破棄されます。	−
データ取得できませんでした	ｉモーションデータが不正なため取得できません。	−
データ通信中です 起動できません	データ通信中のため起動できません。データ通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
データ通信中です 切り替えできません	データ通信中のため切り替えできません。データ通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
データ通信中です 設定できません	データ通信中のため設定できませんでした。データ通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
データに誤りがあります	データに不正な箇所があります。	−
データはありません	データが1件もありません。	−
データ放送が提供されていません	データ放送がないため表示できません。	−
テキストが再生できません	非対応データのためテロップが再生できません。	−
テキストリーダーを起動できません	エラーが発生したためテキストリーダーを起動できませんでした。	−
デスクトップがいっぱいです	デスクトップに貼り付けアイコンがすでに15件登録されています。不要な貼り付けアイコンを削除してから再度操作してください。	P.136
デュアルネットワークサービス未契約です	デュアルネットワークサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
伝言メモ呼出時間と同じ秒数のため設定できません	遠隔監視設定、オート着信、伝言メモの応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。	P.74 P.93 P.381
転送サービス未契約です	転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
転送先番号が未登録です	転送先の電話番号が設定されていません。転送先の電話番号を登録してから再度操作してください。	P.388
転送先番号を設定してください	転送先の電話番号が設定されていません。転送先の電話番号を登録してから再度操作してください。	P.388
電池が残り少なくなっています アナログTV視聴を終了します	電池残量が少なくなったためアナログテレビを終了します。充電してから視聴してください。	P.45
電池が残り少なくなっています アナログTVを起動できません	電池残量が不足しているため起動できません。充電してから再度操作してください。	P.45
電池残量が不足しています	電池残量が不足しているため操作できません。充電してから再度操作してください。	P.45
電池残量が不足しています 充電してください	電池残量が不足しているため操作できません。充電してから再度操作してください。	P.45
電池残量不足のためライトが点灯できません	電池残量が不足しているため点灯できません。充電してから再度操作してください。	P.45
電池不足です フル充電してください	電池残量が不足しているため操作できません。充電してから再度操作してください。	P.45
電池レベルが低下しています 起動できません	電池残量が不足しているため起動できません。充電してから再度操作してください。	P.45
添付に失敗しました	画像の切り出し処理に失敗したため添付できませんでした。	−
添付ファイルが削除されます	ファイルが添付されているメールを引用返信する場合、添付ファイルは削除されます。	−
	FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているメールを転送する場合、添付ファイルは削除されます。	−
添付ファイルとのリンクが切断されました	miniSDメモリーカードから10000バイトを超えるJPEG形式の画像をｉモードメールに添付して送信または保存した際に、ファイルのリンク情報が解除されました。	−
添付ファイルを登録できません	登録できないファイルが添付されたメールを受信しました。	−
テンプレートに保存できません	メールをテンプレートとして保存できませんでした。	−
テンプレートはありません	テンプレートが1件もありません。	−
テンプレート保存できません	FOMA端末外に出力が禁止されている画像が挿入されているメールのため、テンプレートとして保存できません。	−
電話帳がいっぱいです	FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.105
電話帳画像いっぱいのため画像以外を登録しました	電話帳に登録されている画像がいっぱいになったため画像以外のデータを登録しました。	−
電話帳に登録がないため起動できません	通話相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていません。登録してから再度操作してください。	P.97
電話番号が通知されていないため起動できません	通話相手の電話番号が通知されていないため起動できませんでした。	−
電話番号の一部が登録できませんでした	電話番号が長すぎるため一部登録できませんでした。	−
登録されていません	データが登録されていません。データを登録してから再度操作してください。	−
登録中です しばらくしてからご利用ください（554）	ユーザ登録中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	−
登録できませんでした	エラーが発生したため登録できませんでした。	−
時計設定を行ってください	時計設定が設定されていないため操作できません。時計設定で日付・時刻を設定してから再度操作してください。	P.50
入力形式が正しくありません	入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。	P.393
入力データまたはURLが長すぎます	入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。	P.195
入力データをご確認ください（205）	入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。	−
認識できません	テキストが読み取りできませんでした。認識モードを変更するか、反転モードを変更するなどして再度読み取りを行ってください。	P.185
認証タイプに未対応です（401）	対応していない認証タイプのため接続できません。	−
認証できませんでした	認証エラーが発生しました。	−
ネットワーク暗証番号が誤っています	入力したネットワーク暗証番号が間違っています。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。	P.140
ノーマルスタイルに戻してください	スイッチスタイルやビューアスタイルでは操作できません。ノーマルスタイルに切り替えて再度操作してください。	P.28
バーコードリーダーを起動できません	エラーが発生したためバーコードリーダーを起動できませんでした。	−
バージョンアップが中断されました	エラーが発生したためバージョンアップが中断されました。	−

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

表　示	説　明	参照先
バージョンアップできません バージョンアップできませんでした	エラーが発生したためバージョンアップができませんでした。	－
バージョン表示できませんでした	エラーが発生したためバージョンを表示できませんでした。	－
パケット通信中のため接続できません	パケット通信中のため接続できませんでした。パケット通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
パケット通信中のため発信できません	パケット通信中のため発信できませんでした。パケット通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
パターンデータは最新です	パターンデータが最新のため更新は必要ありません。	－
パターンデータを更新してください	エラーが発生したためスキャン機能を利用できません。パターンデータを更新してから再度操作してください。	P.495
発信者番号通知をONにしてください	電話番号が通知されていません。電話番号を通知してから再度操作してください。	P.51
発信できません	エラーが発生したため発信できませんでした。	－
発信に失敗しました	エラーが発生したため発信できませんでした。	－
貼付設定できません	ファイルサイズまたはファイル形式が対応していないため貼付できません。	－
番組情報が未取得です	番組情報が取得できていないため表示できません。	－
番組表を起動できません	エラーが発生したため番組表を起動できません。	－
ピクチャが保存されていません	画像が1件も登録されていません。	－
ピクチャはありません	設定できる画像が1件もありません。画像を登録してから再度操作してください。	－
ピクチャを再生できません	非対応データのため画像が再生できません。	－
非対応データのため再生できません	対応していないｉモーションのため再生できません。	－
非対応データのため取得できません	対応していないｉモーションデータのため取得できません。	－
非対応のデータが含まれています	対応していないデータが含まれています。	－
非対応ファイルがあります 削除できません	対応していないデータがあるため削除できません。	－
日付が未設定のため更新できません	時計設定が設定されていないため更新できません。時計設定で日付・時刻を設定してから再度操作してください。	P.50
表示しているメールに上書きできないため更新できませんでした 表示しているメールに上書きできないため取得できなかったメッセージがあります 表示しているメールに上書きできないため取得できませんでした	メールを一覧・詳細表示中のため新しいメールを取得できませんでした。メールの一覧・詳細表示を終了してから「更新」や「ｉモード問い合わせ」で行ってください。	P.255 P.287
表示できません	対応するソフトが起動中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.302
表示／再生できないデータがあります	対応していないデータがあるため表示／再生できません。	－
ファイルが壊れていました(493)	取得したファイルが壊れているため、操作できません。	－
ファイルが保存されていません	ビデオが1件もありません。	－
ファイル名変更できません	ピリオドから始まるファイル名や半角英数字以外の禁止文字を含んだファイル名には変更できません。正しいファイル名を入力してから再度操作してください。	P.332
フォトが大きすぎるため作成できません	撮影した画像が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。「メール用サイズ変更」や「ｉモードメール作成」で画像のサイズを変更してから作成してください。	P.332
フォーマットエラーです 正しいフォーマットのカードを挿入してください	FOMA P901iTV未対応フォーマットのminiSDメモリーカードです。FOMA P901iTVでフォーマットしてください。	P.358
フォルダ作成できませんでした	エラーが発生したためフォルダが作成できませんでした。	－
付加番号1は未契約です 付加番号2は未契約です	付加番号を契約されていないため利用できません。付加番号をお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
複数選択可能な件数を超えました	複数選択で選択できる件数を超えています。	－
フリーメモがいっぱいです	FOMA端末内のフリーメモがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なフリーメモを削除してから再度操作してください。	P.379
振分け条件がいっぱいのため登録できません	すでに最大件数設定されています。不要な設定を解除してから再度操作してください。	P.280
編集中のため削除できません	他の機能で使用しているため削除できません。他の機能を終了してから再度操作してください。	P.368

表　示	説　明	参照先
編集中メールに使用中のため削除できません	作成中のｉモードメールに添付されているため削除できません。	－
編集に失敗しました	エラーが発生したため編集できませんでした。	－
放送の受信状態がよくないか映像が提供されていないため録画できません	電波の受信レベルが「[icon]」以外のため、または映像が提供されていないため録画できません。	－
他のアプリケーションでスキャン実行中のためスキャンできませんスキャン終了までお待ちください	他の機能でスキャン実行中のためスキャンできませんでした。他の機能でのスキャンが終了してから再度操作してください。	－
他の機能が起動中のため起動できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.368
他の機能が起動中のため取得できません	他の機能が起動しているため取得できません。他の機能を終了してから再度操作してください。	P.368
保護以外を削除しました	保護されているメール以外はすべて削除されました。	－
保護のため削除できません	保護されているメッセージR/Fのため削除できませんでした。保護を解除してから再度操作してください。	P.219
保護メールがあるため削除できません	ｉアプリメール用フォルダ内に保護メールがあるためフォルダを削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	P.270 P.274
保護メールがあるためフォルダを削除できません	フォルダ内に保護メールがあるためフォルダを削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	P.270 P.274
保護メールはありません	保護されているメールは1件もありません。	－
保護メッセージはありません	保護されているメッセージR/Fは1件もありません。	－
保存可能サイズを超えているため設定できません	「ファイル制限」を設定することによって保存可能サイズを超えてしまったため設定できませんでした。	－
保存可能サイズを超えるため保存できません	登録できる1ファイルあたりのファイルサイズを超えているため登録できません。	－
保存先設定できません	フォルダ内に保存できる空き番号が存在しないため設定できません。	－
保存先の容量が不足していますノーマルスタイルに切り替えてください	すでに最大件数または最大容量保存されているため操作できません。ノーマルスタイルに切り替えてから操作してください。	P.28
保存先の容量が不足しています録画できません	すでに最大時間録画されているため操作できません。不要なビデオを削除してから再度操作してください。	P.348
保存済みです	同じデータがすでに保存されています。	－
保存データがありません	保存データが1件も保存されていません。	－
保存できませんでした	撮影した画像を保存できませんでした。	－
保存に失敗しました	エラーが発生したため保存できませんでした。	－
保存メールがいっぱいです	メール保存件数が20件を超えるためメール作成ができません。保存メールを削除または送信してから再度操作してください。	P.261 P.275
保留か通話を終了すれば着信に応答できます	マルチ接続中に別の電話がかかってきました。かかってきた電話に出るには、お話し中の電話か保留中の電話を終了します。	P.387
本機で使用できるフォーマットがされていません	FOMA P901iTV未対応フォーマットのminiSDメモリーカードです。FOMA P901iTVでフォーマットしてください。	P.358
本体の空き容量がないため起動できません	FOMA端末内の受信メールがいっぱいのため起動できませんでした。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	P.260 P.270
本体の空き容量がないため取得できませんでした	FOMA端末内のメールがいっぱいです。FOMA端末内の不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	P.260 P.270
本文中画像が削除されます	FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。	－
本文編集できません	添付ファイルが10Kバイト（10000バイト）あるため、本文を入力できません。	－
マジックスタンプがありません	マジックスタンプが1件もありません。	－
待受画面貼付できませんでした	エラーが発生したためデスクトップに貼り付けできませんでした。	－
マルチナンバー未契約です	マルチナンバーに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
未入力メールは保存できません	宛先・本文・題名に何も入力されてなく、ファイルも添付されていない場合は保存できません。	－
未入力SMSは保存できません	宛先や本文に何も入力されていない場合は保存できません。	－
未保存画像があるため画像保存できません	未保存のデータがあるため画像を保存できません。未保存のデータを保存または破棄すると画像を保存できます。	－
未保存画像があるため画像取得できません	未保存のデータがあるため画像を取得できません。未保存のデータを保存または破棄すると画像を取得できます。	－
未保存データがあるため起動できません	未保存のデータがあるためカメラを起動できません。未保存のデータを保存または破棄すると起動できます。	－

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

表　示	説　明	参照先
ムービーが大きすぎるため作成できません	撮影した動画が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。「メールサイズ切り出し」や「ｉモードメール作成」で動画を切り出してから作成してください。	P.342 P.345
無効なデータを受信しました	受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	－
無効なデータを受信しました(XXX)		
迷惑ストップサービス未契約です	迷惑電話ストップサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
メール作成できません	エラーが発生したためメールを作成できませんでした。	－
メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません	ｉアプリメール用フォルダにメールセキュリティが設定されているためダウンロードできません。メールセキュリティを解除してから再度操作してください。	P.268 P.273
メール選択受信設定が受信しないに設定されています	メール選択受信設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。	P.254
メールフォルダ数がいっぱいのためダウンロードできません	ｉアプリメール用フォルダが最大件数まで作成されているため、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。不要なフォルダを削除してから再度操作してください。	P.268
メールフォルダ利用中のため起動できません	対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.302
メールフォルダ利用中のため削除できません	対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.302
メールフォルダ利用中のためダウンロードできません	対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.302
メール本文最大サイズを超えてます 削除してください	メール本文が10000バイトを超えています。本文を短くするか、または添付ファイルを削除してから再度操作してください。	P.235 P.247
メモリがいっぱいです	miniSDメモリーカード内のメモリがいっぱいです。	－
メモリがいっぱいです 撮影終了しました	動画を撮影中にminiSDメモリーカード内のメモリがいっぱいになったため撮影が終了しました。	－
メモリ機能動作中 設定できません	miniSDメモリーカードが使用中のため設定できません。	－
メモリ不足です	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メモリ不足です チャンネルのトップページに戻ります	メモリが不足したため表示できません。トップページが表示されます。	－
メモリ不足です ｉモードメニューに戻ります	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メモリ不足です 文字スタンプが作成できませんでした	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メモリ不足のため表示できません	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メロディがいっぱいです	FOMA端末内のメロディがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なメロディを削除してから再度操作してください。	P.353
メロディが再生できません	エラーが発生したためメロディが再生できませんでした。	－
メロディが設定されていません	プログラム編集がされていない状態でプログラムを再生しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム再生してください。	P.352
メロディはありません	メロディが1件も登録されていません。	－
もう一つの電話機が利用中のため切替えできませんでした	movaが通信中のため切り替えできません。movaの通信を終了してから再度操作してください。	－
文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません	冒頭文／署名を貼り付けると10000バイトを超えるため貼り付けできません。本文を短くするか、または添付ファイルを削除してから再度操作してください。	P.235 P.247
文字数がオーバーしました	読み取り可能な文字数を超えたため超えた文字は破棄されました。	－
文字数がオーバーします 作成可能サイズまで本文を削除してください	メール本文が10000バイトを超えるため確定できません。本文を短くするか、または添付ファイルを削除してから再度操作してください。	P.235 P.247
文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません	署名を貼り付けると10000バイトを超えるため貼り付けできません。本文を短くするか、または添付ファイルを削除してから再度操作してください。	P.235 P.247
文字数がオーバーするため入力できません	入力可能な文字数を超えるため入力できません。	－
文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません	冒頭文を貼り付けると10000バイトを超えるため貼り付けできません。本文を短くするか、または添付ファイルを削除してから再度操作してください。	P.235 P.247
文字数がオーバーするので入力できません	入力可能な文字数を超えるため入力できません。	－

次ページにつづく

表　示	説　明	参照先
容量がいっぱいです 空きがないためこれ以上受信できません	FOMA端末内とFOMAカード内のメールがいっぱいです。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除して、問い合わせを行ってください。	P.260 P.270
	FOMA端末内の受信メールがいっぱいです。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	P.260 P.270
容量不足です	保存容量がいっぱいのため操作できません。	−
容量不足です 移動できません	容量不足のためファイルを移動できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342 P.353
容量不足です インポートできません	保存容量がいっぱいのためインポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342
容量不足です エクスポートできません	保存容量がいっぱいのためエクスポートできません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.357
容量不足です 作成できません	容量不足のためフォルダを作成できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342 P.353
容量不足です 設定できません	容量不足のため設定できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342 P.353
容量不足です タイトル変更できません	容量不足のためタイトルを変更できません。不要なデータを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342 P.353 P.357
容量不足のため保存できません	miniSDメモリーカード内の容量が不足しているため保存できません。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P.332 P.342 P.357
読み込みエラーです 読み込みできません	miniSDメモリーカードの情報読み込み中にエラーが発生しました。	−
読み込みできませんでした	miniSDメモリーカードの情報読み込み中にminiSDメモリーカードが抜かれました。miniSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	P.354
読み込みに失敗しました 終了します	動画再生時にエラーが発生しました。	−
	miniSDメモリーカードの情報読み込み中にminiSDメモリーカードが抜かれました。miniSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	P.354
読み込めないデータがありました	miniSDメモリーカード内の情報に読み込みできないデータがあります。	−
読み取りできませんでした	読み取りに失敗しました。	−
予約時刻を過ぎています 登録できません	現在の日時より過去の日時は登録できません。正しい日時で登録してください。	P.322
予約情報に誤りがあるため予約できません	予約情報が不正のため視聴予約できません。	−
利用可能なピクチャがありません	サイズに合ったフレームがありません。	−
履歴表示OFF設定中です	履歴表示設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。	P.148
留守番および転送サービス未契約です	留守番電話サービスまたは転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
留守番サービス未契約です	留守番電話サービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
録音されていません	音声メモまたは伝言メモが録音されていません。音声メモを録音するか、伝言メモが録音されてから再度操作してください。	P.74 P.377
録画準備中です 録画できません	録画終了後すぐは録画できません。しばらくしてから再度操作してください。	−
録画中は選局できません	録画中は選局できません。	−
録画中はテレビリンクからデータ放送サイトに接続できません	録画中はテレビリンクからデータ放送サイトに接続できません。	−
Bookmarkがいっぱいです	すでにブックマークが最大保存件数まで登録されているためこれ以上登録できません。不要なブックマークを削除してください。	P.203
FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリダウンロード時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.42
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません	FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.42
FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.42
FOMAカード（UIM）電話帳がいっぱいです	FOMAカード内の電話帳がいっぱいです。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.105 P.380

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

表　示	説　明	参照先
FOMAカード（UIM）の情報が読めませんでした	エラーが発生したためFOMAカードの読み込みができませんでした。	－
FOMAカード（UIM）のSMSがいっぱいになりました	FOMAカード内のSMSがいっぱいです。不要なSMSを削除してから再度操作してください。	P.270 P.380
FOMAカード（UIM）読み込み中です	FOMAカード読み込み中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
FOMAカード（UIM）読み込み中です 起動できません	FOMAカード読み込み中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
FOMAカード（UIM）を挿入してください	FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.41
ｉアプリ To 設定されていません	「ｉアプリ To 設定」でチェックが付いていないためｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。	P.304
ｉモーションがいっぱいです	ｉモーションが最大保存件数まで登録されているため、これ以上登録できません。不要なｉモーションを削除してください。	P.342
ｉモーションが保存されていません	ｉモーションが1件もありません。	－
ｉモーション再生サイズを超えています	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーション再生サイズを超えました	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーション最大サイズを超えています	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーション最大サイズを超えました	データ量が最大サイズを超えたので取得できませんでした。	－
ｉモーションはありません	ｉモーションが1件もありません。	－
ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています	ｉモード問い合わせ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。	P.255
ｉモードメールがつながりにくくなっています しばらくお待ち下さい（555）	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
ICカード機能停止中のため削除できません	ICカードロック中のため削除できませんでした。ICカードロックを解除してから再度操作してください。	P.313
ICカード機能停止中のためダウンロードできません	ICカードロック中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカードロックを解除してから再度操作してください。	P.313
ICカード動作中のため削除できません	ICカード機能が動作中のため削除できません。ICカード機能を終了してから再度操作してください。	－
ICカード動作中のためダウンロードできません	ICカード機能が動作中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカード機能を終了してから再度操作してください。	－
ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません	ICカード内のデータがいっぱいのためバージョンアップできませんでした。	－
	ICカード内のデータがいっぱいのためダウンロードできませんでした。	－
ICカード内データにエラーがあります	ICカード内のデータにエラーがあるため操作できませんでした。	－
ICカード内データにエラーがあるため削除できません	ICカード内のデータにエラーがあるため削除できませんでした。	－
ICカード内にデータがあるためダウンロードできません	ICカード内にデータが残っているためダウンロードできませんでした。	－
ICカードロック設定中です	ICカードロックが設定されています。ICカードロックを解除してから再度操作してください。	P.313
miniSDが挿入されていません	miniSDメモリーカードが正しく装着されていません。miniSDメモリーカードを正しく装着してから再度操作してください。	P.354
miniSDが抜かれました	miniSDメモリーカード操作中にminiSDメモリーカードが抜かれました。miniSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	P.354
miniSD操作中 miniSDを操作できません	miniSDメモリーカード操作中のため操作できません。miniSDメモリーカードの操作を終了してから再度操作してください。	－
miniSD操作中です 設定できません	miniSDメモリーカード操作中のため設定できません。miniSDメモリーカードの操作を終了してから再度操作してください。	－
miniSDに書き込み保護がかけられています	miniSDメモリーカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでminiSDメモリーカードライトプロテクトを解除してから再度操作してください。	－
miniSDの交換またはチェックディスクを行ってください	miniSDメモリーカードのフォーマットが異常です。miniSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	P.358
miniSDの交換またはチェックディスクをおすすめします	miniSDメモリーカードのフォーマットが異常です。miniSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	P.358

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
miniSDの情報取得中です	miniSDメモリーカード認識処理中のためminiSDメモリーカードは操作できません。miniSDメモリーカード装着後は、しばらく待ってから操作してください。	−
PIMファイルが保存されていません	miniSDメモリーカード内に電話帳やスケジュールなどがありません。	−
PIMロック設定中です	PIMロックが設定されています。PIMロックを解除してから再度操作してください。	P.146
PIMロック設定中です 内蔵代替画像を送信します	PIMロック設定中は「内蔵」の代替画像が送信されます。	−
PIN1がロックされました PINロック解除コードを入力してください	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.142
PIN1コードが違います	入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。	P.141
PIN1コードが認証できませんでした	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.142
PIN1コードがロックされています	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.142
PIN1コードがロックされました PINロック解除コードを入力してください	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.142
PIN1コードは4〜8桁です	入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。	P.141
PIN2コードが違います	入力したPIN2コードが間違っています。正しいPIN2コードを入力してください。	P.141
PIN2コードが認証できませんでした	PIN2コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.142
PIN2コード入力動作中です 入力できません	PIN2コードを入力中のため操作できません。PIN2コードを入力してから再度操作してください。	P.141
PIN2コードは4〜8桁です	入力したPIN2コードが間違っています。正しいPIN2コードを入力してください。	P.141
PINロック解除コードが違います	入力したPINロック解除コードが間違っています。正しいPINロック解除コードを入力してください。	P.142
PINロック解除コードが認証できませんでした	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	取扱説明書裏面
PINロック解除コードがロックされています	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	取扱説明書裏面
PINロック解除コードがロックされました	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	取扱説明書裏面
SMS送達通知がないため削除できません	SMS送達通知が1件もないため削除できませんでした。	−
SMS center設定を確認してください	SMS center設定の設定内容が不正です。正しい内容を設定してから再度操作してください。	P.297
SSL通信が切断されました	改ざんされたSSL証明書を受信したか、SSLエラーが発生したため接続できませんでした。	−
SSL通信が無効です	サーバの認証エラーのため接続できません。	−
SSL通信が無効に設定されています	証明書設定でそのサーバのSSL証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。	P.221
TLS／SSL通信が切断されました	改ざんされたSSL証明書を受信したか、SSLエラーが発生したため接続できませんでした。	−
TLS／SSL通信が無効です	サーバの認証エラーのため接続できません。	−
TLS／SSL通信が無効に設定されています	証明書設定でそのサーバのSSL証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。	P.221
Toの宛先を設定してください	「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。	P.235 P.237
ToDoがいっぱいです	FOMA端末内のToDoがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なToDoを削除してから再度操作してください。	P.375
URLが長すぎて登録できません	サイトのURLの文字数が256文字を超えるため登録できません。	−
URLが長すぎて貼り付けできません	サイトのURLの文字数が256文字を超えるため貼り付けできません。	−
URLが長すぎます	サイトのURLの文字数が長すぎて操作できませんでした。	−
URLに誤りがあります	URL入力時に「http://」または「https://」が入力されていません。正しく入力してから再度操作してください。	P.199
	URLが不正なためリンクを表示できません。	−

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(P.354参照)

表　示	説　明	参照先
USB通信モード中です	USBモード設定が「miniSDモード」に設定されています。設定を「通信モード」にしてから再度操作してください。	P.359
	miniSDメモリーカード使用中のため操作できません。miniSDメモリーカードの使用を終了してから再度操作してください。	−
000〜120秒の間で設定してください	伝言メモ、留守番電話、転送でんわの呼出時間は0〜120秒の間で設定してください。	P.74 P.385 P.388
0000は設定できません	シークレットコードに「0000」は設定できません。「0000」以外の4桁の数字を入力してください。	P.108
001〜120秒の間で設定してください	オート着信の呼出時間は1〜120秒の間で設定してください。	P.381
003〜120秒の間で設定してください	遠隔監視設定の応答時間は3〜120秒の間で設定してください。	P.93
01〜10分の間で設定してください	遠隔ロックの監視時間は1〜10分の間で設定してください。	P.144
01〜30秒の間で設定してください	メール／メッセージ鳴動の鳴動時間は1〜30秒の間で設定してください。	P.118
01〜30分の間で設定してください	照明設定の点灯時間は1〜30分の間で設定してください。	P.327
02〜20分の間で設定してください	照明設定の待ち時間は2〜20分の間で設定してください。	P.127
03〜10回の間で設定してください	遠隔ロックの着信回数は3〜10回の間で設定してください。	P.144
1件インポートできませんでした	エラーが発生したため1件インポートできませんでした。	−
1件エクスポートできませんでした	エラーが発生したため1件エクスポートできませんでした。	−
1件削除できません	エラーが発生したためminiSDメモリーカード内のデータを1件削除できませんでした。	−
512Mバイト以下のminiSDを使用してください	512Mバイトを超えるminiSDメモリーカードは使用できません。512Mバイト以下のminiSDメモリーカードを使用してください。	−
6人以上設定できません	チャットメンバーに登録できる人数は、自分を含めて6人までです。	−
64Kデータ通信中です 起動できません	64Kデータ通信中のため起動できません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
64Kデータ通信中のため起動できません		
64Kデータ通信中のため操作できません	64Kデータ通信中のため操作できません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
64Kデータ通信中のため発信できません	64Kデータ通信中のため発信できません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	P.411 P.426
＋の位置が不正です	「＋」の位置が間違っています。電話番号の先頭に入力してください。	P.59

●エラーメッセージの中の「(数字)」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/HomeEdition）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- ・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- ・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

◎お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - ・改造（部品の交換・改造・塗装等）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカ、受話口部
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

◎メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- ・お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- ・携帯電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータ、外部から取り込まれたデータ、ダウンロードされたデータ、デジタルテレビから録画したビデオや静止画、放送用保存領域に保存された情報等が変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えいたします。（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります。）

ソフトウェア更新について

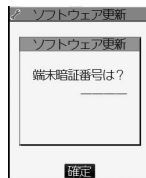
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させて頂きます。
ソフトウェアを更新するには、「即時更新」と「予約更新」の2つの方法があります。
【即時更新】：更新したいときすぐに更新を行います。
【予約更新】：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

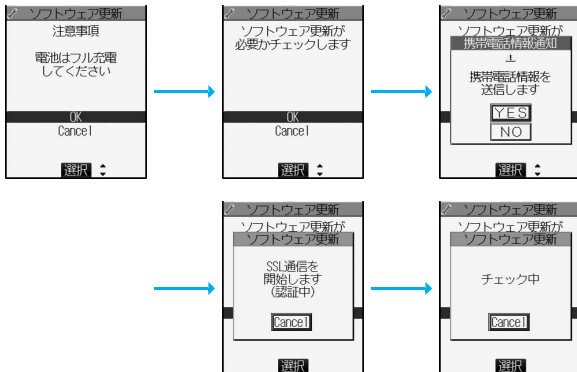
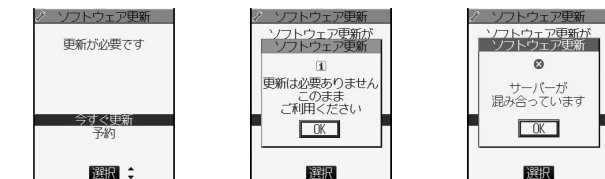
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行えます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・電源が入っていないとき
  - ・日付時刻を設定していないとき
  - ・通話中
  - ・圏外にいるとき
  - ・PIN1コード入力中
  - ・PIN1コードロック中
  - ・オールロック中
  - ・PIMロック中
  - ・セルフモード設定中
  - ・他の機能が動作中のとき
  - ・FOMAカードを挿入していないとき
  - ・パソコンなどの外部機器と接続中のとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1コード入力設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信・着信転送・伝言メモ操作が可能です。）
- ソフトウェア更新の際にはサーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：有効。設定方法についてはP.221参照）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- お客様の確認操作なしでソフトウェア更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）の「お知らせアイコン」が表示されます。ご確認いただきたい内容がある場合には「更新」（ソフトウェア更新　説明あり）が表示されます。「更新」を選択し、端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

- **ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。**
- **ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。）**
- **ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。**

ソフトウェア更新を起動する

1 **(メニュー)▶ 設定 ▶その他▶ソフトウェア更新▶端末暗証番号を入力▶◉**

- 4～8桁の端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 入力した端末暗証番号は「____」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

2 **注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックします。**

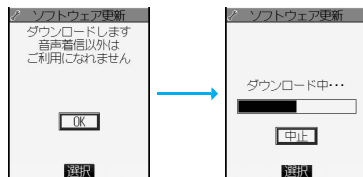
- チェック中は音声電話を受けることができます。

3 **ソフトウェア更新が不要の際は「更新は必要ありません」と表示されますので、そのままご利用ください。更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。**
このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

<ソフトウェア更新画面>

※更新が必要ない場合の画面

※サーバーが混み合っていて、ソフトウェア更新ができない場合の画面（しばらく待ってから再度ソフトウェア更新を起動してください。）

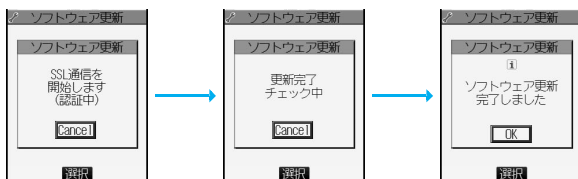
すぐにソフトウェアを更新する（即時更新）

1 **「今すぐ更新」を選択すると「ダウンロードします」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。（「OK」を選択するとすぐにダウンロードを開始します。）**

- ダウンロード中は音声電話を受けることができます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理を実行します。

2 **ダウンロードが終わると、ソフトウェアを書き換えます。（「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。）**
書き換えが終わると、自動的に再起動します。

- 書き換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は電話を受けることもできません。

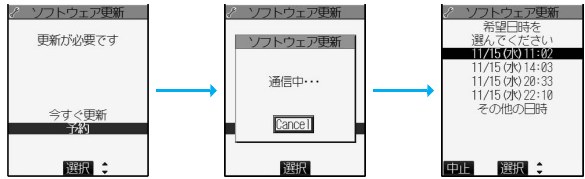
※ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
また、ACアダプタ（別売）などを接続していても、一時的に充電を停止します。

3 **再起動すると再びサーバーと通信を行いますので、しばらくお待ちください。**
更新の完了を確認したら「OK」を選択して終了です。

日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

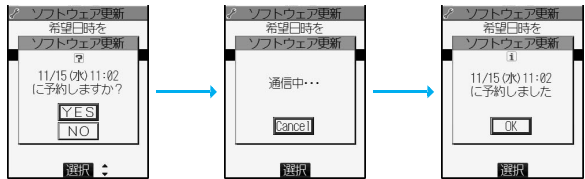
ダウンロードに時間がかかる場合、サーバーが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバーと通信して設定しておけます。

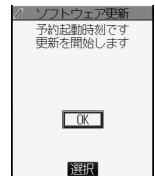
1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択します。

予約可能な日時が表示されます。

- ソフトウェア更新の予約では、サーバーの時刻が表示されます。

「その他の日時」を選択した場合

サーバーと通信をしたあと、希望日と時間帯を選べます。時間帯を選択する画面には各時間帯の予約空き状況が
○：空きあり、△：空きわずか、×：空きなし
のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバーと通信して予約時刻の候補が表示されます。

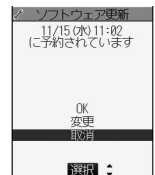
2 選択した日時の確認を行います。「YES」を選択します。再度サーバーと通信を行い、予約は完了です。

予約時刻になると右の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。
予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。

- 通話中・オールロック中・PIMロック中などは、更新を開始するメッセージが表示されず、ソフトウェア更新も起動しません。P.492手順1の操作を行うと起動できなかった理由が表示されます。

お知らせ

- アラーム等が起動している場合には、ソフトウェア更新が起動しない場合があります。
- ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信中は、ソフトウェア更新は起動しません。受信を継続し、待受画面に「お知らせアイコン」を表示します。
- 予約が完了したあとにP.382「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約を確認する

設定メニューから「ソフトウェア更新」を選択し、端末暗証番号を入力すると、予約時刻を確認できます。

予約を確認した画面から予約日時の変更や予約を取り消せます。変更する場合には「変更」を選択します。取り消す場合には「取消」を選択します。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「NO」や「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択すると、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

お知らせ

- 操作中に電池の残量が「▯」になった場合、ソフトウェアのダウンロードや書き換えは行われず、操作を終了します。

<スキャン機能>

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

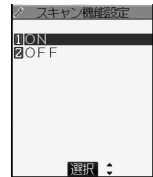
サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。（P.495参照）
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時	ON

スキャン機能設定を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶スキャン機能設定**

2 **ON・OFF▶YES**

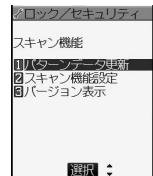
- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。（P.496参照）

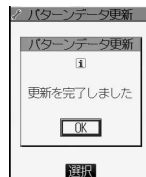
お知らせ

- 他の機能が動作中は、設定できません。

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

パターンデータを更新します。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES**

2 OK

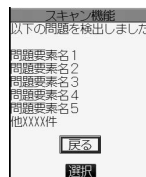
●パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

●パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
●FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
●以下の場合はパターンデータを更新できません。
・日付時刻を設定していないとき　・通話中　・圏外にいるとき
・FOMAカードを挿入していないとき　・オールロック中　・他の機能が動作中のとき
・パソコンなどの外部機器と接続中のとき　・セルフモード設定中　・PIMロック中
●ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で「詳細」を選択すると問題要素の名前が表示されます。

●問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない場合があります OK 詳細 選択	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ YES NO 詳細 選択	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細 選択	スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ YES NO 詳細 選択	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細 選択
OK.....動作を継続します。	YES...動作を中止し、終了します。 NO.....動作を継続します。	OK.....動作を中止し、終了します。	YES...データを削除し、終了します。 NO.....動作を中止し、終了します。	OK.....データを削除し、終了します。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

パターンデータのバージョンを確認します。

1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶バージョン表示

●確認が終われば◉を押します。

お知らせ

- 他の機能が動作中は、表示できません。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA P901iTVの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA P901iTVのSARの値は0.332W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ：	http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ：	http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ：	http://www.nttdocomo.co.jp/product/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ：	
	http://panasonic.jp/mobile/p901itv/index.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

主な仕様

品名			FOMA P901iTV	
サイズ（閉じたとき）			H：約110mm W：約51mm D：約27mm	
質量（電池パック装着時）			約150g	
液晶部	方式		ディスプレイ　　　　　：TFT　26万色 プライベートウィンドウ：STN　モノクロ	
	サイズ		ディスプレイ　　　　　：2.5inch プライベートウィンドウ：0.9inch	
	画素数		ディスプレイ　　　　　：76,800画素（240×320） プライベートウィンドウ：2,400画素（96×25）	
連続待受時間			静止時：約460時間	移動時：約350時間
連続通話時間			音声電話時：約140分	テレビ電話時：約100分
テレビ視聴時間			デジタルテレビ：約3時間 アナログテレビ：約1時間	
最大出力			0.25W	
電池パック種別			専用リチウムイオン電池	
電源電圧			3.7V	
電池容量			830mAh	
充電時間			ACアダプタ：約130分	DCアダプタ：約130分
撮像素子	種類		インカメラ：CMOS	アウトカメラ：νMaicovicon®
	サイズ		インカメラ：1/7inch	アウトカメラ：1/3.2inch
カメラ部	有効画素数		インカメラ：11万画素	アウトカメラ：201万画素
	記録画素数（最大時）		インカメラ：10万画素	アウトカメラ：192万画素
	ズーム（デジタル）		インカメラ　：最大約2.7倍（テレビ電話時最大約2.0倍） アウトカメラ：最大約12.5倍（テレビ電話時最大約2.7倍）	
記録部	静止画	撮影サイズ	1,600×1,200／1,200×1,600（UXGA） 1,280×960／960×1,280（SXGA） 640×480（VGA） 240×320（待受） 128×96（Sub-QCIF）	 352×288／288×352（CIF） 176×144（QCIF）
		ファイル形式	JPEG	
	動画	動画記録サイズ	320×240（QVGA） 128×96（Sub-QCIF）	176×144（QCIF）
		動画ファイル形式	本体：MP4	miniSDメモリーカード：ASF
		フレームレート	最大15fps	

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合等）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、テレビの視聴、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラを使用すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
- νMaicovicon®（ニューマイコビコン）とは、高性能・低消費電力次世代イメージセンサー「New Matsushita Advanced Image Converter for Vision Construction」の略語です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

FOMA端末の保存・登録・保護件数

以下の表は、FOMA端末で保存・登録、保護できるデータの最大件数を示しています。（各機能の詳細については、表中の参照ページをご覧ください。）

		保存・登録件数	保護件数	参照先
電話帳		最大700※1、※2	－	P.97
テレビリンク		50	－	P.324
視聴予約		100	－	P.322
スケジュール	スケジュール	100	－	P.371
	休日	100	－	P.372
	記念日	100	－	P.372
ToDo		100	－	P.374
フリーメモ		10	－	P.379
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1000※2、※3、※4	最大500※2	P.260
	送信メール	最大400※2、※4、※5	最大200※2	P.260
	保存メール※6	20	－	P.261
	ユーザ作成フォルダ（受信BOX）	22	－	P.268
	ユーザ作成フォルダ（送信BOX）	22	－	P.273
テンプレート		45※7	－	P.244
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2	P.215
	メッセージF	最大100※2	最大50※2	P.215
ブックマーク	ブックマーク	100	－	P.201
	ブックマークフォルダ	10（「Bookmark」を含む）	－	P.202
画面メモ		最大100※2	最大50※2	P.204
ｉアプリ		最大200※2	－	P.301
	メール連動型ｉアプリ	5	－	P.301
静止画		最大560※2、※8、※9	－	P.330
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.331
動画／ｉモーション		最大100※2、※8	－	P.340
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.341
ビデオ		最大100※2	－	P.347
キャラ電		10※7	－	P.349
メロディ		最大400※2、※8	－	P.351
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.352

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3：「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※4：SMSは、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。（P.380参照）
※5：「チャット」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※6：作成中の未送信メールを保存できます。
※7：お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※8：お買い上げ時に登録されているデータは含みません。
※9：サイトから保存した静止画やフレーム、スタンプなども含めます。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存／登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存／登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.354参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.471参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

パソコンで作成したｉモーション（音楽データを含む）をFOMA端末で再生する

お客様が購入したCDの楽曲などを、パソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
miniSDメモリーカード使用時のご注意などについては、P.354参照。

- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用できます。
- ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移し替えをしないでください。
- FOMAP901iTVは、512MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。

1 お客様が購入したCDの楽曲などを、AAC形式に変換できる市販のソフトウェアなどを利用して変換し、パソコンに保存する

- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 miniSDメモリーカードをパソコンに挿入し、楽曲ファイルをコピーする

■パソコンで、楽曲ファイルをminiSDメモリーカードにコピーするには

1. 手順1で作成したファイルの名前を「MOLxxx.3gp」に変更する
（「xxx」は0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数）
   - 例：「ドコモのテーマ.ooo」というファイルのとき
     ↓
     「ドコモのテーマ.3gp」（拡張子を「.3gp」に変更する。）
     ↓
     「MOLxxx.3gp」（ファイル名を「MOLxxx」に変更する。）
   - ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示させたあとに行ってください。
2. miniSDメモリーカード内の「SD_VIDEO」フォルダ配下の「PRLxxx」フォルダにコピーする
   - 「SD_VIDEO」フォルダがminiSDメモリーカード内にない場合は、パソコン上で「SD_VIDEO」フォルダを作成し、さらにその配下に「PRLxxx」フォルダを作成したあと、「PRLxxx」フォルダにコピーしてください。
   - miniSDメモリーカードのフォルダ構成については、P.355参照。
   - FOMA端末をminiSDリーダーライターとして使うには、P.359参照。

3 miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態で、(メニュー)▶データBOX▶ｉモーション▶miniSD▶PRLxxx▶ファイルの一覧を表示し、楽曲を選択してｉモーション（音楽データを含む）を再生する

- ｉモーションの再生については、P.340参照。
- miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入したあとは、「PRLxxx」フォルダのタイトルや楽曲ファイルのタイトルを、アーティスト名や楽曲名に変更することもできます。
  ・フォルダのタイトル編集については、P.336参照。
  ・楽曲ファイルのタイトル編集については、P.332参照。

お知らせ

- イヤホンのみで聴きたいときは、「イヤホン切替」を「イヤホン」にしてください。
- 以下の場合は再生が停止します。
  ・音声電話／テレビ電話の着信があったとき
  ・「受信表示設定」を「通知優先」にしているときに、メールを受信したとき
  ・「アラーム通知設定」を「通知優先」にしているときに、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム通知があったとき
- 連続再生やリピート再生はできません。
- ご使用になる市販のソフトウェアなどによっては、楽曲ファイルをFOMA端末で再生できない場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（P.354参照）

索引／クイックマニュアル

◆◇◆ ア ◆◇◆

◆◇◆ カ ◆◇◆

◆◇◆ サ ◆◇◆

◆◇◆ タ ◆◇◆

◆◇◆ ナ ◆◇◆

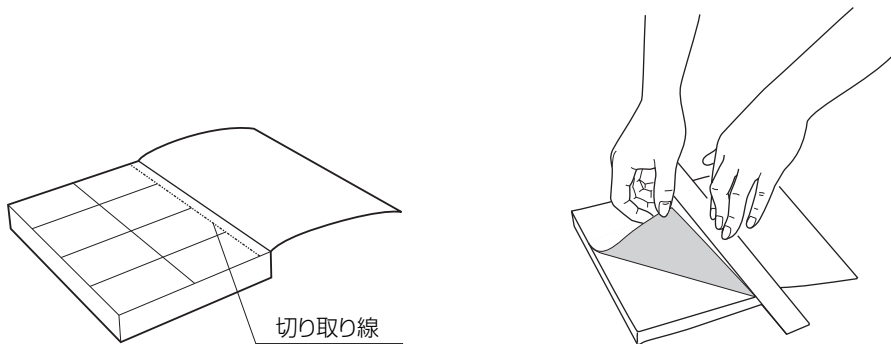
◆◇◆ ハ ◆◇◆

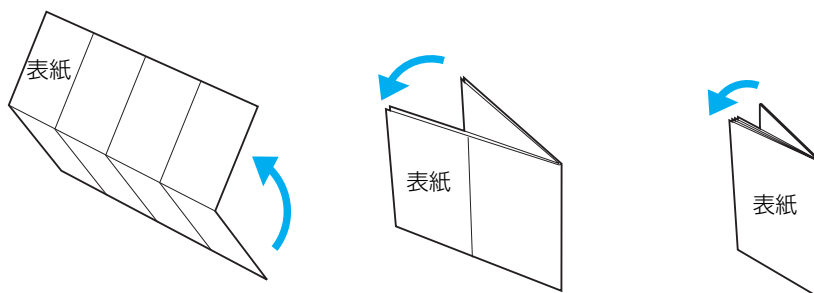
◆◇◆ マ ◆◇◆

クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。

■切り取りかた

切り取り線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などを切り取り線に合わせて切り取れます。
●はさみなどで切り取る際には、けがなどに気を付けてください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。
●2枚目のクイックマニュアルの場合は、P.16「機能一覧表」が表紙になるように折り畳んでお使いください。

FOMA P901iTV クイックマニュアル

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料） ※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料） ※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳の登録（本体）

■登録先を選択
[メニュー]→[電話帳]→電話帳登録→本体

■名前を入力
名前を入力→[◎]→フリガナを確認→[◎]

■グループを選択
GR ＜未登録＞→グループを選択→[◎]

1

■電話番号を入力（4番号まで）
＜未登録＞→電話番号を入力→[◎]→アイコンを選択→[◎]

■メールアドレスを入力（3アドレスまで）
＜未登録＞→メールアドレスを入力→[◎]→アイコンを選択→[◎]

■住所を入力
＜未登録＞→郵便番号を入力→[◎]→住所を入力→[◎]

■誕生日を入力
＜未登録＞→誕生日を入力→[◎]

■メモを入力
＜未登録＞→メモを入力→[◎]

■静止画を登録
＜未登録＞→静止画選択→フォルダを選択→[◎]→静止画を選択→[◎]

2

■キャラ電を登録
＜未登録＞→キャラ電選択→キャラ電を選択→[◎]

■メモリ番号を登録
NO→3桁のメモリ番号を入力→[◎]→[✉]

リダイヤル・発信履歴・着信履歴から登録

■FOMA端末（本体）に追加登録
リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示→[i]→電話帳登録→本体→追加登録→検索方法を選択→[◎]→電話帳を検索→登録する電話帳を選択→[◎]→[◎]→[✉]→YES

電話帳の修正

電話帳詳細画面を表示→[✉]→修正したい項目を選択→[◎]→内容を修正→[✉]→YES

3

文字の入力

■文字入力画面

■入力文字
漢‥‥‥漢字ひらがな
カナ‥‥カタカナ
英‥‥‥英字
数‥‥‥数字
区‥‥‥区点コード

4

■文字入力方式の選択
[メニュー]→[設定]→その他→文字入力方式→入力モード→

モード1（かな方式）にチェック
モード2（2タッチ方式）にチェック
モード3（T9入力方式）にチェック

→[✉]→優先的に使うモードを選択→[◎]

■濁点、半濁点、句読点入力
[#]を数回押す

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切替
[✉]を数回押す

■絵文字入力
[i]→絵文字入力→絵文字を選択→[◎]

5

■記号入力
[i]→記号入力→記号を選択→[◎]

■絵文字記号連続入力
[i]→絵文字記号連続入力→絵文字または記号を選択→[◎]→入力が終わったら[クリア]を押す

■スペース入力
[i]→スペース入力

■文字消去
[◯]で削除したい文字にカーソルを合わせる→[クリア]

■大文字／小文字切替
[i]→大文字切替・小文字切替

6

フリーメモに「タダの花」を入力

■文字入力（編集）画面を表示
[メニュー]→[ツール]→フリーメモ→[✉]

■ひらがなを入力（モード1）
た→[4]を1回、[◯]を1回
だ→[4]を1回、[#]を1回
の→[5]を1回、[▲]を1回
は→[6]を1回
な→[5]を1回

■文字を変換
[◯]で文字を変換→「タダ」を選択→[◎]で文字を確定→同様に残りの文字を確定

7

＜切り取り線＞

カメラ

■静止画撮影
[メニュー]→[ツール]→カメラ→フォトモード→◉→◉→YES→保存したいフォルダを選択→◉

■連続撮影
[メニュー]→[ツール]→カメラ→フォトモードまたはムービーモード→[i]→カメラモード切替→連写モード→オート・マニュアル→◉→静止画を選択→[✉]→◉→YES→保存したいフォルダを選択→◉
※連続撮影した静止画を1枚だけ選択して保存する場合の手順です。

■動画撮影
[メニュー]→[ツール]→カメラ→ムービーモード→◉→◉→◉→YES→保存したいフォルダを選択→◉

テレビ

■自動チャンネル設定
[メニュー]→[ツール]→デジタルTV・アナログTV→自動チャンネル設定→YES→YES→タイトルを入力→◉

■チャンネルリスト選択
[メニュー]→[ツール]→デジタルTV・アナログTV→チャンネルリスト選択→チャンネルリストを選択→◉

■デジタルテレビを見る
[メニュー]→[ツール]→デジタルTV→TV視聴

■アナログテレビを見る
[メニュー]→[ツール]→アナログTV→TV視聴

ビューア・プレーヤー

■静止画再生
[メニュー]→[データBOX]→マイピクチャ→フォルダを選択→◉→静止画を選択→◉

■動画再生
[メニュー]→[データBOX]→iモーション→フォルダを選択→◉→動画を選択→◉

■ビデオ再生
[メニュー]→[データBOX]→ビデオ→ビデオを選択→◉

■メロディ再生
[メニュー]→[データBOX]→メロディ→フォルダを選択→◉→メロディを選択→◉

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける
相手の電話番号を入力→[カメラ]→お話が終わったら[PWR HLD]で通話を終了する

■テレビ電話を受ける
着信音が鳴り、着信／充電ランプとコマンドナビゲーションボタンが点滅→[カメラ]・[スピーカー]→お話が終わったら[PWR HLD]で通話を終了する
[カメラ]で受けると自分のカメラ画像、[スピーカー]で受けると代替画像を相手に送信します。

■ハンズフリーに切り替える
通話中→[スピーカー]

iモードメール

iモードメールの作成・送信

新規メール
To
Subject
〈新規入力〉
送信 選択 機能
宛先
題名
本文

■作成画面を表示
[メニュー]→[メール]→新規メール作成

■宛先を入力
宛先欄を選択→◉→宛先を入力→◉

■題名を入力
題名欄を選択→◉→題名を入力→◉

■本文を入力
本文欄を選択→◉→本文を入力→◉

■メールを送信
[✉]→送信完了後◉

ファイルの添付

■画像添付
作成画面を表示→[i]→添付ファイル追加→イメージ添付→フォルダを選択→◉→画像を選択→◉

■メロディ添付
作成画面を表示→[i]→添付ファイル追加→メロディ添付→フォルダを選択→◉→メロディを選択→◉

■iモーション添付
作成画面を表示→[i]→添付ファイル追加→iモーション添付→フォルダを選択→◉→iモーションを選択→◉

iモードメールの受信

「[✉](白色)」が点滅→受信結果画面が表示→「メール」を選択→◉→表示したいiモードメールを選択→◉

iモード問い合わせ

[メニュー]→[メール]・[iモード]→iモード問い合わせ

その他のメール機能

■メールの返信
返信したいメールを選択または表示→[i]→返信・引用返信・参照返信→本文欄を選択※→◉※→本文を入力→◉→[✉]→送信完了後◉
※参照返信時は不要

■メールの転送
転送したいメールを選択または表示→[i]→転送→宛先欄を選択→◉→宛先を入力→◉→[✉]→送信完了後◉

＜切り取り線＞

機能一覧表

	メニュー	機能名称
メール	–	受信BOX
	–	送信BOX
	–	保存BOX
	–	新規メール作成
	–	チャットメール
	–	SMS作成
	–	ｉモード問い合わせ
	–	メール選択受信
	–	SMS問い合わせ
	–	テンプレート
	–	メール設定
iモード	–	ｉMenu
	–	Bookmark
	–	画面メモ
	–	ラストURL
	–	Internet
	–	メッセージ
	–	ｉモード問い合わせ
	–	ユーザ証明書操作
	–	ｉモード設定
iアプリ	–	ソフト一覧
	–	自動起動設定
	–	ｉアプリ実行情報

	メニュー	機能名称
設定	着信	
	50	着信音量
	13	着信音選択
	64	サウンド効果
	54	バイブレータ
	89	着信イルミネーション
	20	マナーモード選択
	–	電話帳画像着信設定
	58	着信アンサー設定
	18	クローズ動作設定
	68	メール／メッセージ鳴動
	90	呼出時間表示設定
	65	確認機能設定
	–	オープン設定
	通話	
	76	ノイズキャンセラ
	75	通話品質アラーム
	77	再接続機能
	–	通話中イルミネーション
	–	保留音設定
	テレビ電話	
	–	画像品質設定
	–	発信時自画像送信
	–	画像選択
	–	音声自動再発信
	–	遠隔監視設定
	–	テレビ電話画面設定

	メニュー	機能名称
設定	–	テレビ電話切替機能通知
	ディスプレイ	
	56	画面表示設定
	70	照明設定
	86	配色パターン
	93	プライベートウィンドウ
	66	フォント設定
	63	デスクトップ
	15	バイリンガル
	52	プライベートメニュー登録
	57	メニュー画面設定
	–	ピクチャ表示設定
	47	オート表示
	–	液晶AI
	36	表示アイコン説明
	時間／料金	
	61	通話時間／料金
	60	積算リセット
	48	通話中時間表示
	時計	
	31	時計設定
	39	正面時計設定
	–	アラーム通知設定
	ロック／セキュリティ	
	–	オールロック
	–	PIMロック
	–	セルフモード

	メニュー	機能名称
設定	–	ダイヤル発信制限
	–	登録外着信拒否
	10	非通知着信設定
	29	端末暗証番号変更
	–	PIN設定
	40	シークレットモード
	41	シークレット専用モード
	–	スキャン機能
	99	遠隔ロック設定
	–	ICカードロック
	–	ICカードタイマーロック
	アプリケーション通信設定	
	–	接続待ち時間設定
	–	ｉモード問い合わせ設定
	81	接続先選択
	–	SMS center設定
	–	証明書
	–	証明書センター接続設定
	ｉアプリ設定	
	–	ソフト情報表示設定
	–	α照明設定
	–	αバイブレータ
	–	待受画面終了
	外部オプション	
	51	イヤホン切替
	94	オート着信

	メニュー	機能名称
設定	その他	
	30	ボタン確認音
	–	充電確認音
	71	電池残量
	–	サイドボタン操作
	35	文字入力方式
	–	履歴表示設定
	84	ポーズダイヤル
	–	サブアドレス設定
	–	プレフィックス設定
	–	国際ダイヤル設定
	–	PLMN設定
	–	スタイル連動設定
	–	サイドTVボタン設定
	–	USBモード設定
	23	設定リセット
	–	端末初期化
	–	ソフトウェア更新
データBOX	46	マイピクチャ
	–	ｉモーション
	16	メロディ
	–	キャラ電
	–	ビデオ
ツール	–	デジタルTV
	–	アナログTV
	–	カメラ
	79	赤外線受信

	メニュー	機能名称
ツール	–	使いかたナビ
	–	バーコードリーダー
	–	テキストリーダー
	–	SD-PIM
	45	スケジュール
	44	アラーム
	85	電卓
	95	ToDo
	42	フリーメモ
	–	メモの再生／消去
	55	伝言メモ
	43	待受中音声メモ（通話中音声メモ）
	91	おしゃべり機能
	–	電話帳画像転送
	–	FOMAカード（UIM）操作
サービス	25	サービス問い合わせ
	17	発信者番号通知
	–	留守番電話
	–	キャッチホン
	–	転送でんわ
	–	迷惑電話ストップ
	–	番号通知お願いサービス
	–	着信動作選択
	–	通話中着信設定
	–	遠隔操作設定
	–	デュアルネットワーク
	–	英語ガイダンス

	メニュー	機能名称
サービス	–	追加サービス
	–	サービスダイヤル
	–	マルチナンバー
	–	規制
電話帳	–	電話帳登録
	–	電話帳検索
	22	電話帳登録件数
	62	電話帳便利機能
	12	電話帳指定設定
	26	グループ設定
	0	自局番号表示
ユーザデータ	24	着信履歴
	–	発信履歴
	97	メールメンバー
	–	チャットグループ
	38	定型文
	82	ユーザ辞書
	–	ダウンロード辞書

マナーモード

■設定／解除

待受中・通話中→#（1秒以上）

公共モード（ドライブモード）

■設定／解除

待受画面→*（1秒以上）

<切り取り線>

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始
メニュー→サービス→留守番電話
→留守番電話サービス開始→YES→YES
→呼出時間（秒）を入力→◉

■留守番サービス停止
メニュー→サービス→留守番電話
→留守番サービス停止→YES

■留守番メッセージ再生
メニュー→サービス→留守番電話
→留守番メッセージ再生→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始
メニュー→サービス→キャッチホン
→キャッチホンサービス開始→YES

■キャッチホンサービス停止
メニュー→サービス→キャッチホン
→キャッチホンサービス停止→YES

■通話中にかかってきた電話に出る
通話中着信→（通話キー）
（通話キー）を押すたびに通話する相手を切り替えることもできます。

転送でんわサービス

■転送サービス開始
メニュー→サービス→転送でんわ
→転送サービス開始→転送先設定
→転送先の電話番号を入力→◉
→呼出時間設定→呼出時間（秒）を入力
→◉→開始→YES

■転送サービス停止
メニュー→サービス→転送でんわ
→転送サービス停止→YES

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急連絡通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

主なアイコン

11/15(水) 10:00

- ：電池残量（目安）
- ：オールロック中
- ：PIMロック中
- ：ダイヤル発信制限中
- ：シークレットモード、シークレット専用モード中
- ：ICカードロック中

- （白色）：未読ｉモードメール・SMSあり
- （白色）：未読メッセージRあり
- （白色）：未読メッセージFあり
- （白色）：ｉモードセンターにｉモードメールあり
- （白色）：ｉモードセンターにメッセージRあり
- （白色）：ｉモードセンターにメッセージFあり
- ：ｉモードセンターにｉモードメールあり（メール選択受信設定を「ON」に設定中）

- ：電波受信レベル（目安）
- ：セルフモード中
- ：バイブレータを「ON」に設定中（P.17参照）
- ：着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中
- ：マナーモード中（P.23参照）
- ：公共モード（ドライブモード）中（P.23参照）
- ：サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中（P.20参照）

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
一般電話などからの場合
0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
一般電話などからの場合
0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医療用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

! カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）（P.71、P.72）
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

●伝言メモ機能（P.74）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

●バイブレータ（P.115）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー（P.119）
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード・スーパーサイレント）。
マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.384）、転送でんわサービス（P.387）などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから	i Menu	▶ 料金&お申込・設定	▶ ドコモeサイト		パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo (http://www.mydocomo.com/)	▶ 各種手続き(ドコモeサイト)			

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'06.8(第5.1版)

3TR004156EAA
F0106F4076 - Ⓗ